

茨城県教育財団文化財調査報告第405集

# 清水古墳群 神屋遺跡 神屋南遺跡

一般国道468号首都圏中央連絡自動車道  
建設事業地内埋蔵文化財調査報告書

上 卷

平成 28 年 3 月

国土交通省関東地方整備局常総国道事務所  
公益財団法人茨城県教育財団

茨城県教育財団文化財調査報告第405集

清水古墳群  
神屋遺跡  
神屋南遺跡

上  
卷

公益財団法人茨城県教育財団

茨城県教育財団文化財調査報告第405集

し み ず  
清 水 古 墳 群  
か み や  
神 屋 遺 跡  
か み や みなみ  
神 屋 南 遺 跡

一般国道468号首都圏中央連絡自動車道  
建設事業地内埋蔵文化財調査報告書

上 卷

平成 28 年 3 月

国土交通省関東地方整備局常総国道事務所  
公益財団法人茨城県教育財団





清水古墳群出土縵錢



神屋遺跡出土火熨斗・紡錘車



## 序

公益財団法人茨城県教育財団は、国や県などの各事業者からの委託を受けて、埋蔵文化財の発掘調査と整理業務を実施することを主な目的として、昭和 52 年に調査課が設置されて以来、数多くの遺跡の発掘調査を実施し、その成果として発掘調査報告書を刊行してきました。

この度、国土交通省関東地方整備局常総国道事務所による一般国道 468 号首都圏中央連絡自動車道建設事業に伴って実施した、茨城県稲敷市清水古墳群・神屋遺跡・神屋南遺跡の発掘調査報告書を刊行する運びとなりました。

今回の調査によって、古墳時代から室町時代にかけての多くの竪穴建物跡や古墳などを確認し、稲敷の地に暮らす古代の人々の生活の様相が明らかとなりました。特に県内初となる平安時代の火熨斗や、室町時代の地下式坑から 1,900 枚以上の古銭が出土したことは特筆すべきものです。これらの成果は、当地域の社会の成り立ちや歴史を知る上で欠くことのできない貴重な資料になることと思います。

本書が、歴史研究の学術資料としてはもとより、郷土の歴史に対する理解を深め、教育・文化の向上のための資料として広く御活用いただければ幸いです。

最後になりますが、発掘調査から報告書の刊行に至るまで、多大な御協力を賜りました委託者であります国土交通省関東地方整備局常総国道事務所に対して厚く御礼申し上げますとともに、茨城県教育委員会、稲敷市教育委員会をはじめ、御指導、御協力をいただきました関係各位に対し、心から感謝申し上げます。

平成 28 年 3 月

公益財団法人茨城県教育財団  
理事長 鈴木 欣一



# 例 言

1 本書は、国土交通省関東地方整備局常総国道事務所の委託により、公益財団法人茨城県教育財団が平成22～24年度に発掘調査を実施した茨城県稲敷市大字清水字神屋884番地ほかに所在する清水古墳群<sup>しみず</sup>、同市大字清水字神屋800番地ほかに所在する神屋遺跡<sup>かみや</sup>及び同市大字清水字入谷427番地2ほかに所在する神屋南遺跡<sup>かみやみなみ</sup>の発掘調査報告書である。

2 発掘調査期間及び整理期間は、以下のとおりである。

## 清水古墳群

調査 平成23年1月1日～2月28日

整理 平成25年12月1日～平成26年3月31日

## 神屋遺跡

調査 平成23年4月1日～8月31日

平成24年4月6日～平成25年3月31日

整理 平成26年2月1日～3月31日

平成26年6月1日～平成27年3月31日

平成27年4月9日～平成28年3月31日

## 神屋南遺跡

調査 平成24年8月1日～平成25年3月1日

整理 平成27年9月1日～10月31日

3 発掘調査は、平成22年度が調査課長池田晃一、平成23・24年度が調査課長檜村宣行のもと、以下の者が担当した。

## 平成22年度

首席調査員兼班長 仲村浩一郎

主任調査員 齋藤 貴史

主任調査員 大関 隆

## 平成23年度

首席調査員兼班長 皆川 修

主任調査員 齋藤 和浩

主任調査員 舟橋 理

## 平成24年度

首席調査員兼班長 皆川 修

首席調査員 小林 和彦 平成24年11月1日～11月30日

次席調査員 駒澤 悦郎 平成24年7月1日～7月30日

次席調査員 兼子 博史 平成24年11月1日～11月30日

次席調査員 齋藤 和浩



次席調査員	木村 光輝	平成24年10月1日～11月30日 平成25年1月1日～2月28日
次席調査員	坂本 勝彦	平成24年10月1日～平成25年3月31日
次席調査員	長洲 正博	平成24年7月1日～7月30日
調査員	田中万里子	平成24年4月6日～11月30日
調査員	前島 直人	平成24年11月1日～11月30日

4 整理及び本書の執筆・編集は、平成25年度が整理課長原信田正夫、平成26・27年度が整理課長後藤一成のもと、以下の者が担当した。

平成25年度

次席調査員	坂本 勝彦	平成26年2月1日～3月31日
調査員	田中万里子	

平成26年度

次席調査員	齋藤 和浩	
-------	-------	--

平成27年度

次席調査員	坂本 勝彦	
調査員	海老澤 稔	平成27年10月1日～11月30日

5 本書の執筆分担は、下記のとおりである。

齋藤 和浩	第1章・第2章・第4章第1節～第3節4(1)
坂本 勝彦	第4章第3節4(1)～第3節7・第6章
田中万里子	第3章・第6章
海老澤 稔	第5章

6 本書の作成にあたり、清水古墳群の室町時代の地下式坑から出土した緋銭の通し紐と銭をくるんでいた袋状繊維の素材同定については、パレオ・ラボ株式会社に委託し、分析結果及び考察は付章として記載した。

清水古墳群の第1号地下式坑から出土した銭貨1,907枚の保存処理については、有限会社武蔵野文化財修復研究所に委託した。

神屋遺跡の平安時代の大型円形土坑から出土した火熨斗の蛍光X線分析と鉛同位体分析については、大学共同利用機関法人人間文化研究機構国立歴史民俗博物館教授の齋藤努氏、X線撮影と鑑定については、元大学共同利用機関法人人間文化研究機構国立歴史民俗博物館教授の永嶋正春氏が行い、分析結果及び考察は付章として巻末に記載した。

神屋遺跡の第32号竪穴建物跡から出土した鎌、第44号竪穴建物跡から出土した引手、第52号竪穴建物跡から出土した鎌2点、第70号竪穴建物跡から出土した耳環、第71号竪穴建物跡から出土した鎌、第82号竪穴建物跡から出土した鎌、第4号大型円形土坑から出土した火熨斗、第100号竪穴建物跡から出土した鉸具、第445号土坑から出土した鎌の保存処理については、株式会社吉田生物研究所に委託した。第82号竪穴建物跡から出土した鎌、第99号竪穴建物跡から出土した紡錘車、第128号竪穴建物跡から出土した刀子、第560号土坑から出土した鎌の保存処理については、パリノ・サーヴェイ株式会社に委託した。

7 神屋遺跡から出土した人骨は、調査終了後、稲敷市大字桑山340の西泉寺にて、供養、埋葬した。

# 凡 例

1 当遺跡の地区設定は、日本平面直角座標第Ⅸ系座標に準拠し、 $X = -7,240$  m,  $Y = +45,840$  mの交点を基準点 (A 1 a1) とした。なお、この原点は、世界測地系による基準点である。

この基準点を基に遺跡範囲内を東西・南北各々 40 m四方の大調査区に分割し、さらに、この大調査区を東西・南北に各々 10 等分し、4 m四方の小調査区を設定した。

大調査区の名称は、アルファベットと算用数字を用い、北から南へA, B, C…、西から東へ1, 2, 3…とし、「A 1 区」のように呼称した。さらに小調査区は、北から南へa, b, c…j, 西から東へ1, 2, 3…0と小文字を付し、名称は、大調査区の名称を冠して「A 1 a1 区」のように呼称した。

2 神屋遺跡の調査区の呼称については、平成 23 年度調査分を調査A・B区、平成 24 年度調査分を調査C・D区としている。

3 実測図・一覧表・遺物観察表等で使用した記号は次のとおりである。





遺構	HG - 遺物包含層	PG - ピット群	SB - 掘立柱建物跡	SD - 溝跡	SF - 道路跡
	SH - 方形竪穴遺構	SI - 竪穴建物跡	SK - 土坑	SN - 粘土貼土坑	
	SO - 大型円形	土坑	TM - 古墳	TP - 陥し穴	UP - 地下式坑
遺物	DP - 土製品	G - ガラス製品	M - 金属製品	Q - 石器・石製品	TP - 拓本記録土器
土層	K - 攪乱				

4 遺構・遺物実測図の作成方法については、次のとおりである。

(1) 遺構全体図は 400 分の 1、各遺構の実測図については原則として 60 分の 1 の縮尺で掲載した。種類や大きさにより異なる場合は、個々に縮尺をスケールで表示した。

(2) 遺物実測図は、原則として 3 分の 1 の縮尺で掲載した。種類や大きさにより異なる場合は、個々に縮尺をスケールで表示した。

(3) 遺構・遺物実測図中の表示は、次のとおりである。

	焼土・赤彩・釉・還元		炉・火床面・繊維土器断面・滓化								
	粘土・炭・炭化材・黒色処理		柱あたり痕・煤								
●	土器	○	土製品	□	石器・石製品	△	金属製品	▲	ガラス	---	硬化面

5 土層観察と遺物における色調の判定は、『新版標準土色帖』（小山正忠・竹原秀雄編著 日本色研事業株式会社）を使用した。また、土層解説中の含有物については、各々総量で記述した。

6 遺構一覧表・遺物観察表の表記については、次のとおりである。

(1) 現存値は ( ) で、推定値は [ ] を付して示した。計測値の単位はm, cm, mm, kg, gで示した。

(2) 遺物観察表の備考の欄は、残存率、写真図版番号及びその他必要と思われる事項を記した。

(3) 遺物番号は各遺跡の通し番号とし、本文、挿図、観察表、写真図版に記した番号と同一とした。

7 竪穴建物跡の「主軸」は、炉・竈を通る軸線とし、主軸方向は、その他の遺構の長軸（径）方向と共に、座標北からみて、どの方向にどれだけ振れているかを角度で表示した（例 N - 10° - E）。

8 今回の報告分で、整理段階での遺構名を変更したものと及び欠番にしたものは以下のとおりである。

清水古墳群

変更 SK 6 → UP 1, SK21 → UP 5, SK24 → UP 4, SK76 → UP 2, TM 7 → 第 1 号塚

欠番 SK62, UP 3

神屋遺跡

変更 SI 4 → SK75, SI 10 → SK37 (SO 4), SK87 → TP 1, SK106 → TP 2, SK179 → 第1号墓坑,  
SK204 → TP 3, SK234 → TP 4, SK304 → TP 8, SK328 → SN 1, SK332 → SB 4 P 6,  
SK336 → SB 4 P 4, SK340 → SN 2, SK352 → SB 4 P 1, SK357 → SB 6 P 5, SK358 → SB 4 P 7,  
SK361 → SB 6 P 6, SK362 → SB 4 P 10, SK367 → SB 6 P 9, SK407 → SI 59 P 1, SK412 → SB 6 P 7,  
SK413 → SO 3, SK414 → SB 6 P 8, SK415 → SO 1, SK416 → SO 2, SK418 → SB 6 P 10,  
SK466 → SI 92 P 2, SK514・534 → 第1号火葬施設, SK516 → UP 1, SK531 → TP 5, SK540 → SB10 P 3,  
SK571 → SI 93 P 3, SK575 → SB 8 P 7, SK584 → SB10 P 2, SK586 → SB11 P 6, SK589 → SB10 P 1,  
SK593 → SB 9 P 9, SK624 → SB10 P 6, SK649 → SB 9 P 3, SK650 → SB11 P 3, SK651 → SB 9 P 6,  
SK657 → SB 9 P 4, SK660 → SB 9 P 8, SK661 → SB11 P 5, SK663 → SB 9 P 7, SK664 → SB 9 P 5,  
SK668 → SB 9 P 2, SK681 → SB11 P 4, SK755 → TP 6, SK756 → SN 3, SK769 → SH 1,  
SK770 → TP 7

欠番 SI 69・74・78・101・103・106・111・127・135・136, SF 2, SK107・127・149・151・153・158・  
177・191・236・237・250・301・319・321・339・356・374・417・429・433・438・440・474・477・  
486・487・488・521・526・559・599・677・700・742・750・751, SM 1, SX 1

# 目 次

- 上 卷 -

序	
例 言	
凡 例	
目 次	
清水古墳群・神屋遺跡・神屋南遺跡の概要	1
第1章 調査経緯	5
第1節 調査に至る経緯	5
第2節 調査経過	5
第2章 位置と環境	7
第1節 位置と地形	7
第2節 歴史的環境	7
第3章 清水古墳群	13
第1節 調査の概要	13
第2節 基本層序	13
第3節 遺構と遺物	15
1 古墳時代の遺構と遺物	15
古墳	15
2 室町時代の遺構と遺物	17
(1) 地下式坑	17
(2) 土坑	66
3 江戸時代の遺構と遺物	67
(1) 塚	67
(2) 土坑	73
4 その他の遺構と遺物	74
(1) 土坑	74
(2) 溝跡	80
(3) ピット群	82
(4) 遺構外出土遺物	85
第4章 神屋遺跡	89
第1節 調査の概要	89
第2節 基本層序	89
第3節 遺構と遺物	90
1 縄文時代の遺構と遺物	90
(1) 竪穴建物跡	90
(2) 陥し穴	92
(3) 土坑	96
2 古墳時代の遺構と遺物	99
(1) 竪穴建物跡	99
(2) 土坑	242

- 中 卷 -

3 奈良時代の遺構と遺物	251
(1) 竪穴建物跡	251
(2) 土坑	299
4 平安時代の遺構と遺物	304
(1) 竪穴建物跡	304
(2) 掘立柱建物跡	450
(3) 大型円形土坑	466
(4) 土坑	483

- 下 卷 -

5 鎌倉・室町時代の遺構と遺物	511
(1) 方形竪穴遺構	511
(2) 地下式坑	512
(3) 火葬施設	514
(4) 粘土貼土坑	515
(5) 土坑	516
6 江戸時代の遺構と遺物	518
(1) 道路跡	518
(2) 土坑	523
7 その他の遺構と遺物	526
(1) 竪穴建物跡	527
(2) 掘立柱建物跡	527
(3) 墓坑	528
(4) 土坑	529
(5) 溝跡	539
(6) 遺構外出土遺物	541
第5章 神屋南遺跡	551
第1節 調査の概要	551
第2節 基本層序	551
第3節 遺構と遺物	552
遺物包含層	552
第6章 まとめ	571
付 章	607
写真図版	PL 1 ~ PL102
抄 録	
付 図	

# しみず 清水古墳群・かみや 神屋遺跡・かみやみなみ 神屋南遺跡の概要

## 遺跡の位置と調査の目的

清水古墳群と神屋遺跡は、稲敷市の中央部に位置し、小野川右岸の標高 27～28 m の台地上に立地しています。神屋南遺跡は、神屋遺跡の南斜面に隣接し、標高 10～27 m の低地から台地の縁辺部にかけて立地しています。



各遺跡の調査は、一般国道 468 号首都圏中央連絡自動車道(圏央道)の建設に伴い、遺跡の内容を図や写真に記録して保存するため、茨城県教育財団が実施しました。調査期間は、清水古墳群が平成 23 年 1 月から 2 月までの 2 か月間、神屋遺跡が平成 23 年 4 月から 8 月まで及び平成 24 年 4 月から平成 25 年 3 月までの 17 か月間、神屋南遺跡が平成 24 年 8 月から平成 25 年 3 月までの 8 か月間です。調査面積は、清水古墳群は 792㎡、神屋遺跡は 11,856㎡、神屋南遺跡は 1,492㎡です。



平成 24 年度神屋遺跡、神屋南遺跡調査区遠景（南から）

## 清水古墳群の調査の内容と結果

調査の結果、古墳時代及び室町時代から江戸時代にかけて断続的に土地利用された遺跡であることが判明しました。

古墳時代の遺構として、周知の古墳である第9号墳の周溝を一部確認しました。室町時代の地下式坑からは、総枚数1,907枚もの古銭が出土しました。出土状況や残されていた紐の分析の結果、古銭はイネのわらを紐状にしたものを古銭の穴に通した、繒銭の状態であったことがわかりました。天井部が崩落した土の上部から出土していることから、埋納したものではなく、窪地に一時的に置かれたと考えられます。塚は、第7号墳として調査しましたが、江戸時代に造営された塚であることが明らかになりました。石塔の刻文から、薬師如来に救いを求めた村人たちが、18世紀後半に造営したことがわかりました。



清水古墳群 第1号塚調査風景



第1号地下式坑 繒銭出土状況

## 神屋遺跡の調査の内容と結果

調査の結果、縄文時代から江戸時代にかけて断続的に土地利用がなされた遺跡であることが判明しました。

縄文時代は、<sup>たてあな</sup>たてあな建物跡2棟や<sup>おとあな</sup>陥し穴8基を確認し、前期と後期の土器片が出土していることから、主に前期や後期に、<sup>しゅうらく</sup>集落や<sup>しゅうりょうば</sup>狩猟場としてこの地が利用されていたと考えられます。

古墳時代は、<sup>たてあな</sup>たてあな建物跡52棟などを確認しました。特に、6世紀中葉から

7世紀前葉にかけての建物跡がまとまって確認され、集落として一つのピークを迎えます。

平安時代は、<sup>ほったてぼしらたてものもと</sup>掘立柱建物跡 56 棟のほかに、<sup>おおがたえんけい ど こう</sup>大型円形土坑 4 基などを確認しました。9 世紀中葉から後葉にかけての<sup>ほったてぼしらたてものもと</sup>掘立柱建物跡を多く確認し、この時期が集落としてのもう一つのピークだったことがわかります。高級品である<sup>りょくとう き かいゆう</sup>緑釉陶器や<sup>かいゆう</sup>灰釉陶器のほか、<sup>とうす えんめんけん</sup>刀子や<sup>ぼくしよ</sup>円面硯、<sup>ぼくしよ</sup>墨書土器などが出土しています。近接する<sup>やくしうしろ</sup>薬師後遺跡からも同様の遺物が出土していることから、<sup>し だ ぐ ん お の こ う</sup>薬師後遺跡とともに、<sup>し だ ぐ ん お の こ う</sup>当時の<sup>し だ ぐ ん お の こ う</sup>信太郡小野郷の中心集落の一つであったと考えられます。<sup>ほったてぼしらたてものもと</sup>掘立柱建物跡は 10 世紀前葉まで機能しており、主に税物を収納するための倉庫として使われていたと考えられます。10 世紀代の遺構である大型円形土坑 4 基からは、<sup>おのがめ</sup>人面墨書土器、<sup>おのがめ</sup>須恵器の大甕、炭化材、馬骨、そして<sup>ひ の し</sup>県内初の出土となる<sup>ひ の し</sup>火熨斗（古代のアイロン）といった、特徴的な遺物が出土しています。平安時代の火熨斗は、全国でも 11 例目であるとともに、破損がほとんどない状態で出土しており、大変貴重なものです。これら 4 基の大型円形土坑においては、遺物の出土状況や遺構の形状などから、<sup>さいし</sup>何らかの<sup>さいし</sup>祭祀が行われたと考えられます。このほか、<sup>ぼうすいしゃ</sup>紡錘車が多数出土しており、集落では、当時の税である布を作るため、糸の生産を行っていたと考えられます。

鎌倉・室町時代の遺構では、<sup>ほうけいたてあない こう</sup>方形<sup>ほうけいたてあない こう</sup>掘立柱遺構や<sup>か そう し せつ</sup>地下式坑、<sup>か そう し せつ</sup>火葬施設などを確認しました。火葬施設からは骨片を検出しています。薬師後遺跡においても同じ



神屋遺跡D区 調査状況



第2号大型円形土坑 遺物出土状況



く火葬施設を確認していることから、当遺跡を含む広い範囲に墓域<sup>ぼいき</sup>が点在していた可能性があります。

江戸時代の遺構では、道路跡1条を確認しました。磁器<sup>じき</sup>や煙管<sup>きせる</sup>の破片から、17～18世紀代に使用されていたとみられます。東側に隣接して現在も南北に道路が走っており、近くの道標<sup>どうりょう</sup>が19世紀前半に造られていることから、当遺跡で確認した道路跡が19世紀初めにやや東側にずれて、今日も現道として使用されているものとみられます。



出土した火熨斗



出土した墨書土器

### 神屋南遺跡の調査の内容と結果

調査の結果、遺物包含層<sup>いぶつほうがんそう</sup>から、北斜面上に隣接する神屋遺跡と同時期の遺物が多数出土し、神屋遺跡から遺物が流れ込むか投げ込まれるなどして包含層が形成されたことが判明しました。堆積土<sup>たいせきど</sup>は還元化<sup>かんげんか</sup>しており、水分を多く含んでいることから、古代においては、遺物包含層は水没していたと想定できます。



神屋南遺跡 調査風景



第1号遺物包含層 出土土器

# 第1章 調査経緯

## 第1節 調査に至る経緯

国土交通省関東地方整備局常総国道事務所は、首都圏へのアクセスを円滑にするために、一般国道468号首都圏中央連絡自動車道の整備を進めている。

平成16年9月29日、国土交通省関東地方整備局常総国道事務所長は、茨城県教育委員会教育長あてに、一般国道468号首都圏中央連絡自動車道建設事業地内における埋蔵文化財の所在の有無及びその取り扱いについて照会した。これを受けて茨城県教育委員会は、平成17年3月8日に現地踏査を実施し、清水古墳群は平成22年7月13～15日に、神屋遺跡は平成22年7月13～15日及び平成24年1月17・18日に、神屋南遺跡については平成23年3月1～3日に試掘調査を実施し、遺跡の所在を確認した。茨城県教育委員会教育長は、清水古墳群については平成22年8月17日に、神屋遺跡については平成22年8月17日及び平成24年2月8日に、神屋南遺跡については平成23年3月25日に、国土交通省関東地方整備局常総国道事務所長あてに、事業地内に遺跡が所在すること及びその取り扱いについて別途協議が必要である旨を回答した。

国土交通省関東地方整備局常総国道事務所長は、茨城県教育委員会教育長あてに、清水古墳群については平成22年11月17日に、神屋遺跡については平成22年11月17日及び平成24年2月17日に、神屋南遺跡については平成24年2月17日に、文化財保護法第94条に基づき、土木工事等のための埋蔵文化財包蔵地の発掘について通知した。茨城県教育委員会教育長は、現状保存が困難であることから、記録保存のための発掘調査が必要であると決定し、清水古墳群については平成22年11月24日に、神屋遺跡については平成22年11月24日及び平成24年2月21日に、神屋南遺跡については平成24年2月21日に、国土交通省関東地方整備局常総国道事務所長あてに、工事着手前にそれぞれ発掘調査を実施するよう通知した。

国土交通省関東地方整備局常総国道事務所長は、茨城県教育委員会教育長あてに、清水古墳群については平成22年11月26日に、神屋遺跡については平成23年2月21日及び平成24年2月23日に、神屋南遺跡については平成24年2月23日に、一般国道468号首都圏中央連絡自動車道建設事業に係る埋蔵文化財発掘調査の実施について協議書を提出した。茨城県教育委員会教育長は、国土交通省関東地方整備局常総国道事務所長あてに、清水古墳群については平成22年11月26日に、神屋遺跡については平成23年2月24日及び平成24年2月24日に、神屋南遺跡については平成24年2月24日に、各遺跡について発掘調査の範囲及び面積等について回答した。また、調査機関として財団法人茨城県教育財団（平成24年4月から公益財団法人茨城県教育財団）を紹介した。

財団法人茨城県教育財団は、国土交通省関東地方整備局常総国道事務所長から埋蔵文化財発掘調査事業について委託を受け、清水古墳群は平成23年1月1日から2月28日まで、神屋遺跡は平成23年4月1日から8月31日及び平成24年4月6日から平成25年3月31日まで、神屋南遺跡は平成24年8月1日から平成25年3月31日まで、それぞれ発掘調査を実施した。

## 第2節 調査経過

清水古墳群の調査は、平成23年1月1日から2月28日までの2か月間、神屋遺跡の調査は、平成23年4

月1日から8月31日の5か月間と平成24年4月6日から平成25年3月31日までの12か月間、神屋南遺跡の調査は、平成24年8月1日から平成25年3月31日までの8か月間にわたって実施した。以下、その概要を表で記載する。

平成22年度 清水古墳群

工程	期間	
	1月	2月
調査準備 土除確認	■	
遺構調査	■	■
遺物洗浄 写真整理	■	■
撤収		■

平成23年度 神屋遺跡

工程	期間				
	4月	5月	6月	7月	8月
調査準備 土除確認	■				
遺構調査		■	■	■	■
遺物洗浄 写真整理		■	■	■	■
撤収					■

平成24年度 神屋遺跡

工程	期間											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
調査準備 土除確認	■	■	■									
遺構調査			■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
遺物洗浄 写真整理		■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
撤収												■

平成24年度 神屋南遺跡

工程	期間							
	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
調査準備 土除確認	■	■		■		■		
遺構調査			■	■	■	■	■	
遺物洗浄 写真整理		■	■	■	■	■	■	■
撤収								■

## 第2章 位置と環境

### 第1節 位置と地形

清水古墳群は茨城県稲敷市大字清水字神屋 884 番地ほかに、神屋遺跡は同市大字清水字神屋 800 番地ほかに、神屋南遺跡は同市大字清水字入谷 427 番地 2 ほかに所在している。

遺跡が所在する稲敷市は、茨城県の南部に位置し、北は霞ヶ浦南岸に面し、東は横利根川、南は利根川を挟んで千葉県と境を接している。地形は、稲敷台地と呼ばれる標高 20～30 m の洪積台地と、小野川を含む霞ヶ浦水系と利根川水系による沖積低地からなっている。これらの水系に挟まれた台地は、北西方向のつくば市から続く稲敷台地の最南東端にあたる。市域の稲敷台地は、小野川右岸の神宮寺台地と左岸の江戸崎台地に分かれ、いずれの台地上もごく緩やかな起伏をもち、縁辺部は多数の谷津が複雑に入り組み、樹枝状に開析されている。市域の南西部から流入して、北に向きを変えて流れる小野川は、北東部の霞ヶ浦「江戸崎入り」に注いでいる。

稲敷台地の地層は、第四紀洪積世古東京湾時代に堆積した成田層が基盤となり、下部から上部にかけて成田層下部、成田層上部、竜ヶ崎砂礫層、常総粘土層、関東ローム層、表土層の順に堆積している。堆積状況は、水平かつ単調である。

清水古墳群と神屋遺跡は、小野川右岸の神宮寺台地の南部に位置し、台地の南西部から樹枝状に入り込んだ利根川水系の谷津に挟まれた標高 27～28 m の舌状台地上に、神屋南遺跡は、標高 10～27 m の低地から台地縁辺部に立地している。遺跡の調査前の現況は畑地、山林、及び湿地である。

### 第2節 歴史的環境

当遺跡群の所在する地域は、台地、低地、河川、湖沼と変化に富んだ自然環境を示し、旧石器時代から近世までの遺跡が多数分布している。ここでは、『茨城県遺跡地図』<sup>1)</sup> に登録されている当該地域の主な遺跡を中心に、時代ごとに概観する。

旧石器時代の遺跡は、明確な生活の痕跡に乏しいが、小野川左岸の中峰遺跡<sup>2)</sup> で 5 か所の石器集中地点が調査されており、彫器、ナイフ形石器を含む 359 点の石器が出土している。このほか、同じく小野川左岸の児松遺跡<sup>3)</sup> 〈58〉から尖頭器と細石刃が、小野川右岸の薬師後遺跡<sup>4)</sup> 〈4〉からナイフ形石器と搔器が、それぞれ出土している。

縄文時代になると遺跡数は増加し、霞ヶ浦水系と利根川水系に挟まれた台地上には、前期から晩期の貝塚が多数確認されている。現在、国の史跡に指定されている広畑貝塚<sup>5)</sup> や、獣骨製のヤスがタイの頭骨に突き刺さった状態で出土した椎塚貝塚<sup>6)</sup> 〈12〉など、著名な貝塚も少なくない。また、このほかにも楯の台古墳群<sup>7)</sup>・思川遺跡<sup>8)</sup> で早期の炉穴、豆薬師北遺跡<sup>9)</sup> で早期から前期・晩期の竪穴建物跡、中佐倉貝塚<sup>10)</sup> で前期の竪穴建物跡と地点貝塚、柏木遺跡<sup>11)</sup> 〈24〉・薬師後遺跡で前期の陥し穴、中峰遺跡で中期の土坑、児松遺跡で中期の竪穴建物跡と中期から後期の遺物包含層が、それぞれ調査されている。

弥生時代の遺跡は数少ないが、近年、後期集落の調査例が増加している。小野川左岸では堂ノ上遺跡<sup>12)</sup> 〈57〉、沼里川左岸では塚本遺跡<sup>13)</sup>、霞ヶ浦「江戸崎入り」左岸では楯の台古墳群、大日山古墳群<sup>14)</sup>、思川遺跡、秋

奈良平遺跡<sup>15)</sup>で、竪穴建物跡がそれぞれ調査されている。この内、大日山古墳群は、土器の様相から集落形成の時期が中期後葉まで遡ることが判明している。また、思川久保遺跡<sup>16)</sup>でも当該期の建物跡が確認されている。

古墳時代の遺跡は、台地上や台地縁辺部に集落跡と古墳が隣接するように点在している。小野川左岸では、中峰遺跡で前・後期の竪穴建物跡が調査されているほか、堂ノ上遺跡で中期36棟、後期88棟の建物跡が調査され、竈導入期の集落の様相が明らかになっている。小野川右岸では、当遺跡群から北西約500mに位置する薬師後遺跡で、後期の竪穴建物跡が108棟調査され、後期の拠点集落の様相が明らかになっている。沼里川左岸の塚本遺跡では、初期竈が付設された竪穴建物跡4棟が、沼里川を挟み塚本遺跡の対岸に位置する豆葉師北遺跡では前期の集落跡が、それぞれ調査されている。霞ヶ浦「江戸崎入り」左岸では、池平遺跡<sup>17)</sup>で前期から後期、大日山古墳群・中佐倉貝塚で中・後期、二の宮貝塚<sup>18)</sup>、思川遺跡、秋平遺跡で後期の集落跡がそれぞれ調査されている。また、楯の台古墳群では前期から後期の集落跡と、後期の古墳群が調査されている。この古墳群は、全長約40mの前方後円墳が主墳で、箱式石棺が確認されている。姫宮古墳群<sup>19)</sup>は、全長約32mと30mの2基の前方後円墳を主墳として、2つの支群が形成されている。水神峯古墳<sup>20)</sup>は、内部赤彩の箱式石棺や武器・馬具などの副葬品から6世紀前葉の築造と考えられている。霞ヶ浦「江戸崎入り」右岸では、柏木遺跡で前・後期の集落跡が調査されている。霞ヶ浦南岸の西原古墳群は、全長約34mの前方後円墳が主墳で、箱式石棺が確認されており、直刀・勾玉が出土している<sup>21)</sup>。前山古墳は、径約30mの円墳で、切石積横穴式石室が確認されている<sup>22)</sup>。利根川左岸の諏訪原古墳群は、円墳だけで構成された古墳群で、箱式石棺が確認されている<sup>23)</sup>。東大沼古墳群は、全長約40mの前方後円墳が主墳で、調査された7号墳は、箱式石棺や直刀・鉄鏃などの副葬品から6世紀後葉の築造と考えられている<sup>24)</sup>。このような古墳時代の遺跡分布をみると、前期から中期にかけての急激な変化は認められないが、中期後葉から後期前葉になって新しく形成された集落や築造された古墳が数多く認められる。

奈良・平安時代の当地域は、信太郡に属している。『常陸国風土記』によると、信太郡は東を「信太流海」、南を「榎浦流海」に挟まれており、郡内を「東海大道」が通っていた。その官道沿いには、常陸国最初の駅家「榎浦津」が設置されていた<sup>25)</sup>。また、『倭名類聚抄』によると、信太郡は大野、高来、小野、朝夷、高田、子方、志万、中家、島津、信太、乗浜、稲敷、阿弥、駅家の14郷にわかれていた。当遺跡が所在する清水・椎塚地区は、『新編常陸国誌』によると小野郷内に比定されている<sup>26)</sup>。小野川左岸の下君山廃寺は、当遺跡群から西方約5.5kmに所在する寺院跡で、8世紀前半の重弧文軒平瓦、9世紀前半の国分寺系素縁複弁十葉花文軒丸瓦及び均整唐草文軒平瓦が出土しており、信太郡の郡寺跡と推定されている<sup>27)</sup>。小野川右岸の薬師後遺跡では、竪穴建物跡34棟、掘立柱建物跡23棟が調査されており、円面硯や灰釉陶器など有力者層の存在を色濃く感じさせる遺物が出土している。沼里川右岸の豆葉師遺跡では9世紀の竪穴建物跡、霞ヶ浦「江戸崎入り」左岸では、秋平遺跡と思川遺跡で8～11世紀、中佐倉遺跡で8・10～11世紀、楯の台古墳群で9世紀、池平遺跡で10世紀の集落跡がそれぞれ調査されており、これらは信太郷内の村落に比定されている。霞ヶ浦「江戸崎入り」右岸では、柏木遺跡で8～10世紀の掘立柱建物を伴う集落跡が調査されており、高田郷内の村落に比定されている。また、当遺跡群から東方約4.5kmに所在する幸田遺跡・幸田台遺跡は、8～10世紀の掘立柱建物を伴う集落跡で、浄瓶、蓮華文が施された紡錘車や「賢證」・「新安」・「神屋」・「寺」と記された墨書土器が出土しており、高田郷内での村落内寺院を有する集落と考えられている<sup>28)</sup>。このような奈良・平安時代の遺跡分布をみると、古墳時代後期から継続する集落と、奈良・平安時代になって新しく形成された集落がそれぞれ認められるが、いずれの集落も11世紀後半以降の様相については不明な部分が多い。

平安時代末期には古代の郡の解体が進み、信太郡内も小野川を挟んで東西に分かれ、東は東条庄、西には信

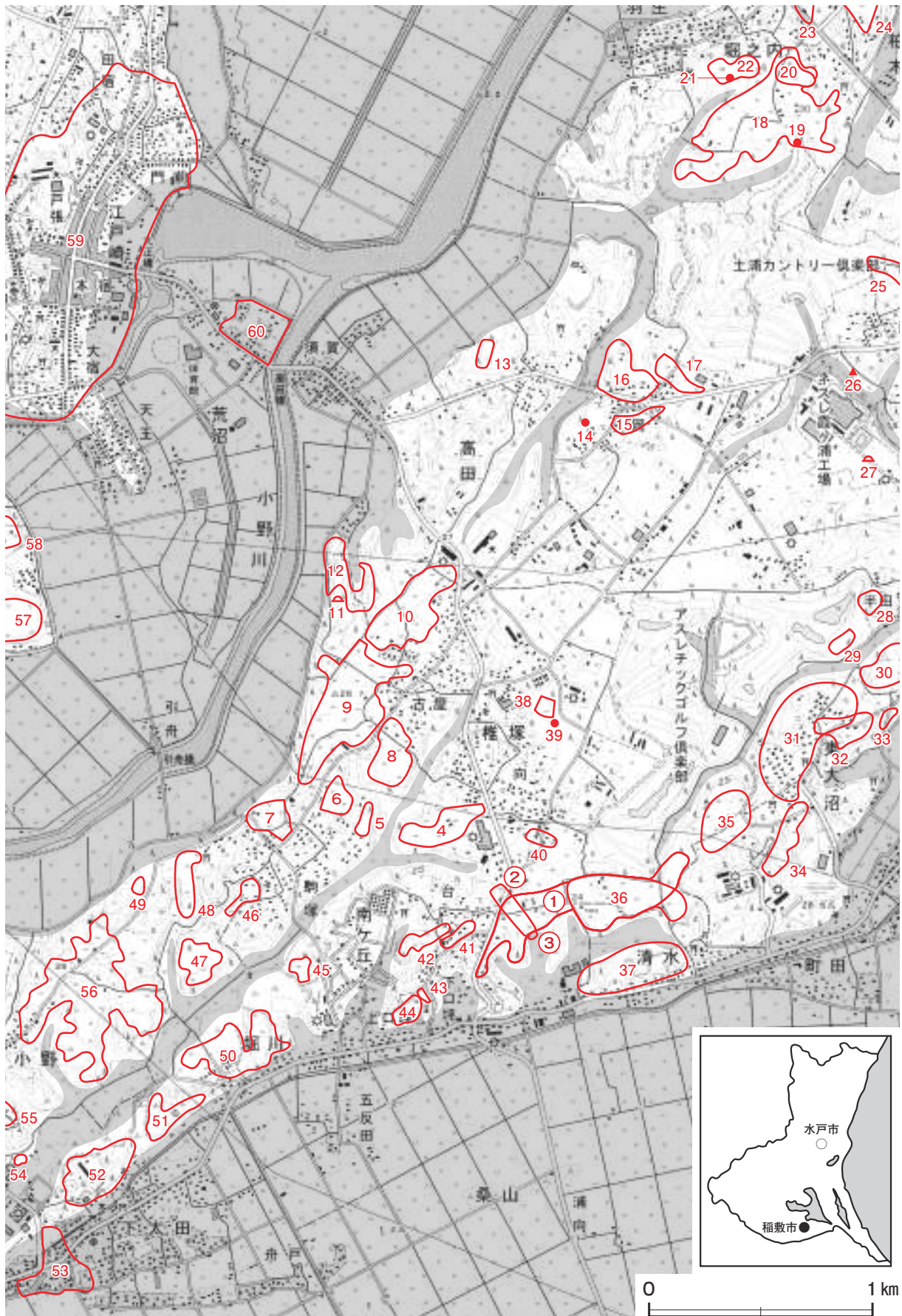
太庄がそれぞれ立庄され、中世へとつながっていく。南北朝時代末期になると、関東管領上杉氏被官の土岐原氏が信太庄惣政所として当地域に移住している。小野川左岸の江戸崎城跡〈59〉は土岐原（土岐）氏の居館跡で、その支配は天正18年（1590）の佐竹氏による常陸国統一まで約200年続いた。中世の城館遺跡としては、利根川左岸の東条城跡〈52〉、霞ヶ浦南岸の神宮寺城跡、小野川左岸の羽賀城跡、御城遺跡〈60〉などが知られている。その他、薬師後遺跡で地下式坑1基、方形竪穴遺構7基、火葬土坑5基、中峰遺跡で地下式坑4基、火葬土坑3基がそれぞれ調査されている。

近世初期、佐竹義宣は江戸崎城に弟芦名盛重を配して領国経営に当たったが、慶長7年（1602）に秋田へ国替えとなる。その後、青山忠俊が入部して江戸崎藩が成立するが、同15年（1610）に移封されて廃藩となる。元和5年（1619）には丹羽長重が入部して再び立藩するが、同8年（1622）に移封されて再び廃藩となり、江戸崎城は廃城になったと言われている<sup>29)</sup>。その他、大日山古墳群で大日塚、迎山塚〈27〉で優婆神塚、十三塚で十三塚がそれぞれ調査されている。

※文中の〈 〉内の番号は、第1図及び表1の該当番号と同じである。

#### 註

- 1) 茨城県教育庁文化課編『茨城県遺跡地図』茨城県教育委員会 2001年3月
- 2) 本橋弘巳「中峰遺跡 児松遺跡 一般国道468号線首都圏中央連絡自動車道新設工事地内埋蔵文化財調査報告書」『茨城県教育財団文化財調査報告』第286集 2008年3月
- 3) 註2)に同じ
- 4) a 成島一也 大関武 齋藤和浩 鹿島直樹 早川麗司「薬師後遺跡 一般国道468号首都圏中央連絡自動車道新設事業地内埋蔵文化財調査報告書」『茨城県教育財団文化財調査報告』第308集 2009年3月  
b 大久保隆史「薬師後遺跡 一般国道468号首都圏中央連絡自動車道新設事業地内埋蔵文化財調査報告書」『茨城県教育財団文化財調査報告』第350集 2012年3月
- 5) 茨城県史編さん原始古代史専門委員会編『茨城県史料 考古資料編-先土器・縄文時代-』茨城県 1979年3月
- 6) 註5)に同じ
- 7) 間宮政光『桶の台古墳群 第2・3次発掘調査報告書』江戸崎町教育委員会 2001年3月
- 8) 鈴木美治「一般県道新川江戸崎線道路改良工事地内埋蔵文化財調査報告書 二の宮貝塚 大日山古墳群 思川遺跡」『茨城県教育財団文化財調査報告』第65集 1991年3月
- 9) 芳賀友博 小野政美「塚本遺跡 豆薬師北遺跡 一般国道468号首都圏中央連絡自動車道新設事業地内埋蔵文化財調査報告書」『茨城県教育財団文化財調査報告』第310集 2009年3月
- 10) 大賀健「秋平遺跡 池平遺跡 中佐倉貝塚 ザ・インペリアル・ゴルフクラブ建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書」江戸崎町佐倉地区遺跡発掘調査会 1999年11月
- 11) 松浦敏「一般県道新川江戸崎線道路改良工事地内埋蔵文化財調査報告書 柏木古墳群」『茨城県教育財団文化財調査報告』第74集 1992年3月
- 12) 前島直人 作山智彦 早川麗司「堂ノ上遺跡 一般国道468号首都圏中央連絡自動車道新設事業地内埋蔵文化財調査報告書」『茨城県教育財団文化財調査報告』第309集 2009年3月
- 13) 註9)に同じ
- 14) 註8)に同じ
- 15) 註10)に同じ
- 16) 茨城県教育庁文化課編『茨城県遺跡・古墳発掘調査報告書Ⅶ（平成2・3年度）』茨城県教育委員会 1993年3月
- 17) 註10)に同じ
- 18) 註8)に同じ
- 19) 間宮政光「姫宮古墳群1・2号墳・水神峯古墳」江戸崎町教育委員会 2000年10月
- 20) 註19)に同じ
- 21) 茨城県教育庁文化課編『重要報告書Ⅲ』茨城県教育委員会 1993年3月
- 22) 茨城県史編さん原始古代史専門委員会編『茨城県史料 考古資料編 古墳時代』茨城県 1974年2月



第1図 清水古墳群・神屋遺跡・神屋南遺跡周辺遺跡分布図（国土地理院 25,000 分の 1 「江戸崎」）

- 23) 新利根村史編纂委員会編『新利根村史(一)』新利根村 1981年11月  
 24) 森田忠治「東大沼古墳群第7号墳発掘調査報告書」『東町立歴史民俗資料館文化財調査報告』第1集 2000年3月  
 25) 秋本吉徳『風土記(一) 常陸国風土記』講談社 1979年4月  
 26) 中山信名著・栗田寛補訂『宮崎報恩会版 新編常陸国誌』崙書房 1978年12月  
 27) 瓦吹堅『学術調査報告』4 「茨城県における古代瓦の研究」茨城県立歴史館 1994年3月  
 28) 間宮政光『幸田遺跡 幸田台遺跡 東台団地造成に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書』東村教育委員会 1995年3月  
 29) 茨城県教育庁文化課編『重要報告書Ⅱ(城館跡)』茨城県教育委員会 1985年3月

参考文献

- ・茨城県農地部農地計画課『土地分類基本調査 佐原』1988年12月

表1 清水古墳群・神屋遺跡・神屋南遺跡周辺遺跡一覧表

番号	遺跡名	時代							番号	遺跡名	時代						
		旧石器	縄文	弥生	古墳	奈良・平安	鎌倉・室町	江戸			旧石器	縄文	弥生	古墳	奈良・平安	鎌倉・室町	江戸
①	清水古墳群				○		○	○	31	東大沼古墳群				○			
②	神屋遺跡		○		○	○	○	○	32	榊平遺跡		○		○	○		
③	神屋南遺跡		○		○	○	○	○	33	塙下遺跡					○	○	
4	薬師後遺跡	○	○	○	○	○	○	○	34	中台遺跡					○		
5	奥山遺跡		○		○				35	西畑遺跡				○			
6	代遺跡		○		○				36	新畑遺跡		○		○	○		
7	駒塚貝塚		○		○	○			37	清水城跡						○	
8	原平遺跡		○		○	○	○		38	椎塚台遺跡					○		
9	宮前遺跡		○		○	○			39	隠里の塚古墳				○			
10	中畑遺跡		○		○	○			40	椎塚荒久遺跡				○			
11	中峯大日塚							○	○	41	台坪古墳群				○		
12	椎塚貝塚		○						42	台坪遺跡				○	○	○	
13	真福寺遺跡								○	43	上ノ台遺跡				○		
14	青宿古墳		○		○				44	桑山古墳群				○			
15	青宿遺跡		○		○				45	天王台遺跡				○			
16	東条高田城跡							○	46	原屋敷遺跡				○		○	
17	馬場添遺跡		○		○				47	原山遺跡				○			
18	中道遺跡				○	○			48	駒塚台上遺跡		○		○	○		
19	稻荷久保古墳				○				49	大塚山古墳				○			○
20	内道古墳群				○				50	八幡台遺跡		○	○	○	○		
21	人形塚古墳				○				51	秋葉台遺跡				○	○		
22	人形塚遺跡				○				52	東条城跡				○	○	○	
23	柏木古渡古墳群				○				53	上宿遺跡				○			
24	柏木遺跡(柏木古墳群)		○		○	○			54	池遺跡				○			
25	木戸古墳群				○				55	勝ヶ台遺跡		○		○	○		
26	町山穴かまど跡				○	○			56	小野遺跡		○		○	○	○	○
27	迎山塚							○	57	堂ノ上遺跡			○	○	○	○	
28	原遺跡		○	○	○				58	児松遺跡	○	○	○	○		○	○
29	半田古墳群				○				59	江戸崎城跡						○	○
30	宮平遺跡		○		○	○			60	御城遺跡						○	





第2図 清水古墳群・神屋遺跡・神屋南遺跡調査区設定図（稲敷市都市計画図2,500分の1から作成）

## 第3章 清水古墳群

### 第1節 調査の概要

清水古墳群は、稲敷市の中央部に位置し、小野川右岸の標高27～28mの舌状台地上に立地している。調査面積は792㎡で、調査前の現況は畑地・山林である。

調査の結果、古墳1基（古墳時代）、塚1基（江戸時代）、地下式坑4基（室町時代）、土坑92基（室町時代1、江戸時代1、時期不明90）、溝跡4条（時期不明）、ピット群3か所（時期不明）を確認した。

遺物は、遺物収納コンテナ（60×40×20cm）に9箱出土している。主な遺物は、土師器（坏・甕・小形甕・甑）、土師質土器（小皿・内耳鍋・鉢・播鉢・甕）、陶器（小坏・碗・小碗・天目茶碗・蓋・皿・大皿・灯明皿・鉢・播鉢・片口鉢・火鉢・捏鉢・猪口・香炉・瓶・甕・大甕・急須）、磁器（碗・小碗・中碗・蓋・箱蓋・皿・鉢・瓶・徳利・急須）、土製品（土玉・管状土錘・さな）、石器（磨石・紡錘車）、石製品（剣形品・双孔円板）、石塔、金属製品（煙管）、銭貨（貞元通寶・祥符元寶・天聖元寶・景祐元寶・嘉祐元寶・元祐通寶・紹熙元寶・永樂通寶・宣徳通寶）などである。

### 第2節 基本層序

調査区南部の台地上の平坦面（D 4b4区）にテストピットを設定し、基本土層（第3図）の観察を行った。

第1層は、褐色を呈する耕作土である。粘性・締まりともに弱く、層厚は3～40cmである。

第2層は、褐色を呈するソフトローム層である。粘性・締まりとも強く、層厚は2～37cmである。

第3層は、褐色を呈するソフトローム化したハードローム層である。粘性・締まりとも強く、層厚は6～14cmである。

第4層は、褐色を呈するハードローム層である。粘性・締まりとも強く、層厚は30～35cmである。

第5層は、褐色を呈するハードローム層である。黒色微粒子を微量に含み、粘性・締まりとも強く、層厚は20～28cmである。ガラス質微粒子を微量含んでいることから、始良丹沢火山灰（AT）の降灰層と考えられる。

第6層は、褐色を呈するハードローム層である。粘性・締まりとも強く、層厚は4～30cmである。第2黒色帯上部と思われる。

第7層は、褐色を呈するハードローム層である。粘性・締まりとも強く、層厚は10～35cmである。第2黒色帯下部に比定される。この層までが立川ローム層と考えられる。

第8層は、にぶい黄褐色を呈する常総粘土層の直上層である。粘性・締まりとも強く、層厚は0～10cmである。この層までが武蔵野ローム層と考えられる。黄白色微粒子を微量に含んでいる。この含有物は箱根東京軽石層の東京パミス（TP）に比定される。

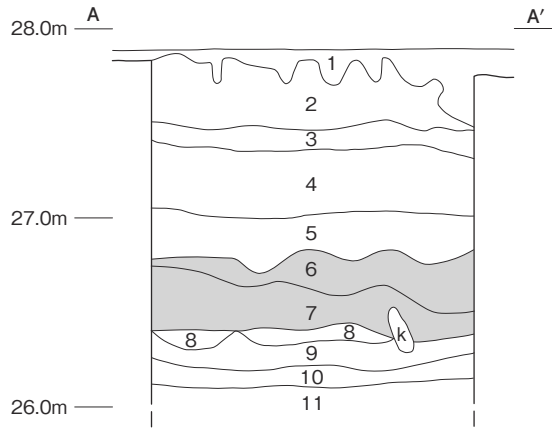
第9層は、にぶい褐色を呈する常総粘土層である。黒色粒子（鉄分）を微量含み、粘性・締まりとも強く、層厚は10～20cmである。

第10層は、にぶい褐色を呈する常総粘土層である。黒色粒子（鉄分）を中量含み、粘性・締まりとも強く、層厚は8～16cmである。

第11層は、褐灰色を呈する常総粘土層である。白色粘土粒子を多量、黒色粒子（鉄分）を中量含み、粘性

締まりとも強い。下部は未掘のため、層厚は不明である。

なお、遺構は、第2層の上面で確認した。



第3図 基本土層図

## 第3節 遺構と遺物

### 1 古墳時代の遺構と遺物

当時代の遺構は、古墳1基を確認した。以下、遺構と遺物について記述する。

古墳

#### 第9号墳（第4図）

**位置** 神屋遺跡調査B区のE3a2～E3f5区、標高28mほどの台地平坦部に位置している。

**確認状況** 稲敷市の分布調査により周知の古墳である。平成23年度に神屋遺跡の発掘調査において検出した。調査前の現況は高まりをもつ畑地である。本調査区からは周溝のみを確認した。

**重複関係** 神屋遺跡の第238号土坑を掘り込み、同じく第4号大型円形土坑、第217・219・223号土坑、第7号溝に掘り込まれている。

**規模と形状** 墳丘部の大半は調査区域外に存在しているため、全体の規模は不明である。周溝の確認状況から円墳を想定すると、墳丘は径24mほどと推定される。今回の調査範囲からは明確な墳形は不明である。

**周溝** 大半が調査区域外へ延びているため、全体の規模は不明であるが、上幅1.98～3.95m、下幅0.33～1.02mで、深さは37～59cmである。断面形は浅いU字形である。

**覆土** 5層に分層できる。周囲から流れ込んだ堆積状況を示していることから、自然堆積と考えられる。

#### 周溝土層解説

- |       |                       |          |                |
|-------|-----------------------|----------|----------------|
| 1 暗褐色 | ローム粒子少量、炭化粒子・粘土粒子微量   | 4 褐色     | ロームブロック少量      |
| 2 黒褐色 | ローム粒子少量               | 5 にぶい黄褐色 | ローム粒子中量、炭化粒子微量 |
| 3 暗褐色 | ロームブロック少量、炭化粒子・白色粒子微量 |          |                |

**遺物出土状況** 土師器片108点（坏類33、小形甕1、甕類72、甑2）、土製品4点（土玉）、石製品1点（紡錘車）が、周溝の覆土中から散在して出土している。Q1は東部の覆土下層から出土していることから、埋没が始まった早い時期に流れ込んだものとみられる。1・DP1～DP4は覆土中からそれぞれ出土しており、埋没する過程で流れ込んだものとみられる。

**所見** 時期は、伴う土器が出土していないことから明確でないが、埴輪片が未確認であることなどから、7世紀代に築造されたと考えられる。

#### 第9号墳出土遺物観察表（第4図）

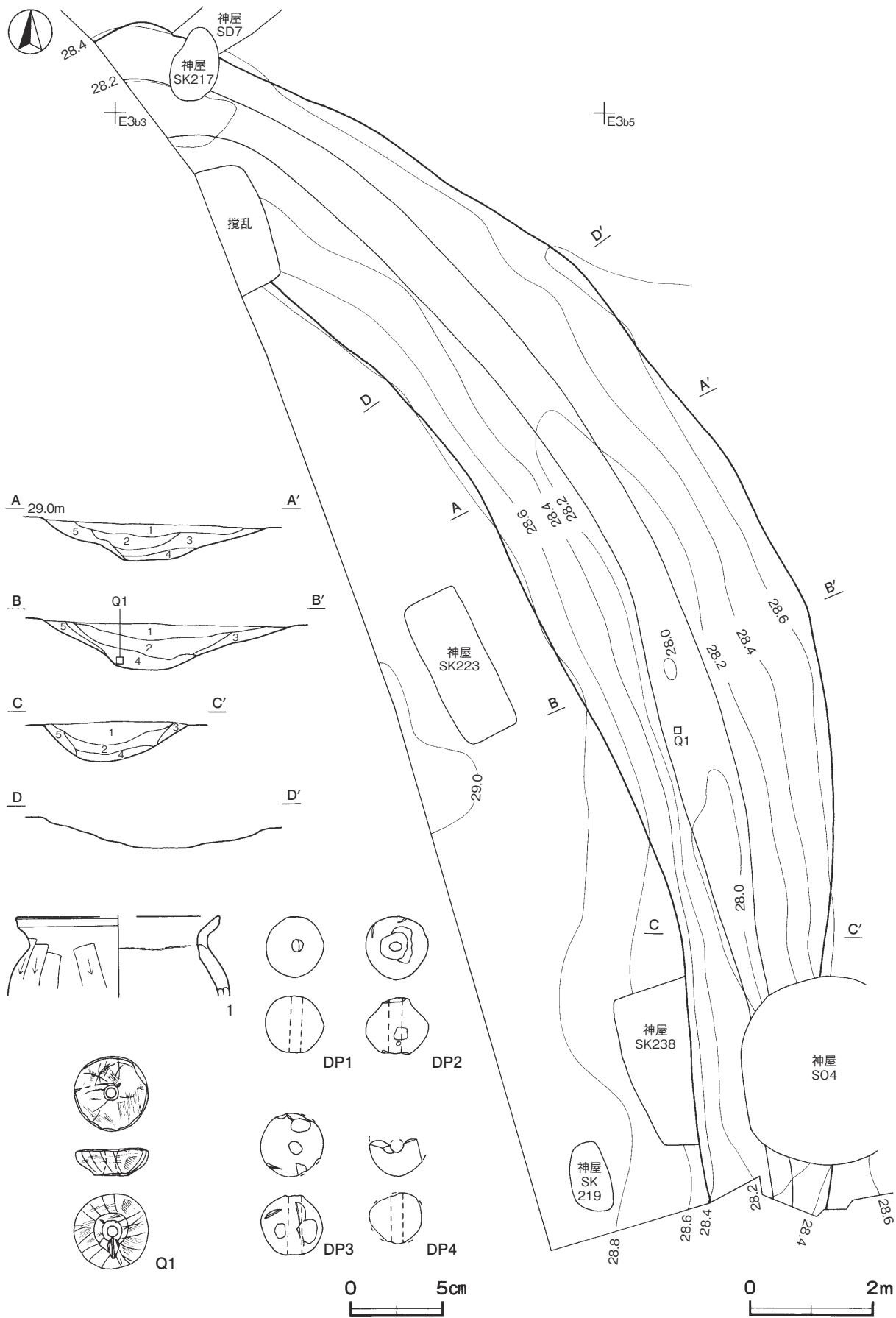
番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考	
1	土師器	小形甕	[10.8]	(4.3)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい橙	普通	口縁部外・内面横ナデ 内面ナデ 輪積痕	体部外面ヘラ削り後ナ	覆土中	10%

番号	器種	径	厚さ	孔径	重量	胎土	色調	特徴	出土位置	備考
DP1	土玉	31～33	3.0	0.6～0.7	32.3	長石・石英	橙	ナデ 一方向からの穿孔	覆土中	
DP2	土玉	3.4	3.0	0.5～0.7	(29.8)	長石・石英	にぶい黄橙	端部欠損 ナデ 一方向からの穿孔	覆土中	
DP3	土玉	3.4	3.2	0.7～0.8	(33.9)	長石・石英	橙	一部欠損 ナデ 一方向からの穿孔	覆土中	
DP4	土玉	[3.1]	2.7	[0.7]	(11.1)	長石・石英	にぶい黄橙	欠損 ナデ 穿孔痕	覆土中	

番号	器種	径	厚さ	孔径	重量	材質	特徴	出土位置	備考
Q1	紡錘車	4.0	1.4	0.5	(34.4)	滑石	端部欠損 全面研磨 上・側面に線刻 一方向からの穿孔	覆土下層	



第4図 第9号墳・出土遺物実測図

## 2 室町時代の遺構と遺物

当時代の遺構は、地下式坑4基、土坑1基を確認した。以下、遺構と遺物について記述する。

### (1) 地下式坑

#### 第1号地下式坑（SK6）（第5～17図）

**位置** 調査区東端のC4g4区、標高28mほどの台地平坦部に位置している。

**軸長・軸方向** 軸長は3.69mで、軸方向はN-53°-Eである。

**竪坑** 主室北東壁の中央部に位置し、奥行1.15m、横幅1.49mの隅丸長方形である。深さは160cmで、壁は外傾して立ち上がっている。底面は平坦で、主室との段差はほとんど認められない。

**主室** 奥行2.33m、横幅3.81mの楕円形で、天井部は遺存していない。壁はほぼ直立し、確認面からの深さは160cmで、底面は平坦である。底面全域で焼土塊や炭化材を確認した。

**ピット** 2か所。P1・P2は深さ8cm・10cmで、竪坑の主室側に位置していることから、出入り口施設に伴うピットと推測できる。

#### ピット土層解説（各ピット共通）

- 1 暗褐色 ロームブロック中量

**覆土** 11層に分層できる。第1～4層は天井部の崩落後、流入した堆積状況を示す自然堆積である。第5～7層はロームブロックを含む天井部の崩落土層である。第8・9層は天井部の崩落以前に竪坑側から流入した堆積状況を示す自然堆積である。第10・11層は焼土や灰の層である。

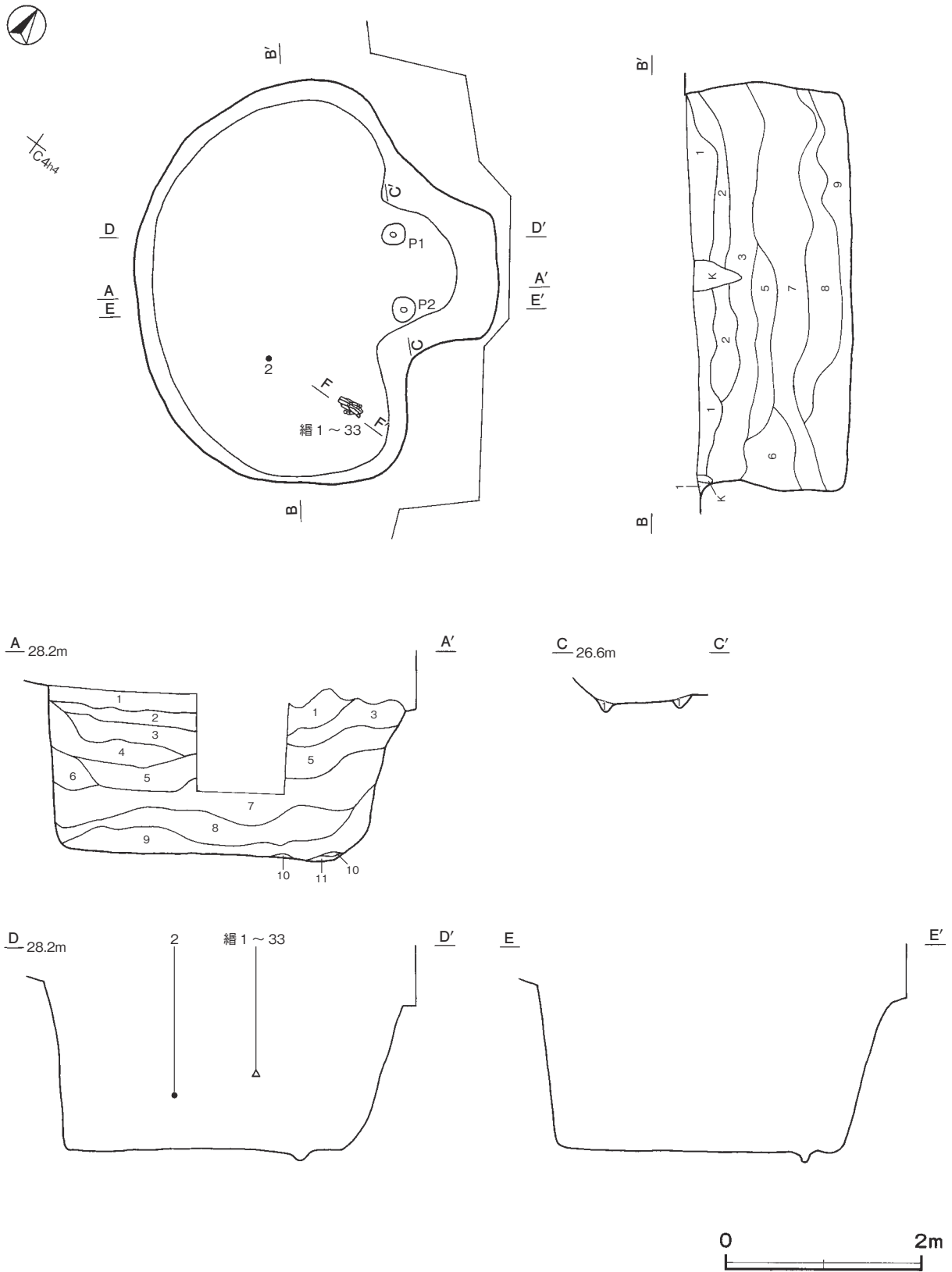
#### 土層解説

- |       |                    |        |                     |
|-------|--------------------|--------|---------------------|
| 1 暗褐色 | ローム粒子少量            | 7 黒褐色  | ロームブロック中量（天井部の崩落土）  |
| 2 黒褐色 | ローム粒子中量            | 8 暗褐色  | ロームブロック少量           |
| 3 暗褐色 | ローム粒子中量            | 9 黒褐色  | ローム粒子少量、焼土粒子・炭化粒子微量 |
| 4 黒褐色 | ロームブロック少量          | 10 赤褐色 | 焼土ブロック多量、炭化物少量      |
| 5 褐色  | ロームブロック多量（天井部の崩落土） | 11 灰褐色 | ローム粒子中量、焼土粒子・炭化粒子微量 |
| 6 明褐色 | ロームブロック多量（天井部の崩落土） |        |                     |

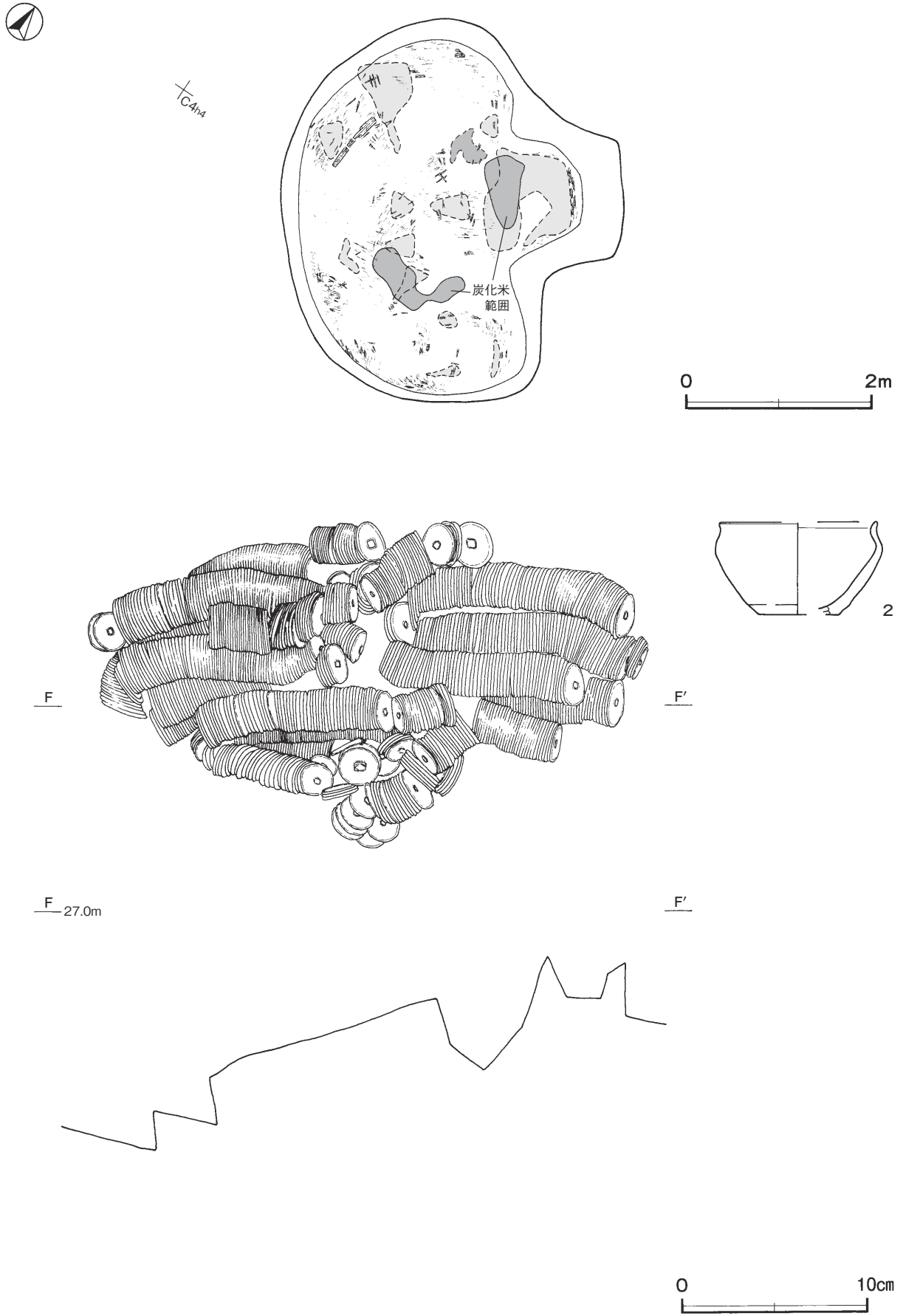
**遺物出土状況** 土師質土器片18点（内耳鍋3、鉢14、甕1）、陶器片6点（天目茶碗3、大皿1、甕1、大甕1）、石製品1点（不明）、鉄滓1点（30.5g）、緞銭33緞（札元重寶5、唐国通寶1、開元通寶82、宋通元寶8、太平通寶16、淳化元寶12、至道元寶18、咸平元寶27、景德元寶30、祥符元寶56、祥符通寶1、天禧通寶25、天聖元寶54、明道元寶10、景祐元寶26、皇宋通寶128、至和元寶12、嘉祐元寶1、嘉祐通寶22、治平元寶26、治平通寶5、熙寧元寶39、元豐通寶146、元祐通寶115、紹聖元寶49、元符通寶16、聖宋元寶49、大觀通寶19、政和通寶67、宣和通寶3、正隆元寶5、大定通寶3、淳熙元寶5、紹熙元寶1、慶元通寶2、嘉泰通寶3、嘉定通寶3、紹定通寶1、淳祐元寶2、皇宋元寶2、大中通寶1、洪武通寶49、永樂通寶694、朝鮮通寶5、宣徳通寶63）、炭化米が出土している。2および緞銭は主室南部の天井部が崩落してできたくぼみから出土している。

**所見** 時期は、出土土器及び銭貨から15世紀代と考えられる。底面の焼土塊や炭化材、炭化米は、本跡を廃絶する際に焼却したものと考えられる。出土した緞銭33緞は、銭貨1,907枚を数える。緞銭は、33本の状態で出土し、上位のものから緞に番号をつけた。緞1は44枚、緞2は10枚、緞3は104枚、緞4は99枚、緞5は103枚、緞6は28枚、緞7は12枚、緞8は104枚、緞9は85枚、緞10は89枚、緞11は97枚、緞12は96枚、緞13は35枚、緞14は59枚、緞15は3枚、緞16は5枚、緞17は2枚、緞18は3枚、緞19は1枚、緞20は29枚、緞21は101枚、緞22は107枚、緞23は97枚、緞24は97枚、緞25は83枚、緞26は5枚、緞27は97枚、緞28は92枚、緞29は97枚、緞30は79枚、緞31は32枚、緞32は7枚、緞33は5枚の状態で出土した。緞2・6・15・16・18・19・26・32は枚数が少ないため、他の緞から切れたものである可能

性が高い。銭貨周辺に付着していた植物を同定分析した結果、銭貨はイネで縹にされ、イネ藁で作られた袋か筵で包まれていたことが明らかになった。このことからこれら縹銭は、本跡の廃絶後、天井が崩落してできた窪みに備蓄目的ではなく、一時的に置かれたものと考えられる。

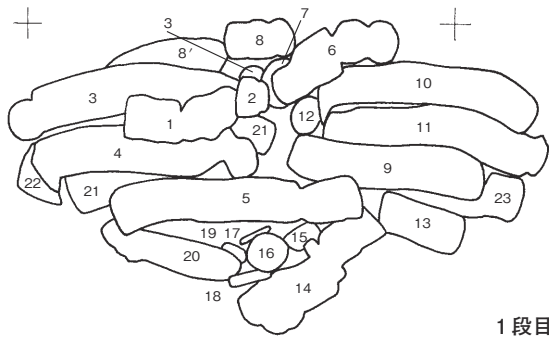


第5図 第1号地下式坑実測図

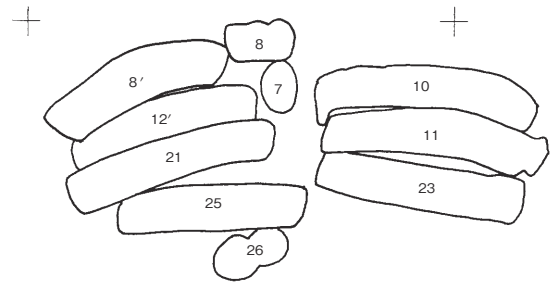


第6図 第1号地下式坑・緡銭出土状況微細・出土遺物実測図

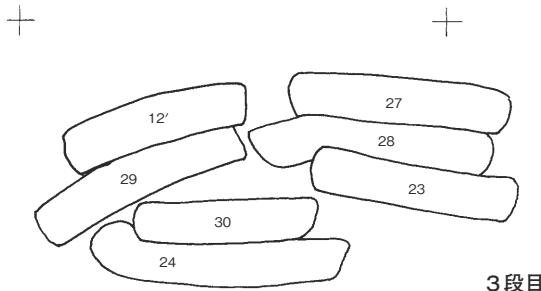




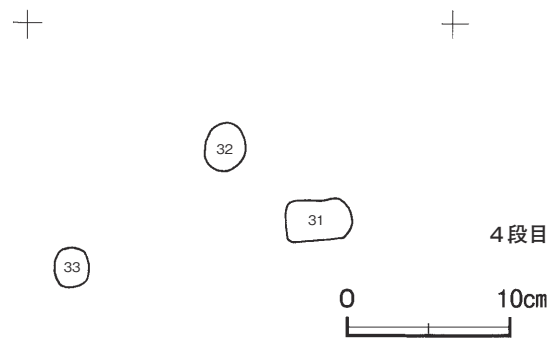
1段目



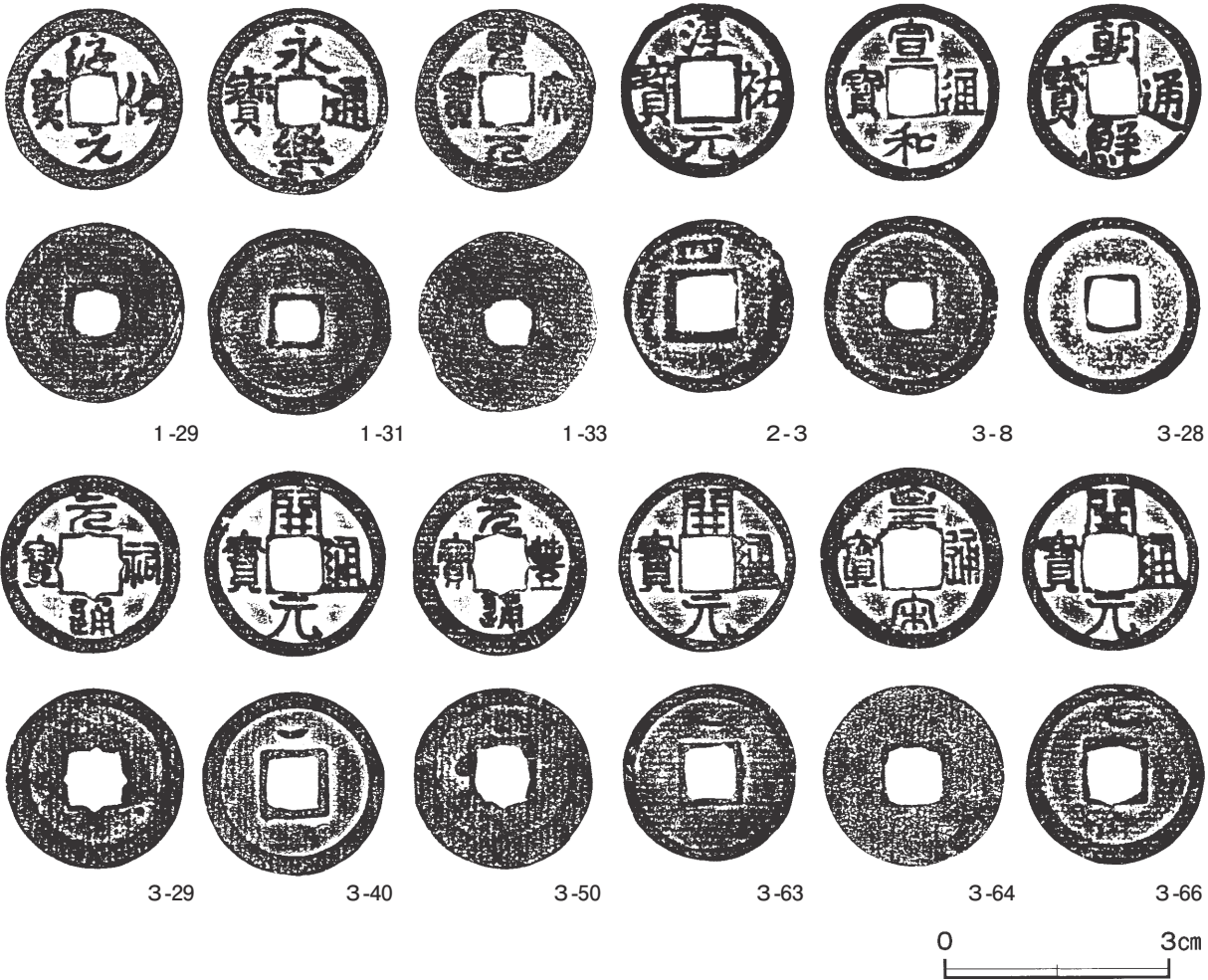
2段目



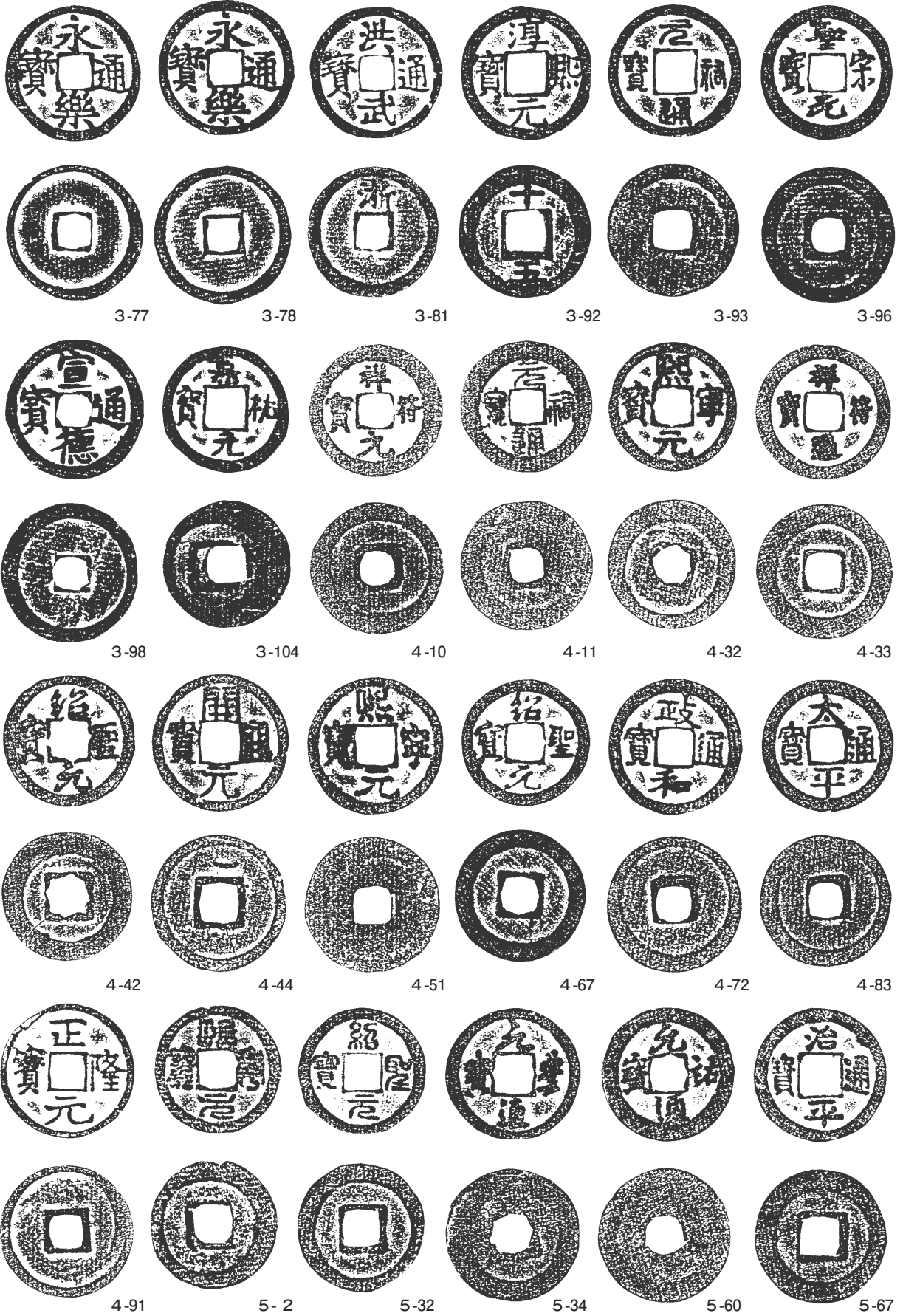
3段目



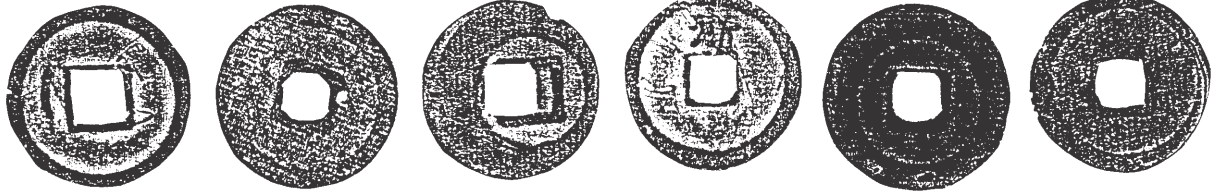
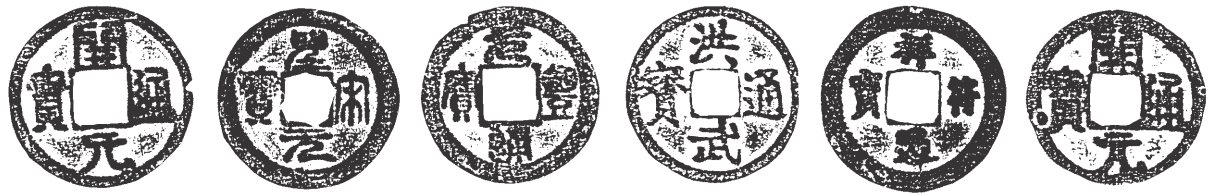
4段目



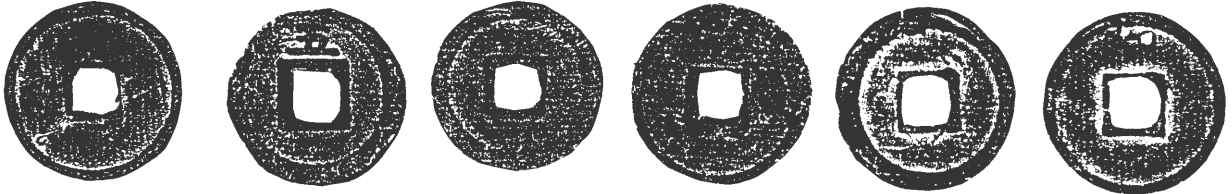
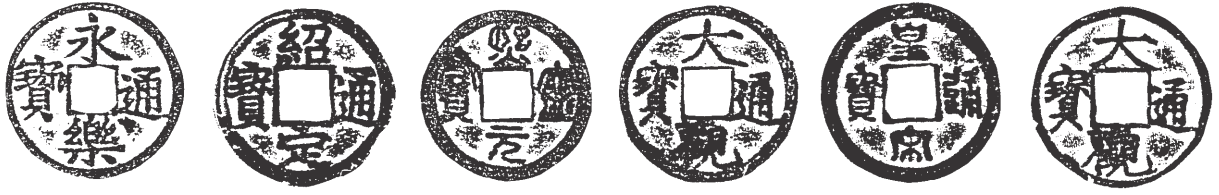
第7図 第1号地下式坑・緡銭出土緡番号・出土遺物実測図



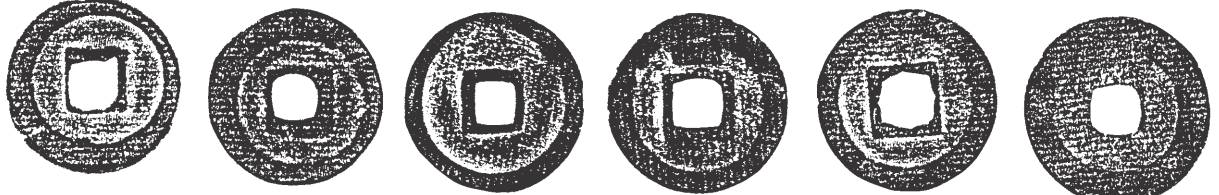
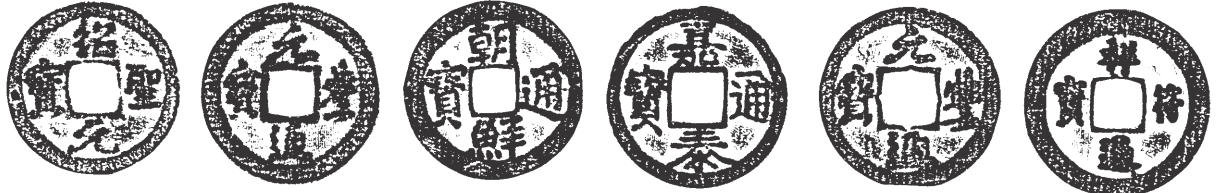
第8図 第1号地下式坑出土遺物実測図(1) [錢貨は原寸大]



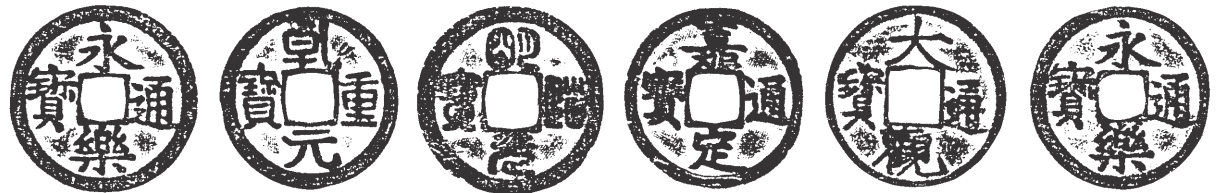
5-76                      5-84                      5-89                      5-98                      6-13                      6-21



6-22                      6-26                      6-27                      6-28                      7- 4                      7- 5

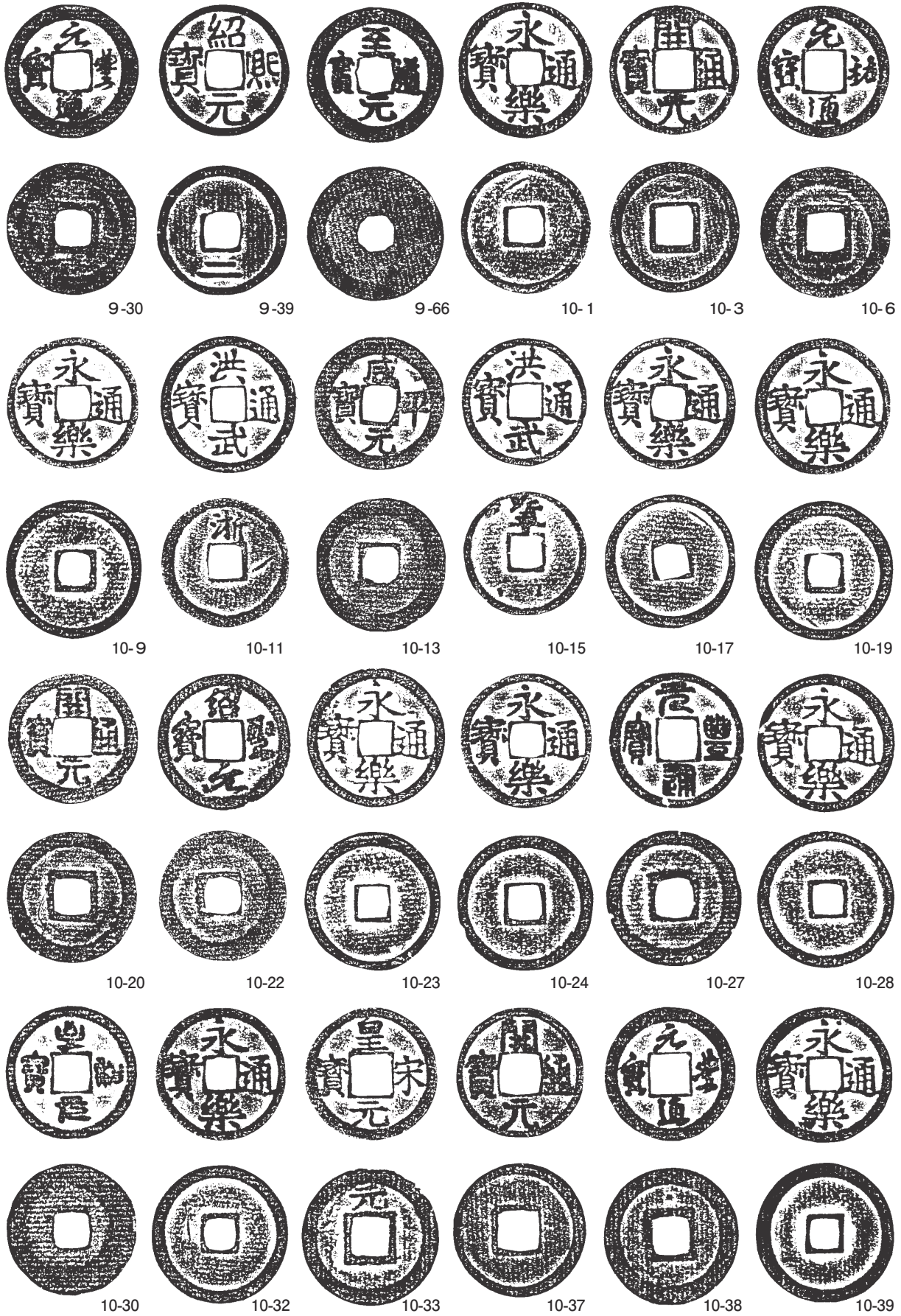


8-10                      8-22                      8- 1                      8- 9                      8-17                      8-27

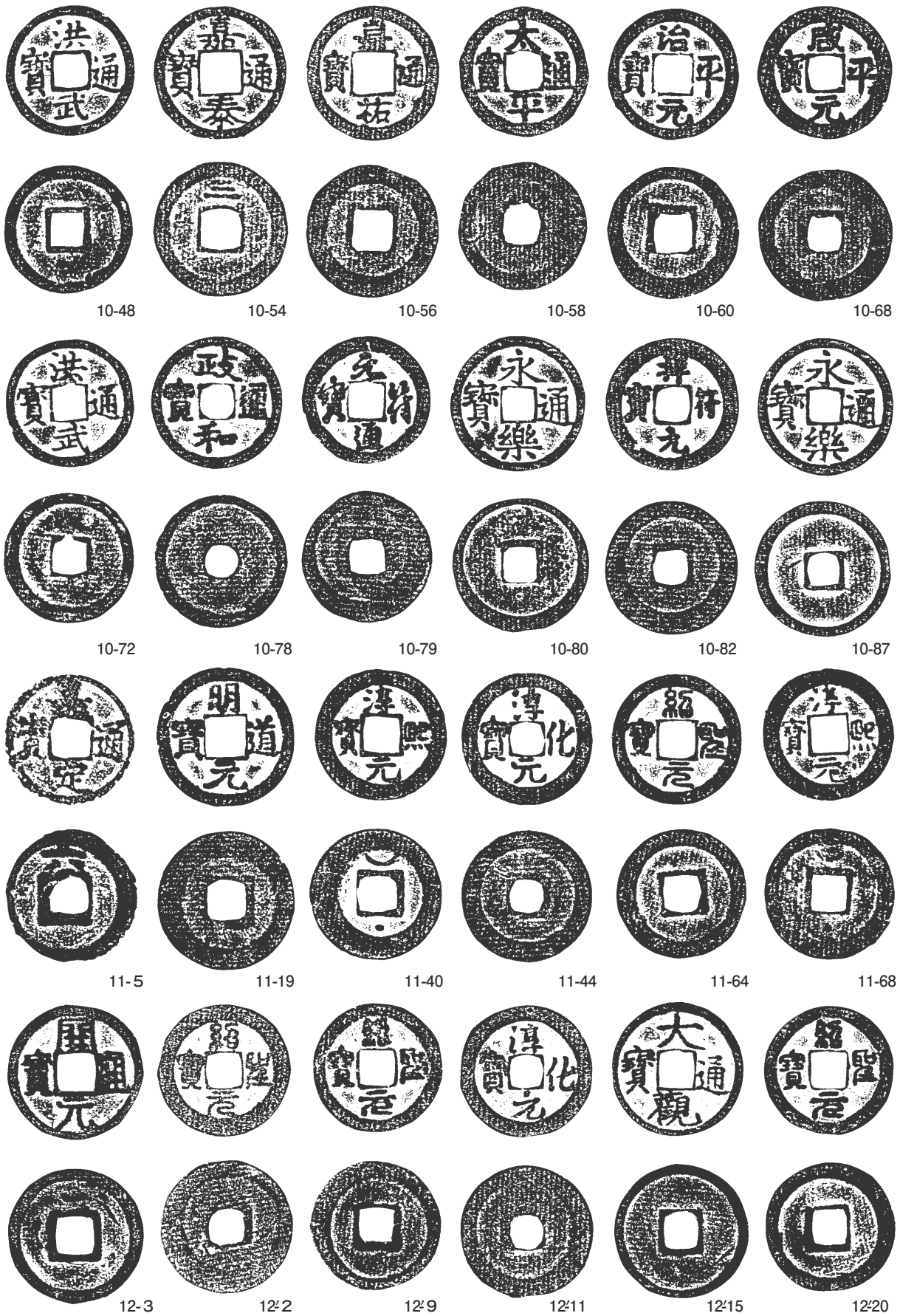


8-28                      8-42                      8-45                      8-46                      9-16                      9-25

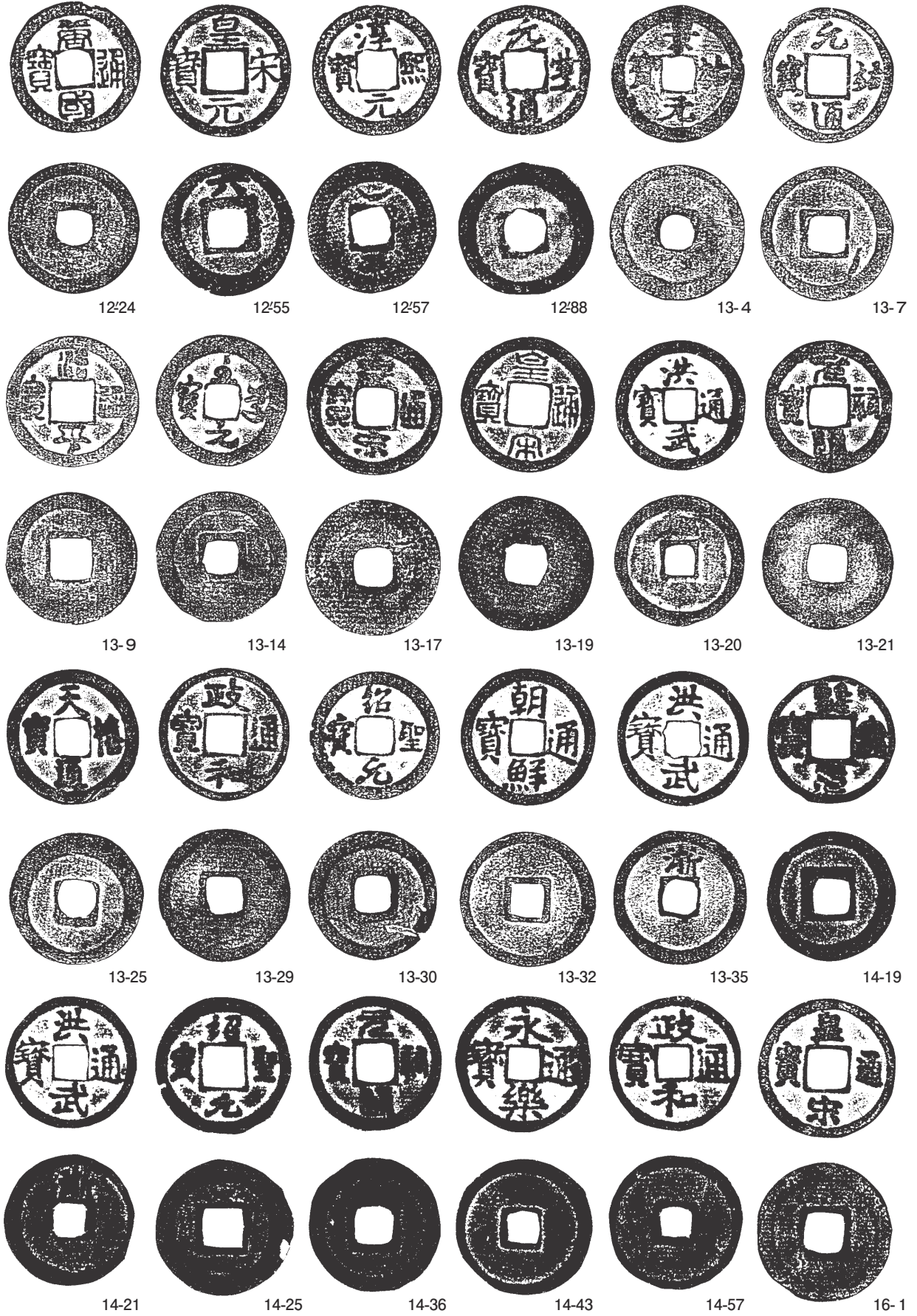
第9図 第1号地下式坑出土遺物実測図(2) [錢貨は原寸大]



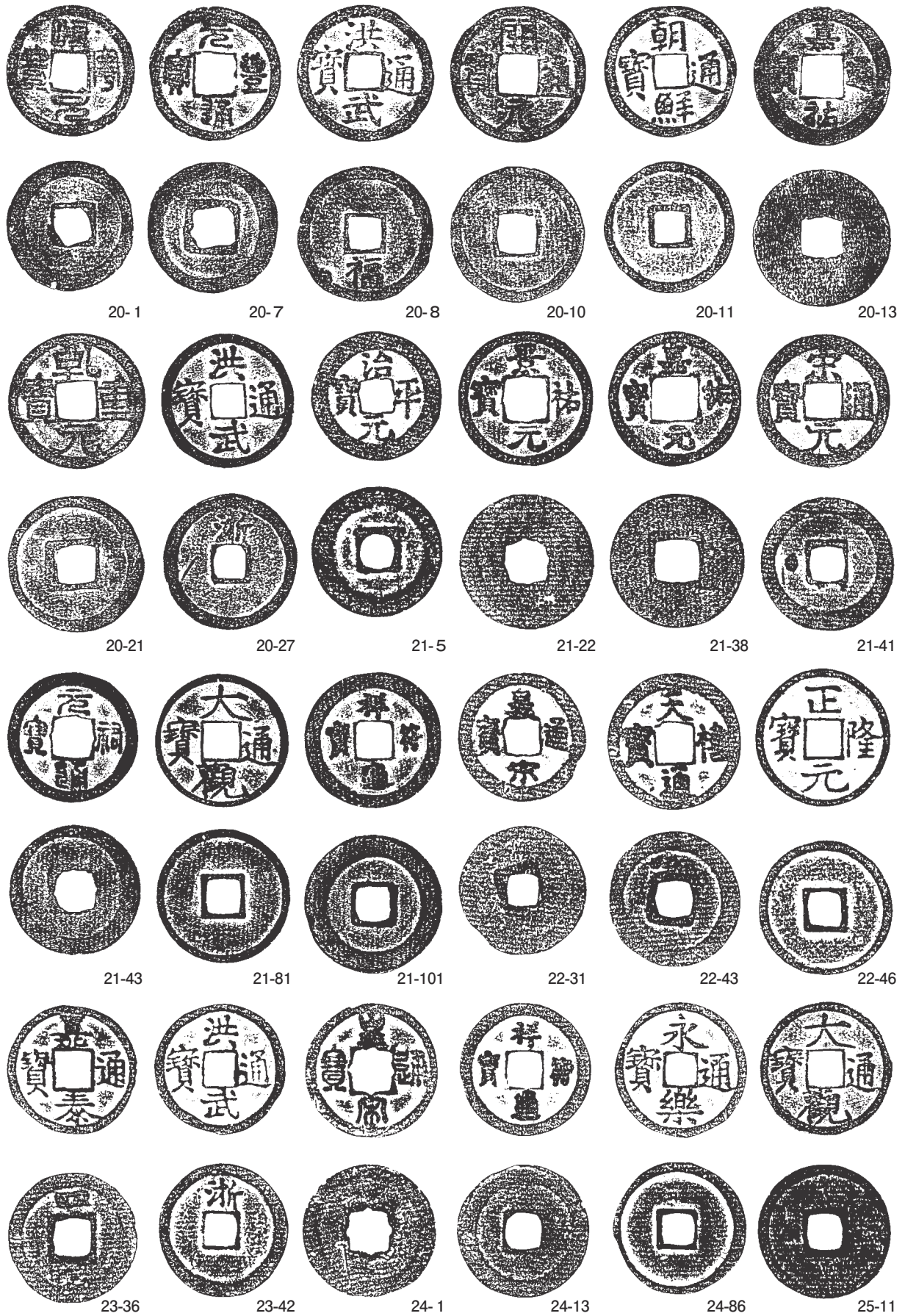
第 10 図 第 1 号地下式坑出土遺物実測図 (3) [錢貨は原寸大]



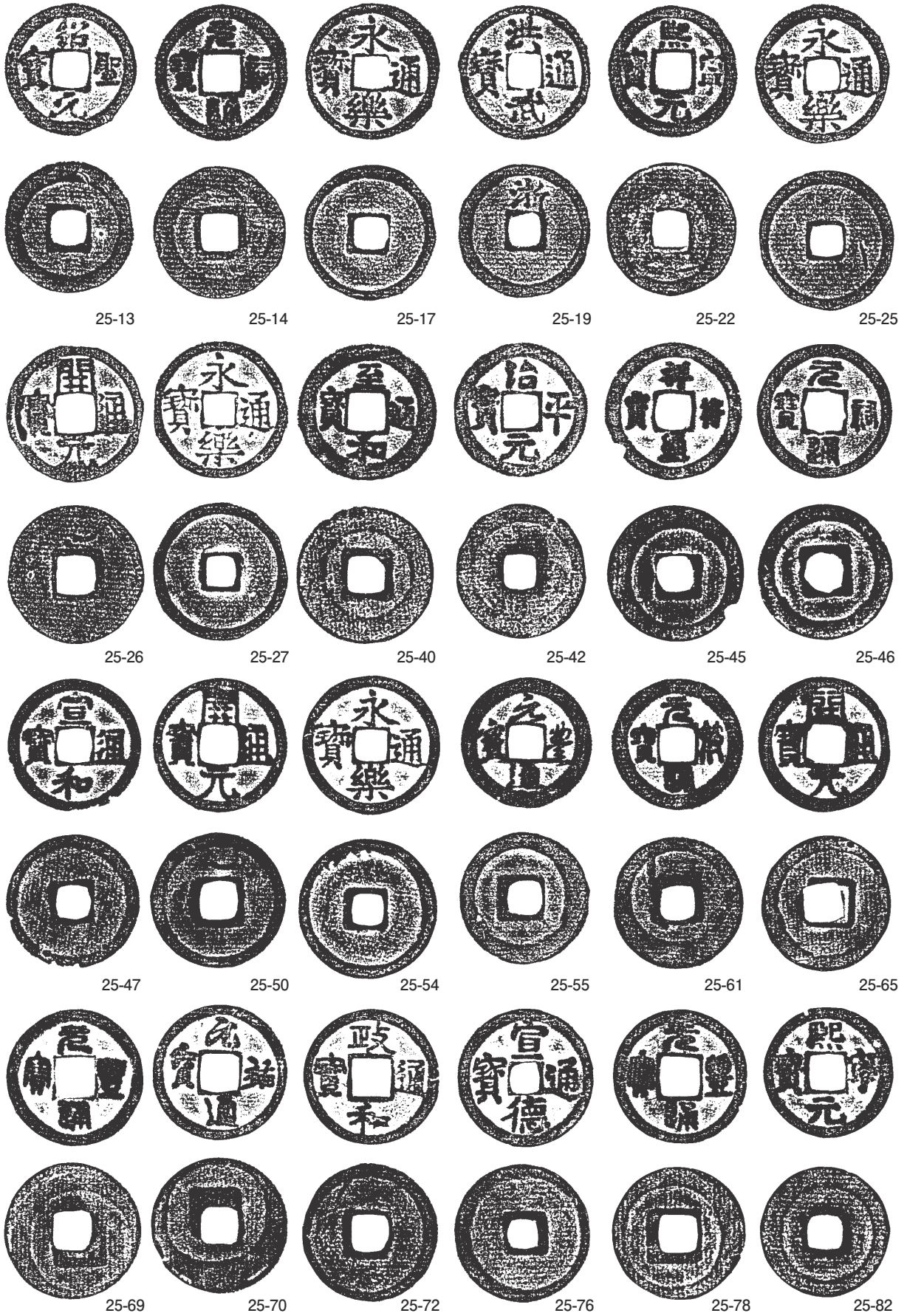
第 11 図 第 1 号地下式坑出土遺物実測図 (4) [錢貨は原寸大]



第 12 図 第 1 号地下式坑出土遺物実測図(5) [錢貨は原寸大]

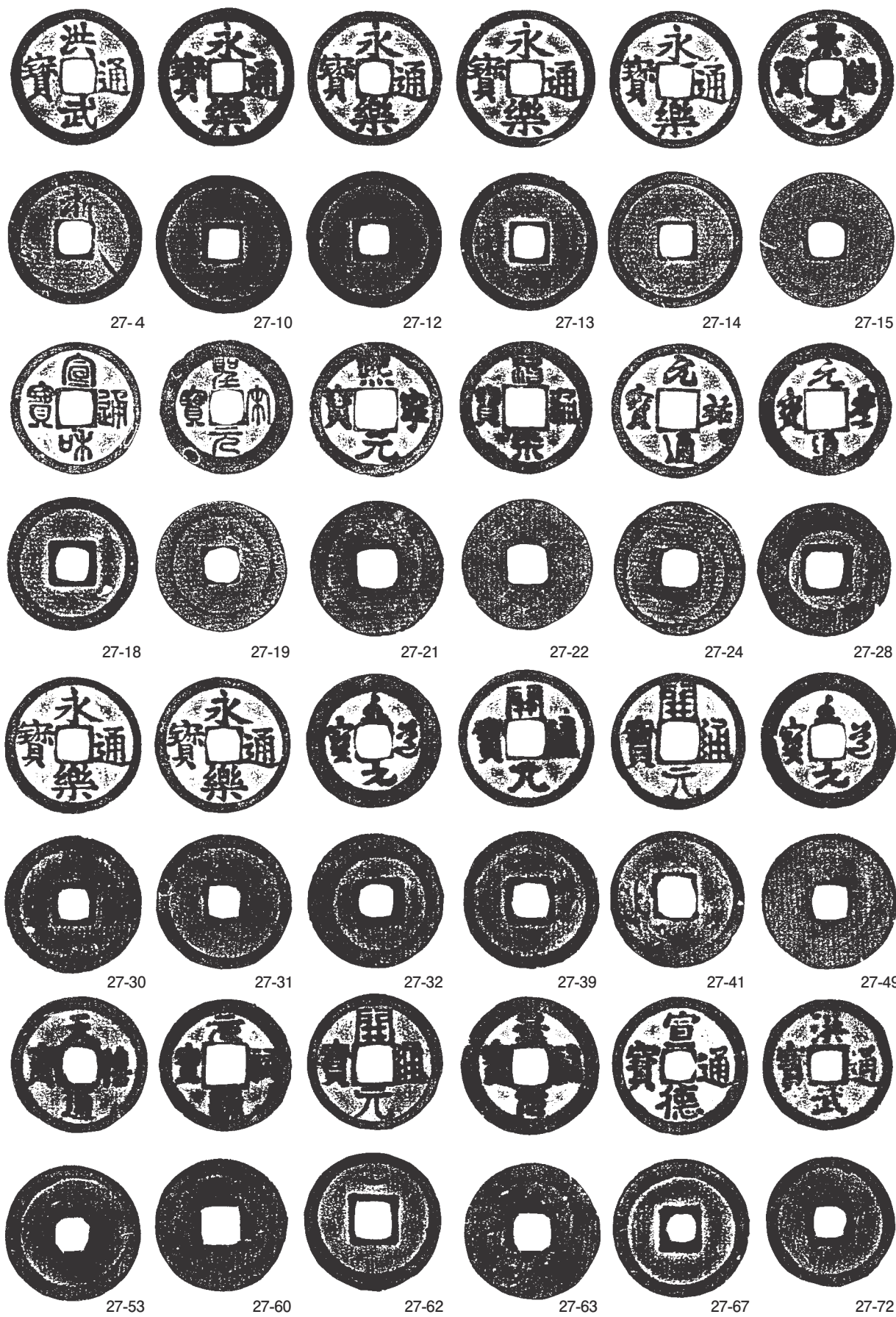


第13図 第1号地下式坑出土遺物実測図(6) [錢貨は原寸大]

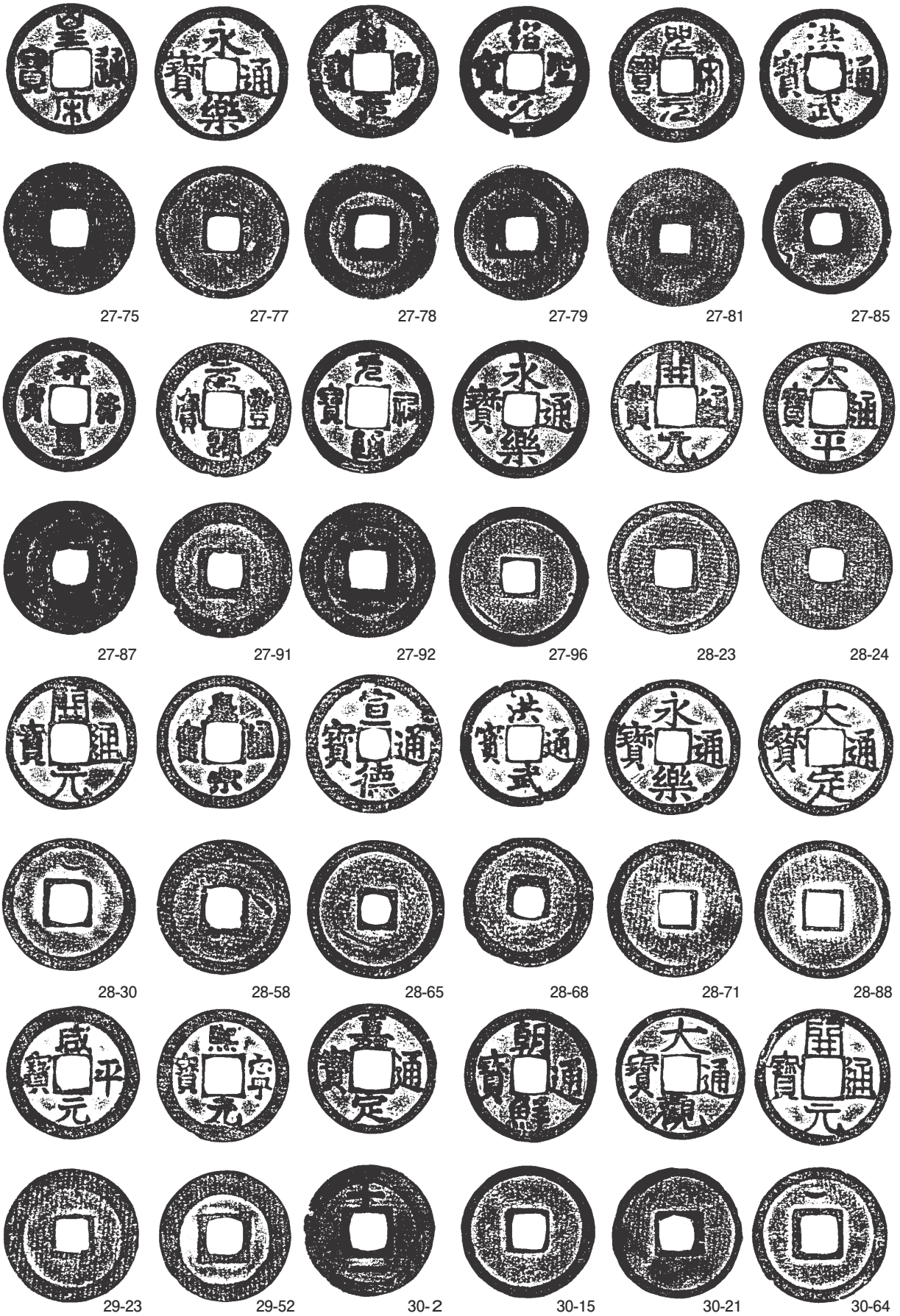


第 14 図 第 1 号地下式坑出土遺物実測図 (7) [錢貨は原寸大]

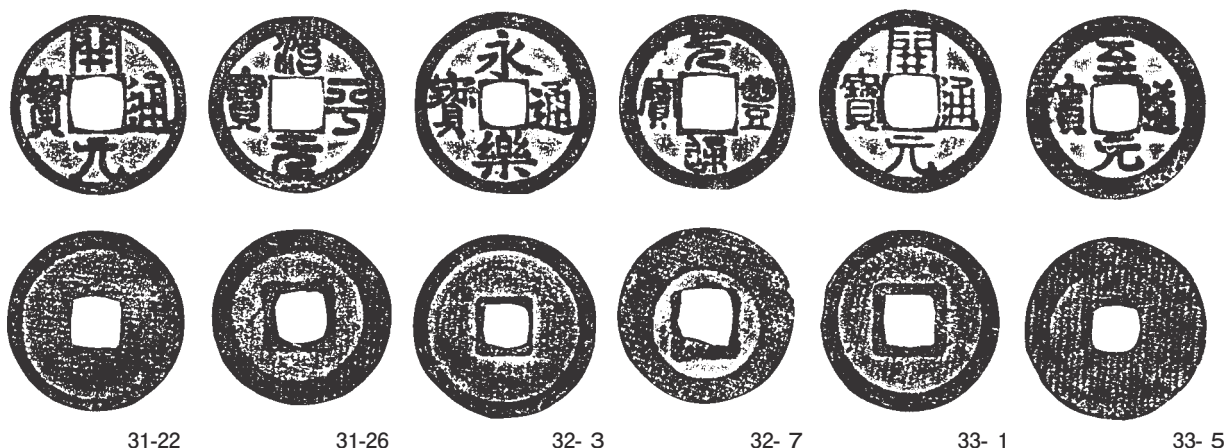




第 15 図 第 1 号地下式坑出土遺物実測図 (8) [錢貨は原寸大]



第16図 第1号地下式坑出土遺物実測図(9) [錢貨は原寸大]



第 17 図 第 1 号地下式坑出土遺物実測図 (10) [錢貨は原寸大]

第 1 号地下式坑出土遺物観察表 (第 6 ~ 17 図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土・色調	文様・特徴	釉薬	産地	出土位置	備考
2	陶器	天目茶碗	[8.4]	5.0	[4.4]	長石 暗褐	口ク口成形	鉄釉	瀬戸・美濃	覆土中層	20%

番号	銭名	径 (mm)	孔径 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	初铸年	材質	特徴	出土位置	備考
1-1	元祐通寶	24.35	6.64	1.10	3.76	-	銅	真書 模铸銭	覆土中層	
1-2	明道元寶	24.91	6.34	1.18	3.40	1032	銅	真書	覆土中層	
1-3	嘉祐通寶	24.35	6.49	1.18	3.40	-	銅	篆書 模铸銭	覆土中層	
1-4	元豊通寶	24.94	7.99	1.16	3.50	1078	銅	行書	覆土中層	
1-5	元豊通寶	24.67	6.57	0.96	2.97	1078	銅	真書	覆土中層	
1-6	熙寧元寶	25.21	6.64	1.02	3.09	1068	銅	真書	覆土中層	
1-7	元祐通寶	23.94	6.49	1.25	3.23		銅	篆書 模铸銭	覆土中層	
1-8	永樂通寶	24.74	5.77	1.28	3.23	1408	銅	真書	覆土中層	
1-9	熙寧元寶	24.06	6.07	1.18	3.25	1068	銅	真書	覆土中層	
1-10	永樂通寶	24.77	5.72	1.32	4.12	1408	銅	真書	覆土中層	
1-11	聖宋元寶	24.11	6.30	1.11	3.47	-	銅	真書 穴 模铸銭	覆土中層	
1-12	永樂通寶	24.96	5.68	1.28	3.87	1408	銅	真書	覆土中層	
1-13	永樂通寶	24.40	5.76	1.24	3.44	1408	銅	真書	覆土中層	
1-14	永樂通寶	24.80	5.71	1.27	3.32	1408	銅	真書	覆土中層	
1-15	宣徳通寶	25.26	5.62	1.36	3.37	1433	銅	真書	覆土中層	
1-16	景祐元寶	24.13	7.32	1.14	3.05	-	銅	篆書 模铸銭	覆土中層	
1-17	永樂通寶	24.80	5.69	1.47	4.54	1408	銅	真書	覆土中層	
1-18	皇宋通寶	23.96	6.48	1.45	4.29	1038	銅	真書	覆土中層	
1-19	景祐元寶	24.96	7.03	1.03	3.26	1034	銅	真書	覆土中層	
1-20	天聖元寶	24.81	6.51	0.95	3.70	-	銅	真書 模铸銭	覆土中層	
1-21	永樂通寶	24.55	5.86	1.22	3.06	1408	銅	真書	覆土中層	
1-22	永樂通寶	24.65	5.77	1.53	5.33	1408	銅	真書	覆土中層	
1-23	景德元寶	24.75	6.28	1.03	3.00	-	銅	真書 模铸銭	覆土中層	
1-24	皇宋通寶	25.05	6.54	1.03	3.67	-	銅	真書 模铸銭	覆土中層	
1-25	聖宋元寶	24.26	6.96	0.92	2.70	1101	銅	行書	覆土中層	
1-26	大觀通寶	24.51	6.89	1.08	2.69	1107	銅	真書	覆土中層	
1-27	元豊通寶	23.47	6.84	1.21	3.47	1078	銅	篆書 模铸銭	覆土中層	
1-28	永樂通寶	25.28	5.74	1.08	2.89	1408	銅	真書	覆土中層	
1-29	淳化元寶	24.24	6.06	0.83	2.75	990	銅	行書	覆土中層	
1-30	永樂通寶	25.42	5.52	1.49	4.07	1408	銅	真書	覆土中層	
1-31	永樂通寶	25.06	5.81	1.27	3.40	1408	銅	真書 背下月	覆土中層	
1-32	永樂通寶	24.78	5.71	1.27	4.70	1408	銅	真書	覆土中層	
1-33	聖宋元寶	24.91	6.07	1.47	4.41	1101	銅	篆書 模铸銭	覆土中層	
1-34	天聖元寶	25.42	7.46	0.85	2.76	1023	銅	真書	覆土中層	
1-35	永樂通寶	25.84	5.65	1.26	3.36	1408	銅	真書	覆土中層	

番号	銭名	径 (mm)	孔径 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	初鑄年	材質	特徴	出土位置	備考
1-36	元祐通寶	24.10	7.62	1.23	3.26	1086	銅	行書 模鑄銭	覆土中層	
1-37	永樂通寶	25.02	5.94	1.24	2.98	1408	銅	真書	覆土中層	
1-38	永樂通寶	25.00	5.76	1.05	2.96	1408	銅	真書	覆土中層	
1-39	永樂通寶	24.64	5.80	1.17	2.97	1408	銅	真書	覆土中層	
1-40	永樂通寶	24.70	5.54	1.20	3.53	1408	銅	真書	覆土中層	
1-41	天聖元寶	24.62	7.32	1.04	3.34	1023	銅	篆書 模鑄銭	覆土中層	
1-42	政和通寶	23.67	6.75	1.06	2.97	1111	銅	篆書	覆土中層	
1-43	祥符元寶	23.74	6.17	1.03	3.18	1008	銅	真書 模鑄銭	覆土中層	
1-44	永樂通寶	25.05	5.63	1.07	3.76	1408	銅	真書	覆土中層	
2-1	皇宋通寶	23.91	7.26	0.94	2.30	1038	銅	篆書	覆土中層	
2-2	元祐通寶	23.97	6.60	1.30	3.95	1086	銅	篆書	覆土中層	
2-3	淳祐元寶	23.77	7.29	1.22	2.84	1241	銅	行書 背四	覆土中層	
2-4	永樂通寶	24.83	5.61	1.17	2.99	1408	銅	真書	覆土中層	
2-5	永樂通寶	24.86	5.40	1.58	4.33	1408	銅	真書	覆土中層	
2-6	永樂通寶	25.21	5.58	1.34	3.93	1408	銅	真書	覆土中層	
2-7	元祐通寶	23.79	6.41	1.28	3.54	1086	銅	行書	覆土中層	
2-8	明道元寶	24.01	6.16	1.37	4.52	1032	銅	篆書	覆土中層	
2-9	宣德通寶	25.67	5.33	1.29	4.03	1433	銅	真書	覆土中層	
2-10	永樂通寶	25.13	5.80	1.48	3.88	1408	銅	真書	覆土中層	
3-1	宣德通寶	25.28	5.42	1.04	2.98	1433	銅	真書	覆土中層	
3-2	聖宋元寶	24.58	6.83	1.25	3.65	1101	銅	篆書	覆土中層	
3-3	永樂通寶	24.86	5.80	1.44	3.81	1408	銅	真書	覆土中層	
3-4	天禧通寶	24.25	6.28	1.13	3.40	1017	銅	真書 模鑄銭	覆土中層	
3-5	永樂通寶	25.08	5.73	1.36	3.33	1408	銅	真書	覆土中層	
3-6	宣德通寶	25.20	5.20	1.10	3.51	1433	銅	真書 穴	覆土中層	
3-7	淳化元寶	24.11	5.98	1.24	3.64	990	銅	行書	覆土中層	
3-8	宣和通寶	24.21	6.17	1.05	3.18	1119	銅	隸書	覆土中層	
3-9	永樂通寶	25.30	5.69	1.35	3.64	1408	銅	真書	覆土中層	
3-10	聖宋元寶	24.43	6.44	1.41	3.48	1101	銅	篆書	覆土中層	
3-11	永樂通寶	24.65	6.00	1.41	3.28	1408	銅	真書	覆土中層	
3-12	永樂通寶	24.42	5.90	1.22	3.28	1408	銅	真書	覆土中層	
3-13	祥符元寶	24.68	6.60	1.22	3.62	1008	銅	行書	覆土中層	
3-14	開元通寶	24.67	6.96	1.26	3.55	960	銅	隸書 模鑄銭	覆土中層	
3-15	祥符元寶	24.69	5.93	1.19	3.84	1008	銅	行書	覆土中層	
3-16	永樂通寶	25.03	6.06	1.11	2.31	1408	銅	真書	覆土中層	
3-17	皇宋通寶	24.85	7.14	1.18	3.59	1038	銅	真書	覆土中層	
3-18	永樂通寶	25.04	5.73	1.06	2.70	1408	銅	真書	覆土中層	
3-19	大觀通寶	24.65	6.19	1.38	3.52	1107	銅	真書	覆土中層	
3-20	元豐通寶	24.53	7.01	1.28	3.53	1078	銅	篆書	覆土中層	
3-21	咸平元寶	24.49	6.01	1.04	3.14	998	銅	真書	覆土中層	
3-22	宣德通寶	25.37	5.55	1.14	3.56	1433	銅	真書	覆土中層	
3-23	紹聖元寶	24.61	6.58	1.12	3.72	1094	銅	篆書	覆土中層	
3-24	永樂通寶	24.89	5.71	1.40	4.38	1408	銅	真書 背上月	覆土中層	
3-25	永樂通寶	25.01	5.54	1.43	4.35	1408	銅	真書	覆土中層	
3-26	永樂通寶	24.74	5.83	1.42	3.92	1408	銅	真書	覆土中層	
3-27	政和通寶	24.66	6.33	1.42	3.76	1111	銅	隸書	覆土中層	
3-28	朝鮮通寶	24.05	6.37	1.53	3.67	1423	銅	真書	覆土中層	
3-29	元祐通寶	24.14	8.43	1.23	3.36	1086	銅	篆書 星孔	覆土中層	PL10
3-30	淳化元寶	24.27	6.08	1.00	3.00	990	銅	行書	覆土中層	
3-31	永樂通寶	24.90	5.94	1.26	3.22	1408	銅	真書	覆土中層	
3-32	永樂通寶	24.86	5.72	1.47	3.93	1408	銅	真書	覆土中層	
3-33	政和通寶	25.02	6.03	1.29	3.99	1111	銅	隸書	覆土中層	
3-34	永樂通寶	24.98	5.58	1.57	4.22	1408	銅	真書	覆土中層	
3-35	永樂通寶	25.03	5.51	1.28	3.45	1408	銅	真書	覆土中層	
3-36	紹聖元寶	24.65	6.64	1.22	3.65	1094	銅	行書	覆土中層	
3-37	元祐通寶	24.61	6.06	1.08	3.46	1086	銅	行書	覆土中層	
3-38	永樂通寶	24.90	5.68	1.30	3.48	1408	銅	真書	覆土中層	
3-39	開元通寶	24.88	7.26	1.05	2.84	960	銅	隸書	覆土中層	
3-40	開元通寶	25.08	6.90	1.24	3.66	960	銅	隸書 背上月	覆土中層	

番号	銭名	径 (mm)	孔径 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	初鑄年	材質	特徴	出土位置	備考
3-41	永樂通寶	24.88	5.74	1.36	3.66	1408	銅	真書	覆土中層	
3-42	永樂通寶	25.42	5.70	1.40	4.04	1408	銅	真書	覆土中層	
3-43	政和通寶	24.60	6.62	1.20	3.80	1111	銅	隸書	覆土中層	
3-44	永樂通寶	25.09	5.56	1.33	3.27	1408	銅	真書	覆土中層	
3-45	咸平元寶	24.35	6.23	1.18	3.47	-	銅	真書 模鑄錢	覆土中層	
3-46	至和元寶	23.49	6.70	1.11	3.26	1054	銅	行書	覆土中層	
3-47	洪武通寶	24.17	6.20	1.19	2.90	1368	銅	真書	覆土中層	
3-48	政和通寶	24.60	6.35	1.04	2.91	1111	銅	行書 穴	覆土中層	
3-49	永樂通寶	25.05	5.30	1.45	4.27	1408	銅	真書	覆土中層	
3-50	元豐通寶	24.74	7.27	1.20	3.65	1078	銅	篆書 星孔	覆土中層	
3-51	永樂通寶	24.99	5.55	1.45	3.36	1408	銅	真書 穴	覆土中層	
3-52	永樂通寶	25.26	5.79	1.48	3.55	1408	銅	真書	覆土中層	
3-53	永樂通寶	25.28	5.46	1.31	3.45	1408	銅	真書	覆土中層	
3-54	永樂通寶	25.09	5.71	1.39	3.54	1408	銅	真書	覆土中層	
3-55	永樂通寶	24.68	6.10	1.24	2.99	1408	銅	真書	覆土中層	
3-56	永樂通寶	24.92	5.46	1.34	4.11	1408	銅	真書	覆土中層	
3-57	至道元寶	25.09	6.12	1.24	3.58	-	銅	真書 模鑄錢	覆土中層	
3-58	咸平元寶	24.45	6.10	1.11	2.85	998	銅	真書	覆土中層	
3-59	開元通寶	25.01	6.91	1.22	3.41	960	銅	隸書 背上月	覆土中層	
3-60	永樂通寶	24.68	5.66	1.32	3.30	1408	銅	真書	覆土中層	
3-61	永樂通寶	24.85	5.86	1.24	3.28	1408	銅	真書	覆土中層	
3-62	嘉祐通寶	23.63	6.71	1.24	3.32	1056	銅	真書	覆土中層	
3-63	開元通寶	24.19	6.72	1.09	3.02	960	銅	隸書 背上月	覆土中層	
3-64	皇宋通寶	24.69	7.54	0.96	2.76	1038	銅	篆書	覆土中層	
3-65	宣德通寶	25.20	5.31	1.19	3.59	1433	銅	真書	覆土中層	
3-66	開元通寶	24.30	7.23	1.03	2.53	960	銅	隸書 背上月	覆土中層	
3-67	永樂通寶	24.76	5.58	1.23	3.45	1408	銅	真書	覆土中層	
3-68	永樂通寶	24.94	6.10	1.19	3.26	1408	銅	真書 穴	覆土中層	
3-69	永樂通寶	24.81	5.67	1.21	2.88	1408	銅	真書 穴	覆土中層	
3-70	聖宋元寶	24.76	6.44	1.17	3.55	-	銅	行書 模鑄錢	覆土中層	
3-71	宣德通寶	25.56	5.25	1.43	4.36	1433	銅	真書	覆土中層	
3-72	永樂通寶	24.91	5.53	1.34	3.36	1408	銅	真書	覆土中層	
3-73	元祐通寶	24.51	6.73	1.12	3.43	1086	銅	行書	覆土中層	
3-74	祥符元寶	24.73	6.21	1.20	3.64	1008	銅	真書	覆土中層	
3-75	元祐通寶	24.61	6.82	1.38	3.95	1086	銅	篆書	覆土中層	
3-76	永樂通寶	24.68	5.82	1.13	3.16	1408	銅	真書	覆土中層	
3-77	永樂通寶	24.98	5.81	1.24	3.22	1408	銅	真書	覆土中層	
3-78	永樂通寶	24.88	5.84	1.41	3.36	1408	銅	真書	覆土中層	
3-79	元豐通寶	24.23	6.76	1.23	3.60	1078	銅	行書	覆土中層	
3-80	永樂通寶	24.80	5.75	1.32	3.17	1408	銅	真書	覆土中層	
3-81	洪武通寶	24.43	5.93	1.49	3.51	1368	銅	真書 背浙	覆土中層	PL10
3-82	元祐通寶	23.75	6.68	1.32	3.63	1086	銅	篆書	覆土中層	
3-83	宣德通寶	25.42	5.20	1.29	3.63	1433	銅	真書	覆土中層	
3-84	聖宋元寶	24.18	6.59	1.25	3.23	1101	銅	篆書	覆土中層	
3-85	永樂通寶	24.67	5.72	1.36	3.42	1408	銅	真書	覆土中層	
3-86	永樂通寶	25.08	6.19	1.48	4.25	1408	銅	真書	覆土中層	
3-87	天禧通寶	25.20	6.33	1.21	3.66	-	銅	真書 模鑄錢	覆土中層	
3-88	元豐通寶	25.46	6.44	1.20	3.45	-	銅	真書 模鑄錢	覆土中層	
3-89	永樂通寶	24.83	5.73	1.41	3.66	1408	銅	真書	覆土中層	
3-90	永樂通寶	25.62	5.75	1.11	3.04	1408	銅	真書	覆土中層	
3-91	永樂通寶	25.19	5.51	1.35	4.12	1408	銅	真書	覆土中層	
3-92	淳熙元寶	24.42	6.82	1.20	3.28	1174	銅	真書 背十五	覆土中層	
3-93	元祐通寶	24.52	6.89	1.24	3.53	1086	銅	篆書	覆土中層	
3-94	永樂通寶	25.33	5.43	1.53	3.98	1408	銅	真書	覆土中層	
3-95	元豐通寶	25.02	6.80	1.33	4.05	1078	銅	真書	覆土中層	
3-96	聖宋元寶	24.78	6.10	1.26	3.34	1101	銅	行書	覆土中層	
3-97	祥符元寶	24.55	6.13	1.33	4.05	1008	銅	真書	覆土中層	
3-98	宣德通寶	25.35	6.34	1.19	3.42	1433	銅	真書	覆土中層	
3-99	景祐元寶	24.99	5.92	0.94	3.27	-	銅	真書 模鑄錢	覆土中層	

番号	銭名	径 (mm)	孔径 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	初鑄年	材質	特徴	出土位置	備考
3-100	皇宋通寶	25.06	6.77	1.27	3.84	1038	銅	篆書	覆土中層	
3-101	洪武通寶	23.47	5.76	1.33	3.15	1368	銅	真書	覆土中層	
3-102	永樂通寶	25.07	5.93	1.48	4.12	1408	銅	真書	覆土中層	
3-103	永樂通寶	25.00	5.75	1.08	2.71	1408	銅	真書	覆土中層	
3-104	嘉祐通寶	23.41	6.95	1.27	3.16	1056	銅	真書 鑄造ずれ	覆土中層	
4-1	嘉祐通寶	24.17	6.80	1.10	3.14	-	銅	篆書 模鑄銭	覆土中層	
4-2	永樂通寶	24.76	5.78	1.14	3.18	1408	銅	真書	覆土中層	
4-3	紹聖元寶	24.46	6.54	1.28	3.85	1094	銅	行書	覆土中層	
4-4	永樂通寶	24.90	5.97	1.11	3.17	1408	銅	真書	覆土中層	
4-5	永樂通寶	24.96	5.82	1.07	3.22	1408	銅	真書	覆土中層	
4-6	永樂通寶	24.46	6.54	1.28	3.85	1408	銅	真書	覆土中層	
4-7	永樂通寶	24.90	5.97	1.11	3.17	1408	銅	真書	覆土中層	
4-8	永樂通寶	24.96	5.82	1.07	3.22	1408	銅	真書	覆土中層	
4-9	開元通寶	24.94	5.95	1.14	3.19	960	銅	隸書	覆土中層	
4-10	祥符元寶	25.20	5.80	0.94	2.50	1008	銅	真書	覆土中層	
4-11	元祐通寶	24.72	5.67	1.21	3.24	1086	銅	篆書	覆土中層	
4-12	元豐通寶	25.15	7.15	1.43	3.64	1078	銅	行書	覆土中層	
4-13	永樂通寶	24.52	6.14	0.99	3.12	1408	銅	真書	覆土中層	
4-14	天禧通寶	23.98	7.23	1.19	3.43	1017	銅	真書	覆土中層	PL10
4-15	開元通寶	24.46	7.25	0.92	2.99	-	銅	隸書 模鑄銭	覆土中層	
4-16	天聖元寶	24.87	6.87	1.14	3.34	1023	銅	真書	覆土中層	
4-17	永樂通寶	24.75	5.87	1.09	2.58	1408	銅	真書	覆土中層	
4-18	大定通寶	25.15	6.20	1.22	3.05	1178	銅	真書	覆土中層	
4-19	宋通元寶	24.71	6.28	0.96	3.13	960	銅	真書	覆土中層	
4-20	永樂通寶	24.74	5.77	1.08	3.11	1408	銅	真書	覆土中層	
4-21	皇宋通寶	24.33	6.59	1.02	3.04	-	銅	真書 模鑄銭	覆土中層	
4-22	永樂通寶	24.54	5.89	1.04	3.42	1408	銅	真書	覆土中層	
4-23	永樂通寶	24.61	5.79	1.07	3.41	1408	銅	真書	覆土中層	
4-24	元祐通寶	24.34	6.55	1.24	4.09	1086	銅	行書	覆土中層	
4-25	咸平元寶	24.67	6.19	1.03	3.52	998	銅	真書	覆土中層	
4-26	宣德通寶	25.23	5.12	0.97	3.16	1433	銅	真書	覆土中層	
4-27	永樂通寶	25.13	5.55	1.24	3.52	1408	銅	真書	覆土中層	
4-28	熙寧元寶	24.13	7.03	1.05	3.79	1068	銅	篆書	覆土中層	
4-29	景祐元寶	24.93	5.91	0.99	3.41	-	銅	真書 模鑄銭	覆土中層	
4-30	祥符元寶	24.99	6.47	1.07	3.07	1008	銅	真書	覆土中層	
4-31	皇宋通寶	24.11	6.69	1.06	2.96	1038	銅	真書	覆土中層	
4-32	熙寧元寶	23.73	6.86	1.31	4.32	-	銅	真書 星孔 模鑄銭	覆土中層	
4-33	祥符通寶	25.11	6.52	0.99	3.24	-	銅	真書 模鑄銭	覆土中層	
4-34	永樂通寶	25.13	5.48	1.43	3.69	1408	銅	真書	覆土中層	
4-35	永樂通寶	24.68	5.77	1.32	3.60	1408	銅	真書	覆土中層	
4-36	永樂通寶	24.88	6.03	0.99	3.05	1408	銅	真書	覆土中層	
4-37	永樂通寶	24.79	5.72	1.37	3.82	1408	銅	真書	覆土中層	
4-38	永樂通寶	24.55	5.78	1.33	3.64	1408	銅	真書	覆土中層	
4-39	元祐通寶	24.33	7.10	1.25	3.95	1086	銅	篆書	覆土中層	
4-40	皇宋通寶	24.61	7.25	0.95	3.22	1038	銅	真書	覆土中層	
4-41	永樂通寶	24.90	5.66	1.41	3.52	1408	銅	真書	覆土中層	
4-42	紹聖元寶	24.38	7.88	1.23	3.89	-	銅	行書 星孔 模鑄銭	覆土中層	
4-43	永樂通寶	24.66	5.58	1.19	3.59	1408	銅	真書	覆土中層	
4-44	開元通寶	24.78	6.93	1.04	3.03	960	銅	隸書 背上月	覆土中層	
4-45	永樂通寶	25.07	5.58	1.29	3.86	1408	銅	真書 穴	覆土中層	
4-46	宣德通寶	25.23	5.24	1.19	3.84	1433	銅	真書	覆土中層	
4-47	天禧通寶	25.22	6.13	1.14	3.93	-	銅	真書 模鑄銭	覆土中層	
4-48	永樂通寶	24.77	5.75	1.30	3.16	1408	銅	真書	覆土中層	
4-49	熙寧元寶	24.04	6.55	0.88	2.44	1068	銅	篆書	覆土中層	
4-50	政和通寶	23.77	5.99	1.10	(2.84)	1111	銅	隸書 欠け	覆土中層	
4-51	熙寧元寶	24.99	6.37	1.32	4.79	1068	銅	真書 鑄造ずれ	覆土中層	
4-52	宣德通寶	25.34	5.44	1.10	3.34	1433	銅	真書	覆土中層	
4-53	永樂通寶	24.84	5.71	1.46	3.68	1408	銅	真書	覆土中層	
4-54	聖宋元寶	23.79	6.21	1.42	4.45	1101	銅	行書	覆土中層	

番号	銭名	径 (mm)	孔径 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	初鑄年	材質	特徴	出土位置	備考
4-55	元豊通寶	24.70	6.32	1.09	3.37	1078	銅	篆書	覆土中層	
4-56	紹聖元寶	23.72	6.50	1.18	3.27	1094	銅	篆書	覆土中層	
4-57	永樂通寶	24.76	5.72	1.44	3.63	1408	銅	真書	覆土中層	
4-58	永樂通寶	24.79	5.69	1.40	4.29	1408	銅	真書	覆土中層	
4-59	永樂通寶	25.04	5.50	1.26	3.70	1408	銅	真書	覆土中層	
4-60	天聖元寶	24.72	7.02	0.95	3.36	-	銅	篆書 模鑄銭	覆土中層	
4-61	元符通寶	24.82	7.18	1.04	3.27	1098	銅	真書 割れ	覆土中層	
4-62	永樂通寶	25.07	5.35	1.49	4.45	1408	銅	真書	覆土中層	
4-63	皇宋通寶	24.26	7.01	1.08	3.49	1038	銅	篆書	覆土中層	
4-64	元豊通寶	24.84	6.49	1.10	3.68	1078	銅	篆書	覆土中層	
4-65	元祐通寶	24.89	5.98	1.14	3.84	1086	銅	行書	覆土中層	
4-66	永樂通寶	24.86	6.01	1.32	3.06	1408	銅	真書	覆土中層	
4-67	紹聖元寶	23.77	6.97	1.34	3.82	1094	銅	行書 星孔	覆土中層	
4-68	永樂通寶	25.12	5.78	1.33	3.83	1408	銅	真書	覆土中層	
4-69	永樂通寶	25.44	5.78	1.44	4.12	1408	銅	真書	覆土中層	
4-70	紹聖元寶	23.93	6.35	1.10	3.00	1094	銅	行書	覆土中層	
4-71	永樂通寶	25.05	5.76	1.34	3.88	1408	銅	真書	覆土中層	
4-72	政和通寶	24.75	6.16	1.15	3.20	1111	銅	隸書	覆土中層	
4-73	祥符元寶	24.82	6.03	1.14	3.26	1008	銅	真書	覆土中層	
4-74	皇宋通寶	24.01	6.88	1.17	3.94	1038	銅	真書	覆土中層	
4-75	元豊通寶	24.76	7.09	1.21	3.41	1078	銅	篆書	覆土中層	
4-76	宣徳通寶	25.02	5.67	1.00	2.84	1433	銅	真書	覆土中層	
4-77	永樂通寶	24.79	5.76	1.20	4.05	1408	銅	真書	覆土中層	
4-78	永樂通寶	24.92	5.82	1.38	3.64	1408	銅	真書	覆土中層	
4-79	永樂通寶	25.33	5.68	1.22	3.41	1408	銅	真書	覆土中層	
4-80	永樂通寶	25.26	5.73	1.40	4.01	1408	銅	真書	覆土中層	
4-81	宋通元寶	25.11	6.11	1.07	3.54	960	銅	真書	覆土中層	
4-82	永樂通寶	24.55	5.74	1.38	3.85	1408	銅	真書	覆土中層	
4-83	大平通寶	24.15	6.16	1.06	2.81	976	銅	真書 鑄造ずれ	覆土中層	
4-84	永樂通寶	24.98	5.68	1.28	3.38	1408	銅	真書	覆土中層	
4-85	皇宋通寶	24.62	7.43	1.07	3.41	1038	銅	真書	覆土中層	
4-86	宣徳通寶	25.15	5.06	1.24	3.93	1433	銅	真書	覆土中層	
4-87	永樂通寶	24.72	5.89	1.18	3.81	1408	銅	真書	覆土中層	
4-88	景祐元寶	24.80	6.78	0.96	(3.21)	-	銅	篆書 欠け 模鑄銭	覆土中層	
4-89	皇宋通寶	24.81	6.64	0.95	3.02	1038	銅	篆書	覆土中層	
4-90	咸平元寶	24.37	6.16	1.11	3.60	-	銅	真書 模鑄銭	覆土中層	
4-91	正隆元寶	24.70	6.04	1.31	3.03	1157	銅	真書	覆土中層	
4-92	宣徳通寶	25.35	5.29	1.09	3.82	1433	銅	真書	覆土中層	
4-93	永樂通寶	25.29	5.46	1.22	4.16	1408	銅	真書	覆土中層	
4-94	永樂通寶	24.53	5.84	1.25	3.50	1408	銅	真書	覆土中層	
4-95	熙寧元寶	24.33	7.04	1.05	3.40	1068	銅	篆書	覆土中層	
4-96	天聖元寶	24.36	6.03	1.17	3.49	1023	銅	真書	覆土中層	
4-97	永樂通寶	25.49	5.52	1.62	3.90	1408	銅	真書	覆土中層	
4-98	元符通寶	24.36	6.32	0.97	3.11	-	銅	行書 模鑄銭	覆土中層	
4-99	永樂通寶	24.80	6.03	1.20	2.78	1408	銅	真書	覆土中層	
5-1	熙寧元寶	24.83	6.68	0.86	2.97	-	銅	篆書 模鑄銭	覆土中層	
5-2	明道元寶	23.64	6.41	1.28	3.80	1032	銅	篆書	覆土中層	
5-3	永樂通寶	24.75	5.52	1.25	3.20	1408	銅	真書	覆土中層	
5-4	永樂通寶	24.72	5.75	1.18	3.53	1408	銅	真書 穴	覆土中層	
5-5	至和元寶	24.31	7.24	1.07	3.18	1054	銅	篆書	覆土中層	
5-6	宣徳通寶	25.33	5.10	1.13	3.77	1433	銅	真書	覆土中層	
5-7	元祐通寶	24.10	7.08	1.19	3.44	1086	銅	行書	覆土中層	
5-8	治平元寶	24.30	6.55	1.41	4.07	1064	銅	真書	覆土中層	
5-9	永樂通寶	24.86	5.53	1.13	3.46	1408	銅	真書	覆土中層	
5-10	永樂通寶	24.88	5.51	1.44	4.05	1408	銅	真書	覆土中層	
5-11	聖宋元寶	24.02	6.69	1.07	3.12	1094	銅	行書	覆土中層	
5-12	天聖元寶	24.87	7.43	1.24	4.28	-	銅	篆書 模鑄銭	覆土中層	
5-13	元豊通寶	23.92	6.60	1.30	3.91	1078	銅	篆書	覆土中層	
5-14	元祐通寶	24.49	6.16	1.04	3.32	1086	銅	篆書	覆土中層	

番号	銭名	径 (mm)	孔径 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	初鑄年	材質	特徴	出土位置	備考
5-15	元豊通寶	24.17	6.67	1.08	3.39	-	銅	行書 模鑄銭	覆土中層	
5-16	天聖元寶	24.50	6.41	1.22	3.28	1023	銅	篆書	覆土中層	
5-17	天聖元寶	24.43	6.60	1.21	3.73	1023	銅	篆書	覆土中層	
5-18	紹聖元寶	23.86	6.84	1.22	2.88	1094	銅	篆書	覆土中層	
5-19	永樂通寶	24.86	5.55	1.24	3.28	1408	銅	真書	覆土中層	
5-20	紹聖元寶	23.82	6.53	1.28	3.46	1094	銅	行書	覆土中層	
5-21	永樂通寶	24.74	5.74	1.36	3.75	1408	銅	真書	覆土中層	
5-22	景德元寶	24.38	6.36	0.97	2.97	-	銅	真書 模鑄銭	覆土中層	
5-23	天聖元寶	24.53	7.43	0.95	2.99	-	銅	篆書 模鑄銭	覆土中層	
5-24	元豊通寶	24.67	6.27	1.10	3.36	1078	銅	篆書	覆土中層	
5-25	元豊通寶	24.95	7.02	1.17	3.72	1078	銅	行書	覆土中層	
5-26	天聖元寶	24.50	7.07	1.00	3.29	1023	銅	真書	覆土中層	
5-27	永樂通寶	25.17	6.04	1.11	3.33	1408	銅	真書	覆土中層	
5-28	政和通寶	24.59	5.83	1.12	3.59	1111	銅	篆書	覆土中層	
5-29	咸平元寶	24.18	6.16	1.02	3.13	-	銅	真書 模鑄銭	覆土中層	
5-30	景德元寶	24.31	6.63	1.12	3.74	1004	銅	真書	覆土中層	
5-31	永樂通寶	24.92	5.77	1.25	3.74	1408	銅	真書	覆土中層	
5-32	紹聖元寶	23.81	6.40	1.39	3.73	1094	銅	篆書	覆土中層	
5-33	永樂通寶	25.46	5.68	1.14	3.72	1408	銅	真書	覆土中層	
5-34	元豊通寶	24.74	7.10	1.11	3.35	-	銅	行書 星孔 模鑄銭	覆土中層	
5-35	元豊通寶	23.34	6.04	0.99	3.09	1078	銅	行書	覆土中層	
5-36	治平元寶	24.20	6.39	1.22	3.57	1064	銅	真書	覆土中層	
5-37	永樂通寶	25.00	5.60	1.14	3.96	1408	銅	真書	覆土中層	
5-38	皇宋通寶	24.39	7.30	0.98	3.28	-	銅	真書 模鑄銭	覆土中層	
5-39	景德元寶	24.17	6.31	1.22	3.60	1004	銅	真書	覆土中層	
5-40	祥符元寶	24.63	5.91	0.98	2.96	-	銅	真書 模鑄銭	覆土中層	
5-41	永樂通寶	24.98	5.49	1.10	3.53	1408	銅	真書	覆土中層	
5-42	天聖元寶	24.57	7.41	1.03	3.15	1023	銅	篆書	覆土中層	
5-43	天禧通寶	24.59	5.82	1.15	3.85	-	銅	真書 模鑄銭	覆土中層	
5-44	景祐元寶	25.19	6.88	1.09	3.27	1034	銅	真書	覆土中層	
5-45	至和元寶	24.47	6.68	1.11	3.83	1054	銅	真書	覆土中層	
5-46	元豊通寶	25.22	6.36	1.05	3.51	1078	銅	篆書	覆土中層	
5-47	元豊通寶	24.56	7.21	1.21	3.65	1078	銅	篆書	覆土中層	
5-48	元祐通寶	24.08	6.06	1.20	3.36	1086	銅	篆書	覆土中層	
5-49	元豊通寶	24.28	6.91	1.16	3.52	1078	銅	篆書	覆土中層	
5-50	永樂通寶	24.89	5.78	1.34	4.34	1408	銅	真書	覆土中層	
5-51	永樂通寶	24.98	5.73	1.46	3.65	1408	銅	真書	覆土中層	
5-52	宋通元寶	24.04	6.25	1.25	3.04	960	銅	真書 背右月	覆土中層	
5-53	永樂通寶	25.06	5.52	1.20	3.64	1408	銅	真書	覆土中層	
5-54	永樂通寶	25.06	5.77	1.20	3.56	1408	銅	真書	覆土中層	
5-55	永樂通寶	24.89	5.51	1.13	3.51	1408	銅	真書	覆土中層	
5-56	元豊通寶	24.09	6.79	1.05	3.13	-	銅	篆書 模鑄銭	覆土中層	
5-57	至和元寶	24.42	6.86	0.99	3.46	-	銅	篆書 模鑄銭	覆土中層	
5-58	聖宋元寶	23.97	6.49	1.22	3.74	1094	銅	行書	覆土中層	
5-59	永樂通寶	24.88	5.55	1.18	3.68	1408	銅	真書	覆土中層	
5-60	元祐通寶	24.66	6.54	1.12	3.76	1086	銅	行書 星孔	覆土中層	
5-61	永樂通寶	24.63	5.98	1.28	3.37	1408	銅	真書	覆土中層	
5-62	永樂通寶	24.61	5.71	1.31	3.40	1408	銅	真書	覆土中層	
5-63	宣德通寶	25.22	5.58	1.11	3.33	1433	銅	真書	覆土中層	
5-64	元豊通寶	24.25	6.63	1.09	3.53	1078	銅	行書	覆土中層	
5-65	永樂通寶	25.25	5.64	1.23	3.78	1408	銅	真書	覆土中層	
5-66	永樂通寶	24.86	5.38	1.33	3.59	1408	銅	真書	覆土中層	
5-67	治平通寶	24.44	7.00	0.99	3.02	1064	銅	真書 背面鑄造ずれ 模鑄銭。	覆土中層	
5-68	景祐元寶	24.93	7.22	0.94	3.04	1004	銅	真書	覆土中層	
5-69	天禧通寶	25.51	6.48	0.96	3.43	1017	銅	真書	覆土中層	
5-70	元豊通寶	24.62	6.50	1.09	3.60	1078	銅	行書	覆土中層	
5-71	元祐通寶	24.36	6.91	1.34	4.13	1086	銅	行書	覆土中層	
5-72	永樂通寶	25.07	5.54	1.21	4.00	1408	銅	真書	覆土中層	
5-73	永樂通寶	24.77	5.65	1.44	4.39	1408	銅	真書	覆土中層	



番号	銭名	径 (mm)	孔径 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	初鑄年	材質	特徴	出土位置	備考
5-74	景祐元寶	24.53	6.74	1.12	3.66	-	銅	行書 模鑄銭	覆土中層	
5-75	永樂通寶	25.06	5.57	1.28	3.35	1408	銅	真書	覆土中層	
5-76	開元通寶	24.78	6.98	1.14	(3.13)	960	銅	隸書 背左月 欠け	覆土中層	
5-77	祥符元寶	22.80	6.11	1.22	3.21	-	銅	真書 模鑄銭	覆土中層	
5-78	元豐通寶	25.16	7.03	1.29	3.61	1078	銅	行書	覆土中層	
5-79	永樂通寶	24.91	5.01	1.07	3.32	1408	銅	真書	覆土中層	
5-80	元祐通寶	24.59	6.13	1.01	3.20	1086	銅	行書	覆土中層	
5-81	永樂通寶	24.88	5.75	1.14	3.70	1408	銅	真書	覆土中層	
5-82	政和通寶	25.07	6.18	1.16	3.30	1111	銅	篆書	覆土中層	
5-83	洪武通寶	23.35	5.62	1.50	3.33	1368	銅	真書	覆土中層	
5-84	聖宋元寶	24.65	6.35	0.93	2.82	1094	銅	篆書 星孔	覆土中層	
5-85	皇宋通寶	24.45	7.51	1.02	3.32	1038	銅	真書	覆土中層	
5-86	元豐通寶	23.87	6.75	1.22	3.78	1078	銅	行書	覆土中層	
5-87	永樂通寶	24.82	5.67	1.35	3.76	1408	銅	真書	覆土中層	
5-88	淳化元寶	24.61	6.08	1.20	3.28	990	銅	行書	覆土中層	
5-89	元豐通寶	24.28	6.82	1.09	3.47	1078	銅	篆書 背面鑄造ずれ	覆土中層	
5-90	洪武通寶	23.44	5.75	1.31	3.25	1368	銅	真書	覆土中層	
5-91	元祐通寶	24.03	6.97	1.25	3.28	1086	銅	篆書	覆土中層	
5-92	開元通寶	23.91	6.77	0.77	2.48	960	銅	隸書	覆土中層	
5-93	永樂通寶	24.64	5.86	1.36	3.73	1408	銅	真書	覆土中層	
5-94	洪武通寶	24.04	5.45	1.39	4.27	1368	銅	真書	覆土中層	
5-95	天聖元寶	24.75	6.16	1.25	4.03	1023	銅	真書	覆土中層	
5-96	開元通寶	24.65	6.71	1.08	2.98	960	銅	隸書 背上月	覆土中層	
5-97	天聖元寶	24.76	7.01	1.10	3.19	1023	銅	真書	覆土中層	
5-98	洪武通寶	24.09	6.06	1.22	3.16	1368	銅	真書 背浙	覆土中層	
5-99	永樂通寶	25.01	5.53	1.30	4.19	1408	銅	真書	覆土中層	
5-100	皇宋通寶	23.46	6.51	1.12	(3.05)	-	銅	真書 欠け 模鑄銭	覆土中層	
5-101	永樂通寶	25.18	5.59	1.06	3.25	1408	銅	真書	覆土中層	
5-102	永樂通寶	25.02	5.76	1.26	3.57	1408	銅	真書	覆土中層	
5-103	咸平元寶	23.86	6.85	1.27	3.46	998	銅	真書	覆土中層	
6-1	元豐通寶	24.35	6.59	1.12	3.31	-	銅	行書 模鑄銭	覆土中層	
6-2	永樂通寶	23.12	5.80	1.03	(3.16)	1408	銅	真書 欠け	覆土中層	
6-3	永樂通寶	25.26	5.74	1.36	4.24	-	銅	真書 模鑄銭	覆土中層	
6-4	景德元寶	24.21	6.08	1.25	3.63	1004	銅	真書	覆土中層	
6-5	景德元寶	24.59	6.58	1.41	3.79	1004	銅	真書	覆土中層	
6-6	宣德通寶	25.24	5.42	1.24	3.49	1433	銅	真書	覆土中層	
6-7	皇宋通寶	24.13	7.52	0.80	2.60	1038	銅	真書	覆土中層	
6-8	永樂通寶	25.00	5.57	1.54	4.08	1408	銅	真書 穴	覆土中層	
6-9	大觀通寶	24.51	6.24	1.44	3.11	1107	銅	篆書	覆土中層	
6-10	祥符元寶	23.97	6.32	1.13	3.25	-	銅	真書 穴 模鑄銭	覆土中層	
6-11	咸平元寶	24.50	6.42	1.06	3.11	-	銅	真書 模鑄銭	覆土中層	
6-12	開元通寶	24.35	6.93	1.17	3.31	960	銅	隸書	覆土中層	
6-13	祥符元寶	25.08	6.65	1.11	3.47	1008	銅	真書	覆土中層	
6-14	元祐通寶	24.29	6.90	1.03	3.30	1086	銅	真書	覆土中層	
6-15	永樂通寶	24.85	6.07	1.39	4.02	1408	銅	真書	覆土中層	
6-16	祥符元寶	24.86	6.54	1.16	3.43	1008	銅	篆書	覆土中層	
6-17	政和通寶	24.37	4.22	1.00	3.05	1111	銅	篆書	覆土中層	
6-18	元祐通寶	24.01	7.08	1.25	3.48	1086	銅	篆書	覆土中層	
6-19	永樂通寶	25.01	5.72	1.14	3.68	1408	銅	真書	覆土中層	
6-20	永樂通寶	24.90	5.73	1.58	3.97	1408	銅	真書	覆土中層	
6-21	開元通寶	24.19	6.34	1.54	4.71	-	銅	隸書 模鑄銭	覆土中層	
6-22	永樂通寶	24.11	5.98	1.27	2.97	1408	銅	真書	覆土中層	
6-23	大觀通寶	24.22	6.06	1.36	3.81	1107	銅	真書	覆土中層	
6-24	洪武通寶	24.37	5.89	1.42	3.82	1368	銅	真書	覆土中層	
6-25	永樂通寶	25.08	5.68	1.37	3.33	1408	銅	真書	覆土中層	
6-26	紹定通寶	23.97	6.35	1.51	2.96	1228	銅	真書 背五	覆土中層	
6-27	熙寧元寶	23.47	5.99	1.44	3.49	1068	銅	篆書	覆土中層	
6-28	大觀通寶	24.21	6.12	1.34	3.53	1107	銅	真書	覆土中層	
7-1	淳化元寶	24.15	6.03	1.20	3.63	990	銅	行書	覆土中層	

番号	銭名	径 (mm)	孔径 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	初鑄年	材質	特徴	出土位置	備考
7-2	永樂通寶	25.31	5.59	1.21	3.48	1408	銅	真書	覆土中層	
7-3	元豐通寶	23.50	6.61	1.19	2.99	1078	銅	篆書	覆土中層	
7-4	皇宋通寶	24.68	6.58	1.18	3.32	1038	銅	篆書	覆土中層	
7-5	大觀通寶	24.67	6.67	1.11	2.72	1107	銅	真書 穴	覆土中層	
7-6	政和通寶	24.22	6.30	1.03	3.10	-	銅	真書 穴 模鑄銭	覆土中層	
7-7	元豐通寶	24.58	6.64	1.10	3.48	1078	銅	篆書	覆土中層	
7-8	元豐通寶	24.32	6.50	1.01	3.18	1078	銅	篆書	覆土中層	
7-9	永樂通寶	25.12	5.77	1.56	3.42	1408	銅	真書	覆土中層	
7-10	紹聖元寶	24.42	6.72	1.19	3.46	1094	銅	真書	覆土中層	
7-11	元豐通寶	24.16	7.16	1.18	3.10	-	銅	真書 模鑄銭	覆土中層	
7-12	元祐通寶	24.19	7.14	0.98	3.23	-	銅	篆書 模鑄銭	覆土中層	
8-1	永樂通寶	25.19	5.74	1.40	4.16	1408	銅	真書 背上月	覆土中層	
8-2	永樂通寶	25.04	5.71	1.14	2.99	1408	銅	真書	覆土中層	
8-3	皇宋通寶	24.51	6.14	1.27	4.24	1253	銅	真書	覆土中層	
8-4	天聖元寶	23.50	6.07	0.90	2.68	1023	銅	篆書	覆土中層	
8-5	永樂通寶	25.02	5.68	1.17	3.44	1408	銅	真書	覆土中層	
8-6	永樂通寶	24.72	5.80	1.29	3.68	1408	銅	真書	覆土中層	
8-7	元符通寶	23.65	6.83	1.13	3.34	1098	銅	真書	覆土中層	
8-8	皇宋通寶	24.62	7.49	0.83	2.81	-	銅	真書 模鑄銭	覆土中層	
8-9	熙寧元寶	24.31	7.34	1.17	3.67	1068	銅	真書	覆土中層	
8-10	紹聖元寶	23.46	6.54	1.25	3.66	1094	銅	行書 鑄造ずれ	覆土中層	
8-11	元豐通寶	24.59	6.72	1.14	3.62	1078	銅	篆書	覆土中層	
8-12	永樂通寶	24.19	5.49	1.11	3.04	1408	銅	真書	覆土中層	
8-13	永樂通寶	25.08	5.49	1.06	3.62	1408	銅	真書	覆土中層	
8-14	永樂通寶	25.68	5.65	1.14	3.44	1408	銅	真書	覆土中層	
8-15	元豐通寶	24.74	7.08	1.01	3.33	1078	銅	篆書	覆土中層	
8-16	永樂通寶	24.92	5.48	1.24	3.66	1408	銅	真書	覆土中層	
8-17	元祐通寶	24.33	7.00	0.95	3.05	1086	銅	篆書	覆土中層	
8-18	聖宋元寶	24.57	6.33	0.90	3.19	1101	銅	篆書	覆土中層	
8-19	宣德通寶	25.28	5.51	0.95	3.02	1433	銅	真書	覆土中層	
8-20	景德元寶	24.39	6.43	1.15	3.70	-	銅	真書 模鑄銭	覆土中層	
8-21	永樂通寶	25.57	5.80	0.87	2.73	1408	銅	真書	覆土中層	
8-22	元豐通寶	23.98	6.18	1.18	3.43	-	銅	行書 模鑄銭	覆土中層	
8-23	皇宋通寶	24.83	6.69	1.41	4.30	1038	銅	真書	覆土中層	
8-24	皇宋通寶	24.77	6.49	1.23	3.70	1038	銅	真書	覆土中層	
8-25	景德元寶	25.61	5.16	1.26	3.90	1034	銅	真書	覆土中層	
8-26	元豐通寶	24.56	6.40	1.15	3.78	1078	銅	篆書	覆土中層	
8-27	永樂通寶	24.76	5.57	1.44	4.90	1408	銅	真書	覆土中層	
8-28	永樂通寶	24.81	5.69	1.22	3.88	1408	銅	真書	覆土中層	
8-29	永樂通寶	24.69	5.46	1.07	3.76	1408	銅	真書	覆土中層	
8-30	永樂通寶	25.03	5.72	1.31	3.57	1408	銅	真書	覆土中層	
8-31	元豐通寶	24.33	7.10	1.04	3.36	-	銅	篆書 模鑄銭	覆土中層	
8-32	永樂通寶	25.22	5.67	1.13	3.01	1408	銅	真書	覆土中層	
8-33	永樂通寶	25.04	5.72	1.27	3.82	1408	銅	真書	覆土中層	
8-34	永樂通寶	24.87	5.81	1.22	2.86	1408	銅	真書	覆土中層	
8-1	朝鮮通寶	24.17	5.76	1.21	3.84	1423	銅	真書	覆土中層	
8-2	政和通寶	24.27	6.48	1.06	2.81	1111	銅	篆書	覆土中層	
8-3	元祐通寶	24.12	7.48	1.07	3.27	1086	銅	篆書 模鑄銭	覆土中層	
8-4	永樂通寶	24.96	5.69	1.00	3.14	1408	銅	真書	覆土中層	
8-5	永樂通寶	25.02	6.06	1.03	3.22	1408	銅	真書	覆土中層	
8-6	政和通寶	24.37	6.68	0.99	2.88	1111	銅	篆書	覆土中層	
8-7	永樂通寶	24.54	5.64	1.26	3.71	1408	銅	真書	覆土中層	
8-8	永樂通寶	24.70	5.78	1.08	2.82	1408	銅	真書	覆土中層	
8-9	嘉泰通寶	24.37	6.65	1.21	3.56	1201	銅	真書	覆土中層	
8-10	永樂通寶	24.87	5.84	1.07	3.39	1408	銅	真書	覆土中層	
8-11	永樂通寶	25.06	5.65	1.35	4.04	1408	銅	真書	覆土中層	
8-12	元豐通寶	24.15	5.98	1.22	3.66	1078	銅	行書	覆土中層	
8-13	永樂通寶	24.84	5.63	1.42	4.47	1408	銅	真書	覆土中層	
8-14	元祐通寶	24.22	7.00	1.16	3.68	1086	銅	行書 模鑄銭	覆土中層	

番号	銭名	径(mm)	孔径(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	初鑄年	材質	特徴	出土位置	備考
8-15	咸平元寶	24.21	5.01	1.13	3.55	998	銅	真書	覆土中層	
8-16	永樂通寶	25.11	5.66	1.49	3.94	1408	銅	真書	覆土中層	
8-17	元豐通寶	24.46	7.38	1.11	3.63	1078	銅	行書 星孔	覆土中層	
8-18	皇宋通寶	24.48	6.59	1.01	3.52	-	銅	篆書 模鑄銭	覆土中層	
8-19	洪武通寶	24.46	6.29	1.19	3.11	1368	銅	真書	覆土中層	
8-20	永樂通寶	24.64	5.53	1.23	3.65	1408	銅	真書	覆土中層	
8-21	永樂通寶	24.78	5.83	1.29	3.59	1408	銅	真書	覆土中層	
8-22	永樂通寶	24.82	5.58	1.37	3.90	1408	銅	真書	覆土中層	
8-23	皇宋通寶	24.23	6.67	0.96	2.91	1038	銅	篆書	覆土中層	
8-24	元豐通寶	24.45	7.02	1.07	3.44	1078	銅	行書	覆土中層	
8-25	天聖元寶	24.14	6.13	1.25	3.29	1023	銅	篆書	覆土中層	
8-26	聖宋元寶	24.39	6.07	1.22	3.69	1101	銅	真書	覆土中層	
8-27	皇宋通寶	24.51	6.14	1.27	4.27	1253	銅	真書	覆土中層	
8-28	永樂通寶	25.26	5.62	1.39	3.45	1408	銅	真書 背右月	覆土中層	
8-29	元符通寶	23.79	6.60	1.24	3.46	1098	銅	篆書	覆土中層	
8-30	政和通寶	23.79	6.35	1.16	2.93	1111	銅	隸書	覆土中層	
8-31	永樂通寶	24.90	5.75	1.11	2.93	1408	銅	真書	覆土中層	
8-32	元豐通寶	24.18	7.26	1.00	3.35	1078	銅	行書	覆土中層	
8-33	太平通寶	24.33	5.93	1.00	2.87	976	銅	真書	覆土中層	
8-34	皇宋通寶	24.66	7.56	0.96	2.84	1038	銅	真書	覆土中層	
8-35	開元通寶	24.62	6.65	1.20	3.34	960	銅	隸書 背右月	覆土中層	PL10
8-36	永樂通寶	25.13	5.52	1.19	3.60	1408	銅	真書	覆土中層	
8-37	治平元寶	23.18	6.35	1.19	3.15	1068	銅	真書	覆土中層	
8-38	永樂通寶	25.68	5.65	1.14	4.30	1408	銅	真書	覆土中層	
8-39	元豐通寶	24.74	7.08	1.01	3.78	1078	銅	篆書 背面重文	覆土中層	
8-40	永樂通寶	24.92	5.48	1.24	3.72	1408	銅	真書	覆土中層	
8-41	太平通寶	24.07	6.14	0.99	2.86	976	銅	真書	覆土中層	
8-42	阜元重寶	24.28	6.44	1.14	3.34	758	銅	真書 背下月	覆土中層	
8-43	元祐通寶	24.49	6.82	1.25	3.91	1086	銅	行書	覆土中層	
8-44	永樂通寶	24.83	5.81	1.27	3.38	1408	銅	真書	覆土中層	
8-45	明道元寶	25.37	6.97	0.92	3.13	1032	銅	篆書	覆土中層	
8-46	嘉定通寶	24.24	6.88	0.89	3.16	1208	銅	真書 背二	覆土中層	PL10
8-47	太平通寶	24.83	6.69	1.41	3.15	976	銅	真書	覆土中層	
8-48	永樂通寶	24.83	6.06	1.44	4.53	1408	銅	真書	覆土中層	
8-49	永樂通寶	24.61	5.61	1.40	4.31	1408	銅	真書	覆土中層	
8-50	熙寧元寶	24.38	7.08	1.18	3.75	1068	銅	真書	覆土中層	
8-51	永樂通寶	25.33	6.83	1.18	3.21	1408	銅	真書	覆土中層	
8-52	元祐通寶	24.40	6.91	1.17	3.88	1086	銅	行書	覆土中層	
8-53	元豐通寶	24.40	6.95	1.20	4.31	1078	銅	行書	覆土中層	
8-54	永樂通寶	25.03	5.72	1.31	3.71	1408	銅	真書	覆土中層	
8-55	元豐通寶	24.10	6.60	1.43	4.04	1078	銅	行書	覆土中層	
8-56	元祐通寶	24.69	6.85	1.07	3.12	1086	銅	真書	覆土中層	
8-57	祥符元寶	24.78	5.96	1.37	4.19	1008	銅	真書	覆土中層	
8-58	元祐通寶	24.74	6.62	1.44	4.26	1086	銅	真書	覆土中層	
8-59	永樂通寶	25.07	5.77	1.16	3.19	1408	銅	真書	覆土中層	
8-60	永樂通寶	25.17	5.73	1.48	4.53	1408	銅	真書 扶れあり	覆土中層	
8-61	永樂通寶	24.93	5.73	1.07	3.54	1086	銅	篆書	覆土中層	
8-62	祥符元寶	24.83	6.51	0.97	2.86	1008	銅	真書	覆土中層	
8-63	永樂通寶	24.61	5.75	1.36	4.13	1408	銅	真書	覆土中層	
8-64	永樂通寶	24.78	5.49	1.13	2.82	1408	銅	篆書	覆土中層	
8-65	祥符元寶	24.58	6.25	0.97	2.83	1008	銅	真書	覆土中層	
8-66	永樂通寶	24.95	5.75	1.47	4.43	1408	銅	真書	覆土中層	
8-67	元祐通寶	23.41	5.70	1.28	3.25	1086	銅	篆書	覆土中層	
8-68	永樂通寶	25.41	5.70	1.28	3.46	1408	銅	真書	覆土中層	
8-69	宣德通寶	25.31	5.51	1.27	3.47	1433	銅	真書	覆土中層	
8-70	永樂通寶	25.18	5.98	1.22	3.35	1408	銅	行書	覆土中層	
9-1	元祐通寶	25.01	6.01	1.11	3.13	1086	銅	草書	覆土中層	
9-2	聖宋元寶	24.98	5.91	1.12	3.67	1101	銅	篆書	覆土中層	
9-3	永樂通寶	25.22	5.81	1.28	2.81	1408	銅	真書	覆土中層	

番号	銭名	径 (mm)	孔径 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	初鑄年	材質	特徴	出土位置	備考
9-4	元祐通寶	24.53	6.22	1.30	3.73	1086	銅	篆書	覆土中層	
9-5	景德元寶	24.44	7.38	1.37	3.66	1004	銅	真書	覆土中層	
9-6	元祐通寶	24.12	6.27	1.09	2.70	1086	銅	篆書	覆土中層	
9-7	至道元寶	24.75	6.35	1.21	3.86	995	銅	草書	覆土中層	
9-8	至道元寶	25.12	6.24	1.22	3.74	995	銅	真書	覆土中層	
9-9	皇宋通寶	24.77	7.35	1.26	3.76	1038	銅	真書	覆土中層	
9-10	永樂通寶	25.72	5.53	1.47	3.80	1408	銅	真書	覆土中層	
9-11	元豐通寶	25.17	6.25	1.20	3.90	1078	銅	篆書	覆土中層	
9-12	永樂通寶	25.73	5.70	1.13	3.16	1408	銅	真書	覆土中層	
9-13	紹聖元寶	24.06	6.31	1.04	3.05	1094	銅	行書	覆土中層	
9-14	永樂通寶	24.81	5.67	1.36	3.60	1408	銅	真書	覆土中層	
9-15	永樂通寶	24.83	5.60	1.22	3.40	1408	銅	真書	覆土中層	
9-16	大觀通寶	24.77	6.75	1.24	3.24	1107	銅	真書 背右月	覆土中層	
9-17	祥符元寶	25.09	6.15	1.21	3.61	1008	銅	篆書	覆土中層	
9-18	熙寧元寶	24.10	6.78	1.29	3.62	-	銅	真書 模鑄錢	覆土中層	
9-19	元豐通寶	24.02	6.69	1.22	2.69	1078	銅	行書	覆土中層	
9-20	至道元寶	24.80	6.84	1.04	3.56	995	銅	行書	覆土中層	
9-21	熙寧元寶	24.11	6.51	1.06	3.14	-	銅	真書 模鑄錢	覆土中層	
9-22	永樂通寶	25.23	5.77	1.33	3.20	1408	銅	真書 背下月	覆土中層	
9-23	永樂通寶	24.90	5.72	1.20	3.83	1408	銅	真書	覆土中層	
9-24	開元通寶	24.71	6.76	1.24	3.14	960	銅	隸書 背上月	覆土中層	
9-25	永樂通寶	24.70	5.86	1.34	3.33	1408	銅	真書	覆土中層	
9-26	元豐通寶	23.91	6.73	1.37	3.95	-	銅	真書 模鑄錢	覆土中層	
9-27	熙寧元寶	24.55	6.46	1.34	3.21	1068	銅	篆書 穴	覆土中層	
9-28	聖宋元寶	24.70	6.73	1.34	3.86	-	銅	行書 模鑄錢	覆土中層	
9-29	祥符元寶	25.17	6.14	1.25	3.40	-	銅	真書 模鑄錢	覆土中層	
9-30	元豐通寶	24.69	6.49	1.16	3.27	1078	銅	行書 背下月	覆土中層	
9-31	皇宋通寶	24.85	7.23	1.55	4.39	1038	銅	真書	覆土中層	
9-32	永樂通寶	25.04	6.08	1.77	3.99	1408	銅	真書	覆土中層	
9-33	元豐通寶	24.93	6.37	1.03	3.25	1078	銅	篆書	覆土中層	
9-34	永樂通寶	25.28	5.57	1.23	3.19	1408	銅	真書	覆土中層	
9-35	政和通寶	24.63	6.55	1.16	3.26	1111	銅	篆書	覆土中層	
9-36	永樂通寶	24.76	5.59	1.32	3.49	1408	銅	真書	覆土中層	
9-37	永樂通寶	24.67	5.80	1.59	3.92	1408	銅	真書	覆土中層	
9-38	明道元寶	24.59	7.21	1.24	3.56	1032	銅	篆書 穴	覆土中層	
9-39	紹興元寶	24.10	6.53	1.30	3.09	1190	銅	真書 背面二	覆土中層	
9-40	永樂通寶	24.90	5.45	1.53	3.91	1408	銅	真書	覆土中層	
9-41	皇宋通寶	24.61	6.70	1.22	3.05	-	銅	真書 穴 模鑄錢	覆土中層	
9-42	永樂通寶	24.78	5.70	1.37	3.58	1408	銅	真書	覆土中層	
9-43	永樂通寶	24.92	5.77	1.28	3.25	1408	銅	真書	覆土中層	
9-44	元祐通寶	24.28	6.68	1.21	3.59	1086	銅	行書	覆土中層	
9-45	政和通寶	24.87	5.95	1.30	3.65	1111	銅	隸書	覆土中層	
9-46	元豐通寶	24.86	7.03	1.19	3.51	1078	銅	行書	覆土中層	
9-47	永樂通寶	25.36	5.90	1.23	3.39	1408	銅	真書	覆土中層	
9-48	聖宋元寶	23.85	6.54	1.31	3.92	1101	銅	行書	覆土中層	
9-49	永樂通寶	24.74	5.75	1.48	3.60	1408	銅	真書	覆土中層	
9-50	永樂通寶	24.76	5.75	1.18	3.15	1408	銅	真書	覆土中層	
9-51	永樂通寶	24.76	5.75	1.36	3.67	1408	銅	真書	覆土中層	
9-52	宣德通寶	25.58	5.77	1.53	3.95	1433	銅	真書	覆土中層	
9-53	永樂通寶	24.78	5.70	1.48	3.68	1408	銅	真書	覆土中層	
9-54	元豐通寶	24.31	5.88	1.25	3.71	1078	銅	行書	覆土中層	
9-55	洪武通寶	24.72	5.40	1.55	3.56	1368	銅	真書	覆土中層	
9-56	永樂通寶	24.85	5.67	1.48	3.66	1408	銅	真書	覆土中層	
9-57	永樂通寶	24.82	5.65	1.55	3.65	1408	銅	真書	覆土中層	
9-58	元豐通寶	24.21	6.79	1.18	3.21	1078	銅	行書	覆土中層	
9-59	皇宋通寶	24.66	7.38	1.04	3.08	1038	銅	篆書	覆土中層	
9-60	嘉祐通寶	23.60	6.43	1.56	4.26	1056	銅	篆書	覆土中層	
9-61	熙寧元寶	25.02	6.85	1.32	4.24	1068	銅	篆書	覆土中層	
9-62	永樂通寶	25.09	5.68	1.51	4.03	1408	銅	真書	覆土中層	

番号	銭名	径 (mm)	孔径 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	初鑄年	材質	特徴	出土位置	備考
9-63	元豊通寶	23.94	6.55	1.42	3.73	1078	銅	行書	覆土中層	
9-64	永樂通寶	24.86	5.74	1.52	4.43	1408	銅	真書	覆土中層	
9-65	元豊通寶	24.00	6.72	1.22	3.39	1078	銅	草書	覆土中層	
9-66	至道元寶	25.12	6.24	1.22	3.51	995	銅	真書 星孔	覆土中層	
9-67	祥符元寶	24.91	5.72	1.21	3.58	1008	銅	真書	覆土中層	
9-68	永樂通寶	25.24	5.55	1.40	3.46	1408	銅	真書	覆土中層	
9-69	天禧通寶	24.21	6.44	1.14	(3.48)	-	銅	行書 欠け 模鑄銭	覆土中層	
9-70	熙寧元寶	24.52	6.82	1.27	3.99	1068	銅	篆書	覆土中層	
9-71	開元通寶	24.39	6.71	1.31	3.72	960	銅	隸書	覆土中層	
9-72	永樂通寶	25.47	5.67	1.13	3.10	1408	銅	真書	覆土中層	
9-73	永樂通寶	24.79	5.67	1.32	3.58	1408	銅	真書	覆土中層	
9-74	開元通寶	24.69	7.12	1.11	2.80	960	銅	隸書	覆土中層	
9-75	至和元寶	23.11	6.85	1.09	2.80	-	銅	篆書 模鑄銭	覆土中層	
9-76	永樂通寶	24.97	5.77	1.38	3.55	1408	銅	真書	覆土中層	
9-77	皇宋通寶	24.50	7.34	1.16	3.30	1038	銅	行書	覆土中層	
9-78	永樂通寶	24.69	5.44	1.32	3.36	1408	銅	真書	覆土中層	
9-79	永樂通寶	25.14	5.87	1.37	3.67	1408	銅	真書	覆土中層	
9-80	永樂通寶	25.39	5.90	1.53	3.69	1408	銅	真書	覆土中層	
9-81	永樂通寶	24.81	5.83	1.46	4.04	1408	銅	真書	覆土中層	
9-82	元豊通寶	24.80	6.94	1.27	3.91	1078	銅	行書	覆土中層	
9-83	開元通寶	25.15	6.80	1.17	2.77	960	銅	隸書	覆土中層	
9-84	天聖元寶	24.82	5.88	1.27	3.91	1023	銅	篆書	覆土中層	
9-85	永樂通寶	24.68	6.00	1.67	4.07	1068	銅	真書	覆土中層	
10-1	永樂通寶	24.60	5.83	1.30	3.25	1408	銅	真書 背上月	覆土中層	
10-2	永樂通寶	24.78	5.90	1.14	2.98	1408	銅	真書	覆土中層	
10-3	開元通寶	24.41	6.76	1.16	3.22	960	銅	隸書 背上月	覆土中層	
10-4	永樂通寶	24.76	6.00	1.12	2.45	1408	銅	真書	覆土中層	
10-5	永樂通寶	25.04	6.08	1.77	3.46	1408	銅	真書	覆土中層	
10-6	元祐通寶	24.58	6.82	1.01	2.91	1086	銅	行書 鑄造ずれ	覆土中層	
10-7	皇宋通寶	24.86	6.77	1.10	3.37	1038	銅	真書	覆土中層	
10-8	景祐元寶	24.84	7.01	1.19	3.61	1034	銅	真書	覆土中層	
10-9	永樂通寶	24.83	5.78	1.19	2.88	1408	銅	真書	覆土中層	
10-10	祥符元寶	24.99	6.15	0.94	2.89	1008	銅	真書	覆土中層	
10-11	洪武通寶	24.54	5.81	1.29	3.72	1368	銅	真書 背浙 背右月	覆土中層	
10-12	永樂通寶	24.86	5.77	1.29	3.68	1408	銅	真書	覆土中層	
10-13	咸平元寶	24.59	6.21	1.25	4.03	998	銅	真書	覆土中層	
10-14	永樂通寶	24.80	5.80	1.43	3.59	1408	銅	真書	覆土中層	
10-15	洪武通寶	23.41	5.47	1.49	3.61	1368	銅	真書 背平	覆土中層	
10-16	永樂通寶	24.73	5.66	1.25	3.97	1408	銅	真書	覆土中層	
10-17	永樂通寶	24.35	5.66	1.25	2.84	1408	銅	真書 背右上月	覆土中層	
10-18	永樂通寶	24.84	6.03	1.25	3.15	1408	銅	真書	覆土中層	
10-19	永樂通寶	25.10	5.44	1.16	3.02	1408	銅	真書 背左下月	覆土中層	
10-20	開元通寶	24.60	5.90	1.18	3.23	960	銅	隸書	覆土中層	
10-21	永樂通寶	24.70	5.66	1.26	3.82	1408	銅	真書	覆土中層	
10-22	紹聖元寶	24.48	6.29	1.25	3.83	1094	銅	行書 鑄造ずれ	覆土中層	
10-23	永樂通寶	25.11	5.46	1.44	3.75	1408	銅	真書 穴	覆土中層	
10-24	永樂通寶	24.75	5.98	1.48	3.90	1408	銅	真書	覆土中層	
10-25	熙寧元寶	24.55	6.97	1.23	3.37	-	銅	篆書 模鑄銭	覆土中層	
10-26	永樂通寶	24.92	5.65	1.39	4.27	1408	銅	真書	覆土中層	
10-27	元豊通寶	24.51	5.88	1.25	(2.99)	1078	銅	行書 穴 欠け	覆土中層	
10-28	永樂通寶	24.51	6.85	1.05	4.13	1408	銅	真書	覆土中層	
10-29	永樂通寶	24.94	5.86	1.36	3.56	1408	銅	真書	覆土中層	
10-30	至和元寶	23.88	6.30	1.16	3.44	1054	銅	篆書 背重文	覆土中層	
10-31	永樂通寶	23.94	5.56	1.00	3.66	1408	銅	真書	覆土中層	
10-32	永樂通寶	24.76	5.52	1.33	3.58	1408	銅	真書 背左月	覆土中層	
10-33	皇宋元寶	24.87	6.89	1.02	3.38	1253	銅	真書 背元	覆土中層	
10-34	永樂通寶	24.77	5.72	1.42	4.28	1408	銅	真書	覆土中層	
10-35	永樂通寶	25.16	5.35	1.09	3.21	1408	銅	真書	覆土中層	
10-36	永樂通寶	24.73	5.71	1.54	3.57	1078	銅	真書 穴	覆土中層	

番号	銭名	径 (mm)	孔径 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	初鑄年	材質	特徴	出土位置	備考
10-37	開元通寶	24.76	7.16	0.94	3.00	1408	銅	隸書 背輪	覆土中層	
10-38	元豊通寶	24.00	6.72	1.15	3.48	1078	銅	草書 背上星	覆土中層	PL10
10-39	永樂通寶	25.02	5.38	1.27	3.33	1408	銅	真書	覆土中層	
10-40	天聖元寶	24.76	6.98	1.12	3.80	1023	銅	篆書	覆土中層	
10-41	永樂通寶	24.70	6.01	1.17	3.22	1408	銅	真書	覆土中層	
10-42	元祐通寶	24.35	6.82	1.23	3.83	1086	銅	篆書	覆土中層	
10-43	元豊通寶	23.87	6.42	1.24	3.64	1078	銅	篆書	覆土中層	
10-44	皇宋通寶	24.36	6.46	1.27	2.87	-	銅	篆書 模鑄銭	覆土中層	
10-45	宣德通寶	25.30	5.23	1.46	4.39	1433	銅	真書	覆土中層	
10-46	宣德通寶	25.29	5.27	1.01	3.35	1433	銅	真書	覆土中層	
10-47	永樂通寶	24.80	5.63	1.28	3.97	1408	銅	真書	覆土中層	
10-48	洪武通寶	23.48	5.72	1.09	3.57	1054	銅	篆書	覆土中層	
10-49	嘉祐通寶	24.97	5.77	1.38	2.81	-	銅	真書 模鑄銭	覆土中層	
10-50	永樂通寶	24.61	5.22	1.32	4.27	1408	銅	真書	覆土中層	
10-51	永樂通寶	24.90	5.62	1.38	3.97	1408	銅	真書	覆土中層	
10-52	永樂通寶	24.62	5.63	1.21	3.01	1408	銅	真書	覆土中層	
10-53	永樂通寶	24.76	5.90	1.53	4.17	1408	銅	真書	覆土中層	
10-54	嘉泰通寶	24.96	5.55	1.11	2.96	1201	銅	真書 背三	覆土中層	PL10
10-55	大定通寶	24.99	6.09	1.13	2.31	1078	銅	行書	覆土中層	
10-56	嘉祐通寶	24.31	7.04	1.02	3.11	1056	銅	真書	覆土中層	
10-57	元豊通寶	24.76	6.64	1.06	3.66	1078	銅	篆書	覆土中層	
10-58	太平通寶	23.87	7.06	0.83	2.30	976	銅	真書	覆土中層	
10-59	永樂通寶	24.82	5.71	1.21	3.25	1408	銅	真書	覆土中層	
10-60	治平元寶	24.26	6.83	1.13	3.01	1064	銅	真書	覆土中層	
10-61	永樂通寶	25.14	5.57	1.23	3.74	1408	銅	篆書 背上月	覆土中層	
10-62	永樂通寶	24.93	5.58	1.52	4.16	1408	銅	真書	覆土中層	
10-63	元豊通寶	24.56	6.70	1.08	3.39	1078	銅	行書	覆土中層	
10-64	元豊通寶	23.80	6.77	1.27	3.96	1078	銅	篆書	覆土中層	
10-65	景德元寶	24.41	6.00	1.18	3.76	1004	銅	真書	覆土中層	
10-66	永樂通寶	24.84	5.67	1.41	3.60	1048	銅	真書	覆土中層	
10-67	永樂通寶	25.08	5.39	1.15	3.65	1408	銅	真書	覆土中層	
10-68	咸平元寶	24.61	5.98	1.04	3.31	998	銅	真書	覆土中層	
10-69	永樂通寶	24.82	5.80	1.09	3.11	1408	銅	真書	覆土中層	
10-70	祥符元寶	23.64	5.75	1.13	3.25	-	銅	真書 模鑄銭	覆土中層	
10-71	永樂通寶	25.46	5.56	1.58	4.19	1408	銅	真書	覆土中層	
10-72	洪武通寶	23.76	5.97	1.33	3.33	1368	銅	真書	覆土中層	
10-73	永樂通寶	24.62	5.77	1.26	3.55	1408	銅	真書	覆土中層	
10-74	紹聖元寶	23.78	6.66	1.01	2.83	1094	銅	篆書	覆土中層	
10-75	永樂通寶	23.78	5.80	1.40	3.80	1408	銅	真書	覆土中層	
10-76	永樂通寶	24.68	5.53	1.23	3.55	1408	銅	真書	覆土中層	
10-77	永樂通寶	25.06	5.71	1.38	3.45	1408	銅	真書	覆土中層	
10-78	政和通寶	25.01	5.67	1.12	3.39	1408	銅	隸書	覆土中層	
10-79	元符通寶	24.18	6.29	1.23	3.78	1098	銅	行書 鑄造ずれ	覆土中層	
10-80	永樂通寶	23.80	5.88	1.17	3.19	1408	銅	真書	覆土中層	
10-81	宣德通寶	24.97	5.17	1.08	4.12	1433	銅	真書	覆土中層	
10-82	祥符元寶	25.35	6.00	1.07	3.46	1008	銅	真書 鑄造ずれ	覆土中層	
10-83	永樂通寶	24.61	5.98	1.32	3.29	1408	銅	真書	覆土中層	
10-84	洪武通寶	22.68	5.57	1.32	3.28	1368	銅	真書	覆土中層	
10-85	開元通寶	24.72	7.14	0.95	3.09	-	銅	隸書 模鑄銭	覆土中層	
10-86	開元通寶	25.31	6.31	1.27	3.42	960	銅	隸書	覆土中層	
10-87	永樂通寶	24.99	5.58	1.36	3.18	1408	銅	真書	覆土中層	
10-88	永樂通寶	25.25	5.56	1.49	4.46	1408	銅	真書	覆土中層	
10-89	永樂通寶	25.11	5.69	1.36	3.56	1408	銅	真書	覆土中層	
11-1	咸平元寶	24.42	6.04	1.11	3.12	998	銅	真書	覆土中層	
11-2	至道元寶	24.53	5.98	1.06	3.26	995	銅	草書	覆土中層	PL10
11-3	紹聖元寶	23.76	7.10	1.31	3.55	1094	銅	行書	覆土中層	
11-4	永樂通寶	25.02	5.63	1.70	4.61	1408	銅	真書	覆土中層	
11-5	嘉定通寶	23.76	6.70	1.35	3.25	-	銅	真書 背六 模鑄銭	覆土中層	
11-6	永樂通寶	24.97	5.65	1.58	4.42	1408	銅	真書	覆土中層	

番号	銭名	径 (mm)	孔径 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	初鑄年	材質	特徴	出土位置	備考
11-7	正隆元寶	24.75	6.17	1.44	3.38	1157	銅	真書	覆土中層	
11-8	永樂通寶	25.20	5.50	1.27	3.63	1408	銅	真書	覆土中層	
11-9	永樂通寶	24.62	5.71	1.62	4.23	1408	銅	真書	覆土中層	
11-10	宋通元寶	24.19	6.00	1.28	3.89	960	銅	真書	覆土中層	
11-11	開元通寶	24.44	6.74	1.30	3.49	960	銅	隸書 背上月	覆土中層	
11-12	永樂通寶	25.51	5.53	1.48	4.41	1408	銅	真書	覆土中層	
11-13	永樂通寶	24.85	5.52	1.46	3.43	1408	銅	真書	覆土中層	
11-14	政和通寶	24.61	6.08	1.24	3.33	1111	銅	隸書	覆土中層	
11-15	政和通寶	24.67	6.32	1.01	2.92	1111	銅	隸書	覆土中層	
11-16	嘉祐通寶	24.99	7.60	1.08	3.43	1056	銅	篆書	覆土中層	
11-17	天聖元寶	24.56	7.07	1.15	3.53	-	銅	真書 模鑄錢	覆土中層	
11-18	永樂通寶	24.84	5.50	1.51	3.97	1408	銅	真書	覆土中層	
11-19	明道元寶	25.41	6.82	1.28	(3.69)	1032	銅	真書 欠け	覆土中層	
11-20	永樂通寶	24.82	5.66	1.28	3.44	1408	銅	真書	覆土中層	
11-21	皇宋通寶	24.72	7.02	1.11	3.63	-	銅	篆書 模鑄錢	覆土中層	
11-22	永樂通寶	25.00	5.83	1.44	3.42	1408	銅	真書	覆土中層	
11-23	永樂通寶	23.25	5.87	1.45	3.79	1408	銅	真書	覆土中層	
11-24	永樂通寶	25.13	5.60	1.20	3.49	1408	銅	真書	覆土中層	
11-25	天禧通寶	25.21	6.73	1.04	2.95	1017	銅	真書	覆土中層	
11-26	元豐通寶	25.03	6.74	1.03	3.37	1078	銅	行書	覆土中層	
11-27	永樂通寶	26.25	5.79	1.22	3.48	1408	銅	真書	覆土中層	
11-28	元豐通寶	24.04	6.93	1.22	3.31	1078	銅	行書	覆土中層	
11-29	永樂通寶	25.28	5.81	1.66	5.21	1408	銅	真書	覆土中層	
11-30	皇宋通寶	24.78	7.30	1.23	3.64	1038	銅	真書	覆土中層	
11-31	政和通寶	24.50	6.29	1.32	3.68	1111	銅	隸書	覆土中層	
11-32	永樂通寶	24.86	5.46	1.34	3.36	1408	銅	真書	覆土中層	
11-33	宣德通寶	24.82	5.31	1.25	3.32	1433	銅	真書	覆土中層	
11-34	政和通寶	24.39	6.03	1.03	2.90	1111	銅	真書	覆土中層	
11-35	永樂通寶	26.15	5.62	1.12	3.25	1408	銅	真書	覆土中層	
11-36	永樂通寶	25.12	5.38	1.16	2.80	1408	銅	真書	覆土中層	
11-37	皇宋通寶	24.86	7.06	0.94	3.29	-	銅	真書 模鑄錢	覆土中層	
11-38	永樂通寶	25.21	5.58	1.15	3.36	1408	銅	真書	覆土中層	
11-39	咸平元寶	24.81	6.21	0.96	3.11	998	銅	真書	覆土中層	
11-40	淳熙元寶	24.15	6.23	1.30	3.78	1068	銅	真書 背上月下星	覆土中層	
11-41	明道元寶	24.93	6.64	1.23	3.88	1032	銅	篆書	覆土中層	
11-42	皇宋通寶	24.58	7.17	0.89	2.97	1038	銅	真書	覆土中層	
11-43	淳化元寶	24.54	5.78	1.20	3.83	990	銅	真書	覆土中層	
11-44	淳化元寶	24.10	5.91	1.08	3.02	990	銅	真書	覆土中層	
11-45	開元通寶	24.33	6.70	1.08	2.71	960	銅	隸書 穴	覆土中層	
11-46	永樂通寶	24.42	6.31	1.01	3.10	1408	銅	真書	覆土中層	
11-47	太平通寶	24.47	6.35	1.06	3.16	976	銅	真書	覆土中層	
11-48	宣德通寶	24.91	5.42	1.08	3.74	1433	銅	真書	覆土中層	
11-49	政和通寶	24.20	6.33	1.15	3.61	1111	銅	篆書	覆土中層	
11-50	永樂通寶	24.81	5.65	1.18	3.17	1408	銅	真書	覆土中層	
11-51	聖宋元寶	24.58	6.34	1.16	3.33	-	銅	真書 穴 模鑄錢	覆土中層	
11-52	宣德通寶	25.01	5.32	1.17	3.62	1433	銅	真書	覆土中層	
11-53	永樂通寶	24.89	5.66	1.45	3.99	1408	銅	真書	覆土中層	
11-54	開元通寶	24.24	6.86	1.32	3.33	960	銅	隸書	覆土中層	
11-55	元祐通寶	24.38	6.88	1.27	3.95	1086	銅	行書	覆土中層	
11-56	永樂通寶	24.77	5.57	1.38	4.08	1408	銅	真書	覆土中層	
11-57	永樂通寶	24.89	5.72	1.30	4.06	1408	銅	真書	覆土中層	
11-58	永樂通寶	25.08	5.81	1.33	4.10	1408	銅	真書	覆土中層	
11-59	永樂通寶	24.76	5.86	1.18	3.15	1408	銅	真書	覆土中層	
11-60	永樂通寶	24.82	5.84	1.37	3.07	1408	銅	真書	覆土中層	
11-61	永樂通寶	24.57	5.90	1.25	3.04	1408	銅	真書	覆土中層	
11-62	皇宋通寶	24.91	6.88	1.07	3.15	1038	銅	篆書	覆土中層	
11-63	宣德通寶	25.39	5.40	1.21	3.33	1433	銅	真書	覆土中層	
11-64	紹聖元寶	23.17	6.46	1.29	3.53	1094	銅	篆書	覆土中層	
11-65	永樂通寶	25.11	5.65	1.28	3.17	1408	銅	真書	覆土中層	

番号	銭名	径 (mm)	孔径 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	初鋳年	材質	特徴	出土位置	備考
11-66	永樂通寶	25.27	5.53	1.33	4.27	1408	銅	真書	覆土中層	
11-67	皇宋通寶	24.63	6.74	1.12	3.28	1038	銅	篆書	覆土中層	
11-68	淳熙元寶	23.96	6.34	1.26	3.57	1068	銅	真書 背上月	覆土中層	
11-69	元祐通寶	24.99	6.14	1.11	3.37	1086	銅	真書	覆土中層	
11-70	永樂通寶	25.30	5.78	1.11	2.74	1408	銅	真書	覆土中層	
11-71	永樂通寶	24.96	5.93	1.44	3.83	1408	銅	真書	覆土中層	
11-72	永樂通寶	25.07	5.63	1.17	3.16	1408	銅	真書	覆土中層	
11-73	永樂通寶	24.81	5.65	1.25	2.78	1408	銅	真書	覆土中層	
11-74	聖宋元寶	24.40	6.58	1.34	3.84	1101	銅	行書	覆土中層	
11-75	永樂通寶	24.93	5.80	1.17	3.43	1408	銅	真書	覆土中層	
11-76	洪武通寶	24.40	5.55	1.15	3.24	1368	銅	真書	覆土中層	
11-77	政和通寶	24.32	6.85	1.20	3.16	1111	銅	篆書	覆土中層	
11-78	永樂通寶	24.71	5.86	1.50	4.04	1408	銅	真書	覆土中層	
11-79	永樂通寶	24.97	5.80	1.26	3.01	1408	銅	真書	覆土中層	
11-80	永樂通寶	24.86	5.68	1.64	4.32	1408	銅	真書	覆土中層	
11-81	永樂通寶	25.01	5.72	1.33	3.81	1408	銅	真書	覆土中層	
11-82	永樂通寶	25.08	5.69	1.21	3.61	1408	銅	真書	覆土中層	
11-83	元祐通寶	23.75	6.91	1.32	3.20	1086	銅	篆書	覆土中層	
11-84	熙寧元寶	23.73	6.62	1.54	4.11	1068	銅	篆書	覆土中層	
11-85	永樂通寶	25.15	5.62	1.33	3.83	1408	銅	真書	覆土中層	
11-86	開元通寶	24.63	7.05	1.07	3.07	960	銅	隸書	覆土中層	
11-87	永樂通寶	25.14	5.68	1.48	4.15	1408	銅	真書	覆土中層	
11-88	太平通寶	24.17	6.43	1.13	2.76	976	銅	真書	覆土中層	
11-89	永樂通寶	25.68	5.71	1.42	4.20	1408	銅	真書	覆土中層	
11-90	永樂通寶	25.02	5.75	1.44	4.03	1408	銅	真書	覆土中層	
11-91	永樂通寶	25.17	5.60	1.38	3.95	1408	銅	真書	覆土中層	
11-92	永樂通寶	24.73	5.73	1.41	3.50	1408	銅	真書	覆土中層	
11-93	永樂通寶	24.96	5.78	1.51	3.60	1408	銅	真書	覆土中層	
11-94	景德元寶	24.67	6.41	1.15	3.01	1004	銅	真書	覆土中層	
11-95	永樂通寶	25.30	5.71	1.40	3.37	1408	銅	真書	覆土中層	
11-96	永樂通寶	24.71	5.79	1.20	3.54	1408	銅	真書	覆土中層	
11-97	永樂通寶	24.84	5.53	1.32	3.44	1408	銅	真書	覆土中層	
12-1	永樂通寶	25.05	5.71	1.50	4.62	1408	銅	真書	覆土中層	
12-2	紹聖元寶	24.43	6.09	1.04	3.45	1094	銅	篆書	覆土中層	
12-3	開元通寶	24.74	6.85	1.01	2.72	960	銅	隸書 背上月	覆土中層	
12-4	永樂通寶	25.02	5.88	0.92	3.44	1408	銅	真書	覆土中層	
12-5	政和通寶	24.48	6.44	1.26	3.23	1111	銅	隸書 背上月	覆土中層	
12-6	紹聖元寶	24.35	6.94	1.18	3.84	1094	銅	真書	覆土中層	
12-7	熙寧元寶	23.89	6.62	1.29	3.37	1068	銅	篆書 背下月	覆土中層	
12-1	開元通寶	25.14	6.83	1.15	3.19	960	銅	隸書 背上月	覆土中層	PL10
12-2	紹聖元寶	24.48	6.21	1.06	3.19	1008	銅	篆書	覆土中層	
12-3	永樂通寶	25.00	5.58	1.19	3.50	1408	銅	背下月	覆土中層	
12-4	永樂通寶	24.88	5.68	1.31	3.50	1408	銅	真書	覆土中層	
12-5	永樂通寶	24.69	5.77	1.30	3.76	1408	銅	真書	覆土中層	
12-6	景祐元寶	25.09	6.17	1.04	3.10	1034	銅	篆書 穴	覆土中層	
12-7	元符通寶	24.63	6.05	1.07	3.25	1086	銅	篆書	覆土中層	
12-8	天聖元寶	25.09	6.97	1.21	(3.89)	1023	銅	篆書 星孔 欠け	覆土中層	
12-9	紹聖元寶	24.00	6.12	1.43	3.86	1094	銅	篆書	覆土中層	
12-10	永樂通寶	25.05	5.81	1.25	3.02	1408	銅	真書	覆土中層	
12-11	淳化元寶	24.57	5.62	1.19	3.69	990	銅	行書	覆土中層	
12-12	永樂通寶	25.08	5.86	1.37	3.47	1408	銅	真書	覆土中層	
12-13	宣德通寶	25.51	5.41	1.17	3.35	1433	銅	真書 穴	覆土中層	
12-14	永樂通寶	25.00	5.66	1.06	2.96	1408	銅	真書 背左月	覆土中層	
12-15	大觀通寶	24.48	6.59	1.42	3.76	1107	銅	真書 背下月	覆土中層	
12-16	元祐通寶	24.49	6.64	1.34	4.36	1086	銅	行書	覆土中層	
12-17	永樂通寶	24.80	5.77	1.24	3.54	1408	銅	真書 背上月	覆土中層	
12-18	永樂通寶	24.98	5.73	1.13	3.02	1408	銅	真書	覆土中層	
12-19	政和通寶	24.48	6.68	1.18	(2.94)	1111	銅	隸書 欠け	覆土中層	
12-20	紹聖元寶	23.88	6.30	1.43	3.64	1094	銅	篆書	覆土中層	



番号	銭名	径 (mm)	孔径 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	初铸年	材質	特徴	出土位置	備考
12-21	永樂通寶	24.71	5.72	1.40	3.46	1408	銅	真書	覆土中層	
12-22	元祐通寶	23.83	6.71	1.30	3.64	1086	銅	篆書	覆土中層	
12-23	洪武通寶	23.17	5.77	1.34	3.26	1368	銅	真書	覆土中層	
12-24	唐国通寶	24.16	6.26	0.99	2.80	959	銅	篆書	覆土中層	PL10
12-25	元豊通寶	25.40	6.25	1.05	3.40	1078	銅	篆書	覆土中層	
12-26	政和通寶	24.89	6.12	1.24	3.54	1111	銅	篆書	覆土中層	
12-27	永樂通寶	25.16	5.80	1.71	3.80	1408	銅	真書	覆土中層	
12-28	政和通寶	24.87	5.72	1.51	3.86	1111	銅	隸書	覆土中層	
12-29	紹聖元寶	23.90	6.23	1.45	4.23	1094	銅	行書	覆土中層	
12-30	至和元寶	23.63	6.61	1.18	3.33	1054	銅	真書	覆土中層	
12-31	永樂通寶	24.92	6.06	1.36	3.45	1408	銅	真書	覆土中層	
12-32	永樂通寶	24.24	6.51	1.04	2.91	1408	銅	真書	覆土中層	
12-33	皇宋通寶	24.14	6.39	1.01	(2.78)	-	銅	真書 欠け 模鑄銭	覆土中層	
12-34	皇宋通寶	24.52	6.77	1.21	3.53	1038	銅	篆書	覆土中層	
12-35	皇宋通寶	24.43	7.34	1.29	3.65	1038	銅	真書	覆土中層	
12-36	永樂通寶	25.00	5.73	1.23	3.83	1408	銅	真書	覆土中層	
12-37	皇宋通寶	24.80	7.12	1.14	3.69	1038	銅	真書	覆土中層	
12-38	皇宋通寶	24.78	7.50	1.04	3.10	1038	銅	真書	覆土中層	
12-39	永樂通寶	25.07	5.70	1.27	3.72	1408	銅	真書	覆土中層	
12-40	洪武通寶	23.96	5.64	1.40	3.68	1368	銅	真書	覆土中層	
12-41	元祐通寶	23.61	6.86	1.28	3.51	1086	銅	行書	覆土中層	
12-42	至道元寶	24.78	6.26	1.08	3.38	995	銅	草書	覆土中層	
12-43	景德元寶	24.31	6.28	1.00	2.91	1004	銅	真書	覆土中層	
12-44	元祐通寶	24.77	6.55	0.95	2.83	1086	銅	行書	覆土中層	
12-45	元祐通寶	24.25	6.92	1.11	3.35	1086	銅	行書	覆土中層	
12-46	嘉祐通寶	25.23	7.14	0.99	3.21	1056	銅	篆書	覆土中層	
12-47	永樂通寶	24.96	5.76	1.52	4.18	1408	銅	真書	覆土中層	
12-48	景德元寶	24.76	6.33	1.23	3.32	1004	銅	真書	覆土中層	
12-49	紹聖元寶	23.71	7.17	1.18	3.02	1094	銅	篆書	覆土中層	
12-50	皇宋通寶	23.95	6.58	1.10	3.24	1038	銅	真書	覆土中層	
12-51	洪武通寶	24.11	5.59	1.51	3.46	1368	銅	真書	覆土中層	
12-52	永樂通寶	24.75	5.93	1.37	3.71	1408	銅	真書	覆土中層	
12-53	永樂通寶	25.18	5.75	1.14	3.31	1408	銅	真書	覆土中層	
12-54	永樂通寶	24.68	5.67	1.30	3.51	1408	銅	真書	覆土中層	
12-55	皇宋元寶	24.40	6.71	1.14	3.37	1253	銅	真書 背六	覆土中層	PL10
12-56	元祐通寶	24.82	6.47	0.96	3.16	-	銅	篆書 模鑄銭	覆土中層	
12-57	淳熙元寶	24.02	6.75	1.23	3.19	1174	銅	真書 背上月	覆土中層	
12-58	永樂通寶	24.54	5.59	1.77	5.32	1408	銅	真書	覆土中層	
12-59	元豊通寶	24.94	6.51	1.05	3.47	-	銅	篆書 模鑄銭	覆土中層	
12-60	元符通寶	23.80	6.22	1.37	4.01	1086	銅	篆書	覆土中層	
12-61	永樂通寶	25.51	5.75	1.25	3.50	1408	銅	真書	覆土中層	
12-62	永樂通寶	25.16	5.87	1.12	3.05	1408	銅	真書	覆土中層	
12-63	聖宋元寶	23.77	6.72	1.24	3.60	1094	銅	篆書	覆土中層	
12-64	聖宋元寶	23.80	6.41	1.38	3.97	1094	銅	行書	覆土中層	
12-65	祥符元寶	24.50	6.24	0.99	2.99	1008	銅	真書	覆土中層	
12-66	元祐通寶	24.40	6.56	0.89	2.61	1086	銅	行書	覆土中層	
12-67	開元通寶	24.23	6.78	1.10	3.11	-	銅	隸書 穴 模鑄銭	覆土中層	
12-68	永樂通寶	24.91	5.71	1.63	4.58	1408	銅	真書	覆土中層	
12-69	永樂通寶	25.03	5.75	1.34	3.71	1408	銅	真書	覆土中層	
12-70	永樂通寶	25.11	5.80	1.19	3.44	1408	銅	真書	覆土中層	
12-71	皇宋通寶	24.44	6.81	1.09	3.15	1038	銅	篆書	覆土中層	
12-72	天聖元寶	25.08	6.78	1.01	3.13	1023	銅	真書	覆土中層	
12-73	永樂通寶	25.68	6.98	1.04	3.26	1408	銅	真書	覆土中層	
12-74	永樂通寶	24.60	5.63	1.14	3.09	1408	銅	真書	覆土中層	
12-75	熙寧元寶	23.86	6.54	1.25	3.06	1068	銅	真書	覆土中層	
12-76	淳化元寶	24.53	6.06	1.03	3.17	990	銅	草書	覆土中層	
12-77	祥符元寶	25.02	6.23	1.29	3.80	1008	銅	真書	覆土中層	
12-78	永樂通寶	25.33	5.41	1.42	4.16	1408	銅	真書	覆土中層	
12-79	永樂通寶	24.97	5.78	1.08	2.87	1408	銅	真書	覆土中層	

番号	銭名	径 (mm)	孔径 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	初鑄年	材質	特徴	出土位置	備考
12-80	永樂通寶	24.92	5.67	1.18	3.31	1408	銅	真書	覆土中層	
12-81	永樂通寶	25.01	5.49	1.24	3.56	1408	銅	真書 背右月	覆土中層	
12-82	咸平元寶	24.50	5.93	1.08	2.94	998	銅	真書	覆土中層	
12-83	永樂通寶	24.40	5.67	1.13	2.94	1408	銅	真書	覆土中層	
12-84	皇宋通寶	24.05	6.56	1.55	4.58	1038	銅	篆書	覆土中層	
12-85	永樂通寶	25.14	5.65	1.53	4.18	1408	銅	真書	覆土中層	
12-86	政和通寶	24.82	6.50	1.27	3.54	1111	銅	隸書	覆土中層	
12-87	洪武通寶	23.86	5.71	1.41	3.68	1368	銅	真書	覆土中層	
12-88	元豐通寶	24.71	6.94	1.56	4.53	1078	銅	行書 星孔	覆土中層	PL10
12-89	太平通寶	24.43	6.20	1.16	3.17	976	銅	真書	覆土中層	
13-1	洪武通寶	23.24	5.23	1.19	3.29	1368	銅	真書	覆土中層	
13-2	皇宋通寶	30.23	6.82	1.15	3.50	1038	銅	真書	覆土中層	
13-3	永樂通寶	24.71	5.86	1.44	3.78	1408	銅	真書	覆土中層	
13-4	景祐元寶	24.87	6.01	0.97	2.96	1034	銅	真書 背上月	覆土中層	
13-5	政和通寶	30.10	6.06	1.21	3.53	1111	銅	真書	覆土中層	
13-6	永樂通寶	30.31	5.94	1.32	3.56	1408	銅	真書	覆土中層	
13-7	元祐通寶	24.75	6.71	1.41	4.34	1086	銅	真書 背下月	覆土中層	
13-8	永樂通寶	30.00	5.80	1.26	3.11	1408	銅	真書	覆土中層	
13-9	治平通寶	24.20	7.49	1.05	2.76	1064	銅	篆書	覆土中層	
13-10	皇宋通寶	30.05	6.60	1.18	3.19	1038	銅	真書	覆土中層	
13-11	元豐通寶	24.77	6.36	1.15	3.87	1078	銅	行書	覆土中層	
13-12	永樂通寶	24.94	5.78	1.50	3.74	1408	銅	真書	覆土中層	
13-13	熙寧元寶	23.75	6.25	1.22	3.56	1068	銅	真書	覆土中層	
13-14	至道元寶	29.37	6.12	1.11	3.04	995	銅	草書	覆土中層	
13-15	永樂通寶	29.84	5.76	1.38	3.32	1408	銅	真書	覆土中層	
13-16	皇宋通寶	24.96	7.20	1.29	3.93	1038	銅	真書	覆土中層	
13-17	皇宋通寶	30.26	6.96	1.10	2.98	1038	銅	真書	覆土中層	
13-18	元祐通寶	28.95	6.86	1.33	3.89	1086	銅	篆書	覆土中層	
13-19	皇宋通寶	24.66	7.22	0.97	2.59	1038	銅	篆書	覆土中層	
13-20	洪武通寶	23.99	5.98	1.30	3.54	1368	銅	真書	覆土中層	
13-21	元祐通寶	24.40	6.93	1.14	3.46	1086	銅	篆書	覆土中層	
13-22	治平元寶	23.50	6.11	1.23	3.26	1064	銅	篆書	覆土中層	
13-23	熙寧元寶	24.68	6.89	0.92	2.91	1068	銅	隸書	覆土中層	
13-24	開元通寶	24.40	6.66	0.95	2.79	960	銅	隸書	覆土中層	
13-25	天禧通寶	24.37	6.32	1.19	3.69	1017	銅	真書	覆土中層	
13-26	永樂通寶	24.84	5.56	1.19	3.39	1408	銅	真書	覆土中層	
13-27	永樂通寶	24.92	5.85	1.28	3.96	1408	銅	真書	覆土中層	
13-28	永樂通寶	24.96	5.91	1.25	3.37	1408	銅	真書	覆土中層	
13-29	政和通寶	24.11	6.59	1.36	3.41	1111	銅	隸書	覆土中層	
13-30	紹聖元寶	23.89	6.41	1.28	3.30	1094	銅	行書 割れ	覆土中層	
13-31	元豐通寶	24.57	7.24	1.11	3.22	1078	銅	篆書	覆土中層	
13-32	朝鮮通寶	24.59	5.85	1.49	3.91	1423	銅	篆書	覆土中層	
13-33	天聖元寶	24.83	7.03	1.20	3.62	1023	銅	真書 模鑄銭	覆土中層	
13-34	皇宋通寶	23.99	6.96	0.98	2.41	1038	銅	篆書	覆土中層	
13-35	洪武通寶	29.46	5.86	1.38	3.68	-	銅	真書 背浙	覆土中層	PL11
14-1	元豐通寶	24.56	7.23	0.96	3.13	1078	銅	篆書	覆土中層	
14-2	皇宋通寶	24.02	7.13	0.88	3.08	1038	銅	真書	覆土中層	
14-3	永樂通寶	24.60	6.80	1.34	3.54	1408	銅	篆書	覆土中層	
14-4	開元通寶	24.62	5.82	1.21	3.33	960	銅	隸書	覆土中層	
14-5	永樂通寶	24.91	7.11	1.08	2.88	1408	銅	真書	覆土中層	
14-6	治平元寶	24.13	6.17	1.40	3.94	1064	銅	篆書	覆土中層	
14-7	永樂通寶	25.24	6.37	1.34	4.13	1408	銅	真書	覆土中層	
14-8	永樂通寶	24.98	5.52	1.38	4.24	1408	銅	真書	覆土中層	
14-9	元豐通寶	24.02	5.56	1.17	3.14	1078	銅	行書	覆土中層	
14-10	紹聖元寶	23.78	6.37	1.05	2.96	1094	銅	行書	覆土中層	
14-11	紹聖元寶	24.25	6.42	1.45	3.66	1094	銅	行書	覆土中層	
14-12	開元通寶	24.53	6.87	1.11	3.54	960	銅	隸書	覆土中層	
14-13	治平元寶	24.41	6.73	1.13	3.41	1064	銅	篆書	覆土中層	
14-14	宣德通寶	25.36	6.39	1.25	3.98	1433	銅	真書	覆土中層	

番号	銭名	径 (mm)	孔径 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	初铸年	材質	特徴	出土位置	備考
14-15	紹聖元寶	24.82	5.82	1.11	3.08	1094	銅	行書	覆土中層	
14-16	元豐通寶	24.61	6.65	1.06	3.11	1078	銅	篆書	覆土中層	
14-17	祥符元寶	24.74	6.81	1.17	3.84	1008	銅	行書	覆土中層	
14-18	宣德通寶	25.23	6.41	0.92	2.77	1433	銅	真書	覆土中層	
14-19	熙寧元寶	23.62	5.44	1.38	3.69	-	銅	真書 磨輪。模鑄銭	覆土中層	
14-20	淳祐元寶	23.89	6.64	1.18	3.22	1241	銅	真書 背六	覆土中層	PL11
14-21	洪武通寶	23.97	6.75	1.49	3.81	1368	銅	真書 背浙	覆土中層	
14-22	元豐通寶	24.96	7.44	1.26	3.59	1078	銅	篆書	覆土中層	
14-23	元祐通寶	24.20	7.08	1.24	3.57	1086	銅	篆書	覆土中層	
14-24	至和元寶	23.75	6.15	1.26	3.98	1054	銅	篆書	覆土中層	
14-25	紹聖元寶	25.04	7.46	1.16	3.52	-	銅	行書 背月 模鑄銭	覆土中層	
14-26	嘉祐通寶	25.03	7.64	0.80	2.42	1056	銅	真書	覆土中層	
14-27	紹聖元寶	23.79	6.47	1.28	3.42	1094	銅	篆書	覆土中層	
14-28	永樂通寶	24.89	5.90	1.24	3.18	1408	銅	真書	覆土中層	
14-29	永樂通寶	25.40	5.44	1.18	3.23	1408	銅	真書	覆土中層	
14-30	熙寧元寶	24.41	7.06	1.10	3.29	-	銅	真書 模鑄銭	覆土中層	
14-31	元祐通寶	28.81	7.11	1.16	3.64	1086	銅	篆書	覆土中層	
14-32	軋元重寶	24.58	6.70	1.06	2.98	758	銅	真書	覆土中層	
14-33	政和通寶	24.55	6.59	1.18	3.45	1111	銅	篆書	覆土中層	
14-34	明道元寶	24.94	6.12	1.22	3.94	1032	銅	篆書	覆土中層	
14-35	明道元寶	24.62	7.31	1.00	3.08	1032	銅	篆書	覆土中層	
14-36	元祐通寶	24.30	6.96	1.21	3.48	1086	銅	篆書	覆土中層	
14-37	永樂通寶	25.20	5.88	1.22	3.47	1408	銅	真書	覆土中層	
14-38	皇宋通寶	24.49	6.62	1.20	3.69	1038	銅	篆書	覆土中層	
14-39	永樂通寶	25.31	5.72	1.38	3.59	1408	銅	真書	覆土中層	
14-40	永樂通寶	24.80	5.76	1.57	(3.43)	1408	銅	真書 欠け	覆土中層	
14-41	永樂通寶	24.75	5.80	1.18	3.09	1408	銅	真書	覆土中層	
14-42	皇宋通寶	24.33	7.21	0.99	3.00	1038	銅	真書	覆土中層	
14-43	永樂通寶	25.10	5.65	1.36	3.15	1408	銅	真書	覆土中層	
14-44	景祐元寶	24.71	6.60	1.34	3.77	1034	銅	真書	覆土中層	
14-45	開元通寶	24.54	6.93	1.17	2.89	960	銅	隸書	覆土中層	
14-46	皇宋通寶	24.87	7.01	0.87	2.85	1038	銅	真書	覆土中層	
14-47	天聖元寶	24.78	7.18	1.25	3.51	1023	銅	真書	覆土中層	
14-48	永樂通寶	25.00	5.92	1.37	3.78	1408	銅	真書	覆土中層	
14-49	大觀通寶	24.68	6.34	1.17	3.38	1107	銅	真書	覆土中層	
14-50	皇宋通寶	24.89	6.35	1.07	3.69	1038	銅	篆書	覆土中層	
14-51	淳化元寶	24.69	6.10	1.28	3.36	990	銅	草書	覆土中層	
14-52	至道元寶	24.87	6.15	1.03	3.30	995	銅	真書	覆土中層	
14-53	聖宋元寶	24.29	5.80	1.14	3.35	1101	銅	行書	覆土中層	
14-54	皇宋通寶	25.20	6.90	1.10	3.01	1038	銅	篆書	覆土中層	
14-55	皇宋通寶	24.90	7.02	1.10	3.28	-	銅	真書 模鑄銭	覆土中層	
14-56	元符通寶	23.64	6.38	1.19	3.45	1098	銅	行書	覆土中層	
14-57	政和通寶	24.51	5.55	1.56	3.82	1111	銅	隸書	覆土中層	
14-58	元豐通寶	25.04	6.53	1.11	3.55	1078	銅	篆書	覆土中層	
14-59	洪武通寶	24.38	6.17	1.29	2.83	1368	銅	真書	覆土中層	
15-1	皇宋通寶	23.80	6.54	1.08	3.35	1038	銅	篆書	覆土中層	
15-2	祥符元寶	24.60	6.16	1.08	3.48	1008	銅	真書	覆土中層	
15-3	永樂通寶	25.10	6.72	1.31	3.62	1408	銅	真書	覆土中層	
16-1	皇宋通寶	25.20	6.95	1.06	3.41	1038	銅	真書	覆土中層	
16-2	開元通寶	24.64	6.92	1.08	3.12	960	銅	隸書 背上月	覆土中層	
16-3	永樂通寶	24.77	5.93	1.34	3.58	1408	銅	真書	覆土中層	
16-4	開元通寶	24.27	6.32	0.98	2.84	960	銅	隸書	覆土中層	
16-5	元豐通寶	24.46	6.66	1.32	4.11	1078	銅	行書	覆土中層	
17-1	政和通寶	24.40	6.93	1.02	2.54	1111	銅	隸書	覆土中層	
17-2	天聖元寶	24.42	6.03	1.24	4.09	1023	銅	真書	覆土中層	
18-1	元豐通寶	24.68	7.19	1.02	3.20	1078	銅	行書	覆土中層	
18-2	元豐通寶	23.88	6.66	1.28	3.80	1078	銅	篆書 背上月・星	覆土中層	
18-3	元符通寶	24.32	7.24	0.92	2.60	1098	銅	行書	覆土中層	
19-1	元符通寶	24.11	6.92	1.22	3.50	1098	銅	篆書 背上月	覆土中層	

番号	銭名	径 (mm)	孔径 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	初鑄年	材質	特徴	出土位置	備考
20-1	明道元寶	23.90	6.27	1.43	3.87	1032	銅	篆書 穴	覆土中層	
20-2	熙寧元寶	24.31	6.48	1.35	3.60	1068	銅	真書	覆土中層	
20-3	天禧通寶	25.78	6.34	1.16	3.49	1017	銅	真書	覆土中層	
20-4	祥符元寶	24.81	6.36	1.38	3.71	1008	銅	真書	覆土中層	
20-5	永樂通寶	25.00	5.65	1.57	3.98	1408	銅	真書	覆土中層	
20-6	元符通寶	24.07	6.99	1.27	3.63	1098	銅	篆書	覆土中層	
20-7	元豐通寶	24.53	6.91	1.24	3.68	1078	銅	篆書	覆土中層	
20-8	洪武通寶	25.10	5.86	1.18	3.15	1368	銅	真書 背福	覆土中層	PL11
20-9	永樂通寶	24.92	5.54	1.44	3.54	1408	銅	真書	覆土中層	
20-10	開元通寶	25.04	7.02	1.27	3.49	960	銅	隸書	覆土中層	
20-11	朝鮮通寶	24.33	5.42	1.52	3.99	1423	銅	真書	覆土中層	
20-12	元豐通寶	24.11	7.12	0.99	2.76	1078	銅	篆書	覆土中層	
20-13	嘉祐通寶	25.43	7.11	1.00	3.15	1056	銅	真書 鑄造ずれ	覆土中層	
20-14	淳化元寶	24.75	6.01	1.13	3.25	990	銅	真書	覆土中層	
20-15	永樂通寶	25.17	5.77	1.27	3.64	1408	銅	真書	覆土中層	
20-16	聖宋元寶	24.67	5.68	1.35	4.29	1101	銅	篆書	覆土中層	
20-17	永樂通寶	25.47	5.54	1.31	3.26	1408	銅	真書	覆土中層	
20-18	永樂通寶	25.48	5.61	1.68	4.13	1408	銅	真書	覆土中層	
20-19	永樂通寶	24.58	5.90	1.37	3.27	1408	銅	真書	覆土中層	
20-20	皇宋通寶	25.12	6.84	1.45	4.01	1101	銅	真書	覆土中層	
20-21	札元重寶	24.94	6.89	1.35	3.82	758	銅	真書	覆土中層	
20-22	治平元寶	23.94	6.68	1.33	3.83	1064	銅	行書	覆土中層	
20-23	永樂通寶	24.68	5.83	1.30	3.15	1408	銅	篆書	覆土中層	
20-24	熙寧元寶	24.35	6.62	0.98	3.36	1068	銅	真書	覆土中層	
20-25	皇宋通寶	25.22	7.25	1.13	4.91	1101	銅	篆書	覆土中層	
20-26	永樂通寶	25.14	5.72	1.78	4.60	1408	銅	篆書	覆土中層	
20-27	洪武通寶	24.55	5.70	1.60	4.25	1368	銅	真書 背左月 <sub>ㄩ</sub> 背浙	覆土中層	PL11
20-28	元豐通寶	25.23	6.56	1.13	3.60	1078	銅	行書	覆土中層	
20-29	至和元寶	24.51	7.43	1.16	3.46	1054	銅	篆書	覆土中層	
21-1	開元通寶	23.96	6.91	1.16	3.35	960	銅	隸書 背上月	覆土中層	
21-2	天禧通寶	24.42	6.64	1.10	3.12	1017	銅	真書	覆土中層	
21-3	永樂通寶	24.73	5.56	1.24	3.72	1408	銅	真書	覆土中層	
21-4	熙寧元寶	24.71	7.25	1.01	(3.37)	1068	銅	篆書 欠け	覆土中層	
21-5	治平元寶	24.02	5.97	1.14	3.57	1064	銅	真書	覆土中層	
21-6	治平元寶	24.01	6.27	1.35	3.90	1064	銅	篆書	覆土中層	
21-7	天禧通寶	24.17	6.31	1.10	(3.31)	-	銅	真書 欠け 模鑄銭	覆土中層	
21-8	天禧通寶	25.03	6.70	1.06	3.47	1017	銅	真書	覆土中層	
21-9	永樂通寶	25.03	6.11	1.37	4.15	1408	銅	真書	覆土中層	
21-10	皇宋通寶	24.44	6.94	1.04	3.16	-	銅	真書 模鑄銭	覆土中層	
21-11	景德元寶	24.16	5.80	1.06	4.31	1433	銅	真書	覆土中層	
21-12	永樂通寶	24.97	5.64	1.36	3.98	1408	銅	真書	覆土中層	
21-13	天禧通寶	24.80	6.36	1.06	3.05	1017	銅	真書	覆土中層	
21-14	聖宋元寶	24.45	6.20	0.99	3.15	1101	銅	篆書	覆土中層	
21-15	永樂通寶	25.10	5.77	1.25	3.68	1408	銅	真書	覆土中層	
21-16	永樂通寶	25.06	5.39	1.31	3.58	1408	銅	真書	覆土中層	
21-17	景德元寶	24.98	5.89	1.39	4.16	1433	銅	隸書	覆土中層	
21-18	開元通寶	24.56	6.71	1.10	3.09	960	銅	隸書	覆土中層	
21-19	慶元通寶	23.74	6.68	1.35	3.83	1195	銅	真書 背四	覆土中層	
21-20	天聖元寶	24.68	7.02	1.12	3.35	1023	銅	真書	覆土中層	
21-21	天禧通寶	25.12	6.65	1.01	3.25	1017	銅	真書	覆土中層	
21-22	景祐元寶	24.87	5.83	1.04	3.31	1034	銅	真書 星孔	覆土中層	
21-23	永樂通寶	24.91	5.91	1.31	3.77	1408	銅	真書	覆土中層	
21-24	天聖元寶	24.82	6.60	1.34	4.13	1023	銅	篆書	覆土中層	
21-25	永樂通寶	25.06	5.67	1.36	3.49	1408	銅	真書	覆土中層	
21-26	永樂通寶	24.83	5.88	1.34	3.42	1408	銅	真書	覆土中層	
21-27	永樂通寶	24.99	5.81	1.22	3.34	1408	銅	真書	覆土中層	
21-28	永樂通寶	24.81	5.80	1.51	3.96	1408	銅	真書	覆土中層	
21-29	永樂通寶	25.03	5.82	1.40	3.61	1408	銅	真書	覆土中層	
21-30	永樂通寶	24.99	5.68	1.42	4.27	1408	銅	真書	覆土中層	

番号	銭名	径(mm)	孔径(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	初鑄年	材質	特徴	出土位置	備考
21-31	永樂通寶	25.00	5.98	1.46	3.78	1408	銅	真書	覆土中層	
21-32	永樂通寶	24.68	5.74	1.29	3.57	1408	銅	真書	覆土中層	
21-33	永樂通寶	24.60	5.92	1.33	3.66	1408	銅	真書	覆土中層	
21-34	政和通寶	25.15	6.33	1.27	3.75	1111	銅	隸書	覆土中層	
21-35	元豐通寶	24.64	3.72	1.10	3.65	1078	銅	行書	覆土中層	
21-36	永樂通寶	24.77	5.79	1.42	4.60	1408	銅	真書	覆土中層	
21-37	元豐通寶	25.40	6.16	1.14	4.06	1078	銅	行書	覆土中層	
21-38	嘉祐通寶	24.69	7.89	1.14	3.63	1056	銅	真書	覆土中層	
21-39	紹聖元寶	24.44	6.60	1.25	3.75	1094	銅	篆書	覆土中層	
21-40	元祐通寶	24.09	6.65	1.37	3.94	1086	銅	篆書	覆土中層	
21-41	宋通元寶	24.63	6.34	1.01	2.91	960	銅	真書 背左星	覆土中層	
21-42	宣德通寶	25.40	5.38	1.03	3.49	1433	銅	真書	覆土中層	
21-43	元祐通寶	23.99	7.57	1.33	3.46	1086	銅	篆書 星孔	覆土中層	PL11
21-44	元祐通寶	24.92	6.74	1.22	3.92	1086	銅	篆書	覆土中層	
21-45	永樂通寶	24.77	5.64	1.50	3.66	1408	銅	真書	覆土中層	
21-46	元豐通寶	24.83	6.13	1.18	3.94	1078	銅	篆書	覆土中層	
21-47	開元通寶	24.63	6.66	1.26	3.63	960	銅	隸書	覆土中層	
21-48	皇宋通寶	24.60	6.22	1.16	3.56	1038	銅	篆書	覆土中層	
21-49	元祐通寶	24.61	5.93	1.09	3.55	1086	銅	行書	覆土中層	
21-50	永樂通寶	24.63	5.98	1.20	2.64	1408	銅	真書	覆土中層	PL11
21-51	永樂通寶	24.61	5.95	1.34	2.98	1408	銅	真書 穴	覆土中層	
21-52	祥符元寶	24.68	6.49	1.12	3.23	-	銅	真書 模鑄錢	覆土中層	
21-53	永樂通寶	24.83	5.72	1.25	3.13	1408	銅	真書	覆土中層	
21-54	皇宋通寶	24.70	7.07	0.97	3.03	-	銅	真書 模鑄錢	覆土中層	
21-55	大觀通寶	24.22	6.06	1.53	3.81	1107	銅	真書	覆土中層	
21-56	開元通寶	23.90	6.89	1.02	2.90	960	銅	隸書	覆土中層	
21-57	永樂通寶	24.61	5.68	1.42	3.33	1408	銅	真書	覆土中層	
21-58	開元通寶	25.32	6.90	1.31	3.49	960	銅	隸書 背上月	覆土中層	
21-59	熙寧元寶	24.60	6.74	1.43	4.43	1068	銅	真書	覆土中層	
21-60	永樂通寶	25.11	5.47	1.14	3.36	1408	銅	真書	覆土中層	
21-61	洪武通寶	24.77	5.79	1.38	3.85	1368	銅	真書 背浙	覆土中層	
21-62	永樂通寶	24.99	5.62	1.30	3.49	1408	銅	真書	覆土中層	
21-63	永樂通寶	24.76	5.92	1.12	3.14	1408	銅	真書	覆土中層	
21-64	祥符元寶	24.99	6.40	1.13	3.47	1008	銅	真書	覆土中層	
21-65	永樂通寶	24.89	5.57	1.25	3.16	1408	銅	真書	覆土中層	
21-66	皇宋通寶	24.63	6.85	0.97	3.41	1038	銅	篆書	覆土中層	
21-67	永樂通寶	24.80	5.86	1.19	3.62	1408	銅	真書	覆土中層	
21-68	永樂通寶	24.75	5.97	1.44	3.66	1408	銅	真書	覆土中層	
21-69	宣德通寶	25.63	5.41	1.24	4.14	1433	銅	真書	覆土中層	
21-70	祥符元寶	24.71	6.43	1.08	3.17	1008	銅	真書	覆土中層	
21-71	元祐通寶	24.85	6.82	1.27	3.51	1086	銅	篆書	覆土中層	
21-72	永樂通寶	24.72	5.39	1.31	3.75	1408	銅	真書	覆土中層	
21-73	元祐通寶	24.16	6.98	1.19	3.61	1086	銅	篆書	覆土中層	
21-74	宋通元寶	24.65	6.26	0.98	3.31	-	銅	真書 模鑄錢	覆土中層	
21-75	天聖元寶	24.85	6.84	1.07	3.02	1023	銅	真書	覆土中層	
21-76	元豐通寶	24.62	6.99	1.14	3.65	1078	銅	行書	覆土中層	
21-77	元豐通寶	24.63	6.60	1.07	3.51	1078	銅	篆書	覆土中層	
21-78	永樂通寶	25.30	5.73	1.54	3.49	1408	銅	真書	覆土中層	
21-79	元豐通寶	23.80	6.10	1.19	3.67	1078	銅	篆書	覆土中層	
21-80	政和通寶	24.52	6.49	1.48	(3.56)	1111	銅	隸書 欠け 割れ	覆土中層	
21-81	大觀通寶	24.29	6.15	1.16	3.20	1107	銅	真書	覆土中層	
21-82	宣德通寶	25.14	5.37	1.15	3.66	1433	銅	真書	覆土中層	
21-83	元豐通寶	24.30	6.60	1.30	4.14	1078	銅	行書	覆土中層	
21-84	皇宋通寶	24.78	6.95	1.16	3.50	1038	銅	真書	覆土中層	
21-85	元豐通寶	24.37	7.26	1.21	3.19	1078	銅	篆書	覆土中層	
21-86	宣德通寶	25.14	5.66	1.15	3.38	1433	銅	真書	覆土中層	
21-87	景祐元寶	24.93	7.16	1.04	3.25	1034	銅	篆書	覆土中層	
21-88	景德元寶	24.48	6.13	1.15	3.39	1004	銅	真書	覆土中層	
21-89	永樂通寶	24.89	5.78	1.48	3.58	1408	銅	真書	覆土中層	

番号	銭名	径 (mm)	孔径 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	初鑄年	材質	特徴	出土位置	備考
21-90	永樂通寶	24.57	5.70	1.22	3.29	1408	銅	真書	覆土中層	
21-91	永樂通寶	25.04	5.55	1.27	3.64	1408	銅	真書	覆土中層	
21-92	元豊通寶	25.20	6.95	1.25	3.82	1078	銅	篆書	覆土中層	
21-93	元豊通寶	24.48	6.53	1.16	3.55	1078	銅	行書	覆土中層	
21-94	至道元寶	24.60	6.26	0.98	3.33	995	銅	行書	覆土中層	
21-95	元豊通寶	23.71	6.01	1.16	(3.52)	1078	銅	行書 欠け	覆土中層	
21-96	永樂通寶	25.26	5.80	1.31	3.38	1408	銅	真書	覆土中層	
21-97	皇宋通寶	24.79	6.98	1.03	3.01	1038	銅	真書	覆土中層	
21-98	宣徳通寶	25.89	5.25	1.11	2.92	1433	銅	真書	覆土中層	
21-99	永樂通寶	24.91	5.56	1.40	3.75	1408	銅	真書	覆土中層	
21-100	永樂通寶	24.79	5.81	1.33	3.32	1408	銅	真書	覆土中層	
21-101	祥符元寶	25.20	6.34	1.23	3.78	1008	銅	真書	覆土中層	
22-1	聖宋元寶	24.16	6.23	1.10	3.22	1101	銅	行書	覆土中層	
22-2	元豊通寶	24.88	6.58	1.21	4.05	1078	銅	篆書	覆土中層	
22-3	永樂通寶	24.86	5.76	1.37	3.86	1408	銅	真書	覆土中層	
22-4	永樂通寶	24.68	5.62	1.16	3.23	1408	銅	真書	覆土中層	
22-5	永樂通寶	24.94	5.52	1.45	4.09	1408	銅	真書	覆土中層	
22-6	景祐元寶	24.92	5.85	1.24	3.79	1034	銅	篆書	覆土中層	
22-7	永樂通寶	25.06	5.71	1.42	4.12	1408	銅	真書	覆土中層	
22-8	永樂通寶	25.03	5.66	1.50	3.67	1408	銅	真書	覆土中層	
22-9	永樂通寶	24.61	5.77	1.41	3.38	1408	銅	真書 背上月	覆土中層	
22-10	元祐通寶	24.22	7.18	1.10	3.28	1086	銅	篆書 背上月	覆土中層	
22-11	永樂通寶	25.09	5.82	1.59	3.56	1408	銅	真書	覆土中層	
22-12	永樂通寶	24.95	5.72	1.39	3.58	1408	銅	真書	覆土中層	
22-13	永樂通寶	24.92	5.59	1.40	4.22	1408	銅	真書	覆土中層	
22-14	永樂通寶	25.14	5.78	1.10	2.90	1408	銅	真書	覆土中層	
22-15	永樂通寶	25.08	5.70	1.32	3.45	1408	銅	真書	覆土中層	
22-16	至道元寶	24.92	6.10	1.11	3.72	995	銅	真書	覆土中層	
22-17	皇宋通寶	24.91	7.22	1.17	3.63	1038	銅	真書	覆土中層	
22-18	永樂通寶	25.40	5.43	1.22	3.09	1408	銅	真書	覆土中層	
22-19	永樂通寶	24.90	5.74	1.39	3.54	1408	銅	真書	覆土中層	
22-20	永樂通寶	24.80	5.73	1.24	2.91	1408	銅	真書	覆土中層	
22-21	永樂通寶	24.89	5.71	1.42	4.09	1408	銅	真書	覆土中層	
22-22	政和通寶	25.12	6.80	0.91	2.91	1111	銅	隸書 穴	覆土中層	
22-23	永樂通寶	24.93	5.85	1.27	3.29	1408	銅	真書	覆土中層	
22-24	永樂通寶	25.33	5.77	1.37	3.70	1408	銅	真書	覆土中層	
22-25	宣徳通寶	25.23	5.14	1.19	3.45	1433	銅	真書	覆土中層	
22-26	永樂通寶	24.87	5.69	1.41	4.15	1408	銅	真書	覆土中層	
22-27	永樂通寶	24.83	5.76	1.11	2.77	1408	銅	真書	覆土中層	
22-28	祥符元寶	24.93	6.37	1.13	3.41	1008	銅	真書	覆土中層	
22-29	永樂通寶	25.06	5.56	1.30	3.57	1408	銅	真書	覆土中層	
22-30	開元通寶	24.51	6.95	1.06	2.89	960	銅	隸書	覆土中層	
22-31	皇宋通寶	23.95	5.78	1.22	(3.45)	-	銅	真書 欠け 模鑄銭	覆土中層	
22-32	永樂通寶	25.29	5.50	1.40	3.68	1408	銅	真書	覆土中層	
22-33	永樂通寶	25.15	5.86	1.45	3.96	1408	銅	真書	覆土中層	
22-34	永樂通寶	25.33	5.53	1.37	3.40	1408	銅	真書	覆土中層	
22-35	永樂通寶	25.52	5.66	1.23	3.62	1408	銅	真書	覆土中層	
22-36	聖宋元寶	24.09	6.10	1.46	4.00	1101	銅	篆書	覆土中層	
22-37	永樂通寶	24.84	5.56	1.78	5.13	1408	銅	真書	覆土中層	
22-38	政和通寶	24.35	6.56	1.18	3.34	1111	銅	真書	覆土中層	
22-39	開元通寶	24.90	6.70	1.24	3.36	960	銅	隸書	覆土中層	
22-40	宣徳通寶	25.25	5.20	1.34	3.52	1433	銅	真書	覆土中層	
22-41	洪武通寶	24.49	6.07	1.23	2.85	1368	銅	真書 背浙	覆土中層	
22-42	永樂通寶	25.15	5.57	1.27	3.67	1408	銅	真書	覆土中層	
22-43	天禧通寶	25.10	6.61	1.15	3.71	1017	銅	真書	覆土中層	
22-44	永樂通寶	25.01	5.59	1.59	3.66	1408	銅	真書	覆土中層	
22-45	永樂通寶	24.76	5.74	1.10	3.01	1408	銅	真書 背下月	覆土中層	
22-46	正隆元寶	24.97	6.12	1.71	3.93	1157	銅	真書	覆土中層	
22-47	元祐通寶	24.11	6.57	1.27	3.49	1086	銅	篆書	覆土中層	

番号	銭名	径(mm)	孔径(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	初铸年	材質	特徴	出土位置	備考
22-48	元祐通寶	25.20	6.13	1.17	3.63	-	銅	篆書 模鑄銭	覆土中層	
22-49	永樂通寶	25.63	5.59	1.49	4.07	1408	銅	真書 通上月	覆土中層	
22-50	聖宋元寶	24.75	6.30	1.34	4.12	1101	銅	篆書	覆土中層	
22-51	永樂通寶	24.99	5.69	1.21	3.21	1408	銅	真書	覆土中層	
22-52	治平元寶	24.42	6.68	1.09	3.00	1064	銅	篆書	覆土中層	
22-53	宣德通寶	25.58	5.42	1.20	3.70	1433	銅	背上月	覆土中層	
22-54	政和通寶	24.59	6.54	1.26	3.78	1111	銅	隸書	覆土中層	
22-55	永樂通寶	25.07	5.63	1.53	3.47	1408	銅	真書	覆土中層	
22-56	宣德通寶	25.29	5.32	1.35	3.42	1433	銅	真書	覆土中層	
22-57	永樂通寶	24.96	5.70	1.31	3.65	1408	銅	真書	覆土中層	
22-58	永樂通寶	24.93	6.09	1.13	3.45	1408	銅	真書	覆土中層	
22-59	永樂通寶	24.80	5.69	1.51	3.96	1408	銅	真書	覆土中層	
22-60	永樂通寶	24.85	5.76	1.62	4.51	1408	銅	真書	覆土中層	
22-61	永樂通寶	25.70	5.45	1.85	4.72	1408	銅	真書	覆土中層	
22-62	治平元寶	24.23	6.50	1.46	4.20	1064	銅	篆書	覆土中層	
22-63	元祐通寶	24.40	6.97	1.05	3.24	-	銅	篆書 模鑄銭	覆土中層	
22-64	元豐通寶	24.98	7.07	1.17	3.43	1078	銅	篆書	覆土中層	
22-65	永樂通寶	25.15	5.53	1.48	4.00	1408	銅	真書	覆土中層	
22-66	永樂通寶	24.99	5.61	1.36	3.40	1408	銅	真書	覆土中層	
22-67	景德元寶	24.38	5.90	1.33	4.38	1004	銅	真書	覆土中層	
22-68	永樂通寶	24.98	5.77	1.18	2.87	1408	銅	真書	覆土中層	
22-69	元祐通寶	24.61	6.80	1.08	3.03	1086	銅	篆書	覆土中層	
22-70	永樂通寶	25.16	5.63	1.14	3.24	1408	銅	真書	覆土中層	
22-71	皇宋通寶	24.65	6.75	1.04	3.10	-	銅	真書 模鑄銭	覆土中層	
22-72	天聖元寶	25.07	6.95	1.11	3.36	1023	銅	篆書	覆土中層	
22-73	景祐元寶	24.31	6.20	1.04	3.20	-	銅	真書 模鑄銭	覆土中層	
22-74	洪武通寶	24.70	5.45	1.90	4.39	1368	銅	真書	覆土中層	
22-75	政和通寶	24.99	6.18	1.21	(3.59)	1111	銅	隸書 穴 欠け	覆土中層	
22-76	永樂通寶	24.62	5.60	1.45	3.48	1408	銅	真書	覆土中層	
22-77	永樂通寶	25.12	6.07	1.17	3.19	1408	銅	真書 穴	覆土中層	
22-78	宣德通寶	25.34	5.46	1.53	3.67	1433	銅	真書	覆土中層	
22-79	景祐元寶	23.51	6.07	1.24	3.42	1034	銅	篆書	覆土中層	
22-80	元祐通寶	23.69	6.63	1.20	3.14	1086	銅	真書	覆土中層	
22-81	永樂通寶	24.93	5.96	1.34	(2.68)	1408	銅	真書 欠け	覆土中層	
22-82	永樂通寶	24.74	5.66	1.21	3.73	1408	銅	真書	覆土中層	
22-83	永樂通寶	25.00	5.71	1.25	3.16	1408	銅	真書	覆土中層	
22-84	永樂通寶	25.13	5.73	1.34	3.21	1408	銅	真書	覆土中層	
22-85	永樂通寶	25.02	2.84	1.42	3.50	1408	銅	真書	覆土中層	
22-86	宣德通寶	25.45	5.21	1.56	3.75	1433	銅	真書	覆土中層	
22-87	永樂通寶	25.00	5.79	1.39	3.76	1408	銅	真書	覆土中層	
22-88	永樂通寶	25.11	5.68	1.38	3.56	1408	銅	真書	覆土中層	
22-89	嘉祐通寶	25.05	6.96	1.17	4.11	1056	銅	篆書	覆土中層	
22-90	永樂通寶	25.13	6.56	1.48	4.10	1408	銅	真書	覆土中層	
22-91	永樂通寶	24.94	5.62	1.40	3.59	1408	銅	真書	覆土中層	
22-92	元豐通寶	24.71	6.62	0.94	2.67	1078	銅	篆書	覆土中層	
22-93	永樂通寶	24.84	5.62	1.20	2.70	1408	銅	真書	覆土中層	
22-94	永樂通寶	24.96	5.61	1.55	4.03	1408	銅	真書	覆土中層	
22-95	皇宋通寶	24.96	7.00	1.13	3.22	1038	銅	篆書	覆土中層	
22-96	祥符元寶	24.99	6.20	1.06	3.37	1008	銅	真書	覆土中層	
22-97	元祐通寶	24.57	6.90	1.37	3.80	1086	銅	行書	覆土中層	
22-98	永樂通寶	24.77	5.74	1.24	2.84	1408	銅	真書	覆土中層	
22-99	政和通寶	24.73	5.96	1.24	3.18	1111	銅	隸書	覆土中層	
22-100	祥符元寶	25.43	5.88	0.98	3.43	1008	銅	真書	覆土中層	
22-101	天聖元寶	24.69	5.65	1.30	3.15	1023	銅	真書	覆土中層	
22-102	洪武通寶	25.24	6.78	1.19	3.88	1368	銅	隸書	覆土中層	
22-103	永樂通寶	23.52	5.64	1.27	3.04	1408	銅	真書	覆土中層	
22-104	永樂通寶	25.01	5.90	1.36	3.28	1408	銅	真書	覆土中層	
22-105	永樂通寶	24.73	5.75	1.08	2.80	1408	銅	真書	覆土中層	
22-106	永樂通寶	25.08	5.64	1.59	4.81	1408	銅	真書	覆土中層	

番号	銭名	径 (mm)	孔径 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	初鑄年	材質	特徴	出土位置	備考
22-107	聖宋元寶	23.90	6.73	1.32	3.25	1101	銅	行書	覆土中層	
23-1	永樂通寶	24.86	5.64	1.52	4.70	1408	銅	真書	覆土中層	
23-2	天聖元寶	24.64	7.06	1.15	(3.40)	1023	銅	真書 穴 欠け	覆土中層	
23-3	咸平元寶	24.69	6.41	1.01	3.53	998	銅	行書	覆土中層	
23-4	元祐通寶	24.55	6.78	1.31	3.73	1086	銅	篆書	覆土中層	
23-5	永樂通寶	25.04	5.84	1.43	3.75	1408	銅	真書	覆土中層	
23-6	大中通寶	23.85	5.84	1.31	3.34	1361	銅	隸書	覆土中層	
23-7	太平通寶	24.00	6.15	0.95	3.02	976	銅	真書	覆土中層	
23-8	元祐通寶	24.59	7.13	1.17	3.77	1086	銅	篆書	覆土中層	
23-9	政和通寶	24.79	6.25	1.07	3.22	1111	銅	隸書	覆土中層	
23-10	開元通寶	24.30	6.70	1.01	3.19	960	銅	隸書	覆土中層	
23-11	皇宋通寶	24.86	7.06	0.93	3.37	1038	銅	篆書	覆土中層	
23-12	治平元寶	24.25	6.39	1.24	3.78	1064	銅	篆書	覆土中層	
23-13	天禧通寶	24.09	5.99	1.00	3.06	1017	銅	行書	覆土中層	
23-14	永樂通寶	24.94	5.82	1.27	3.44	1408	銅	真書	覆土中層	
23-15	聖宋元寶	24.39	6.90	1.09	3.34	1101	銅	篆書	覆土中層	
23-16	天聖元寶	24.83	6.59	1.31	3.93	1023	銅	真書	覆土中層	
23-17	治平元寶	24.27	6.60	1.32	3.66	1064	銅	篆書	覆土中層	
23-18	開元通寶	24.79	6.96	1.19	3.34	-	銅	隸書 模鑄銭	覆土中層	
23-19	洪武通寶	24.23	5.77	1.35	3.84	1368	銅	真書	覆土中層	
23-20	永樂通寶	25.01	5.41	1.52	4.06	1408	銅	真書	覆土中層	
23-21	永樂通寶	25.41	5.44	1.55	3.36	-	銅	真書 模鑄銭	覆土中層	
23-22	大觀通寶	24.76	6.10	1.44	3.73	-	銅	真書 模鑄銭	覆土中層	
23-23	宣德通寶	25.00	5.28	1.44	3.81	1433	銅	真書	覆土中層	
23-24	永樂通寶	25.21	5.51	1.62	3.60	1408	銅	真書	覆土中層	
23-25	永樂通寶	25.09	5.74	1.33	3.25	1408	銅	真書	覆土中層	
23-26	開元通寶	24.33	6.44	1.41	3.63	960	銅	隸書	覆土中層	
23-27	熙寧元寶	24.45	6.59	1.21	3.62	1068	銅	篆書	覆土中層	
23-28	紹聖元寶	24.49	6.60	1.19	3.46	1094	銅	篆書	覆土中層	
23-29	永樂通寶	24.08	5.96	1.35	3.89	1408	銅	真書	覆土中層	
23-30	政和通寶	24.44	6.37	1.14	3.51	1111	銅	隸書	覆土中層	
23-31	永樂通寶	24.92	5.73	1.30	3.61	1408	銅	真書	覆土中層	
23-32	天聖元寶	24.19	6.55	1.19	3.07	1023	銅	篆書	覆土中層	
23-33	永樂通寶	25.46	5.73	1.09	3.54	1408	銅	真書	覆土中層	
23-34	景祐元寶	25.56	6.61	1.23	3.27	-	銅	行書 模鑄銭	覆土中層	
23-35	永樂通寶	25.08	5.83	1.17	2.76	1408	銅	真書 穴	覆土中層	
23-36	嘉泰通寶	24.40	6.68	1.11	3.46	1201	銅	真書 背四ノ	覆土中層	
23-37	祥符元寶	24.86	6.58	0.90	2.71	1008	銅	真書	覆土中層	
23-38	元豐通寶	24.74	6.81	1.11	3.60	1078	銅	篆書	覆土中層	
23-39	大觀通寶	24.04	6.52	1.23	3.38	1201	銅	真書	覆土中層	
23-40	元豐通寶	24.86	6.26	1.10	3.61	1078	銅	篆書	覆土中層	
23-41	紹聖元寶	23.76	6.42	1.30	3.66	1094	銅	真書	覆土中層	
23-42	洪武通寶	24.74	5.94	1.42	3.96	1383	銅	真書 背浙	覆土中層	
23-43	永樂通寶	25.22	5.49	1.32	3.64	1408	銅	真書 背上月	覆土中層	
23-44	皇宋通寶	24.68	7.37	1.05	3.01	1038	銅	篆書	覆土中層	
23-45	熙寧元寶	23.86	6.87	1.07	2.77	-	銅	真書 模鑄銭	覆土中層	
23-46	咸平元寶	24.90	5.75	1.05	3.53	998	銅	真書	覆土中層	
23-47	咸平元寶	24.12	6.32	1.15	3.34	-	銅	真書 模鑄銭	覆土中層	
23-48	聖宋元寶	23.74	6.51	1.22	3.08	1101	銅	篆書	覆土中層	
23-49	開元通寶	23.44	7.22	0.98	2.11	960	銅	隸書 通下月ノ	覆土中層	
23-50	紹聖元寶	24.41	6.15	1.03	3.10	1094	銅	真書	覆土中層	
23-51	皇宋通寶	24.91	7.62	1.11	3.31	1038	銅	行書	覆土中層	
23-52	聖宋元寶	24.70	6.41	1.01	2.77	1101	銅	行書	覆土中層	
23-53	宣德通寶	25.38	5.12	1.44	4.20	1433	銅	真書	覆土中層	
23-54	永樂通寶	25.52	5.73	1.17	3.41	1408	銅	真書	覆土中層	
23-55	永樂通寶	25.20	5.64	1.52	4.39	1408	銅	真書	覆土中層	
23-56	聖宋元寶	25.73	6.57	1.23	3.45	1101	銅	行書	覆土中層	
23-57	天聖元寶	24.02	5.58	1.18	3.50	1023	銅	篆書	覆土中層	
23-58	元豐通寶	24.71	6.48	1.16	3.27	1078	銅	行書	覆土中層	



番号	銭名	径 (mm)	孔径 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	初鑄年	材質	特徴	出土位置	備考
23-59	永樂通寶	24.72	5.67	1.16	3.64	1408	銅	真書	覆土中層	
23-60	永樂通寶	25.14	5.67	1.47	3.29	1408	銅	真書	覆土中層	
23-61	大觀通寶	24.64	6.19	1.45	3.57	1107	銅	真書	覆土中層	
23-62	元符通寶	24.02	6.31	1.26	2.87	1098	銅	篆書	覆土中層	
23-63	祥符元寶	25.31	6.27	1.19	3.86	-	銅	真書 模鑄銭	覆土中層	
23-64	政和通寶	24.80	6.54	1.29	3.50	1111	銅	篆書	覆土中層	
23-65	永樂通寶	24.78	5.74	1.44	3.80	1408	銅	真書	覆土中層	
23-66	元祐通寶	24.34	7.00	1.28	3.64	1086	銅	真書	覆土中層	
23-67	景德元寶	24.85	6.25	1.16	3.29	1004	銅	真書	覆土中層	
23-68	景德元寶	24.17	6.13	1.21	3.57	1004	銅	真書	覆土中層	
23-69	開元通寶	24.40	7.03	1.32	2.87	960	銅	隸書 背上月	覆土中層	
23-70	永樂通寶	25.25	5.81	1.43	3.86	1408	銅	真書 穴	覆土中層	
23-71	永樂通寶	25.68	5.56	0.94	2.91	1408	銅	真書	覆土中層	
23-72	聖宋元寶	24.83	6.41	1.38	3.97	1101	銅	篆書	覆土中層	
23-73	元豐通寶	24.91	5.80	1.10	2.82	1078	銅	真書	覆土中層	
23-74	永樂通寶	25.08	5.63	1.44	3.95	1408	銅	真書	覆土中層	
23-75	永樂通寶	24.75	5.77	1.23	2.93	1408	銅	行書	覆土中層	
23-76	皇宋通寶	25.28	6.63	1.22	4.00	1038	銅	真書	覆土中層	
23-77	永樂通寶	25.01	5.75	1.27	3.17	1408	銅	真書	覆土中層	
23-78	永樂通寶	24.66	6.04	1.13	3.18	1408	銅	篆書	覆土中層	
23-79	聖宋元寶	24.88	6.18	1.16	3.70	1101	銅	真書	覆土中層	
23-80	皇宋通寶	24.38	6.92	1.07	3.23	1038	銅	真書	覆土中層	
23-81	景祐元寶	25.31	8.07	1.15	3.33	1034	銅	真書	覆土中層	
23-82	正隆元寶	24.60	5.79	1.73	4.32	1157	銅	真書	覆土中層	
23-83	永樂通寶	24.40	5.72	1.15	3.51	1408	銅	真書	覆土中層	
23-84	皇宋通寶	24.89	6.90	1.18	3.54	1038	銅	真書	覆土中層	
23-85	永樂通寶	24.59	5.44	1.22	3.21	1408	銅	真書	覆土中層	
23-86	永樂通寶	25.11	5.69	1.28	3.42	1408	銅	真書	覆土中層	
23-87	永樂通寶	25.24	5.69	1.48	3.79	1408	銅	真書	覆土中層	
23-88	永樂通寶	24.83	5.70	1.51	3.97	1408	銅	真書	覆土中層	
23-89	皇宋通寶	24.77	7.06	1.08	3.44	-	銅	真書 模鑄銭	覆土中層	
23-90	紹聖元寶	23.97	6.13	1.36	3.84	1094	銅	篆書	覆土中層	
23-91	永樂通寶	24.89	5.59	1.61	4.00	1408	銅	真書	覆土中層	
23-92	皇宋通寶	24.41	6.96	1.00	3.10	1038	銅	真書	覆土中層	
23-93	永樂通寶	24.49	5.74	1.38	3.52	1408	銅	真書	覆土中層	
23-94	皇宋通寶	24.91	7.35	1.36	4.08	1038	銅	真書	覆土中層	
23-95	開元通寶	24.08	6.37	1.10	3.21	960	銅	隸書	覆土中層	
23-96	永樂通寶	25.52	5.75	1.68	5.04	1408	銅	真書	覆土中層	
23-97	永樂通寶	25.00	5.98	1.08	2.33	1408	銅	真書	覆土中層	
24-1	皇宋通寶	24.71	8.01	1.12	3.18	1038	銅	篆書 星孔	覆土中層	
24-2	元祐通寶	23.62	6.72	1.18	3.45	1408	銅	篆書	覆土中層	
24-3	永樂通寶	24.65	5.94	1.16	3.13	1408	銅	真書	覆土中層	
24-4	永樂通寶	25.23	5.50	1.25	3.57	1408	銅	真書	覆土中層	
24-5	永樂通寶	25.20	5.61	1.19	3.39	1408	銅	篆書	覆土中層	
24-6	治平元寶	24.05	6.28	1.27	3.75	1064	銅	真書	覆土中層	
24-7	洪武通寶	23.88	5.32	1.48	3.88	1368	銅	真書	覆土中層	
24-8	永樂通寶	25.66	5.89	1.21	3.67	1408	銅	行書	覆土中層	
24-9	元祐通寶	25.36	6.97	1.10	3.21	1086	銅	真書	覆土中層	
24-10	永樂通寶	25.36	5.88	1.55	4.22	1408	銅	真書	覆土中層	
24-11	洪武通寶	23.74	5.49	1.09	3.24	1368	銅	真書	覆土中層	
24-12	永樂通寶	24.86	5.67	1.51	4.34	1408	銅	真書	覆土中層	
24-13	祥符元寶	24.52	6.39	1.12	3.40	1008	銅	行書	覆土中層	
24-14	永樂通寶	24.72	5.78	1.12	3.50	1408	銅	真書	覆土中層	
24-15	永樂通寶	25.38	6.05	1.54	4.73	1408	銅	真書	覆土中層	
24-16	祥符元寶	25.10	6.33	1.14	3.40	1008	銅	真書	覆土中層	
24-17	永樂通寶	24.87	5.75	1.18	3.18	1408	銅	真書	覆土中層	
24-18	皇宋通寶	24.72	6.55	1.09	3.40	1038	銅	行書	覆土中層	
24-19	皇宋通寶	24.70	7.06	1.04	3.34	1038	銅	篆書	覆土中層	
24-20	紹聖元寶	24.28	6.90	0.95	3.54	1094	銅	行書	覆土中層	

番号	銭名	径 (mm)	孔径 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	初鑄年	材質	特徴	出土位置	備考
24-21	洪武通寶	24.64	5.95	1.27	3.65	1368	銅	真書 背上月	覆土中層	
24-22	永樂通寶	24.45	5.93	1.35	3.43	1408	銅	真書	覆土中層	
24-23	宣德通寶	25.33	4.88	1.16	3.88	1433	銅	真書	覆土中層	
24-24	政和通寶	24.74	6.58	1.17	3.49	1111	銅	隸書	覆土中層	
24-25	治平通寶	24.85	6.70	1.15	3.78	1064	銅	篆書	覆土中層	
24-26	紹聖元寶	23.88	6.15	1.46	4.27	1094	銅	真書	覆土中層	
24-27	祥符元寶	26.17	5.75	0.99	3.84	1008	銅	行書	覆土中層	
24-28	永樂通寶	24.91	5.80	1.10	3.46	1408	銅	真書	覆土中層	
24-29	元豐通寶	24.60	7.11	0.94	3.07	1078	銅	篆書	覆土中層	
24-30	元豐通寶	24.02	7.34	1.15	3.25	1078	銅	篆書	覆土中層	
24-31	元豐通寶	24.28	6.33	1.19	3.59	1078	銅	篆書	覆土中層	
24-32	永樂通寶	24.60	5.82	1.14	4.03	1408	銅	真書	覆土中層	
24-33	永樂通寶	24.74	5.87	1.23	3.69	1408	銅	真書	覆土中層	
24-34	永樂通寶	24.76	5.73	1.71	4.27	1408	銅	真書 背左月	覆土中層	PL11
24-35	永樂通寶	24.77	5.49	1.40	4.03	1408	銅	真書	覆土中層	
24-36	永樂通寶	24.82	5.68	1.38	3.65	1408	銅	真書	覆土中層	
24-37	永樂通寶	24.80	6.06	1.03	3.21	1408	銅	真書	覆土中層	
24-38	祥符元寶	25.22	5.90	1.04	3.56	1008	銅	行書	覆土中層	
24-39	太平通寶	24.25	6.20	1.00	3.16	976	銅	真書	覆土中層	
24-40	永樂通寶	24.64	5.70	1.56	4.67	1408	銅	真書	覆土中層	
24-41	永樂通寶	24.85	5.72	1.10	3.39	1408	銅	真書	覆土中層	
24-42	永樂通寶	25.16	5.77	1.38	3.60	1408	銅	真書 穴	覆土中層	PL10
24-43	元祐通寶	24.43	6.73	1.23	3.37	1086	銅	行書	覆土中層	
24-44	永樂通寶	25.02	5.65	1.47	4.23	1408	銅	真書 背左星	覆土中層	
24-45	淳熙元寶	24.17	6.63	1.31	3.47	1174	銅	真書 背上月	覆土中層	
24-46	天聖元寶	24.76	7.43	1.22	3.58	1023	銅	真書	覆土中層	
24-47	宋通元寶	24.54	6.36	0.93	3.18	960	銅	行書	覆土中層	
24-48	永樂通寶	24.99	5.76	1.19	2.88	1408	銅	真書	覆土中層	
24-49	永樂通寶	25.03	5.87	0.94	3.18	1408	銅	真書	覆土中層	
24-50	元祐通寶	23.58	6.02	1.21	3.55	1408	銅	行書	覆土中層	
24-51	開元通寶	23.95	6.95	0.90	2.71	960	銅	隸書	覆土中層	
24-52	聖宋元寶	24.44	6.90	1.25	3.09	1101	銅	篆書	覆土中層	
24-53	永樂通寶	24.92	5.53	1.36	3.25	1408	銅	真書	覆土中層	
24-54	紹聖元寶	24.27	7.09	1.08	3.42	1008	銅	行書	覆土中層	
24-55	天聖元寶	25.01	7.00	1.03	3.44	1023	銅	篆書	覆土中層	
24-56	皇宋通寶	24.36	7.65	0.92	2.92	1038	銅	篆書	覆土中層	
24-57	元豐通寶	24.51	6.67	1.05	3.49	1078	銅	篆書	覆土中層	
24-58	咸平元寶	24.65	6.10	1.08	3.43	998	銅	真書	覆土中層	
24-59	祥符元寶	26.07	6.09	0.86	2.84	1008	銅	行書	覆土中層	
24-60	洪武通寶	23.73	5.70	1.39	3.90	1368	銅	隸書 背浙	覆土中層	
24-61	宣德通寶	25.15	5.12	1.60	4.56	1433	銅	真書	覆土中層	
24-62	永樂通寶	25.02	5.61	1.41	3.63	1408	銅	真書	覆土中層	
24-63	治平元寶	24.01	6.21	1.30	3.90	1064	銅	真書	覆土中層	
24-64	永樂通寶	24.96	5.60	1.36	3.62	1408	銅	真書	覆土中層	
24-65	政和通寶	24.11	6.28	1.21	3.69	1111	銅	隸書	覆土中層	
24-66	開元通寶	25.10	7.08	1.14	3.20	960	銅	隸書	覆土中層	
24-67	永樂通寶	24.84	5.56	1.38	3.75	1408	銅	真書	覆土中層	
24-68	皇宋通寶	24.21	6.19	1.21	3.54	1038	銅	篆書 背右星	覆土中層	
24-69	乳元重寶	24.38	7.22	1.16	2.90	758	銅	行書	覆土中層	
24-70	永樂通寶	25.02	5.64	1.30	3.52	1408	銅	真書	覆土中層	
24-71	永樂通寶	24.63	5.65	1.06	3.40	1408	銅	真書 背上月	覆土中層	
24-72	天聖元寶	24.28	7.12	1.04	3.18	1023	銅	篆書	覆土中層	
24-73	元豐通寶	24.83	6.32	1.40	4.94	1078	銅	行書	覆土中層	
24-74	皇宋通寶	23.92	6.25	1.15	3.22	1038	銅	篆書	覆土中層	
24-75	元豐通寶	24.66	7.00	1.01	3.32	1078	銅	行書	覆土中層	
24-76	皇宋通寶	24.84	6.82	1.33	4.38	1038	銅	篆書	覆土中層	
24-77	祥符元寶	24.88	5.74	1.11	3.43	1008	銅	真書	覆土中層	
24-78	元祐通寶	24.77	6.52	1.11	3.59	1086	銅	行書 背左星	覆土中層	
24-79	咸平元寶	24.22	6.35	1.04	3.17	998	銅	行書	覆土中層	

番号	銭名	径(mm)	孔径(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	初鑄年	材質	特徴	出土位置	備考
24-80	天聖元寶	24.90	7.08	1.40	3.93	1023	銅	真書	覆土中層	
24-81	治平元寶	24.10	6.42	1.32	3.60	1064	銅	篆書	覆土中層	
24-82	嘉祐通寶	24.57	7.30	0.99	3.16	1056	銅	行書	覆土中層	
24-83	永樂通寶	25.15	5.74	1.24	3.54	1408	銅	真書	覆土中層	
24-84	元祐通寶	24.32	6.72	1.34	3.47	1086	銅	篆書	覆土中層	
24-85	元祐通寶	24.14	7.32	1.10	2.93	1086	銅	行書	覆土中層	
24-86	永樂通寶	24.93	5.65	1.60	4.35	1408	銅	真書 背上月	覆土中層	
24-87	永樂通寶	24.75	5.81	1.36	3.54	1408	銅	真書	覆土中層	
24-88	永樂通寶	25.39	5.85	0.99	3.48	1408	銅	真書	覆土中層	
24-89	永樂通寶	25.13	7.07	1.35	3.56	1408	銅	真書	覆土中層	
24-90	元豐通寶	24.62	5.91	1.07	3.49	1078	銅	篆書	覆土中層	
24-91	永樂通寶	24.77	6.47	1.17	2.80	1408	銅	真書	覆土中層	
24-92	治平元寶	24.29	6.98	1.16	3.18	1064	銅	篆書	覆土中層	
24-93	皇宋通寶	24.02	5.87	1.10	3.09	1038	銅	篆書	覆土中層	
24-94	淳化元寶	24.86	6.97	1.60	5.54	990	銅	真書	覆土中層	
24-95	聖宋元寶	24.38	5.19	1.11	3.38	1101	銅	真書	覆土中層	
24-96	宣德通寶	25.38	7.61	1.75	6.15	1433	銅	真書	覆土中層	
24-97	皇宋通寶	24.66	6.57	1.12	3.14	1038	銅	篆書	覆土中層	
25-1	皇宋通寶	24.70	6.69	1.20	3.96	-	銅	真書 模鑄錢	覆土中層	
25-2	元祐通寶	23.39	6.47	0.96	2.76	1086	銅	篆書	覆土中層	
25-3	嘉定通寶	24.26	6.49	1.13	3.18	1208	銅	真書 背九	覆土中層	
25-4	永樂通寶	25.07	5.49	1.23	3.37	1408	銅	真書	覆土中層	
25-5	皇宋通寶	24.01	6.75	0.98	2.86	1038	銅	篆書	覆土中層	
25-6	開元通寶	23.94	7.07	1.24	3.16	960	銅	隸書	覆土中層	
25-7	宣德通寶	25.04	5.15	1.09	3.36	1433	銅	真書	覆土中層	
25-8	咸平元寶	24.35	5.84	1.23	3.06	998	銅	真書	覆土中層	
25-9	熙寧元寶	24.81	6.37	1.28	4.26	1068	銅	真書	覆土中層	
25-10	景祐元寶	24.80	7.91	1.12	3.57	-	銅	篆書 模鑄錢	覆土中層	
25-11	大觀通寶	24.31	6.39	1.26	3.47	1107	銅	真書	覆土中層	
25-12	天聖元寶	24.67	5.97	1.28	4.03	-	銅	真書 模鑄錢	覆土中層	
25-13	天聖元寶	23.88	6.38	1.46	3.86	1023	銅	行書 背右星	覆土中層	
25-14	元祐通寶	24.38	6.92	1.32	3.79	1086	銅	篆書	覆土中層	
25-15	皇宋通寶	24.30	6.74	1.25	3.61	1038	銅	篆書	覆土中層	
25-16	永樂通寶	25.07	5.67	1.21	3.50	1408	銅	真書	覆土中層	
25-17	永樂通寶	24.48	6.38	1.32	3.18	1408	銅	真書	覆土中層	
25-18	永樂通寶	24.81	5.84	1.25	3.80	1408	銅	真書	覆土中層	
25-19	洪武通寶	24.32	6.23	1.36	3.51	1368	銅	真書 背浙	覆土中層	PL11
25-20	元豐通寶	23.70	6.81	1.16	3.45	-	銅	真書 模鑄錢	覆土中層	
25-21	天聖元寶	23.81	6.60	1.32	3.77	1023	銅	真書	覆土中層	
25-22	熙寧元寶	23.89	6.53	1.14	3.48	1068	銅	真書	覆土中層	
25-23	皇宋通寶	24.34	6.33	0.97	3.37	1038	銅	真書	覆土中層	
25-24	皇宋通寶	25.02	7.36	1.16	3.39	1038	銅	篆書	覆土中層	
25-25	永樂通寶	25.29	5.84	1.07	3.23	1408	銅	真書 背右月	覆土中層	
25-26	開元通寶	25.10	7.01	1.09	3.09	960	銅	隸書 背上月	覆土中層	
25-27	永樂通寶	24.88	5.42	1.49	3.48	1408	銅	真書 背上月	覆土中層	
25-28	嘉祐元寶	24.56	6.69	1.34	3.29	1056	銅	真書	覆土中層	
25-29	政和通寶	24.22	6.81	1.25	3.65	-	銅	隸書 模鑄錢	覆土中層	
25-30	元豐通寶	23.99	6.77	1.43	3.31	1078	銅	篆書	覆土中層	
25-31	治平元寶	24.00	6.28	1.15	3.44	1064	銅	篆書	覆土中層	
25-32	元豐通寶	24.32	6.49	0.94	3.18	1078	銅	篆書	覆土中層	
25-33	嘉祐通寶	25.03	7.27	0.99	3.02	1056	銅	篆書	覆土中層	
25-34	皇宋通寶	24.35	6.96	1.02	3.05	-	銅	真書 模鑄錢	覆土中層	
25-35	皇宋通寶	23.77	6.83	1.30	3.58	1038	銅	篆書	覆土中層	
25-36	皇宋通寶	25.07	7.56	0.90	3.41	1038	銅	真書	覆土中層	
25-37	永樂通寶	25.18	5.83	1.31	4.09	1408	銅	真書	覆土中層	
25-38	景祐元寶	24.60	6.86	1.28	4.02	1034	銅	真書	覆土中層	
25-39	元祐通寶	24.16	7.08	1.07	3.91	1086	銅	行書	覆土中層	
25-40	至和元寶	24.60	6.71	0.99	3.43	1054	銅	真書	覆土中層	
25-41	元豐通寶	25.16	6.38	1.12	3.82	1078	銅	行書	覆土中層	

番号	銭名	径 (mm)	孔径 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	初鑄年	材質	特徴	出土位置	備考
25-42	治平元寶	24.38	6.17	1.46	4.53	1064	銅	真書 割れ	覆土中層	
25-43	咸平元寶	24.48	6.29	1.10	3.53	998	銅	真書	覆土中層	
25-44	太平通寶	24.30	6.09	0.95	2.94	976	銅	真書	覆土中層	
25-45	祥符元寶	24.74	6.60	1.08	(3.30)	1008	銅	真書 欠け	覆土中層	
25-46	元祐通寶	24.56	7.10	1.33	4.16	1086	銅	篆書	覆土中層	
25-47	宣和通寶	24.12	6.23	1.06	(2.65)	1119	銅	真書 欠け	覆土中層	
25-48	皇宋通寶	23.92	6.54	0.92	2.87	1038	銅	篆書	覆土中層	
25-49	永樂通寶	24.92	5.65	1.27	4.15	1408	銅	真書	覆土中層	
25-50	開元通寶	24.35	7.18	1.03	2.75	960	銅	隸書 背上月	覆土中層	
25-51	洪武通寶	23.55	5.81	1.12	3.14	1368	銅	真書	覆土中層	
25-52	景德元寶	24.63	6.12	1.10	3.72	1004	銅	真書	覆土中層	
25-53	永樂通寶	25.07	5.38	1.18	3.08	1408	銅	真書	覆土中層	
25-54	永樂通寶	25.04	5.72	1.34	3.88	1408	銅	真書	覆土中層	
25-55	元豐通寶	23.82	6.25	1.11	3.42	1078	銅	行書	覆土中層	
25-56	元豐通寶	23.66	7.07	1.12	3.65	-	銅	真書 模鑄銭	覆土中層	
25-57	景德元寶	24.97	5.77	1.05	3.52	1004	銅	真書	覆土中層	
25-58	永樂通寶	25.11	5.57	1.49	4.72	1408	銅	真書	覆土中層	
25-59	聖宋元寶	25.08	6.14	1.06	3.75	1101	銅	行書	覆土中層	
25-60	宣德通寶	25.43	5.26	1.44	4.62	1433	銅	真書	覆土中層	
25-61	元豐通寶	23.71	6.31	1.29	3.87	1078	銅	篆書	覆土中層	
25-62	天聖元寶	24.62	6.83	1.13	3.62	1023	銅	篆書	覆土中層	
25-63	紹聖元寶	24.39	6.87	1.06	3.34	1094	銅	行書	覆土中層	
25-64	元祐通寶	24.47	5.91	1.03	3.16	1086	銅	篆書	覆土中層	
25-65	開元通寶	24.46	7.00	1.37	3.61	960	銅	隸書	覆土中層	
25-66	皇宋通寶	24.56	7.36	0.90	2.74	1038	銅	真書	覆土中層	
25-67	永樂通寶	24.98	5.60	1.35	3.53	1408	銅	真書	覆土中層	
25-68	祥符元寶	25.05	6.10	1.09	3.74	1008	銅	真書	覆土中層	
25-69	元豐通寶	24.69	7.10	1.08	3.51	1078	銅	篆書 背面鑄造ずれ	覆土中層	
25-70	元祐通寶	24.55	6.93	1.21	3.55	1086	銅	行書 背面鑄造ずれ	覆土中層	
25-71	永樂通寶	24.74	5.71	1.00	3.48	1408	銅	真書	覆土中層	
25-72	政和通寶	24.67	6.88	1.29	3.51	1111	銅	隸書	覆土中層	
25-73	元祐通寶	24.31	6.94	1.10	3.37	1086	銅	篆書	覆土中層	
25-74	景德元寶	24.40	6.00	1.07	3.25	1004	銅	真書	覆土中層	
25-75	皇宋通寶	23.68	6.47	1.17	3.10	-	銅	篆書 模鑄銭	覆土中層	
25-76	宣德通寶	24.72	5.35	1.28	3.72	1433	銅	真書 鑄造ずれ	覆土中層	
25-77	元祐通寶	24.38	6.92	1.23	3.04	1086	銅	篆書	覆土中層	
25-78	元豐通寶	24.34	7.06	1.20	3.59	-	銅	篆書 模鑄銭	覆土中層	
25-79	元祐通寶	24.31	6.67	1.02	3.81	1086	銅	行書	覆土中層	
25-80	皇宋通寶	24.41	7.25	1.10	3.41	1038	銅	篆書	覆土中層	
25-81	景祐元寶	24.75	7.15	1.21	3.27	1034	銅	真書	覆土中層	
25-82	熙寧元寶	23.76	6.42	1.07	3.31	1068	銅	真書 鑄造ずれ。	覆土中層	
25-83	開元通寶	23.82	6.77	0.97	2.86	960	銅	隸書	覆土中層	
26-1	元豐通寶	24.28	6.32	1.33	3.57	1078	銅	行書	覆土中層	
26-2	永樂通寶	24.86	5.73	1.29	3.09	1408	銅	真書	覆土中層	
26-3	紹聖元寶	24.10	7.01	1.23	3.58	1094	銅	行書	覆土中層	
26-4	聖宋元寶	24.81	6.18	1.13	3.62	1101	銅	行書	覆土中層	
26-5	祥符元寶	24.75	5.93	1.12	3.63	-	銅	行書 模鑄銭	覆土中層	
27-1	永樂通寶	25.15	5.68	1.55	3.98	1408	銅	真書	覆土中層	
27-2	永樂通寶	24.92	5.64	1.40	3.54	1408	銅	真書	覆土中層	
27-3	皇宋通寶	24.58	8.00	1.20	3.37	1038	銅	真書	覆土中層	
27-4	洪武通寶	24.52	5.95	1.36	3.42	1111	銅	隸書 背浙 背下月	覆土中層	
27-5	嘉祐通寶	25.10	7.11	0.80	2.99	1056	銅	真書	覆土中層	
27-6	永樂通寶	24.90	5.45	1.29	3.59	1408	銅	真書	覆土中層	
27-7	皇宋通寶	23.90	6.71	0.99	2.99	1038	銅	真書	覆土中層	
27-8	永樂通寶	24.89	5.74	1.22	3.23	1408	銅	真書	覆土中層	
27-9	永樂通寶	24.89	5.52	1.22	3.48	1408	銅	真書	覆土中層	
27-10	永樂通寶	25.01	5.72	1.43	3.88	1408	銅	真書	覆土中層	
27-11	永樂通寶	25.05	5.74	1.57	4.15	1408	銅	真書	覆土中層	
27-12	永樂通寶	24.68	5.69	1.25	4.02	1408	銅	真書	覆土中層	

番号	銭名	径 (mm)	孔径 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	初鑄年	材質	特徴	出土位置	備考
27-13	永樂通寶	25.08	5.95	1.44	3.38	1408	銅	真書	覆土中層	
27-14	永樂通寶	24.89	5.74	1.28	3.53	1408	銅	真書 背下月	覆土中層	
27-15	景德元寶	24.65	6.43	1.05	3.15	1004	銅	真書	覆土中層	
27-16	永樂通寶	25.07	5.79	1.36	3.36	1408	銅	真書	覆土中層	
27-17	嘉祐通寶	23.79	6.73	1.29	3.73	-	銅	真書 模鑄銭	覆土中層	
27-18	宣和通寶	24.09	6.05	1.11	2.76	1119	銅	篆書 穴	覆土中層	
27-19	聖宋元寶	24.42	6.06	1.22	3.12	1101	銅	篆書	覆土中層	
27-20	景德元寶	24.96	6.43	1.32	3.89	1004	銅	真書	覆土中層	
27-21	熙寧元寶	24.54	7.22	1.08	3.68	-	銅	真書 模鑄銭	覆土中層	
27-22	治平通寶	24.21	7.22	1.22	3.71	1064	銅	篆書	覆土中層	
27-23	永樂通寶	24.99	5.77	1.45	3.13	1408	銅	真書	覆土中層	
27-24	元祐通寶	24.53	6.79	1.32	3.40	1086	銅	真書	覆土中層	
27-25	天聖元寶	24.83	8.14	1.06	2.90	-	銅	真書 模鑄銭	覆土中層	
27-26	開元通寶	23.79	6.54	1.03	2.92	960	銅	隸書	覆土中層	
27-27	治平通寶 <small>カ</small>	24.48	7.20	0.88	3.10	-	銅	真書 模鑄銭	覆土中層	
27-28	元豐通寶	24.28	6.79	1.17	(3.52)	1078	銅	行書 欠け	覆土中層	
27-29	開元通寶	24.20	6.82	0.98	2.47	960	銅	篆書	覆土中層	
27-30	永樂通寶	24.61	5.77	1.00	3.22	1408	銅	真書	覆土中層	
27-31	永樂通寶	24.73	5.90	1.36	3.27	1408	銅	真書	覆土中層	
27-32	至道元寶	24.62	6.13	1.22	3.55	995	銅	草書	覆土中層	
27-33	政和通寶	23.93	6.07	1.10	3.09	1111	銅	隸書	覆土中層	
27-34	永樂通寶	24.94	5.73	1.26	3.50	1408	銅	真書	覆土中層	
27-35	永樂通寶	24.80	5.79	1.21	2.61	1408	銅	真書	覆土中層	
27-36	永樂通寶	24.90	5.72	1.09	3.89	1408	銅	真書	覆土中層	
27-37	永樂通寶	24.93	5.68	1.24	3.25	1408	銅	真書	覆土中層	
27-38	紹聖元寶	24.44	6.70	1.25	3.63	1094	銅	行書	覆土中層	
27-39	開元通寶	24.74	6.77	1.28	3.28	960	銅	隸書	覆土中層	
27-40	天聖元寶	24.91	6.98	1.25	4.28	-	銅	篆書 模鑄銭	覆土中層	
27-41	開元通寶	24.74	7.04	1.14	2.84	960	銅	隸書 背左月	覆土中層	
27-42	天禧通寶	24.48	6.51	1.32	3.92	1017	銅	真書	覆土中層	
27-43	天禧通寶	25.26	6.36	1.21	3.95	-	銅	真書 模鑄銭	覆土中層	
27-44	開元通寶	25.19	7.37	1.03	3.15	-	銅	隸書 模鑄銭	覆土中層	
27-45	元豐通寶	23.90	6.80	1.37	3.95	1078	銅	真書	覆土中層	
27-46	永樂通寶	24.88	5.56	1.18	3.51	1408	銅	真書	覆土中層	
27-47	政和通寶	24.18	6.21	1.22	3.17	1111	銅	隸書	覆土中層	
27-48	咸平元寶	24.44	5.87	1.23	3.64	998	銅	真書	覆土中層	
27-49	至道元寶	24.77	6.19	1.00	3.04	995	銅	草書	覆土中層	
27-50	永樂通寶	24.99	5.49	1.36	4.62	1408	銅	真書	覆土中層	
27-51	永樂通寶	24.81	5.83	1.07	2.78	1408	銅	真書	覆土中層	
27-52	元祐通寶	24.43	6.87	1.22	3.50	-	銅	篆書 模鑄銭	覆土中層	
27-53	天禧通寶	24.76	6.27	1.03	3.30	-	銅	真書 模鑄銭	覆土中層	
27-54	永樂通寶	24.93	5.20	1.05	3.76	1408	銅	真書	覆土中層	
27-55	永樂通寶	25.00	5.61	1.17	3.11	1408	銅	真書	覆土中層	
27-56	政和通寶	24.54	6.51	1.23	3.38	1111	銅	篆書	覆土中層	
27-57	洪武通寶	23.86	5.62	1.24	3.20	1368	銅	真書	覆土中層	
27-58	永樂通寶	24.77	5.76	1.46	3.22	1408	銅	真書	覆土中層	
27-59	皇宋通寶	24.56	7.16	1.07	3.63	1038	銅	真書	覆土中層	
27-60	元祐通寶	24.15	7.22	1.14	3.43	1086	銅	篆書	覆土中層	
27-61	至道元寶	24.60	6.32	1.02	3.02	-	銅	草書 模鑄銭	覆土中層	
27-62	開元通寶	24.89	6.55	1.26	3.56	960	銅	隸書 背上月	覆土中層	PL11
27-63	景祐元寶	25.18	6.73	0.98	3.42	-	銅	篆書 鑄造 <small>カ</small> 模鑄銭	覆土中層	
27-64	永樂通寶	25.01	5.92	1.17	3.22	1408	銅	真書	覆土中層	
27-65	皇宋通寶	24.73	7.34	1.02	3.37	-	銅	真書 模鑄銭	覆土中層	
27-66	永樂通寶	25.43	5.38	1.38	4.28	1408	銅	真書	覆土中層	
27-67	宣德通寶	24.96	5.50	1.22	3.72	1433	銅	真書	覆土中層	
27-68	元祐通寶	24.76	5.90	1.04	3.24	1086	銅	行書	覆土中層	
27-69	開元通寶	24.67	6.97	1.28	3.82	960	銅	隸書 背上月	覆土中層	
27-70	永樂通寶	24.94	5.58	1.21	4.02	1408	銅	真書	覆土中層	
27-71	祥符元寶	24.65	6.52	0.86	2.69	-	銅	真書 穴 模鑄銭	覆土中層	

番号	銭名	径 (mm)	孔径 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	初鑄年	材質	特徴	出土位置	備考
27-72	洪武通寶	23.71	5.48	1.45	4.04	1368	銅	真書	覆土中層	
27-73	永樂通寶	24.64	5.59	1.21	3.30	1408	銅	真書	覆土中層	
27-74	永樂通寶	24.88	5.85	1.45	3.94	1408	銅	真書	覆土中層	
27-75	皇宋通寶	23.82	6.76	1.37	3.73	1038	銅	篆書	覆土中層	
27-76	永樂通寶	24.86	5.77	1.15	3.80	1408	銅	真書	覆土中層	
27-77	永樂通寶	24.36	5.87	1.06	2.43	-	銅	真書 穴 模鑄銭	覆土中層	
27-78	紹聖元寶	24.14	6.74	1.24	3.07	1094	銅	篆書	覆土中層	
27-79	紹聖元寶	23.70	6.48	1.19	3.17	1094	銅	行書 鑄造ずれ	覆土中層	
27-80	永樂通寶	24.98	5.76	1.39	3.18	1408	銅	真書	覆土中層	
27-81	皇宋通寶	24.60	5.96	1.04	2.86	1038	銅	篆書	覆土中層	
27-82	元豊通寶	24.44	6.21	1.00	3.49	-	銅	真書 模鑄銭	覆土中層	
27-83	皇宋通寶	24.50	6.33	1.06	3.75	-	銅	篆書 模鑄銭	覆土中層	
27-84	元祐通寶	24.20	6.35	0.89	2.74	1086	銅	真書	覆土中層	
27-85	洪武通寶	24.00	5.62	1.45	3.72	1368	銅	隸書 歪み	覆土中層	
27-86	紹聖元寶	24.31	7.06	1.29	3.74	1094	銅	行書	覆土中層	
27-87	祥符元寶	24.17	6.40	1.06	2.93	1008	銅	真書	覆土中層	
27-88	永樂通寶	24.94	5.66	1.33	3.73	1408	銅	真書	覆土中層	
27-89	永樂通寶	24.82	5.67	1.24	3.77	1408	銅	真書	覆土中層	
27-90	元豊通寶	25.41	6.35	1.02	3.71	1078	銅	篆書	覆土中層	
27-91	元豊通寶	24.96	6.31	1.29	(4.05)	1078	銅	篆書 欠け	覆土中層	
27-92	元祐通寶	24.19	7.16	1.13	3.55	1086	銅	篆書	覆土中層	
27-93	祥符元寶	25.30	6.47	1.35	3.85	1008	銅	真書	覆土中層	
27-94	永樂通寶	25.33	5.78	1.27	3.22	1408	銅	真書	覆土中層	
27-95	皇宋通寶	23.84	6.28	1.53	4.19	1038	銅	篆書	覆土中層	
27-96	永樂通寶	25.17	5.78	1.34	3.38	1408	銅	真書 背下月	覆土中層	
27-97	元豊通寶	25.08	6.25	1.16	4.11	1078	銅	篆書	覆土中層	
28-1	永樂通寶	24.67	5.81	0.99	2.66	1408	銅	真書	覆土中層	
28-2	嘉祐通寶	25.58	7.10	1.20	4.20	1056	銅	篆書	覆土中層	
28-3	永樂通寶	24.62	5.79	1.47	3.96	1408	銅	真書	覆土中層	
28-4	永樂通寶	24.96	5.79	1.44	3.44	1408	銅	真書	覆土中層	
28-5	永樂通寶	24.68	5.49	1.42	3.70	1408	銅	真書	覆土中層	
28-6	元符通寶	24.48	6.93	1.20	3.70	1098	銅	行書	覆土中層	
28-7	永樂通寶	24.72	5.90	1.44	3.64	1408	銅	真書	覆土中層	
28-8	永樂通寶	24.94	5.62	1.75	4.43	1408	銅	真書	覆土中層	
28-9	永樂通寶	25.35	5.50	1.43	3.67	1408	銅	真書	覆土中層	
28-10	宋通元寶	24.77	6.13	1.05	2.99	960	銅	真書	覆土中層	
28-11	永樂通寶	24.80	5.71	1.47	3.77	1408	銅	真書	覆土中層	
28-12	永樂通寶	25.14	5.60	1.20	3.83	1408	銅	真書	覆土中層	
28-13	永樂通寶	25.30	5.23	1.37	3.51	1408	銅	真書	覆土中層	
28-14	元豊通寶	24.86	6.87	1.39	4.45	1078	銅	篆書	覆土中層	
28-15	永樂通寶	24.82	5.58	1.34	3.60	1408	銅	真書	覆土中層	
28-16	永樂通寶	24.83	5.72	1.31	3.21	1408	銅	真書	覆土中層	
28-17	永樂通寶	24.92	5.84	1.56	3.77	1408	銅	真書	覆土中層	
28-18	永樂通寶	24.80	5.60	1.31	3.23	1408	銅	真書	覆土中層	
28-19	政和通寶	24.48	6.45	1.28	3.37	1111	銅	篆書	覆土中層	
28-20	永樂通寶	25.23	5.63	1.41	3.70	1408	銅	真書	覆土中層	
28-21	洪武通寶	23.17	6.02	1.58	3.61	1368	銅	真書	覆土中層	
28-22	元豊通寶	24.17	6.80	1.34	(3.62)	1078	銅	篆書 欠け 模鑄銭	覆土中層	
28-23	開元通寶	24.36	6.87	1.14	3.26	960	銅	隸書	覆土中層	
28-24	太平通寶	24.83	6.21	1.10	3.23	976	銅	真書	覆土中層	
28-25	景祐元寶	25.28	6.03	1.22	3.75	1034	銅	真書	覆土中層	
28-26	永樂通寶	25.11	5.64	1.64	4.40	1408	銅	真書	覆土中層	
28-27	永樂通寶	24.78	5.83	1.42	3.77	1408	銅	真書	覆土中層	
28-28	祥符元寶	24.68	6.44	1.21	3.60	1008	銅	真書	覆土中層	
28-29	祥符元寶	24.88	6.34	1.23	3.77	1008	銅	真書	覆土中層	
28-30	開元通寶	24.41	6.88	1.20	2.81	960	銅	隸書 背上月	覆土中層	
28-31	元豊通寶	23.95	6.94	1.24	3.50	-	銅	行書 模鑄銭	覆土中層	
28-32	永樂通寶	25.28	5.95	1.59	3.78	1408	銅	真書	覆土中層	
28-33	永樂通寶	24.73	5.82	1.41	3.61	1408	銅	真書	覆土中層	

番号	銭名	径 (mm)	孔径 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	初鑄年	材質	特徴	出土位置	備考
28-34	元豊通寶	24.70	6.74	1.50	3.70	1078	銅	篆書	覆土中層	
28-35	永樂通寶	24.79	5.79	1.28	3.06	1408	銅	真書	覆土中層	
28-36	永樂通寶	24.68	5.79	1.23	2.82	1408	銅	真書	覆土中層	
28-37	皇宋通寶	24.39	6.89	1.14	3.08	1038	銅	篆書	覆土中層	
28-38	永樂通寶	25.23	5.80	1.48	3.57	1408	銅	真書	覆土中層	
28-39	永樂通寶	25.03	5.77	1.75	4.60	1408	銅	真書	覆土中層	
28-40	紹聖元寶	24.14	7.33	1.17	3.98	1094	銅	行書	覆土中層	
28-41	永樂通寶	24.86	5.58	1.28	3.50	1408	銅	真書 穴	覆土中層	
28-42	太平通寶	24.53	6.14	1.03	2.90	976	銅	真書	覆土中層	
28-43	元豊通寶	24.51	6.69	0.99	3.11	1078	銅	篆書	覆土中層	
28-44	永樂通寶	24.72	5.74	1.35	4.06	1408	銅	真書	覆土中層	
28-45	元豊通寶	24.16	6.92	1.29	4.01	1078	銅	真書	覆土中層	
28-46	永樂通寶	24.57	5.71	1.56	3.20	1408	銅	真書	覆土中層	
28-47	洪武通寶	23.04	6.07	1.38	3.63	1368	銅	真書	覆土中層	
28-48	永樂通寶	24.74	5.97	1.14	2.83	1408	銅	行書	覆土中層	
28-49	元符通寶	23.74	6.45	1.18	3.66	1098	銅	真書	覆土中層	
28-50	宣德通寶	25.08	5.39	1.21	3.47	1433	銅	篆書	覆土中層	
28-51	天聖元寶	24.55	6.77	1.25	4.03	1023	銅	行書	覆土中層	
28-52	元祐通寶	24.49	6.79	1.23	3.76	1086	銅	真書	覆土中層	
28-53	永樂通寶	24.72	5.60	1.28	3.68	1408	銅	真書	覆土中層	
28-54	咸平元寶	24.62	6.18	1.22	3.65	998	銅	真書	覆土中層	
28-55	永樂通寶	24.59	5.77	1.30	2.96	1408	銅	真書	覆土中層	
28-56	大觀通寶	24.30	6.44	1.33	3.65	1107	銅	真書	覆土中層	
28-57	元豊通寶	24.50	6.45	1.14	3.26	1078	銅	行書	覆土中層	
28-58	皇宋通寶	24.57	7.01	1.22	3.79	-	銅	真書 背右月 模鑄銭	覆土中層	
28-59	永樂通寶	24.61	5.72	1.22	3.58	1408	銅	真書	覆土中層	
28-60	天聖元寶	24.93	7.05	1.36	3.71	1023	銅	真書	覆土中層	
28-61	宣德通寶	25.50	5.25	1.44	4.40	1433	銅	真書	覆土中層	
28-62	元祐通寶	24.99	5.71	1.44	5.12	1086	銅	篆書	覆土中層	
28-63	開元通寶	24.85	6.60	1.17	3.52	960	銅	隸書 割れ	覆土中層	
28-64	永樂通寶	26.11	5.77	1.51	4.00	1408	銅	真書	覆土中層	
28-65	宣德通寶	25.41	5.24	1.43	3.98	1433	銅	真書 背下月	覆土中層	
28-66	永樂通寶	25.13	5.72	1.12	3.14	1408	銅	真書	覆土中層	
28-67	宣德通寶	25.22	5.22	1.52	5.05	1408	銅	真書	覆土中層	
28-68	洪武通寶	23.67	5.65	1.25	(3.34)	1368	銅	真書 欠け	覆土中層	
28-69	洪武通寶	34.42	5.65	1.20	3.17	1368	銅	真書	覆土中層	
28-70	永樂通寶	24.86	5.78	1.55	3.96	1408	銅	真書	覆土中層	
28-71	永樂通寶	24.90	5.67	1.29	3.61	1408	銅	真書	覆土中層	
28-72	永樂通寶	25.07	5.71	1.22	3.39	1408	銅	真書	覆土中層	
28-73	治平元寶	24.37	6.42	1.28	3.94	1064	銅	真書	覆土中層	
28-74	永樂通寶	25.45	5.72	1.67	5.10	1408	銅	真書	覆土中層	
28-75	永樂通寶	24.44	5.64	1.21	3.09	1408	銅	真書	覆土中層	
28-76	宣德通寶	24.88	5.11	1.16	3.93	1433	銅	真書	覆土中層	
28-77	政和通寶	24.97	6.22	1.32	4.05	1111	銅	篆書	覆土中層	
28-78	永樂通寶	25.05	5.75	1.23	3.14	1408	銅	真書	覆土中層	
28-79	政和通寶	24.55	6.45	1.35	3.74	1111	銅	篆書	覆土中層	
28-80	永樂通寶	24.65	5.96	1.55	3.32	1408	銅	真書	覆土中層	
28-81	永樂通寶	24.95	5.71	1.31	3.35	1408	銅	真書	覆土中層	
28-82	永樂通寶	24.94	5.67	1.27	3.60	1408	銅	真書	覆土中層	
28-83	永樂通寶	25.05	5.72	1.28	3.66	1408	銅	真書	覆土中層	
28-84	永樂通寶	24.57	5.83	1.27	3.40	1408	銅	真書	覆土中層	
28-85	元祐通寶	24.31	7.01	1.15	3.43	1086	銅	行書	覆土中層	
28-86	開元通寶	24.95	6.65	1.22	3.25	960	銅	隸書	覆土中層	
28-87	開元通寶	23.76	6.90	1.07	2.82	960	銅	隸書	覆土中層	
28-88	大定通寶	25.15	6.03	1.37	3.72	1178	銅	真書	覆土中層	
28-89	元豊通寶	25.30	6.31	1.13	3.68	1078	銅	行書	覆土中層	
28-90	永樂通寶	24.98	5.58	1.40	3.84	1408	銅	真書	覆土中層	
28-91	宣德通寶	25.38	5.30	1.26	4.14	1433	銅	真書	覆土中層	
28-92	宣德通寶	25.49	5.33	1.63	4.81	1433	銅	真書	覆土中層	

番号	銭名	径 (mm)	孔径 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	初鑄年	材質	特徴	出土位置	備考
29-1	嘉祐通寶	24.72	8.10	0.99	3.26	1056	銅	真書	覆土中層	PL 8
29-2	天禧通寶	24.41	6.32	1.23	3.84	-	銅	真書 模鑄銭	覆土中層	PL 8
29-3	元祐通寶	23.66	6.95	1.05	2.82	1086	銅	真書	覆土中層	PL 8
29-4	永樂通寶	24.88	5.72	1.17	3.57	1408	銅	真書	覆土中層	PL 8
29-5	元祐通寶	24.25	7.02	1.12	3.07	1086	銅	篆書	覆土中層	PL 8
29-6	太平通寶	24.14	6.22	1.13	3.07	976	銅	真書	覆土中層	PL 8
29-7	政和通寶	24.79	6.27	1.01	2.70	1111	銅	篆書	覆土中層	PL 8
29-8	宣德通寶	25.32	5.32	1.56	3.98	1433	銅	真書	覆土中層	PL 8
29-9	元豐通寶	24.43	6.72	1.10	3.68	1078	銅	行書	覆土中層	PL 8
29-10	大觀通寶	25.05	6.12	1.66	4.36	1107	銅	真書	覆土中層	PL 8
29-11	天聖元寶	24.23	6.06	1.20	3.76	1023	銅	真書	覆土中層	PL 8
29-12	正隆元寶	24.79	5.83	1.28	3.66	1157	銅	真書	覆土中層	PL 8
29-13	元祐通寶	24.13	6.26	0.89	2.46	-	銅	篆書 穴 模鑄銭	覆土中層	PL 8
29-14	政和通寶	23.82	6.11	1.46	4.43	1111	銅	篆書	覆土中層	PL 8
29-15	永樂通寶	24.96	5.83	1.54	4.39	1408	銅	真書	覆土中層	PL 8
29-16	永樂通寶	24.72	5.76	1.35	3.70	1408	銅	真書	覆土中層	PL 8
29-17	天聖元寶	24.78	7.47	1.11	3.60	-	銅	篆書 星孔 模鑄銭	覆土中層	PL 8
29-18	永樂通寶	24.65	5.72	1.12	2.47	1408	銅	真書	覆土中層	PL 8
29-19	聖宋元寶	24.64	6.49	1.15	3.92	1101	銅	篆書	覆土中層	PL 8
29-20	聖宋元寶	24.53	6.54	1.18	3.47	1101	銅	行書	覆土中層	PL 8
29-21	永樂通寶	25.24	5.69	1.42	3.83	1408	銅	真書	覆土中層	PL 8
29-22	天聖元寶	24.77	7.10	0.97	3.09	1023	銅	真書	覆土中層	PL 8
29-23	咸平元寶	24.52	5.79	1.11	3.38	998	銅	真書	覆土中層	PL 8
29-24	元祐通寶	23.77	7.10	1.14	3.23	1086	銅	篆書	覆土中層	PL 8
29-25	皇宋通寶	24.39	6.57	1.25	3.81	1038	銅	篆書	覆土中層	PL 8
29-26	天聖元寶	24.77	7.05	1.10	3.70	1023	銅	真書	覆土中層	PL 8
29-27	祥符元寶	25.04	6.55	1.02	3.09	1008	銅	真書	覆土中層	PL 8
29-28	元祐通寶	24.38	6.93	1.15	3.63	1086	銅	篆書	覆土中層	PL 8
29-29	天禧通寶	25.21	6.12	0.99	3.46	-	銅	真書 模鑄銭	覆土中層	PL 8
29-30	元祐通寶	24.25	7.00	1.08	3.35	-	銅	篆書 模鑄銭	覆土中層	PL 8
29-31	皇宋通寶	24.68	6.44	1.07	3.54	-	銅	篆書 模鑄銭	覆土中層	PL 8
29-32	天聖元寶	24.27	6.23	1.10	3.28	-	銅	真書 模鑄銭	覆土中層	PL 8
29-33	元祐通寶	24.31	7.02	1.25	3.96	1086	銅	真書	覆土中層	PL 8
29-34	元豐通寶	24.73	6.89	1.09	3.64	1078	銅	真書	覆土中層	PL 8
29-35	元祐通寶	24.23	7.07	0.98	2.82	-	銅	篆書 模鑄銭	覆土中層	PL 8
29-36	太平通寶	24.24	6.26	0.92	2.92	-	銅	真書 模鑄銭	覆土中層	PL 8
29-37	皇宋通寶	24.21	7.35	1.07	2.95	1038	銅	真書	覆土中層	PL 8
29-38	熙寧元寶	24.38	6.43	1.06	3.83	1068	銅	真書	覆土中層	PL 8
29-39	永樂通寶	24.82	5.70	1.30	3.32	1408	銅	真書	覆土中層	PL 8
29-40	開元通寶	24.29	6.32	1.15	3.57	960	銅	隸書	覆土中層	PL 8
29-41	元祐通寶	24.35	6.84	1.17	3.73	1086	銅	真書	覆土中層	PL 9
29-42	開元通寶	24.82	7.32	1.03	3.77	-	銅	隸書 模鑄銭	覆土中層	PL 9
29-43	紹聖元寶	24.34	6.85	1.12	3.54	1094	銅	真書	覆土中層	PL 9
29-44	政和通寶	24.59	6.22	1.09	3.34	1111	銅	篆書 穴	覆土中層	PL 9
29-45	政和通寶	24.55	6.76	1.30	3.64	1111	銅	隸書	覆土中層	PL 9
29-46	景祐元寶	24.43	7.05	0.85	2.67	1034	銅	篆書	覆土中層	PL 9
29-47	永樂通寶	24.59	5.87	1.08	3.19	1408	銅	真書	覆土中層	PL 9
29-48	聖宋元寶	23.70	6.65	1.11	3.04	1101	銅	行書	覆土中層	PL 9
29-49	景祐元寶	25.01	6.19	1.01	3.04	-	銅	行書 模鑄銭	覆土中層	PL 9
29-50	皇宋通寶	24.76	7.32	0.98	3.52	1038	銅	真書	覆土中層	PL 9
29-51	至道元寶	24.53	6.13	0.96	3.27	995	銅	真書	覆土中層	PL 9
29-52	熙寧元寶	24.42	6.47	1.18	3.76	1068	銅	真書	覆土中層	PL 9
29-53	永樂通寶	25.26	5.64	1.43	3.96	1408	銅	真書	覆土中層	PL 9
29-54	皇宋通寶	24.83	7.48	1.09	3.23	1038	銅	篆書	覆土中層	PL 9
29-55	永樂通寶	24.73	5.67	1.27	3.14	1408	銅	真書	覆土中層	PL 9
29-56	景德元寶	24.83	6.67	0.92	2.75	1004	銅	真書	覆土中層	PL 9
29-57	祥符元寶	25.28	6.29	1.18	3.47	-	銅	行書 模鑄銭	覆土中層	PL 9
29-58	永樂通寶	24.67	5.73	1.43	4.75	1408	銅	真書	覆土中層	PL 9
29-59	永樂通寶	24.88	5.69	1.32	3.42	1408	銅	真書	覆土中層	PL 9



番号	銭名	径(mm)	孔径(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	初铸年	材質	特徴	出土位置	備考
29-60	天聖元寶	25.17	6.80	1.12	3.82	1023	銅	真書	覆土中層	PL 9
29-61	胤元重寶	25.04	6.69	1.34	3.73	-	銅	真書 模鑄銭	覆土中層	PL 9
29-62	開元通寶	24.86	7.16	1.18	3.26	960	銅	隸書 背上月	覆土中層	PL 9
29-63	永樂通寶	24.99	5.82	1.19	3.41	1408	銅	真書	覆土中層	PL 9
29-64	聖宋元寶	24.10	6.28	1.38	3.98	1101	銅	篆書	覆土中層	PL 9
29-65	開元通寶	24.98	7.15	1.22	3.15	960	銅	隸書	覆土中層	PL 9
29-66	皇宋通寶	24.75	6.73	1.09	3.06	1038	銅	真書	覆土中層	PL 9
29-67	元豐通寶	23.59	6.50	1.17	3.08	1078	銅	行書	覆土中層	PL 9
29-68	祥符元寶	24.95	6.14	1.05	3.73	1008	銅	真書	覆土中層	PL 9
29-69	永樂通寶	24.79	5.84	1.45	4.51	1408	銅	真書	覆土中層	PL 9
29-70	太平通寶	24.08	6.17	0.78	2.36	976	銅	真書	覆土中層	PL 9
29-71	永樂通寶	25.19	5.65	1.33	4.21	1408	銅	真書 背下月	覆土中層	PL 9
29-72	永樂通寶	24.62	5.61	1.07	3.21	1408	銅	真書 穴	覆土中層	PL 9
29-73	聖宋元寶	25.05	6.25	1.14	3.72	1101	銅	篆書	覆土中層	PL 9
29-74	永樂通寶	25.20	5.51	1.31	4.09	1408	銅	真書	覆土中層	PL 9
29-75	永樂通寶	25.02	5.73	1.56	4.24	1408	銅	真書	覆土中層	PL 9
29-76	永樂通寶	24.84	5.68	1.16	3.39	1408	銅	真書	覆土中層	PL 9
29-77	皇宋通寶	25.00	7.09	1.19	3.94	1038	銅	篆書	覆土中層	PL 9
29-78	咸平元寶	24.14	6.19	1.02	3.20	998	銅	真書 穴	覆土中層	PL 9
29-79	元祐通寶	24.65	6.90	1.04	3.18	1086	銅	篆書	覆土中層	PL 9
29-80	永樂通寶	24.78	5.66	1.14	3.37	1408	銅	真書	覆土中層	PL 9
29-81	元豐通寶	24.59	6.34	1.12	3.49	1078	銅	篆書	覆土中層	PL10
29-82	大觀通寶	24.57	6.24	1.23	3.19	1107	銅	真書	覆土中層	PL10
29-83	永樂通寶	25.14	5.70	1.29	4.06	1408	銅	真書	覆土中層	PL10
29-84	永樂通寶	24.86	5.73	1.07	3.83	1408	銅	真書	覆土中層	PL10
29-85	永樂通寶	24.85	5.80	1.04	3.09	1408	銅	真書	覆土中層	PL10
29-86	元豐通寶	23.65	6.91	1.30	3.64	1078	銅	篆書	覆土中層	PL10
29-87	政和通寶	24.58	6.34	1.25	3.78	1111	銅	篆書	覆土中層	PL10
29-88	永樂通寶	24.89	5.87	1.37	3.68	1408	銅	真書	覆土中層	PL10
29-89	紹聖元寶	23.56	6.58	1.23	3.54	1094	銅	行書	覆土中層	PL10
29-90	永樂通寶	25.05	5.67	1.41	4.32	1408	銅	真書	覆土中層	PL10
29-91	元豐通寶	25.00	7.24	1.18	3.30	-	銅	篆書 模鑄銭	覆土中層	PL10
29-92	開元通寶	24.46	6.66	1.11	2.63	960	銅	隸書	覆土中層	PL10
29-93	景德元寶	25.00	6.51	1.12	2.94	1004	銅	真書	覆土中層	PL10
29-94	祥符元寶	24.84	6.15	1.03	3.26	1008	銅	行書	覆土中層	PL10
29-95	永樂通寶	24.91	5.70	1.54	5.03	1408	銅	真書	覆土中層	PL10
29-96	永樂通寶	24.83	5.82	1.02	3.07	1408	銅	真書	覆土中層	PL10
29-97	永樂通寶	24.82	5.88	1.12	2.94	1408	銅	真書	覆土中層	PL10
30-1	皇宋通寶	24.43	7.64	0.96	2.80	1038	銅	篆書	覆土中層	
30-2	嘉祐通寶	23.65	6.89	1.31	3.27	1056	銅	真書 背十一	覆土中層	PL11
30-3	嘉祐通寶	23.87	7.74	1.26	3.44	1056	銅	真書	覆土中層	
30-4	景德元寶	24.67	6.25	1.20	3.35	1004	銅	真書	覆土中層	
30-5	元符通寶	24.52	6.39	1.26	3.66	1098	銅	篆書	覆土中層	
30-6	元豐通寶	24.45	6.58	0.89	2.86	1078	銅	篆書	覆土中層	
30-7	聖宋元寶	24.28	5.76	1.34	3.03	1101	銅	行書	覆土中層	
30-8	治平元寶	24.26	6.37	1.42	4.12	1064	銅	篆書	覆土中層	
30-9	熙寧元寶	24.78	6.71	1.09	3.40	1068	銅	真書	覆土中層	
30-10	永樂通寶	25.02	5.53	1.14	3.08	1408	銅	真書	覆土中層	
30-11	政和通寶	24.63	6.19	1.14	3.29	1111	銅	隸書	覆土中層	
30-12	聖宋元寶	24.44	5.99	1.29	3.73	1101	銅	篆書	覆土中層	
30-13	永樂通寶	24.84	5.90	1.30	3.59	1408	銅	真書	覆土中層	
30-14	宣德通寶	25.13	5.53	1.28	3.52	1433	銅	真書	覆土中層	
30-15	朝鮮通寶	24.14	6.34	1.31	3.24	1423	銅	真書	覆土中層	
30-16	永樂通寶	24.22	5.57	1.23	2.79	1408	銅	真書	覆土中層	
30-17	景德元寶	24.76	6.74	1.22	3.53	1004	銅	真書	覆土中層	
30-18	永樂通寶	25.22	5.52	1.64	4.80	1408	銅	真書	覆土中層	
30-19	開元通寶	24.11	6.23	1.31	3.58	960	銅	隸書	覆土中層	
30-20	元豐通寶	24.13	6.14	1.12	3.59	1078	銅	行書	覆土中層	
30-21	大觀通寶	23.80	6.27	1.27	3.55	1107	銅	真書	覆土中層	

番号	銭名	径 (mm)	孔径 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	初鋳年	材質	特徴	出土位置	備考
30-22	政和通寶	25.14	6.06	1.22	3.22	1111	銅	篆書	覆土中層	
30-23	皇宋通寶	25.02	7.78	1.11	3.34	1038	銅	真書	覆土中層	
30-24	政和通寶	24.88	6.44	1.40	3.46	1111	銅	隸書	覆土中層	
30-25	慶元通寶	24.14	6.62	1.29	3.60	1195	銅	真書	覆土中層	
30-26	永樂通寶	24.86	5.75	1.22	3.38	1408	銅	真書	覆土中層	
30-27	天聖元寶	24.77	6.76	1.30	3.55	1023	銅	真書	覆土中層	
30-28	開元通寶	24.96	7.07	1.15	3.15	960	銅	隸書	覆土中層	
30-29	永樂通寶	24.75	5.54	1.57	3.90	1408	銅	真書	覆土中層	
30-30	元祐通寶	24.01	6.81	1.26	3.82	1086	銅	篆書	覆土中層	
30-31	元祐通寶	24.95	5.76	1.20	3.94	1086	銅	行書	覆土中層	
30-32	永樂通寶	24.80	5.63	1.38	3.56	1408	銅	真書	覆土中層	
30-33	永樂通寶	25.05	5.61	1.53	4.67	1408	銅	真書	覆土中層	
30-34	元豐通寶	24.30	6.48	1.10	3.21	1078	銅	篆書	覆土中層	
30-35	元豐通寶	24.59	6.82	1.02	2.64	1078	銅	行書	覆土中層	
30-36	咸平元寶	24.45	6.23	1.13	3.25	998	銅	真書	覆土中層	
30-37	永樂通寶	24.46	5.89	1.18	2.31	1408	銅	真書	覆土中層	
30-38	政和通寶	24.55	6.56	1.23	3.47	1111	銅	隸書	覆土中層	
30-39	永樂通寶	24.89	5.65	1.09	3.10	1408	銅	真書	覆土中層	
30-40	永樂通寶	25.59	5.58	1.25	3.80	1408	銅	真書	覆土中層	
30-41	至道元寶	24.65	6.32	1.12	3.35	995	銅	真書	覆土中層	
30-42	政和通寶	24.31	5.74	1.28	3.27	1111	銅	篆書	覆土中層	
30-43	皇宋通寶	24.89	6.97	1.08	2.94	1038	銅	真書	覆土中層	
30-44	治平元寶	24.27	6.50	1.30	3.90	1064	銅	行書	覆土中層	
30-45	開元通寶	24.53	7.07	1.06	3.05	960	銅	隸書	覆土中層	
30-46	景德元寶	24.45	6.11	1.16	3.74	1004	銅	真書	覆土中層	
30-47	永樂通寶	25.10	5.66	1.41	4.35	1408	銅	真書	覆土中層	
30-48	永樂通寶	24.64	5.90	1.23	3.28	1408	銅	真書	覆土中層	
30-49	政和通寶	24.18	6.02	1.36	3.46	1111	銅	隸書	覆土中層	
30-50	永樂通寶	25.08	5.55	1.28	3.20	1408	銅	真書	覆土中層	
30-51	治平元寶	24.08	6.34	1.21	3.42	1064	銅	篆書	覆土中層	
30-52	至和元寶	23.71	6.41	1.33	3.72	1054	銅	行書	覆土中層	
30-53	元祐通寶	24.43	6.95	1.24	3.83	1086	銅	行書	覆土中層	
30-54	至道元寶	24.66	5.94	1.13	3.77	995	銅	真書	覆土中層	
30-55	紹聖元寶	23.81	6.33	1.33	3.54	1094	銅	篆書	覆土中層	
30-56	祥符元寶	25.81	5.57	1.08	3.88	1008	銅	篆書	覆土中層	
30-57	洪武通寶	24.56	6.02	1.42	3.54	1368	銅	真書 背浙	覆土中層	
30-58	元祐通寶	24.23	6.95	1.35	4.15	1086	銅	篆書	覆土中層	
30-59	永樂通寶	25.21	5.45	1.08	3.28	1408	銅	真書	覆土中層	
30-60	政和通寶	24.18	7.32	1.07	2.99	1111	銅	隸書	覆土中層	
30-61	祥符元寶	24.34	6.17	1.08	3.11	1008	銅	真書	覆土中層	
30-62	元豐通寶	24.73	6.67	1.18	3.13	1078	銅	行書	覆土中層	
30-63	元祐通寶	24.27	6.23	1.00	2.95	1086	銅	行書	覆土中層	
30-64	開元通寶	24.64	6.77	1.40	3.49	960	銅	隸書 背上月	覆土中層	
30-65	開元通寶	24.18	6.60	1.14	3.21	960	銅	隸書	覆土中層	
30-66	永樂通寶	24.88	5.22	1.09	3.11	1408	銅	真書	覆土中層	
30-67	皇宋通寶	24.74	7.31	1.05	3.15	1038	銅	篆書	覆土中層	
30-68	政和通寶	24.14	6.96	1.22	3.28	1111	銅	篆書	覆土中層	
30-69	永樂通寶	25.15	5.51	1.33	3.32	1408	銅	真書	覆土中層	
30-70	聖宋元寶	23.84	6.39	1.21	3.26	1101	銅	篆書	覆土中層	
30-71	天禧通寶	25.17	6.80	1.03	3.29	1017	銅	真書	覆土中層	
30-72	皇宋通寶	24.33	7.06	0.96	2.30	1038	銅	真書	覆土中層	
30-73	元豐通寶	24.78	6.11	1.40	4.16	1078	銅	篆書	覆土中層	
30-74	元豐通寶	24.63	7.23	1.02	3.13	1078	銅	篆書	覆土中層	
30-75	聖宋元寶	23.98	6.30	1.34	3.46	1101	銅	真書	覆土中層	
30-76	至和元寶	24.58	7.05	1.05	3.33	1054	銅	篆書	覆土中層	
30-77	皇宋通寶	24.33	7.04	1.01	3.13	1038	銅	真書	覆土中層	
30-78	熙寧元寶	24.29	6.50	1.09	3.28	1068	銅	真書	覆土中層	
30-79	聖宋元寶	24.59	5.71	1.17	3.76	1101	銅	行書	覆土中層	
31-1	元豐通寶	23.94	6.28	1.10	3.00	1078	銅	篆書	覆土中層	

番号	銭名	径 (mm)	孔径 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	初鑄年	材質	特徴	出土位置	備考
31-2	元祐通寶	24.04	8.04	0.95	2.88	1086	銅	行書	覆土中層	
31-3	元豐通寶	24.88	6.69	1.08	3.38	1078	銅	行書	覆土中層	
31-4	永樂通寶	25.01	5.94	1.13	3.06	1408	銅	真書	覆土中層	
31-5	天聖元寶	24.73	6.79	1.26	3.64	1101	銅	真書	覆土中層	
31-6	治平元寶	23.93	6.50	1.15	3.09	1064	銅	真書	覆土中層	
31-7	永樂通寶	25.14	5.63	1.22	3.73	1408	銅	真書	覆土中層	
31-8	元豐通寶	24.22	6.89	1.27	3.60	1078	銅	篆書	覆土中層	
31-9	永樂通寶	24.88	5.75	1.07	3.15	1408	銅	真書	覆土中層	
31-10	宣德通寶	25.48	5.47	0.88	3.43	1433	銅	真書	覆土中層	
31-11	天聖元寶	25.07	6.87	1.10	2.93	1101	銅	真書	覆土中層	
31-12	紹聖元寶	23.68	6.99	1.17	3.63	1008	銅	篆書	覆土中層	
31-13	元豐通寶	24.76	6.85	1.14	3.20	1078	銅	行書	覆土中層	
31-14	永樂通寶	24.99	5.74	0.92	2.91	1408	銅	真書	覆土中層	
31-15	永樂通寶	24.70	5.82	0.99	2.42	1408	銅	真書	覆土中層	
31-16	永樂通寶	24.66	5.93	1.11	3.23	1408	銅	真書	覆土中層	
31-17	永樂通寶	24.92	5.83	1.81	4.34	1408	銅	真書	覆土中層	
31-18	元符通寶	23.85	6.25	1.34	3.86	1098	銅	篆書	覆土中層	
31-19	洪武通寶	24.55	6.06	1.34	3.61	1368	銅	真書	覆土中層	
31-20	元祐通寶	24.52	6.70	1.29	4.23	1086	銅	篆書	覆土中層	
31-21	永樂通寶	25.25	5.76	1.20	3.18	1408	銅	真書	覆土中層	
31-22	開元通寶	24.21	6.58	1.30	3.59	960	銅	隸書	覆土中層	
31-23	政和通寶	23.78	5.90	0.86	3.26	1111	銅	隸書	覆土中層	
31-24	天禧通寶	25.52	6.49	1.08	4.53	1017	銅	真書	覆土中層	
31-25	咸平元寶	24.35	6.18	1.08	3.13	998	銅	真書	覆土中層	
31-26	治平元寶	24.20	6.69	1.15	3.66	1064	銅	篆書	覆土中層	
31-27	天禧通寶	25.01	6.22	0.97	3.45	1017	銅	真書	覆土中層	
31-28	永樂通寶	24.82	5.91	1.18	3.54	1405	銅	真書	覆土中層	
31-29	元祐通寶	23.70	6.80	1.00	3.19	1086	銅	篆書	覆土中層	
31-30	元祐通寶	24.11	7.44	0.95	3.06	1086	銅	行書	覆土中層	
31-31	永樂通寶	25.06	5.86	0.94	2.75	1408	銅	真書	覆土中層	
31-32	景德元寶	25.06	6.66	1.28	3.63	1004	銅	真書	覆土中層	
32-1	嘉祐通寶	23.47	6.65	1.19	3.55	-	銅	篆書 模鑄銭	覆土中層	
32-2	永樂通寶	25.03	5.77	1.49	3.68	1408	銅	真書	覆土中層	
32-3	永樂通寶	24.73	5.75	1.22	3.48	1408	銅	真書	覆土中層	
32-4	熙寧元寶	24.30	7.06	1.28	3.70	1068	銅	行書	覆土中層	
32-5	永樂通寶	24.86	5.42	1.29	3.69	1408	銅	真書	覆土中層	
32-6	永樂通寶	24.93	5.69	1.44	3.55	1408	銅	真書 背上星	覆土中層	
32-7	元豐通寶	24.13	6.87	1.14	3.64	1078	銅	篆書	覆土中層	
33-1	開元通寶	24.48	6.75	1.01	2.63	960	銅	隸書	覆土中層	
33-2	宣德通寶	25.45	5.13	1.30	3.89	1433	銅	真書	覆土中層	
33-3	皇宋通寶	24.42	7.27	0.98	3.04	-	銅	篆書 模鑄銭	覆土中層	
33-4	宣德通寶	25.51	5.36	1.43	3.46	1433	銅	真書	覆土中層	
33-5	至道元寶	24.77	6.14	1.00	3.25	995	銅	真書	覆土中層	

## 第2号地下式坑 (SK76) (第18・19図)

**位置** 調査区中央部のC 4 il 区、標高28 mほどの台地平坦部に位置している。

**重複関係** 本跡の上部に第1号塚が構築され、第1号塚の周溝に掘り込まれている。

**軸長・軸方向** 軸長は3.60 mで、軸方向はN - 29° - Eである。

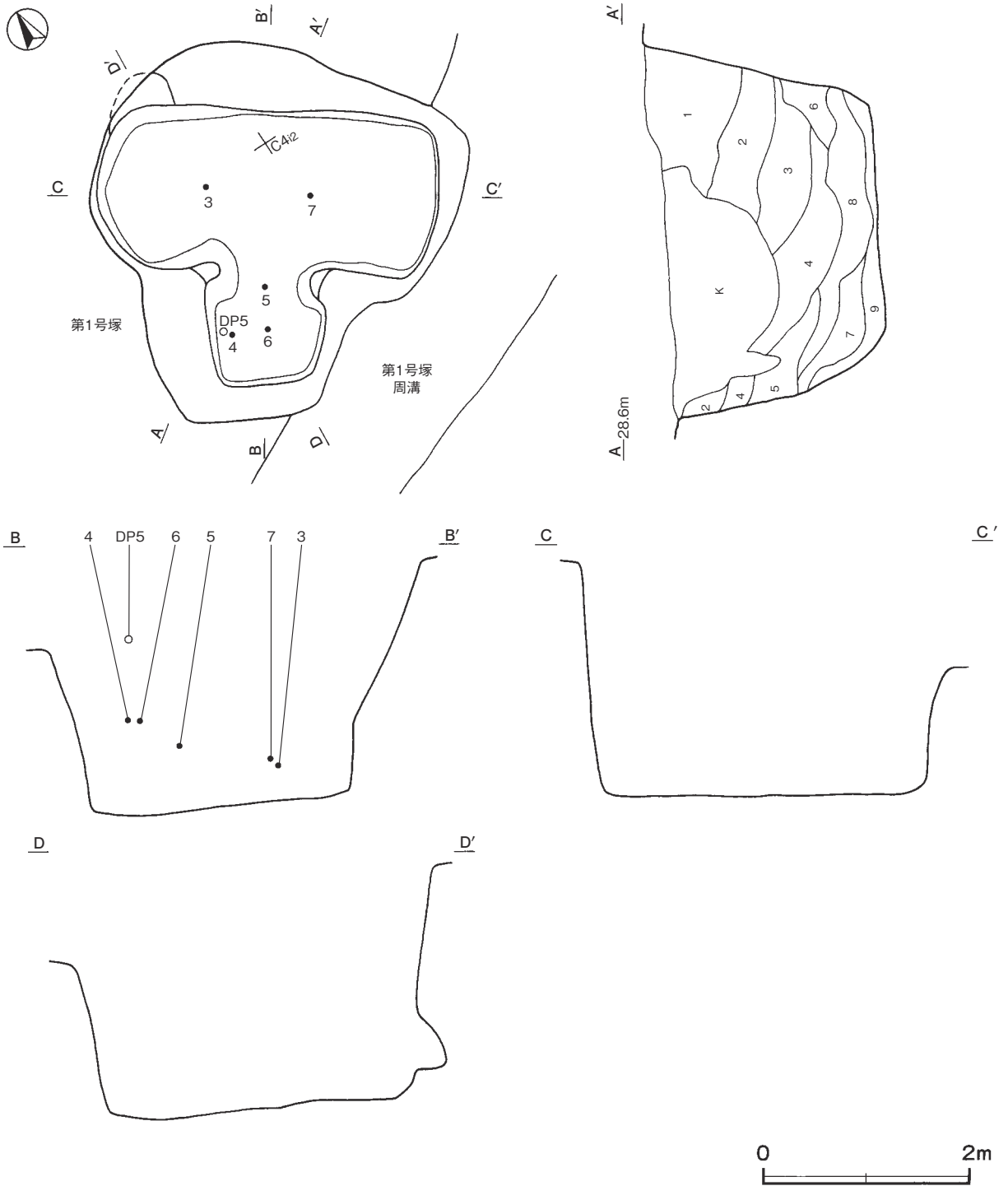
**竪坑** 主室南西壁の中央部に位置し、奥行0.81 m、横幅0.98 mの隅丸長方形である。深さは237cmで、壁は外傾して立ち上がっている。主室との接続部は長さ0.42 mで、幅0.56 mほどに狭くなっている。接続部の天井部は崩落している。底面は平坦で、接続部で緩やかに上がり、主室の底面とは8 cmの段差をなしている。

**主室** 奥行1.36 m、横幅3.16 mの隅丸長方形である。天井部は遺存していない。壁はやや外傾して立ち上がり、確認面からの深さは229cmで、底面は平坦である。

**覆土** 9層に分層できる。第1層は天井部が崩落した後に自然堆積した層である。第2層は天井部の崩落土、第3～5層は竪坑側から流入した堆積状況を示す自然堆積で、第6・7層は壁部の崩落土である。第8・9層は竪坑側から流入した堆積状況を示す自然堆積である。

**土層解説**

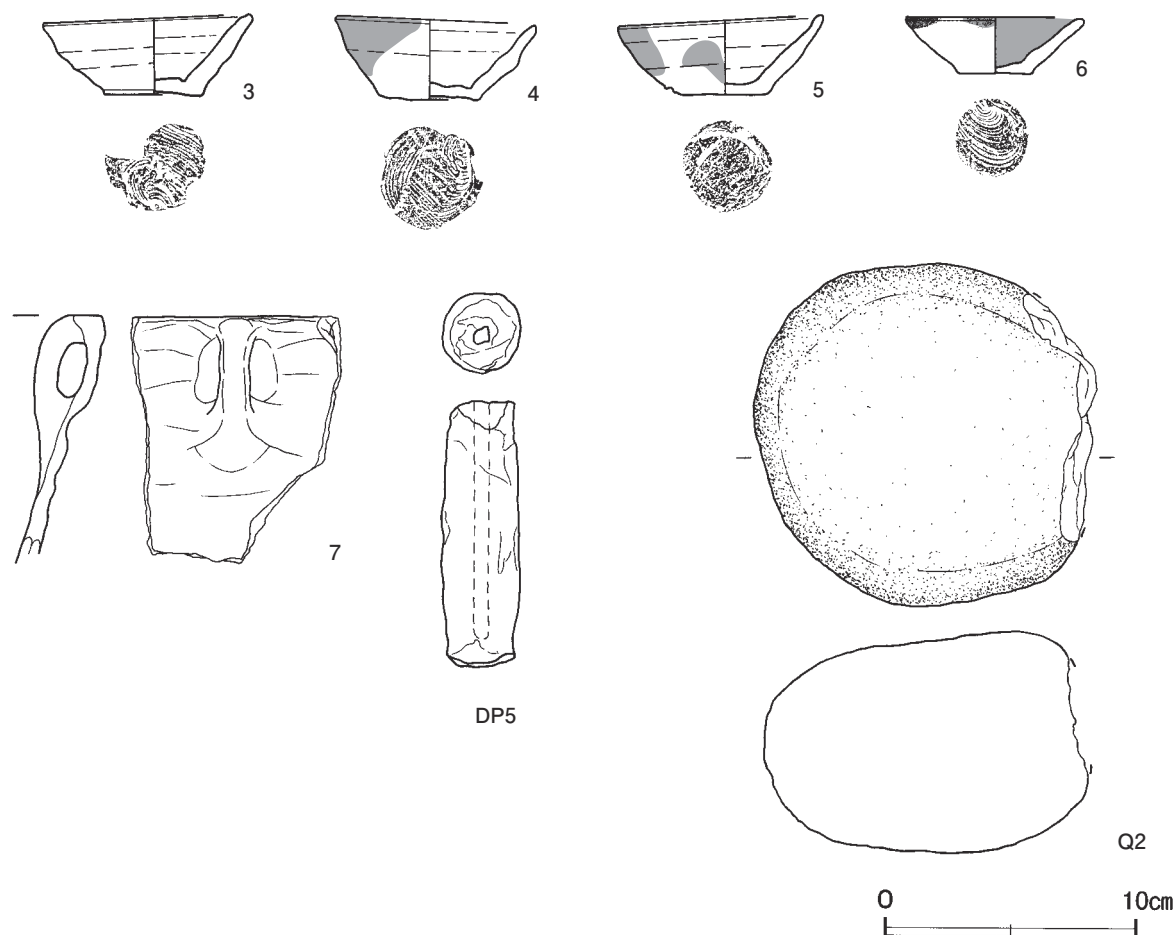
- |          |                      |         |                    |
|----------|----------------------|---------|--------------------|
| 1 黒褐色    | ローム粒子中量              | 6 におい褐色 | ロームブロック中量 (壁部の崩落土) |
| 2 におい黄褐色 | ロームブロック多量 (天井部の崩落土)  | 7 におい褐色 | ロームブロック多量 (壁部の崩落土) |
| 3 暗褐色    | ロームブロック中量, 炭化粒子少量    | 8 黒褐色   | ロームブロック中量          |
| 4 黒褐色    | ローム粒子中量, 焼土粒子・炭化粒子微量 | 9 黒褐色   | ロームブロック少量          |
| 5 褐灰色    | ローム粒子多量, 焼土粒子・炭化粒子微量 |         |                    |



第18図 第2号地下式坑実測図

**遺物出土状況** 土師質土器片 73 点 (小皿 5, 内耳鍋 7, 鉢 57, 播鉢 1, 甕 3), 陶器片 52 点 (天目茶碗 1, 大皿 5, 鉢 14, 播鉢 1, 捏鉢 1, 甕 29, 大甕 1), 土製品 1 点 (管状土錘), 石器 1 点 (磨石), 椀形滓 1 点 (237g) のほか, 縄文土器片 4 点, 土師器片 53 点, 須恵器片 24 点が出土している。3 は主室西部, 7 は主室東部の覆土下層からそれぞれ出土している。5 は竪坑北部, 6 は竪坑中央部の覆土中層から出土している。4 は竪坑西部の覆土中層から, DP 5 は同じく覆土上層から出土している。

**所見** 時期は, 出土土器から 16 世紀前葉と考えられる。



第 19 図 第 2 号地下式坑出土遺物実測図

第 2 号地下式坑出土遺物観察表 (第 19 図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
3	土師質土器	小皿	8.2	3.2	4.0	長石・石英・雲母・赤色粒子	浅黄橙	普通	外・内面体部同心円状ナデ 内底面外周部へこみ 底部回転糸切り	覆土下層	98% PL5
4	土師質土器	小皿	8.0	3.3	4.1	長石・石英・赤色粒子・細礫	橙	普通	外・内面ナデ 内底面外周部へこみ 底部回転糸切り後, 一部一方向の手持ちヘラ削り	覆土中層	95% PL5 煤付着
5	土師質土器	小皿	8.1	3.1	3.6	長石・石英・雲母・赤色粒子	橙	普通	底部回転糸切り後, 手持ち指ナデ 外・内面体部同心円状ナデ 内底面ナデ	覆土中層	95% PL5 煤付着
6	土師質土器	小皿	6.9	2.3	2.9	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい黄橙	普通	内底面同心円状ナデ・外周部へこみ 底部回転糸切り 灯明皿転用	覆土中層	100% PL5 油煙付着
7	土師質土器	内耳鍋	-	(9.8)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	明赤褐	普通	内耳残存	覆土下層	10% 外面煤付着

番号	器種	長さ	径	孔径	重量	胎土	色調	特徴	出土位置	備考
DP 5	管状土錘	10.5	3.1	0.7	106	長石・赤色粒子	橙	孔末貫通 ナデ	覆土上層	PL6

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
Q 2	磨石	13.6	(13.7)	8.8	(2.212)	安山岩	使用痕 2 面あり	覆土中	

**第4号地下式坑 (SK24) (第20図)**

**位置** 調査区東端部のC 4i5区, 標高28mほどの台地平坦部に位置している。

**軸長・軸方向** 軸長は1.78mで, 軸方向はN-68°-Eである。

**竪坑** 主室の東壁に位置し, 奥行0.73m, 横幅1.47mの楕円形である。深さは60cmで, 壁は外傾して立ち上がっている。底面は主室に向かって傾斜し, 主室の底面とは18cmの段差をなしている。

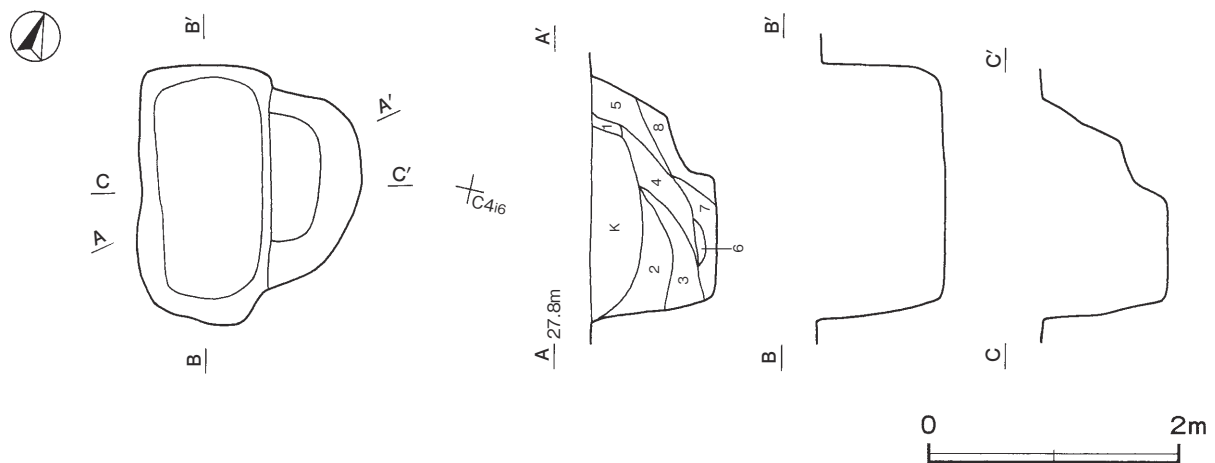
**主室** 奥行0.82m, 横幅1.72mの隅丸長方形で, 天井部は崩落している。壁はほぼ直立し, 確認面からの深さは100cmで, 底面は平坦である。壁は外傾して立ち上がっている。

**覆土** 8層に分層できる。第8層は竪坑から流入した自然堆積層である。第6・7層は天井部の崩落土である。その他の層は, ロームブロックが含まれていることから, 埋め戻されている。

**土層解説**

- |       |                   |       |                     |
|-------|-------------------|-------|---------------------|
| 1 暗褐色 | ロームブロック少量         | 5 褐色  | ロームブロック中量           |
| 2 暗褐色 | ロームブロック多量, 炭化粒子少量 | 6 褐色  | ロームブロック少量 (天井部の崩落土) |
| 3 暗褐色 | ローム粒子中量, 炭化粒子少量   | 7 褐色  | ロームブロック多量 (天井部の崩落土) |
| 4 褐色  | ロームブロック少量, 炭化粒子微量 | 8 黒褐色 | 炭化粒子少量, ローム粒子微量     |

**所見** 時期は, 遺構の形状から室町時代と考えられる。性格は不明である。



第20図 第4号地下式坑実測図

**第5号地下式坑 (SK21) (第21図)**

**位置** 調査区南部のD 4a3区, 標高28mほどの台地平坦部に位置している。

**軸長・軸方向** 軸長は2.42mで, 軸方向はN-64°-Eである。

**竪坑** 主室北東壁に位置し, 奥行0.70m, 横幅1.52mの半円形である。深さは29cmで, 壁は緩やかに立ち上がっている。底面は主室に向かって傾斜し, 主室の底面とは34cmの段差をなしている。

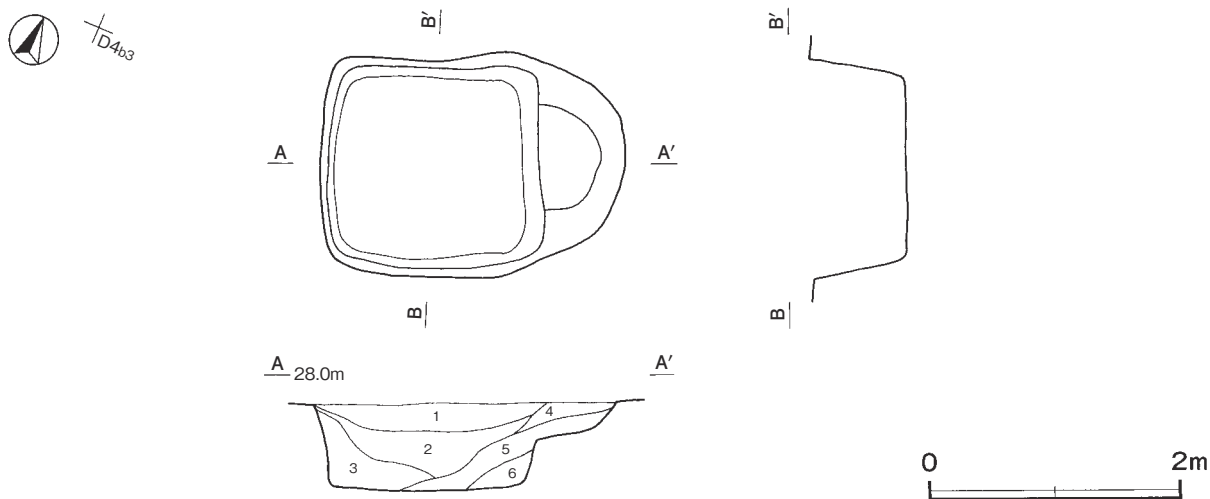
**主室** 奥行1.49m, 横幅1.46mの方形で, 天井部は崩落している。壁はほぼ直立し, 確認面からの深さは72cmで, 底面は平坦である。

**覆土** 6層に分層できる。第1層はロームブロックが含まれていることから, 天井部崩落後に埋め戻されている。第2・3層は天井部の崩落土である。第4～6層は竪坑より流入した自然堆積層である。

土層解説

- |         |                     |       |                   |
|---------|---------------------|-------|-------------------|
| 1 暗褐色   | ロームブロック少量           | 4 黒褐色 | 炭化粒子中量, ロームブロック微量 |
| 2 褐色    | ロームブロック多量 (天井部の崩落土) | 5 黒褐色 | 炭化粒子少量            |
| 3 にぶい褐色 | ロームブロック多量 (天井部の崩落土) | 6 黒褐色 | 炭化粒子少量, ロームブロック微量 |

所見 時期は、遺構の形状から室町時代と考えられる。性格は不明である。



第21図 第5号地下式坑実測図

表2 室町時代地下式坑一覧表

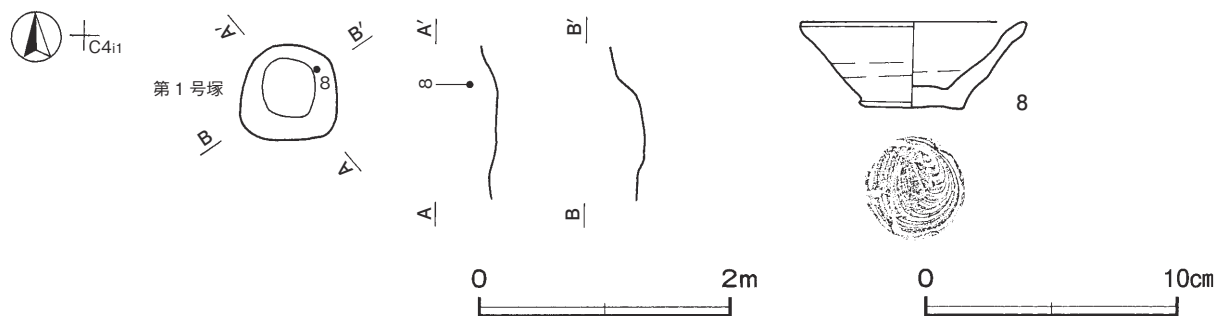
番号	位置	軸方向	平面形		軸長 (m)	主室規模			竪坑規模			覆土	主な出土遺物	備考
			主室	竪坑		奥行 (m)	横幅 (m)	深さ (cm)	奥行 (m)	横幅 (m)	深さ (cm)			
1	C4g4	N-53°-E	楕円形	隅丸長方形	3.69	2.33	3.81	160	1.15	1.49	160	自然	土師質土器, 陶器, 石製品, 銭貨	
2	C4i1	N-29°-E	隅丸長方形	隅丸長方形	3.60	1.36	3.16	229	0.81	0.98	237	自然	土師質土器, 陶器, 土製品, 石器	本跡→塚1
4	C4i5	N-68°-E	隅丸長方形	楕円形	1.78	0.82	1.72	100	0.73	1.47	60	自然 人為		
5	D4a3	N-64°-E	方形	半円形	2.42	1.49	1.46	72	0.70	1.52	29	自然 人為		

(2) 土坑

第61号土坑 (第22図)

位置 調査区中央部のC4i1区, 標高28mほどの台地平坦部に位置している。

重複関係 本跡の上部に第1号塚が構築されている。



第22図 第61号土坑・出土遺物実測図

**規模と形状** 長軸 0.75 m, 短軸 0.74 m の隅丸方形である。長軸方向は  $N-0^\circ$  である。深さは 12cm で、底面は皿状である。壁は緩やかに傾斜して立ち上がっている。

**遺物出土状況** 土師質土器 1 点 (小皿) が覆土上層から出土している。

**所見** 時期は、出土土器から 15 世紀中葉に比定できる。性格は不明である。

#### 第 61 号土坑出土遺物観察表 (第 22 図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
8	土師質土器	小皿	8.8	3.5	4.2	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい黄橙	普通	体部外・内面同心円状ナデ 内底面外周部へこみ 底部回転糸切り	覆土上層	100% PL5

### 3 江戸時代の遺構と遺物

当時代の遺構は、塚 1 基、土坑 1 基を確認した。以下、遺構と遺物について記述する。

#### (1) 塚

##### 第 1 号塚 (旧 TM 7) (第 23 ~ 27 図)

**位置** 調査区中央部の C 3 f6 区、標高 28 m ほどの台地に位置している。

**重複関係** 第 2 号地下式坑、第 10・12・39・61・66 ~ 75・77 ~ 79・81 ~ 91・96・97 号土坑の上部に構築され、第 9・11・13・63 ~ 65・80 号土坑に掘り込まれている。

**規模と形状** 長軸 21.3 m, 短軸 19.4 m の不整形で、高さは 3.6 m である。長軸方向は  $N-38^\circ-W$  である。

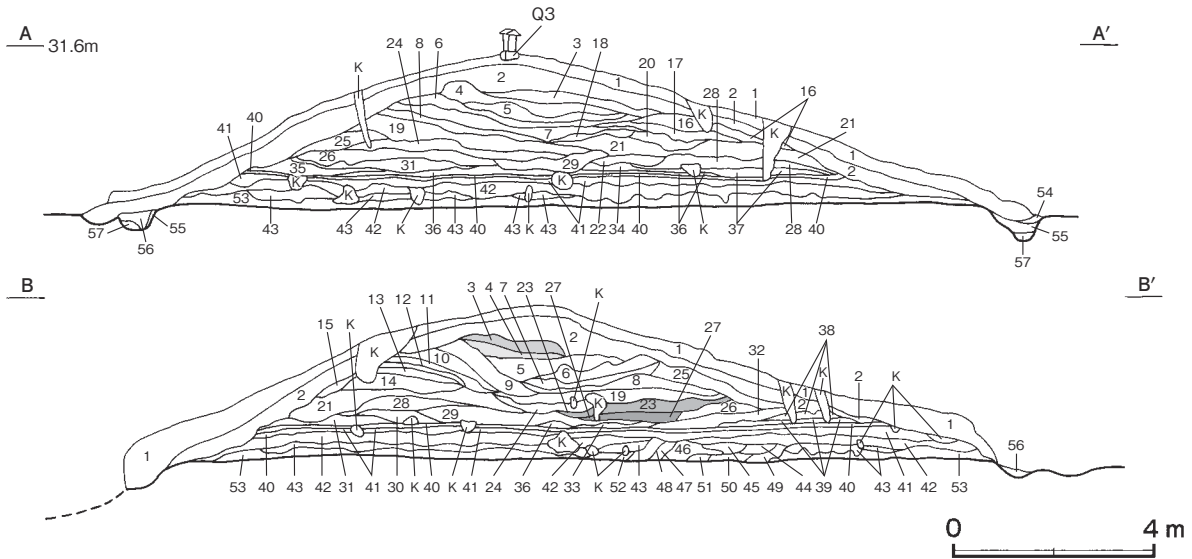
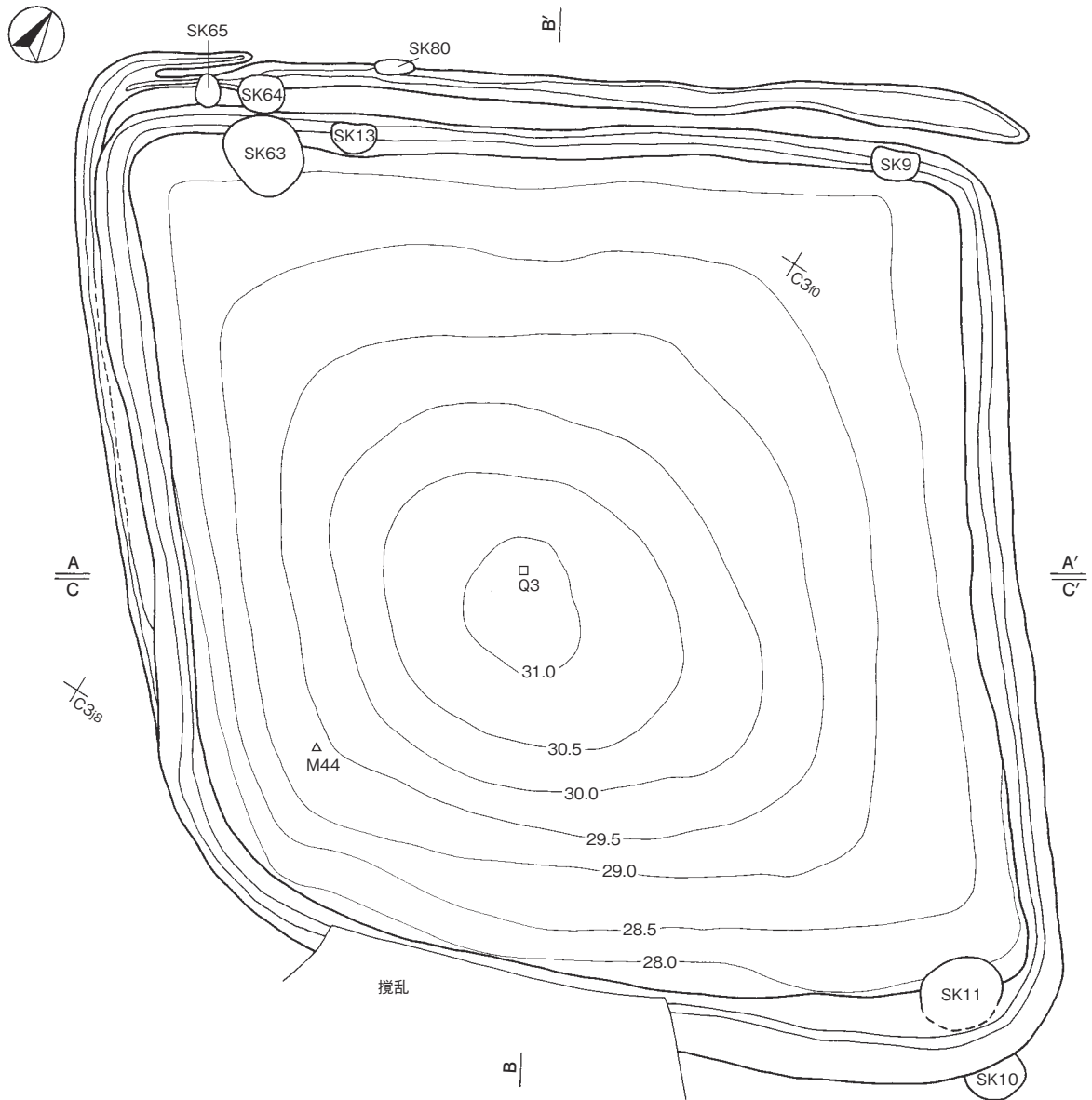
**周溝** 内側と外側の 2 条。内側の周溝は裾部を全周している。規模は、上幅 0.52 ~ 1.98 m, 下幅 0.15 ~ 0.58 m, 深さ 10 ~ 12cm で、断面は U 字状である。南東辺が上幅 0.62 ~ 1.98 m, 下幅 0.20 ~ 0.48 m で最も広く、北西辺が上幅 0.52 ~ 0.61 m, 下幅 0.15 ~ 0.25 m で最も狭くなっている。外側の周溝は、北西辺から南西辺にかけて存在している。規模は、上幅 0.49 ~ 0.98 m, 下幅 0.49 ~ 0.55 m, 深さ 5 ~ 8 cm で、断面は U 字状である。北西辺が上幅 0.89 ~ 0.98 m, 下幅 0.52 ~ 0.55 m で最も広く、南西辺が上幅 0.49 ~ 0.52 m で最も狭くなっている。

**構築状況** 57 層に分層できる。周辺から集積したロームブロックや黒色土を含む褐色土を中央部から積み上げて構築されている。下層部の第 40 層は、8 ~ 15cm と薄く、ほぼ均一につき固められており、版築された層と考えられる。この層で基部を十分に固めてから、上部を構築している。

#### 土層解説

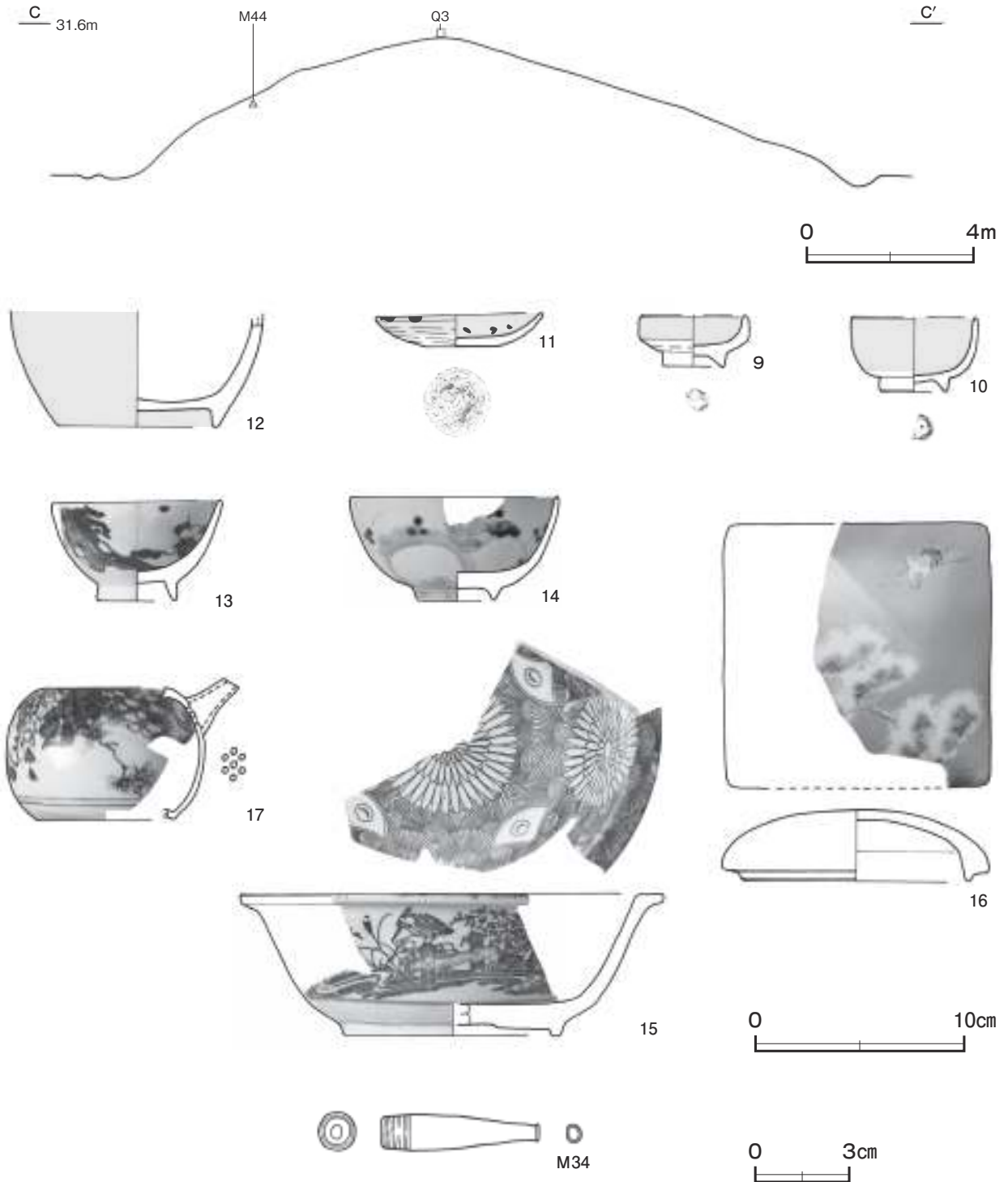
1 黒色	ローム粒子・炭化粒子微量	21 褐色	ロームブロック中量, 焼土ブロック・炭化粒子少量
2 黒色	ローム粒子少量	22 暗褐色	ローム粒子・焼土粒子微量
3 黒褐色	ローム粒子中量, 炭化粒子微量	23 極暗褐色	ローム粒子中量 (締まり強い)
4 黒褐色	ロームブロック中量, 炭化物微量	24 暗褐色	ローム粒子少量, 炭化粒子微量 (締まり強い)
5 褐色	ロームブロック多量, 黒色粒子中量	25 黒褐色	ローム粒子多量, 炭化粒子少量
6 暗褐色	ロームブロック少量	26 褐色	ロームブロック中量, 焼土粒子・炭化粒子微量
7 暗褐色	ローム粒子少量, 炭化粒子微量	27 褐色	ローム粒子多量, 焼土粒子・炭化粒子微量 (粘性強い)
8 暗褐色	ローム粒子微量	28 暗褐色	ロームブロック少量, 焼土ブロック・炭化ブロック微量
9 暗褐色	ローム粒子中量	29 暗褐色	ロームブロック・炭化物微量 (締まり強い)
10 褐色	ローム粒子多量 (粘性強い)	30 暗褐色	ロームブロック・焼土粒子微量
11 暗褐色	ローム粒子中量 (締まり強い)	31 褐色	ローム粒子多量, 黒色粒子微量 (粘性強い)
12 褐色	ローム粒子・焼土粒子・炭化粒子微量 (粘性強い)	32 暗褐色	ローム粒子中量, 黒色粒子微量
13 暗褐色	ローム粒子少量, 焼土粒子・炭化粒子微量	33 黄褐色	ローム粒子・黒色粒子中量 (締まり強い)
14 暗褐色	ロームブロック・焼土粒子・炭化粒子少量	34 黄褐色	ロームブロック多量
15 褐色	ロームブロック多量, 黒色粒子少量	35 暗褐色	ローム粒子中量, 焼土粒子・炭化粒子微量
16 褐色	ローム粒子多量	36 暗褐色	ローム粒子中量, 青色粒子・炭化粒子少量, 焼土粒子微量
17 暗褐色	ロームブロック少量, 炭化物微量	37 褐色	ローム粒子中量, 焼土粒子・炭化粒子微量
18 極暗褐色	ローム粒子多量		
19 褐色	ロームブロック多量, 炭化物微量		
20 褐色	ローム粒子多量, 焼土粒子微量		



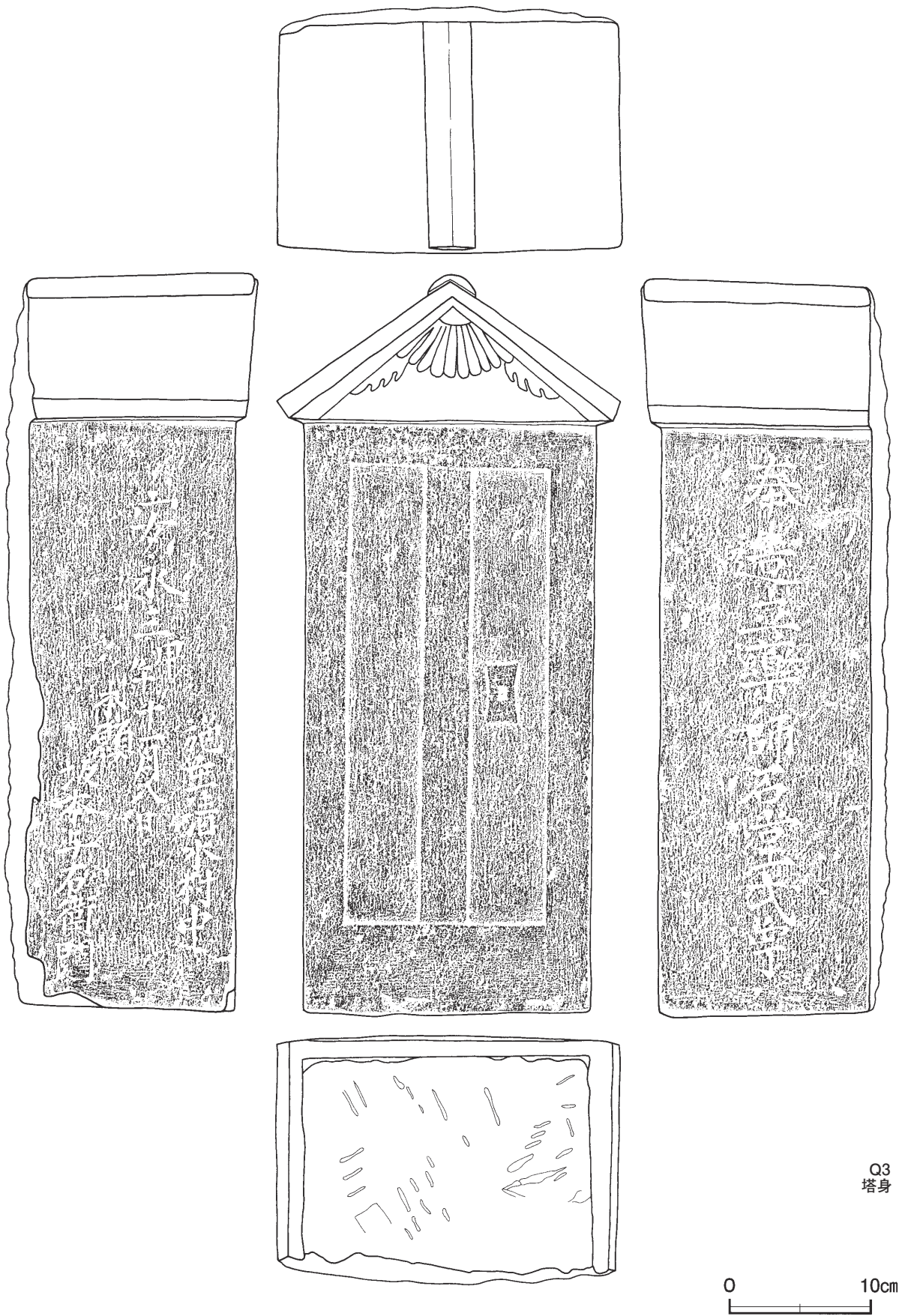


第 23 図 第 1 号塚実測図

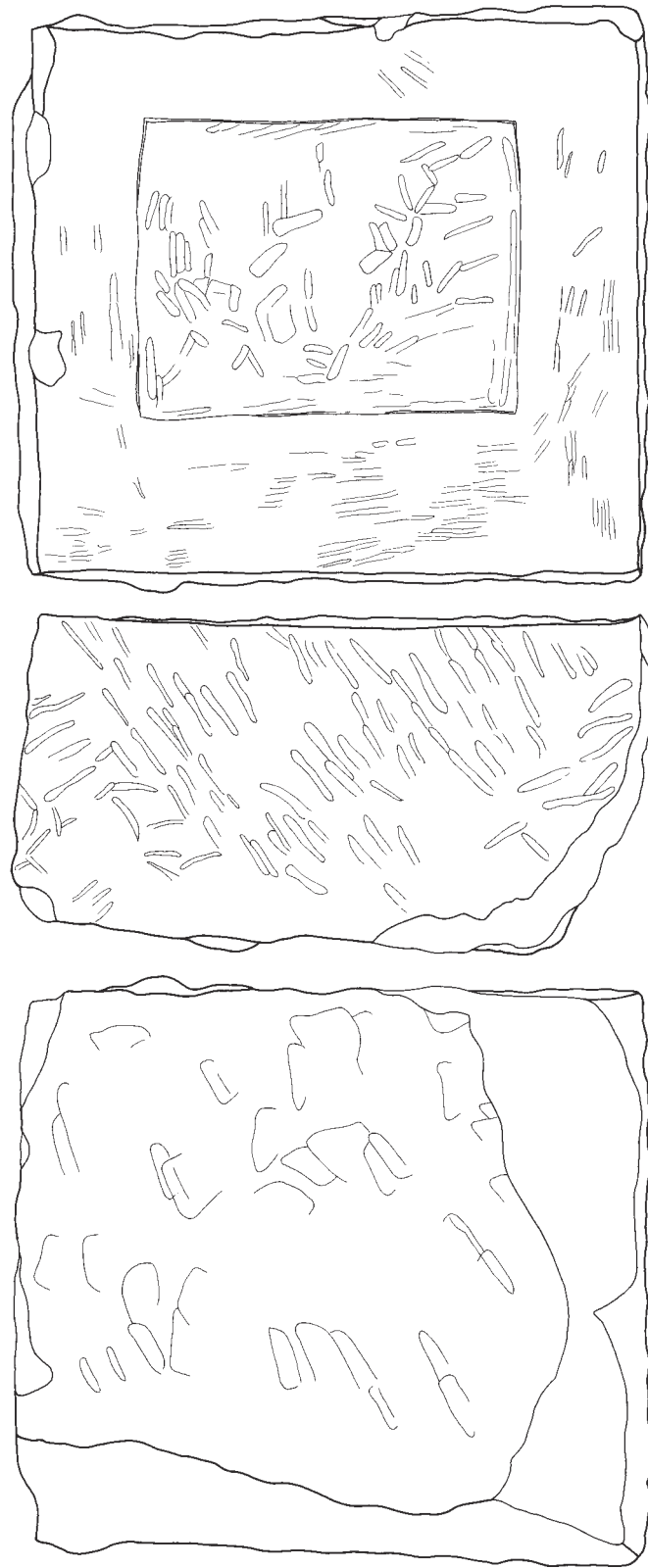
- |    |     |                           |    |     |                            |
|----|-----|---------------------------|----|-----|----------------------------|
| 38 | 黒褐色 | ローム粒子少量                   | 49 | 褐色  | ロームブロック多量 (粘性・縮まり強い)       |
| 39 | 暗褐色 | ローム粒子微量 (縮まり強い)           | 50 | 褐色  | ロームブロック中量 (縮まり強い)          |
| 40 | 黒褐色 | ローム粒子・炭化粒子微量 (縮まり強い)      | 51 | 暗褐色 | ローム粒子少量, 炭化粒子微量 (粘性強い)     |
| 41 | 褐色  | ローム粒子多量, 炭化物微量 (粘性・縮まり強い) | 52 | 暗褐色 | ロームブロック・焼土ブロック少量, 炭化ブロック微量 |
| 42 | 暗褐色 | ロームブロック少量, 炭化物微量 (縮まり強い)  | 53 | 褐色  | ロームブロック中量 (粘性・縮まり強い)       |
| 43 | 褐色  | ローム粒子多量 (縮まり強い)           | 54 | 暗褐色 | ローム粒子・黒色粒子少量               |
| 44 | 褐色  | ロームブロック中量 (粘性強い)          | 55 | 黒褐色 | ローム粒子中量                    |
| 45 | 褐色  | ローム粒子少量 (粘性強い)            | 56 | 黒褐色 | ロームブロック中量                  |
| 46 | 黒褐色 | ローム粒子微量 (縮まり強い)           | 57 | 暗褐色 | ロームブロック中量 (縮まり強い)          |
| 47 | 暗褐色 | ロームブロック少量, 黒色粒子微量 (縮まり強い) |    |     |                            |
| 48 | 褐色  | ロームブロック少量 (粘性・縮まり強い)      |    |     |                            |



第24図 第1号塚・出土遺物実測図



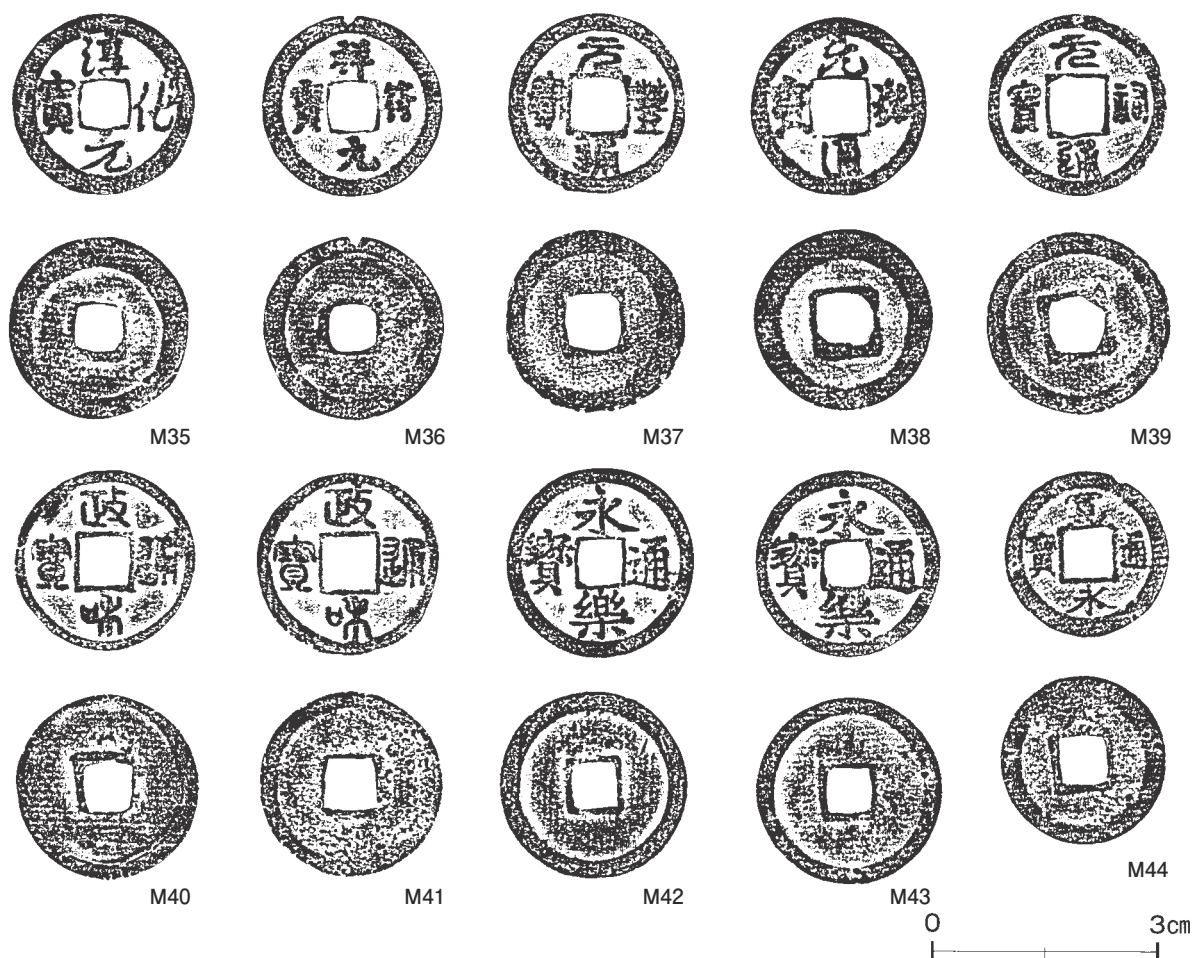
第 25 图 第 1 号塚出土遺物実測図 (1)



Q3  
基礎

0 10cm

第 26 図 第 1 号塚出土遺物実測図 (2)



第 27 図 第 1 号塚出土遺物実測図 (3)

**遺物出土状況** 陶器片 197 点 (小坏 1, 碗 15, 小碗 1, 天目茶碗 16, 蓋 1, 皿 3, 大皿 7, 灯明皿 2, 鉢 43, 播鉢 27, 片口鉢 1, 火鉢 5, 猪口 2, 香炉 2, 瓶 1, 甕 67, 急須 3), 磁器片 82 点 (碗 45, 小碗 1, 中碗 1, 蓋 3, 箱蓋 1, 皿 27, 鉢 1, 瓶 1, 德利 1, 急須 1), 土製品 7 点 (土玉 4, 管状土錘 1, さな 1, 不明 1), 石塔 1 基 (71.7kg), 金属製品 1 点 (煙管), 銭貨 10 点 (淳化元寶 1, 祥符元寶 1, 元豐通寶 1, 元祐通寶 2, 政和通寶 2, 永樂通寶 2, 寛永通寶 1), 瓦片 3 点, 粘土塊 4 点, 鉄滓 (156g), 炭化米 (1.517g) が出土している。11 は東側の法面中央部の表土から出土している。15 は南側の法面下部, 16 は法面中央部の表土から出土している。17 は北側法面上部の表土から出土している。9・12～14 は表土から出土している。Q 3 は石祠型で, 左側面に『施主清水村中 安永三甲午十一月八日 本願坂本与右衛門』, 右側面に『奉造立薬師石堂式宇』と刻文されている。頂部の表土を 3～5 cm 削り出し, 台座が固定されている。M 34・M 41～M 43 は表土から出土している。M 38・M 44 は構築土中から出土している。

**所見** 調査の結果, 周知の遺構であった第 7 号墳は, 古墳時代の造営ではなく, 後世の塚であったことが判明した。時期は石塔の刻文から, 18 世紀後半に比定できる。刻文には安永 3 年 (1774) に坂本与右衛門の願いにより, 清水村で薬師石堂 1 基を造立したことが記されている。薬師石堂であることから, 病気平癒等を祈願した民間信仰の場であったと考えられる。塚の表土から陶器や磁器, 銭貨などが出土していることから, 祭事が行われたと想定される。また, 石塔は立てた石堂の傍らにあるのが通例だが, 塚周辺に石堂はなく, 壊れたのか持ち去られたのかは不明である。

第1号塚出土遺物観察表（第24～27図）

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土・色調	文様・特徴	釉薬	産地	出土位置	備考
9	陶器	小杯	[4.9]	2.5	2.9	長石 灰黄	ロクロ成形	灰釉	瀬戸・美濃	第1号塚表土	50% PL5
10	陶器	小碗	[5.9]	3.6	3.0	長石 灰白	ロクロ成形	灰釉	瀬戸・美濃	第1号塚表土	40%
11	陶器	灯明皿	8.0	1.7	3.4	長石 明褐	ロクロ成形	鉄釉	瀬戸・美濃	第1号塚表土	90% 油煙付着 PL5
12	陶器	瓶	-	(5.4)	7.6	緻密・赤色粒子黒	ロクロ成形	鉄釉	瀬戸・美濃	第1号塚表土	20%
13	磁器	小碗	8.0	4.8	3.7	緻密 灰白	桜花文	透明釉	瀬戸・美濃	第1号塚表土	80% PL5
14	磁器	中碗	[9.7]	5.0	3.6	緻密 明緑灰	草花文	透明釉	肥前系	第1号塚表土	70% PL5 くらわんか碗
15	磁器	鉢	[20.2]	6.8	[10.5]	緻密 明緑灰	草花文 山水文	透明釉	肥前系	第1号塚表土	40% PL5 蛇の目凹形高台
16	磁器	箱蓋	10.7	3.5	-	緻密 灰白	山水文	透明釉	瀬戸・美濃	第1号塚表土	40% PL5
17	磁器	急須	5.6	6.7	6.5	緻密 灰白	花文	透明釉	瀬戸・美濃	第1号塚表土	横手形 PL5

番号	器種	塔身			基礎			重量 (kg)	材質	特徴	出土位置	備考
		高さ	幅	厚さ	長さ	幅	厚さ					
Q3	石塔	52.3	24.4	15.1	31.9	34.6	18.3	71.7	安山岩	右側面「奉造立薬師石堂式字」 左側面「施主清水村中 安永三甲午十一月八日 本願坂本与右衛門」	頂部	石祠型 PL7

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
M34	煙管	5.0	1.1	1.1	7.10	銅	外部緑青 吸口部のみ 孔径0.4～0.8cm	第1号塚表土	

番号	銭名	径 (mm)	孔径 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	初鑄年	材質	特徴	出土位置	備考
M35	淳化元寶	23.05	5.52	1.11	3.15	990	銅	行書	第1号塚表土	PL11
M36	祥符元寶	24.38	7.03	1.33	(3.35)	1008	銅	行書 欠け	第1号塚表土	PL11
M37	元豊通寶	23.98	6.12	1.12	3.04	1078	銅	行書 模鑄銭	第1号塚表土	PL11
M38	元祐通寶	24.02	6.12	1.15	3.26	1086	銅	行書 模鑄銭	構築土中	PL11
M39	元祐通寶	24.02	7.02	1.13	3.26	1086	銅	行書	第1号塚表土	PL11
M40	政和通寶	24.24	6.42	1.34	3.76	1111	銅	篆書	第1号塚表土	PL11
M41	政和通寶	24.53	6.21	1.11	3.38	1111	銅	篆書	第1号塚表土	PL11
M42	永樂通寶	25.01	5.82	1.52	3.81	1408	銅	真書	第1号塚表土	PL11
M43	永樂通寶	24.93	5.93	1.09	3.40	1408	銅	行書	第1号塚表土	PL11
M44	寛永通寶	22.21	5.83	0.92	2.08	1636	銅	真書	構築土中	PL11

(2) 土坑

第59号土坑（第28図）

**位置** 調査区北東部のC4g2区、標高28mの台地平坦部に位置している。

**規模と形状** 長径1.56m、短径1.42mの楕円形で、長径方向はN-31°-Wである。深さ90cmで、底面は皿状であり、壁は外傾して立ち上がっている。

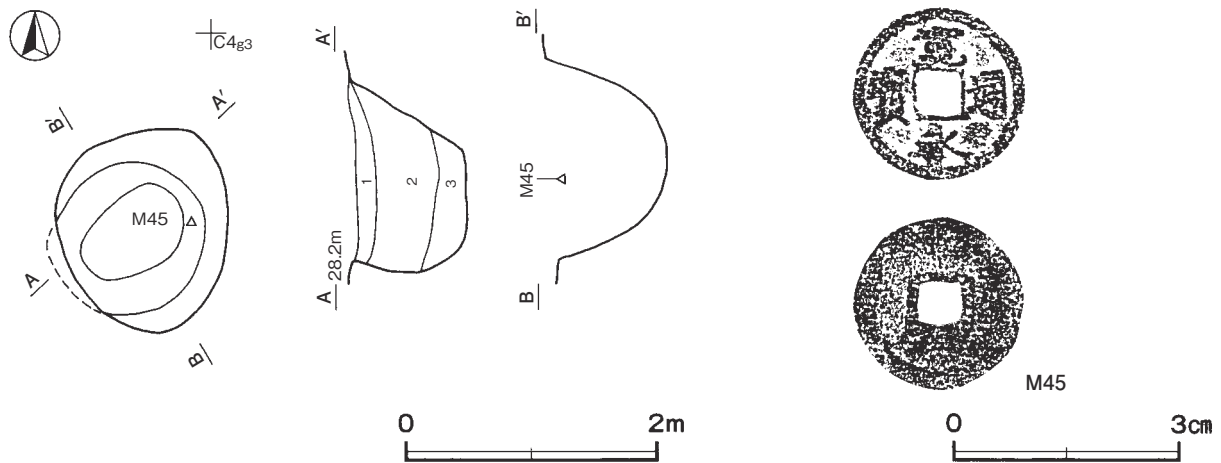
**土層解説**

- 1 灰褐色 ロームブロック中量
- 2 褐色 ロームブロック多量
- 3 褐色 ロームブロック少量

**覆土** 3層に分層できる。ロームブロックが含まれていることから、埋め戻されている。

**遺物出土状況** 銭貨1点（寛永通寶）が、東部の覆土上層から出土している。

**所見** 時期は、出土遺物から17世紀前葉以降と考えられる。側壁抉り土坑で、性格は不明である。



第28図 第59号土坑・出土遺物実測図

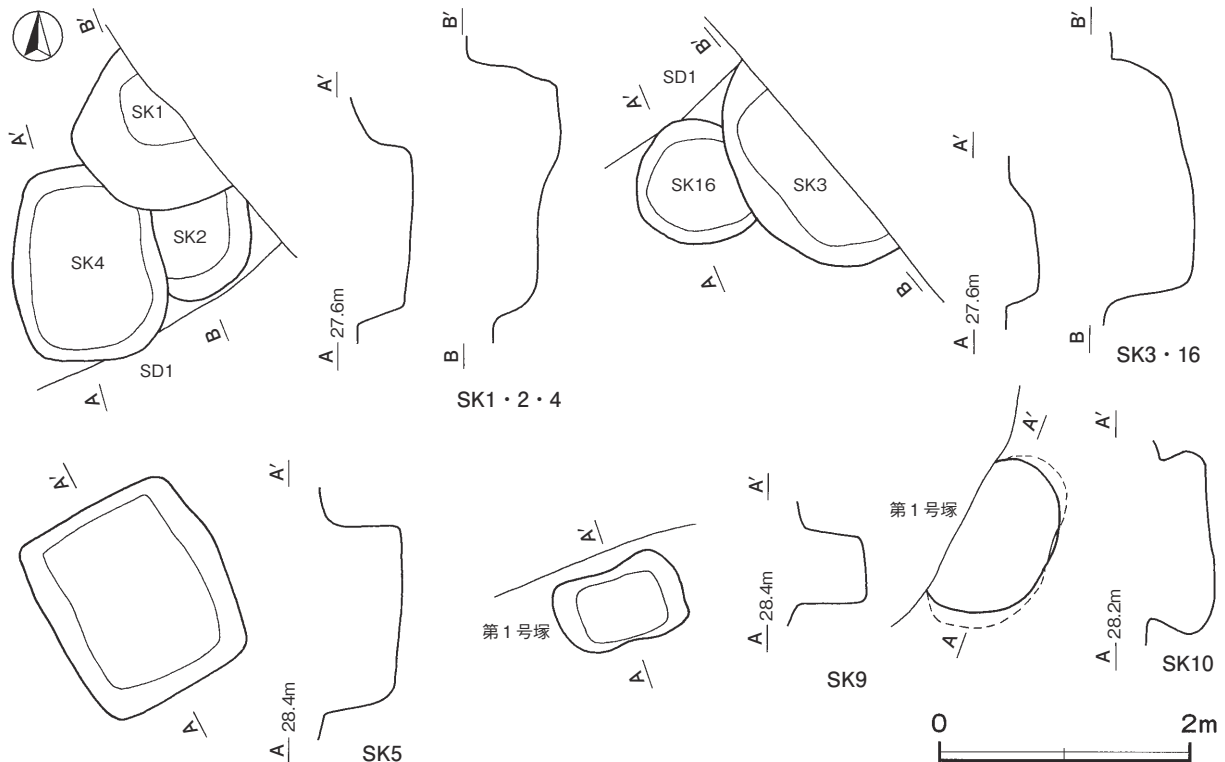
第59号土坑出土遺物観察表（第28図）

番号	銭名	径(mm)	孔径(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	初鑄年	材質	特徴	出土位置	備考
M45	寛永通寶	22.05	5.74	0.92	2.05	1636	銅	真書 古寛永 水戸銭 <sub>7</sub>	覆土上層	

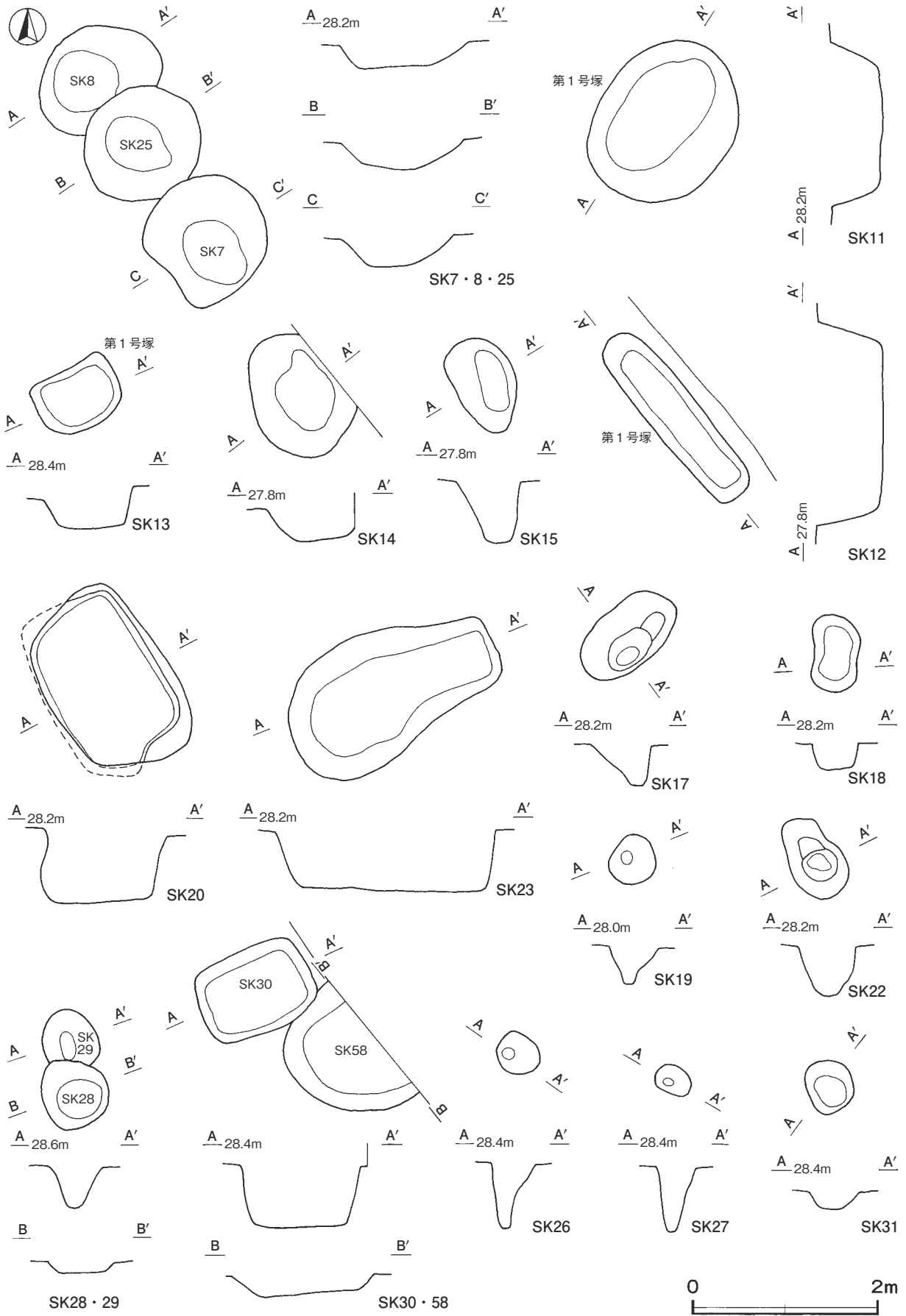
#### 4 その他の遺構と遺物

今回の調査で、時期が明らかでない土坑90基、溝跡4条、ピット群3か所を確認した。以下、遺構について記載する。

##### (1) 土坑（第29～33図）

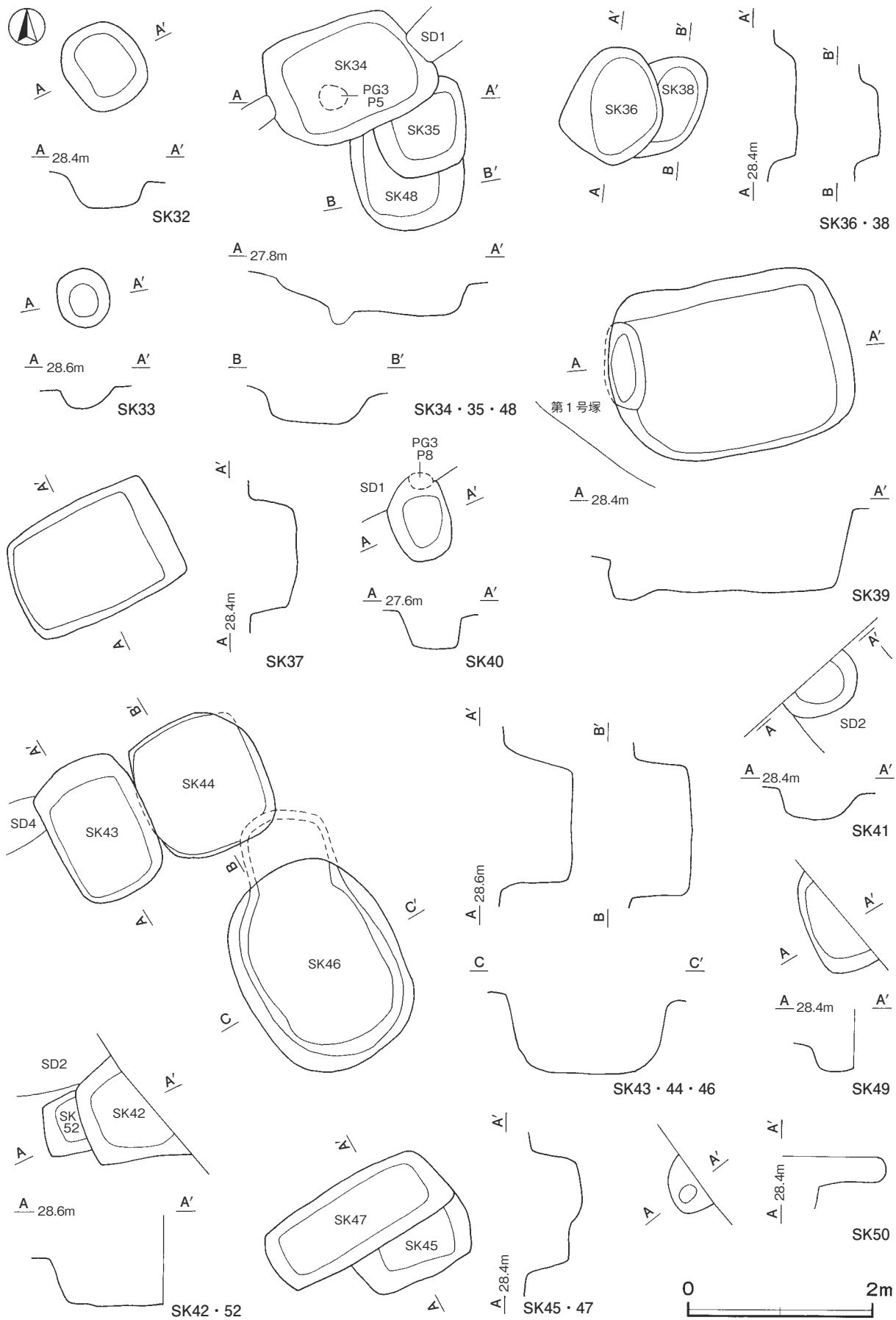


第29図 その他の土坑実測図(1)

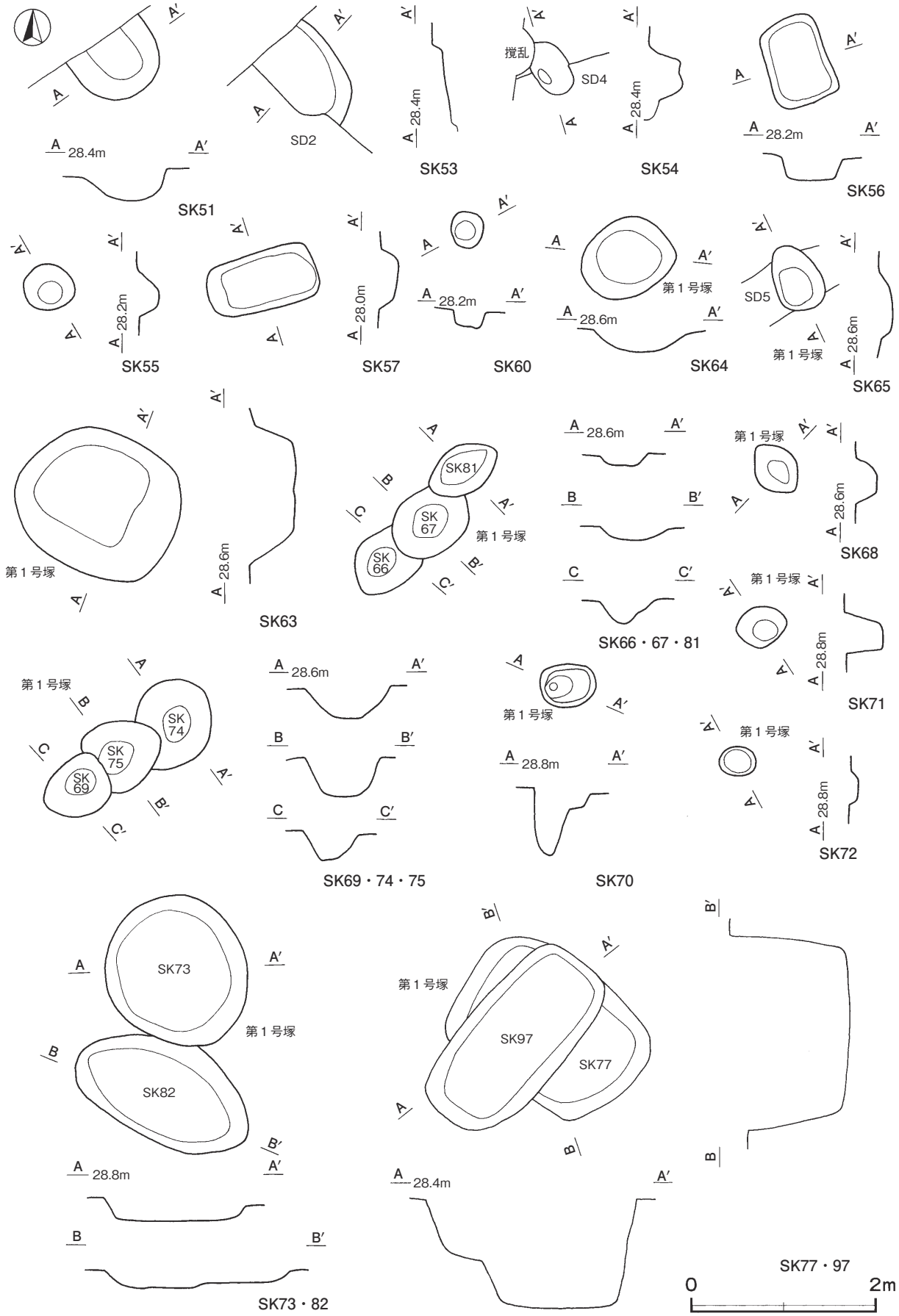


第30図 その他の土坑実測図(2)

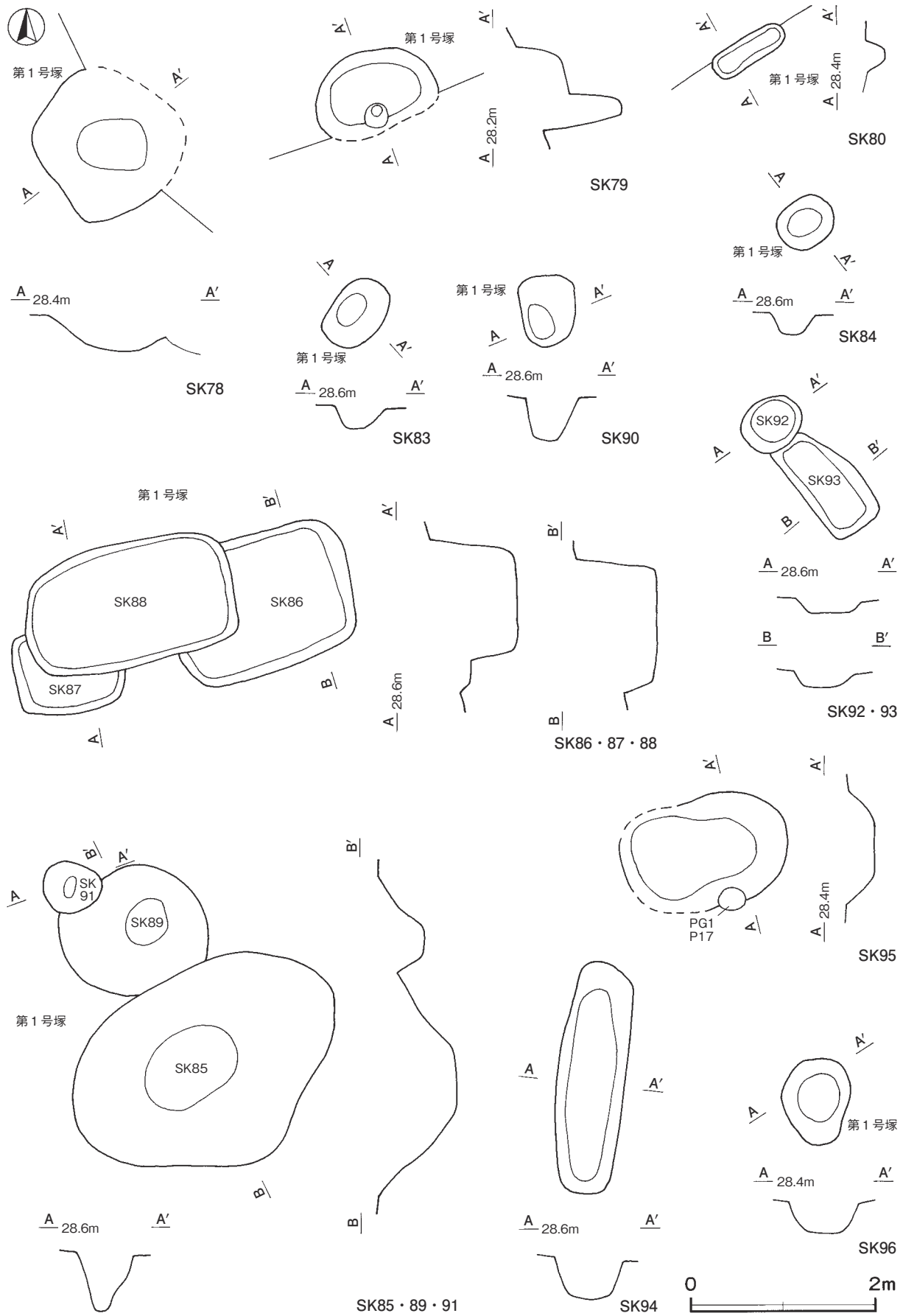




第31図 その他の土坑実測図(3)



第 32 図 その他の土坑実測図 (4)



第33図 その他の土坑実測図(5)

表3 その他の土坑一覧表

番号	位置	長径方向	平面形	規 模		底 面	壁 面	覆 土	主な出土遺物	備 考
				長径×短径 (m)	深さ (cm)					
1	C 4 i6	-	[円形・楕円形]	1.40 × (0.84)	70	平坦	外傾 緩斜	人為		SK 2・4 → 本跡
2	C 4 i6	-	[円形・楕円形]	(0.77) × (0.75)	38	平坦	緩斜	人為		本跡 → SK 1・4
3	C 4 i6	-	[円形・楕円形]	1.93 × (0.76)	62	平坦	緩斜	人為		SK16 → 本跡
4	C 4 i5	N - 5° - W	隅丸長方形	1.54 × 1.19	39	平坦	直立 外傾	人為		SK 2, SD 1 → 本跡 → SK 1
5	C 4 f3	N - 23° - W	方形	1.62 × 1.48	60	平坦	直立 外傾	人為		
7	D 4 a3	N - 32° - W	隅丸方形	1.30 × 1.28	32	傾斜	緩斜	人為		SK25 → 本跡
8	D 4 a3	N - 63° - E	[楕円形]	1.42 × (0.83)	24	傾斜	緩斜	人為		本跡 → SK25
9	C 3 e0	N - 74° - E	隅丸長方形	1.02 × 0.65	55	平坦	直立 外傾	人為		塚1 → 本跡
10	C 4 i3	N - 30° - E	[楕円形]	1.51 × (0.78)	51	平坦	フラスコ状	人為		本跡 → 塚1
11	C 4 h2	N - 35° - E	楕円形	1.84 × 1.45	55	平坦	緩斜	人為		塚1 → 本跡
12	C 4 h2	N - 39° - W	長方形	2.19 × 0.54	72	平坦	外傾	人為		本跡 → 塚1
13	C 3 f7	N - 64° - E	隅丸長方形	0.95 × 0.65	47	平坦	外傾 緩斜	人為		塚1 → 本跡
14	C 4 h5	-	[円形・楕円形]	1.38 × (0.95)	20	平坦	緩斜	人為		
15	C 4 j6	N - 31° - W	不整楕円形	1.05 × 0.66	63	平坦	直立 緩斜	人為		
16	C 4 i6	-	[円形・楕円形]	1.00 × (0.80)	22	平坦	外傾 緩斜	人為		SD 1 → 本跡 → SK 3
17	C 4 i3	N - 50° - E	楕円形	1.18 × 0.65	44	鍋底状	外傾 緩斜	人為		
18	C 4 i3	N - 5° - E	不整楕円形	0.84 × 0.47	27	平坦	外傾	人為		
19	C 4 j4	-	円形	0.53 × 0.50	39	鍋底状	外傾 緩斜	人為		
20	C 4 i2	N - 32° - W	不整長方形	2.05 × 1.30	72	傾斜	外傾	人為		
22	C 4 j3	N - 28° - W	不整楕円形	0.94 × 0.45	50	皿状	緩斜	人為		
23	C 4 h3	N - 67° - E	楕円形	2.46 × 1.34	60	平坦	外傾 緩斜	自然		
25	D 4 a3	N - 46° - E	楕円形	1.35 × 1.21	32	皿状	緩斜	人為		SK 8 → 本跡 → SK 7
26	C 4 f1	N - 9° - E	楕円形	0.46 × 0.41	61	鍋底状	直立 外傾	人為		
27	C 4 f1	N - 61° - W	楕円形	0.39 × 0.29	69	鍋底状	外傾	人為		
28	C 3 d9	-	円形	0.77 × 0.72	10	平坦	緩斜	人為		SK29 → 本跡
29	C 3 d9	N - 31° - W	楕円形	0.65 × 0.59	42	平坦	外傾	人為		本跡 → SK28
30	C 4 e2	N - 66° - E	長方形	1.28 × 0.92	67	平坦	外傾	人為		SK58 → 本跡
31	C 4 e2	N - 27° - W	楕円形	0.56 × 0.49	17	皿状	緩斜	人為		
32	C 3 i8	N - 27° - W	楕円形	0.94 × 0.85	32	平坦	外傾 緩斜	人為		
33	C 3 i6	N - 10° - W	楕円形	0.65 × 0.57	20	皿状	外傾 緩斜	人為		
34	C 4 j5	N - 68° - E	隅丸長方形	1.64 × 1.24	35	平坦	外傾	人為		SK35・48 → 本跡 → SD 1 PG 3 新旧不明
35	C 4 j5	N - 65° - W	方形	1.00 × 0.97	30	平坦	外傾	人為		SK48 → 本跡 → SK34
36	C 4 e2	N - 5° - E	楕円形	1.27 × 1.08	23	平坦	外傾	人為		SK38 → 本跡
37	C 3 d0	N - 71° - E	長方形	1.80 × 1.28	48	平坦	外傾	人為		
38	C 4 e2	N - 21° - E	[楕円形]	1.18 × (0.70)	26	平坦	外傾 緩斜	人為		本跡 → SK36
39	C 3 i9	N - 79° - E	隅丸長方形	2.65 × 1.89	88	平坦	外傾	人為		本跡 → 塚1
40	C 4 j5	N - 20° - W	[楕円形]	[0.91] × 0.66	34	平坦	外傾 緩斜	人為		本跡 → SD 1 PG 3 新旧不明
41	C 3 c0	-	[円形・楕円形]	0.87 × (0.46)	33	皿状	緩斜	自然		SD 2 → 本跡
42	C 4 d2	N - 73° - E	[方形・長方形]	1.16 × (0.75)	50	平坦	外傾	人為		SD 2, SK52 → 本跡
43	C 3 i6	N - 32° - W	長方形	1.55 × 1.04	75	平坦	直立 外傾	人為		SD 4 → 本跡 → SK44
44	C 3 i7	N - 28° - W	方形	1.50 × 1.37	63	平坦	直立	人為		SK43 → 本跡 → SK46
45	C 4 d1	N - 59° - E	[方形・長方形]	1.42 × (0.57)	45	平坦	外傾	人為		本跡 → SK47
46	C 3 i7	N - 20° - W	楕円形	2.25 × 1.75	78	平坦	外傾	人為		SK44 → 本跡
47	C 4 d1	N - 60° - E	長方形	2.03 × 0.83	57	平坦	外傾	人為		SK45 → 本跡
48	C 4 j5	N - 10° - W	[隅丸長方形]	1.18 × (1.08)	30	平坦	外傾 緩斜	人為		本跡 → SK34・35
49	C 4 f4	-	[隅丸方形・隅丸長方形]	1.18 × (0.48)	28	平坦	外傾	人為		
50	C 4 f3	-	[円形・楕円形]	0.65 × (0.35)	75	平坦	直立	人為		
51	C 3 d8	N - 37° - W	[楕円形]	(0.71) × 0.95	30	平坦	緩斜	人為		
52	C 4 d1	-	[方形・長方形]	0.62 × (0.41)	48	平坦	外傾	人為		本跡 → SK42
53	C 3 c0	-	[円形・楕円形]	(1.13) × (0.55)	13	平坦	外傾	人為		本跡 → SD 2
54	C 3 i6	N - 19° - W	楕円形	0.62 × 0.39	38	凸凹	外傾 緩斜	人為		本跡 → SD 4
55	C 4 h4	-	円形	0.53 × 0.50	22	平坦	外傾 緩斜	人為		
56	C 4 h4	N - 21° - W	長方形	0.95 × 0.68	23	平坦	外傾	人為		
57	C 4 h4	N - 73° - E	長方形	1.22 × 0.63	17	平坦	外傾 緩斜	人為		
58	C 4 e2	-	[円形・楕円形]	1.54 × (0.93)	22	平坦	緩斜	人為		本跡 → SK30
60	C 4 g3	N - 30° - W	楕円形	0.40 × 0.36	17	皿状	外傾	人為		

番号	位置	長径方向	平面形	規 模		底 面	壁 面	覆 土	主な出土遺物	備 考
				長径×短径 (m)	深さ (cm)					
63	C3g7	N-59°-W	隅丸長方形	1.76 × 1.54	50	平坦	緩斜	人為		塚1→本跡
64	C3f7	N-50°-E	隅丸長方形	0.98 × 0.84	23	皿状	緩斜	人為		塚1→本跡
65	C3f6	N-35°-W	楕円形	0.72 × 0.53	14	皿状	緩斜	人為		塚1,SD5→本跡
66	C3h8	N-52°-E	[楕円形]	(0.55) × 0.55	26	鍋底状	緩斜	人為		本跡→塚1,SK67
67	C3h8	N-52°-E	楕円形	0.91 × 0.69	16	皿状	緩斜	人為		SK66→本跡→塚1,SK81
68	C3i8	N-43°-W	楕円形	0.60 × 0.48	21	皿状	緩斜	人為		本跡→塚1
69	C3i9	N-55°-E	不整形	0.73 × 0.60	30	鍋底状	緩斜	人為		SK75→本跡→塚1
70	C4h1	N-64°-E	楕円形	0.62 × 0.52	74	鍋底状	外傾	人為		本跡→塚1
71	C4h1	N-76°-E	楕円形	0.56 × 0.44	42	平坦	外傾	人為		本跡→塚1
72	C3h0	N-86°-E	楕円形	0.40 × 0.31	9	平坦	外傾	人為		本跡→塚1
73	C4g1	N-19°-W	楕円形	1.67 × 1.51	22	平坦	緩斜	人為		SK82→本跡→塚1
74	C3i9	N-23°-E	楕円形	1.04 × 0.83	34	皿状	緩斜	人為		本跡→塚1,SK75
75	C3i9	N-55°-E	[楕円形]	(0.75) × 0.74	41	皿状	外傾 緩斜	人為		SK74→本跡→塚1,SK69
77	C4i1	N-50°-W	隅丸長方形	2.12 × 1.60	130	平坦	直立 外傾	人為		本跡→塚1,SK97
78	C3e0	N-32°-W	[楕円形]	1.56 × [1.40]	52	皿状	緩斜	人為		本跡→塚1
79	C4i1	N-81°-E	楕円形	1.35 × 0.90	53	皿状	外傾	人為		本跡→塚1
80	C3f7	N-59°-E	長方形	0.85 × 0.28	15	皿状	緩斜	人為		塚1→本跡
81	C3h8	N-57°-E	楕円形	0.80 × 0.51	14	皿状	緩斜	人為	土師器	SK67→本跡→塚1
82	C4h1	N-63°-W	楕円形	2.00 × 1.11	18	凸凹	緩斜	人為		本跡→塚1,SK73
83	C3f0	N-43°-E	楕円形	0.82 × 0.54	26	皿状	外傾 緩斜	人為		本跡→塚1
84	C4g1	N-50°-E	楕円形	0.63 × 0.51	22	皿状	外傾 緩斜	人為		本跡→塚1
85	C3g9	N-61°-E	不整楕円形	3.10 × 2.20	62	皿状	緩斜	人為		SK89→本跡→塚1
86	C3i0	N-72°-E	長方形	1.98 × 1.48	85	平坦	外傾	人為		本跡→塚1,SK88
87	C3j9	N-81°-E	長方形	1.17 × 0.86	45	平坦	緩斜	人為		本跡→塚1,SK88
88	C3i9	N-77°-E	長方形	2.30 × 1.31	93	平坦	直立	人為		本跡→塚1,SK86-87
89	C3g9	N-80°-E	[楕円形]	1.58 × (1.33)	46	皿状	外傾	人為		本跡→塚1,SK85-91
90	C3g9	N-0°	隅丸長方形	0.76 × 0.59	45	平坦	直立	人為		本跡→塚1
91	C3g9	-	円形	0.62 × 0.57	60	平坦	外傾	人為		SK89→本跡→塚1
92	C3h6	N-55°-E	楕円形	0.68 × 0.55	18	皿状	緩斜	人為		SK93→本跡
93	C3h6	N-40°-W	長方形	(1.20) × 0.63	19	平坦	外傾 緩斜	人為		本跡→SK92
94	C3g6	N-7°-E	隅丸長方形	2.54 × 0.75	45	平坦	外傾	人為		
95	C3h5	N-71°-E	不整形	1.80 × 1.22	34	平坦	緩斜	人為		本跡→PG1
96	C3f9	N-6°-W	楕円形	0.94 × 0.69	33	平坦	緩斜	人為		本跡→塚1
97	C3i0	N-40°-E	隅丸長方形	2.22 × 1.04	65	平坦	外傾	人為		SK77→本跡→塚1

## (2) 溝跡

### 第1号溝跡 (第34図・付図)

**位置** 調査区東部のC4i6～C4j4区、標高28mほどの台地平坦部に位置している。

**重複関係** 第34・40号土坑を掘り込み、第4・16号土坑に掘り込まれている。第3号ピット群とも重複しているが、新旧関係は不明である。

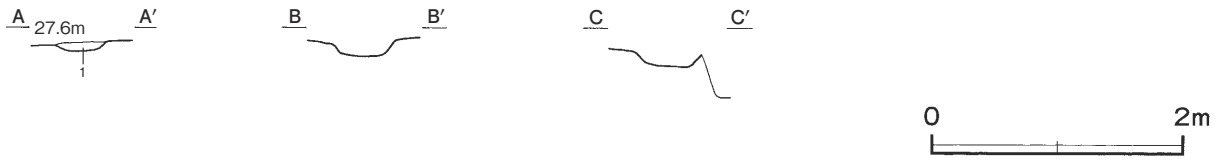
**規模と形状** 北東端部が調査区域外に延びているため、確認できた長さは7.37mである。C4j4区から北東方向(N-60°-E)へ直線的に延びている。規模は上幅0.34～0.57m、下幅0.08～0.32m、深さ10～34cmである。断面はU字状で、壁は外傾して立ち上がっている。底面の南西端部と北東端部の比高は21cmで、南西側に向かって低くなっている。

**覆土** 単一層である。ロームブロックが含まれていることから、埋め戻されている。

#### 土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量

**所見** 時期および性格は不明である。



第34図 第1号溝跡実測図

**第2号溝跡** (第35図・付図)

**位置** 調査区北端部のC 3c0～C 4d1区、標高28mほどの台地平坦部に位置している。

**重複関係** 第53号土坑を掘り込み、第41・42号土坑に掘り込まれている。

**規模と形状** 北西端部および北東端部が調査区域外に延びているため、確認できた長さは6.29mである。

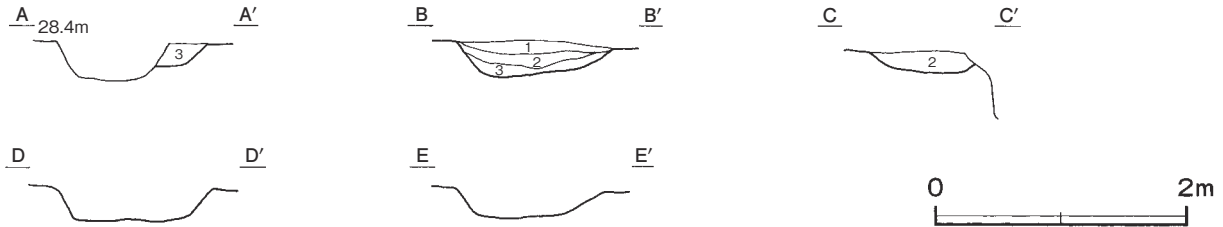
C 3c0区から南東方向(N-150°-E)に曲線状に延びている。規模は上幅0.70～1.20m, 下幅0.60～1.05m, 深さ14～26cmである。断面はU字状で、壁は外傾して立ち上がっている。底面の北西端部と北東端部の比高は4cmで、ほぼ平坦である。

**覆土** 3層に分層できる。各層にロームブロックが含まれていることから、埋め戻されている。

**土層解説**

- 1 暗褐色 ロームブロック少量
- 2 暗褐色 ロームブロック中量
- 3 褐色 ロームブロック多量

**所見** 時期および性格は不明である。

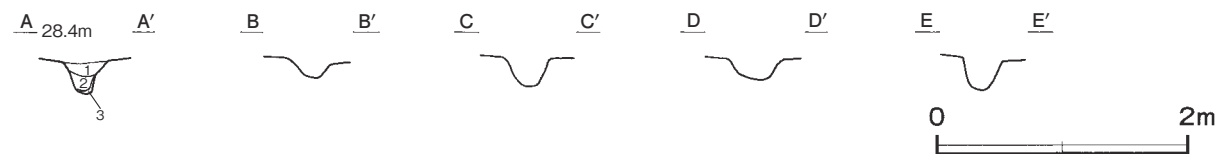


第35図 第2号溝跡実測図

**第3号溝跡** (第36図・付図)

**位置** 調査区北部のC 4d2～C 4e1区、標高28mほどの台地平坦部に位置している。

**規模と形状** 長さは5.43mで、C 4e1区から北東方向(N-64°-E)に直線的に延びている。規模は上幅0.18～0.35m, 下幅0.10～0.20m, 深さ11～28cmである。断面はU字状で、壁は外傾して立ち上がっている。底面の北西端部と北東端部との比高は17cmで、北東側に向かって低くなっている。



第36図 第3号溝跡実測図

**覆土** 3層に分層できる。各層にロームブロックが含まれていることから、埋め戻されている。

**土層解説**

- 1 暗褐色 ロームブロック多量
- 2 暗褐色 ロームブロック中量
- 3 暗褐色 ロームブロック少量

**所見** 時期および性格は不明である。

**第4号溝跡 (第37図・付図)**

**位置** 調査区西部のC3i6区、標高28mほどの台地平坦部に位置している。

**重複関係** 第54号土坑を掘り込み、第43号土坑に掘り込まれている。

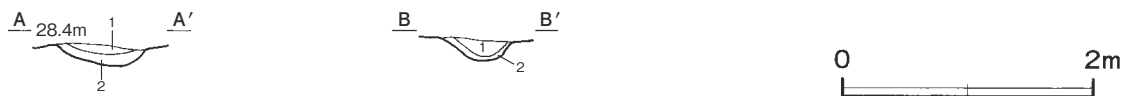
**規模と形状** 南西端部が調査区域外に延びているため、確認できた長さは3.20mである。C3i6区から北東方向(N-67°-E)に直線的に延びている。規模は上幅0.42~0.63m、下幅0.19~0.24m、深さ18~20cmである。断面はU字状で、壁は緩やかに傾斜して立ち上がっている。底面の南西端部と北東端部の比高は2cmで、ほぼ平坦である。

**覆土** 2層に分層できる。両層にロームブロックが含まれていることから、埋め戻されている。

**土層解説**

- 1 褐色 ロームブロック少量
- 2 暗褐色 ロームブロック中量

**所見** 時期および性格は不明である。



**第37図** 第4号溝跡実測図

**表4** その他の溝跡一覧表

番号	位置	方向	平面形	規模				断面	壁面	覆土	主な出土遺物	備考
				長さ(m)	上幅(m)	下幅(m)	深さ(cm)					
1	C4i6~C4j4	N-60°-E	直線状	7.37	0.34~0.57	0.08~0.32	10~34	U字状	外傾	人為		SK34・40→本跡→SK4・16 PG3新田不明
2	C3c0~C4d1	N-40°-E	弧状	6.29	0.70~1.20	0.60~1.05	14~26	U字状	外傾	人為		SK53→本跡→SK41・42
3	C4d2~C4e1	N-64°-E	直線状	5.43	0.18~0.35	0.10~0.20	11~28	U字状	外傾	人為		
4	C3i6	N-67°-E	直線状	3.20	0.42~0.63	0.19~0.24	18~20	U字状	外傾	人為		SK54→本跡→SK43

(3) ピット群

今回の調査で時期や性格ともに不明のピット群3か所を確認した。北部、西部、南東部にそれぞれ分布している。各ピットの配置や規模、形状から建物跡を想定することはできない。以下、遺構について記述する。

**第1号ピット群 (第38図)**

**位置** 調査区北部のC3d0~C3h5区、標高28mほどの台地平坦部に位置している。

**重複関係** 第95号土坑を掘り込んでいる。

**規模と形状** 東西 20 m, 南北 16 mほどの範囲にピット 17 基を確認した。形状は長径 16 ~ 56cm, 短径 14 ~ 44cmの円形または楕円形で, 深さは 4 ~ 64cmである。

**所見** 時期および性格は不明である。



第 38 図 第 1 号ピット群実測図

第 1 号ピット群ピット計測表

ピット 番号	位置	形状	規 模 (cm)				ピット 番号	位置	形状	規 模 (cm)			
			長径	×	短径	深さ				長径	×	短径	深さ
1	C 3 d0	円形	37	×	36	13	10	C 3 e8	楕円形	39	×	35	40
2	C 3 d9	円形	25	×	24	10	11	C 3 f7	楕円形	49	×	32	38
3	C 3 d9	楕円形	16	×	14	4	12	C 3 e8	楕円形	21	×	19	50
4	C 3 f6	楕円形	31	×	23	57	13	C 3 e8	楕円形	20	×	16	54
5	C 3 e9	円形	21	×	20	18	14	C 3 e8	楕円形	17	×	14	64
6	C 3 e9	楕円形	36	×	30	22	15	C 3 e8	楕円形	17	×	15	51
7	D 3 d9	楕円形	56	×	44	41	16	C 3 g5	楕円形	31	×	24	18
8	D 3 d9	円形	43	×	43	11	17	C 3 h5	楕円形	30	×	24	14
9	D 3 d9	楕円形	49	×	43	30							

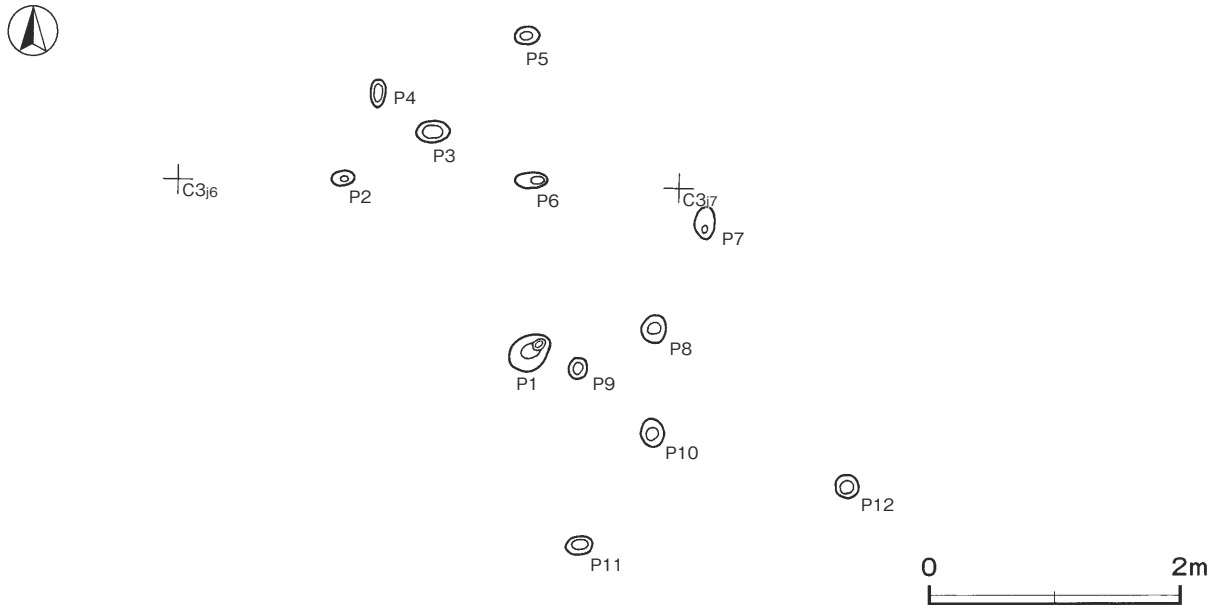


**第2号ピット群 (第39図)**

**位置** 調査区西部のC3i6～C3j7区、標高28mほどの台地平坦部に位置している。

**規模と形状** 東西・南北とも5mほどの範囲にピット12基を確認した。形状は長径16～38cm、短径11～29cmの円形または楕円形で、深さは11～40cmである。

**所見** 時期および性格は不明である。



**第39図** 第2号ピット群実測図

第2号ピット群ピット計測表

ピット番号	位置	形状	規模 (cm)			ピット番号	位置	形状	規模 (cm)				
			長径	×	短径				深さ	長径	×	短径	深さ
1	C3j6	楕円形	38	×	29	32	7	C3j7	楕円形	25	×	16	24
2	C3i6	楕円形	16	×	11	33	8	C3j6	円形	21	×	21	26
3	C3i6	楕円形	25	×	18	40	9	C3j6	円形	16	×	16	29
4	C3i6	楕円形	22	×	13	32	10	C3j6	円形	22	×	21	36
5	C3i6	楕円形	20	×	15	11	11	C3j6	楕円形	21	×	15	32
6	C3i6	楕円形	26	×	15	19	12	C3j7	円形	20	×	20	16

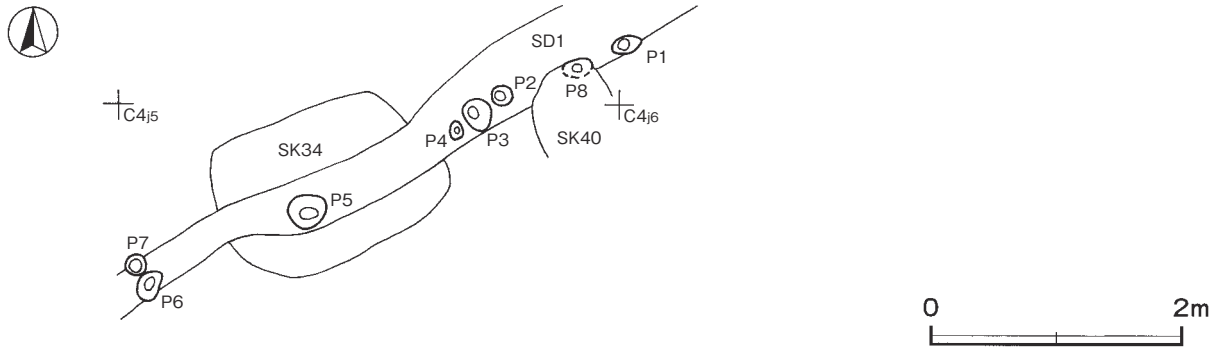
**第3号ピット群 (第40図)**

**位置** 調査区東部のC4i6～C4j5区、標高28mほどの台地平坦部に位置している。

**重複関係** 第34・40号土坑、第1号溝跡と重複しているが、新旧関係は不明である。

**規模と形状** 東西4m、南北2mほどの範囲にピット8基を確認した。形状は長径14～30cm、短径11～28cmの円形または楕円形で、深さは49～75cmである。

**所見** 時期および性格は不明である。



第40図 第3号ピット群実測図

第3号ピット群ピット計測表

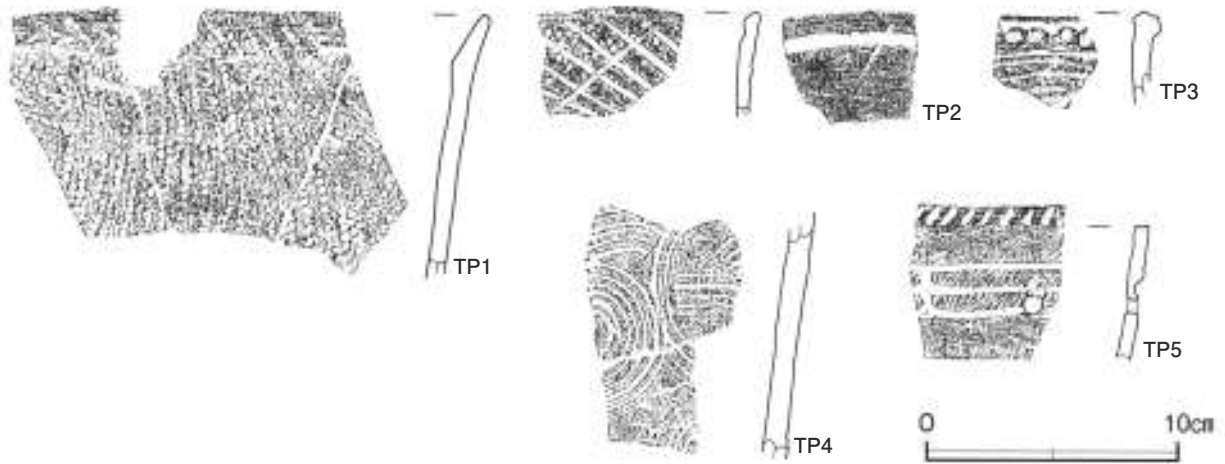
ピット番号	位置	形状	規模 (cm)			ピット番号	位置	形状	規模 (cm)				
			長径	×	短径				深さ	長径	×	短径	深さ
1	C 4 i 5	楕円形	23	×	14	60	5	C 4 j 5	円形	30	×	28	75
2	C 4 i 5	楕円形	17	×	15	63	6	C 4 j 5	楕円形	26	×	17	51
3	C 4 j 5	楕円形	26	×	22	63	7	C 4 j 5	楕円形	18	×	16	49
4	C 4 j 5	楕円形	14	×	11	55	8	C 4 i 5	楕円形	26	×	13	60

表5 その他のピット群一覧表

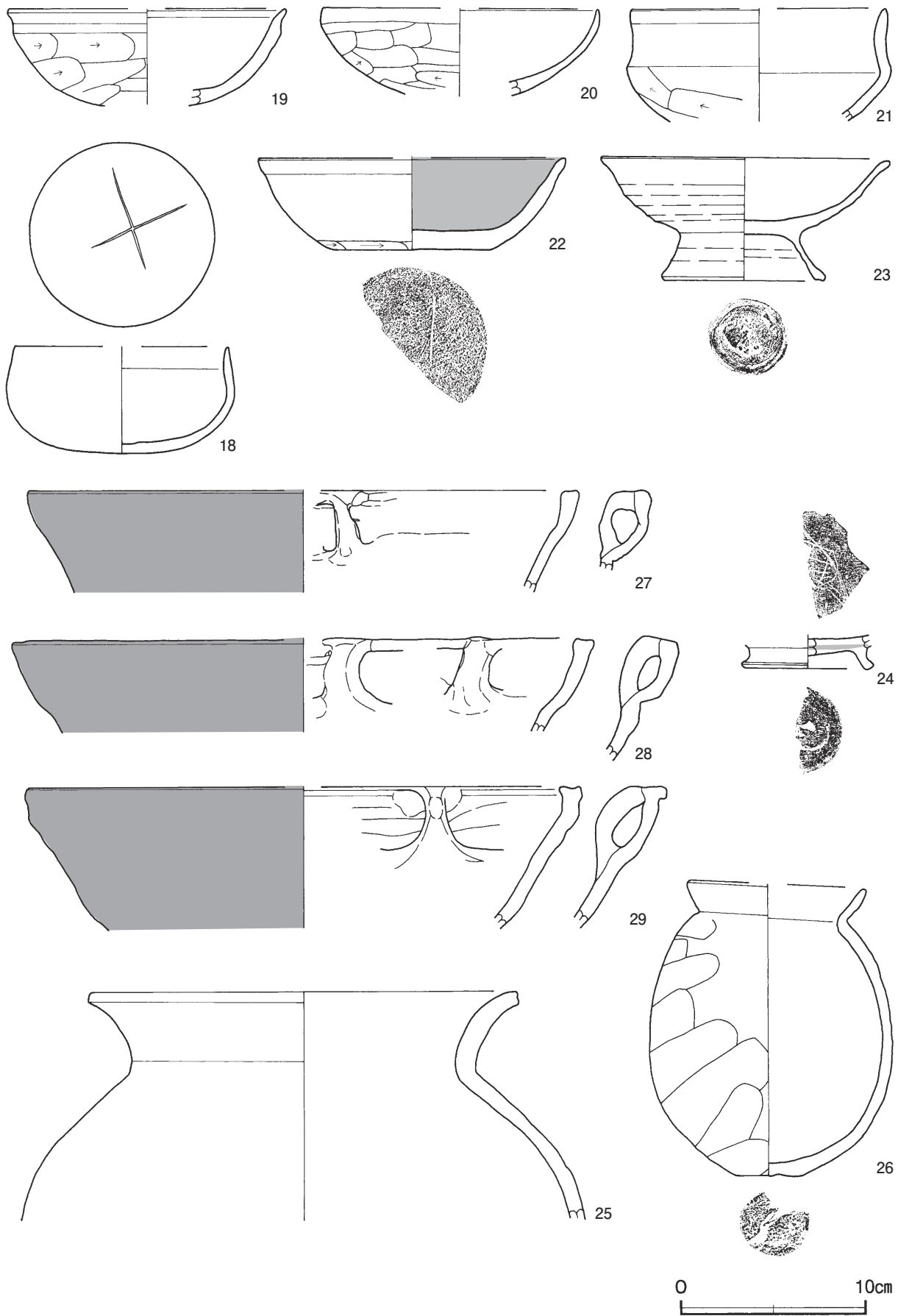
番号	位置	柱穴 (長さの単位はすべてcm)					主な出土遺物	時期	備考 重複関係 (古→新)
		柱穴数	平面形	長径	短径	深さ			
1	C 3 d 0 ~ C 3 h 5	17	円形・楕円形	16 ~ 56	14 ~ 44	4 ~ 64		不明	SK95 → 本跡
2	C 3 i 6 ~ C 3 j 7	12	円形・楕円形	16 ~ 38	11 ~ 29	11 ~ 40		不明	
3	C 4 i 6 ~ C 4 j 5	8	円形・楕円形	14 ~ 30	11 ~ 28	49 ~ 75		不明	SK34・40, SD 1 新旧不明

(4) 遺構外出土遺物 (第41 ~ 43 図)

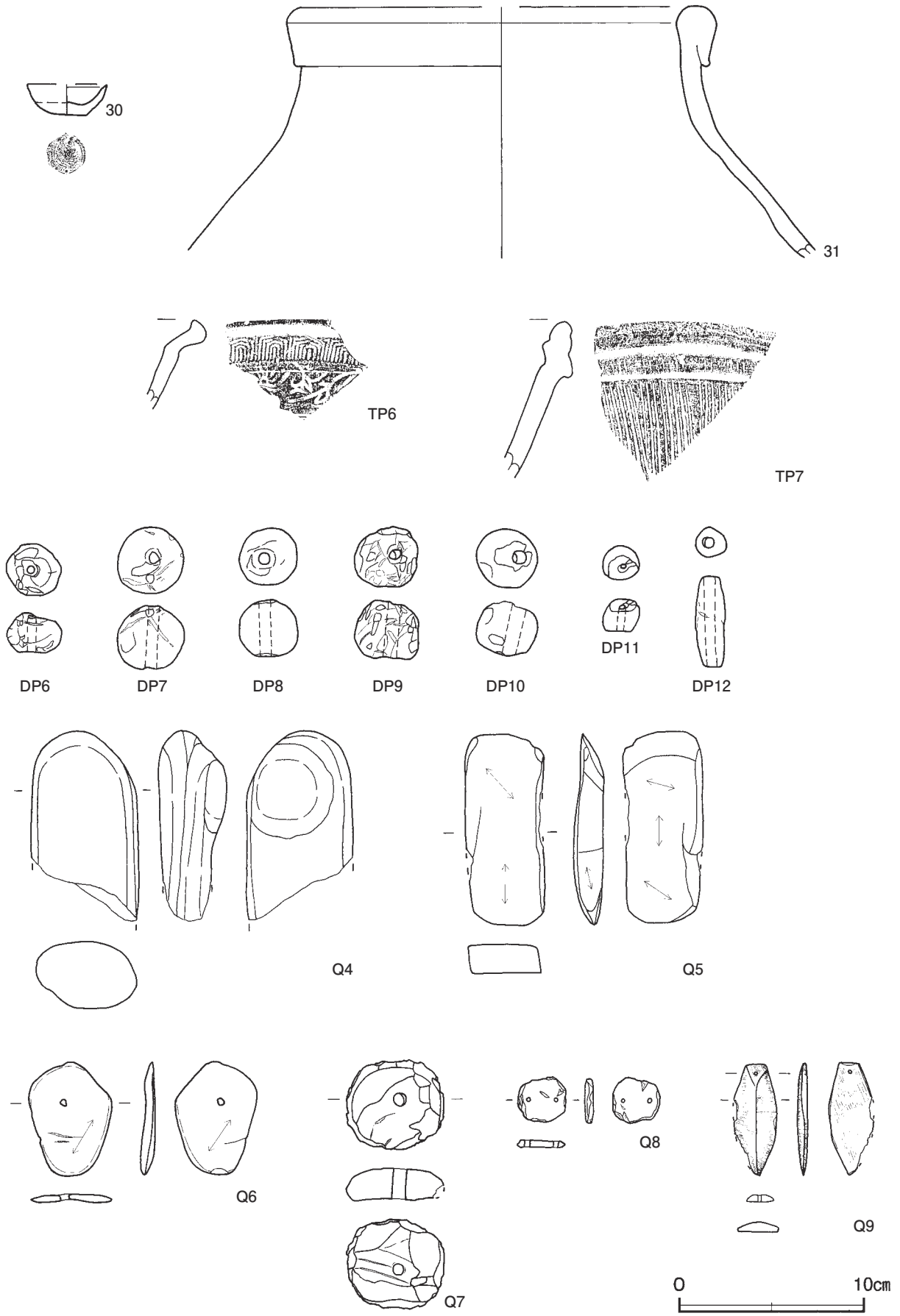
今回の調査で出土した遺構に伴わない遺物について、実測図と観察表を掲載する。



第41図 遺構外出土遺物実測図(1)



第42図 遺構外出土遺物実測図(2)



第 43 図 遺構外出土遺物実測図 (3)

遺構外出土遺物観察表（第41～43図）

番号	種別	器種	胎土	色調	文様の特徴ほか	出土位置	備考
TP 1	縄文土器	深鉢	長石・石英・雲母	にぶい褐	RL 縄文を巡らす	第1号塚	加曾利B 2式
TP 2	縄文土器	深鉢	長石・石英・雲母・赤色粒子	橙	単沈線を斜め方向に条線 内面口縁部に沈線1条	第1号塚	加曾利系
TP 3	縄文土器	深鉢	長石・石英・雲母・赤色粒子	褐灰	口縁部に押圧を施した隆帯	第1号塚	安行2式
TP 4	縄文土器	深鉢	長石・石英・雲母・赤色粒子	褐	沈線による連続渦巻文	第1号塚	堀之内1式 PL6
TP 5	縄文土器	深鉢	白色粒子・黒色粒子・金雲母	褐	口唇部にキザミ目 口縁部にLRの細縄文を帯状に巡らす 上縁と下縁を細縄文で区画し、中央付近に細沈線を横走、太沈線で縦位を施す 直径8mmの貫通孔、その上に未貫通の孔あり	表採	加曾利B 1式 PL6

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
18	土師器	坏	[11.4]	5.8	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	橙	普通	体部内・外面ナデ 内面刻書あり	第1号塚	70% PL6
19	土師器	坏	[15.0]	(5.2)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	明赤褐	普通	口縁部横ナデ 外面ヘラ削り 内面ナデ	第1号塚	40%
20	土師器	坏	[14.8]	(4.7)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	橙	普通	口縁部横ナデ 外面ヘラ削り 内面ナデ	第1号塚	40%
21	土師器	坏	[13.8]	(6.1)	-	長石・石英・雲母	明赤褐	普通	口縁部横ナデ 外面ヘラ削り 内面ナデ	第1号塚	10%
22	土師器	坏	[16.6]	5.0	8.4	長石・石英・赤色粒子	橙	普通	口縁部横ナデ 外面体部上端ナデ下端ヘラ削り	第1号塚	30%
23	土師器	高台付坏	15.6	6.7	[8.8]	長石・石英・雲母・赤色粒子	橙	普通	底部回転ヘラ切り無調整	C 3f3	70% PL6
24	土師器	高台付坏	-	(1.8)	[6.4]	長石・石英・雲母	にぶい黄橙	普通	底部回転ヘラ切り 内面・刻書	第1号塚	5%
25	土師器	甕	23.0	(12.4)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	橙	普通	口縁部横ナデ 器面摩耗のため調整不明	第1号塚	20%
26	土師器	小形甕	[9.6]	16.0	3.4	長石・石英・赤色粒子	橙	普通	口縁部横ナデ 頸部横ナデ 外・内面ヘラナデ	第1号塚	70% PL6
27	土師質土器	内耳鍋	[29.8]	(5.5)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	黒褐	普通	口縁部ナデ 体部外・内面ナデ	第1号塚	10% 外面煤付着
28	土師質土器	内耳鍋	[31.8]	(6.8)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	黒褐	普通	口縁部ナデ 体部外・内面ナデ	D 4a3	10% 外面煤付着
29	土師質土器	内耳鍋	[30.0]	(7.7)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	灰黄褐	普通	口縁部ナデ 体部外・内面ナデ	第1号塚	10% 外面煤付着

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土・色調	文様・特徴	釉薬	産地	出土位置	備考
30	陶器	灯明皿 <sub>9</sub>	[4.3]	1.7	2.2	長石 灰黄	底部回転糸切り	鉄釉	瀬戸・美濃	D 4a3	40%
31	陶器	甕	[20.6]	(13.6)	-	長石 にぶい赤褐	外・内面ナデ	鉄釉	常滑	第1号塚	20%
TP 6	陶器	大鉢	-	-	-	長石・石英・オリープ褐	唐草文 三島手象嵌	鉄釉・白泥	唐津	第1号塚	10%
TP 7	炆器	播鉢	-	-	-	長石・石英・暗赤褐	口縁部三段	-	堺・明石	第1号塚	10%

番号	器種	径	厚さ	孔径	重量	胎土	色調	特徴	出土位置	備考
DP 6	土玉	28～30	2.2	0.5	17.3	長石・石英	にぶい黄橙	ナデ 一方向からの穿孔	表採	PL6
DP 7	土玉	3.6	3.4	0.6	40.5	長石・石英・雲母・赤色粒子	黄橙	ナデ 一方向からの穿孔	第1号塚	PL6
DP 8	土玉	3.1	3.1	0.6	29.2	長石・石英・雲母・赤色粒子	黄橙	ナデ 一方向からの穿孔	第1号塚	PL6
DP 9	土玉	33～35	3.2	0.7	35.5	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい黄橙	ナデ 一方向からの穿孔	第1号塚	PL6
DP10	土玉	32～33	3.0	0.8	28.3	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい黄橙	ナデ 一方向からの穿孔	第1号塚	PL6
DP11	土玉	19～20	1.8	0.4	6.37	長石・石英・赤色粒子	黄橙	ナデ 一方向からの穿孔	第1号塚	PL6
DP12	管状土錘	1.6	5.0	0.6	10.5	長石・石英・雲母・赤色粒子	橙	ナデ 一方向からの穿孔	第1号塚	PL6

番号	器種	長さ・径	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
Q 4	敲石	(10.4)	5.8	3.7	(292)	滑石	端部欠損	第1号塚	
Q 5	砥石	10.4	4.3	1.7	(107)	凝灰岩	端部欠損 砥面3面	第1号塚	
Q 6	砥石	6.1	4.5	0.8	20.6	砂岩	砥面2面 中央に孔径0.2cm	第1号塚	
Q 7	紡錘車	(5.2)	4.8	1.8	(64.0)	滑石	孔径0.7cm 端部欠損	第1号塚	PL6
Q 8	双孔円板	2.4	2.6	0.4	5.07	滑石	両面平滑 全面研磨 孔径0.2cm	UP 2	PL6
Q 9	剣形品	6.0	2.4	0.6	(12.8)	滑石	両面研磨 孔径0.1cm 端部欠損	第1号塚	PL6

## 第4章 神 屋 遺 跡

### 第1節 調 査 の 概 要

神屋遺跡は、稲敷市の中央部に位置し、小野川右岸の標高27～28mの舌状台地上に立地している。調査面積は11,856㎡で、調査前の現況は畑地及び山林である。

調査の結果、竪穴建物跡130棟（縄文時代2、古墳時代52、奈良時代19、平安時代56、時期不明1）、掘立柱建物跡11棟（平安時代10、時期不明1）、大型円形土坑4基（平安時代）、陥し穴8基（縄文時代）、方形竪穴遺構1基（室町時代）、地下式坑1基（室町時代）、火葬施設1基（室町時代）、墓坑1基（時期不明）、道路跡1条（江戸時代）、粘土貼土坑3基（室町時代）、土坑715基（縄文時代3、古墳時代13、奈良時代7、平安時代94、鎌倉時代1、室町時代1、江戸時代13、時期不明583）、溝跡14条（時期不明）を確認した。

遺物は、遺物収納コンテナ（60×40×20cm）に231箱出土している。主な遺物は、縄文土器（深鉢）、土師器（坏・椀・高台付坏・高台付椀・蓋・皿・耳皿・小皿・柑・器台・高坏・鉢・甕・小形甕・甌・羽釜・仏鉢形土器・コップ形土器・ミニチュア土器・手捏土器）、須恵器（坏・坏身・蓋・坏蓋・皿・盤・高坏・高盤・鉢・壺・瓶・長頸瓶・甕・大甕・甌）、灰釉陶器（皿・瓶・長頸瓶・甕）、緑釉陶器（椀・小瓶）、土師質土器（小皿・鍋・内耳鍋・播鉢・甕）、瓦質土器（鍋・鉢・甕）、陶器（碗・蓋・皿・灯明皿・鉢・播鉢・片口鉢・香炉・甕）、磁器（碗・蓋・皿・碇子）、土製品（勾玉・小玉・土玉・管状土錘・支脚・紡錘車・羽口・円筒形土製品）、石器（石錘カ・鏃・磨石・砥石・紡錘車・金床石）、石製品（白玉・小玉・有孔円板・剣形品・数珠玉）、金属製品（刀子・鏃・鎌・紡錘車・釘・鉸具・責金具・耳環・小鈴・火熨斗）、ガラス製品（おはじき）、瓦（平瓦）などである。

### 第2節 基 本 層 序

調査区東部（C2f6区）の台地平坦部にテストピットを設定し、基本土層（第44図）の観察を行った。

第1層は、褐色を呈する漸移層である。粘性・締まりともに普通で、層厚は12～17cmである。

第2層は、褐色を呈するハードローム層である。ガラス質微粒子・黒色微粒子を微量に含み、粘性は普通で、締まりは強く、層厚は25～35cmである。始良丹沢火山灰（AT）の降灰層と考えられる。

第3層は、暗褐色を呈するハードローム層である。赤色粒子と黒色粒子を微量に含み、粘性・締まりともに強く、層厚は13～20cmである。

第4層は、暗褐色を呈するハードローム層である。粘性・締まりともに強く、層厚は50～55cmである。第2黒色帯上部と考えられる。

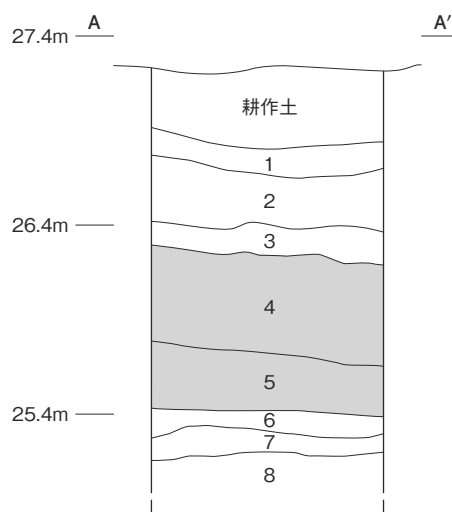
第5層は、黒褐色を呈するハードローム層である。粘性・締まりともに強く、層厚は25～35cmである。第2黒色帯下部と考えられる。

第6層は、褐色を呈するハードローム層である。赤色粒子を微量に含み、粘性・締まりともに強く、層厚は9～15cmである。

第7層は、褐色を呈するハードローム層である。粘性・締まりともに強く、層厚は9～15cmである。武蔵野ローム層に比定できる。

第8層は、灰白色を呈する常総粘土層である。粘性・締まりともに強く、下部を掘り抜いていないため、層厚は不明である。

遺構は、第1層上面で確認できた。



第44図 基本土層図

### 第3節 遺構と遺物

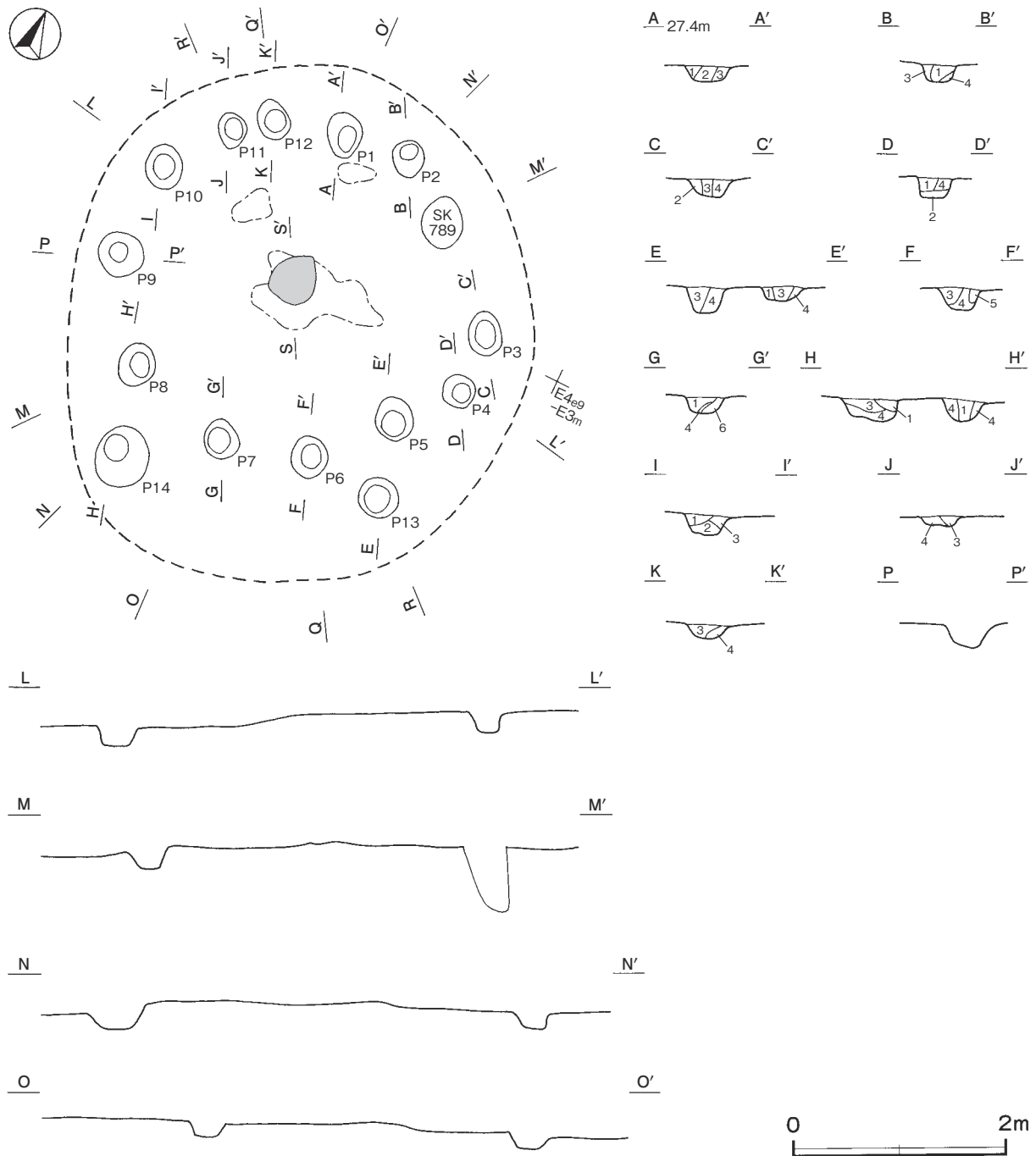
#### 1 縄文時代の遺構と遺物

当時代の遺構は、竪穴建物跡2棟、陥し穴8基、土坑3基を確認した。以下、遺構及び遺物について記述する。

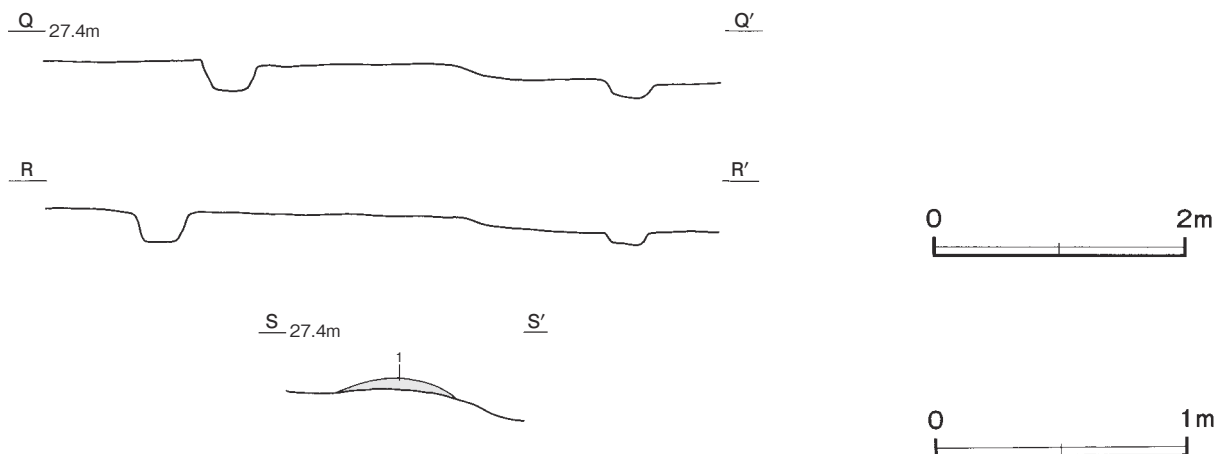
##### (1) 竪穴建物跡

##### 第133号竪穴建物跡 (第45・46図)

**位置** 調査D区北部のE 4 e9区、標高27mほどの台地緩斜面部に位置している。



第45図 第133号竪穴建物跡実測図(1)



第 46 図 第 133 号竪穴建物跡実測図 (2)

**重複関係** 第 789 号土坑に掘り込まれている。

**規模と形状** ピットの配置から、長径 4.9 m ほど、短径 4.4 m ほどの楕円形で、長径方向は N - 19° - W と推定できる。

**床** ほぼ平坦で、炉の周辺部が硬化している。

**炉** 中央部に位置している。長径 50cm、短径 45cm の楕円形を呈する地床炉である。炉床は床面と同じ高さで、火熱を受けて赤変硬化している。

**炉土層解説**

- 1 明赤褐色 焼土ブロック多量

**ピット** 14 か所。P 1 ~ P 12 は深さ 12 ~ 22cm で、規模と配置から壁柱穴と考えられる。P 13・P 14 は深さ 23cm・22cm で、性格不明である。

**ピット土層解説 (各ピット共通)**

- |                 |                    |
|-----------------|--------------------|
| 1 灰黄褐色 ローム粒子少量  | 4 にぶい黄褐色 ロームブロック中量 |
| 2 褐色 ローム粒子微量    | 5 暗褐色 ロームブロック中量    |
| 3 暗褐色 ロームブロック少量 | 6 暗褐色 ロームブロック多量    |

**所見** 時期は、遺構の形態や重複関係から、縄文時代と考えられる。

**第 134 号竪穴建物跡 (第 47 図)**

**位置** 調査 D 区北部の E 5 b3 区、標高 27 m ほどの台地緩斜面部に位置している。

**重複関係** 第 131 号竪穴建物、第 793 号土坑に掘り込まれている。

**規模と形状** ピットの配置から、炉を中心とした径 4.5 m ほどの円形と推定できる。

**床** ほぼ平坦で、明確な硬化面は認められない。

**炉** 中央部に位置している。遺存状況は悪く、残存する炉床の赤変硬化範囲から、長径 22cm、短径 12cm の楕円形を呈する地床炉と推定できる。

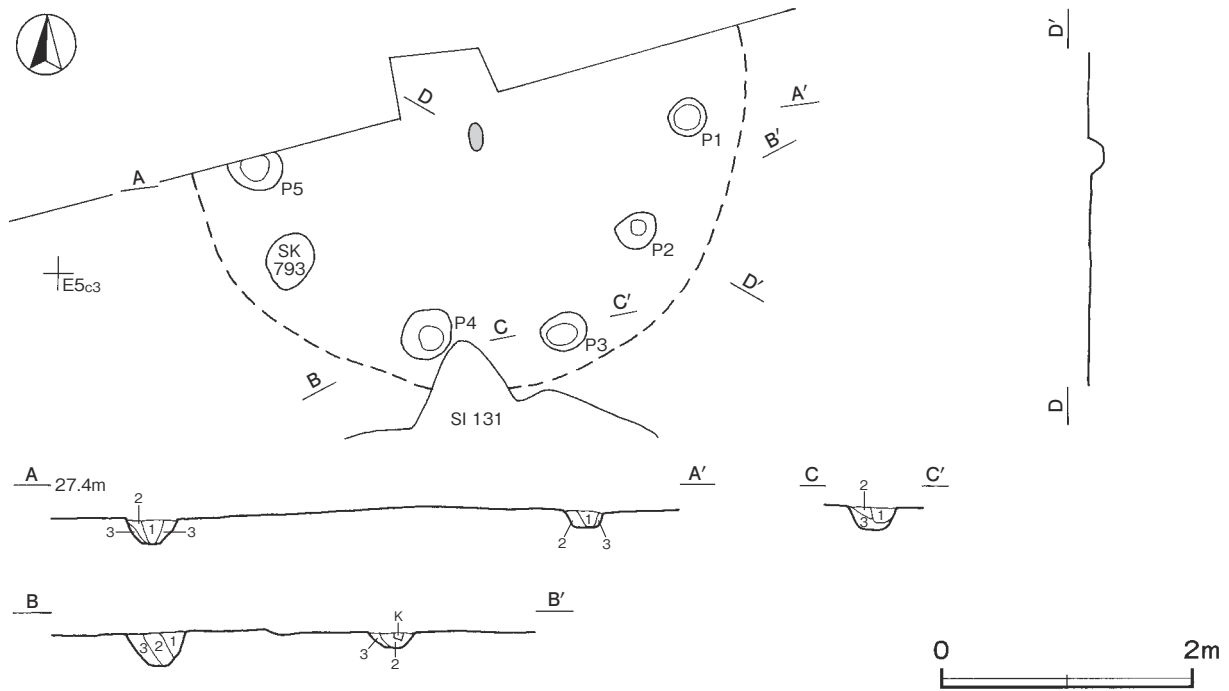
**ピット** 5 か所。P 1 ~ P 5 は深さ 13 ~ 25cm で、規模と配置から壁柱穴と考えられる。

**ピット土層解説 (各ピット共通)**

- |                |                  |
|----------------|------------------|
| 1 黒褐色 ローム粒子微量  | 3 にぶい黄褐色 ローム粒子微量 |
| 2 灰黄褐色 ローム粒子微量 |                  |

**所見** 時期は、遺構の形態や重複関係から、縄文時代と考えられる。





第 47 図 第 134 号竪穴建物跡実測図

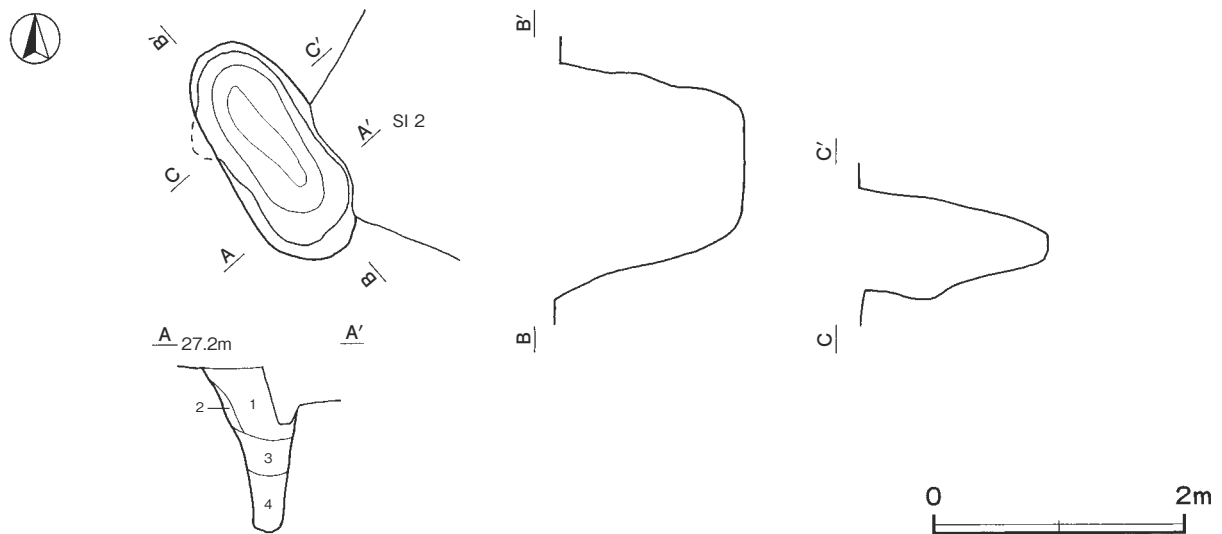
表 6 縄文時代竪穴建物跡一覧表

番号	位置	主軸方向	平面形	規模	壁高 (cm)	床面	壁溝	内部施設				覆土	主な出土遺物	時期	備考	
				南北×東西 (m)				主柱穴	壁柱穴	出入口	ピット					炉
133	E 4e9	N - 19° - W	[楕円形]	[4.9] × [4.4]	-	ほぼ平坦	-	-	12	-	2	1	-		縄文時代	本跡→SK789
134	E 5b3	-	[円形]	[4.5]	-	ほぼ平坦	-	-	5	-	-	1	-		縄文時代	本跡→SI 131, SK793

(2) 陥し穴

第 1 号陥し穴 (SK87) (第 48 図)

位置 調査A区南部のC 2c8区, 標高 27 mほどの台地平坦部に位置している。



第 48 図 第 1 号陥し穴実測図

**重複関係** 第2号竪穴建物に掘り込まれている。

**規模と形状** 長径 1.89 m, 短径 0.84 m の楕円形で, 長径方向は N - 33° - W である。深さは 147cm で, 底面は平坦である。短径の断面は V 字状を呈している。

**覆土** 4層に分層できる。レンズ状の堆積状況を示していることから自然堆積である。

**土層解説**

- |       |                 |      |                 |
|-------|-----------------|------|-----------------|
| 1 暗褐色 | ロームブロック・炭化粒子微量  | 3 褐色 | ローム粒子少量         |
| 2 暗褐色 | ローム粒子少量, 焼土粒子微量 | 4 褐色 | 粘土粒子少量, ローム粒子微量 |

**所見** 遺構の形状や重複関係から縄文時代の陥し穴と考えられる。

**第2号陥し穴 (SK106) (第49図)**

**位置** 調査A区南部のC 2 d3区, 標高 27 m ほどの台地平坦部に位置している。

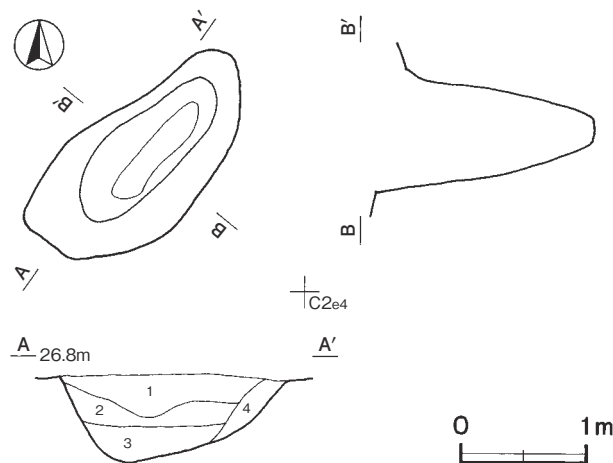
**規模と形状** 長径 2.05 m, 短径 1.02 m の楕円形で, 長径方向は N - 44° - E である。台地の傾斜に対してほぼ直交している。深さは 173cm で, 底面は平坦である。短径の断面は V 字状を呈している。

**覆土** 4層に分層できる。多くの層にロームブロックが含まれていることから埋め戻されている。

**土層解説**

- |       |                     |
|-------|---------------------|
| 1 暗褐色 | ロームブロック・焼土粒子・炭化粒子少量 |
| 2 黒褐色 | ロームブロック中量           |
| 3 黒褐色 | ローム粒子微量             |
| 4 褐色  | ロームブロック少量           |

**所見** 遺構の形状から縄文時代の陥し穴と考えられる。



第49図 第2号陥し穴実測図

**第3号陥し穴 (SK204) (第50図)**

**位置** 調査A区南部のC 2 d8区, 標高 27 m ほどの台地平坦部に位置している。

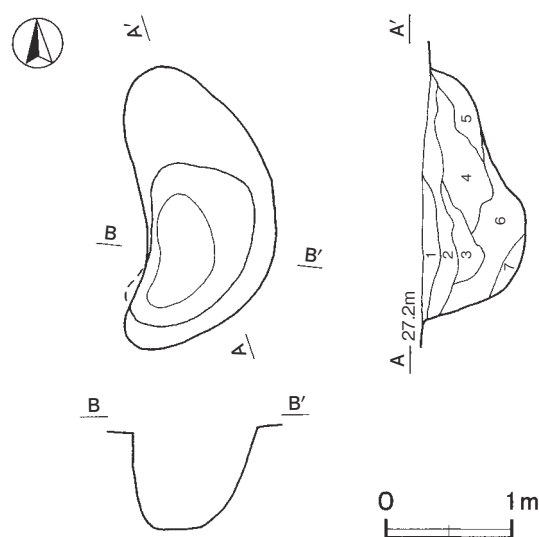
**規模と形状** 長径 2.24 m, 短径 1.03 m の不整楕円形で, 長径方向は N - 1° - E である。台地の傾斜に対してほぼ直交している。深さは 80cm で, 底面は平坦である。短径の断面は U 字状を呈している。

**覆土** 7層に分層できる。多くの層にロームブロックが含まれていることから埋め戻されている。

**土層解説**

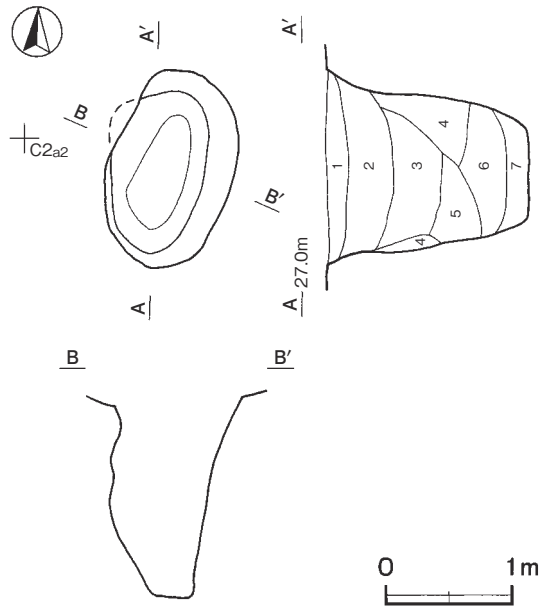
- |       |                   |
|-------|-------------------|
| 1 暗褐色 | ローム粒子少量           |
| 2 暗褐色 | ロームブロック微量         |
| 3 黒褐色 | ロームブロック少量, 炭化粒子微量 |
| 4 暗褐色 | ロームブロック少量         |
| 5 暗褐色 | ロームブロック中量         |
| 6 暗褐色 | ロームブロック中量, 炭化粒子微量 |
| 7 黒褐色 | ローム粒子少量           |

**所見** 遺構の形状から縄文時代の陥し穴と考えられる。



第50図 第3号陥し穴実測図

第4号陥し穴 (SK234) (第51図)



**位置** 調査A区南部のC 2a2区, 標高27mほどの台地平坦部に位置している。

**規模と形状** 長径1.53m, 短径0.98mの楕円形で, 長径方向はN-19°-Eである。深さは159cmで, 底面は平坦である。短径の断面はU字状を呈している。

**覆土** 7層に分層できる。多くの層にロームブロックが含まれていることから埋め戻されている。

**土層解説**

- 1 暗褐色 ロームブロック中量, 炭化粒子微量
- 2 黒褐色 ロームブロック少量
- 3 黒褐色 ロームブロック・焼土粒子少量
- 4 暗褐色 ローム粒子少量
- 5 黒褐色 ローム粒子中量
- 6 黒褐色 ロームブロック中量
- 7 黒褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量

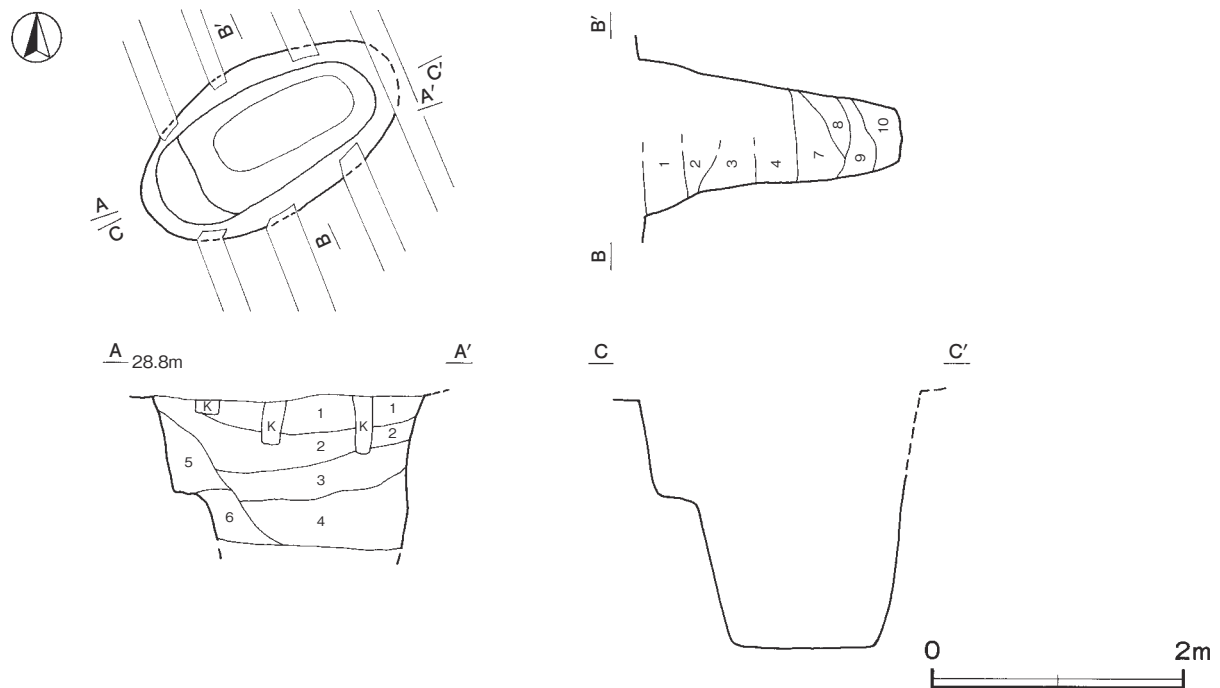
**所見** 遺構の形状から縄文時代の陥し穴と考えられる。

第51図 第4号陥し穴実測図

第5号陥し穴 (第52図)

**位置** 調査D区中央部のF 4e8区, 標高28mほどの台地平坦部に位置している。

**規模と形状** 東部が攪乱を受けているため, 短径は1.22mで, 長径は2.24mしか確認できなかった。平面形は楕円形で, 長径方向はN-61°-Eである。深さは205cmで, 底面はほぼ平坦である。短径の断面はU字状を呈しており, 長径方向の南西側にはテラス状の段がある。



第52図 第5号陥し穴実測図

**覆土** 10層に分層できる。多くの層にロームブロックが含まれていることから、埋め戻されている。

**土層解説**

- |       |                 |        |                 |
|-------|-----------------|--------|-----------------|
| 1 暗褐色 | ローム粒子少量         | 6 褐色   | ローム粒子多量         |
| 2 暗褐色 | ロームブロック中量       | 7 褐色   | ロームブロック多量       |
| 3 暗褐色 | ロームブロック少量       | 8 褐色   | ローム粒子中量         |
| 4 褐色  | ロームブロック中量       | 9 暗褐色  | ローム粒子多量         |
| 5 暗褐色 | ローム粒子中量 (締まり普通) | 10 暗褐色 | ローム粒子中量 (締まり弱い) |

**所見** 遺構の形状から縄文時代の陥し穴と考えられる。

**第6号陥し穴 (SK755) (第53図)**

**位置** 調査D区中央部のF 4 c6区、標高28 mほどの台地平坦部に位置している。

**重複関係** 第121号竪穴建物に掘り込まれている。

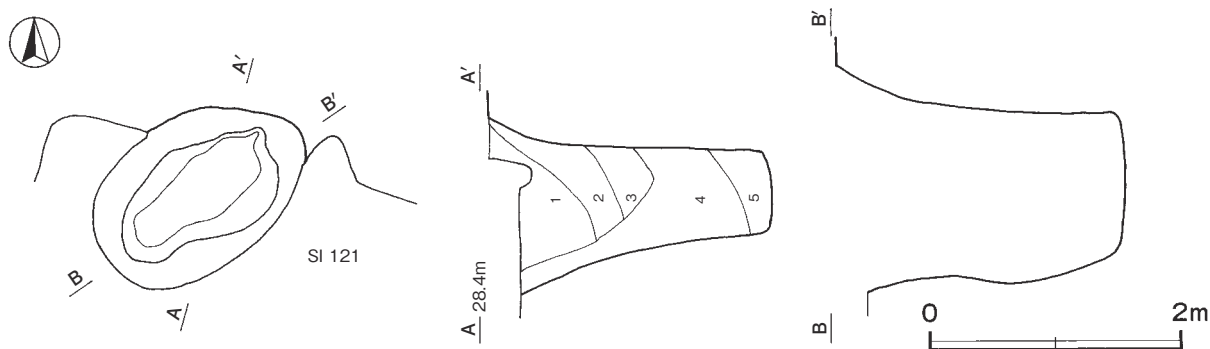
**規模と形状** 長径1.82 m、短径1.23 mの楕円形で、長径方向はN - 56° - Eである。深さは232cmで、底面は平坦である。短径の断面はU字状を呈している。

**覆土** 5層に分層できる。多くの層にロームブロックが含まれていることから、埋め戻されている。

**土層解説**

- |        |           |        |                |
|--------|-----------|--------|----------------|
| 1 黒褐色  | ロームブロック中量 | 4 極暗褐色 | ローム粒子少量、炭化粒子微量 |
| 2 黒褐色  | ロームブロック微量 | 5 暗褐色  | ローム粒子中量        |
| 3 極暗褐色 | ロームブロック少量 |        |                |

**所見** 遺構の形状や重複関係から縄文時代の陥し穴と考えられる。



第53図 第6号陥し穴実測図

**第7号陥し穴 (第54図)**

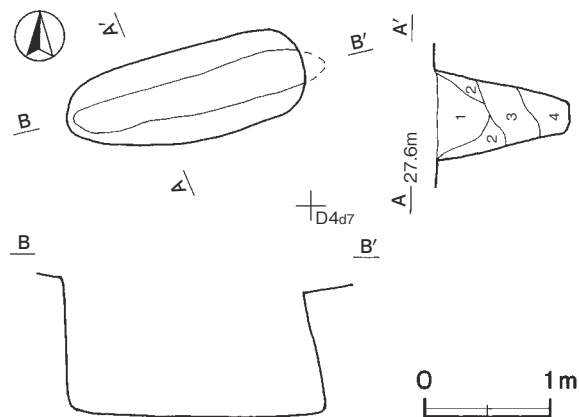
**位置** 調査C区D 4 c6区、標高27 mほどの台地平坦部に位置している。

**規模と形状** 長径1.93 m、短径0.73 mの楕円形で、長径方向はN - 76° - Eである。深さは109cmで、底面は平坦である。短径の断面はV字状を呈している。

**覆土** 4層に分層できる。ロームブロックが含まれ、不規則な堆積状況を示していることから、埋め戻されている。

**土層解説**

- |       |                  |
|-------|------------------|
| 1 黒褐色 | ローム粒子微量          |
| 2 暗褐色 | ローム粒子微量          |
| 3 黒色  | ロームブロック少量        |
| 4 黒褐色 | ロームブロック少量、炭化粒子微量 |



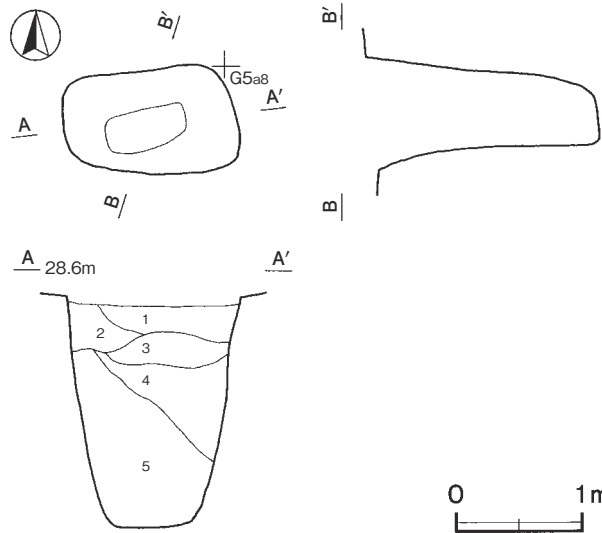
第54図 第7号陥し穴実測図

第8号陥し穴 (SK304) (第55図)

位置 調査D区南部のG5a7区, 標高28mほどの台地平坦部に位置している。

重複関係 第3号掘立柱建物に掘り込まれている。

規模と形状 長軸1.38m, 短軸0.87mの隅丸長方形で, 長軸方向はN-83°-Eである。深さは184cmで, 底面はほぼ平坦である。短軸の断面はU字状を呈している。



覆土 5層に分層できる。ロームブロックが含まれ, 不規則な堆積状況を示していることから, 埋め戻されている。

土層解説

- 1 黒褐色 ローム粒子・焼土粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量
- 3 暗褐色 ロームブロック中量
- 4 暗褐色 ローム粒子微量
- 5 黒褐色 ローム粒子微量

遺物出土状況 縄文土器片11点(深鉢)が覆土中から出土している。いずれも細片のため図示できない。

所見 出土土器や遺構の形状から縄文時代の陥し穴と考えられる。

第55図 第8号陥し穴実測図

表7 縄文時代陥し穴一覧表

番号	位置	長径方向	平面形	規模		底面	壁面	覆土	主な出土遺物	備考
				長径×短径(m)	深さ(cm)					
1	C2c8	N-33°-W	楕円形	1.89 × 0.84	147	平坦	外傾	自然		本跡→SI 2
2	C2d3	N-44°-E	楕円形	2.05 × 1.02	173	平坦	外傾	人為		
3	C2d8	N-1°-E	不整楕円形	2.24 × 1.03	80	平坦	直立・緩斜	人為		
4	C2a2	N-19°-E	楕円形	1.53 × 0.98	159	平坦	外傾	人為		
5	F4e8	N-61°-E	楕円形	[2.24] × 1.22	205	ほぼ平坦	直立	人為		
6	F4c6	N-56°-E	楕円形	1.82 × 1.23	232	平坦	直立	人為		本跡→SI 121
7	D4c6	N-76°-E	楕円形	1.93 × 0.73	109	平坦	直立・内傾	人為		
8	G5a7	N-83°-E	隅丸長方形	1.38 × 0.87	184	平坦	直立	人為	縄文土器	本跡→SB 3

(3) 土坑

第58号土坑 (第56図)

位置 調査A区南部のC2c5区, 標高27mほどの台地平坦部に位置している。

規模と形状 長径1.16m, 短径0.89mの楕円形で, 長径方向はN-9°-Wである。深さは43cmで, 南部は一段深く掘り込まれている。底面は平坦で, 壁は外傾して立ち上がっている。

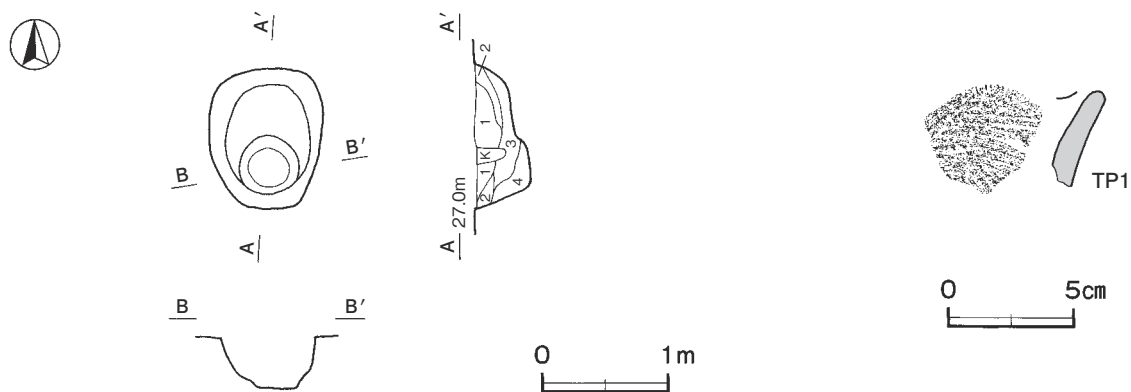
覆土 4層に分層できる。各層にロームブロックが含まれていることから埋め戻されている。

土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量
- 2 におい黄褐色 ロームブロック少量
- 3 暗褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子微量
- 4 褐色 ロームブロック中量

遺物出土状況 縄文土器片1点(深鉢), 剥片1点が出土している。TP1は覆土中から出土している。

所見 時期は, 出土土器から早期後半と考えられる。性格は不明である。



第 56 図 第 58 号土坑・出土遺物実測図

第 58 号土坑出土遺物観察表 (第 56 図)

番号	種別	器種	胎土	色調	文様の特徴ほか	出土位置	備考
TP 1	縄文土器	深鉢	長石・石英・繊維	明赤褐	横位の条痕文	覆土中	野島式。

第 312 号土坑 (第 57 図)

**位置** 調査D区中央部のF 6 i6 区, 標高 28 mほどの台地平坦部に位置している。

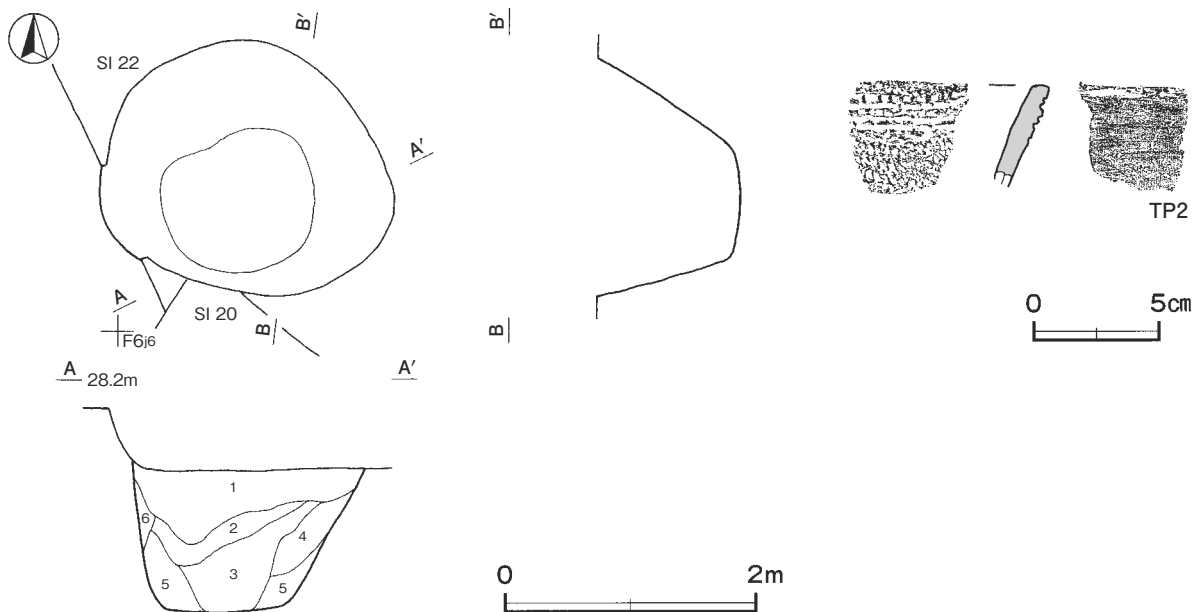
**重複関係** 第 20・22 号竪穴建物に掘り込まれている。

**規模と形状** 長径 2.35 m, 短径 1.97 mの楕円形で, 長径方向はN - 65° - Wである。深さは 162cmで, 底面はほぼ平坦である。壁は外傾している。

**覆土** 6層に分層できる。ロームブロックが含まれ, 不規則な堆積状況を示していることから, 埋め戻されている。

土層解説

- |       |                |          |                   |
|-------|----------------|----------|-------------------|
| 1 暗褐色 | ロームブロック・炭化粒子少量 | 4 暗褐色    | ロームブロック少量, 炭化粒子微量 |
| 2 黒褐色 | ロームブロック少量      | 5 にぶい黄褐色 | ロームブロック中量, 炭化粒子微量 |
| 3 暗褐色 | ロームブロック微量      | 6 にぶい黄褐色 | ロームブロック少量         |



第 57 図 第 312 号土坑・出土遺物実測図

遺物出土状況 縄文土器片 10 点（深鉢）が覆土中から出土している。

所見 時期は、出土土器や重複関係から、前期中葉と考えられる。性格は不明である。

第 312 号土坑出土遺物観察表（第 57 図）

番号	種別	器種	胎土	色調	文様の特徴ほか	出土位置	備考
TP 2	縄文土器	深鉢	長石・繊維	にぶい褐	縄文施文後、半截竹管による押しき文	覆土中	黒浜式

第 335 号土坑（第 58 図）

位置 調査D区中央部の F 5 i 9 区、標高 28 m ほどの台地平坦部に位置している。

規模と形状 長径 2.26 m、短径 1.30 m の不整楕円形で、長径方向は N - 43° - W である。深さは 44cm で、底面は平坦である。壁は外傾している。

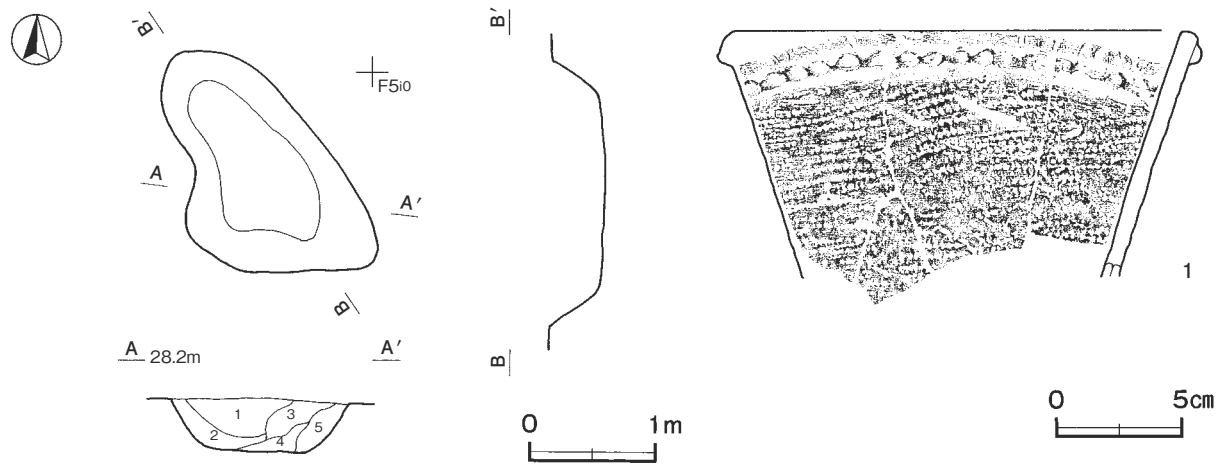
覆土 5 層に分層できる。ロームブロックが含まれ、不規則な堆積状況を示していることから、埋め戻されている。

土層解説

- |          |                  |          |           |
|----------|------------------|----------|-----------|
| 1 暗褐色    | ロームブロック少量        | 4 にぶい黄褐色 | ロームブロック中量 |
| 2 にぶい黄褐色 | ロームブロック中量、焼土粒子微量 | 5 褐色     | ロームブロック少量 |
| 3 暗褐色    | ロームブロック中量        |          |           |

遺物出土状況 縄文土器片 1 点（深鉢）が覆土中から出土している。

所見 時期は、出土土器から後期後葉と考えられる。性格は不明である。



第 58 図 第 335 号土坑・出土遺物実測図

第 335 号土坑出土遺物観察表（第 58 図）

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
1	縄文土器	深鉢	[18.0]	(9.8)	-	長石・石英	にぶい黄褐	普通	LR 単節縄文→口縁部紐線貼付	覆土中	10% 加曾利 B 式

表 8 縄文時代土坑一覧表

番号	位置	長径方向	平面形	規模		底面	壁面	覆土	主な出土遺物	備考
				長径×短径 (m)	深さ (cm)					
58	C 2 c 5	N - 9° - W	楕円形	1.16 × 0.89	43	有段	外傾	人為	縄文土器	
312	F 6 i 6	N - 65° - W	楕円形	2.35 × 1.97	162	ほぼ平坦	外傾	人為	縄文土器	本跡→SI 20・22
335	F 5 i 9	N - 43° - W	不整楕円形	2.26 × 1.30	44	平坦	外傾	人為	縄文土器	

## 2 古墳時代の遺構と遺物

当時代の遺構は、竪穴建物跡 52 棟、土坑 13 基を確認した。以下、遺構及び遺物について記述する。

### (1) 竪穴建物跡

#### 第3号竪穴建物跡（第59・60図）

**位置** 調査A区南部のC2b6区、標高27mほどの台地平坦部に位置している。

**重複関係** 第14号竪穴建物、第76～78・80・81・85・101・139号土坑、第2号溝に掘り込まれている。

**規模と形状** 長軸5.30m、短軸5.22mの方形で、主軸方向はN-27°-Wである。壁高は16～24cmで、壁は外傾して立ち上がっている。

**床** 平坦な貼床で、中央部が踏み固められている。壁下には、幅18～25cm、深さ5～11cmで、浅いU字形の壁溝が巡っている。貼床は、全体を凹凸に掘り込み、ロームブロックを主体とする第6・7層を埋土して構築されている。南部で焼土塊2か所を確認した。

#### 焼土塊土層解説

- |               |                      |
|---------------|----------------------|
| 1 黒褐色 炭化材中量   | 3 褐色 ローム粒子中量, 焼土粒子微量 |
| 2 暗赤褐色 焼土粒子中量 |                      |

**ピット** 9か所。P1～P4は深さ36～88cmで、規模と配置から支柱穴である。P5・P6は深さ34cm・8cmで、位置や規模から補助的な柱穴と考えられる。P7・P8は深さ19cm・16cmで、南壁際のほぼ中央に位置していることから、出入り口施設に伴うピットと考えられる。P9は深さ9cmで、性格不明である。

#### ピット土層解説（各ピット共通）

- |                         |                      |
|-------------------------|----------------------|
| 1 暗褐色 ロームブロック少量         | 6 暗褐色 ローム粒子少量        |
| 2 褐色 ローム粒子中量            | 7 暗褐色 ローム粒子中量        |
| 3 暗褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量 | 8 褐色 ロームブロック中量       |
| 4 黒褐色 ロームブロック微量         | 9 褐色 ローム粒子中量, 炭化粒子微量 |
| 5 暗褐色 ローム粒子中量, 炭化粒子微量   |                      |

**貯蔵穴** 北コーナー部に位置し、長軸93cm、短軸56cmの隅丸長方形で、深さ41cmである。底面は平坦で、北東部の壁は外傾して立ち上がり、それ以外の壁はほぼ直立している。

#### 貯蔵穴土層解説

- |                            |                           |
|----------------------------|---------------------------|
| 1 黒褐色 ロームブロック微量            | 4 にぶい黄褐色 炭化物・ローム粒子・焼土粒子微量 |
| 2 暗褐色 焼土粒子少量, ローム粒子・炭化粒子微量 | 5 暗褐色 ロームブロック微量           |
| 3 暗褐色 ローム粒子少量              |                           |

**覆土** 5層に分層できる。多くの層にロームブロックが含まれていることから、埋め戻されている。第6・7層は貼床の構築土である。

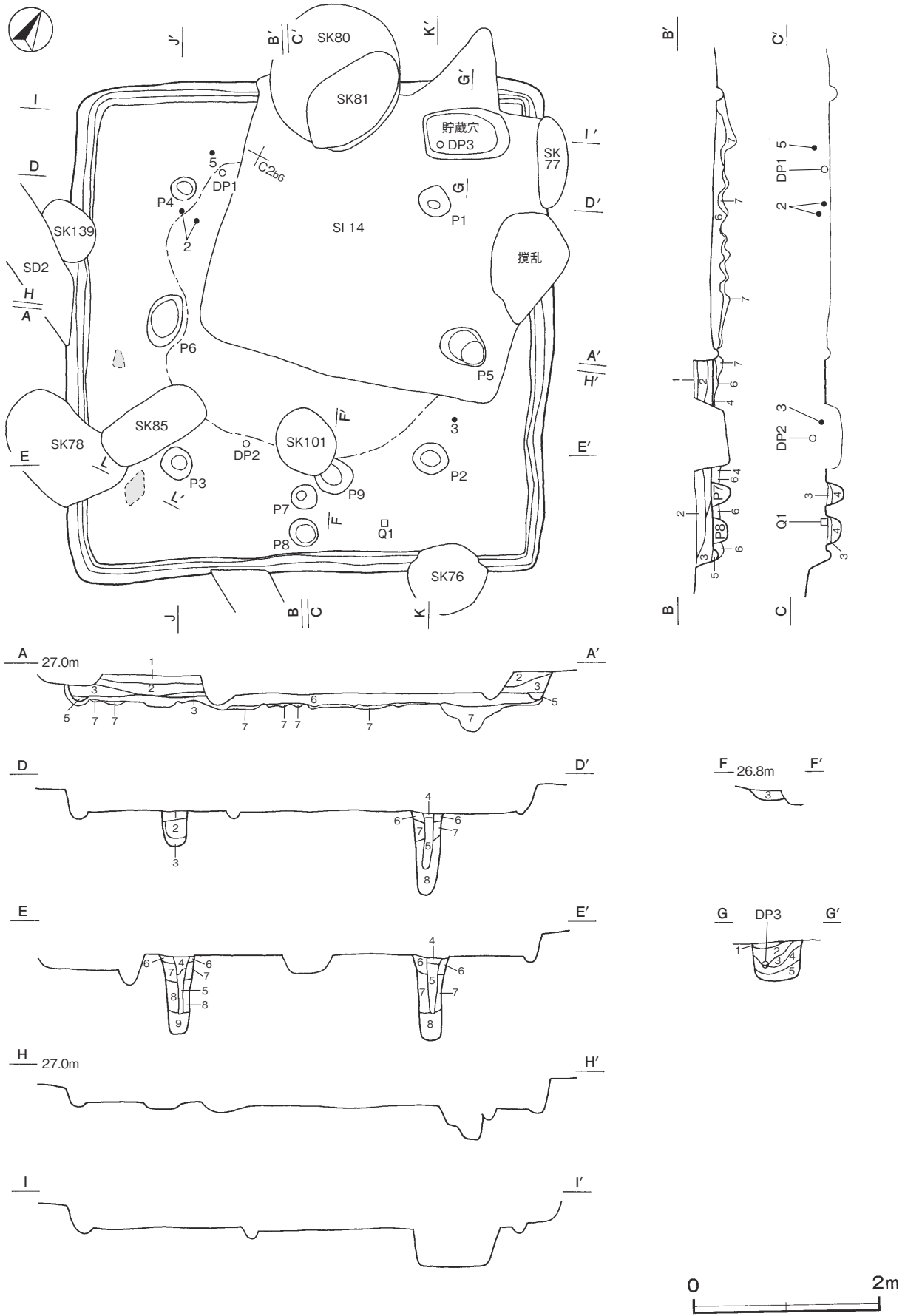
#### 土層解説

- |                              |                           |
|------------------------------|---------------------------|
| 1 黒褐色 ローム粒子・焼土粒子・炭化粒子微量      | 5 暗褐色 ロームブロック少量           |
| 2 暗褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量      | 6 にぶい褐色 ロームブロック中量, 炭化粒子微量 |
| 3 暗褐色 焼土粒子少量, ロームブロック微量      | 7 褐色 ロームブロック中量            |
| 4 黒褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子微量 |                           |

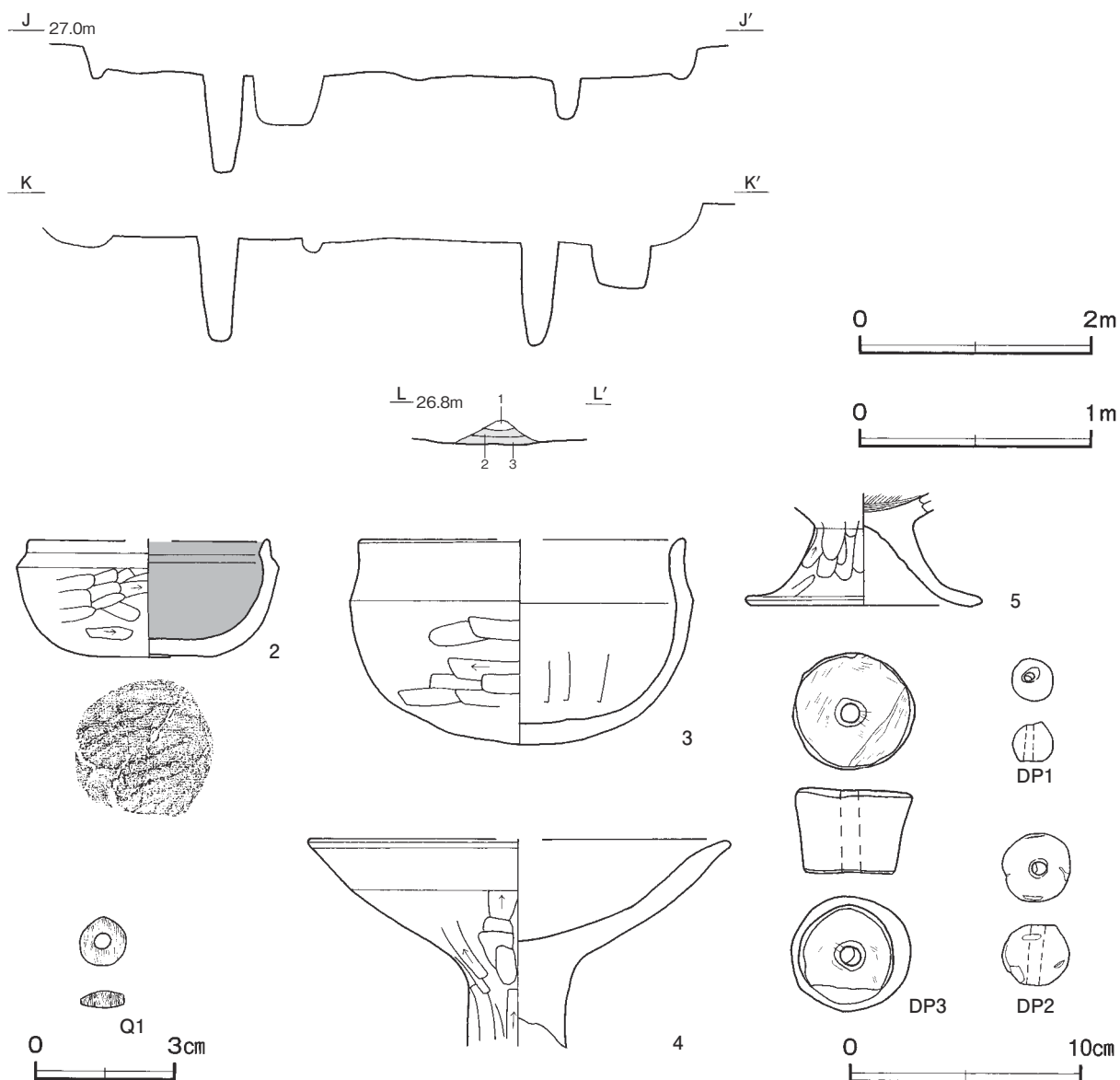
**遺物出土状況** 土師器片321点（坏37、椀66、高坏2、鉢1、甕類214、甗1）、須恵器片7点（坏蓋1、甕類6）、土製品3点（土玉2、紡錘車1）、石製品1点（白玉）のほか、縄文土器片9点（深鉢）が、覆土中層から下層にかけての広い範囲から出土している。Q1は東部の床面、3は東部、DP1は北部の覆土下層からそれぞれ出土している。2は西部の覆土下層及び中層から出土した破片が接合したものである。5は西部の覆土上層からそれぞれ出土している。DP3は貯蔵穴から、4は覆土中からそれぞれ出土している。

**所見** 時期は、出土土器や重複関係から、5世紀後葉に比定できる。床面から2cmの高さで焼土塊を確認していることや、埋め戻し土に焼土が含まれていることなどから、廃絶後一定の時間が経過してから焼却された住居と考えられる。





第59図 第3号竖穴建物跡実測図



第 60 図 第 3 号竪穴建物跡・出土遺物実測図

第 3 号竪穴建物跡出土遺物観察表 (第 60 図)

番号	種 別	器種	口径	器高	底径	胎 土	色 調	焼成	手 法 の 特 徴 ほか	出土位置	備 考
2	土師器	椀	[10.2]	5.1	5.9	長石・石英	にぶい赤褐	普通	口縁部外・内面横ナデ 体部外面へら削り後ナデ 内面ナデ	覆土下層 ～中層	60%
3	土師器	椀	[13.8]	8.9	-	長石・石英	にぶい赤褐	普通	口縁部外・内面横ナデ 体部外面へら削り後ナデ 内面へらナデ	覆土下層	50%
4	土師器	高坏	[18.0]	(9.0)	-	長石・石英・ 黒色粒子	橙	普通	口縁部外・内面横ナデ 坏部外面へら削り後ナデ 内面ナデ 脚部へら削り後ナデ	覆土中	20%
5	土師器	高坏	-	(4.9)	[10.2]	長石・石英・ 赤色粒子	明赤褐	普通	坏部内面へら磨き 脚部外面へら削り後ナデ 内面ナデ 裾部外・内面横ナデ	覆土上層	20%

番号	器 種	径	厚さ	孔径	重量	胎 土	色 調	特 徴	出土位置	備 考
DP 1	土玉	1.8	1.6	0.4	5.50	長石・石英	橙	ナデ 一方向からの穿孔	覆土下層	
DP 2	土玉	2.9	2.6	0.6	23.9	長石・石英	褐	ナデ 一方向からの穿孔	覆土上層	
DP 3	紡錘車	5.2	3.7	0.8	106	長石・石英・細礫	にぶい黄橙	ナデ 一方向からの穿孔	貯蔵穴 覆土中層	PL92

番号	器 種	径	厚さ	孔径	重量	材 質	特 徴	出土位置	備 考
Q 1	白玉	1.0	1.1	0.35	0.50	凝灰岩	全面研磨 一方向からの穿孔	床面	PL96

## 第7号竪穴建物跡（第61～64図）

**位置** 調査A区北部のB2j5区、標高27mほどの台地平坦部に位置している。

**重複関係** 第9・17号竪穴建物、第5・43・50・54・61・62号土坑、第1号溝に掘り込まれている。

**規模と形状** 長軸8.04m、短軸7.86mの方形で、主軸方向はN-52°-Wである。壁高は9～20cmで、壁は外傾して立ち上がっている。

**床** 平坦な貼床で、東部から西部にかけて踏み固められている。南西壁・南東壁の一部を除いた壁下には、幅16～35cm、深さ6～13cmで、浅いU字形の壁溝が巡っている。貼床は、中央部を浅く、壁際に向かってやや深めに掘り込み、ロームブロックを主体とする第8層を埋土して構築されている。床面で間仕切り溝3条を確認した。間仕切り溝1は、北東壁際のほぼ中央部に位置し、北東壁に直交している。規模は、長さ133cm、幅28～32cm、深さ8cmである。間仕切り溝2は、南東壁際のほぼ中央部に位置し、南東壁にほぼ直交している。規模は、長さ104cm、幅28～30cm、深さ10cmである。間仕切り溝3は、南西壁際の南寄りに位置し、南西壁に直交している。規模は、長さ129cm、幅24～26cm、深さ8cmである。いずれも断面は浅いU字状をしている。間仕切り溝3の北西部に、南西壁と直交する根太1・2を確認した。根太1は、間仕切り溝3と北西0.12mの位置に並行している。規模は、長さ98cm、幅25～26cm、深さ9cmである。根太2は、根太1から北西1.28mの位置に並行している。規模は、南西部を第62号土坑に掘り込まれているため、長さは110cmしか確認できなかった。幅19～23cm、深さ7cmである。2か所とも断面は浅いU字状をしている。南東壁際の東コーナー付近から焼土塊1か所を確認した。中央部北寄りから炭化材を確認した。

### 間仕切り溝土層解説（各間仕切り溝共通）

- |                   |                |
|-------------------|----------------|
| 1 黒褐色 焼土粒子・炭化粒子微量 | 2 褐色 ロームブロック少量 |
|-------------------|----------------|

### 根太土層解説（各根太共通）

- |                    |               |
|--------------------|---------------|
| 1 暗褐色 ローム粒子・炭化粒子微量 | 2 暗褐色 ローム粒子少量 |
|--------------------|---------------|

### 焼土土層解説

- |                       |                          |
|-----------------------|--------------------------|
| 1 暗赤褐色 焼土粒子中量、ローム粒子微量 | 2 褐色 ロームブロック・焼土粒子・炭化粒子微量 |
|-----------------------|--------------------------|

**炉** 中央部の北西壁寄りに位置している。長径1.11m、短径1.04mの円形で、床面を25cmほど掘りくぼめ、ロームブロックを含む第4・5層を埋土して構築した地床炉である。炉床面は火を受けて赤変硬化している。

### 炉土層解説

- |                         |                         |
|-------------------------|-------------------------|
| 1 暗褐色 焼土粒子少量、ローム粒子微量    | 4 褐色 ロームブロック中量、焼土ブロック微量 |
| 2 暗赤褐色 焼土ブロック中量、ローム粒子微量 | 5 暗褐色 ロームブロック中量         |
| 3 褐色 ロームブロック多量、焼土粒子少量   |                         |

**ピット** 7か所。P1～P4は深さ72～88cmで、規模と配置から主柱穴である。P5～P7は深さ7～12cmで、性格不明である。

### ピット土層解説（各ピット共通）

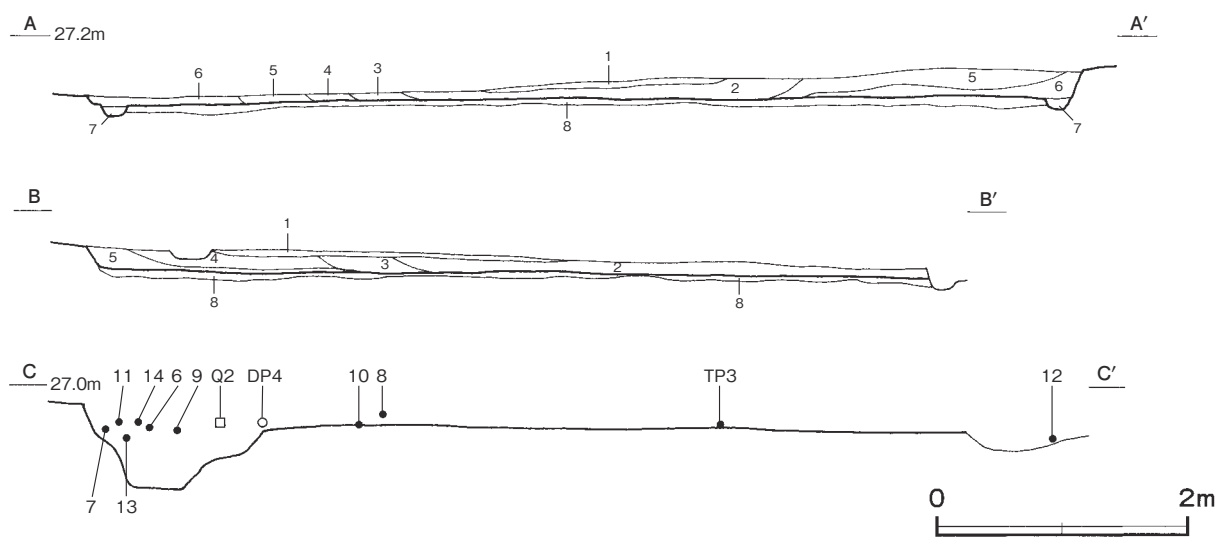
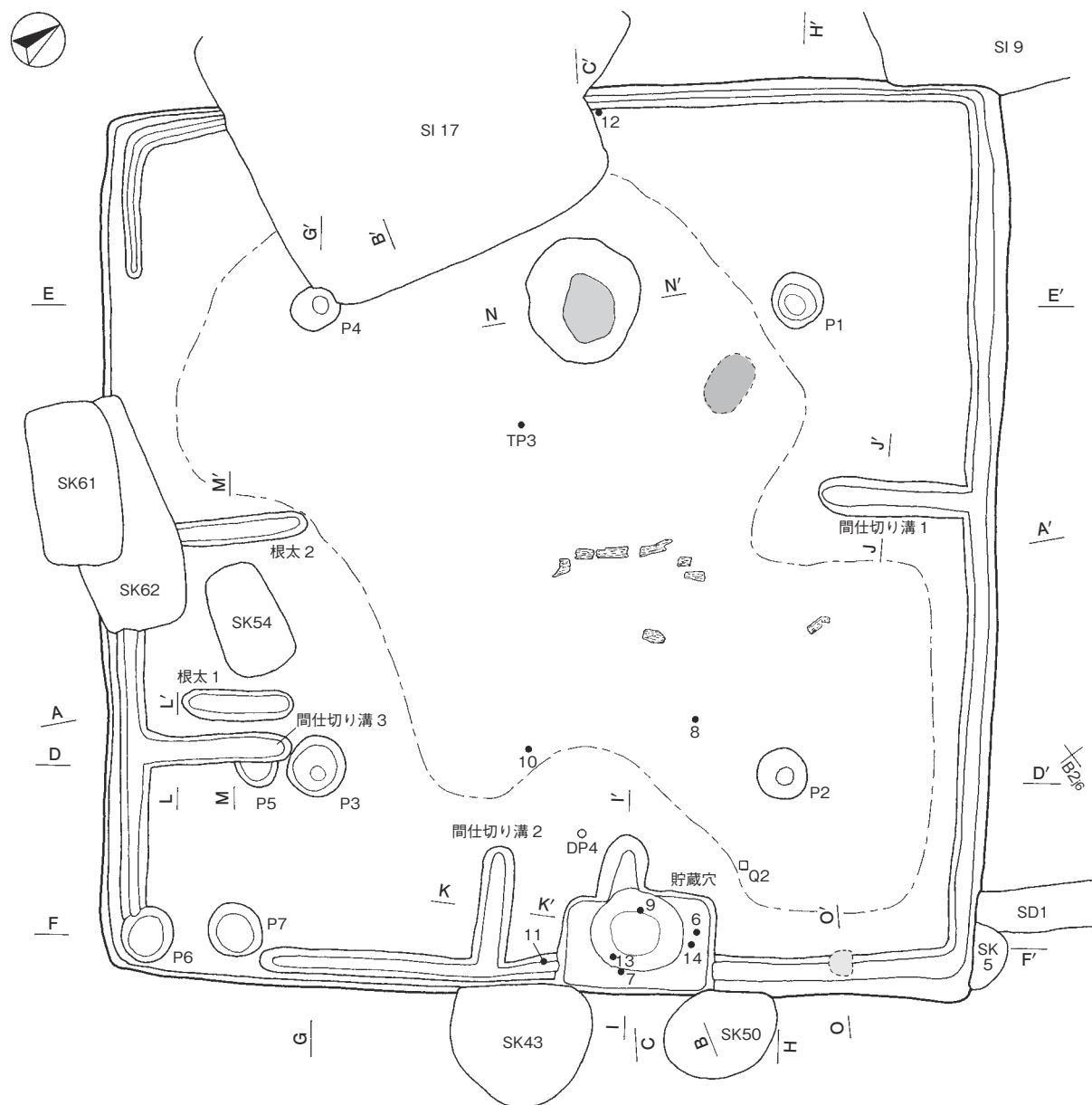
- |                           |                        |
|---------------------------|------------------------|
| 1 黒褐色 ローム粒子少量、炭化粒子微量      | 4 褐色 ロームブロック中量         |
| 2 黒褐色 ローム粒子少量、焼土粒子・炭化粒子微量 | 5 暗褐色 ロームブロック中量、炭化粒子少量 |
| 3 黒褐色 ローム粒子中量             |                        |

**貯蔵穴** 南東壁際のほぼ中央に位置し、長軸138cm、短軸90cmの長方形で、深さ47cmである。底面は平坦で、四方の壁の中位に段を有しており、底面から中位の段までは外傾して、中位の段から上部は緩やかに立ち上がっている。北西壁に付随する長さ46cm、幅40cm、深さ22cmの掘り込みは、出入り口に関わる施設と考えられる。

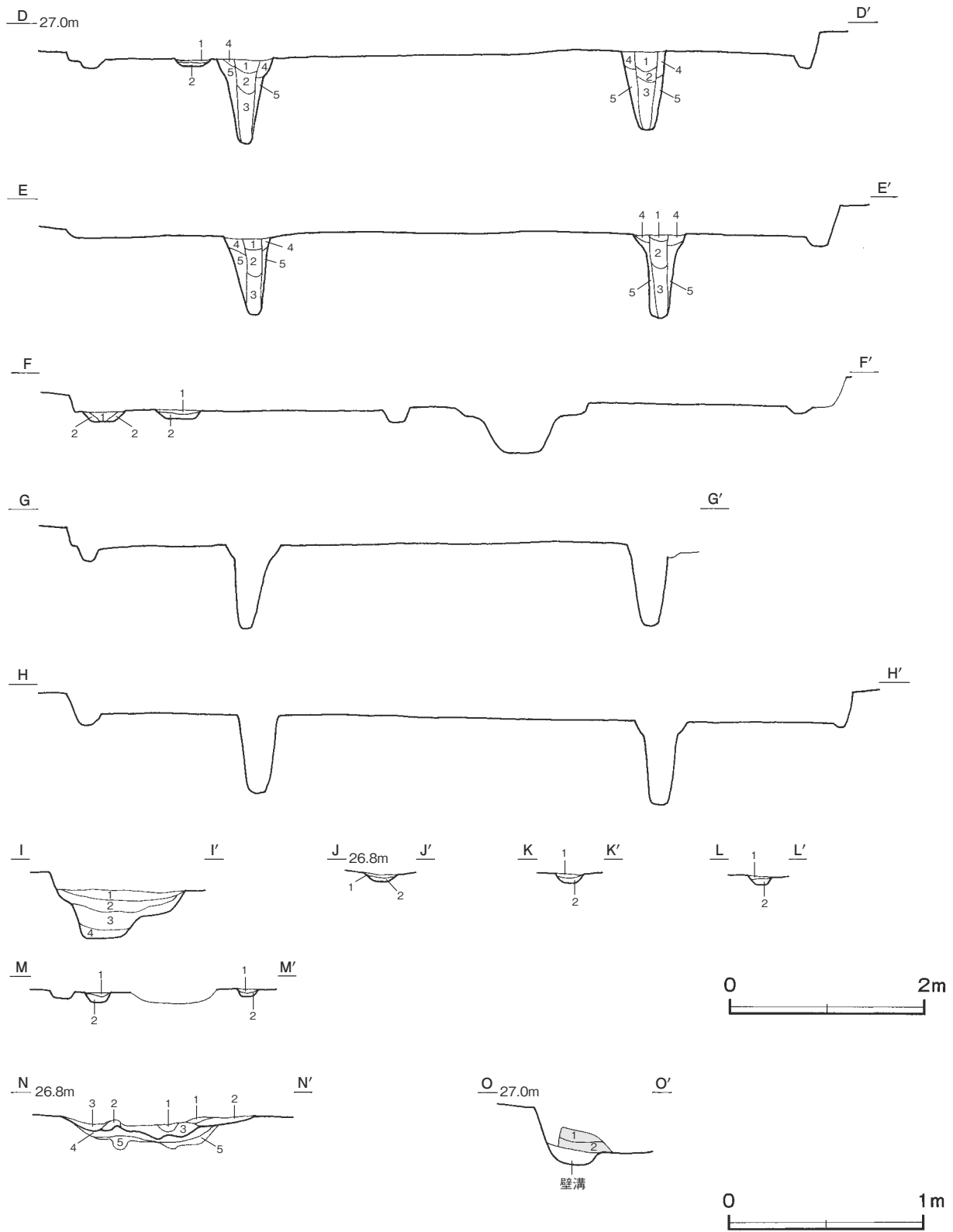
### 貯蔵穴土層解説

- |                      |                     |
|----------------------|---------------------|
| 1 黒褐色 炭化粒子少量         | 3 極暗褐色 ローム粒子・炭化粒子少量 |
| 2 黒褐色 炭化粒子少量、ローム粒子微量 | 4 暗褐色 ローム粒子少量       |

**覆土** 7層に分層できる。多くの層にロームブロックが含まれていることから、埋め戻されている。第8層は貼床の構築土である。



第 61 図 第 7 号竪穴建物跡実測図 (1)



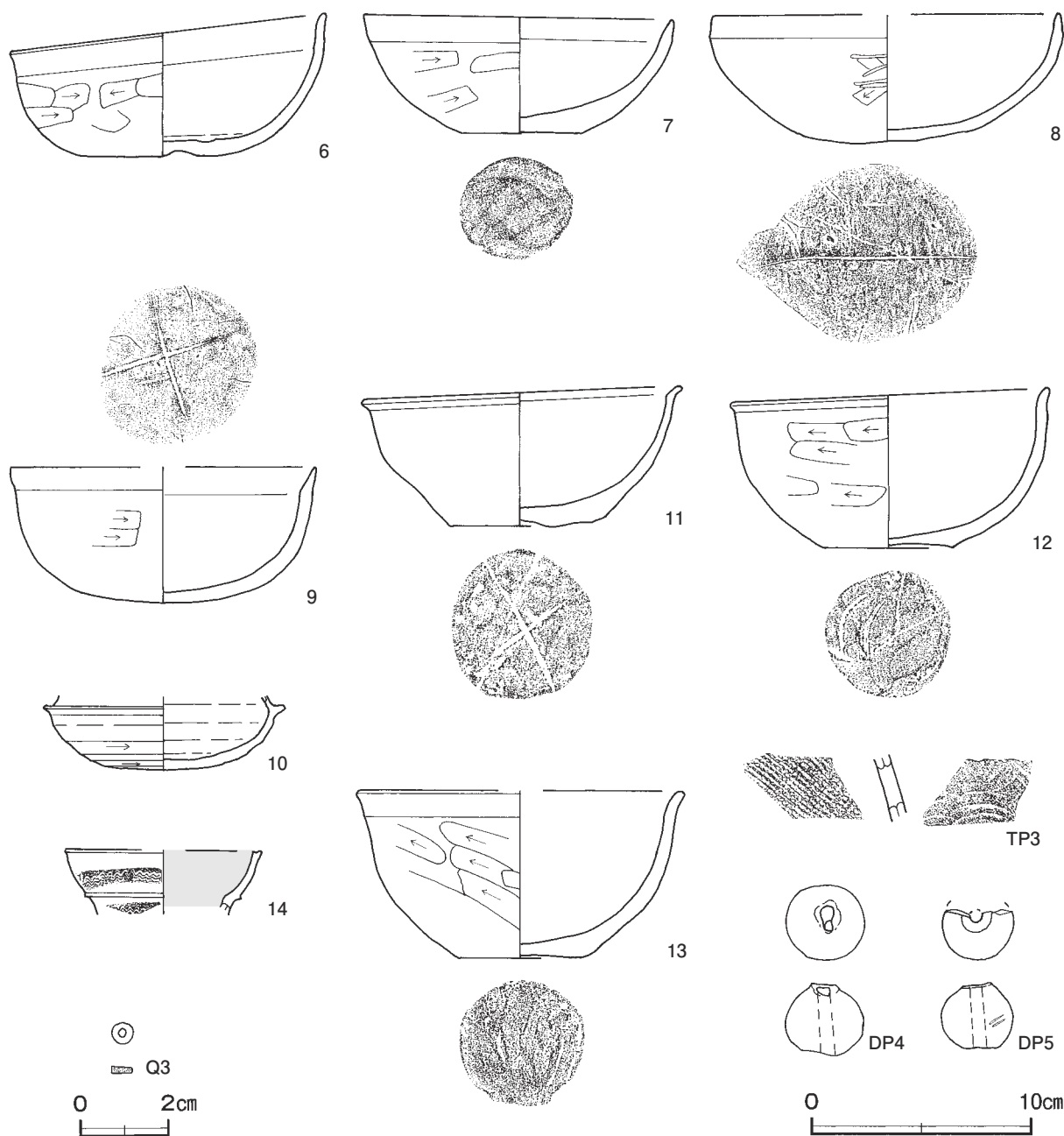
第62図 第7号竖穴建物跡実測図(2)

土層解説

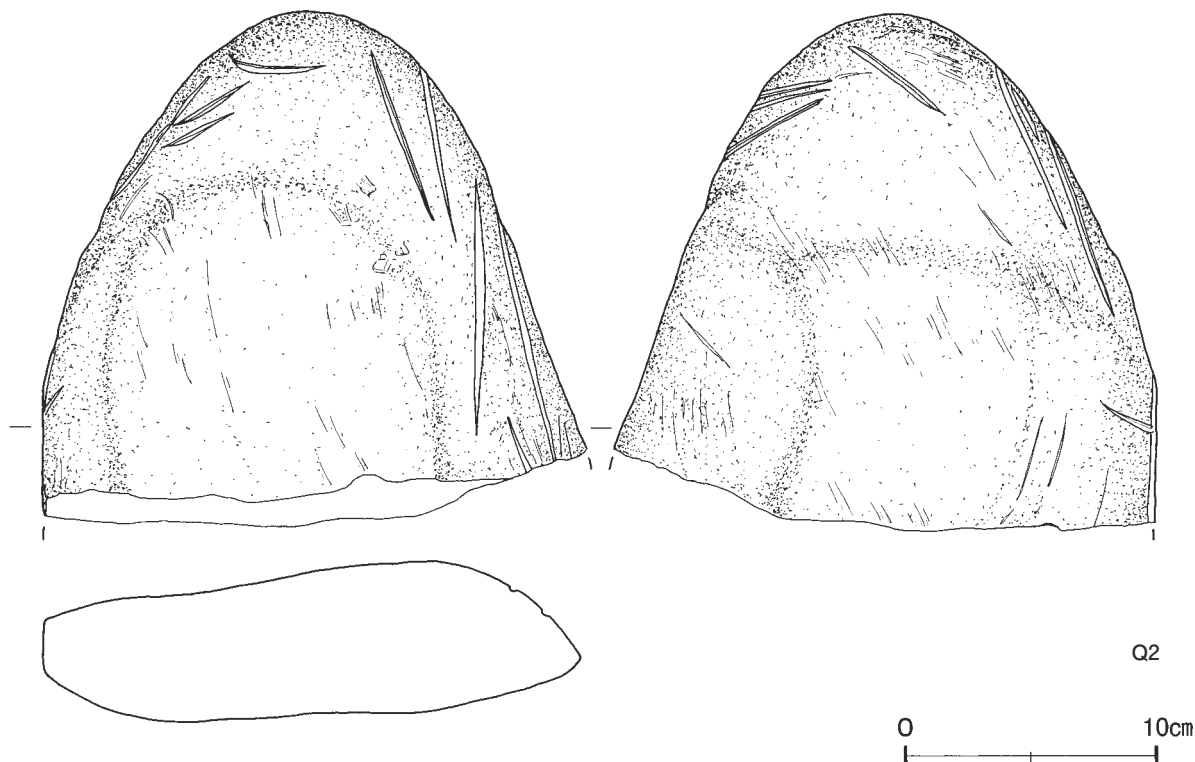
- |        |                     |       |                   |
|--------|---------------------|-------|-------------------|
| 1 暗褐色  | ロームブロック・炭化物・焼土粒子微量  | 5 黒褐色 | ロームブロック・焼土粒子少量    |
| 2 黒褐色  | 炭化物・ローム粒子中量, 焼土粒子微量 | 6 暗褐色 | ロームブロック少量, 炭化粒子微量 |
| 3 暗赤褐色 | 焼土粒子中量, ロームブロック微量   | 7 褐色  | ロームブロック少量         |
| 4 暗褐色  | ロームブロック・焼土粒子微量      | 8 褐色  | ロームブロック少量, 炭化粒子微量 |

**遺物出土状況** 土師器片 343 点（坏 96, 椀 3, 高坏 7, 鉢 2, 壺 1, 小形甕 1, 甕類 231, 甑 2）, 須恵器片 11 点（坏 7, 坏身 1, 甗 1, 甕 2）, 土製品 2 点（土玉）, 石器 1 点（石皿）, 石製品 1 点（白玉）, 金属製品 1 点（不明）のほか, 縄文土器片 1 点（深鉢）が, 覆土中の広い範囲から出土している。6・7・9・13・14 はいずれも貯蔵穴から出土している。12 は北西壁際, TP 3 は中央部, Q 2 は東部, 10・DP 4 は南東部のいずれも床面から出土している。11 は南東壁際の覆土下層から出土している。8 は東部の覆土中層, DP 5・Q 3 は覆土中からそれぞれ出土している。

**所見** 時期は, 出土土器や重複関係から, 5 世紀後葉に比定できる。壁溝の堆積土の上から焼土塊を確認していることや, 埋め戻し土に焼土が含まれていることなどから, 廃絶後一定の時間が経過してから, 堆積した窪地で火が用いられたと考えられる。



第 63 図 第 7 号竪穴建物跡出土遺物実測図 (1)



第64図 第7号竪穴建物跡出土遺物実測図(2)

第7号竪穴建物跡出土遺物観察表(第63・64図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
6	土師器	坏	14.2	6.4	-	長石・石英・雲母	明赤褐	普通	口縁部外・内面横ナデ 体部外面へら削り後ナデ 内面ナデ	貯蔵穴 覆土上層	80% PL59
7	土師器	坏	13.8	5.4	5.2	長石・石英・黒色粒子・赤色粒子	明赤褐	普通	口縁部外・内面横ナデ 体部外面へら削り後ナデ 内面ナデ	貯蔵穴 覆土上層	70% PL59
8	土師器	坏	[15.8]	(5.8)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	橙	普通	口縁部外・内面横ナデ 体部外面へら削り後へら磨き 内面ナデ 外面下部～底部線刻有り	覆土中層	50%
9	土師器	坏	[13.8]	6.2	-	長石・石英・赤色粒子	明赤褐	普通	口縁部外・内面横ナデ 体部外面へら削り後ナデ 内面ナデ 底部内面線刻「×」	貯蔵穴 覆土上層	30% PL78
10	須恵器	坏身	-	(3.4)	-	長石・石英・黒色粒子	灰	普通	ロクロナデ 体部下端・底部回転へら削り	床面	20% TK47
11	土師器	椀	14.4	6.3	6.4	長石・石英・赤色粒子	橙	普通	外・内面摩滅 底部線刻「×」	覆土下層	95% PL59
12	土師器	椀	14.3	7.3	5.7	長石・石英・赤色粒子	橙	普通	口縁部外・内面横ナデ 体部外面へら削り後ナデ 内面ナデ	床面	70% PL59
13	土師器	椀	[14.6]	7.6	6.0	長石・石英・砂粒	橙	普通	口縁部外・内面横ナデ 体部外面へら削り後ナデ 内面ナデ	貯蔵穴 覆土上層	50%
14	須恵器	甕	[8.9]	(2.9)	-	長石・石英・黒色粒子	オリーブ黒	普通	ロクロナデ 口縁部外面3本の櫛歯状工具による波状文 沈線文 頸部外面波状文	貯蔵穴 覆土上層	5%
TP 3	須恵器	甕	-	-	-	長石・石英	灰	普通	体部外面格子目状の叩き	床面	

番号	器種	径	厚さ	孔径	重量	胎土	色調	特徴	出土位置	備考
DP 4	土玉	3.5	3.3	0.4~1.2	38.2	長石・石英・雲母	橙	ナデ 二方向からの穿孔	床面	
DP 5	土玉	3.3	3.0	0.6	(21.2)	長石・石英	橙	一部欠損 ナデ 一方向からの穿孔	覆土中	

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
Q 2	石皿	(20.6)	(20.8)	(7.9)	(3.875)	砂岩	欠損 砥石として転用	床面	PL94

番号	器種	径	厚さ	孔径	重量	材質	特徴	出土位置	備考
Q 3	白玉	0.5	0.2	0.2	0.07	滑石	全面研磨 一方向からの穿孔	覆土中	PL96

## 第 12 号竪穴建物跡 (第 65・66 図)

**位置** 調査B区のE3b6区, 標高28mほどの台地平坦部に位置している。

**重複関係** 第233号土坑を掘り込み, 第198・213・214・220～222・227号土坑に掘り込まれている。

**規模と形状** 一辺7.20mほどの方形で, 主軸方向はN-20°-Wである。壁高は24～34cmで, 壁は外傾して立ち上がっている。

**床** 平坦な貼床で, 東部・西部の壁際を除いて踏み固められている。南壁の一部を除いた壁下には, 幅13～37cm, 深さ6～9cmで, 浅いU字形の壁溝が巡っている。貼床は, 全体をやや凹凸に掘り込み, ロームブロックを主体とする第9層を埋土して構築されている。床面から間仕切り溝2条を確認した。間仕切り溝1は, 東壁際の南寄りに位置し, 東壁と直交している。規模は, 長さ129cm, 幅19～21cm, 深さ10cmである。間仕切り溝2は, 南壁際の中央部に位置し, 南壁とほぼ直交している。規模は, 長さ124cm, 幅18～22cm, 深さ8cmである。2条とも断面は浅いU字状をしている。東部の床面に, 径20cmほどの焼土塊を確認した。

### 間仕切り溝土層解説 (各間仕切り溝共通)

- 1 褐色 ローム粒子中量, 炭化粒子微量

**炉** 中央部の北壁寄りに位置している。北東・南西軸98cm, 北西・南東軸83cmの不定形で, 床面を31cmほど掘りくぼめ, 第4～6層を埋土して構築した地床炉である。炉床面は火を受けて赤変硬化している。

### 炉土層解説

- |        |                         |       |                     |
|--------|-------------------------|-------|---------------------|
| 1 暗褐色  | ローム粒子中量, 焼土粒子微量         | 4 黒褐色 | 焼土ブロック微量            |
| 2 暗赤褐色 | 焼土粒子少量, ローム粒子微量         | 5 赤褐色 | 焼土ブロック中量, ローム粒子微量   |
| 3 暗赤褐色 | ロームブロック中量, 焼土ブロック・炭化物微量 | 6 暗褐色 | ロームブロック中量, 焼土ブロック微量 |

**ピット** 7か所。P1～P4は深さ49～56cmで, 規模と配置から主柱穴である。P5は深さ26cmで, 南壁際のほぼ中央に位置していることから, 出入口施設に伴うピットと考えられる。P6・P7は深さ12cm・27cmで, 性格不明である。

### ピット土層解説 (各ピット共通)

- |       |                   |        |                   |
|-------|-------------------|--------|-------------------|
| 1 暗褐色 | ロームブロック少量, 炭化粒子微量 | 8 暗褐色  | ロームブロック・炭化粒子少量    |
| 2 暗褐色 | ローム粒子中量           | 9 褐色   | ロームブロック中量         |
| 3 暗褐色 | ロームブロック少量         | 10 黒褐色 | ローム粒子・炭化粒子少量      |
| 4 暗褐色 | ロームブロック中量, 炭化粒子微量 | 11 黒褐色 | ローム粒子中量           |
| 5 褐色  | ローム粒子中量           | 12 黒褐色 | ロームブロック少量, 炭化粒子微量 |
| 6 暗褐色 | ローム粒子・焼土粒子・炭化粒子微量 | 13 黒褐色 | ロームブロック微量         |
| 7 暗褐色 | ローム粒子少量           | 14 黒褐色 | ローム粒子少量, 炭化粒子微量   |

**貯蔵穴** 2か所。貯蔵穴1は北東コーナー部に位置している。北部を第220号土坑に掘り込まれているため, 長径は116cmで, 短径は58cmしか確認できなかった。楕円形と推定でき, 深さ70cmである。底面は皿状で, 壁は外傾して立ち上がっている。貯蔵穴2は南壁際中央部の西寄りに位置している。長径69cm, 短径57cmの楕円形で, 深さ30cmである。壁は外傾して立ち上がっている。

### 貯蔵穴1土層解説

- |       |                   |       |           |
|-------|-------------------|-------|-----------|
| 1 褐色  | ロームブロック中量, 焼土粒子微量 | 3 黒褐色 | ロームブロック少量 |
| 2 黒褐色 | ローム粒子少量, 炭化粒子微量   | 4 褐色  | ローム粒子中量   |

### 貯蔵穴2土層解説

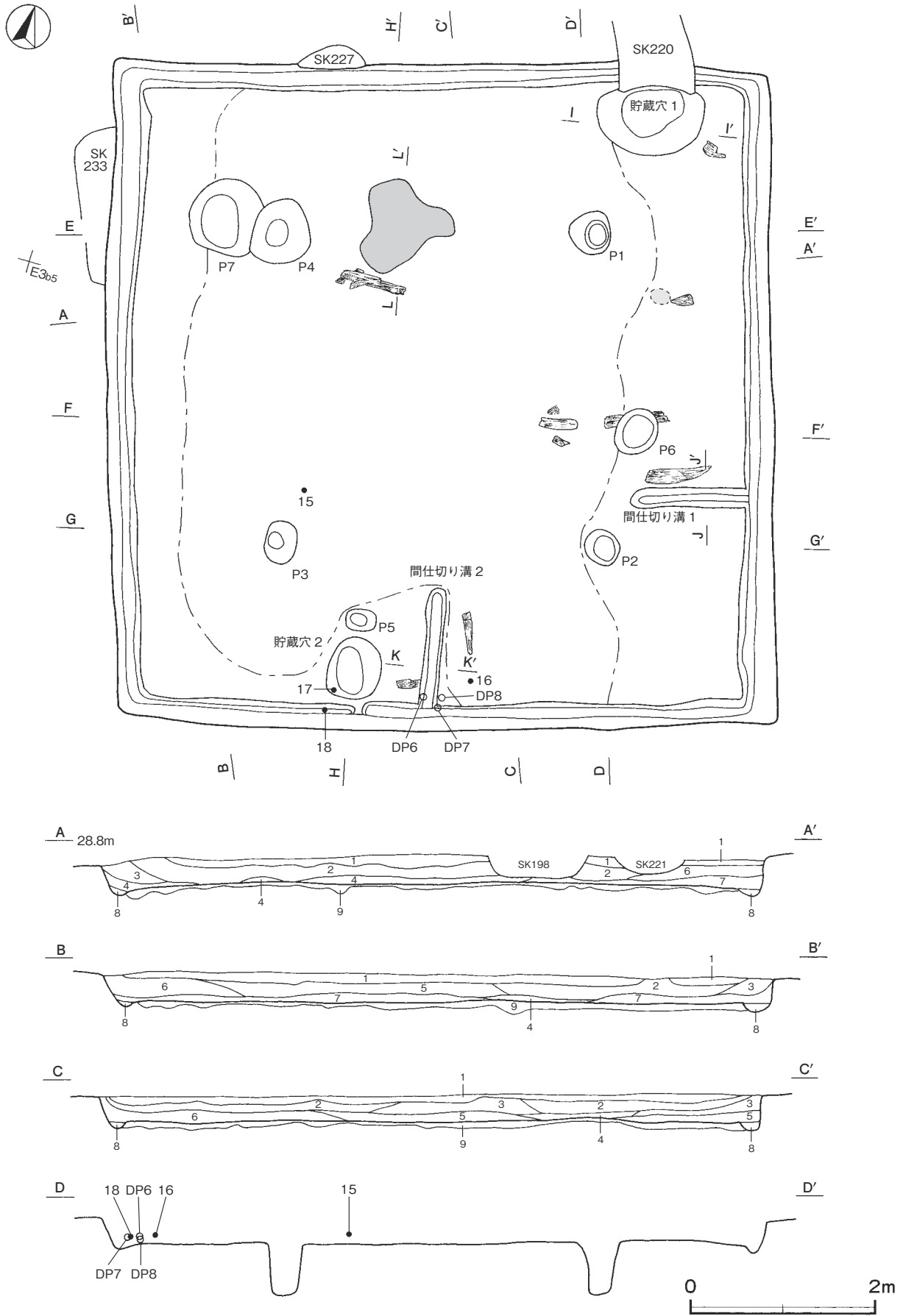
- |       |                 |       |                |
|-------|-----------------|-------|----------------|
| 1 暗褐色 | ローム粒子中量, 焼土粒子微量 | 3 暗褐色 | ロームブロック・炭化粒子少量 |
| 2 褐色  | ローム粒子中量         |       |                |

**覆土** 8層に分層できる。多くの層にロームブロックが含まれていることから, 埋め戻されている。第9層は貼床の構築土である。

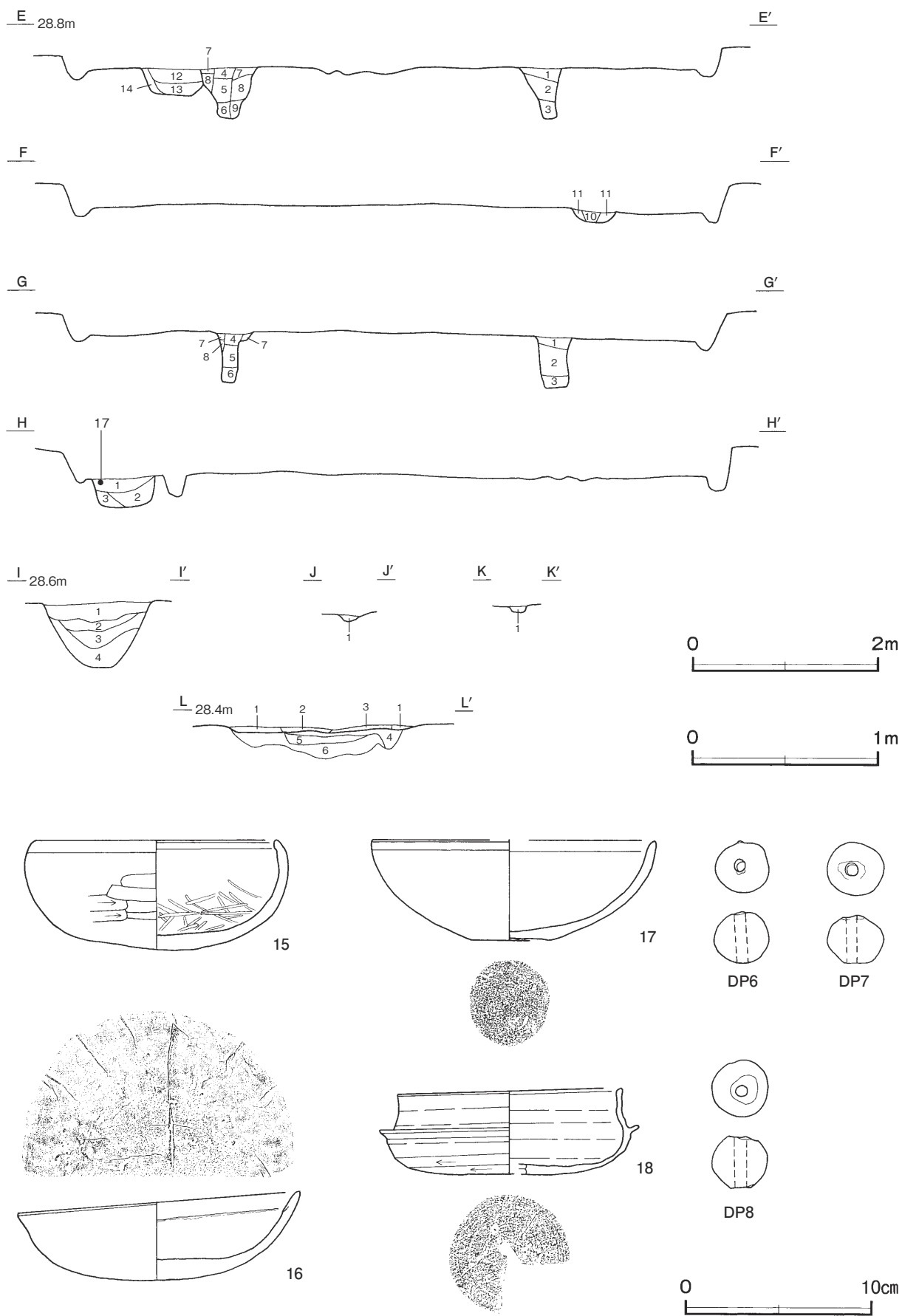
### 土層解説

- |       |                   |       |                       |
|-------|-------------------|-------|-----------------------|
| 1 褐色  | ロームブロック・炭化粒子少量    | 6 暗褐色 | 炭化物・ローム粒子少量, 焼土ブロック微量 |
| 2 暗褐色 | ロームブロック少量, 炭化粒子微量 | 7 暗褐色 | ロームブロック少量, 炭化物・焼土粒子微量 |
| 3 暗褐色 | ロームブロック・焼土粒子微量    | 8 褐色  | ロームブロック少量             |
| 4 暗褐色 | 焼土粒子少量, ローム粒子微量   | 9 褐色  | ロームブロック中量             |
| 5 暗褐色 | ロームブロック少量         |       |                       |





第 65 図 第 12 号竪穴建物跡実測図



第 66 图 第 12 号竖穴建物跡・出土遺物実測図

**遺物出土状況** 土師器片 156 点（坏 40，甕類 116），須恵器片 5 点（坏身 1，甕 4），土製品 5 点（土玉）が出土している。17 は貯蔵穴 2 の覆土上層から出土している。16・18・DP 6～DP 8 はいずれも南壁際，15 は中央部の覆土下層からそれぞれ出土している。

**所見** 時期は，出土土器や重複関係から 5 世紀後葉に比定できる。床面から炭化材を確認していることから，焼失住居の可能性があると判然としない。

第 12 号 竪穴建物跡出土遺物観察表（第 66 図）

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
15	土師器	坏	13.0	5.9	-	長石・石英	にぶい橙	普通	口縁部外・内面横ナデ 体部外面へラ削り後ナデ 内面ナデ後へラ磨き	覆土下層	100% PL59
16	土師器	坏	15.1	4.8	-	長石・石英・赤色粒子	橙	普通	外・内面ナデ 内面線刻有り	覆土下層	60% PL59
17	土師器	坏	[15.1]	5.4	4.3	長石・石英	明赤褐	普通	外・内面ナデ	貯蔵穴 2 覆土上層	40%
18	須恵器	坏身	12.0	4.7	6.6	長石・石英・黒色粒子	灰黄	普通	ロクロナデ 底部回転へラ削り	覆土下層	70% TK208 PL59

番号	器種	径	厚さ	孔径	重量	胎土	色調	特徴	出土位置	備考
DP 6	土玉	2.9	2.7	0.6	21.1	長石・石英	橙	ナデ 一方向からの穿孔	覆土下層	
DP 7	土玉	3.1	3.1	0.6	19.1	長石・石英	橙	ナデ 一方向からの穿孔	覆土下層	
DP 8	土玉	3.0	2.8	0.7	25.5	長石・石英	橙	ナデ 一方向からの穿孔	覆土下層	

第 18 号 竪穴建物跡（第 67～69 図）

**位置** 調査 D 区南部の G 5 b0 区，標高 28 m ほどの台地平坦部に位置している。

**重複関係** 第 19 号 竪穴建物跡を掘り込んでいる。

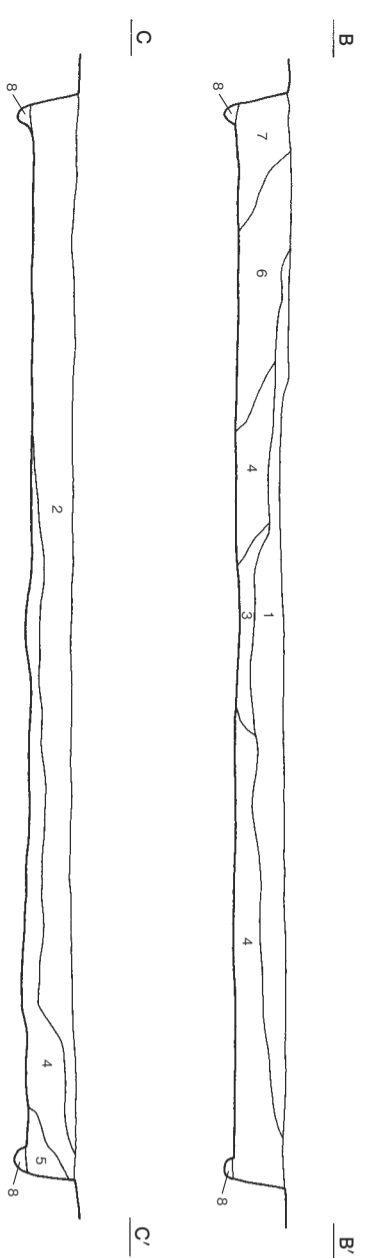
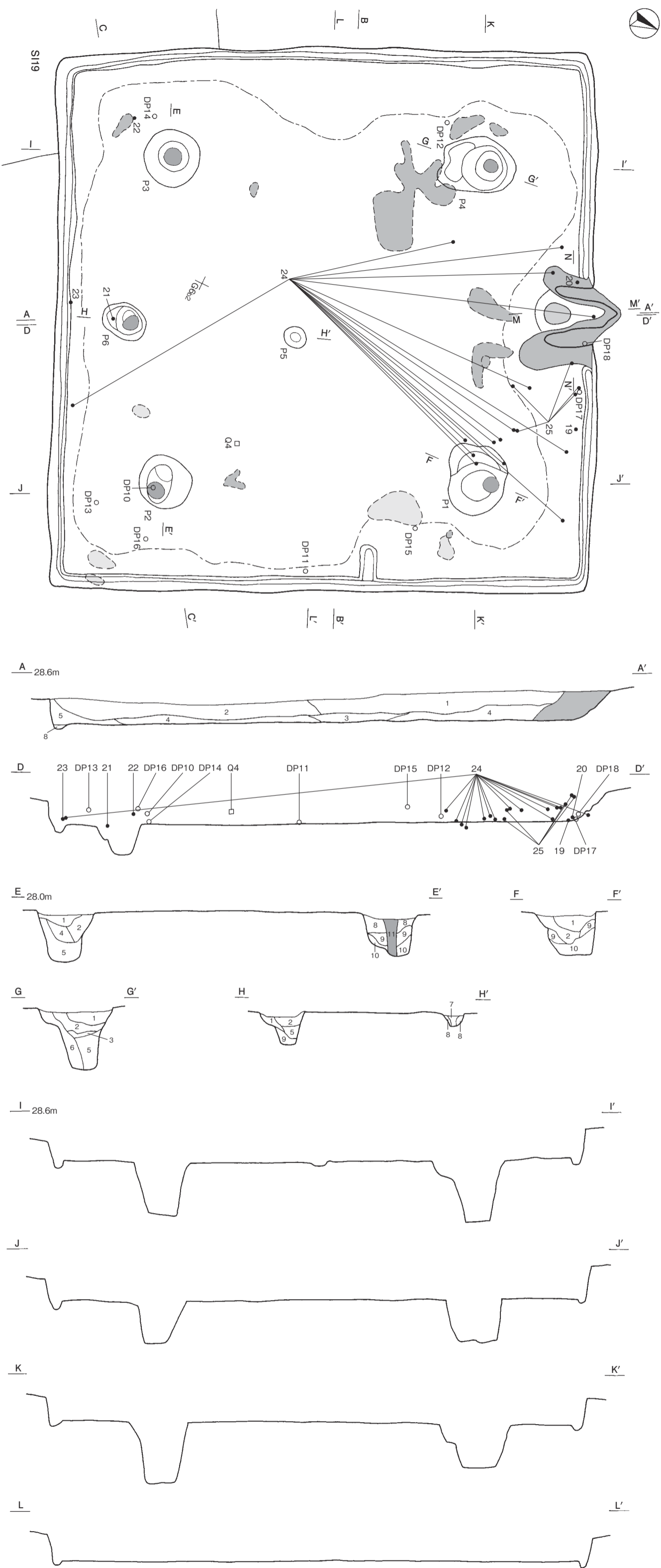
**規模と形状** 長軸 8.70 m，短軸 8.57 m の方形で，主軸方向は N - 26° - W である。壁は高さ 33～52cm で，直立している。

**床** 平坦で，壁際を除いて踏み固められている。壁下には壁溝が巡っている。北東壁の壁溝から中央部に向かって，幅 28cm，長さ 54cm，深さ 12cm の間仕切り溝を 1 条確認した。北部と東部の壁際から焼土，西部の床面から炭化材をそれぞれ確認した。

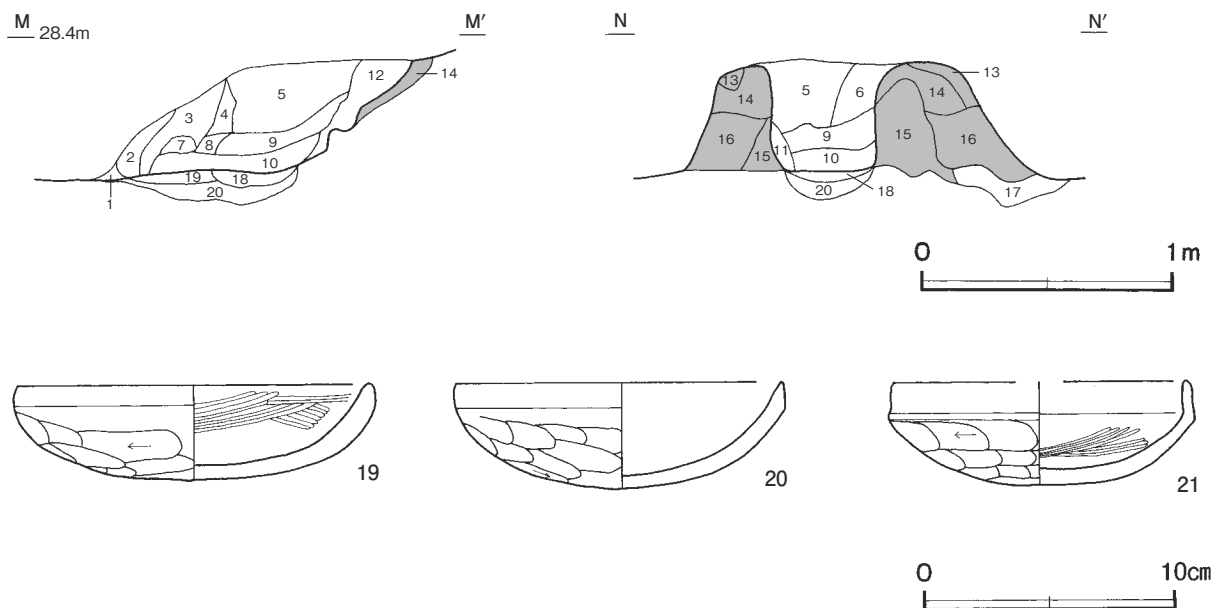
**竈** 北西壁中央部に付設されている。規模は焚口部から煙道部まで 140cm で，燃烧部幅は 57cm である。袖部は地山をわずかに掘り残し，その上に粘土粒子を主体とする第 13～16 層を積み上げて構築されている。火床部は床面を 10cm ほど掘り込み，ロームブロックを含む第 20 層を埋土して構築されており，火床面は火熱を受けて赤変硬化している。第 18・19 層は竈使用時の堆積土層である。煙道部は壁外に 45cm 掘り込まれ，火床部から外傾している。第 2・9 層は天井部の崩落土層である。20・DP18 は袖部の構築土下層から出土していることから，補強材として使用されたものと考えられる。

竈土層解説

- |          |                       |           |                       |
|----------|-----------------------|-----------|-----------------------|
| 1 黒色     | 炭化粒子多量，焼土粒子中量         | 11 にぶい黄褐色 | 焼土粒子・粘土粒子少量，炭化粒子微量    |
| 2 暗褐色    | ロームブロック・焼土粒子・炭化粒子少量   | 12 暗褐色    | ローム粒子・焼土粒子微量          |
| 3 にぶい黄褐色 | 粘土粒子中量，焼土粒子・炭化粒子微量    | 13 褐灰色    | 粘土粒子少量，ローム粒子微量        |
| 4 暗褐色    | ローム粒子・焼土粒子・炭化粒子微量     | 14 褐灰色    | 粘土粒子多量                |
| 5 暗褐色    | ロームブロック少量，焼土粒子・炭化粒子微量 | 15 褐灰色    | 焼土ブロック・粘土粒子中量，炭化粒子微量  |
| 6 にぶい黄褐色 | 焼土ブロック・粘土粒子微量         | 16 褐灰色    | 粘土粒子中量，ロームブロック・焼土粒子微量 |
| 7 暗褐色    | ロームブロック・炭化物・焼土粒子少量    | 17 黒褐色    | ロームブロック・焼土粒子微量        |
| 8 褐色     | ローム粒子・焼土粒子・炭化粒子微量     | 18 暗赤褐色   | 焼土ブロック多量，ロームブロック微量    |
| 9 灰黄褐色   | 粘土粒子中量，焼土粒子微量         | 19 黒褐色    | 焼土ブロック中量，炭化粒子少量       |
| 10 暗褐色   | 焼土粒子・炭化粒子少量，ローム粒子微量   | 20 褐色     | ロームブロック多量，焼土粒子・炭化粒子微量 |



第67图 第18号竖穴建物跡実測图



第 68 図 第 18 号竪穴建物跡・出土遺物実測図

ピット 6か所。P 1～P 4は深さ 62～91cmで、規模と配置から支柱穴である。第 1～7層は抜き取り後の堆積土，第 8～10層は埋土，第 11層は柱痕である。P 2では柱痕跡，P 1・P 3・P 4では柱抜き取り痕が確認できた。P 5は深さ 10cmで、配置から補助柱穴と考えられる。P 1～P 4・P 6の底面に、柱のあたりを確認した。P 6は深さ 34cmで、南東壁際の中央部に位置していることから、出入口施設に伴うピットと考えられる。

ピット土層解説 (各ピット共通)

- |          |                  |          |                  |
|----------|------------------|----------|------------------|
| 1 暗褐色    | ロームブロック少量，焼土粒子微量 | 7 黒褐色    | ロームブロック微量        |
| 2 暗褐色    | ロームブロック少量，炭化粒子微量 | 8 暗褐色    | ロームブロック中量，炭化粒子微量 |
| 3 黒褐色    | 炭化粒子中量，焼土粒子微量    | 9 にぶい黄褐色 | ロームブロック中量        |
| 4 黒褐色    | ロームブロック中量，焼土粒子微量 | 10 褐色    | ロームブロック中量        |
| 5 暗褐色    | ローム粒子微量          | 11 暗褐色   | ロームブロック少量        |
| 6 にぶい黄褐色 | ロームブロック微量        |          |                  |

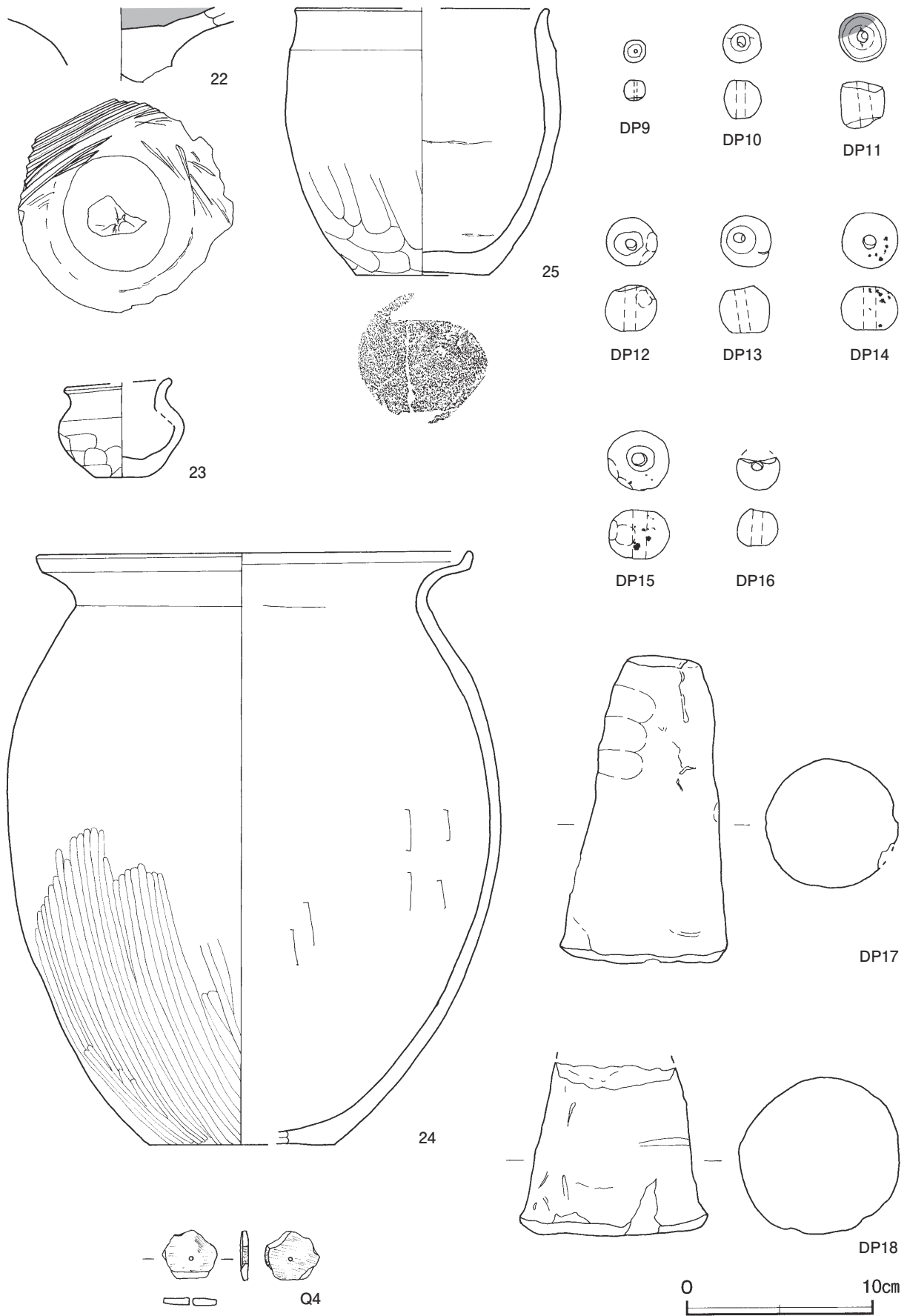
覆土 8層に分層できる。多くの層にロームブロックが含まれ、不規則な堆積状況を示していることから、埋め戻されている。

土層解説

- |        |                  |       |           |
|--------|------------------|-------|-----------|
| 1 暗褐色  | ロームブロック少量        | 5 褐色  | ローム粒子微量   |
| 2 暗褐色  | ロームブロック少量，炭化粒子微量 | 6 黒褐色 | ロームブロック少量 |
| 3 暗褐色  | ローム粒子微量          | 7 暗褐色 | ロームブロック中量 |
| 4 明褐灰色 | 焼土粒子・山砂少量        | 8 黒褐色 | ローム粒子微量   |

遺物出土状況 土師器片 756 点 (坏類 155, 椀 6, 高坏 21, 小形壺 1, 甕類 572, 小形甕 1), 土製品 15 点 (土玉 8, 管状土錘 4, 支脚 3), 石製品 1 点 (有孔円板) のほか、縄文土器片 159 点 (深鉢), 弥生土器片 7 点 (壺) が、全域の覆土中層から床面にかけて出土している。19・DP11・DP17 はほぼ完形で、床面からそれぞれ出土していることから、廃絶時に遺棄されたものとみられる。24 は広域に分散して出土した破片が接合していることから、破碎して投棄されたものとみられる。22 は南コーナー部，23 は南東壁際の覆土下層からそれぞれ出土していることから、埋め戻しの過程で廃棄されたものとみられる。

所見 時期は、6世紀後葉に比定できる第 19 号竪穴建物跡を掘り込んでいることや、出土土器から 7 世紀前葉に比定できる。



第 69 图 第 18 号竖穴建物迹出土遺物実測図

第 18 号竪穴建物跡出土遺物観察表（第 68・69 図）

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
19	土師器	坏	14.0	3.7	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい橙	普通	口縁部外・内面横ナデ 体部外面横位のヘラ削り 内面横位のヘラ磨き	床面	98% PL59
20	土師器	坏	12.9	4.2	-	長石・石英・赤色粒子	にぶい橙	普通	口縁部外・内面横ナデ 体部外面横位のヘラ削り 内面ナデ	竈袖部下層	98% PL59
21	土師器	坏	[11.7]	4.2	-	長石・石英	明黄褐	普通	口縁部外・内面横ナデ 体部外面横位のヘラ削り 内面横位のヘラ磨き	P 6 覆土上層	80%
22	土師器	高坏	-	(4.0)	-	長石・石英	にぶい橙	普通	内面ヘラ磨き 砥石転用 砥痕 6 条	覆土下層	10%
23	土師器	小形壺	[5.5]	5.3	2.8	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい橙	普通	口縁部外・内面横ナデ 体部外面ヘラ削り	覆土下層	85% PL60
24	土師器	甕	23.0	31.8	10.0	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい橙	普通	口縁部外・内面横ナデ 体部外面ヘラ磨き 内面ヘラナデ	P 1 覆土上層～覆土中層	70% PL60
25	土師器	小形甕	[13.4]	14.3	7.1	長石・石英	橙	普通	口縁部外・内面横ナデ 体部外面ヘラ削り 内面ヘラナデ 輪積痕	覆土下層～上層	40%

番号	器種	径	厚さ	孔径	重量	胎土	色調	特徴	出土位置	備考
DP 9	土玉	1.2	1.1	0.1	(1.68)	長石	橙	端部一部欠損 ナデ 一方向からの穿孔 片端部を平坦に成形	覆土中	
DP10	土玉	2.0	2.0	0.5	7.93	長石・石英	橙	ナデ 一方向からの穿孔 孔両端に擦痕	覆土中層	
DP11	土玉	2.4～2.6	2.5	0.6～0.8	(15.9)	長石・石英	にぶい橙	端部一部欠損 ナデ 一方向からの穿孔 孔両端に擦痕	床面	煤付着
DP12	土玉	2.7	2.5	0.6	16.3	長石・石英	橙	ナデ 一方向からの穿孔 片端部を平坦に成形 指頭痕	覆土下層	
DP13	土玉	2.7	2.5	0.6	(18.5)	長石・石英	橙	端部一部欠損 ナデ 一方向からの穿孔 片端部を平坦に成形	覆土中層	
DP14	土玉	3.0	2.3	0.7	22.8	長石・石英	明赤褐	ナデ 一方向からの穿孔 片端部を平坦に成形 黒斑有り	覆土下層	
DP15	土玉	3.3	2.7	0.7～0.8	29.5	長石・石英	明赤褐	ナデ 一方向からの穿孔 両端部を平坦に成形 黒斑有り 指頭痕	覆土中層	
DP16	土玉	2.3	2.0	0.6	(7.04)	長石・石英	橙	一部欠損 一方向からの穿孔	覆土中層	

番号	器種	高さ	最小径	最大径	重量	胎土	色調	特徴	出土位置	備考
DP17	支脚	16.6	4.1	9.1	(787)	長石・石英	橙	基部一部欠損 ヘラナデ 指頭痕 被熱痕	床面	
DP18	支脚	(9.3)	6.4	10.1	(640)	長石・石英・雲母	にぶい橙	上部欠損 ヘラナデ 被熱痕	竈袖部下層	

番号	器種	長さ	幅	厚さ	孔径	重量	材質	特徴	出土位置	備考
Q 4	有孔円板	2.6	3.0	0.4	0.15	5.11	滑石	端部欠損 全面研磨 孔 1 か所	覆土中層	PL97

第 19 号竪穴建物跡（第 70・71 図）

位置 調査D区南部の G 5 d0 区，標高 28 m ほどの台地平坦部に位置している。

重複関係 第 18 号竪穴建物，第 258・259 号土坑に掘り込まれている。

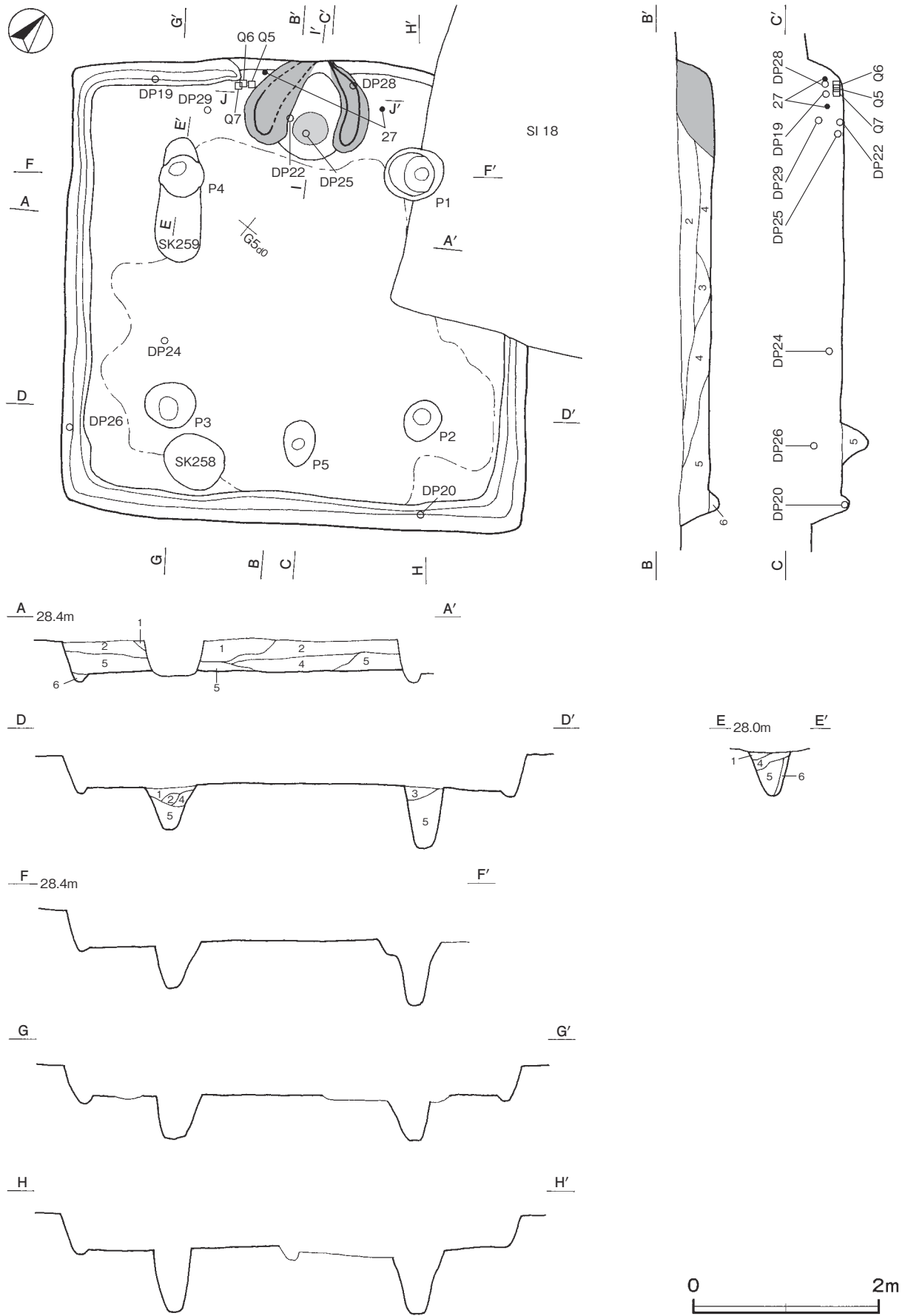
規模と形状 長軸 4.98 m，短軸 4.92 m の方形で，主軸方向は N - 38° - W である。壁は高さ 32 ～ 40cm で，ほぼ直立している。

床 平坦で，コーナー部を除いて壁際まで踏み固められている。壁下には壁溝が巡っている。

竈 北西壁中央部に付設されている。規模は焚口部から煙道部まで 108cm で，燃焼部幅は 53cm である。袖部は，床面から 8 ～ 15cm 掘りくぼめた部分に第 11 ～ 13 層を埋土して，粘土粒子を主体とする第 6 ～ 10 層を積み上げて構築されている。火床部は第 11 層上面を使用しており，火床面は火熱を受けて赤変硬化している。煙道部は壁外まで掘り込まれておらず，火床部から外傾している。

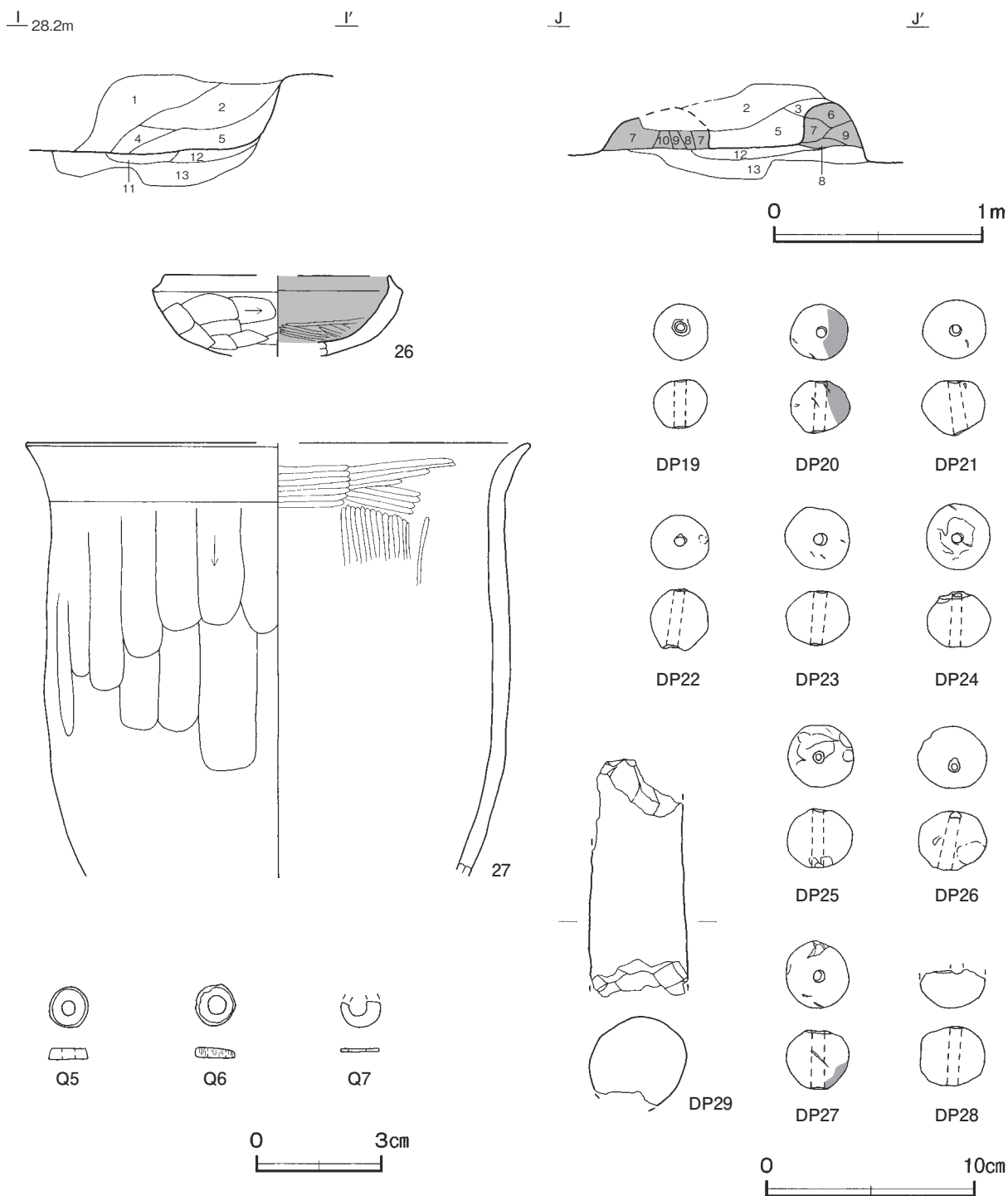
竈土層解説

- |           |                       |            |                     |
|-----------|-----------------------|------------|---------------------|
| 1 明 褐 色   | ロームブロック中量             | 8 灰 褐 色    | 粘土粒子中量，ローム粒子少量      |
| 2 明 褐 色   | ロームブロック多量             | 9 灰 褐 色    | ローム粒子・粘土粒子少量        |
| 3 明 褐 色   | ロームブロック中量，山砂少量        | 10 灰 褐 色   | 粘土粒子少量，ローム粒子・焼土粒子微量 |
| 4 灰 褐 色   | 焼土ブロック・炭化物中量          | 11 暗 赤 褐 色 | 焼土ブロック多量，炭化粒子微量     |
| 5 赤 褐 色   | ロームブロック・焼土粒子中量，炭化粒子微量 | 12 暗 褐 色   | ロームブロック中量，炭化粒子少量    |
| 6 明 褐 灰 色 | 粘土粒子多量，ロームブロック中量      | 13 褐 色     | ロームブロック多量           |
| 7 明 褐 灰 色 | 粘土粒子多量                |            |                     |



第70图 第19号竖穴建物迹实测图





第71図 第19号竪穴建物跡・出土遺物実測図

ピット 5か所。P 1～P 4は深さ43～68cmで、規模と配置から支柱穴である。第1～5層は抜き取り後の堆積土、第6層は埋土である。P 5は深さ27cmで、南東壁際の中央部に位置していることから、出入口施設に伴うピットと考えられる。

ピット土層解説 (各ピット共通)

- |       |                        |       |                   |
|-------|------------------------|-------|-------------------|
| 1 暗褐色 | ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子微量 | 4 暗褐色 | ロームブロック中量, 炭化粒子微量 |
| 2 明褐色 | ロームブロック中量              | 5 暗褐色 | ロームブロック中量         |
| 3 明褐色 | ロームブロック多量              | 6 褐色  | ロームブロック多量         |

**覆土** 6層に分層できる。多くの層にロームブロックが含まれ、周囲から一気に埋められた堆積状況を示している。

**土層解説**

1 暗褐色	ロームブロック少量	4 褐色	ロームブロック多量
2 褐色	ロームブロック少量	5 褐色	ローム粒子少量
3 褐色	ロームブロック中量	6 褐色	ロームブロック微量

**遺物出土状況** 土師器片 148点(坏24, 甕類123, 甌1), 須恵器片2点(甕), 土製品12点(土玉10, 管状土錘1, 支脚1), 石製品3点(白玉)のほか, 縄文土器片40点(深鉢)が, 北部の覆土中層から下層を中心に出土している。27は分散して出土した破片が接合していることから, 破碎して投棄されたものとみられる。Q5~Q7は北西壁際の覆土下層から出土していることから, 埋め戻しの過程で投棄されたものとみられる。

**所見** 時期は, 7世紀前葉に比定できる第18号竪穴建物に掘り込まれていることや, 出土土器から6世紀後葉に比定できる。

**第19号竪穴建物跡出土遺物観察表(第71図)**

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
26	土師器	坏	[10.8]	(3.9)	-	長石・石英	にぶい黄橙	普通	口縁部外・内面横ナデ 体部外面横位のヘラ削り 内面ヘラ磨き	覆土中	20%
27	土師器	甌	[24.0]	(20.9)	-	長石・石英・赤色粒子	橙	普通	口縁部外面横ナデ・内面横位のヘラ磨き 体部外面縦位のヘラ削り 内面ヘラ磨き	覆土中層	20%

番号	器種	径	厚さ	孔径	重量	胎土	色調	特徴	出土位置	備考
DP19	土玉	2.2	2.3	0.5	(13.0)	長石・石英	にぶい橙	端部一部欠損 ナデ 一方向からの穿孔	覆土中層	
DP20	土玉	2.8	2.5	0.5	16.5	長石・石英・雲母	にぶい橙	ナデ 一方向からの穿孔	壁溝覆土中	煤付着
DP21	土玉	3.0	2.5	0.5~0.6	(18.2)	長石・石英・雲母	にぶい橙	端部一部欠損 ナデ 一方向からの穿孔	覆土中	
DP22	土玉	2.8	3.0	0.5	17.7	長石・雲母	にぶい橙	ナデ 一方向からの穿孔	覆土下層	
DP23	土玉	3.1	2.6	0.5	(20.8)	長石・雲母	にぶい橙	端部一部欠損 ナデ 一方向からの穿孔	覆土中	
DP24	土玉	3.1	2.6	0.5	23.2	長石・雲母	にぶい橙	ナデ 一方向からの穿孔 端部を平坦に成形 孔両端に擦痕	覆土中層	
DP25	土玉	3.1	2.8	0.5	(23.0)	長石・雲母	にぶい橙	一部欠損 ナデ 一方向からの穿孔	覆土下層	
DP26	土玉	3.3	2.8	0.5	24.2	長石・石英・雲母	にぶい橙	ナデ 一方向からの穿孔 指頭痕	覆土上層	
DP27	土玉	3.0	2.8	0.5	(23.2)	長石・石英・雲母	にぶい橙	一部欠損 ナデ 一方向からの穿孔 片端部を平坦に成形	覆土中	煤付着
DP28	土玉	(3.1)	2.8	(0.5)	(13.5)	長石・石英・雲母	にぶい橙	欠損 ナデ 穿孔痕	覆土中層	

番号	器種	高さ	最小径	最大径	重量	胎土	色調	特徴	出土位置	備考
DP29	支脚	(11.4)	4.1	4.7	(195)	長石・石英・雲母	にぶい橙	欠損 ヘラナデ 被熱痕	覆土中層	

番号	器種	径	厚さ	孔径	重量	材質	特徴	出土位置	備考
Q5	白玉	0.91	0.26	0.28	0.33	滑石	全面研磨調整 側面が直線的な円筒状 一方向からの穿孔	覆土下層	PL96
Q6	白玉	0.96	0.25	0.44	(0.20)	滑石	一部欠損 両面平滑 円筒状 一方向からの穿孔	覆土下層	PL96
Q7	白玉	0.91	0.10	0.46	(0.06)	滑石	欠損 全面研磨調整	覆土下層	

**第21号竪穴建物跡(第72・73図)**

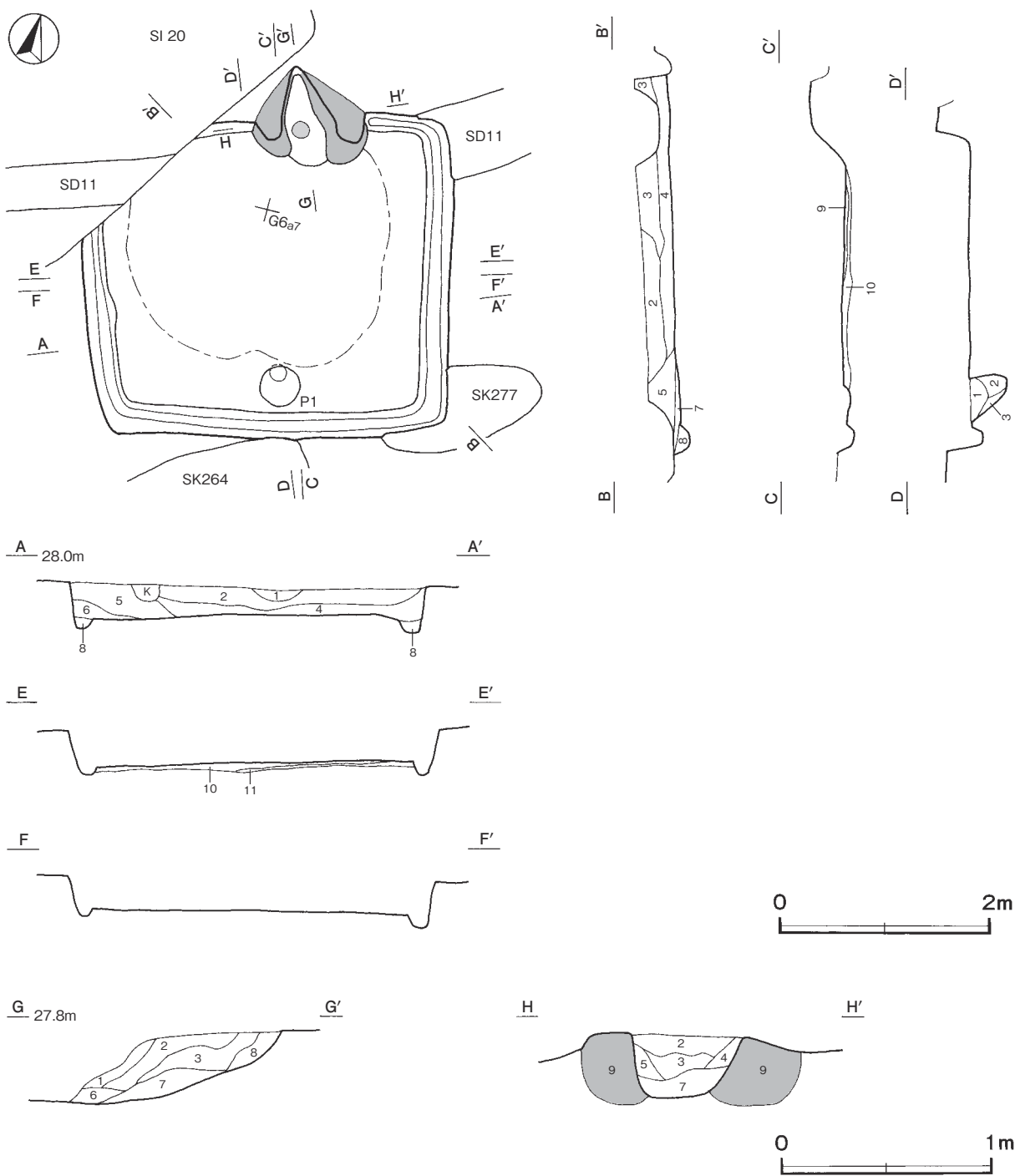
**位置** 調査D区南部のG6a7区, 標高28mほどの台地平坦部に位置している。

**重複関係** 第20号竪穴建物, 第264・277号土坑, 第11号溝に掘り込まれている。

**規模と形状** 長軸3.51m, 短軸3.10mの長方形で, 主軸方向はN-15°-Wである。壁は高さ30~34cmで, 直立している。

**床** 平坦な貼床で、中央部が踏み固められている。貼床は、ローム粒子を含む第9～11層を埋土して構築されている。壁下には壁溝が巡っている。

**竈** 北壁東寄りに付設されている。規模は焚口部から煙道部まで94cmで、 燃烧部幅は37cmである。袖部は床面と同じ高さの地山の上に、粘土粒子を主体とする第9層を積み上げて構築されている。火床部は床面とほぼ同じ高さを使用しており、火床面は火熱を受けて赤変硬化している。煙道部は壁外に50cm掘り込まれ、火床部から外傾している。



第72図 第21号竪穴建物跡実測図

**竈土層解説**

- |                                  |                               |
|----------------------------------|-------------------------------|
| 1  におい黄褐色 粘土粒子少量, ローム粒子微量        | 6  黒褐色 焼土粒子・炭化粒子微量            |
| 2  暗褐色 ローム粒子・焼土粒子微量              | 7  黒褐色 焼土ブロック・炭化粒子少量, ローム粒子微量 |
| 3  暗褐色 焼土ブロック少量, ローム粒子・炭化粒子微量    | 8  におい黄褐色 ロームブロック・焼土粒子微量      |
| 4  におい黄褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子・粘土粒子微量 | 9  灰黄褐色 粘土粒子多量, 焼土粒子微量        |
| 5  黒褐色 焼土ブロック少量, 炭化粒子微量          |                               |

**ピット** P1は深さ35cmで、南壁際の中央部に位置していることから、出入り口施設に伴うピットと考えられる。

**ピット土層解説**

- |                     |                 |
|---------------------|-----------------|
| 1  暗褐色 ロームブロック微量    | 3  褐色 ロームブロック微量 |
| 2  におい黄褐色 ロームブロック微量 |                 |

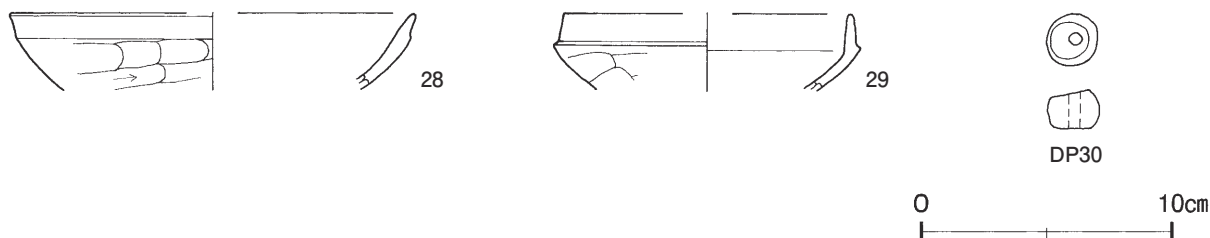
**覆土** 8層に分層できる。多くの層にロームブロックが含まれ、周囲から一気に埋められた堆積状況を示している。第9～11層は貼床の構築土である。

**土層解説**

- |                             |                      |
|-----------------------------|----------------------|
| 1  灰黄褐色 粘土粒子少量, 焼土粒子微量      | 7  褐色 ロームブロック中量      |
| 2  暗褐色 ロームブロック中量, 焼土粒子微量    | 8  暗褐色 ローム粒子・焼土粒子微量  |
| 3  暗褐色 ロームブロック微量            | 9  黒褐色 ローム粒子・炭化粒子少量  |
| 4  におい黄褐色 ロームブロック中量, 炭化粒子微量 | 10  暗褐色 ロームブロック中量    |
| 5  暗褐色 ローム粒子微量              | 11  におい黄褐色 ロームブロック中量 |
| 6  褐色 ロームブロック・炭化粒子微量        |                      |

**遺物出土状況** 土師器片106点(坏類23, 甕類83), 須恵器片2点(坏, 甕), 土製品1点(土玉)のほか、縄文土器片4点(深鉢)が、覆土中から出土している。

**所見** 時期は、8世紀後葉に比定できる第20号竪穴建物に掘り込まれていることや、出土土器から6世紀中葉に比定できる。



**第73図** 第21号竪穴建物跡出土遺物実測図

第21号竪穴建物跡出土遺物観察表(第73図)

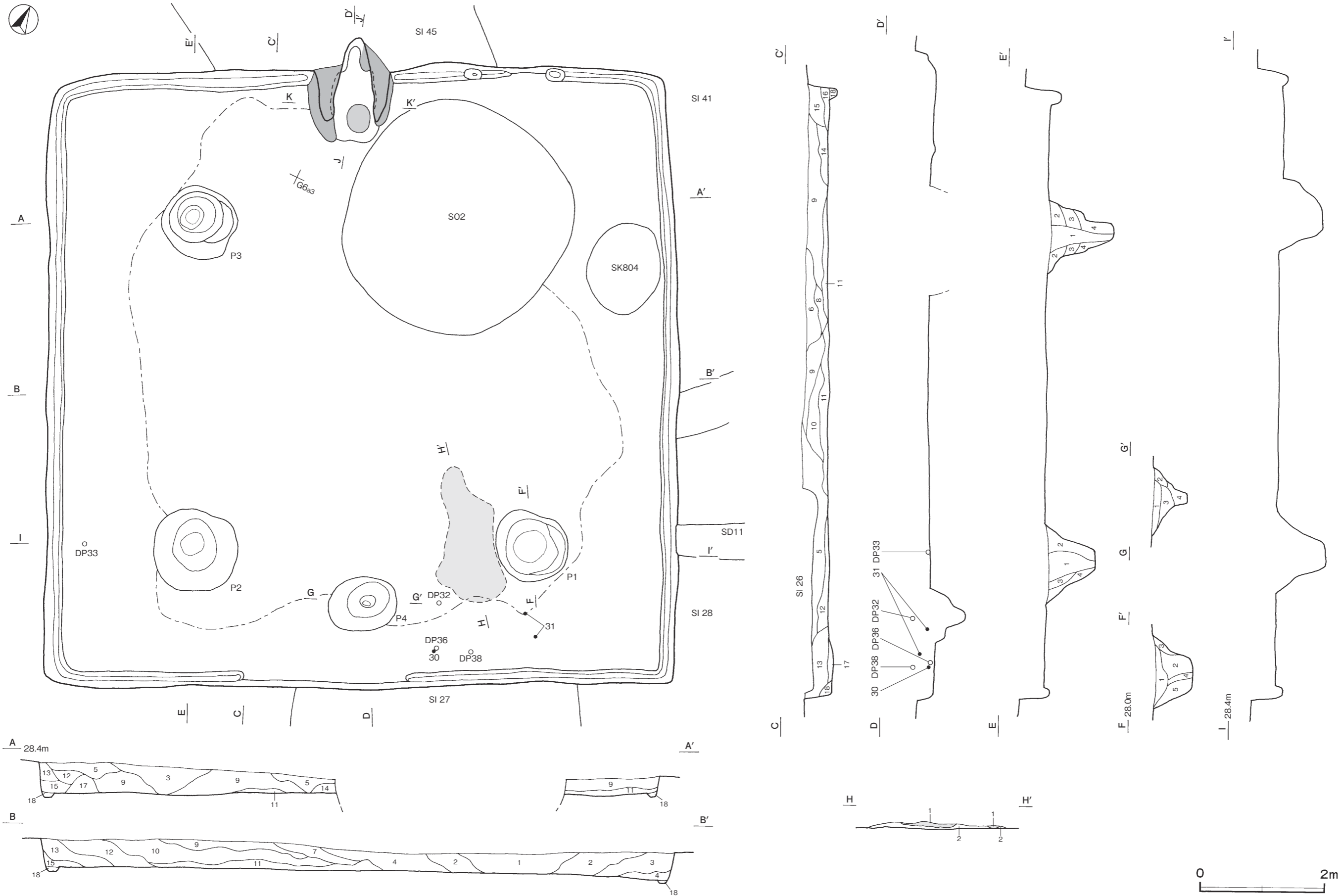
番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
28	土師器	坏	[16.0]	(3.0)	-	長石・石英	灰黄褐	普通	体部外面横位のヘラ削り 内面ヘラナデ	覆土中	5%
29	土師器	坏	[11.4]	(3.0)	-	長石・石英	におい黄橙	普通	口縁部外・内面横ナデ 体部外面ヘラ削り	覆土中	5%

番号	器種	径	厚さ	孔径	重量	胎土	色調	特徴	出土位置	備考
DP30	土玉	2.0	1.5	0.5	(6.27)	長石・石英	橙	端部一部欠損 ナデ 一方向からの穿孔 片端部を平坦に成形	覆土中	

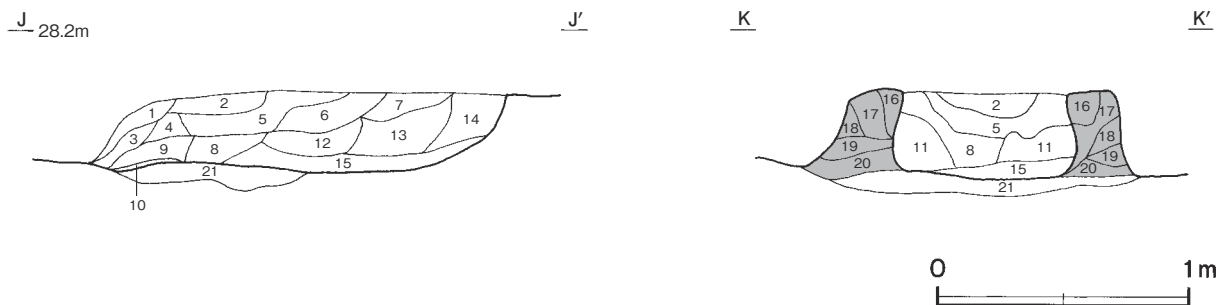
**第25号竪穴建物跡(第74～76図)**

**位置** 調査B区南部のG6a3区、標高28mほどの台地平坦部に位置している。

**重複関係** 第27・28・41・45号竪穴建物跡、第354・355号土坑を掘り込み、第26号竪穴建物、第2号大型円形土坑、第804号土坑、第11号溝に掘り込まれている。



第74図 第25号竖穴建物跡実測図(1)



第 75 図 第 25 号竪穴建物跡実測図 (2)

**規模と形状** 長軸 10.22 m，短軸 9.92 m の方形で，主軸方向は N - 26° - W である。壁は高さ 22 ~ 42cm で，直立している。

**床** 平坦で，壁際を除いて踏み固められている。南東壁の一部を除き，壁下には壁溝が巡っている。南東部に焼土を確認した。床面から浮いた状態で堆積していることから，廃絶後に投げ込まれたものと考えられる。

**焼土塊土層解説**

- 1 暗褐色 焼土ブロック中量，ローム粒子・炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ローム粒子・焼土粒子・炭化粒子微量

**竈** 北西壁中央部に付設されている。規模は焚口部から煙道部まで 171cm で，燃焼部幅は 66cm である。袖部は，床面から 5 ~ 18cm 掘りくぼめた部分に第 21 層を埋土して，粘土粒子を主体とする第 16 ~ 20 層を積み上げて構築されている。火床部は第 21 層上面を使用しており，火床面は火熱を受けて赤変硬化している。煙道部は壁外に 53cm 掘り込まれ，火床部から外傾している。

**電土層解説**

- 1 暗褐色 焼土ブロック少量，ローム粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック中量，焼土ブロック少量
- 3 暗褐色 ローム粒子・焼土粒子微量
- 4 にぶい赤褐色 焼土ブロック・粘土粒子多量
- 5 にぶい黄褐色 ローム粒子・焼土粒子微量
- 6 暗褐色 粘土粒子多量，ローム粒子・焼土粒子少量
- 7 黒褐色 粘土粒子多量，ローム粒子・焼土粒子微量
- 8 暗褐色 ロームブロック・焼土粒子中量
- 9 暗赤褐色 焼土ブロック多量
- 10 赤褐色 焼土ブロック多量
- 11 暗褐色 焼土ブロック多量，ローム粒子微量
- 12 暗赤褐色 焼土ブロック中量，ローム粒子少量
- 13 にぶい黄褐色 ローム粒子少量，焼土粒子微量
- 14 暗褐色 ロームブロック・焼土ブロック中量
- 15 暗褐色 ロームブロック少量
- 16 暗褐色 ロームブロック・焼土粒子・粘土粒子少量
- 17 暗褐色 ロームブロック・粘土粒子少量
- 18 黒褐色 粘土粒子少量，焼土ブロック微量
- 19 にぶい黄褐色 ローム粒子・焼土粒子少量，粘土粒子微量
- 20 暗褐色 ロームブロック中量，粘土粒子少量
- 21 暗褐色 ローム粒子多量

**ピット** 4 か所。P 1 ~ P 3 は深さ 56 ~ 72cm で，規模と配置から支柱穴である。第 1・2 層は抜き取り後の堆積土，第 3 ~ 5 層は埋土である。P 4 は深さ 53cm で，南東壁際の中央部に位置していることから，出入口施設に伴うピットと考えられる。

**ピット土層解説 (各ピット共通)**

- 1 暗褐色 ロームブロック中量
- 2 暗褐色 ロームブロック・焼土ブロック少量
- 3 にぶい黄褐色 ロームブロック微量
- 4 褐色 ローム粒子微量
- 5 褐色 ロームブロック中量，焼土粒子微量

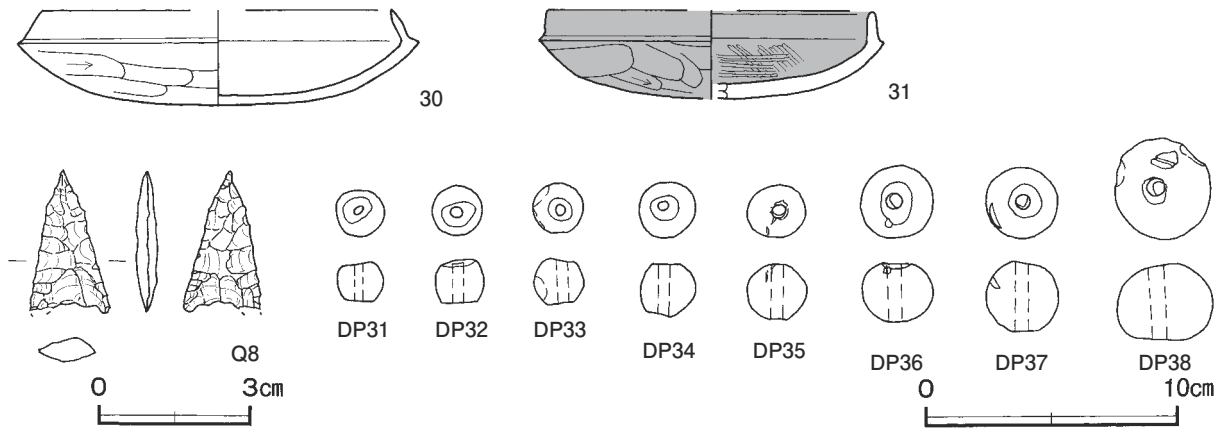
**覆土** 18 層に分層できる。多くの層にロームブロックが含まれ，不規則な堆積状況を示していることから，埋め戻されている。

**土層解説**

- 1 暗褐色 ロームブロック中量，炭化粒子微量
- 2 暗褐色 焼土ブロック・ローム粒子少量，粘土粒子微量
- 3 暗褐色 ロームブロック微量
- 4 黒褐色 ロームブロック少量，炭化粒子微量
- 5 暗褐色 ロームブロック少量，炭化粒子微量
- 6 暗褐色 ロームブロック中量
- 7 にぶい黄褐色 ロームブロック中量，焼土粒子微量
- 8 暗褐色 ロームブロック少量
- 9 暗褐色 ロームブロック中量，焼土粒子・炭化粒子微量
- 10 暗褐色 ロームブロック・焼土粒子微量
- 11 にぶい黄褐色 ロームブロック中量
- 12 褐色 ロームブロック微量
- 13 暗褐色 ローム粒子・焼土粒子微量
- 14 暗褐色 ローム粒子微量
- 15 黒褐色 ロームブロック少量
- 16 暗褐色 ローム粒子・炭化粒子微量
- 17 にぶい黄褐色 ロームブロック少量，炭化粒子微量
- 18 褐色 ローム粒子微量

**遺物出土状況** 土師器片 892 点（坏類 263，蓋 4，高坏 20，甕類 599，甌 5，手捏土器 1），土製品 13 点（土玉 11，紡錘車 2），石器 1 点（鎌），鉄滓 1 点のほか，縄文土器片 170 点（深鉢）が，南部の覆土中層から下層を中心に出土している。30 は南東壁際の覆土下層から出土していることから，埋め戻す過程で投棄されたものと考えられる。31 は覆土上層から中層にかけて出土した破片が接合していることから，破碎後に投棄されたものと考えられる。

**所見** 時期は，6 世紀後葉に比定できる第 28 号竪穴建物跡を掘り込んでいることや，出土土器から 7 世紀前葉に比定できる。



第 76 図 第 25 号竪穴建物跡出土遺物実測図

第 25 号竪穴建物跡出土遺物観察表（第 76 図）

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
30	土師器	坏	[14.0]	3.7	-	長石・石英	灰黄褐	普通	体部外面横位のヘラ削り 内面ヘラナデ	覆土下層	50%
31	土師器	坏	[12.9]	3.5	-	長石・石英	褐灰	普通	口縁部外・内面横ナデ 体部外面ヘラ削り 内面ヘラ磨き	覆土中層～上層	40%

番号	器種	径	厚さ	孔径	重量	胎土	色調	特徴	出土位置	備考
DP31	土玉	1.9	1.5	0.4	5.91	長石・石英	明赤褐	ナデ 一方向からの穿孔 両端部を平坦に成形	覆土中	
DP32	土玉	1.9	1.7	0.4	6.47	石英	にぶい黄橙	ナデ 一方向からの穿孔 両端部を平坦に成形	覆土上層	
DP33	土玉	2.0	1.8	0.4	6.62	長石・石英	橙	ナデ 一方向からの穿孔 指頭痕	覆土下層	
DP34	土玉	2.2	2.1	0.4~0.5	10.3	長石・石英	橙	ナデ 一方向からの穿孔 片端部を平坦に成形	覆土中	
DP35	土玉	2.1~2.3	2.2	0.5	10.5	長石・石英	橙	ナデ 一方向からの穿孔 孔両端に擦痕	覆土中	
DP36	土玉	2.8~2.9	2.3	0.5~0.6	19.7	長石・石英	橙	ナデ 一方向からの穿孔 両端部を平坦に成形	覆土下層	
DP37	土玉	2.8~2.9	2.2	0.5	21.5	長石・石英	にぶい黄橙	ナデ 一方向からの穿孔 両端部を平坦に成形	覆土中	
DP38	土玉	3.8~3.9	3.0	0.6~0.7	44.7	長石・石英	にぶい黄橙	ナデ 一方向からの穿孔 片端部を平坦に成形	覆土上層	

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材料	特徴	出土位置	備考
Q8	鎌	(2.8)	1.6	0.5	(1.32)	チャート	両面押圧剥離 片側脚部欠損	覆土中	PL94

**第 27 号竪穴建物跡（第 77・78 図）**

**位置** 調査D区南部のG 6 b4 区，標高 28 m ほどの台地平坦部に位置している。

**重複関係** 第 25・28・29 号竪穴建物に掘り込まれている。

**規模と形状** 北西部が第 25 号竪穴建物，南部が第 29 号竪穴建物，北東部が第 28 号竪穴建物に掘り込まれて

いるため、南西・北東軸は5.92 mで、北西・南東軸は2.30 mしか確認できなかった。平面形は方形あるいは長方形と推定できるが、主軸方向は不明である。壁は高さ14cmで、ほぼ直立している。

**床** 平坦で、中央部が踏み固められている。確認できた壁下には壁溝が巡っている。

**ピット** 2か所。P1は深さ53cmで、規模と配置から支柱穴である。P2は深さ25cmで、規模と配置から補助支柱穴と考えられる。

**ピット土層解説 (各ピット共通)**

- |                    |                  |
|--------------------|------------------|
| 1 黒褐色 ロームブロック少量    | 4 にぶい黄褐色 ローム粒子微量 |
| 2 褐色 ロームブロック中量     | 5 暗褐色 ロームブロック微量  |
| 3 にぶい黄褐色 ロームブロック中量 |                  |

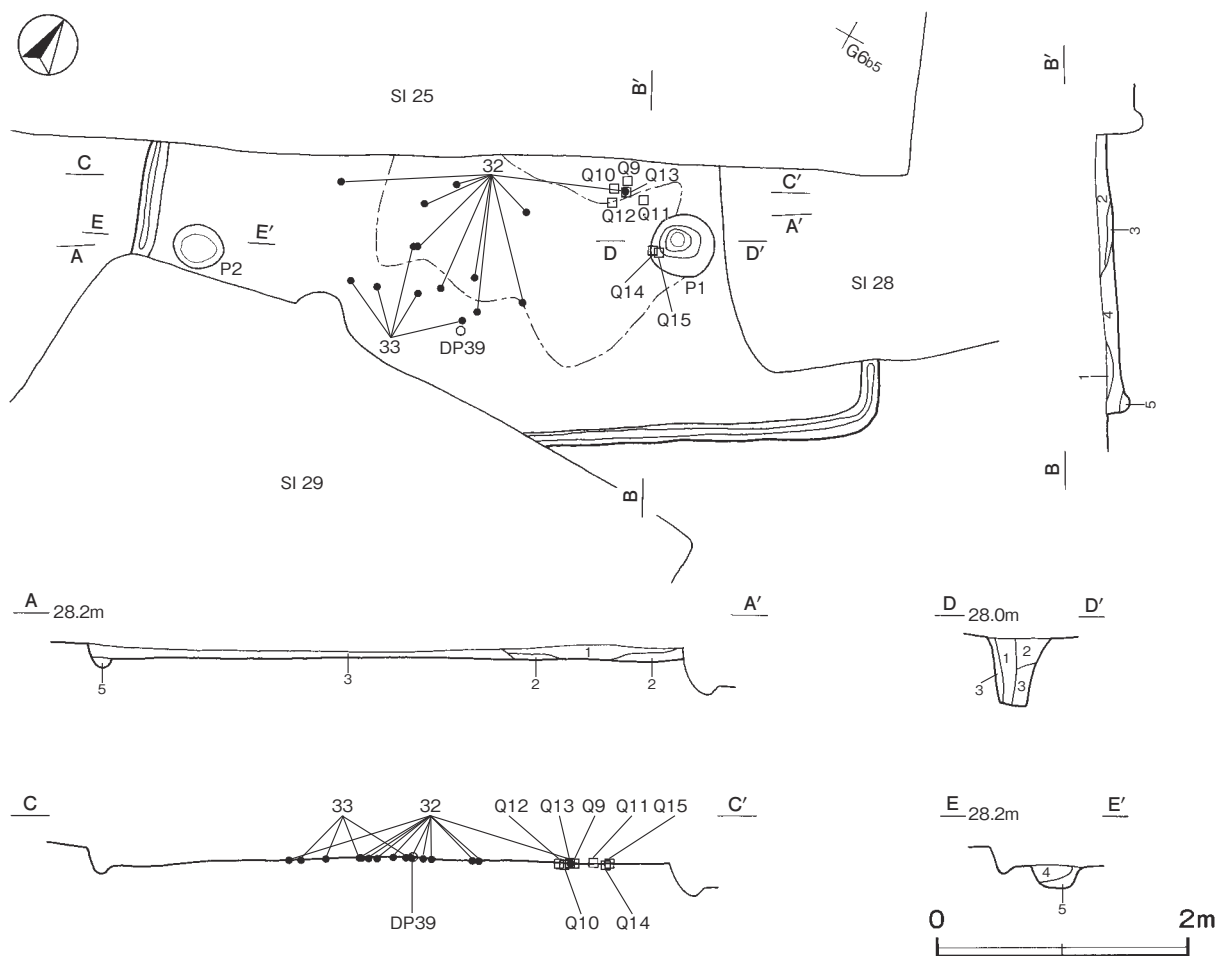
**覆土** 5層に分層できる。覆土に含有物が少ないことから自然堆積と考えられる。

**土層解説**

- |                       |               |
|-----------------------|---------------|
| 1 暗褐色 ロームブロック微量       | 4 黒褐色 焼土粒子微量  |
| 2 暗褐色 ロームブロック少量       | 5 暗褐色 ローム粒子微量 |
| 3 にぶい黄褐色 ローム粒子・焼土粒子微量 |               |

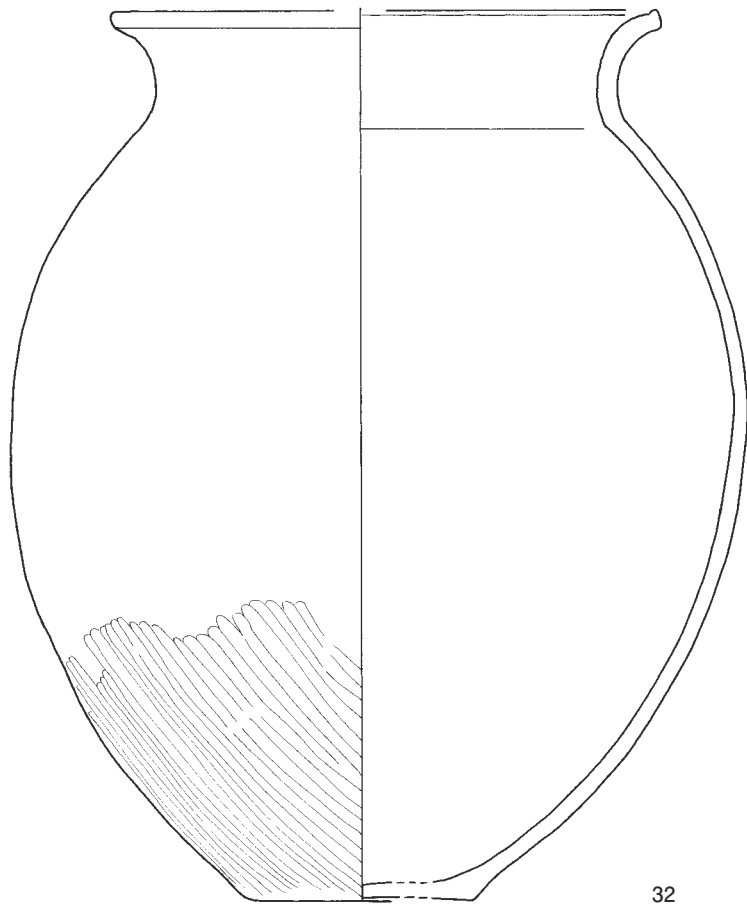
**遺物出土状況** 土師器片43点(坏5, 碗3, 甕類35), 土製品4点(支脚), 石製品7点(白玉)のほか、縄文土器片12点(深鉢)が、中央部の覆土下層から床面を中心に出土している。32・33は床面から出土した破片がそれぞれ接合していることから、破碎後に廃棄されたものとみられる。Q9～Q15は床面からそれぞれ出土していることから、廃絶時に遺棄されたものとみられる。

**所見** 時期は、6世紀後葉に比定できる第28号竪穴建物に掘り込まれていることや、出土土器から6世紀中葉に比定できる。

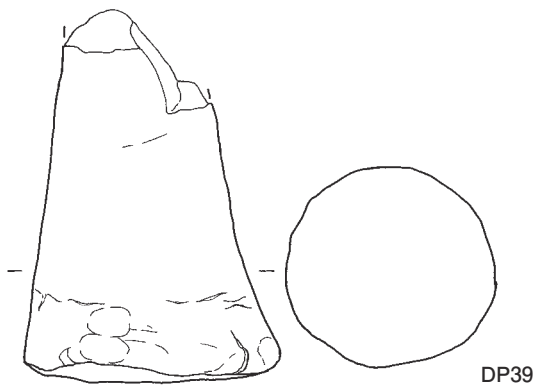


第77図 第27号竪穴建物跡実測図

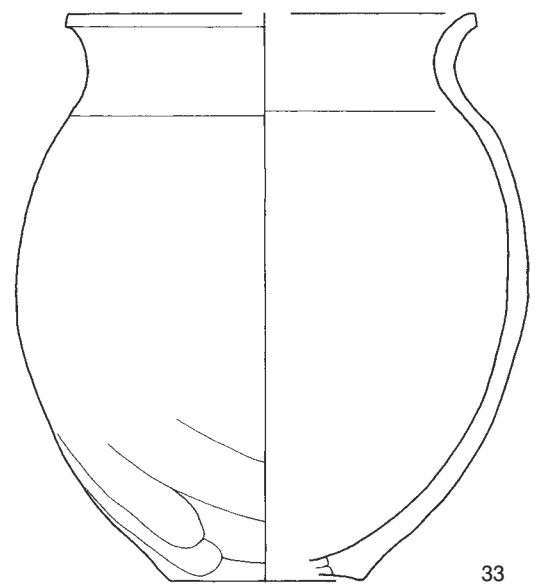




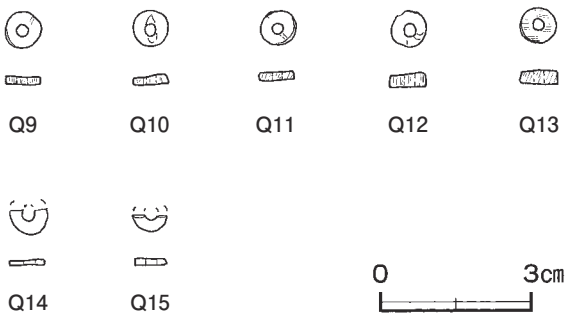
32



DP39



33



第78図 第27号竖穴建物跡出土遺物実測図

第 27 号竪穴建物跡出土遺物観察表 (第 78 図)

番号	種 別	器種	口径	器高	底径	胎 土	色 調	焼成	手 法 の 特 徴 ほ か	出土位置	備 考
32	土師器	甕	[21.6]	35.3	8.6	長石・石英・雲母	橙	普通	口縁部内面横ナデ 体部外面縦位のヘラ磨き 内面ヘラナデ	床面	70% PL60
33	土師器	甕	[16.1]	22.5	7.6	長石・石英	にぶい褐	普通	口縁部外・内面横ナデ 体部外面ヘラ削り 内面ヘラナデ	床面	50% PL60

番号	器 種	高さ	最小径	最大径	重量	胎 土	色 調	特 徴	出土位置	備 考
DP39	支脚	(14.8)	6.2	10.1	(1.010)	長石・石英	橙	上部一部欠損 ヘラナデ 被熱痕	床面	

番号	器 種	径	厚さ	孔径	重量	材 質	特 徴	出土位置	備 考
Q 9	白玉	0.71	0.12~0.15	0.28	(0.09)	滑石	一部欠損 全面研磨調整 円筒状 一方向からの穿孔	床面	PL96
Q 10	白玉	0.71	0.12~0.23	0.22	0.13	滑石	全面研磨調整 両面平滑 円筒状 一方向からの穿孔	床面	PL96
Q 11	白玉	0.72	0.12~0.16	0.28	0.11	滑石	全面研磨調整 円筒状 一方向からの穿孔	床面	PL96
Q 12	白玉	0.72	0.25~0.30	0.28	(0.18)	滑石	一部欠損 全面研磨調整 円筒状 一方向からの穿孔	床面	PL96
Q 13	白玉	0.75	0.26	0.25	0.21	滑石	全面研磨調整 側面が直線的な円筒状 両面平滑 一方向からの穿孔	床面	PL96
Q 14	白玉	0.71	0.07	0.23	(0.03)	滑石	欠損 全面研磨調整	床面	
Q 15	白玉	(0.68)	0.15	(0.23)	(0.04)	滑石	欠損 全面研磨調整 一方向からの穿孔	床面	

第 28 号竪穴建物跡 (第 79・80 図)

**位置** 調査D区南部のG 6 a5 区、標高 28 mほどの台地平坦部に位置している。

**重複関係** 第 27 号竪穴建物跡、第 396 号土坑を掘り込み、第 25 号竪穴建物、第 11 号溝に掘り込まれている。

**規模と形状** 長軸 5.32 m、短軸 5.20 m の方形で、主軸方向は N - 35° - W である。壁は高さ 28 ~ 40cm で、直立している。

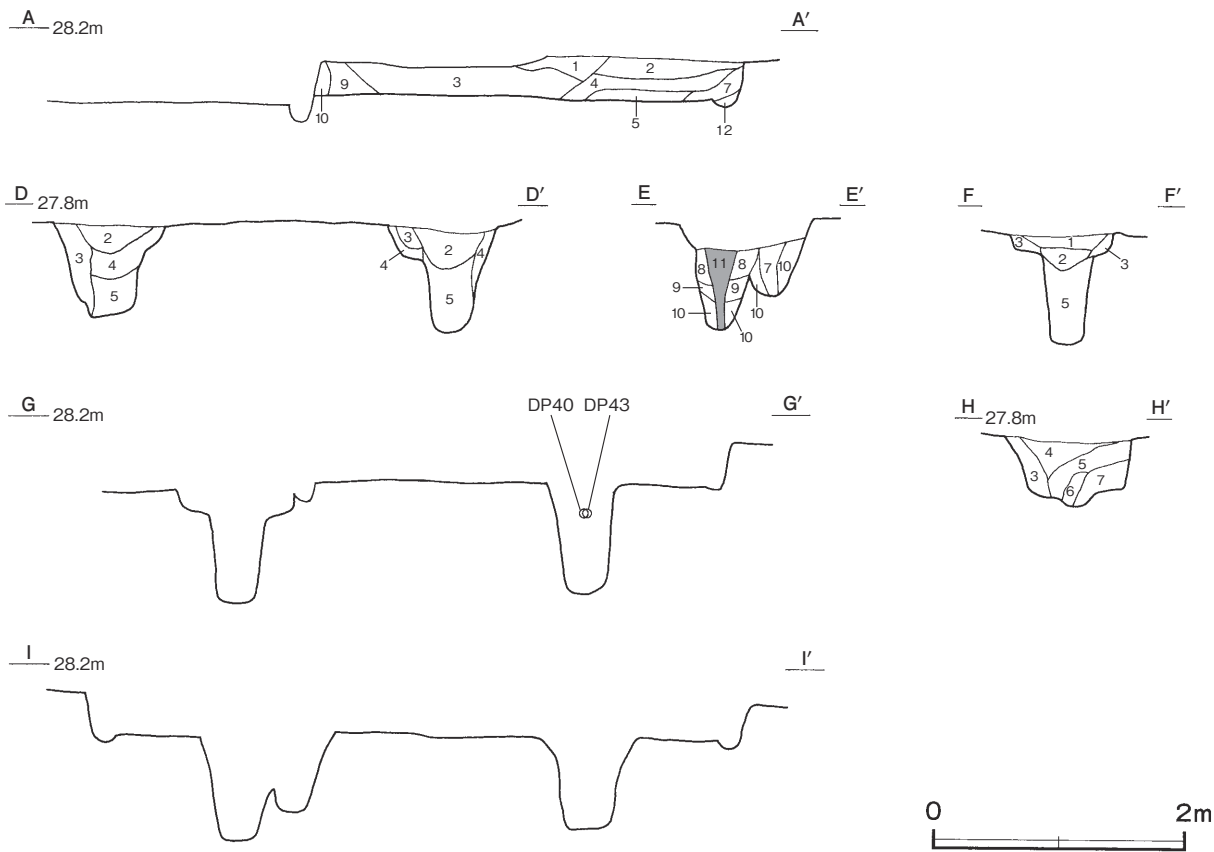
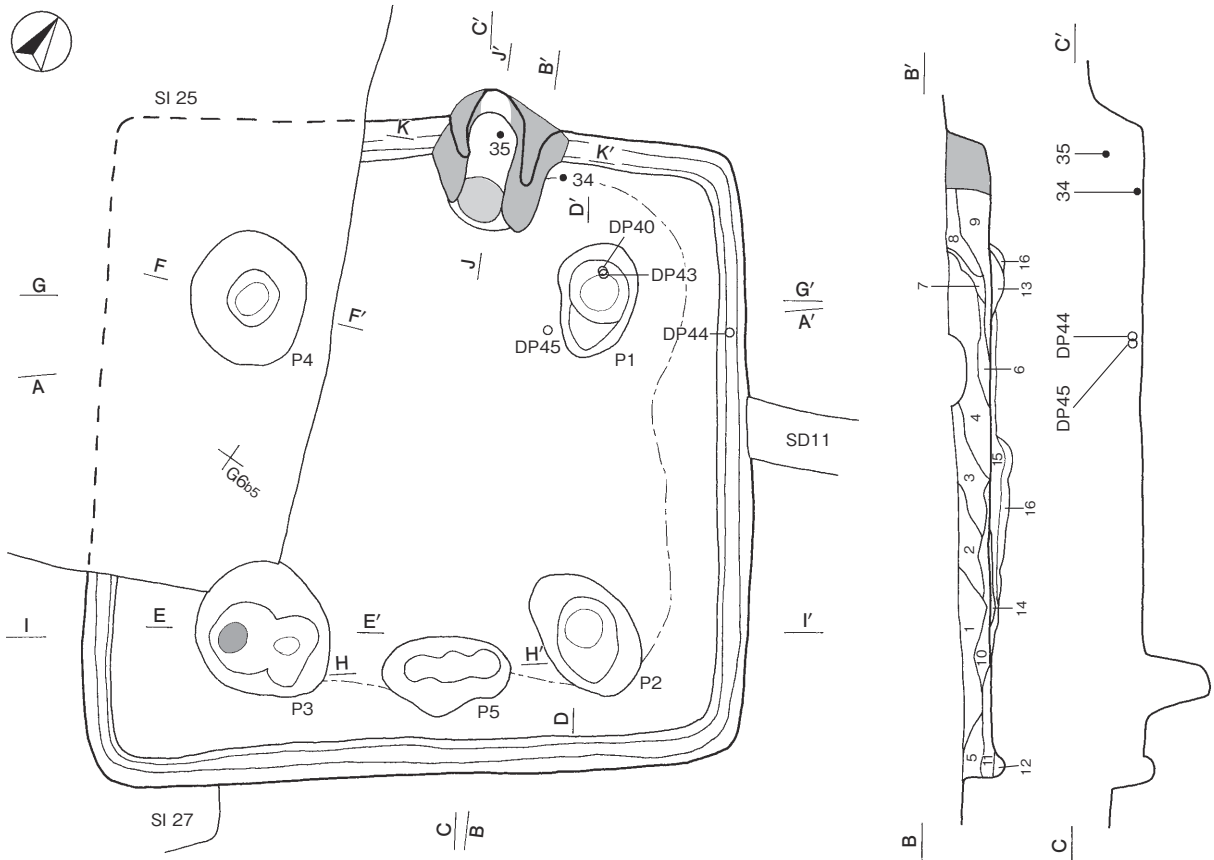
**床** 平坦な貼床で、壁際を除いて踏み固められている。貼床は、ロームブロックを含む第 13 ~ 16 層を埋土して構築されている。確認できた壁下には壁溝が巡っている。

**竈** 北西壁東寄りに付設されている。規模は焚口部から煙道部まで 114cm で、燃焼部幅は 34cm である。袖部は、床面から 6 ~ 17cm 掘りくぼめた部分に第 14・15 層を埋土して、粘土粒子を主体とする第 10 ~ 13 層を積み上げて構築されている。火床部は第 14 層上面を使用しており、火床面は火熱を受けて赤変硬化している。煙道部は壁外に 25cm 掘り込まれ、火床部からほぼ直立している。煙出部付近の覆土上層から土師器甕 (35) が出土している。遺存状況から、埋没する過程で投棄されたものとみられる。

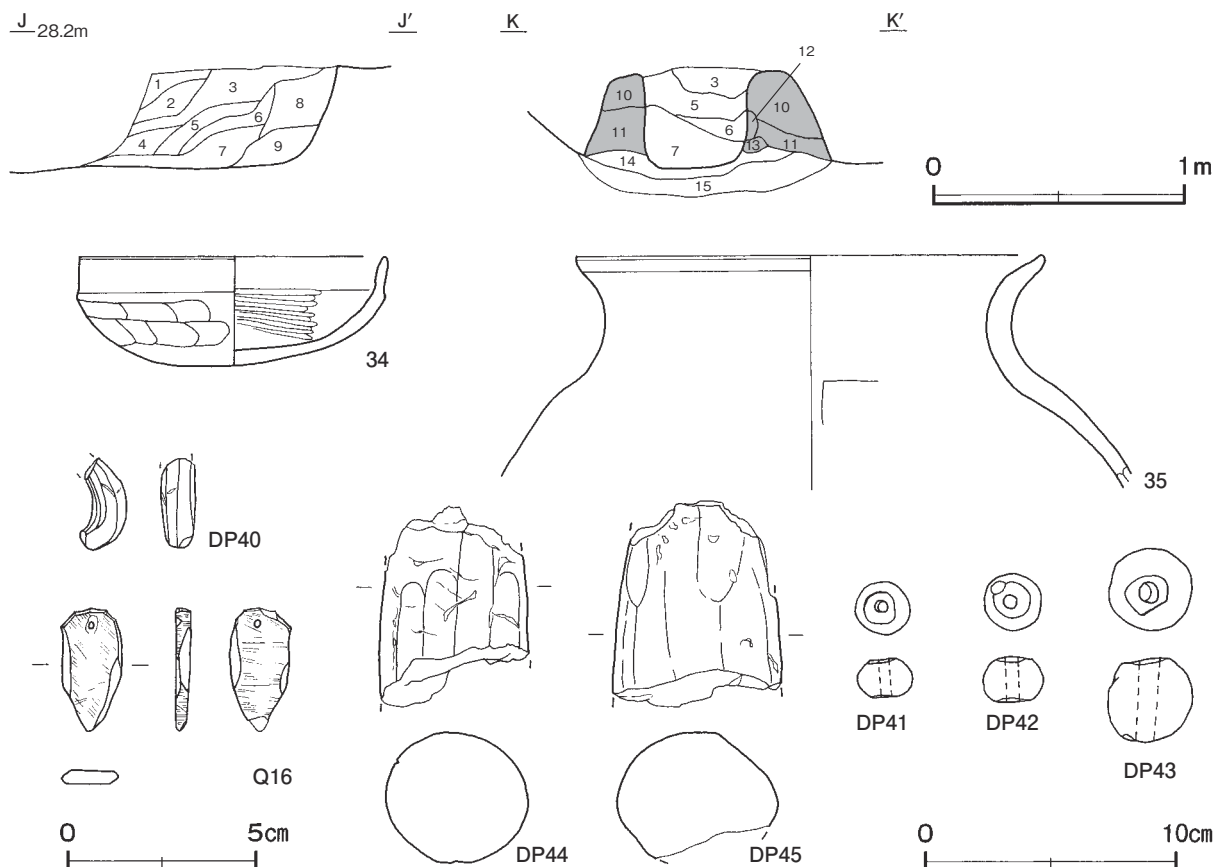
電土層解説

- |          |                        |           |                        |
|----------|------------------------|-----------|------------------------|
| 1 暗 褐 色  | ロームブロック・焼土粒子・炭化粒子微量    | 9 暗 褐 色   | 焼土粒子中量, ローム粒子・炭化粒子微量   |
| 2 黒 褐 色  | ロームブロック・焼土粒子・炭化粒子微量    | 10 暗 褐 色  | ロームブロック・粘土粒子中量         |
| 3 にぶい黄褐色 | ローム粒子・焼土粒子・炭化粒子微量      | 11 黒 褐 色  | ロームブロック・粘土粒子中量, 焼土粒子微量 |
| 4 灰黄褐色   | 焼土ブロック・炭化物少量, ローム粒子微量  | 12 にぶい黄褐色 | ローム粒子・粘土粒子少量, 焼土粒子微量   |
| 5 にぶい黄褐色 | ロームブロック・焼土粒子少量, 炭化粒子微量 | 13 にぶい黄褐色 | ローム粒子・粘土粒子少量           |
| 6 にぶい赤褐色 | ローム粒子微量                | 14 暗 褐 色  | ロームブロック中量              |
| 7 灰黄褐色   | ローム粒子微量                | 15 暗 褐 色  | ロームブロック・焼土ブロック微量       |
| 8 暗 褐 色  | 焼土ブロック中量, ローム粒子・炭化粒子微量 |           |                        |

**ピット** 5 か所。P 1 ~ P 4 は深さ 71 ~ 85cm で、規模と配置から支柱穴である。第 1 ~ 7 層が抜き取り後の堆積土、第 8 ~ 10 層が埋土、第 11 層が柱痕である。P 3 では柱痕跡と立て替えが、P 1・P 4 では柱抜き取り痕が確認できた。P 5 は深さ 50cm で、南東壁際の中央部に位置していることから、出入り口施設に伴うピットと考えられる。P 3 の底面に、柱のあたりを確認した。



第 79 图 第 28 号竖穴建物迹实测图



第 80 図 第 28 号竪穴建物跡・出土遺物実測図

ピット土層解説 (各ピット共通)

- |          |                   |          |           |
|----------|-------------------|----------|-----------|
| 1 暗褐色    | ロームブロック中量         | 7 褐色     | ロームブロック少量 |
| 2 にぶい黄褐色 | ロームブロック少量         | 8 にぶい黄褐色 | ロームブロック中量 |
| 3 暗褐色    | ロームブロック中量, 焼土粒子微量 | 9 にぶい黄褐色 | ローム粒子微量   |
| 4 暗褐色    | ローム粒子・焼土粒子・炭化粒子微量 | 10 褐色    | ロームブロック中量 |
| 5 暗褐色    | ロームブロック多量, 焼土粒子微量 | 11 暗褐色   | ローム粒子微量   |
| 6 褐色     | ローム粒子中量           |          |           |

**覆土** 12層に分層できる。多くの層にロームブロックが含まれ、不規則な堆積状況を示していることから、埋め戻されている。第13～16層は貼床の構築土である。

土層解説

- |          |                        |           |                      |
|----------|------------------------|-----------|----------------------|
| 1 にぶい黄褐色 | ロームブロック少量              | 9 暗褐色     | ローム粒子・焼土粒子少量, 炭化粒子微量 |
| 2 にぶい黄褐色 | 焼土ブロック・ローム粒子少量         | 10 にぶい黄褐色 | ロームブロック・焼土粒子微量       |
| 3 褐色     | ロームブロック・焼土粒子中量, 炭化粒子微量 | 11 にぶい黄褐色 | ローム粒子・焼土粒子微量         |
| 4 にぶい黄褐色 | ロームブロック中量, 焼土粒子・炭化粒子微量 | 12 にぶい黄褐色 | ローム粒子微量              |
| 5 暗褐色    | ロームブロック少量              | 13 赤褐色    | 焼土ブロック・炭化粒子少量        |
| 6 褐色     | ロームブロック少量, 焼土粒子微量      | 14 褐色     | ローム粒子・焼土粒子微量         |
| 7 にぶい黄褐色 | ロームブロック少量, 焼土粒子微量      | 15 にぶい黄褐色 | ロームブロック中量, 炭化粒子微量    |
| 8 暗褐色    | ロームブロック少量, 焼土粒子微量      | 16 褐色     | ロームブロック少量            |

**遺物出土状況** 土器器片 254点 (坏類 26, 碗 2, 鉢 2, 甕類 221, 甗 3), 土製品 9点 (勾玉 1, 土玉 3, 管状土錘 1, 支脚 3, 羽口 1), 石製品 1点 (剣形品) のほか, 縄文土器片 26点 (深鉢) が, 北部の覆土下層から床面を中心に出土している。34は北西壁際の覆土下層から出土していることから, 埋め戻す過程で廃棄されたものとみられる。

**所見** 時期は, 6世紀中葉に比定できる第27号竪穴建物跡を掘り込んでいることや, 7世紀前葉に比定できる第25号竪穴建物に掘り込まれていること, 出土土器から6世紀後葉に比定できる。

第 28 号 竪穴建物跡出土遺物観察表 (第 80 図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
34	土師器	坏	12.1	4.4	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	橙	普通	口縁部外・内面横ナデ 内面横位のヘラ削り 体部外面横位のヘラ磨き	覆土下層	70%
35	土師器	甕	18.4	(9.3)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	橙	普通	口縁部外・内面横ナデ 内面ヘラナデ	竈覆土上層	20%

番号	器種	長さ	厚さ	孔径	重量	胎土	色調	特徴	出土位置	備考
DP40	勾玉	(2.4)	(1.2)	0.9	(2.46)	長石・石英	橙	欠損 ナデ	P1 覆土中層	

番号	器種	径	厚さ	孔径	重量	胎土	色調	特徴	出土位置	備考
DP41	土玉	2.0~2.2	1.5	0.5	6.66	長石・石英	にぶい黄橙	ナデ 一方向からの穿孔 両端を平坦に成形	覆土中	
DP42	土玉	2.3	1.8	0.5	(10.7)	長石・石英	橙	端部一部欠損 ナデ 一方向からの穿孔 両端を平坦に成形	覆土中	
DP43	土玉	3.2~3.4	3.4	0.7~0.8	36.4	長石・石英	灰褐	ナデ 一方向からの穿孔 両端を平坦に成形	P1 覆土中層	

番号	器種	高さ	最小径	最大径	重量	胎土	色調	特徴	出土位置	備考
DP44	支脚	(8.0)	5.5	6.0	(158)	長石・石英	橙	欠損 縦位のヘラ削り 被熱痕	覆土下層	
DP45	支脚	(8.3)	5.5	6.7	(191)	長石・石英	橙	欠損 被熱痕 外面摩滅	覆土下層	

番号	器種	長さ	幅	厚さ	孔径	重量	材質	特徴	出土位置	備考
Q 16	剣形品	3.25	1.64	0.42	0.17	(3.54)	滑石	一部欠損 全面研磨調整 一方向からの穿孔	覆土中	PL97

第 29 号 竪穴建物跡 (第 81・82 図)

**位置** 調査 B 区南部の G 6 c4 区、標高 28 m ほどの台地緩斜面部に位置している。

**重複関係** 第 27 号 竪穴建物跡を掘り込み、第 302・307・313 号土坑、第 10・12・13 号溝に掘り込まれている。

**規模と形状** 南部が調査区域外へ延びているため、東西軸は 5.34 m で、南北軸は 5.00 m しか確認できなかった。平面形は方形または長方形と推定でき、主軸方向は N-1°-W である。壁は高さ 8~35cm で、ほぼ直立している。

**床** 平坦で、竈前面が踏み固められている。

**竈** 北壁西寄りに付設されている。遺存状態が悪く、左袖部は基部の痕跡しか確認できなかった。規模は焚口部から煙道部までが 112cm、燃焼部幅は 57cm と推定できる。袖部は床面と同じ高さの地山の上に、粘土粒子を積み上げて構築されている。火床部は床面とほぼ同じ高さを使用しており、火床面は火熱を受けて赤変硬化している。煙道部は攪乱を受けており、明確な掘り込みは確認できない。

**ピット** 4 か所。P 1・P 2 は深さ 48cm・64cm で、規模と配置から主柱穴である。P 3 は深さ 16cm で、性格は不明である。P 4 は深さ 43cm で、覆土中層から完形の土師器小形甕 (39) が出土しており、規模は小さいが貯蔵穴の可能性はある。

**ピット土層解説 (各ピット共通)**

- |   |        |           |   |        |           |
|---|--------|-----------|---|--------|-----------|
| 1 | にぶい黄褐色 | ロームブロック少量 | 5 | 暗褐色    | ローム粒子微量   |
| 2 | 褐色     | ロームブロック少量 | 6 | 暗褐色    | ローム粒子少量   |
| 3 | 褐色     | ローム粒子微量   | 7 | にぶい黄褐色 | ロームブロック中量 |
| 4 | 暗褐色    | ロームブロック少量 |   |        |           |

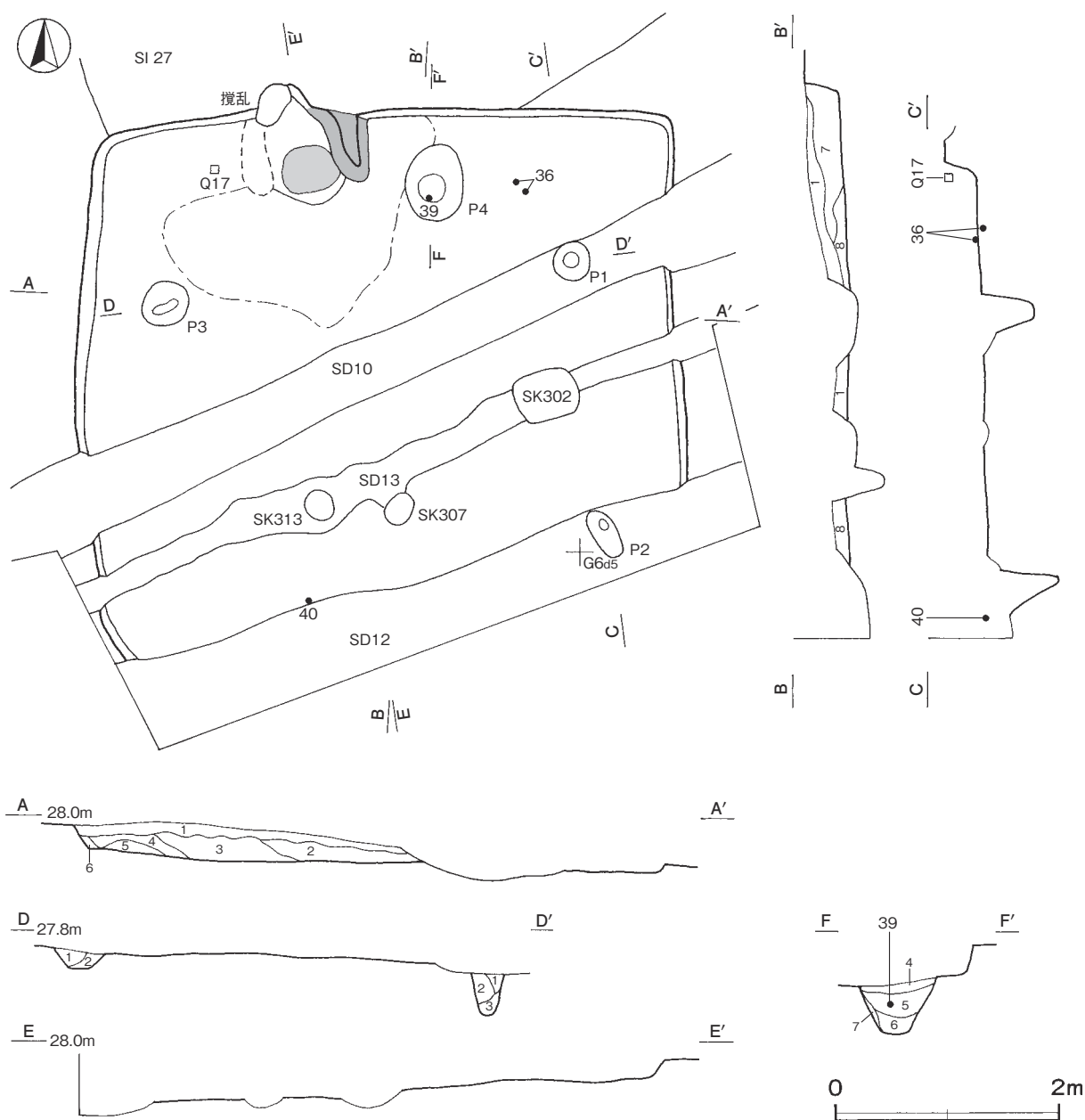
**覆土** 8 層に分層できる。多くの層にロームブロックが含まれ、不規則な堆積状況を示していることから、埋め戻されている。

土層解説

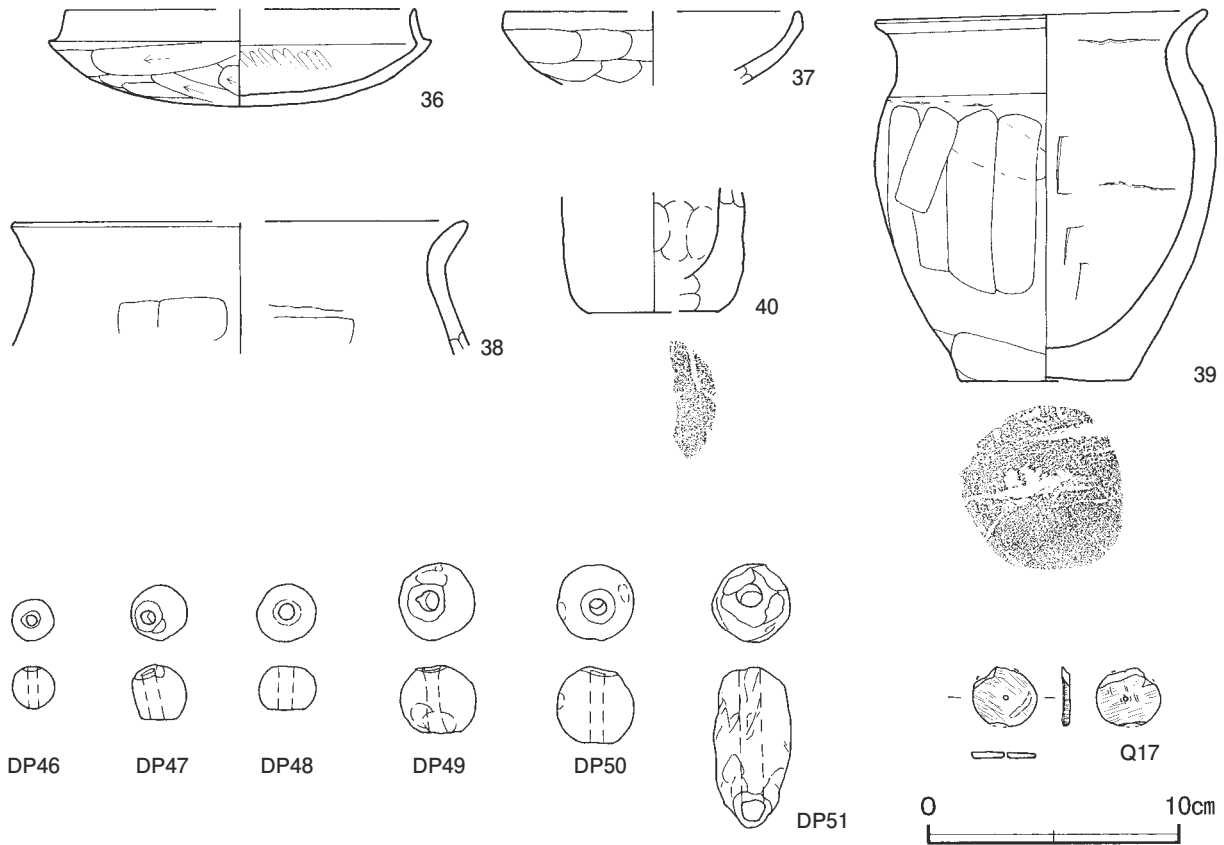
- |          |                   |       |                  |
|----------|-------------------|-------|------------------|
| 1 黒褐色    | ロームブロック少量, 焼土粒子微量 | 5 褐色  | ローム粒子微量          |
| 2 にぶい黄褐色 | ロームブロック中量         | 6 暗褐色 | ローム粒子・炭化粒子微量     |
| 3 暗褐色    | ロームブロック少量         | 7 暗褐色 | 焼土粒子・炭化粒子・粘土粒子少量 |
| 4 にぶい黄褐色 | ロームブロック少量, 炭化粒子微量 | 8 黒褐色 | ロームブロック微量        |

**遺物出土状況** 土師器片 300 点（坏類 46, 椀 2, 高坏 2, 壺 1, 甕類 246, 小形甕 1, ミニチュア土器 1, 手捏土器 1）, 土製品 6 点（土玉 5, 管状土錘 1）, 石製品 1 点（有孔円板）, 金属製品 1 点（刀子）のほか, 縄文土器片 20 点（深鉢）が, 北部の覆土下層から床面を中心に出土している。40 は南部の床面から出土していることから, 廃絶時に遺棄されたものとみられる。36 は床面から出土した破片が接合していることから, 破碎後に遺棄されたものとみられる。

**所見** 時期は, 6 世紀中葉に比定できる第 27 号竪穴建物跡を掘り込んでいることや, 出土土器から 7 世紀前葉に比定できる。



第 81 図 第 29 号竪穴建物跡実測図



第 82 図 第 29 号竪穴建物跡出土遺物実測図

第 29 号竪穴建物跡出土遺物観察表 (第 82 図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
36	土師器	坏	[13.8]	3.9	-	長石・石英	にぶい褐	普通	口縁部外・内面横ナデ 体部外面へら削り 内面へら磨き	床面	50%
37	土師器	坏	[11.6]	(2.9)	-	長石・石英	にぶい黄橙	普通	口縁部外・内面横ナデ 体部外面横位のへら削り 内面へらナデ	覆土中	10%
38	土師器	甕	[17.8]	(5.3)	-	石英・雲母	にぶい黄褐	普通	口縁部外面横ナデ 体部外面へら削り 内面へらナデ 輪積痕	覆土中	5%
39	土師器	小形甕	13.1	14.7	6.6	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい橙	普通	口縁部外・内面横ナデ 体部外面へら削り 内面へらナデ 輪積痕	P 4 覆土中層	98% PL60
40	土師器	ミニチュア土器	-	(4.9)	[5.0]	長石・石英・赤色粒子	にぶい黄橙	普通	体部外面へらナデ 指頭痕	床面	20%

番号	器種	径	厚さ	孔径	重量	胎土	色調	特徴	出土位置	備考
DP46	土玉	1.6	1.7	0.4	4.39	長石・石英	にぶい橙	ナデ 一方向からの穿孔 片端を平坦に成形	覆土中	
DP47	土玉	2.2	2.2	0.5	(9.45)	長石・石英	にぶい黄橙	端部一部欠損 ナデ 一方向からの穿孔 両端を平坦に成形	覆土中	
DP48	土玉	2.3	1.8	0.5	9.02	長石・石英	にぶい黄橙	ナデ 一方向からの穿孔 両端を平坦に成形	覆土中	
DP49	土玉	3.0	2.7	0.7~0.8	(24.6)	長石・石英	橙	一部欠損 ナデ 一方向からの穿孔 孔両端に擦痕 指頭痕 片端を平坦に成形	覆土中	
DP50	土玉	3.1	3.1	0.5~0.6	26.5	長石・石英	橙	ナデ 一方向からの穿孔 片端を平坦に成形	覆土中	

番号	器種	径	長さ	孔径	重量	胎土	色調	特徴	出土位置	備考
DP51	管状土錘	3.15	6.4	0.9	(48.4)	長石・石英	にぶい橙	両端一部欠損 ナデ 一方向からの穿孔	覆土中	

番号	器種	長さ	幅	厚さ	孔径	重量	材質	特徴	出土位置	備考
Q 17	有孔円板	(2.4)	2.5	0.26	0.15	(3.07)	滑石	一部欠損 全面研磨調整 両面平滑 一方向からの穿孔	覆土上層	PL97

### 第 31 号竪穴建物跡 (第 83・84 図)

**位置** 調査D区南部のG 6d1区, 標高28mほどの台地緩斜面部に位置している。

**重複関係** 第10号溝に掘り込まれている。

**規模と形状** 南部が調査区域外へ延びているため, 北東・南西軸は5.54mで, 北西・南東軸は3.83mしか確認できなかった。平面形は方形または長方形と推定でき, 主軸方向はN - 29° - Wである。壁は高さ26～35cmで, 直立している。

**床** 平坦な貼床で, 竈前面が踏み固められている。貼床は, ロームブロックを含む第12層を埋土して構築されている。確認できた壁下には壁溝が巡っている。北部及び中央部に焼土を確認した。いずれも床面から浮いた状態で堆積していることから, 廃絶後に投げ込まれたものと考えられる。

#### 焼土塊土層解説 (焼土塊 1・2 共通)

- |                |                   |
|----------------|-------------------|
| 1 暗褐色 焼土ブロック多量 | 3 褐色 ローム粒子・焼土粒子微量 |
| 2 暗褐色 焼土粒子多量   | 4 暗褐色 焼土粒子微量      |

**竈** 北西壁中央部に付設されている。規模は焚口部から煙道部まで103cmで, 燃焼部幅は31cmである。袖部は, 床面から5～14cm掘りくぼめた部分に第13・14層を埋土して, 粘土粒子を主体とする第9～12層を積み上げて構築されている。火床部は第13層上面を使用しており, 火床面は火熱を受けて赤変硬化している。煙道部は壁外に8cm掘り込まれ, 火床部から外傾している。

#### 竈土層解説

- |                          |                             |
|--------------------------|-----------------------------|
| 1 褐灰色 ローム粒子微量            | 8 赤褐色 焼土ブロック・炭化粒子中量         |
| 2 褐灰色 焼土粒子・炭化粒子微量        | 9 暗褐色 ロームブロック中量, 粘土粒子少量     |
| 3 にぶい褐色 ロームブロック少量        | 10 灰オリーブ色 粘土粒子多量, ロームブロック中量 |
| 4 褐灰色 ローム粒子・粘土粒子微量       | 11 暗赤褐色 ローム粒子・粘土粒子少量        |
| 5 褐色 焼土ブロック中量, ローム粒子少量   | 12 暗褐色 ローム粒子中量, 粘土粒子少量      |
| 6 褐色 ローム粒子少量             | 13 暗赤褐色 ローム粒子少量             |
| 7 褐色 焼土ブロック中量, ロームブロック少量 | 14 褐色 ローム粒子多量               |

**ピット** 5か所。P 1～P 4は深さ39～54cmで, 規模と配置から支柱穴である。第1層は抜き取り後の堆積土, 第2・3層は埋土である。P 5は深さ27cmで, 性格は不明である。

#### ピット土層解説 (各ピット共通)

- |                         |              |
|-------------------------|--------------|
| 1 暗褐色 ロームブロック中量, 炭化粒子微量 | 3 褐色 ローム粒子多量 |
| 2 にぶい黄褐色 ロームブロック中量      |              |

**覆土** 11層に分層できる。多くの層にロームブロックが含まれ, 不規則な堆積状況を示していることから, 埋め戻されている。第12層は貼床の構築土である。

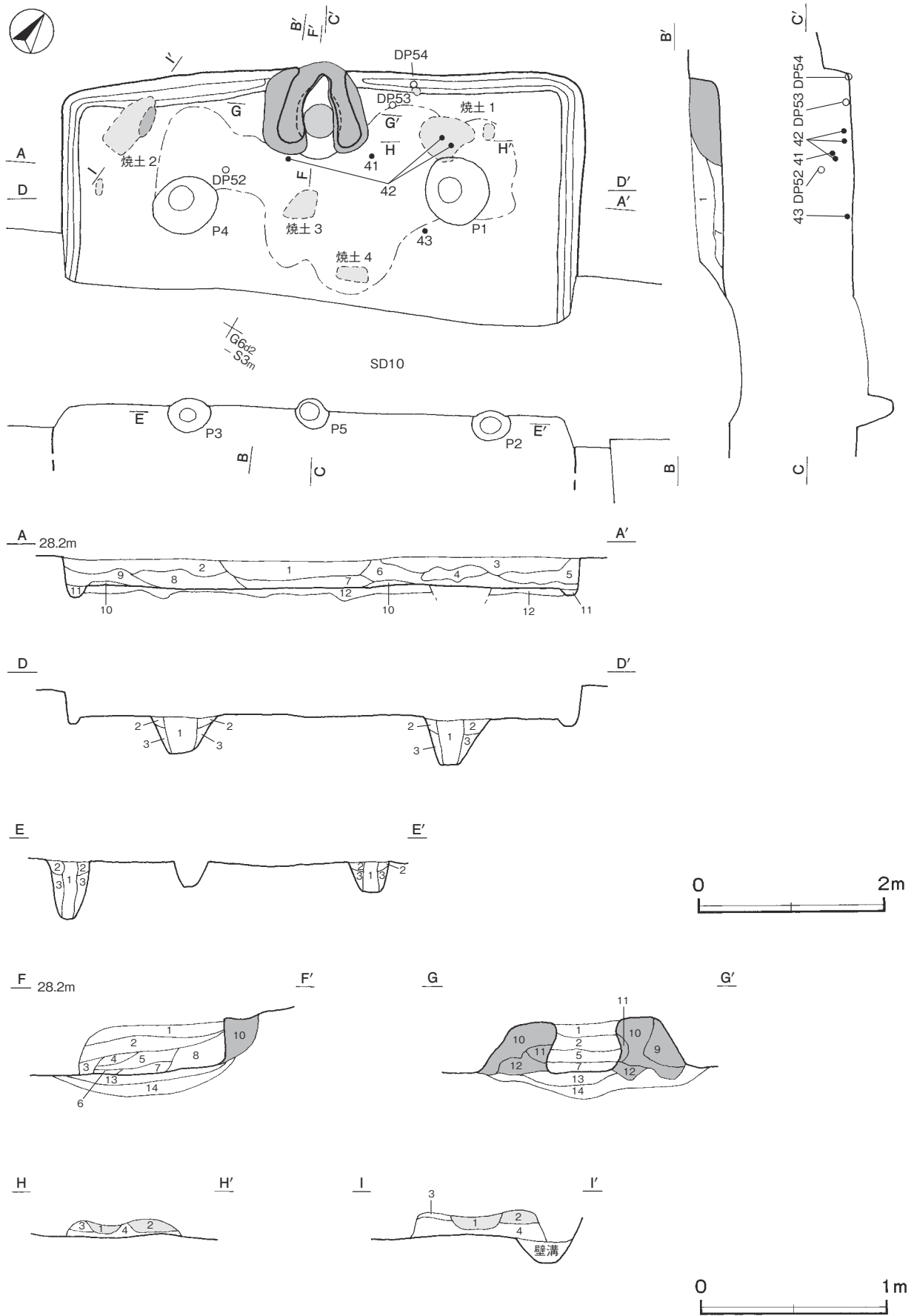
#### 土層解説

- |                             |                         |
|-----------------------------|-------------------------|
| 1 褐色 ロームブロック中量, 焼土粒子・炭化粒子少量 | 7 暗褐色 ロームブロック少量         |
| 2 明褐色 ローム粒子中量               | 8 暗褐色 ローム粒子・焼土粒子微量      |
| 3 黒褐色 ロームブロック少量             | 9 暗褐色 ロームブロック中量, 焼土粒子少量 |
| 4 暗褐色 ロームブロック中量             | 10 黄橙色 ロームブロック多量        |
| 5 明褐色 ロームブロック少量             | 11 暗褐色 ローム粒子中量, 炭化粒子微量  |
| 6 暗褐色 ローム粒子中量               | 12 褐色 ロームブロック中量, 炭化粒子微量 |

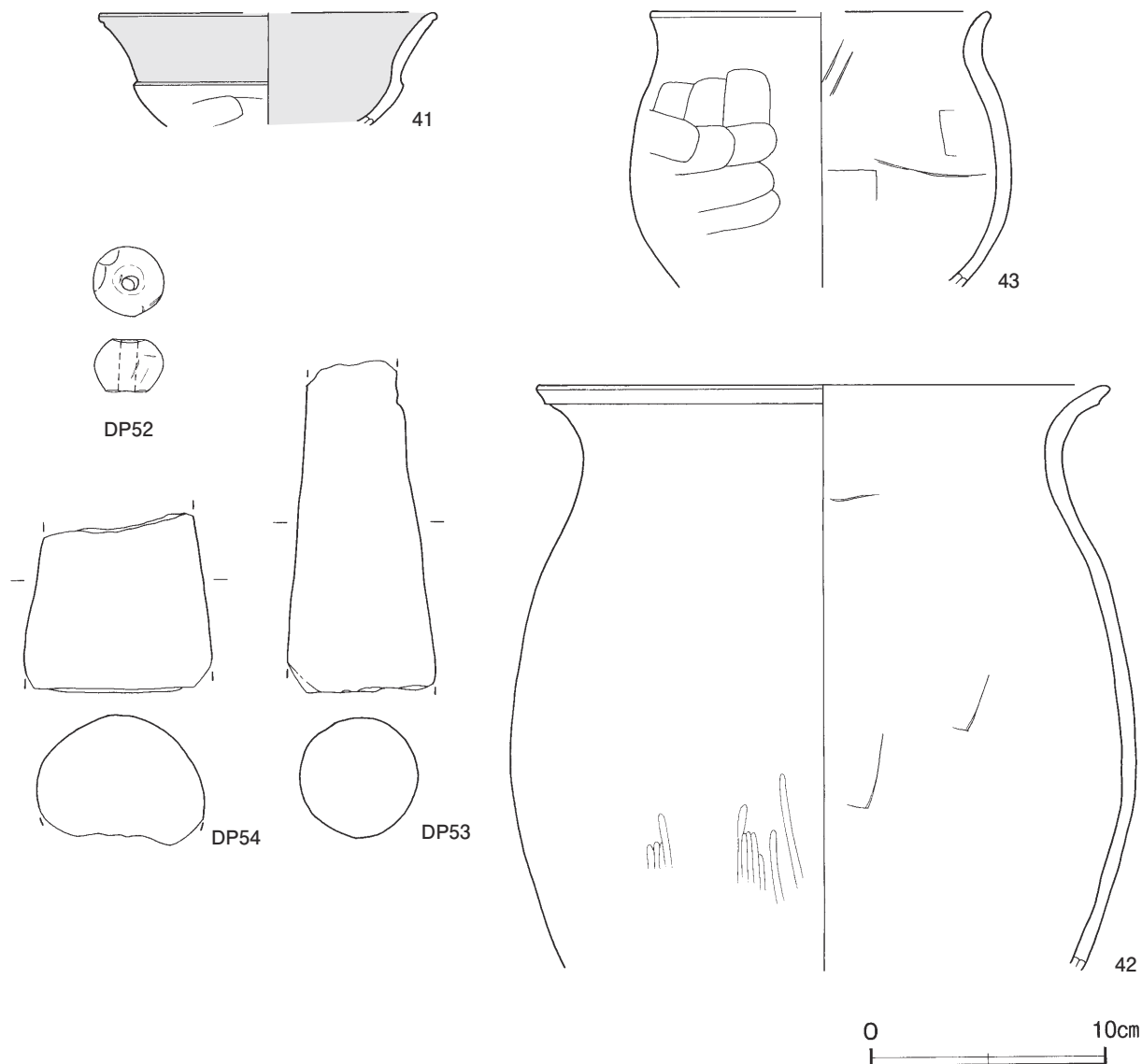
**遺物出土状況** 土師器片287点(坏類26, 椀3, 高坏1, 甕類256, 小形甕1), 土製品3点(土玉1, 支脚2)のほか, 縄文土器片28点(深鉢), 弥生土器片1点(壺), 石器1点(磨石)が, 北部の中層から下層を中心に出土している。41は北部の覆土中層, 43は覆土下層からそれぞれ出土していることから, 埋め戻す過程で廃棄されたものとみられる。42は覆土中層から下層にかけて出土した破片が接合していることから, 破碎後に投棄されたものとみられる。

**所見** 時期は, 出土土器や重複関係から, 6世紀前葉に比定できる。





第 83 图 第 31 号竖穴建物迹实测图



第 84 図 第 31 号竪穴建物跡出土遺物実測図

第 31 号竪穴建物跡出土遺物観察表 (第 84 図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
41	土師器	坏	[14.2]	(4.8)	-	長石・石英・黒色粒子	橙	普通	口縁部外・内面横ナデ 体部外面ヘラ削り	覆土中層	10%
42	土師器	甕	24.0	(24.9)	-	長石・石英	にぶい黄橙	普通	口縁部外・内面横ナデ 体部外面縦位のヘラ磨き 内面ヘラナデ 輪積痕	覆土下層 ~中層	30%
43	土師器	小形甕	[14.4]	(11.7)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい橙	普通	口縁部外・内面横ナデ 体部外面ヘラ削り 内面ヘラナデ	覆土下層	20%

番号	器種	径	厚さ	孔径	重量	胎土	色調	特徴	出土位置	備考
DP52	土玉	3.0	2.25	0.7	19.3	長石・石英・雲母	にぶい橙	ナデ 一方向からの穿孔 両端を平坦に成形	覆土上層	

番号	器種	高さ	最小径	最大径	重量	胎土	色調	特徴	出土位置	備考
DP53	支脚	(14.0)	3.8	6.3	(390)	長石・石英・雲母	にぶい橙	上部一部欠損 被熱痕 外面摩滅	覆土下層	PL93
DP54	支脚	(7.6)	6.4	8.0	(285)	長石・石英・雲母	橙	欠損 被熱痕 外面摩滅	壁溝覆土中	

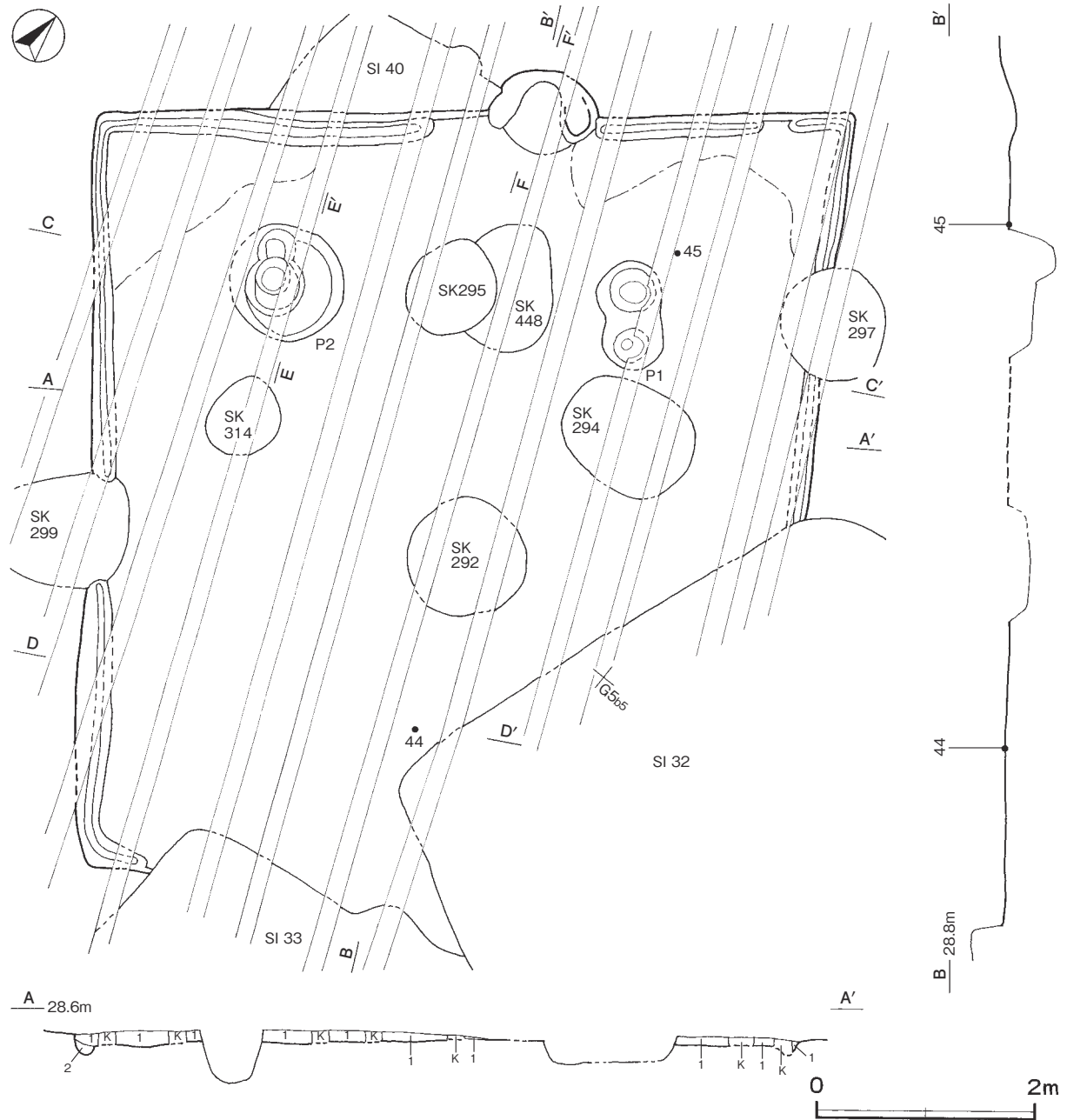
第 36 号 竪穴建物跡 (第 85・86 図)

位置 調査D区南部のG 5 a4区, 標高 28 mほどの台地平坦部に位置している。

重複関係 第 32・33・40号竪穴建物, 第 292・294・295・297・299・314・448号土坑に掘り込まれている。

規模と形状 南東部が第 32号竪穴建物, 南部が第 33号竪穴建物に掘り込まれているため, 北東・南西軸は 6.87 mで, 北西・南東軸は 6.93 mしか確認できなかった。平面形は方形または長方形と推定でき, 主軸方向はN - 30° - Wである。壁は高さ 12 ~ 37cmで, 直立している。

床 平坦で, 北壁際を除いて踏み固められている。確認できた壁下には壁溝が巡っている。



第 85 図 第 36 号 竪穴建物跡実測図

**竈** 北西壁中央部に付設されている。遺存状態が悪く、袖部は基部の痕跡しか確認できなかった。規模は焚口部から煙道部までが78cm、燃烧部幅は48cmと推定できる。火床部は床面を9cmほど皿状に掘りくぼめた部分に第1・2層を埋土して構築されている。火床面の赤変硬化は認められない。

**電土層解説**

- 1 暗赤褐色 焼土粒子中量, ロームブロック少量                      2 褐色      色      ロームブロック中量, 焼土粒子微量

**ピット** 2か所。P1・P2は深さ80cm・75cmで、規模と配置から主柱穴である。第1・2層は抜き取り後の堆積土、第3・4層は埋土である。P1では柱の立て替えが、P2では柱抜き取り痕が確認できた。

**P2土層解説**

- 1 暗褐色      色      ロームブロック中量                      3 暗褐色      色      ロームブロック少量  
2 褐色      色      ローム粒子微量                              4 明褐色      色      ロームブロック少量

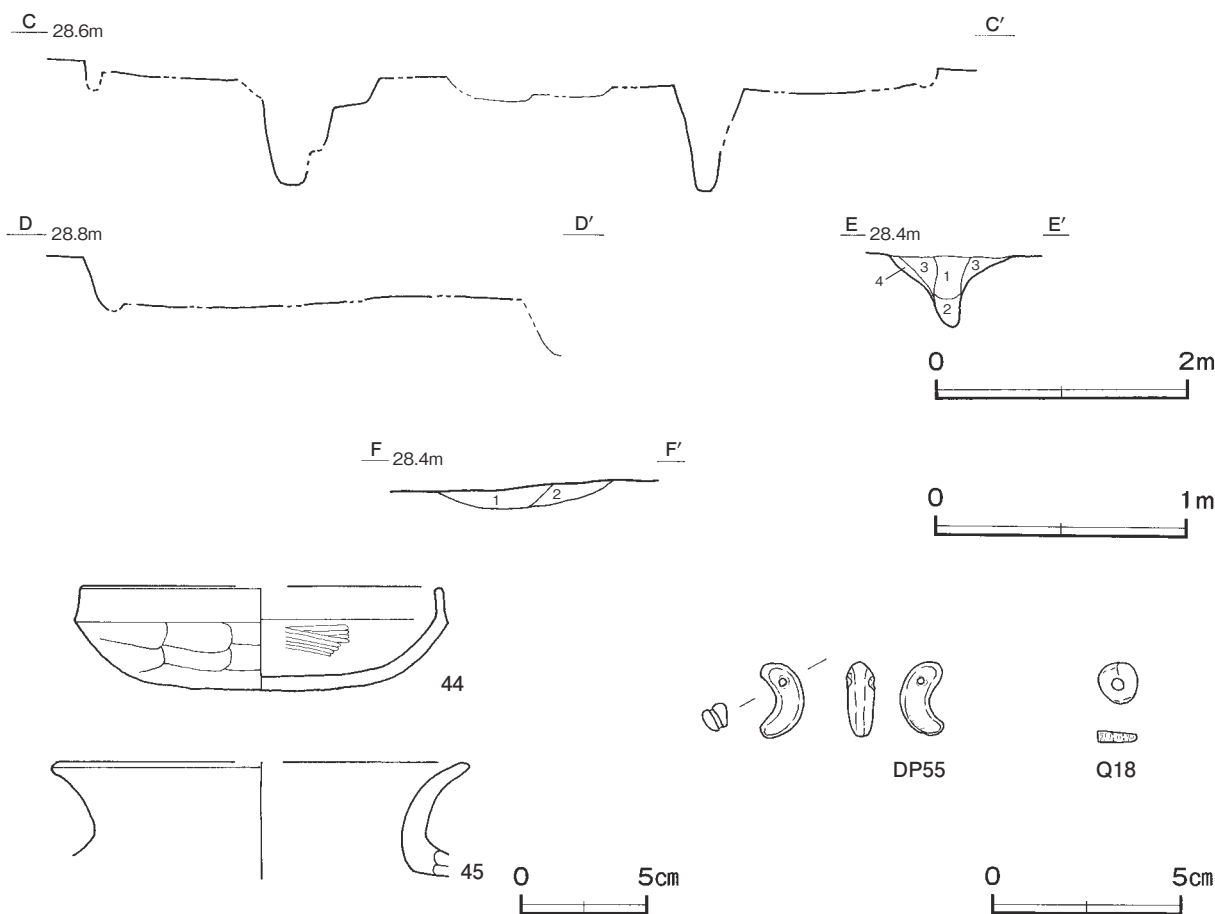
**覆土** 2層に分層できる。層厚が薄く、堆積の判断が難しいが、両層にロームブロックが含まれていることから、埋め戻されている。

**土層解説**

- 1 暗褐色      色      ロームブロック中量, 焼土粒子微量                      2 暗褐色      色      ロームブロック中量

**遺物出土状況** 土師器片243点(坏107, 高坏3, 甕類131, 甑2), 土製品1点(勾玉), 石製品1点(白玉), 鉄滓1点が、全域の覆土中層から床面にかけて出土している。44は南部の床面から出土していることから、廃絶時に遺棄されたものとみられる。45は破片で、床面から出土していることから、廃絶時に投棄されたものとみられる。

**所見** 時期は、出土土器や重複関係から、7世紀前葉に比定できる。



第86図 第36号竪穴建物跡・出土遺物実測図

第 36 号 竪穴建物跡出土遺物観察表 (第 86 図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考	
44	土師器	坏	[14.0]	4.1	-	長石・石英	橙	普通	口縁部外・内面横ナデ 内面ヘラ磨き	体部外面横位のヘラ削り	床面	20%
45	土師器	甕	[16.0]	(4.6)	-	長石・石英	にぶい黄橙	普通	口縁部外・内面横ナデ		床面	5%

番号	器種	長さ	厚さ	孔径	重量	胎土	色調	特徴	出土位置	備考
DP55	勾玉	1.93	1.10	0.18	1.39	長石・石英	暗赤灰	ナデ 一方向からの穿孔	覆土中	PL85

番号	器種	径	厚さ	孔径	重量	材質	特徴	出土位置	備考
Q 18	白玉	1.03	0.31	0.31	0.41	滑石	両面平滑 円筒状 一方向からの穿孔	覆土中	PL96

第 37 号 竪穴建物跡 (第 87 図)

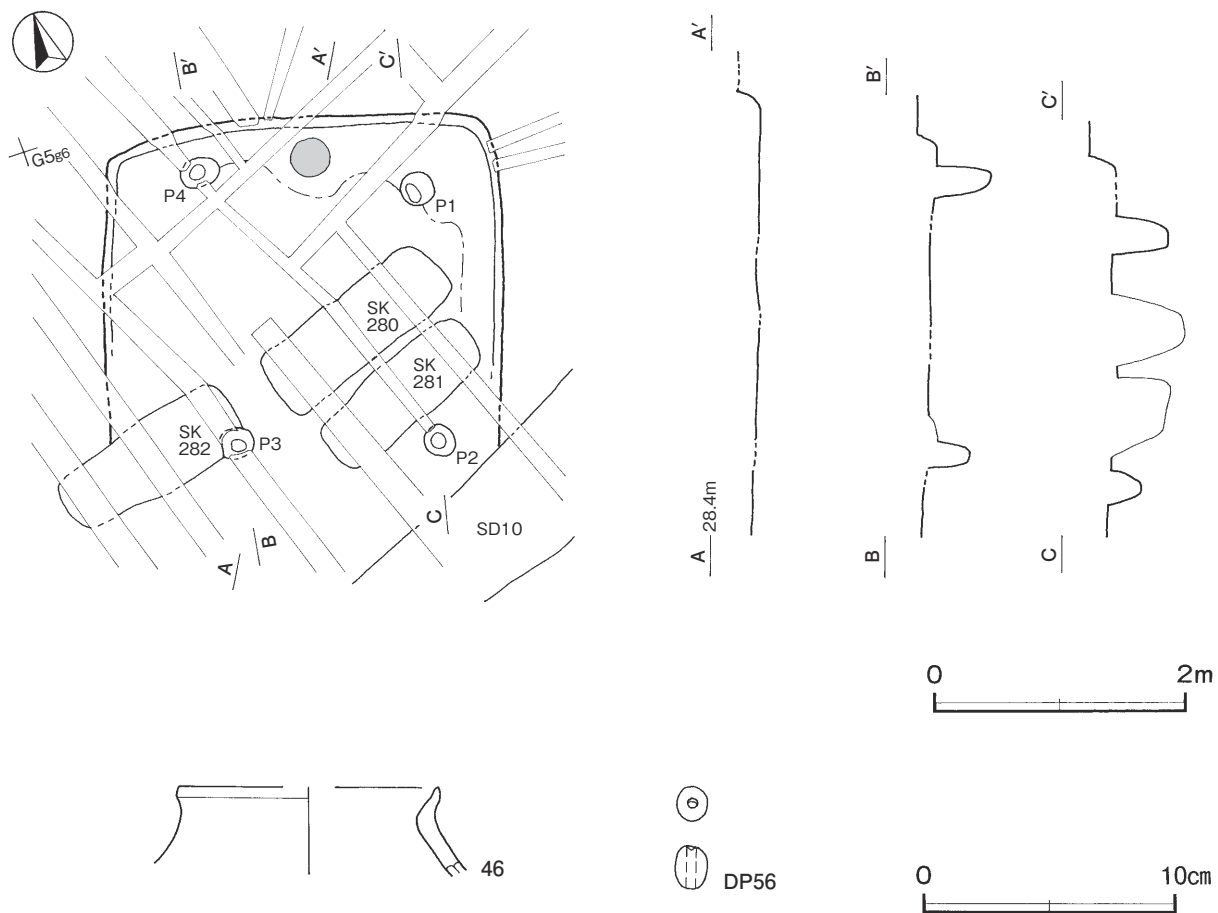
**位置** 調査D区南部のG 5 g6区, 標高 28 mほどの台地緩斜面部に位置している。

**重複関係** 第 280 ~ 282 号土坑, 第 10 号溝に掘り込まれている。

**規模と形状** 南部が攪乱を受けているため, 東西軸は 3.17 mで, 南北軸は 2.80 mしか確認できなかった。平面形は方形または長方形と推定でき, 主軸方向は N - 18° - Eである。壁は高さ 18cmで, ほぼ直立している。

**床** 平坦で, 中央部が踏み固められている。

**竈** 遺存状況が悪く, 火床面と考えられる焼土の広がりから, 北壁中央部に付設されていたと推定できる。火



第 87 図 第 37 号 竪穴建物跡・出土遺物実測図

床部は床面とはほぼ同じ高さを使用しており、火床面は火熱を受けて赤変硬化している。

**ピット** 4か所。P 1～P 4は深さ 20～45cmで、規模と配置から支柱穴である。

**覆土** 攪乱のため、明確な覆土は確認できなかった。

**遺物出土状況** 土師器片 30 点（坏 1，甕類 29），土製品 1 点（土玉）が覆土中から出土している。

**所見** 時期は、出土土器や重複関係から、6 世紀代と考えられる。

### 第 37 号竪穴建物跡出土遺物観察表（第 87 図）

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
46	土師器	甕	[10.4]	(3.5)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい橙	普通	口縁部外・内面横ナデ	覆土中	5%

番号	器種	径	厚さ	孔径	重量	胎土	色調	特徴	出土位置	備考
DP56	土玉	1.3	1.7	0.4	2.83	長石・雲母	にぶい橙	ナデ 一方向からの穿孔	覆土中	

### 第 38 号竪穴建物跡（第 88 図）

**位置** 調査D区南部のG 5 a2 区，標高 28 mほどの台地平坦部に位置している。

**重複関係** 第 39 号竪穴建物跡を掘り込み，第 306・311 号土坑に掘り込まれている。

**規模と形状** 長軸 4.40 m，短軸 3.75 mの長方形で，主軸方向はN - 3° - Eである。壁は高さ 3～28cmで，ほぼ直立している。

**床** ほぼ平坦で，中央部が踏み固められている。北壁東側を除き，壁下には壁溝が巡っている。

**竈** 北壁東寄りに付設されている。遺存状況が悪く，規模は焚口部から煙道部までが 108cm，燃焼部幅は 50cmと推定できる。袖部は床面と同じ高さの地山の上に，砂質粘土ブロックを主体とする第 6 層を積み上げて構築されている。火床部も床面とはほぼ同じ高さを使用しており，火床面は火熱を受けて赤変硬化している。煙道部は壁外に 32cm掘り込まれ，火床部から外傾していると推定できる。第 4 層は天井部の崩落土層である。

#### 竈土層解説

- |                             |                              |
|-----------------------------|------------------------------|
| 1 黒褐色 焼土ブロック多量，ローム粒子・炭化粒子中量 | 4 暗赤褐色 焼土ブロック多量，ローム粒子・炭化粒子微量 |
| 2 黒褐色 焼土ブロック中量，炭化粒子微量       | 5 暗褐色 ロームブロック中量，焼土粒子・炭化粒子少量  |
| 3 暗赤褐色 砂質粘土ブロック多量           | 6 灰黄褐色 砂質粘土ブロック多量，焼土粒子微量     |

**ピット** 6か所。P 1～P 3は深さ 27～60cmで，規模と配置から支柱穴である。P 4は深さ 27cmで，南壁際の中央部に位置していることから，出入り口施設に伴うピットと考えられる。P 5は深さ 15cmで，配置から補助柱穴と考えられる。P 6は深さ 27cmで，性格不明である。

#### ピット土層解説（各ピット共通）

- |                             |                         |
|-----------------------------|-------------------------|
| 1 暗褐色 ロームブロック・焼土粒子中量，炭化粒子少量 | 3 にぶい黄褐色 ローム粒子多量，焼土粒子微量 |
| 2 暗褐色 ロームブロック中量，焼土粒子・炭化粒子微量 |                         |

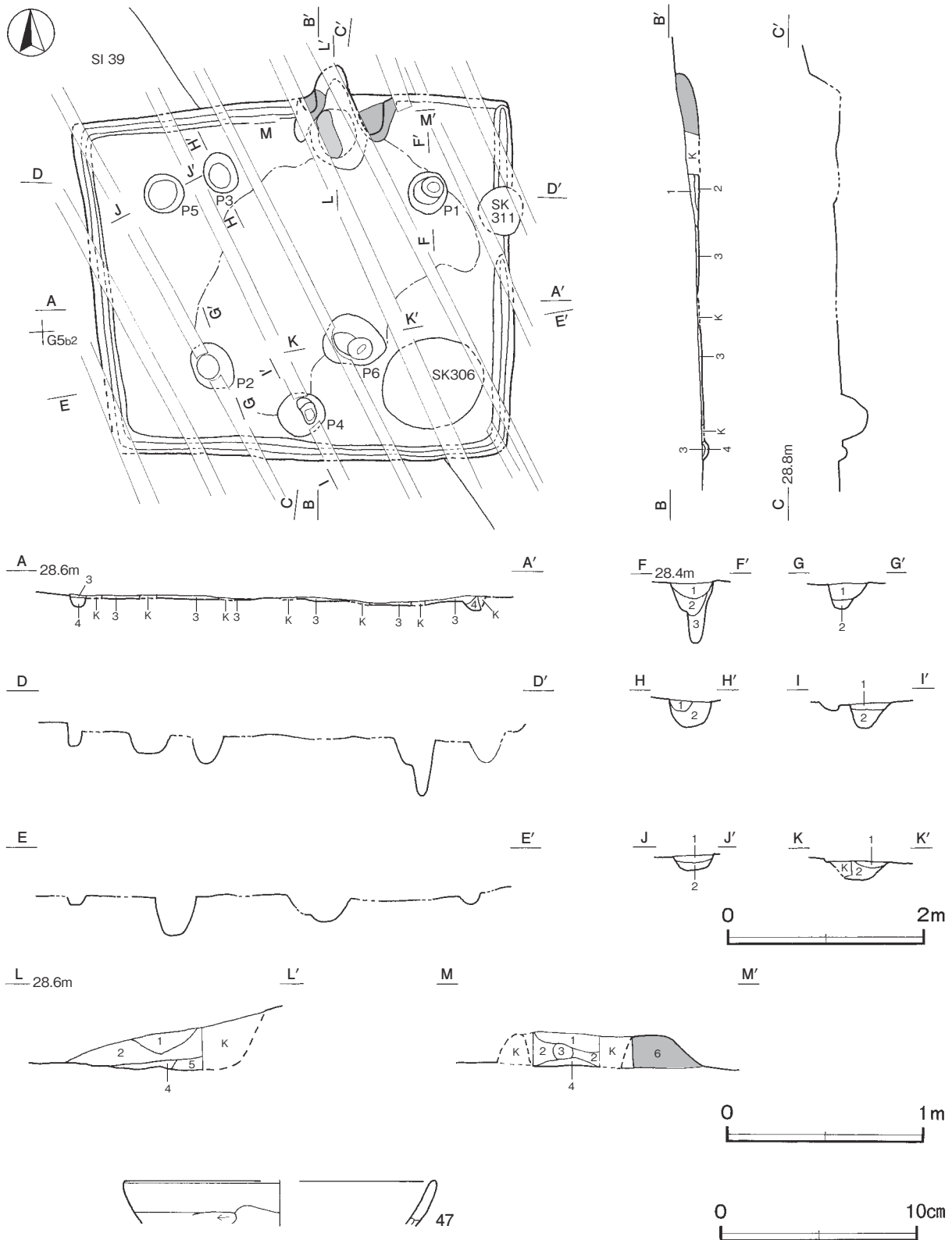
**覆土** 4層に分層できる。覆土に含有物が多いことから，埋め戻されている。

#### 土層解説

- |                     |                |
|---------------------|----------------|
| 1 褐色 ローム粒子少量，焼土粒子微量 | 3 褐色 ローム粒子少量   |
| 2 黒褐色 ローム粒子・焼土粒子少量  | 4 褐色 ロームブロック中量 |

**遺物出土状況** 土師器片 56 点（坏 6，甕類 50），金属製品 7 点（釘 1，不明 6）のほか，縄文土器片 1 点（深鉢）が，覆土中から出土している。

**所見** 時期は，出土土器や重複関係から，7 世紀中葉と考えられる。



第88図 第38号竪穴建物跡・出土遺物実測図

第38号竪穴建物跡出土遺物観察表（第88図）

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
47	土師器	坏	[15.7]	(22)	-	長石・石英	橙	普通	口縁部外・内面横ナデ 体部外面ヘラ削り 内面ヘラナデ	覆土中	5%

### 第 39 号竪穴建物跡 (第 89・90 図)

**位置** 調査D区南部のG 5 a1 区, 標高 28 m ほどの台地平坦部に位置している。

**重複関係** 第 54・55・57 号竪穴建物跡を掘り込み, 第 35・38 号竪穴建物に掘り込まれている。

**規模と形状** 南西部が調査区域外へ延びているため, 北西・南東軸は 7.76 m で, 北東・南西軸は 6.20 m しか確認できなかった。平面形は方形または長方形と推定でき, 主軸方向は N - 32° - W である。壁は高さ 6 ~ 35 cm で, ほぼ直立している。

**床** 平坦な貼床で, 壁際を除いて踏み固められている。貼床は, ロームブロックを含む第 9 ~ 11 層を埋土して構築されている。北東壁の一部を除き, 確認できた壁下には壁溝が巡っている。

**竈** 北西壁中央部に付設されている。規模は焚口部から煙道部まで 147cm で, 燃烧部幅は 35cm である。袖部は地山をわずかに掘りくぼめ, その上に粘土粒子を主体とする第 8・9 層を積み上げて構築されている。火床部は床面を 7cm ほど掘り込み, ロームブロックを含む第 10・11 層を埋土して構築されており, 火床面は火熱を受けて赤変硬化している。煙道部は壁外に 33cm 掘り込まれ, 火床部から外傾している。第 1 層は天井部の崩落土層である。

#### 竈土層解説

- |          |                         |        |                        |
|----------|-------------------------|--------|------------------------|
| 1 におい黄褐色 | ローム粒子・粘土粒子多量, 焼土粒子少量    | 7 赤褐色  | 焼土ブロック中量, ローム粒子微量      |
| 2 におい黄褐色 | 焼土ブロック中量, ロームブロック少量     | 8 暗赤褐色 | 焼土ブロック・粘土粒子中量, 炭化粒子少量  |
| 3 におい黄褐色 | ローム粒子・粘土粒子中量, 焼土粒子微量    | 9 灰黄褐色 | 粘土粒子中量, 焼土粒子微量         |
| 4 暗褐色    | 焼土ブロック多量, ロームブロック中量     | 10 赤褐色 | 焼土ブロック中量, ロームブロック微量    |
| 5 におい赤褐色 | 焼土粒子中量, 粘土粒子少量, ローム粒子微量 | 11 暗褐色 | ロームブロック中量, 焼土粒子・炭化粒子微量 |
| 6 赤褐色    | 焼土ブロック多量, 炭化粒子微量        |        |                        |

**ピット** 4 か所。P 1 ~ P 3 は深さ 66 ~ 68cm で, 規模と配置から支柱穴である。第 1 ~ 3 層は柱抜き取り後の堆積土, 第 4・5 層は埋土である。P 4 は深さ 24cm で, 南東壁際の中央部に位置していることから, 出入口施設に伴うピットと考えられる。

#### ピット土層解説 (各ピット共通)

- |       |           |       |                   |
|-------|-----------|-------|-------------------|
| 1 暗褐色 | ロームブロック少量 | 4 褐色  | ロームブロック少量         |
| 2 暗褐色 | ローム粒子少量   | 5 暗褐色 | ロームブロック中量, 焼土粒子微量 |
| 3 暗褐色 | ローム粒子微量   |       |                   |

**覆土** 8 層に分層できる。多くの層にロームブロックが含まれていることから, 埋め戻されている。第 9 ~ 11 層は貼床の構築土である。

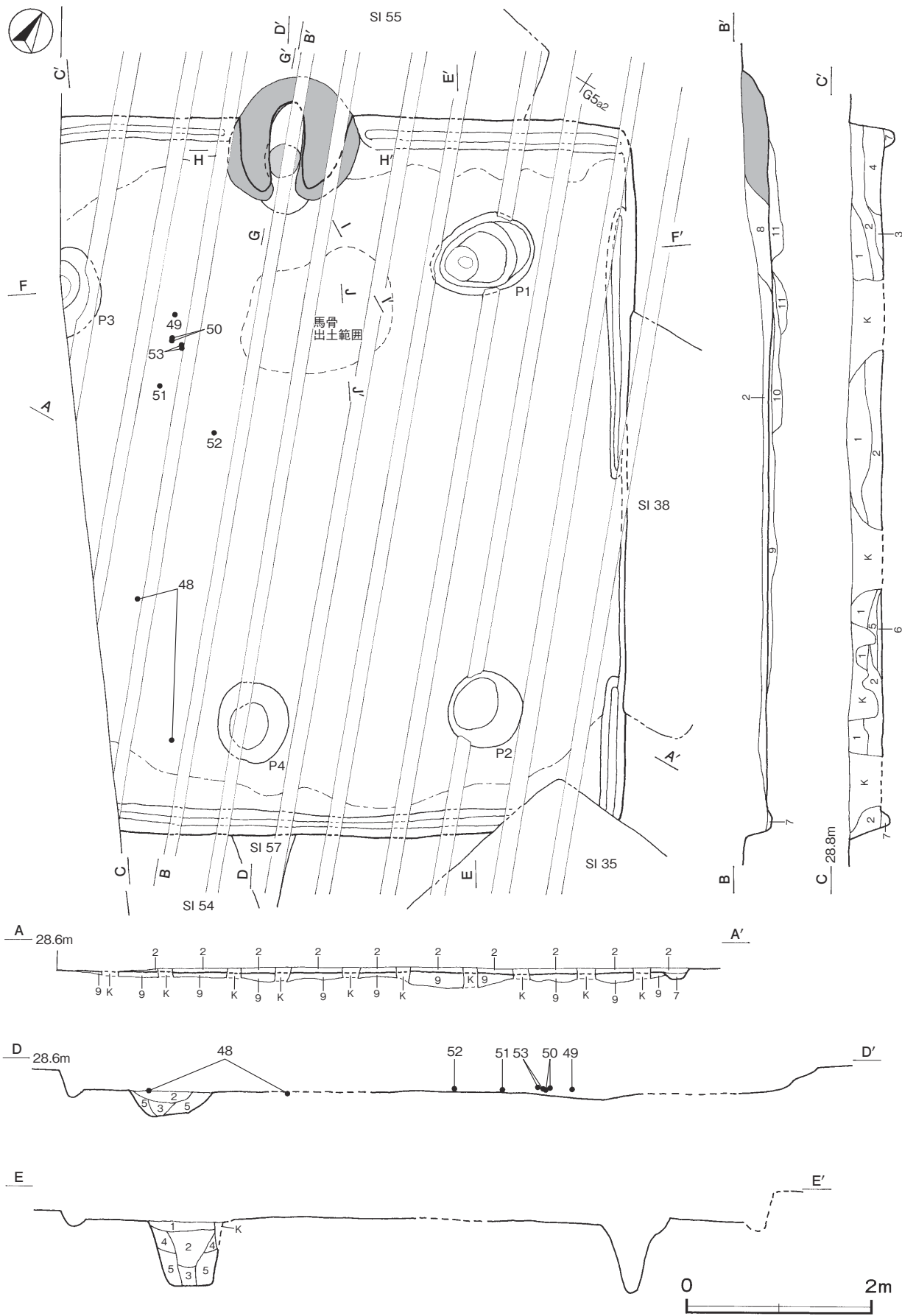
#### 土層解説

- |          |                        |           |                   |
|----------|------------------------|-----------|-------------------|
| 1 暗褐色    | ローム粒子多量, 焼土粒子・炭化粒子少量   | 7 暗褐色     | ロームブロック中量         |
| 2 暗褐色    | ロームブロック中量, 焼土粒子・炭化粒子微量 | 8 褐灰色     | 粘土粒子多量, ロームブロック中量 |
| 3 暗褐色    | ローム粒子中量, 焼土粒子・炭化粒子微量   | 9 暗褐色     | ロームブロック少量         |
| 4 暗褐色    | ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子微量 | 10 におい黄褐色 | ロームブロック中量         |
| 5 暗褐色    | 焼土ブロック多量, ローム粒子・炭化粒子少量 | 11 におい黄褐色 | ロームブロック微量         |
| 6 におい黄褐色 | ロームブロック多量, 焼土粒子・炭化粒子微量 |           |                   |

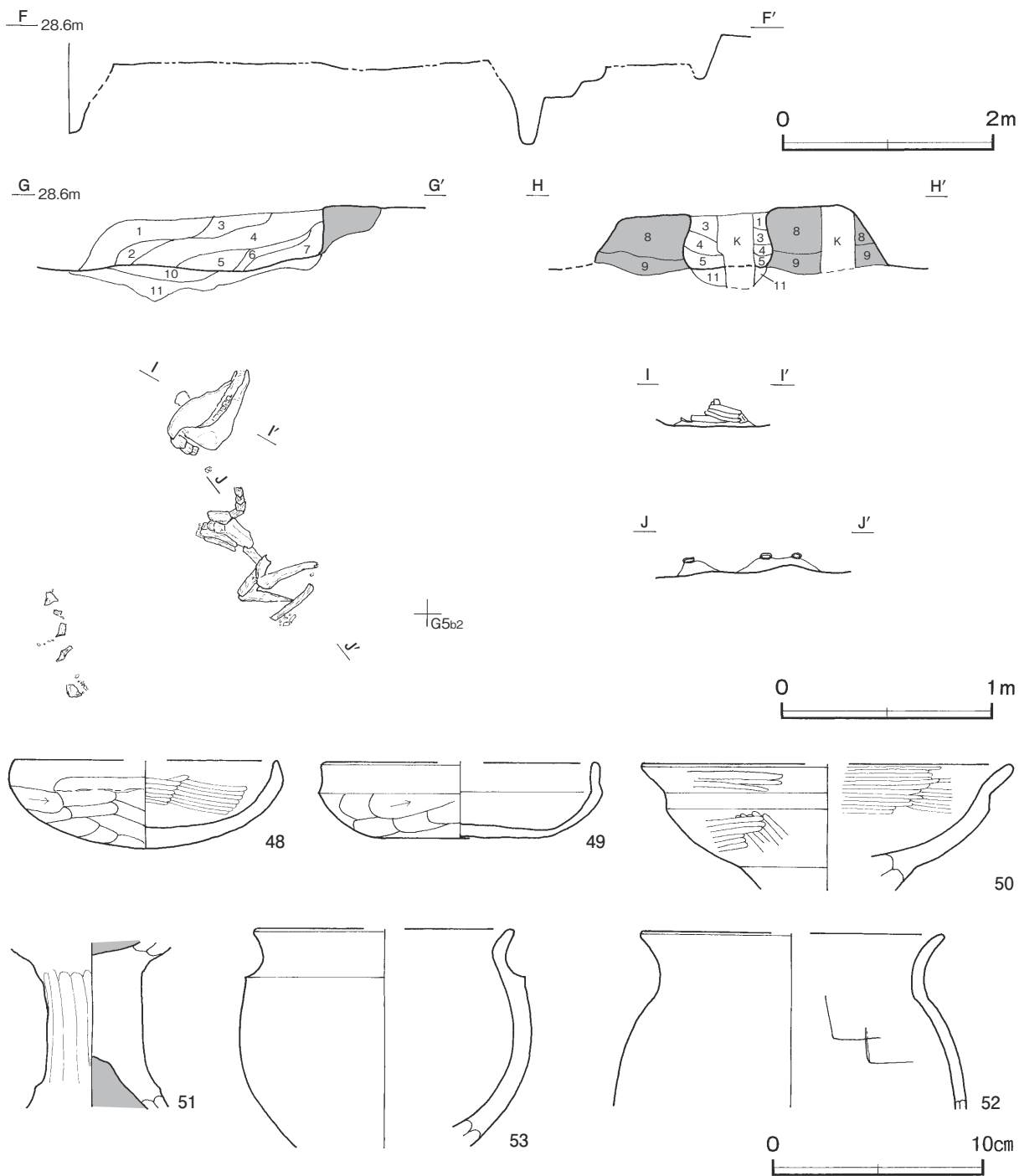
**遺物出土状況** 土師器片 228 点 (坏類 33, 蓋 1, 高坏 2, 甕類 191, 小形甕 1), 土製品 2 点 (土玉, 管状土錘), 馬骨 1 体が, 全域の覆土下層から床面にかけて出土している。48 は南部の床面から出土した破片が接合していることから, 廃絶時に破碎して投棄されたものとみられる。49 ~ 53 は覆土下層から出土していることから, 埋め戻す過程で廃棄されたものとみられる。馬骨は, 頭骨, 下顎骨と左右の歯, 頸椎の一部, 左の肩甲骨を確認した。遺存率の高い部位を計測した結果, 体高 105 ~ 115cm, 年齢 8 ~ 11 才の雌馬であったと考えられる。馬を埋葬した明確な掘り込みが確認できなかったことから, 廃絶時に遺棄されたものとみられる。

**所見** 時期は, 出土土器や重複関係から, 7 世紀前葉に比定できる。





第 89 图 第 39 号竖穴建物跡実测图



第 90 図 第 39 号竪穴建物跡・出土遺物実測図

第 39 号竪穴建物跡出土遺物観察表 (第 90 図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考	
48	土師器	坏	[12.3]	4.1	-	長石・石英	にぶい黄褐	普通	口縁部外・内面横ナデ 内面横位のヘラ磨き	体部外面ヘラ削り	床面	70% PL60
49	土師器	坏	[12.8]	4.6	-	長石・石英	褐灰	普通	口縁部外・内面横ナデ 内面ヘラナデ	体部外面横位のヘラ削り	覆土下層	30%
50	土師器	高坏	[17.0]	(6.0)	-	長石・石英・ 雲母・赤色粒子	にぶい橙	普通	口縁部外・内面横ナデ後横位のヘラ磨き 体部外・内面ヘラ磨き		覆土下層	10%
51	土師器	高坏	-	(7.8)	-	長石・石英・ 赤色粒子	にぶい黄橙	普通	坏部内面ヘラ磨き	脚部外面縦位のヘラ磨き	覆土下層	30%
52	土師器	甕	[14.2]	(8.4)	-	長石・石英	橙	普通	口縁部外・内面横ナデ 内面ヘラナデ	体部外面摩滅	覆土下層	20%
53	土師器	小形甕	[12.0]	(10.4)	-	長石・石英	橙	普通	口縁部外・内面横ナデ	体部外・内面摩滅	覆土下層	20%

### 第40号竪穴建物跡（第91図）

**位置** 調査D区南部のG5a3区，標高28mほどの台地平坦部に位置している。

**重複関係** 第36号竪穴建物跡を掘り込み，第295・448号土坑に掘り込まれている。

**規模と形状** 長軸2.63m，短軸2.58mの方形で，主軸方向はN-8°-Wである。壁は高さ7～15cmで，ほぼ直立している。

**床** ほぼ平坦で，明確な硬化面は認められない。

**竈** 遺存状況が悪く，竈構築材と考えられる粘土粒子の広がりから，北壁中央部に付設されていたと推定できる。火床部は床面を8cmほど掘り込み，ロームブロックを含む第3層を埋土して構築されている。火床面の赤変硬化は認められない。

#### 竈土層解説

- |                      |                 |
|----------------------|-----------------|
| 1 褐灰色 粘土粒子少量，ローム粒子微量 | 3 暗褐色 ロームブロック少量 |
| 2 暗褐色 ローム粒子少量        |                 |

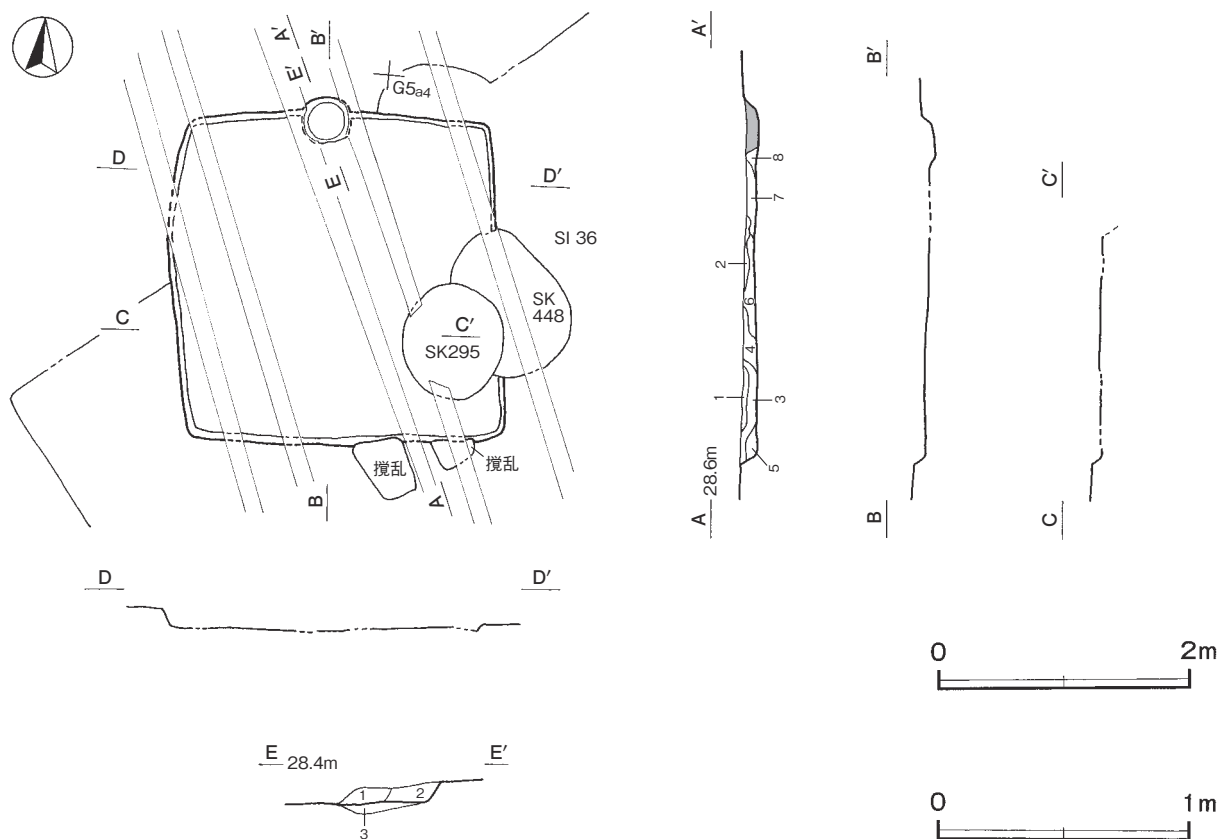
**覆土** 8層に分層できる。多くの層にロームブロックが含まれ，不規則な堆積状況を示していることから，埋め戻されている。

#### 土層解説

- |                      |                     |
|----------------------|---------------------|
| 1 暗褐色 ロームブロック・焼土粒子微量 | 5 黄褐色 ロームブロック中量     |
| 2 褐色 ロームブロック中量       | 6 褐色 ロームブロック少量      |
| 3 褐色 ローム粒子・焼土粒子微量    | 7 褐色 ロームブロック・焼土粒子少量 |
| 4 褐色 ローム粒子微量         | 8 褐灰色 粘土粒子中量，焼土粒子少量 |

**遺物出土状況** 土師器片74点（坏3，甕類71），須恵器片6点（坏），土製品1点（支脚），石器2点（砥石），金属製品6点（不明）が，覆土中から出土している。いずれも細片のため図示できない。

**所見** 時期は，出土土器や重複関係から，7世紀中葉と考えられる。



第91図 第40号竪穴建物跡実測図

### 第 41 号竪穴建物跡 (第 92 ~ 94 図)

**位置** 調査D区中央部の F 6j4 区, 標高 28 m ほどの台地平坦部に位置している。

**重複関係** 第 45 号竪穴建物跡を掘り込み, 第 25 号竪穴建物, 第 349・350・359・370 ~ 373・375・376・388・389・402・404・406・408・804 号土坑に掘り込まれている。

**規模と形状** 長軸 7.22 m, 短軸 6.33 m の長方形で, 主軸方向は N - 49° - W である。壁は高さ 10 ~ 24 cm で, ほぼ直立している。

**床** 平坦な貼床で, 中央部が踏み固められている。貼床は, ロームブロックを含む第 8 ~ 11 層を埋土して構築されている。北東壁と南東壁の壁下には壁溝が巡っている。

**竈** 北西壁中央部に付設されている。規模は焚口部から煙道部まで 146 cm で, 燃焼部幅は 60 cm である。袖部は床面と同じ高さの地山の上に, 粘土粒子を主体とする第 10 ~ 18 層を積み上げて構築されている。火床部は床面を 5 cm ほど掘り込み, ロームブロックを含む第 19・20 層を埋土して構築されており, 火床面は火熱を受けて赤変硬化している。煙道部は壁外に 33 cm 掘り込まれ, 火床部から外傾している。火床部付近の覆土中層から出土した土師器甕 (55)・甑 (56) の破片がそれぞれ接合している。遺存状況から埋没する過程で投棄されたか流れ込んだものとみられる。

#### 竈土層解説

1 灰黄褐色	焼土粒子少量, ローム粒子微量	11 赤褐色	炭化粒子・粘土粒子中量, 焼土粒子少量
2 にぶい黄褐色	焼土ブロック中量, ローム粒子微量	12 灰褐色	粘土粒子少量, 炭化粒子微量
3 褐色	ロームブロック少量	13 灰オリーブ色	粘土粒子中量
4 にぶい黄褐色	ローム粒子・焼土粒子微量	14 暗赤褐色	粘土粒子多量
5 暗褐色	ロームブロック少量, 焼土粒子微量	15 暗褐色	焼土粒子・粘土粒子少量
6 暗褐色	焼土粒子少量, ローム粒子微量	16 黒褐色	焼土粒子中量, 炭化粒子少量, 粘土粒子微量
7 にぶい赤褐色	焼土ブロック中量, ローム粒子微量	17 暗褐色	ロームブロック中量, 粘土粒子少量
8 暗褐色	ローム粒子・焼土粒子微量	18 灰オリーブ色	粘土粒子中量
9 暗褐色	焼土ブロック中量, ローム粒子微量	19 赤褐色	焼土粒子中量, 粘土粒子少量
10 暗褐色	ローム粒子・焼土粒子・炭化粒子微量	20 にぶい黄褐色	ロームブロック中量

**ピット** 16 か所。P 1 ~ P 4 は深さ 48 ~ 84 cm で, 規模と配置から主柱穴である。壁溝から壁柱穴と考えられるピット 12 基を確認した。

#### ピット土層解説 (P 1 ~ P 4 共通)

1 暗褐色	ローム粒子少量	4 褐色	ロームブロック少量
2 暗褐色	ロームブロック中量	5 にぶい黄褐色	ロームブロック中量
3 にぶい黄褐色	ロームブロック少量		

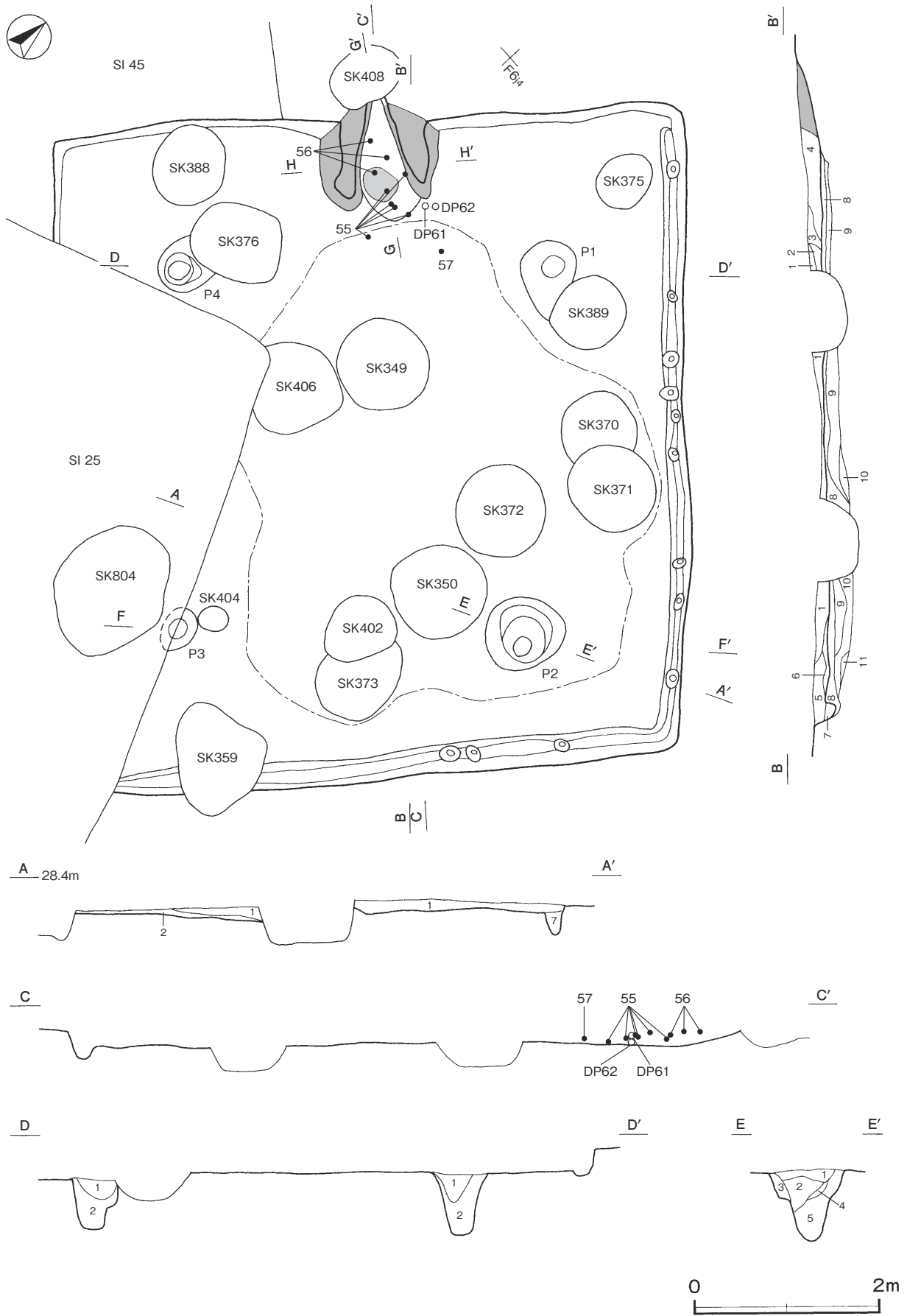
**覆土** 7 層に分層できる。含有物が少なく, 周囲から流れ込んだ堆積状況を示していることから, 自然堆積である。第 8 ~ 11 層は貼床の構築土である。

#### 土層解説

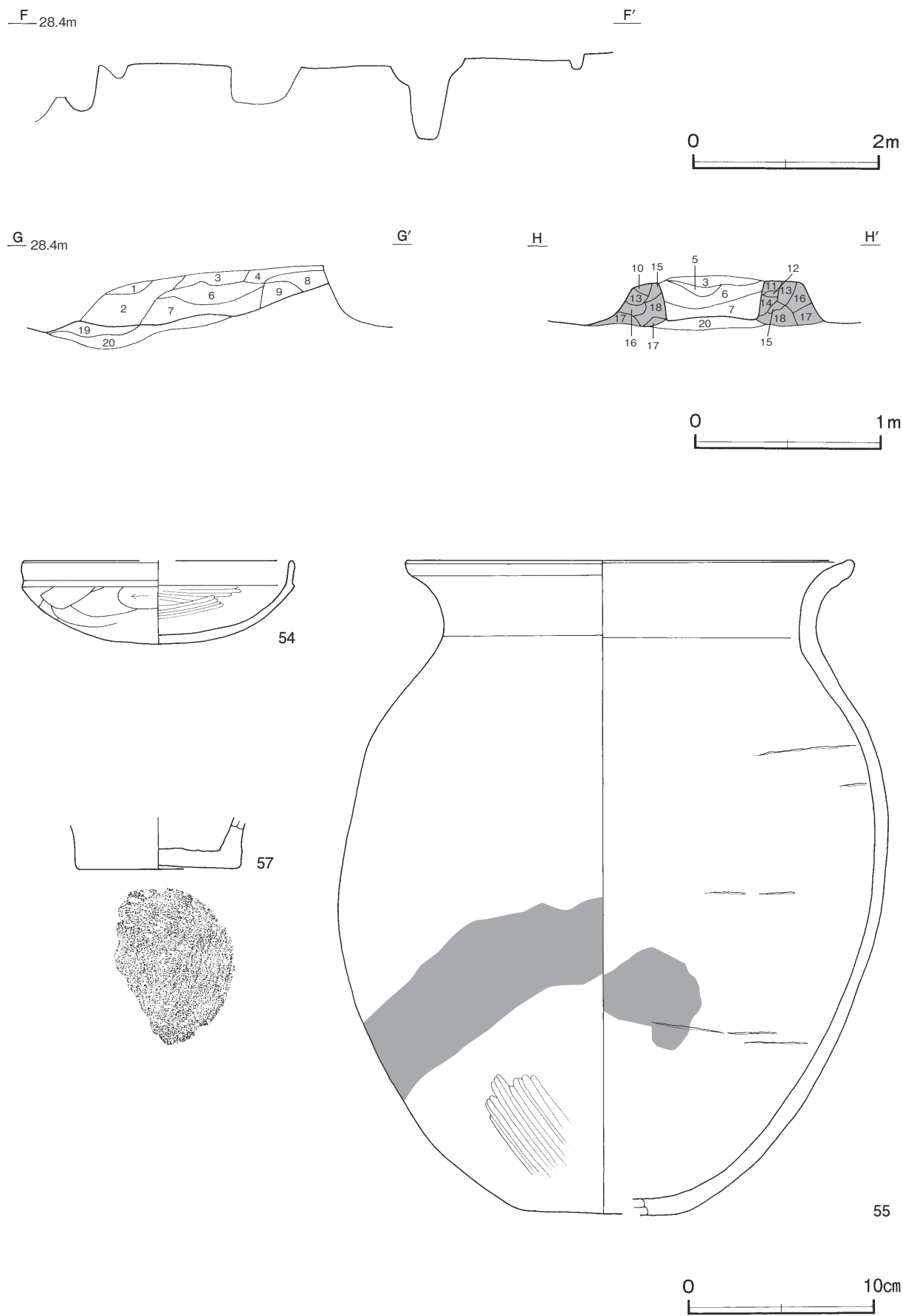
1 暗褐色	ローム粒子・炭化粒子微量	7 暗褐色	ローム粒子微量
2 にぶい黄褐色	ロームブロック少量, 焼土粒子微量	8 にぶい黄褐色	ロームブロック中量
3 暗褐色	ローム粒子・炭化粒子微量	9 褐色	ロームブロック少量
4 暗褐色	ロームブロック・炭化粒子微量	10 褐色	ローム粒子微量
5 にぶい黄褐色	ロームブロック微量	11 暗褐色	ロームブロック微量
6 褐色	ロームブロック中量		

**遺物出土状況** 土師器片 205 点 (坏 37, 椀 9, 高坏 3, 鉢 1, 甕類 152, 甑 1, コップ形土器 1, 手捏土器 1), 土製品 10 点 (土玉 9, 管状土錘 1) のほか, 縄文土器片 23 点 (深鉢), 弥生土器片 2 点 (壺) が, 北西部の覆土中層から下層を中心に出土している。57 は竈前面の覆土下層から出土していることから, 埋没する過程で流れ込んだものとみられる。

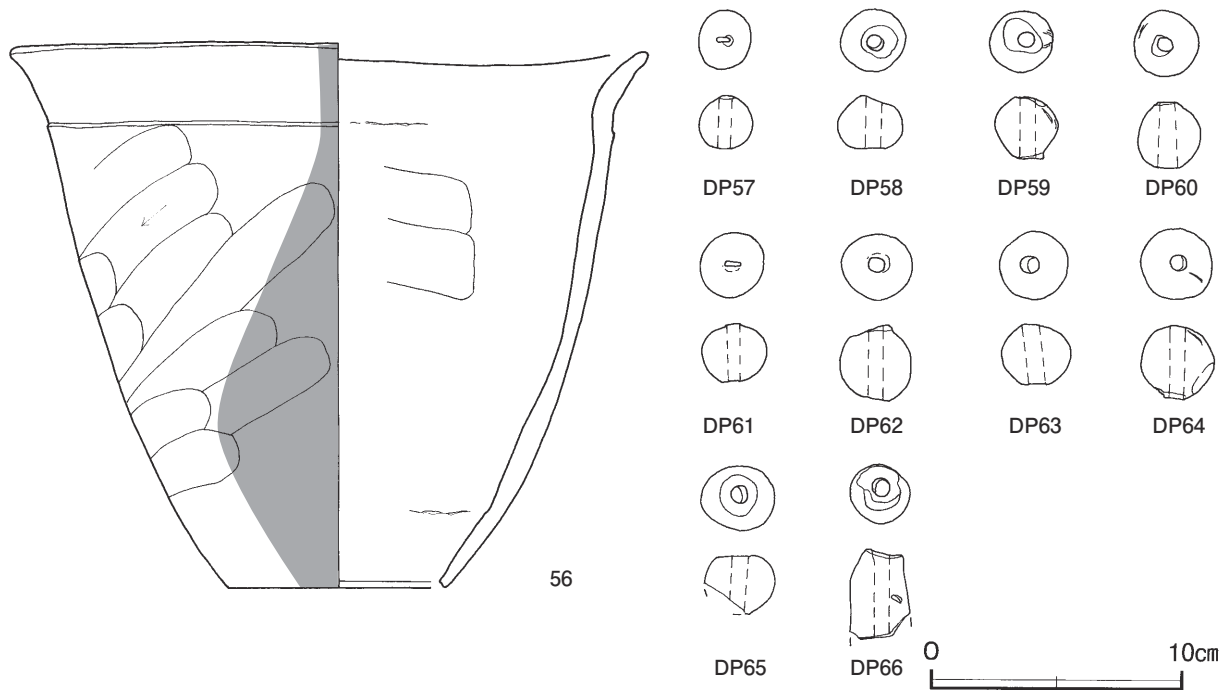
**所見** 時期は, 7 世紀前葉に比定できる第 25 号竪穴建物に掘り込まれていることや, 出土土器から 6 世紀後葉に比定できる。当跡を掘り込む 16 基の土坑は掘立柱建物跡や柵跡の可能性があるが, 覆土が柱穴の様相を呈していないことや当遺跡の掘立柱建物跡の分布域から外れることから, 別の性格のものと考えられる。



第 92 图 第 41 号竖穴建物迹实测图



第 93 図 第 41 号竖穴建物跡・出土遺物実測図



第94図 第41号竪穴建物跡出土遺物実測図

第41号竪穴建物跡出土遺物観察表（第93・94図）

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
54	土師器	坏	[14.3]	4.5	-	長石・石英	灰黄褐	普通	口縁部外・内面横ナデ 体部外面へラ削り 内面へラ磨き	覆土中	30%
55	土師器	甕	24.0	35.5	7.3	長石・石英・雲母	にぶい黄橙	普通	体部外面摩滅・へラ磨き 内面へラナデ 輪積痕	竈覆土下層 ～中層	80% 煤付着 PL60
56	土師器	甌	25.0	21.7	8.7	長石・石英・ 赤色粒子	橙	普通	口縁部外面横ナデ 体部外面へラ削り 内面へラナデ 輪積痕	竈覆土中層	95% 煤付着 PL61
57	土師器	コップ 形土器	-	(28)	8.4	長石・石英	橙	普通	体部外・内面へラナデ	覆土下層	30%

番号	器種	径	厚さ	孔径	重量	胎土	色調	特徴	出土位置	備考
DP57	土玉	20～24	2.1	0.5	10.3	長石・石英	橙	ナデ 一方向からの穿孔	覆土中	
DP58	土玉	25～26	2.1	0.6	12.8	長石・石英	にぶい褐	ナデ 一方向からの穿孔 両端部を平坦に成形	覆土中	
DP59	土玉	2.5	2.5	0.6～0.7	13.9	長石・石英	橙	ナデ 一方向からの穿孔	覆土中	
DP60	土玉	25～26	2.6	0.6～0.9	16.6	長石・石英	橙	ナデ 一方向からの穿孔	覆土中	
DP61	土玉	2.6	2.3	0.5	15.5	長石・石英	橙	ナデ 一方向からの穿孔	覆土中層	
DP62	土玉	26～28	3.0	0.6	20.5	長石・石英	橙	ナデ 一方向からの穿孔	覆土下層	
DP63	土玉	2.7	2.4	0.6	17.2	長石・石英	橙	ナデ 一方向からの穿孔	覆土中	
DP64	土玉	28～29	2.9	0.6	21.3	長石・石英	にぶい橙	ナデ 一方向からの穿孔 指頭痕	覆土中	
DP65	土玉	26～29	2.3	0.6	(15.5)	長石・石英	にぶい黄橙	一部欠損 ナデ 一方向からの穿孔	覆土中	

番号	器種	径	長さ	孔径	重量	胎土	色調	特徴	出土位置	備考
DP66	管状土錘	2.4	(3.6)	0.6	(16.1)	長石・石英	にぶい褐	ナデ 一方向からの穿孔	覆土中	

#### 第42号竪穴建物跡（第95～97図）

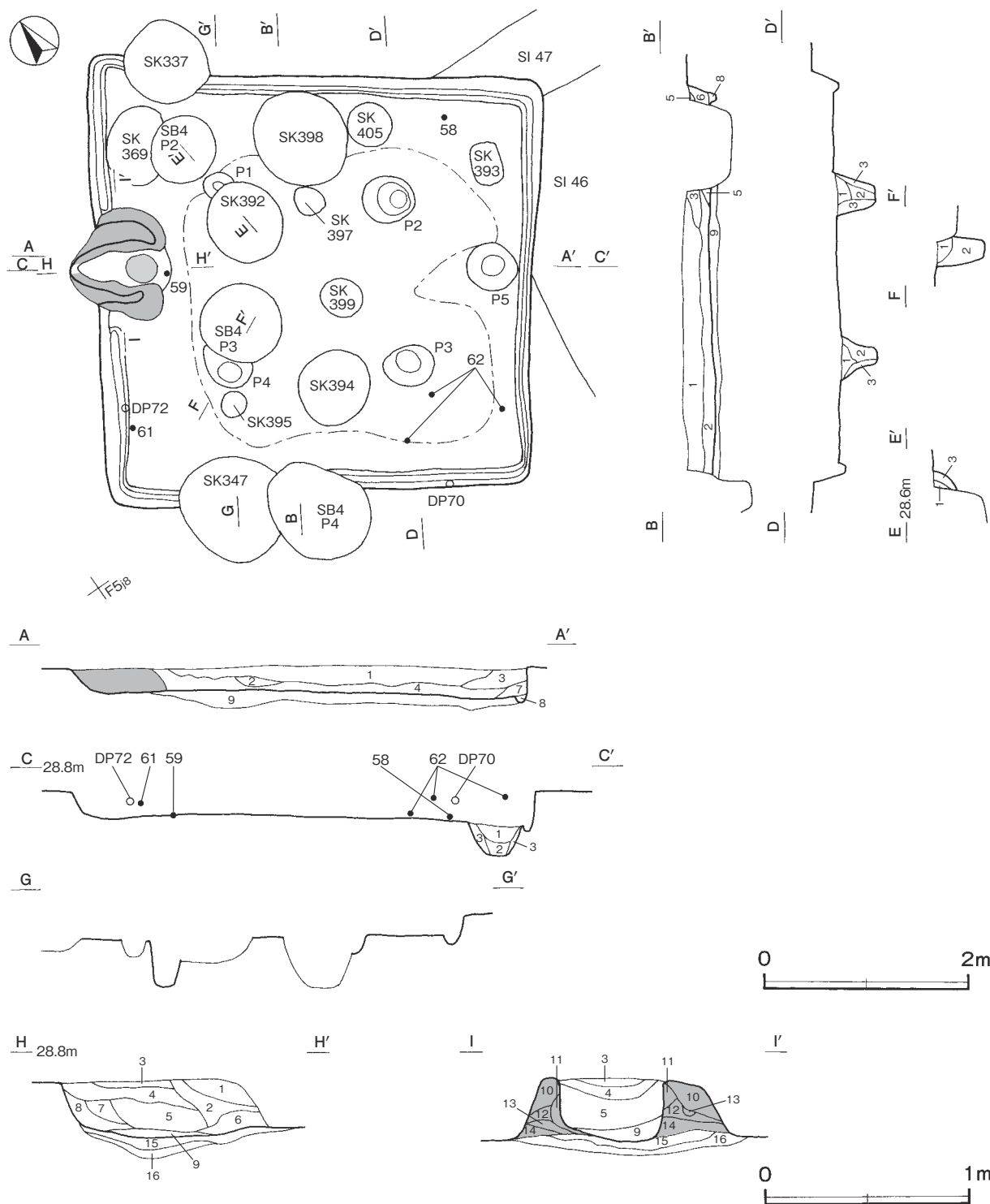
位置 調査D区中央部のF5i8区、標高28mほどの台地平坦部に位置している。

重複関係 第46・47号竪穴建物跡を掘り込み、第4号掘立柱建物、第337・347・369・392～395・397～399・405号土坑に掘り込まれている。

**規模と形状** 長軸 4.45 m，短軸 4.41 m の方形で，主軸方向は N - 55° - W である。壁は高さ 18 ~ 28 cm で，直立している。

**床** 平坦な貼床で，中央部が踏み固められている。貼床は，ロームブロックを含む第 9 層を埋土して構築されている。確認できた壁下には壁溝が巡っている。

**竈** 北西壁中央部に付設されている。規模は焚口部から煙道部まで 101 cm で，燃焼部幅は 36 cm である。袖部は



第 95 図 第 42 号竪穴建物跡実測図



床面から5～10cm掘りくぼめた部分に第15・16層を埋土して、粘土粒子を主体とする第10～14層を積み上げて構築されている。火床部は第15層上面を使用しており、火床面は火熱を受けて赤変硬化している。煙道部は壁外に29cm掘り込まれ、火床部から外傾している。

**竈土層解説**

- |          |                        |           |                   |
|----------|------------------------|-----------|-------------------|
| 1 暗褐色    | ロームブロック中量, 炭化粒子少量      | 9 暗赤褐色    | 焼土ブロック中量, ローム粒子微量 |
| 2 暗褐色    | 焼土ブロック中量, ローム粒子・炭化粒子少量 | 10 灰黄色    | ロームブロック・粘土粒子少量    |
| 3 にぶい黄褐色 | ローム粒子・焼土粒子微量           | 11 灰褐色    | 焼土粒子少量, 粘土粒子微量    |
| 4 にぶい黄褐色 | ローム粒子・焼土粒子少量           | 12 灰褐色    | 粘土粒子少量            |
| 5 褐色     | ロームブロック・炭化物中量, 焼土粒子微量  | 13 灰オリーブ色 | 粘土粒子中量            |
| 6 にぶい黄褐色 | 焼土ブロック・ローム粒子少量, 炭化粒子微量 | 14 暗褐色    | ロームブロック中量, 粘土粒子少量 |
| 7 暗褐色    | ローム粒子・焼土粒子・炭化粒子微量      | 15 褐色     | ロームブロック中量         |
| 8 にぶい黄褐色 | ロームブロック中量, 焼土粒子・炭化粒子微量 | 16 にぶい黄褐色 | ローム粒子多量           |

**ピット** 5か所。P1～P4は深さ27～40cmで、規模と配置から支柱穴である。第1・2層は抜き取り後の堆積土、第3層は埋土である。P5は深さ33cmで、南東壁際の中央部に位置していることから、出入口施設に伴うピットと考えられる。

**ピット土層解説 (各ピット共通)**

- |       |           |          |           |
|-------|-----------|----------|-----------|
| 1 暗褐色 | ロームブロック中量 | 3 にぶい黄褐色 | ロームブロック多量 |
| 2 暗褐色 | ローム粒子少量   |          |           |

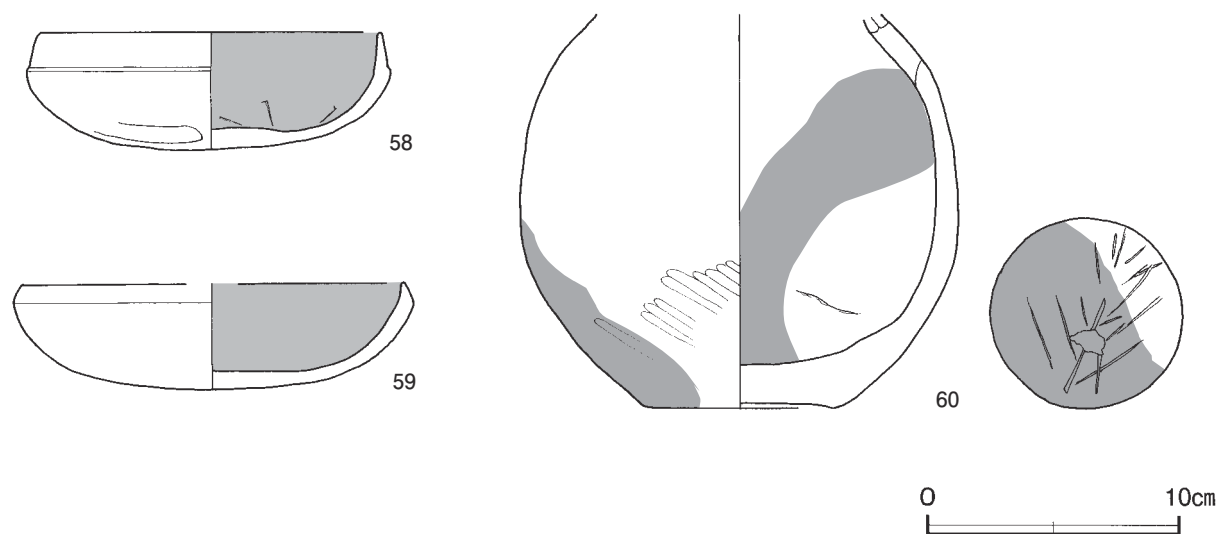
**覆土** 8層に分層できる。多くの層にロームブロックが含まれていることから、埋め戻されている。第9層は貼床の構築土である。

**土層解説**

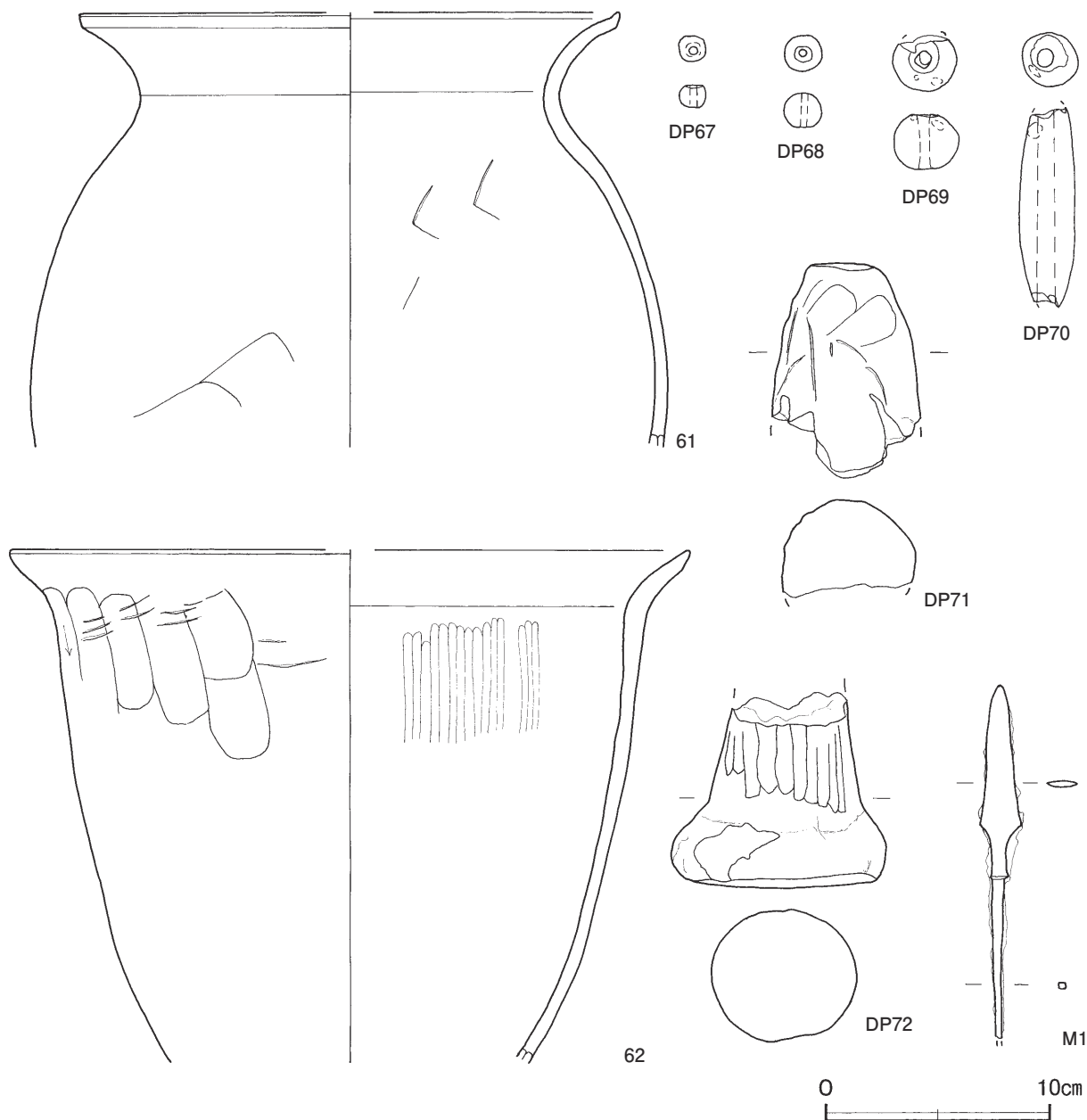
- |        |                        |          |           |
|--------|------------------------|----------|-----------|
| 1 暗褐色  | ロームブロック少量, 焼土粒子微量      | 6 暗褐色    | ロームブロック微量 |
| 2 灰黄褐色 | 粘土粒子中量, ローム粒子・焼土粒子微量   | 7 暗褐色    | ロームブロック中量 |
| 3 暗褐色  | ローム粒子少量                | 8 にぶい黄褐色 | ロームブロック中量 |
| 4 暗褐色  | ロームブロック中量, 焼土粒子・炭化粒子微量 | 9 灰黄褐色   | ロームブロック少量 |
| 5 極暗褐色 | ロームブロック少量              |          |           |

**遺物出土状況** 土師器片600点(坏類166, 蓋5, 壺1, 甕類417, 甑12), 土製品7点(土玉3, 管状土錘1, 支脚3), 金属製品1点(鏃)のほか、縄文土器片22点(深鉢), 剥片1点が、全域の覆土中層から床面にかけて出土している。59は竈前面の床面から出土していることから、廃絶時に遺棄されたものとみられる。58は北東壁際の覆土下層から出土していることから、埋め戻しの過程で投棄されたものとみられる。

**所見** 時期は、出土土器や重複関係から、6世紀後葉に比定できる。



第96図 第42号竪穴建物跡出土遺物実測図(1)



第 97 図 第 42 号竪穴建物跡出土遺物実測図 (2)

第 42 号竪穴建物跡出土遺物観察表 (第 96・97 図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
58	土師器	坏	13.5	4.7	-	長石・石英	橙	普通	口縁部外・内面横ナデ 体部外面ヘラ削り 内面ヘラナデ	覆土下層	80% PL61
59	土師器	坏	[15.0]	4.2	-	長石・石英	にぶい褐	普通	口縁部外面横ナデ 体部外・内面摩滅	床面	60%
60	土師器	壺	-	(15.6)	7.6	長石・石英・ 雲母・赤色粒子	にぶい橙	普通	体部外面ヘラ磨き 内面ナデ 輪積痕 底部木 葉痕	覆土中	50% 煤付着
61	土師器	甕	[23.8]	(19.3)	-	長石・石英・雲母	にぶい橙	普通	口縁部外・内面横ナデ 体部外面ヘラ削り 内面ヘラナデ	覆土中層	20%
62	土師器	甌	[30.2]	(22.8)	-	長石・石英・ 雲母・赤色粒子	にぶい橙	普通	口縁部外・内面横ナデ 体部外面縦位のヘラ削り 内面縦位のヘラ磨き	覆土下層 ~上層	20%

番号	器種	径	厚さ	孔径	重量	胎土	色調	特徴	出土位置	備考
DP67	土玉	1.1	0.9	0.3	1.40	長石・石英	にぶい橙	ナデ 一方向からの穿孔 両端部を平坦に成形	覆土中	
DP68	土玉	1.7	1.6	0.3	3.55	長石・石英	橙	ナデ 一方向からの穿孔	覆土中	
DP69	土玉	2.9	2.4	0.7	(17.5)	長石・石英	橙	一部欠損 ナデ 一方向からの穿孔 片端部を平 坦に成形	覆土中	

番号	器種	径	長さ	孔径	重量	胎土	色調	特徴	出土位置	備考
DP70	管状土錘	25~28	(8.9)	0.7~0.9	(50.3)	長石・石英	にぶい赤褐	端部一部欠損 ナデ 一方向からの穿孔	覆土上層	PL90

番号	器種	高さ	最小径	最大径	重量	胎土	色調	特徴	出土位置	備考
DP71	支脚	(9.6)	2.8	6.6	(217)	長石・石英	にぶい橙	基部欠損 指頭痕 被熱痕	覆土中	
DP72	支脚	(8.8)	5.0	9.5	(467)	長石・石英	橙	上部欠損 ヘラナデ 被熱痕	覆土中層	

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
M1	鉢	(15.9)	1.9	0.3	(18.1)	鉄	鉢身部柳葉形 茎部一部欠損 茎部断面方形	覆土中	PL98

### 第43号竪穴建物跡（第98～101図）

**位置** 調査D区中央部のF5g0区、標高28mほどの台地平坦部に位置している。

**重複関係** 第44・82・83号竪穴建物、第5号掘立柱建物に掘り込まれている。

**規模と形状** 北東部から南東部までが第44・82・83号竪穴建物に掘り込まれているため、南北軸は7.44mで、東西軸は7.62mしか確認できなかった。平面形は方形あるいは長方形と推定でき、主軸方向はN-15°-Wである。壁は高さ18～34cmで、ほぼ直立している。

**床** 平坦な貼床で、中央部が踏み固められている。貼床は、ロームブロックを含む第10・11層を埋土して構築されている。確認できた壁下には壁溝が巡っている。

**竈** 北壁中央部に付設されている。規模は焚口部から煙道部まで120cmで、燃焼部幅は49cmである。袖部は床面から5cm掘りくぼめた部分に第14層を埋土して、粘土ブロックを主体とする第11・12層を積み上げて構築されている。火床部は、床面を16cmほど掘りくぼめた部分に第13・14層を埋土して構築されており、火床面は火熱を受けて赤変硬化している。煙道部は壁外に15cm掘り込まれ、火床部から外傾している。

#### 竈土層解説

1 暗褐色	焼土ブロック少量、ローム粒子微量	8 にぶい黄褐色	ロームブロック少量
2 暗褐色	ローム粒子少量、焼土粒子微量	9 にぶい黄褐色	ロームブロック少量、炭化粒子微量
3 暗褐色	粘土粒子中量、ロームブロック少量	10 褐色	ロームブロック中量
4 暗褐色	ローム粒子微量	11 灰褐色	粘土ブロック多量
5 暗褐色	焼土ブロック少量、ロームブロック微量	12 暗褐色	ロームブロック・粘土ブロック中量
6 暗褐色	焼土ブロック少量、ローム粒子・炭化粒子微量	13 にぶい赤褐色	焼土粒子中量、炭化粒子少量
7 黒褐色	焼土粒子微量	14 褐色	ローム粒子中量

**ピット** 12か所。P1～P4は深さ60～97cmで、規模と配置から主柱穴である。第1～4層は抜き取り後の堆積土、第5・6層は埋土である。P5は深さ67cmで、南部の中央に位置していることから、出入口施設に伴うピットと考えられる。P6～P8は深さ28～44cmで、規模と配置から補助柱穴と考えられる。P9は深さ35cmで、配置から壁柱穴と考えられる。P10～P12は深さ23～43cmで、性格不明である。

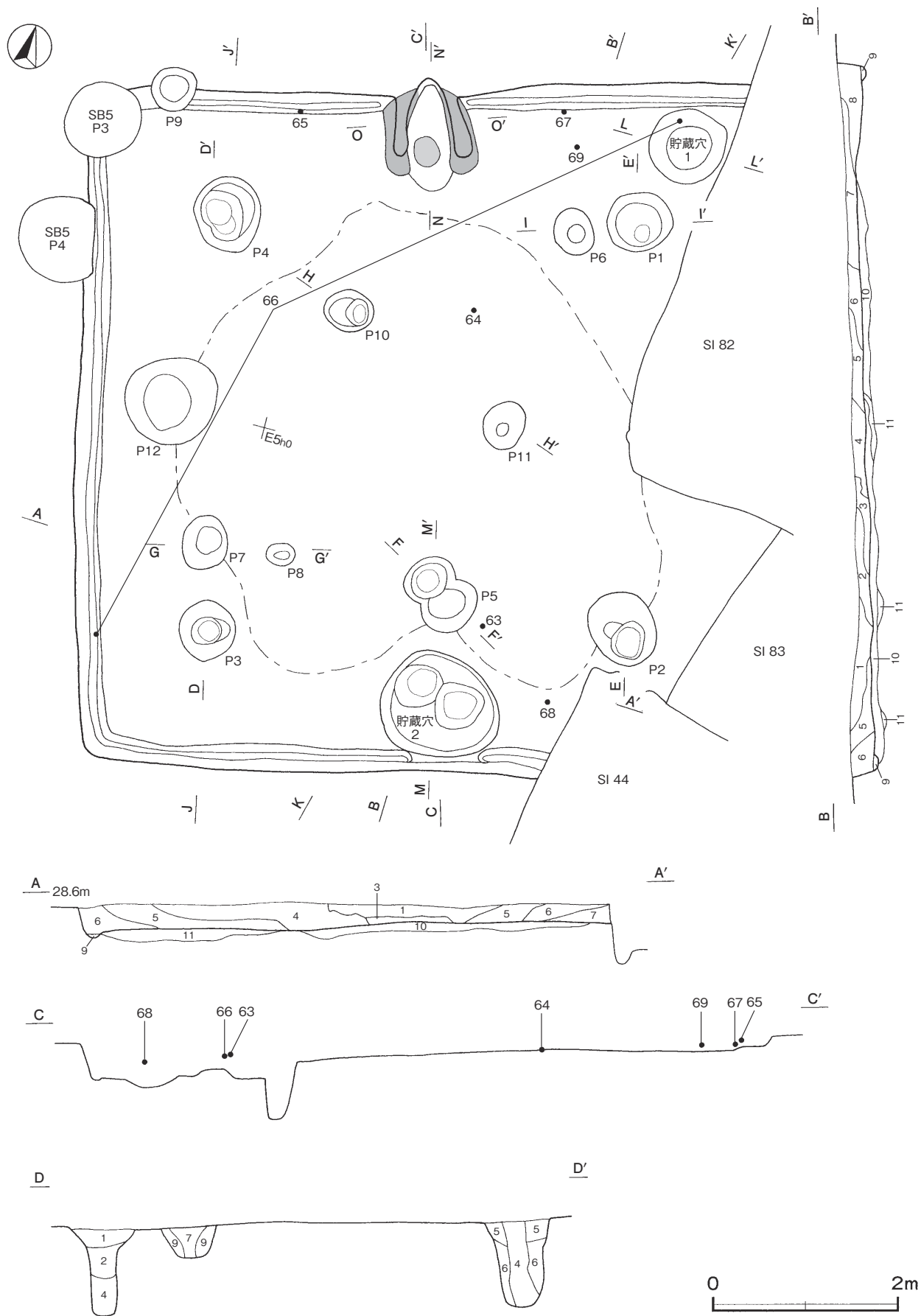
#### ピット土層解説（各ピット共通）

1 暗褐色	ローム粒子・炭化粒子微量	6 褐色	ロームブロック少量
2 暗褐色	ロームブロック少量	7 黒褐色	ロームブロック中量、焼土粒子少量
3 褐色	ロームブロック中量	8 暗褐色	ロームブロック中量
4 黒褐色	ローム粒子・焼土粒子微量	9 暗褐色	ロームブロック多量
5 にぶい黄褐色	ロームブロック中量	10 暗褐色	ロームブロック多量、炭化粒子少量

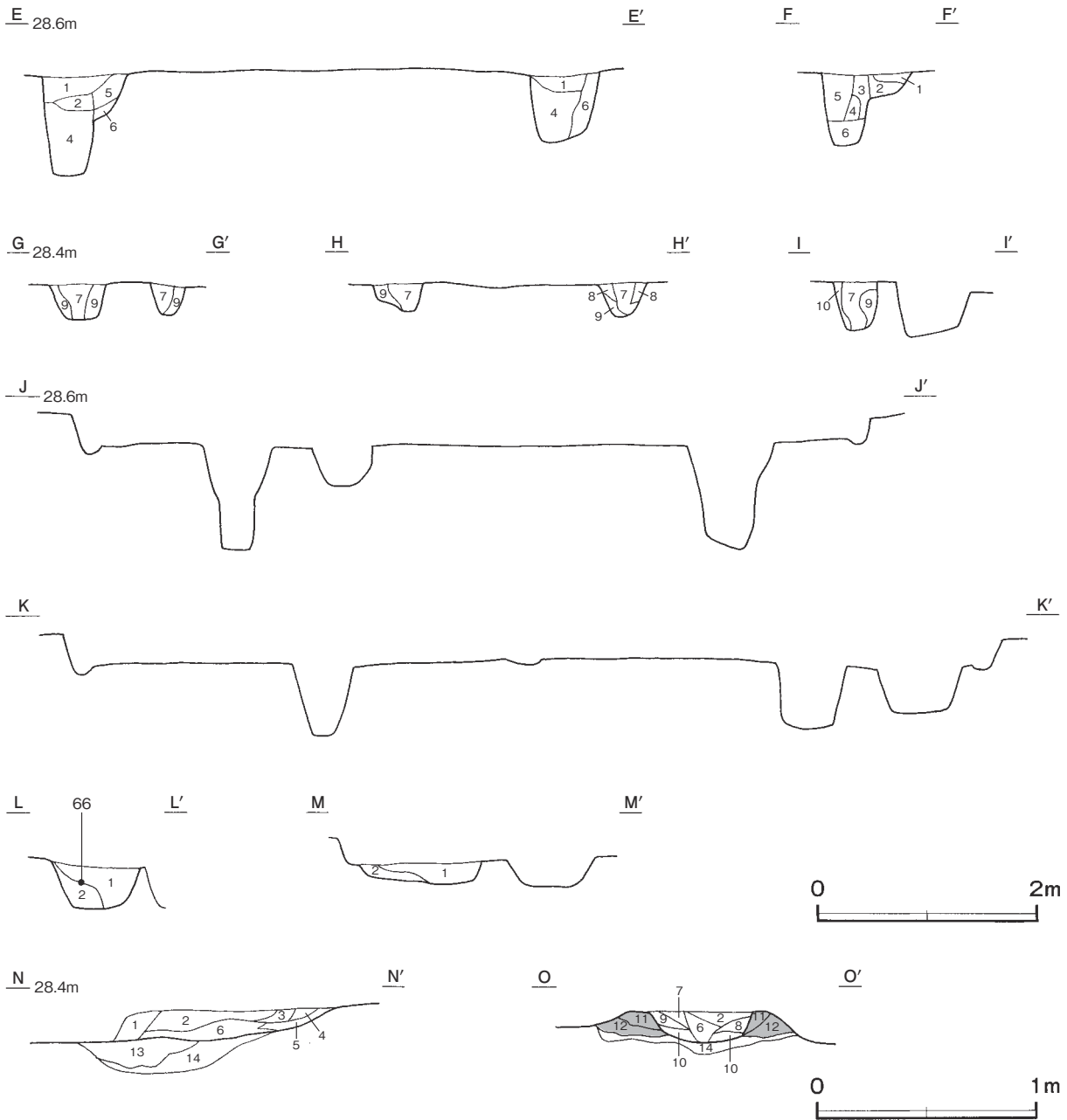
**貯蔵穴** 2か所。北東部に位置する貯蔵穴1は、長径83cm、短径80cmの円形で、深さは37cmである。底面は皿状で、壁は外傾している。南壁際中央部に位置する貯蔵穴2は、長径130cm、短径110cmの楕円形で、深さは20cmである。底面は皿状で、壁はほぼ直立している。

#### 貯蔵穴土層解説（各貯蔵穴共通）

1 黒褐色	ローム粒子微量	2 暗褐色	ロームブロック少量、焼土粒子微量
-------	---------	-------	------------------



第 98 図 第 43 号豎穴建物跡実測図 (1)



第99図 第43号竪穴建物跡実測図(2)

**覆土** 9層に分層できる。多くの層にロームブロックが含まれていることから、埋め戻されている。第10・11層は貼床の構築土である。

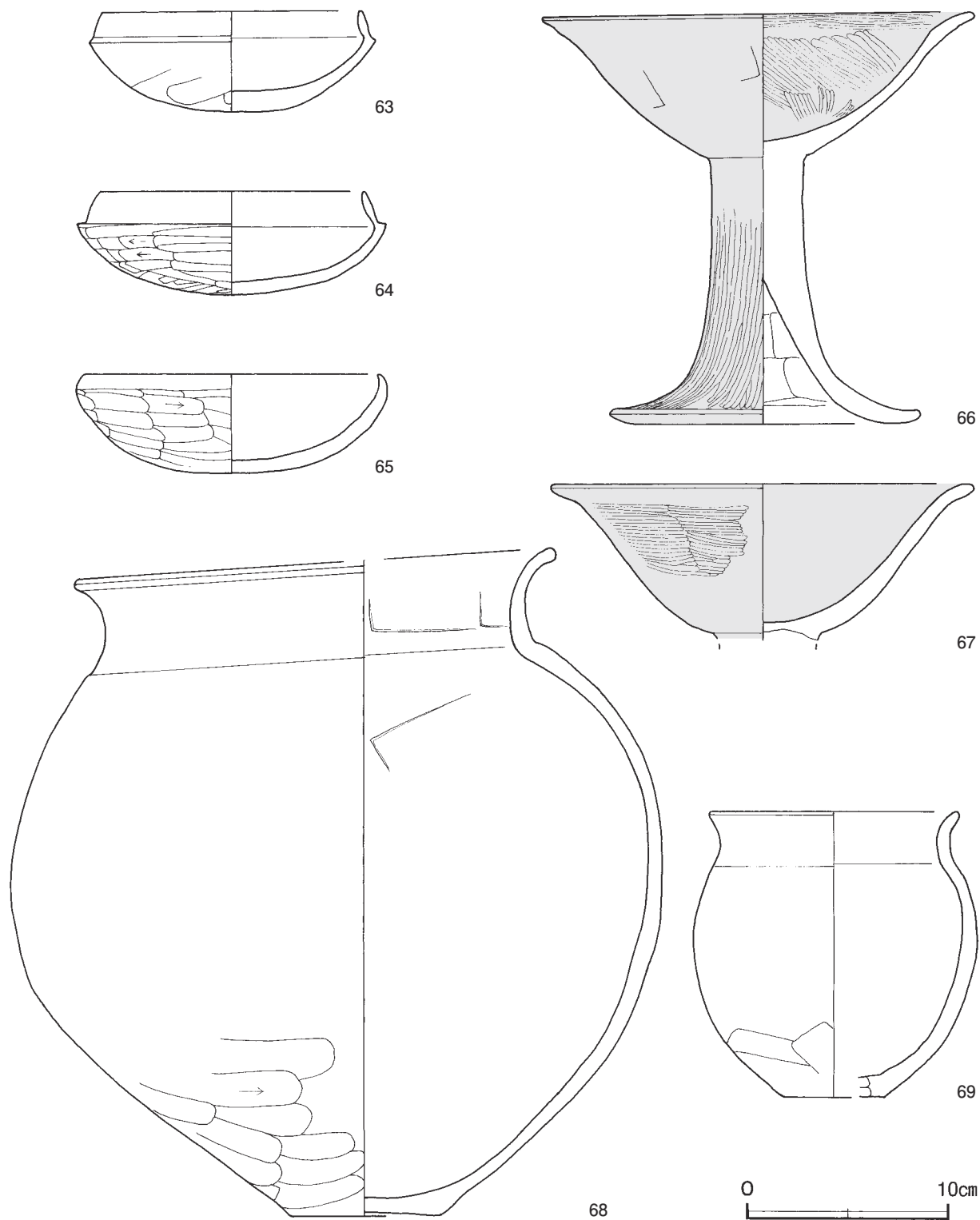
**土層解説**

- |                            |                    |
|----------------------------|--------------------|
| 1 暗褐色 ロームブロック中量            | 7 暗褐色 ローム粒子微量      |
| 2 暗褐色 ロームブロック中量, 焼土粒子少量    | 8 褐色 ローム粒子少量       |
| 3 にぶい黄褐色 ロームブロック中量         | 9 暗褐色 ローム粒子・焼土粒子微量 |
| 4 暗褐色 ロームブロック少量            | 10 黒褐色 ロームブロック多量   |
| 5 暗褐色 ロームブロック・焼土ブロック少量     | 11 暗褐色 ロームブロック微量   |
| 6 にぶい黄褐色 ロームブロック中量, 焼土粒子微量 |                    |

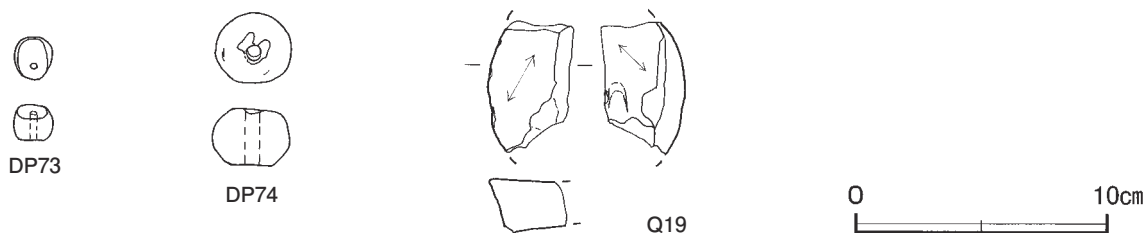
**遺物出土状況** 土師器片 377点 (坏類 254, 蓋 2, 埴 1, 高坏 18, 甕類 101, 小形甕 1), 土製品 4点 (土玉 3, 羽口 1), 石器 1点 (砥石), 石製品 1点 (小玉), 金属製品 1点 (刀子) のほか, 縄文土器片 53点 (深鉢) が, 全域の覆土下層から床面にかけて出土している。63・64は完形で, 床面からそれぞれ出土していることから,

廃絶時に遺棄されたものとみられる。66は貯蔵穴1の覆土中層と南西部の床面から出土した破片が接合していることから、廃絶時に破碎して投棄したものとみられる。65・67・69は北壁際の覆土下層からそれぞれ出土していることから、埋め戻しの過程で廃棄されたものとみられる。

**所見** 時期は、出土土器や重複関係から、7世紀前葉に比定できる。



第100図 第43号竪穴建物跡出土遺物実測図(1)



第 101 図 第 43 号竪穴建物跡出土遺物実測図 (2)

第 43 号竪穴建物跡出土遺物観察表 (第 100・101 図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
63	土師器	坏	12.8	5.0	-	長石・石英・雲母	にぶい橙	普通	口縁部外・内面横ナデ 体部外面へら削り 内面へらナデ	床面	100% PL61
64	土師器	坏	13.1	5.2	-	石英・赤色粒子	浅黄橙	良好	口縁部外・内面横ナデ 体部外面へら削り 内面へらナデ	床面	100% PL61
65	土師器	坏	14.6	4.9	-	長石・石英	明赤褐	普通	口縁部外・内面横ナデ 体部外面へら削り 内面へらナデ	覆土下層	70% PL61
66	土師器	高坏	21.1	20.5	15.4	長石・石英・赤色粒子	明赤褐	普通	口縁部外面横ナデ・内面横位のへら磨き 坏部 外面縦位のへら削り後へらナデ 内面へら磨き 脚部外面縦位のへら磨き 内面横位のへら削り	貯蔵穴1中層 ・床面	90% PL61
67	土師器	高坏	20.6	(7.7)	-	長石・石英・赤色粒子	橙	普通	体部外面へら磨き 内面摩滅	覆土下層	40% PL61
68	土師器	甕	[23.4]	33.1	7.5	長石・石英・雲母	にぶい橙	普通	口縁部外・内面横ナデ 体部外面へら削り 内面へらナデ	床面	60%
69	土師器	小形甕	12.1	14.2	(5.0)	長石・石英・雲母・赤色粒子	橙	普通	口縁部外・内面横ナデ 体部外面へら削り 内面へらナデ	覆土下層	60% PL62

番号	器種	径	厚さ	孔径	重量	胎土	色調	特徴	出土位置	備考
DP73	土玉	1.5	1.4	0.3	(3.79)	長石・石英	にぶい橙	端部一部欠損 ナデ 両端部を平坦に成形	覆土中	
DP74	土玉	3.1	2.3	0.6	18.4	長石・石英・雲母	橙	ナデ 一方向からの穿孔	覆土中	

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
Q 19	砥石	(5.4)	(3.4)	2.1	(49.1)	硬砂岩	端部欠損 砥面2面	覆土中	PL95

### 第 45 号竪穴建物跡 (第 102 ~ 104 図)

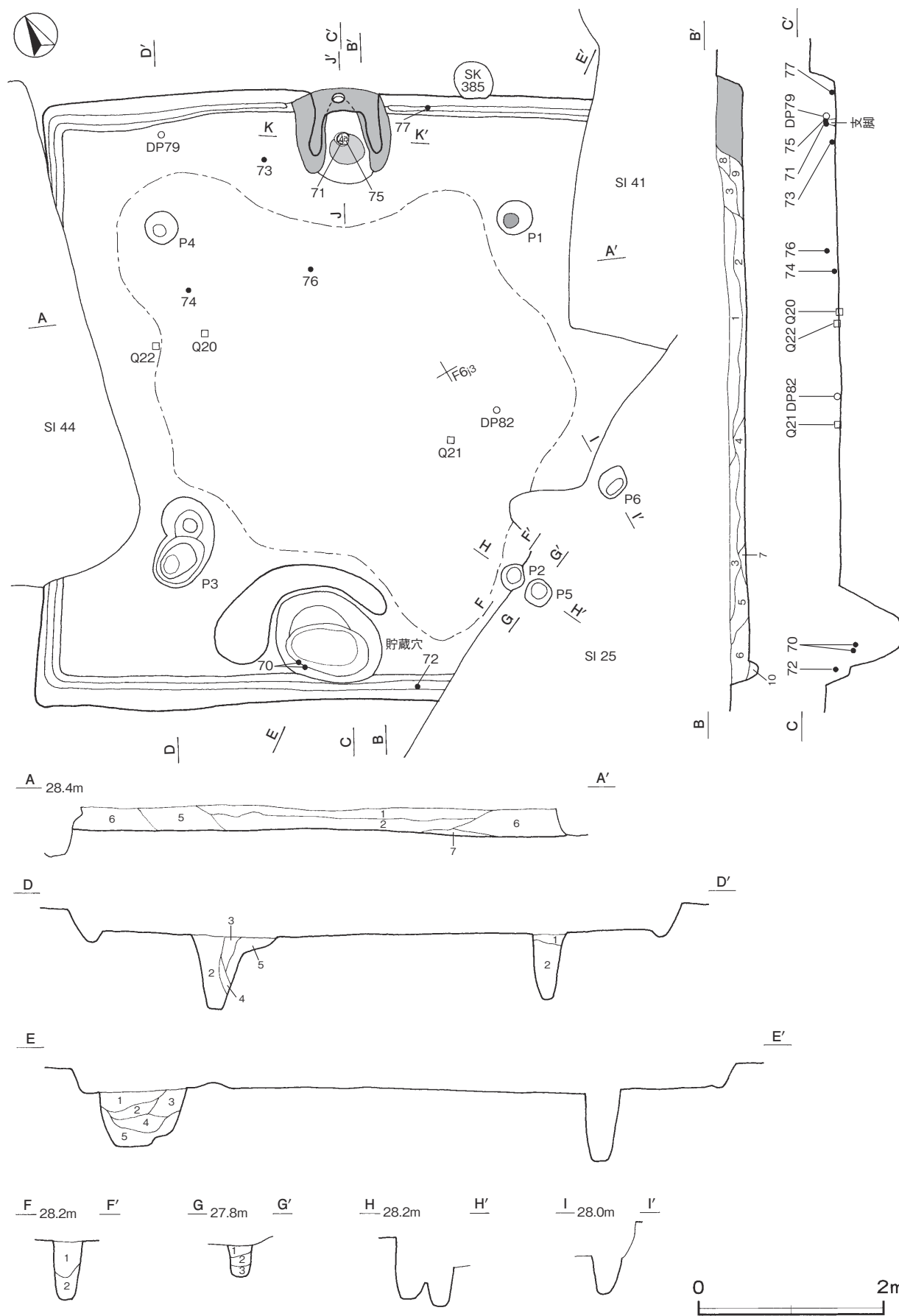
**位置** 調査D区中央部の F 6 i2 区, 標高 28 m ほどの台地平坦部に位置している。

**重複関係** 第 25・41・44 号竪穴建物, 第 385 号土坑に掘り込まれている。

**規模と形状** 東部が第 25・41 号竪穴建物, 北西部が第 44 号竪穴建物に掘り込まれているため, 北東・南西軸は 6.61 m で, 北西・南東軸は 6.32 m しか確認できなかった。平面形は方形と推定でき, 主軸方向は N - 30° - E である。壁は高さ 20 ~ 28 cm で, ほぼ直立している。

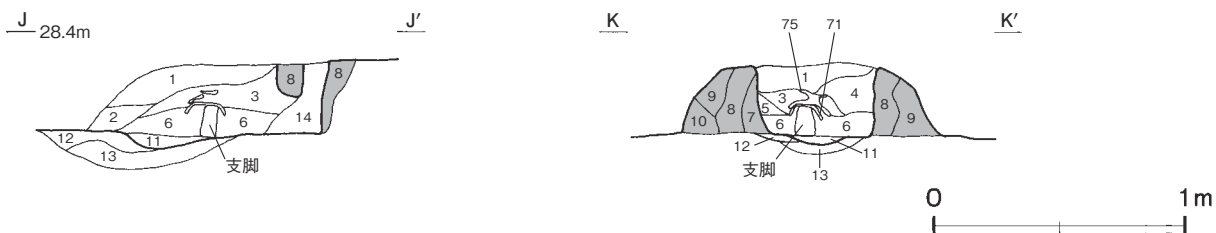
**床** 平坦で, 中央部が踏み固められている。確認できた壁下には壁溝が巡っている。貯蔵穴の北側に馬蹄形状の高まりを確認した。

**竈** 北東壁中央部に付設されている。遺存状況がよく, 天井部の一部と煙出部が確認できた。規模は焚口部から煙出部まで 92 cm で, 燃烧部幅は 41 cm である。袖部は床面と同じ高さの地山の上に, 粘土粒子を主体とする第 7 ~ 10 層を積み上げて構築されている。火床部は床面を 5 cm ほど掘り込み, ロームブロックを含む第 12・13 層を埋土して構築されており, 火床面は火熱を受けて赤変硬化している。第 11 層は竈使用時の堆積土層である。火床面の北部にある土製の支脚の上に, 土師器坏 (71) と土師器高坏 (75) が逆位で据えられていた。坏・高坏ともに火熱を受けていないことから, 竈封じの祭祀行為が行われたものと考えられる。煙道部は壁外まで掘り込まれておらず, 火床部から直立している。第 5 層は天井部の崩落土層である。



第 102 図 第 45 号竪穴建物跡実測図 (1)





第 103 図 第 45 号 竪穴建物跡実測図 (2)

**竈土層解説**

- |          |                          |        |                     |
|----------|--------------------------|--------|---------------------|
| 1 暗褐色    | 焼土粒子・粘土粒子少量, ローム粒子微量     | 8 明褐色  | 粘土ブロック多量, 焼土粒子微量    |
| 2 暗褐色    | 粘土粒子少量, ローム粒子・炭化粒子微量     | 9 褐色   | 粘土ブロック多量, ローム粒子微量   |
| 3 極暗褐色   | ロームブロック・焼土粒子少量, 粘土粒子微量   | 10 褐色  | 粘土ブロック多量, ロームブロック微量 |
| 4 灰黄褐色   | 粘土粒子多量, 焼土粒子微量           | 11 赤褐色 | 焼土ブロック多量            |
| 5 暗褐色    | 焼土ブロック少量, 炭化粒子微量         | 12 黒褐色 | 焼土ブロック少量, ロームブロック微量 |
| 6 黒褐色    | 焼土ブロック・炭化粒子中量, 粘土粒子微量    | 13 暗褐色 | ロームブロック中量, 焼土ブロック少量 |
| 7 にぶい赤褐色 | 焼土ブロック中量, 粘土粒子少量, 炭化粒子微量 | 14 黒褐色 | ローム粒子少量, 炭化粒子微量     |

**ピット** 6か所。P 1～P 5は深さ 65～80cmで、規模と配置から主柱穴である。第 1・2層は抜き取り後の堆積土, 第 3～5層は埋土である。柱穴の配置から P 2から P 5へ柱の立て替えが行われたと考えられる。P 6は深さ 39cmで、性格は不明である。P 1の底面から、柱のあたりを確認した。

**ピット土層解説 (各ピット共通)**

- |       |           |          |              |
|-------|-----------|----------|--------------|
| 1 暗褐色 | ローム粒子少量   | 4 にぶい黄褐色 | ロームブロック中量    |
| 2 黒褐色 | ロームブロック微量 | 5 暗褐色    | ローム粒子・焼土粒子微量 |
| 3 暗褐色 | ロームブロック中量 |          |              |

**貯蔵穴** 南西部中央に位置している。長径 120cm, 短径 94cmの楕円形で、深さは 57cmである。底面は皿状で、壁は外傾している。覆土中層からヤマトシジミ 161点, 巻貝 2点が出土している。

**貯蔵穴土層解説**

- |          |                 |       |             |
|----------|-----------------|-------|-------------|
| 1 暗褐色    | ローム粒子少量, 焼土粒子微量 | 4 黒褐色 | 焼土粒子・炭化粒子微量 |
| 2 暗褐色    | ローム粒子・炭化粒子微量    | 5 暗褐色 | ローム粒子微量     |
| 3 にぶい黄褐色 | ロームブロック少量       |       |             |

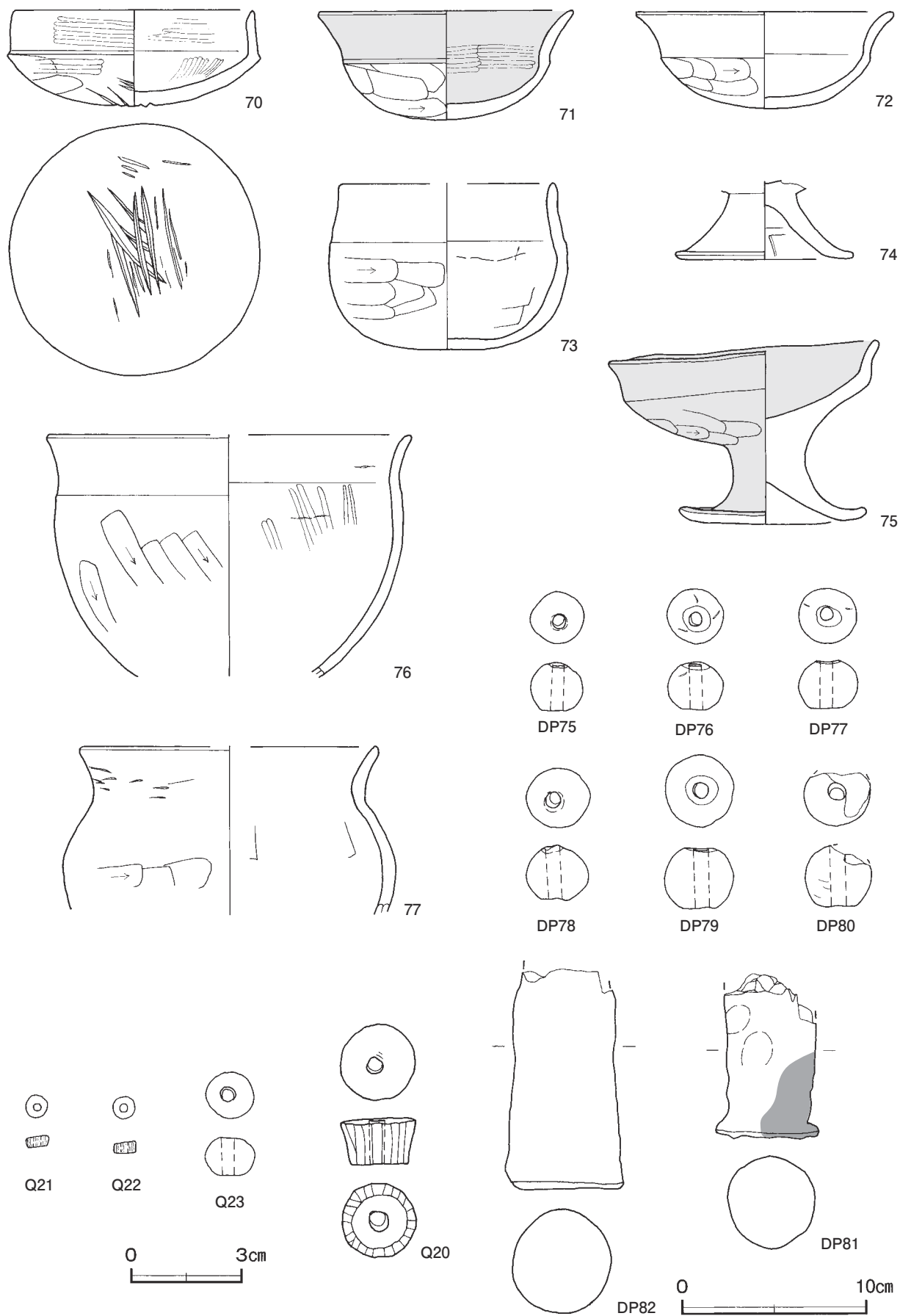
**覆土** 10層に分層できる。多くの層にロームブロックが含まれていることから、埋め戻されている。

**土層解説**

- |        |                        |          |                   |
|--------|------------------------|----------|-------------------|
| 1 暗褐色  | ロームブロック中量, 焼土粒子微量      | 6 暗褐色    | ローム粒子微量           |
| 2 暗褐色  | ロームブロック・炭化粒子微量         | 7 にぶい黄褐色 | ロームブロック中量, 粘土粒子少量 |
| 3 暗褐色  | ローム粒子・焼土粒子・炭化粒子微量      | 8 にぶい黄褐色 | ロームブロック少量, 炭化粒子微量 |
| 4 暗褐色  | ロームブロック・焼土ブロック少量       | 9 暗褐色    | ローム粒子・粘土粒子微量      |
| 5 極暗褐色 | 焼土ブロック・炭化粒子少量, ローム粒子微量 | 10 暗褐色   | ローム粒子・焼土粒子微量      |

**遺物出土状況** 土師器片 376点 (坏 20, 椀 8, 器台 1, 高坏 7, 鉢 1, 甕類 330, 甗 9), 須恵器片 4点 (坏 1, 甕 3), 土製品 12点 (小玉 1, 土玉 9, 支脚 2), 石器 1点 (紡錘車), 石製品 3点 (白玉 2, 小玉 1), 鉄滓 1点のほか、縄文土器片 5点 (深鉢), 弥生土器片 1点 (壺) が、全域の覆土中層から床面にかけて出土している。Q 20～Q 22はいずれも床面から出土していることから、廃絶時に遺棄されたものとみられる。70はほぼ完形で、貯蔵穴の覆土上層から出土した破片が接合していることから、廃絶時に破碎して投棄されたものとみられる。74は中央部の覆土下層, 76は覆土中層から出土していることから、埋め戻しの過程で投棄されたものとみられる。

**所見** 時期は、出土土器や重複関係から、6世紀前葉に比定できる。



第 104 図 第 45 号竖穴建物跡出土遺物実測図

第 45 号竪穴建物跡出土遺物観察表（第 104 図）

番号	種 別	器種	口径	器高	底径	胎 土	色 調	焼成	手 法 の 特 徴 ほ か	出土位置	備 考	
70	土師器	坏	12.9	5.2	-	長石・石英	橙	普通	口縁部外・内面横位のヘラ磨き 削り後ヘラ磨き 内面ヘラ磨き	貯蔵穴 覆土上層	95% 砥石転用 PL62	
71	土師器	坏	13.6	5.9	-	長石・石英	橙	普通	口縁部外・内面横ナデ 内面ヘラ磨き	竈覆土中層	95% PL62	
72	土師器	坏	13.8	5.2	-	長石・石英・ 赤色粒子	橙	普通	口縁部外・内面横ナデ 内面ヘラナデ	体部外面横位のヘラ削り	覆土下層	70% PL62
73	土師器	椀	[11.5]	9.0	-	長石・石英	橙	普通	口縁部外・内面横ナデ 内面ヘラナデ	体部外面ヘラ削り	覆土下層	50%
74	土師器	器台	-	(4.3)	9.6	長石・石英	橙	普通	裾部外面摩滅により調整痕不明 内面ヘラナデ	覆土下層	50%	
75	土師器	高坏	14.3	9.9	10.1	長石・石英	橙	普通	口縁部外・内面横ナデ 内面ヘラ磨き	全体摩滅 坏部外面ヘラ削り	竈覆土中層	90% PL62
76	土師器	鉢	[19.5]	(13.1)	-	長石・石英	橙	普通	口縁部外・内面横ナデ 内面ヘラ磨き	体部外面ヘラ削り後ナデ 輪積痕	覆土中層	20%
77	土師器	甕	[15.8]	(9.1)	-	長石・石英	にぶい橙	普通	口縁部外・内面横ナデ 内面ヘラナデ	体部外面ヘラ削り	覆土下層	10%

番号	器 種	径	厚さ	孔径	重量	胎 土	色 調	特 徴	出土位置	備 考
DP75	土玉	2.9	2.6	0.7~0.8	18.8	長石・石英・雲母	橙	ナデ 一方向からの穿孔	覆土中	
DP76	土玉	3.0	2.6	0.7	21.8	長石・石英・雲母	にぶい橙	ナデ 一方向からの穿孔 両端部を平坦に成形	覆土中	
DP77	土玉	3.2	2.6	0.7	23.8	長石・石英・雲母	にぶい橙	ナデ 一方向からの穿孔 両端部を平坦に成形	覆土中	
DP78	土玉	3.4	3.1	0.8	29.6	長石・石英・雲母	にぶい橙	ナデ 一方向からの穿孔	覆土中	
DP79	土玉	3.7	3.3	0.9	41.8	長石・石英・雲母	橙	ナデ 一方向からの穿孔 両端部を平坦に成形	覆土中層	
DP80	土玉	3.6	3.3	0.9	(28.3)	長石・石英・雲母	にぶい橙	一部欠損 ナデ 一方向からの穿孔	覆土中	

番号	器 種	高さ	最小径	最大径	重量	胎 土	色 調	特 徴	出土位置	備 考
DP81	支脚	(8.8)	4.8	5.7	(231)	長石・石英・雲母	にぶい橙	上部欠損 ナデ 被熱痕	覆土中	煤付着
DP82	支脚	(11.9)	4.8	6.4	(440)	長石・石英・雲母	にぶい橙	上部欠損 ナデ 被熱痕	床面	

番号	器 種	径	厚さ	孔径	重量	材 質	特 徴	出土位置	備 考
Q 20	紡錘車	4.1	2.5	0.9~1.1	44.1	安山岩	全面研磨 二方向からの穿孔	床面	PL96
Q 21	白玉	0.56	0.29	0.21	0.38	滑石	全面研磨調整 円筒状 一方向からの穿孔	床面	PL96
Q 22	白玉	0.61	0.29	0.22	0.41	滑石	全面研磨調整 両面平滑 円筒状 一方向からの穿孔	床面	PL96
Q 23	小玉	1.30	1.00	0.38	2.45	安山岩	全面研磨調整 一方向からの穿孔	覆土中	PL96

第 46 号竪穴建物跡（第 105・106 図）

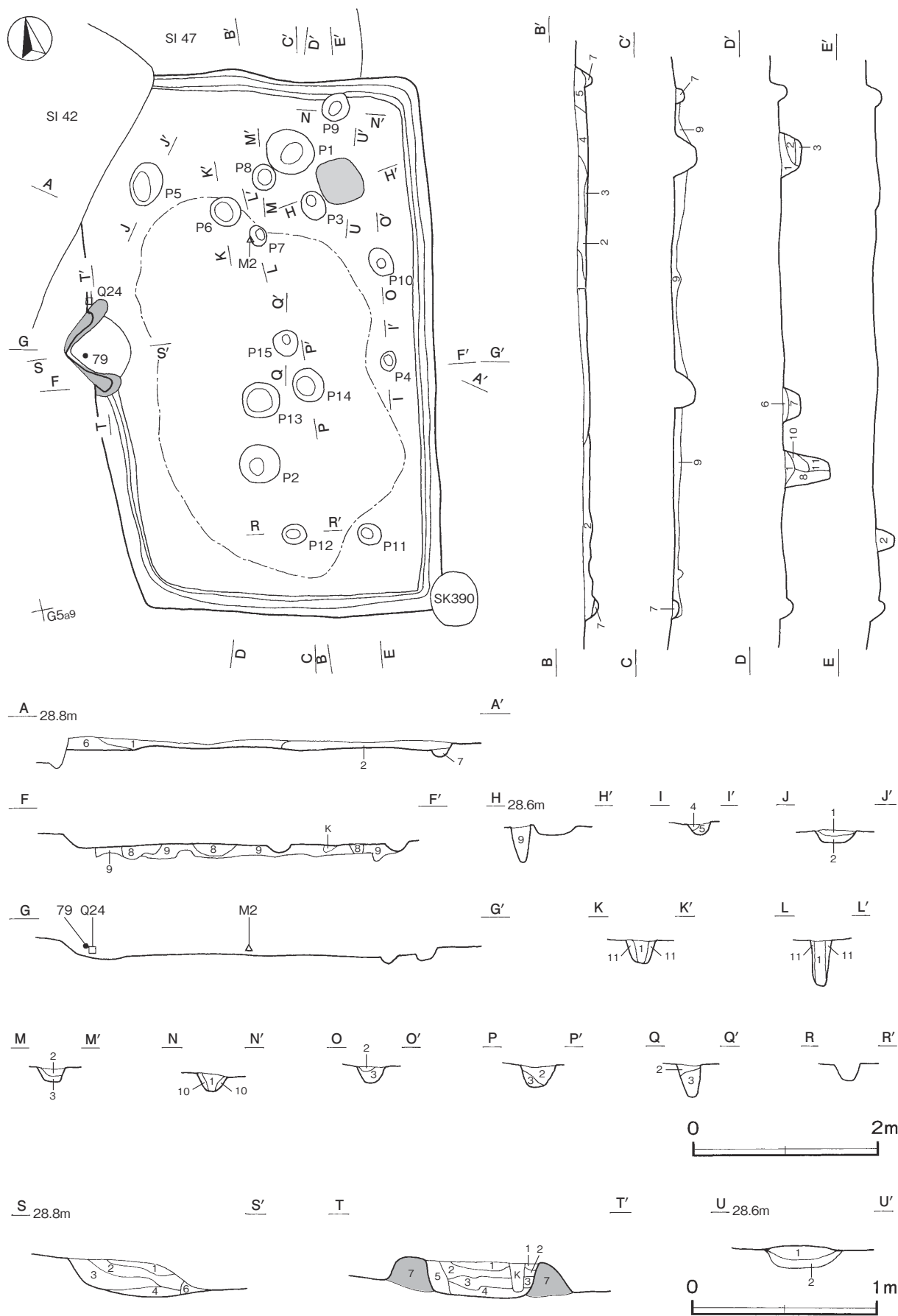
**位置** 調査D区中央部の F 5j9 区、標高 28 m ほどの台地平坦部に位置している。

**重複関係** 第 47 号竪穴建物跡を掘り込み、第 42 号竪穴建物、第 390 号土坑に掘り込まれている。

**規模と形状** 長軸 5.85 m、短軸 3.78 m の長方形で、主軸方向は N - 80° - W である。壁は高さ 10cm で、ほぼ直立している。

**床** 平坦な貼床で、中央部が踏み固められている。貼床は、ロームブロックを含む第 8・9 層を埋土して構築されている。西壁の一部を除き確認できた壁下には壁溝が巡っている。

**竈** 西壁中央部に付設されている。規模は焚口部から煙道部まで 68cm で、燃烧部幅は 55cm である。袖部は床面と同じ高さの地山の上に、粘土粒子を主体とする第 7 層を積み上げて構築されている。火床部は床面とほぼ同じ高さを使用しており、火床面の赤変硬化は認められない。煙道部は壁外に 23cm 掘り込まれ、火床部から外傾している。79 は竈の覆土上層から出土しており、埋没する過程で流れ込んだものとみられる。



第 105 图 第 46 号竖穴建物跡实测图

**竈土層解説**

- |                        |                         |
|------------------------|-------------------------|
| 1 灰黄褐色 粘土粒子中量, 焼土粒子微量  | 5 暗褐色 ローム粒子・粘土粒子微量      |
| 2 暗褐色 ロームブロック・焼土ブロック少量 | 6 褐色 ロームブロック中量          |
| 3 赤褐色 焼土ブロック中量, 炭化粒子少量 | 7 灰黄褐色 粘土粒子中量, 焼土ブロック少量 |
| 4 黒褐色 焼土粒子・炭化粒子微量      |                         |

**炉** 北東部に位置している。長径 50cm, 短径 48cmの円形で, 床面を 13cmほど掘りくぼめた地床炉である。炉床面は第 1 層上面で, 火熱を受けて赤変硬化している。

**炉土層解説**

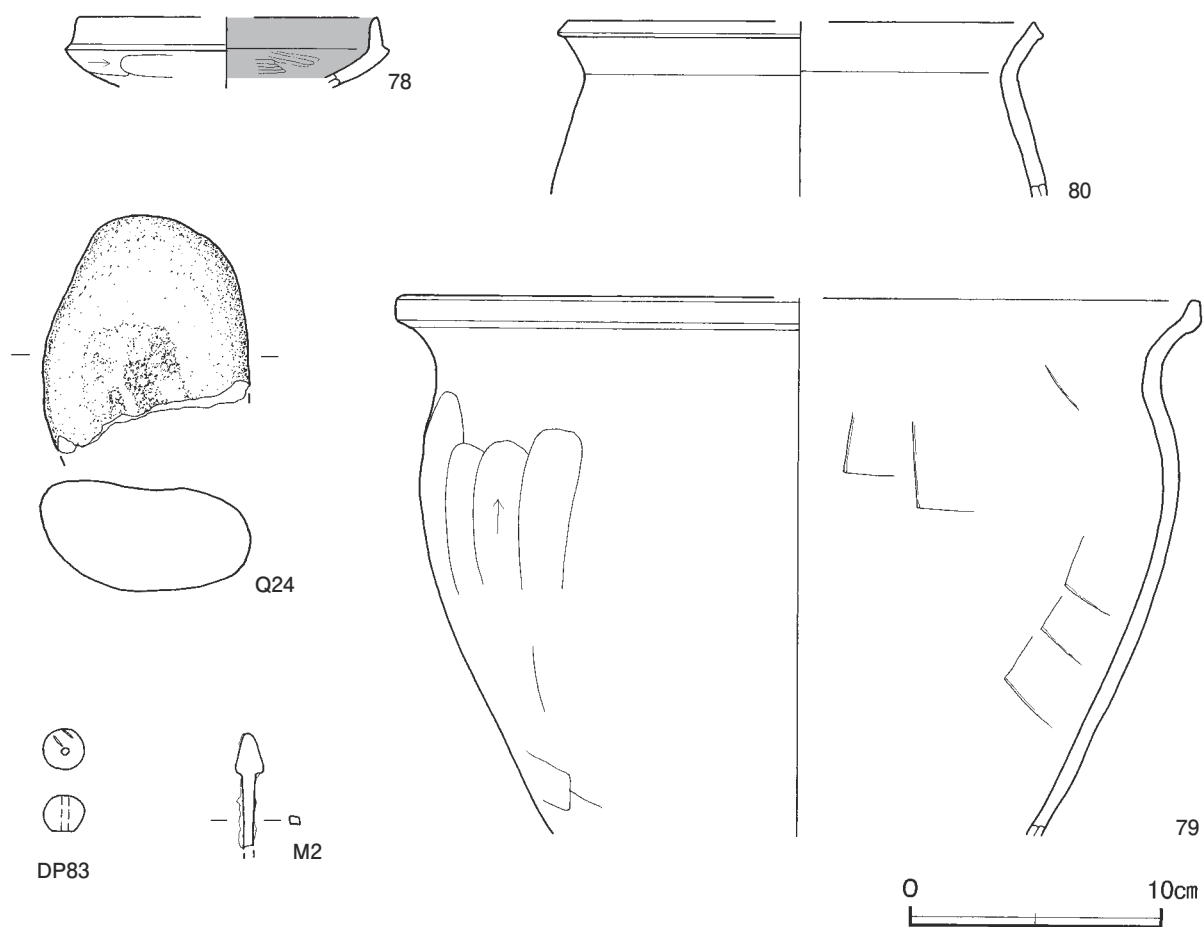
- |                            |                 |
|----------------------------|-----------------|
| 1 にぶい赤褐色 焼土ブロック中量, ローム粒子少量 | 2 黒褐色 ロームブロック中量 |
|----------------------------|-----------------|

**ピット** 15か所。P 1・P 2は深さ 26cm・45cmで, 規模と配置から支柱穴である。第 1～9層は抜き取り後の堆積土, 第 10・11層は埋土である。P 3は深さ 23cmで, 配置から作業用のピットと考えられる。P 4は深さ 13cmで, 東壁際の中央部に位置していることから, 出入り口施設に伴うピットと考えられる。P 5～P 15は深さ 10～26cmで, 性格不明である。

**ピット土層解説 (各ピット共通)**

- |                         |                         |
|-------------------------|-------------------------|
| 1 黒褐色 焼土ブロック少量, ローム粒子微量 | 7 黒褐色 ローム粒子微量           |
| 2 暗褐色 ローム粒子・炭化粒子微量      | 8 黒褐色 ロームブロック微量         |
| 3 暗褐色 ロームブロック微量         | 9 暗褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子微量 |
| 4 暗褐色 ローム粒子・焼土粒子・炭化粒子微量 | 10 暗褐色 ローム粒子微量          |
| 5 褐色 ロームブロック中量          | 11 黒色 ロームブロック・焼土粒子微量    |
| 6 にぶい黄褐色 ロームブロック中量      |                         |

**覆土** 7層に分層できる。多くの層にロームブロックが含まれていることから, 埋め戻されている。第 8・9層は貼床の構築土である。



第 106 図 第 46 号 竪穴建物跡出土遺物実測図

土層解説

- |          |                   |          |                   |
|----------|-------------------|----------|-------------------|
| 1 暗褐色    | ロームブロック少量, 焼土粒子微量 | 6 暗褐色    | ローム粒子微量           |
| 2 暗褐色    | ロームブロック・炭化粒子微量    | 7 にぶい黄褐色 | ロームブロック少量, 炭化粒子微量 |
| 3 褐色     | ロームブロック少量         | 8 暗褐色    | ロームブロック中量         |
| 4 黒褐色    | ローム粒子微量           | 9 暗褐色    | ロームブロック多量         |
| 5 にぶい黄褐色 | ロームブロック少量         |          |                   |

**遺物出土状況** 土師器片 620 点（坏類 258, 甕類 353, 甗 9），土製品 3 点（土玉 1, 管状土錘 2），石器 1 点（金床石），金属製品 1 点（鎌）のほか，縄文土器片 5 点（深鉢），弥生土器片 1 点（壺）が，北部の覆土中層から下層を中心に出土している。Q 24 は西壁際の覆土中層から出土していることから，埋め戻す過程で混入したものとみられる。

**所見** 時期は，出土土器や重複関係から，6 世紀中葉に比定できる。当遺跡で竈と炉をもつ唯一の建物跡で，工房跡の可能性がある。

第 46 号 竪穴建物跡出土遺物観察表（第 106 図）

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
78	土師器	坏	[11.8]	(2.8)	-	長石・雲母	にぶい橙	普通	口縁部外・内面横ナデ 内面ヘラ磨き 体部外面ヘラ削り	覆土中	10%
79	土師器	甕	[31.6]	(21.3)	-	長石・石英・雲母	橙	普通	口縁部外・内面横ナデ 内面ヘラナデ 体部外面ヘラ削り	竈覆土上層	20%
80	土師器	甕	[18.6]	(6.9)	-	長石・石英・雲母	橙	普通	口縁部外・内面横ナデ 体部外・内面摩滅	覆土中	5%

番号	器種	径	厚さ	孔径	重量	胎土	色調	特徴	出土位置	備考
DP83	土玉	1.6	1.5	0.3	3.84	長石・石英	橙	ナデ 一方向からの穿孔	覆土中	

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
Q 24	金床石	(9.5)	8.2	4.4	(465)	安山岩	欠損 中央部に敲痕	覆土中層	

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
M 2	鎌	(4.5)	(1.6)	0.3	(3.55)	鉄	鎌身部三角形 茎部欠損 茎部断面長方形	覆土中層	

第 47 号 竪穴建物跡（第 107 図）

**位置** 調査 D 区中央部の F 5i9 区，標高 28 m ほどの台地平坦部に位置している。

**重複関係** 第 42・46 号 竪穴建物に掘り込まれている。

**規模と形状** 大半が第 42・46 号 竪穴建物に掘り込まれているため，東西軸 3.00 m，南北軸 2.72 m しか確認できなかった。平面形は方形または長方形と推定でき，主軸方向は不明である。壁は高さ 6 cm で，外傾している。

**床** 平坦で，確認できた範囲の壁際を除いて踏み固められている。

**ピット** 2 か所。P 1 は深さ 22 cm で，配置から主柱穴である。第 1 層は柱抜き取り後の堆積土，第 2・3 層は埋土である。P 2 は深さ 23 cm で，性格不明である。

ピット土層解説（各ピット共通）

- |       |           |      |              |
|-------|-----------|------|--------------|
| 1 暗褐色 | ローム粒子微量   | 3 褐色 | ローム粒子・炭化粒子微量 |
| 2 暗褐色 | ロームブロック中量 |      |              |

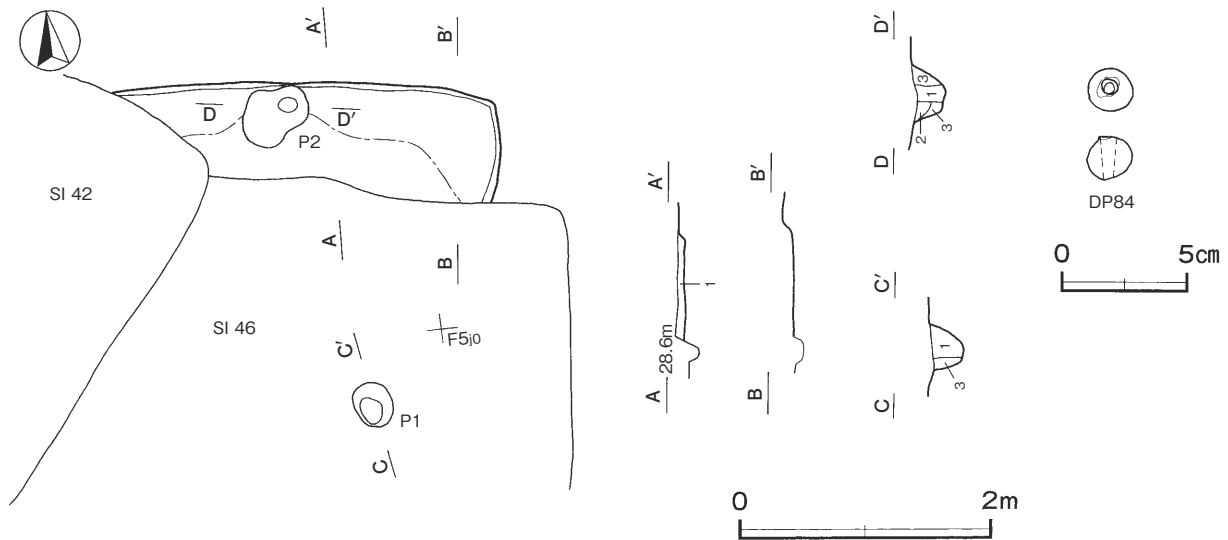
**覆土** 単一層である。覆土が薄いことから，堆積状況は不明である。

土層解説

- |       |                   |
|-------|-------------------|
| 1 暗褐色 | ロームブロック少量, 炭化粒子微量 |
|-------|-------------------|

**遺物出土状況** 土製品1点（土玉）が覆土中から出土している。

**所見** 時期は、伴う土器が出土していないことから判断が難しいが、重複関係から6世紀前葉と考えられる。



第107図 第47号竪穴建物跡・出土遺物実測図

第47号竪穴建物跡出土遺物観察表（第107図）

番号	器種	径	厚さ	孔径	重量	胎土	色調	特徴	出土位置	備考
DP84	土玉	1.7～1.8	1.7	0.4～0.6	4.94	長石	橙	ナデ 一方向からの穿孔	覆土中	

### 第48号竪穴建物跡（第108・109図）

**位置** 調査D区中央部のF6g3区、標高28mほどの台地平坦部に位置している。

**重複関係** 第49・50・82・83・89号竪穴建物、第1号大型円形土坑、第542号土坑に掘り込まれている。

**規模と形状** 長軸9.07m、短軸8.92mの方形と推定でき、主軸方向はN-32°-Wである。壁は高さ35～40cmで、ほぼ直立している。

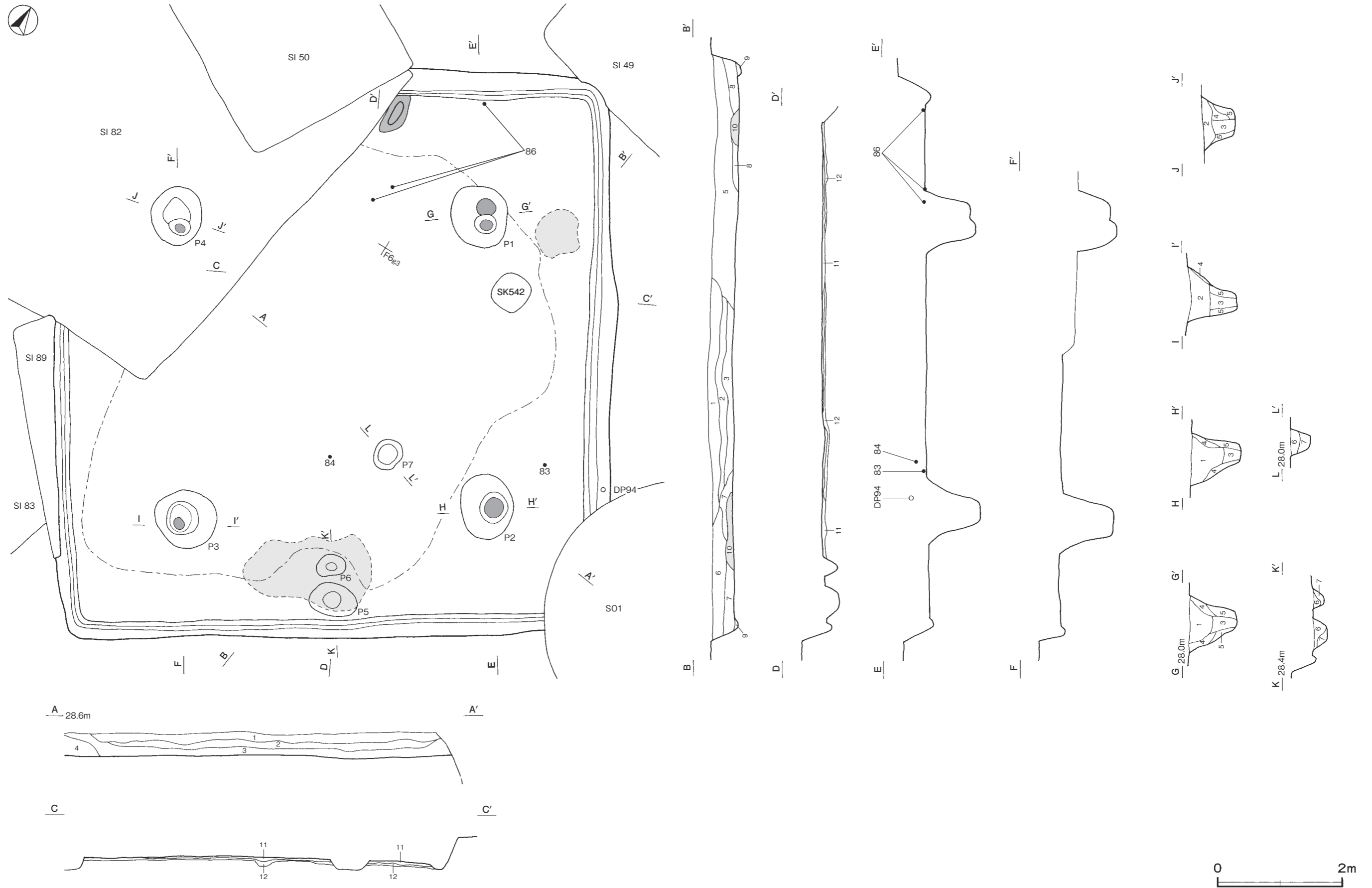
**床** 平坦な貼床で、中央部が踏み固められている。貼床は、ローム粒子を含む第11・12層を埋土して構築されている。確認できた壁下には壁溝が巡っている。北東部と南部に焼土を確認した。床面から浮いた状態で堆積していることから、廃絶後に投げ込まれたものと考えられる。

**竈** 遺存状況が悪く、右袖部の残存状態から、北西壁中央部に付設されていたと推定できる。

**ピット** 7か所。P1～P4は深さ62～85cmで、規模と配置から主柱穴である。第1～3層は抜き取り後の堆積土、第4・5層は埋土である。P1～P4の底面には、柱のあたりと考えられる円形の硬化範囲が認められた。P5・P6は深さ18cm・16cmで、南東壁際の中央部に位置していることから、出入り口施設に伴うピットと考えられる。P7は深さ31cmで、性格不明である。

#### ピット土層解説（各ピット共通）

- |          |                  |          |              |
|----------|------------------|----------|--------------|
| 1 黒褐色    | ロームブロック少量、焼土粒子微量 | 5 褐色     | ロームブロック中量    |
| 2 暗褐色    | ロームブロック微量        | 6 暗褐色    | ローム粒子微量      |
| 3 にぶい黄褐色 | ロームブロック中量、焼土粒子少量 | 7 にぶい黄褐色 | ローム粒子・炭化粒子微量 |
| 4 暗褐色    | ロームブロック少量        |          |              |



第 108 図 第 48 号竖穴建物跡実測図



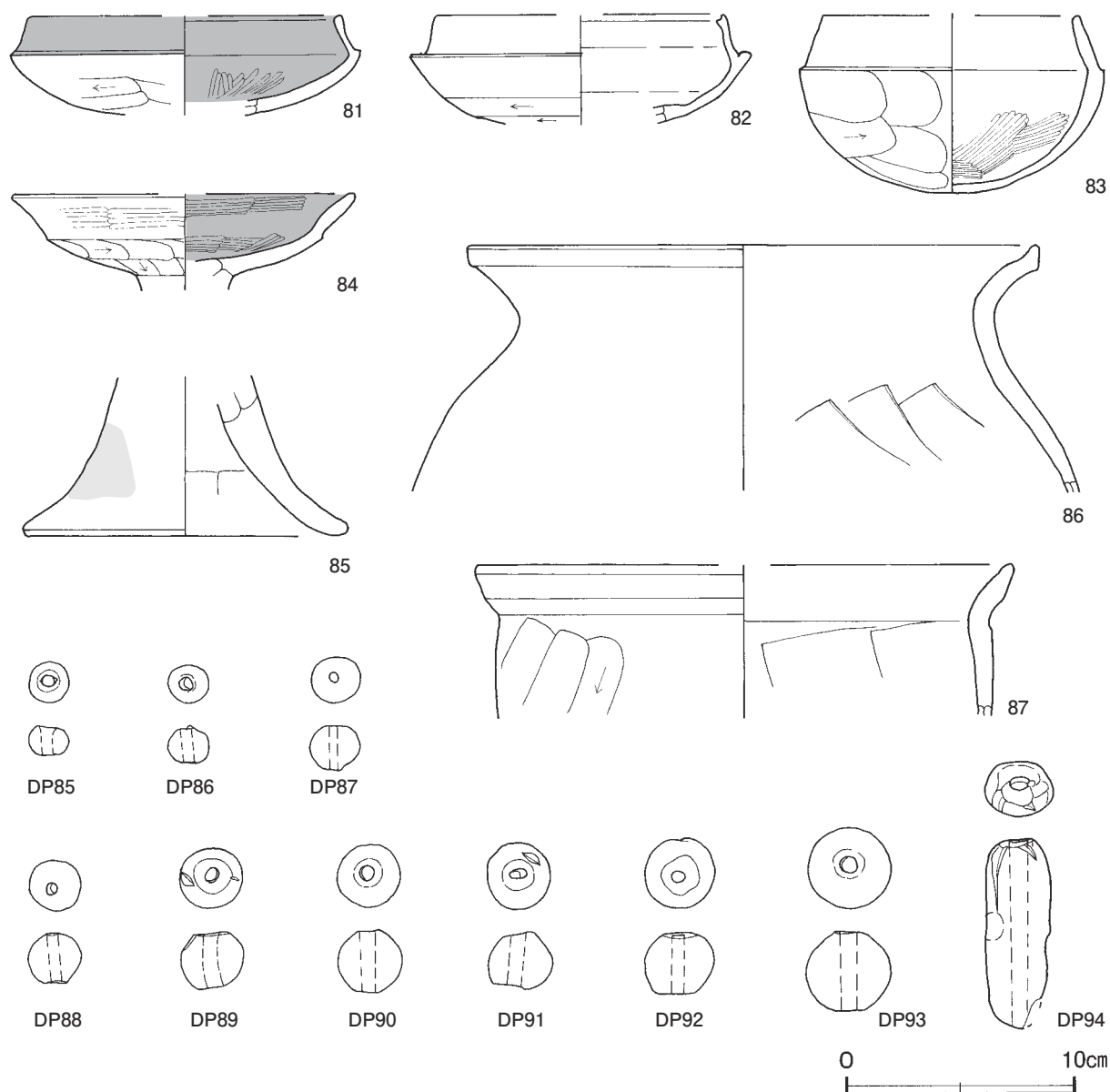
**覆土** 9層に分層できる。ロームブロックが含まれる層もあるが、周囲から流入した堆積状況を示すことから自然堆積である。第10層は焼土塊、第11・12層は貼床の構築土である。

**土層解説**

- |          |                   |           |                   |
|----------|-------------------|-----------|-------------------|
| 1 暗褐色    | ロームブロック少量, 焼土粒子微量 | 7 暗褐色     | ローム粒子・炭化粒子少量      |
| 2 暗褐色    | ローム粒子中量, 焼土粒子微量   | 8 にぶい黄褐色  | ローム粒子少量           |
| 3 黒褐色    | ローム粒子・炭化粒子微量      | 9 黒褐色     | 炭化粒子微量            |
| 4 にぶい黄褐色 | ロームブロック少量         | 10 赤褐色    | 焼土ブロック中量, 炭化粒子少量  |
| 5 褐色     | ロームブロック中量, 炭化粒子微量 | 11 褐色     | ロームブロック中量         |
| 6 暗褐色    | 炭化粒子微量            | 12 にぶい黄褐色 | ロームブロック中量, 炭化粒子微量 |

**遺物出土状況** 土師器片 1,092点 (坏類 227, 椀 1, 器台 1, 高坏 13, 鉢 1, 甕類 841, 甑 8), 須恵器片 1点 (坏身), 土製品 14点 (土玉 10, 管状土錘 2, 支脚 2), 石器 1点 (砥石), 鉄滓 17点のほか、縄文土器片 49点 (深鉢), 弥生土器片 2点 (壺) が、全域の覆土中層から下層にかけて出土している。83は東部, 86は北部の覆土下層からそれぞれ出土していることから、埋没する過程で流れ込んだものとみられる。

**所見** 時期は、出土土器や重複関係から、6世紀中葉に比定できる。



第109図 第48号竪穴建物跡出土遺物実測図

第 48 号 竪穴建物跡出土遺物観察表 (第 109 図)

番号	種 別	器種	口径	器高	底径	胎 土	色 調	焼成	手 法 の 特 徴 ほ か	出土位置	備 考	
81	土師器	坏	[13.5]	(4.3)	-	長石・石英	灰黄褐	普通	口縁部外・内面横ナデ 内面ヘラ磨き	体部外面ヘラ削り	覆土中	10%
82	須恵器	坏身	[12.5]	(4.7)	-	長石・黒色粒子	灰	良好	口縁部外・内面横ナデ	体部外面回転ヘラ削り	覆土中	10%
83	土師器	椀	[11.0]	7.7	-	長石・石英	にぶい橙	普通	口縁部外・内面横ナデ 内面ヘラ磨き	体部外面ヘラ削り	覆土下層	30%
84	土師器	高坏	[14.6]	(4.2)	-	長石・石英	灰黄褐	普通	口縁部外・内面横ナデ 内面ヘラ磨き	体部外面ヘラ削り	覆土中層	20%
85	土師器	高坏	-	(6.9)	[14.0]	長石・石英	橙	普通	体部外面一部赤彩	内面ヘラナデ	覆土中	10%
86	土師器	甕	24.8	(10.8)	-	長石・石英・雲母	にぶい黄橙	普通	口縁部外・内面横ナデ	内面ヘラナデ	覆土下層	20%
87	土師器	甌	[23.4]	(6.6)	-	長石・石英・雲母	浅黄橙	普通	口縁部外・内面横ナデ 内面ヘラナデ	体部外面縦位のヘラ削り	覆土中	5%

番号	器 種	径	厚さ	孔径	重量	胎 土	色 調	特 徴	出土位置	備 考
DP85	土玉	17~18	1.3	0.5	4.13	石英	にぶい黄橙	ナデ 一方向からの穿孔	覆土中	
DP86	土玉	17~18	1.6	0.5	4.95	長石・石英	にぶい黄褐	ナデ 一方向からの穿孔	覆土中	
DP87	土玉	20~22	1.9	0.4	8.08	長石・石英	橙	ナデ 一方向からの穿孔	覆土中	
DP88	土玉	22~23	2.2	0.5	10.7	長石・石英	にぶい橙	ナデ 一方向からの穿孔	覆土中	
DP89	土玉	26~28	2.5	0.5~0.8	17.8	長石・石英	橙	ナデ 一方向からの穿孔 片端部を平坦に成形	覆土中	
DP90	土玉	27~28	2.8	0.5~0.7	19.9	長石・石英	にぶい赤褐	ナデ 一方向からの穿孔	覆土中	
DP91	土玉	28~29	2.5	0.5~0.7	19.6	長石・石英	にぶい黄橙	ナデ 一方向からの穿孔 片端部を平坦に成形	覆土中	
DP92	土玉	3.0	2.6	0.6	24.9	長石・石英	にぶい褐	ナデ 一方向からの穿孔 両端部を平坦に成形	覆土中	
DP93	土玉	34~37	3.5	0.7~0.8	42.0	長石・石英	にぶい黄橙	ナデ 一方向からの穿孔	覆土中	

番号	器 種	径	長さ	孔径	重量	胎 土	色 調	特 徴	出土位置	備 考
DP94	管状土錘	2.4	8.3	0.6~0.8	(53.5)	長石・石英	橙	一部欠損 ナデ 一方向からの穿孔 指頭痕	覆土中層	PL90

第 53 号 竪穴建物跡 (第 110 図)

**位置** 調査D区中央部の F 5j5 区, 標高 28 m ほどの台地平坦部に位置している。

**重複関係** 第 32・34・51 号 竪穴建物, 第 297 号 土坑に掘り込まれている。

**規模と形状** 長軸 6.31 m, 短軸 5.32 m の長方形と推定でき, 主軸方向は N - 25° - W である。壁は高さ 10cm で, ほぼ直立している。

**床** 平坦で, 中央部が踏み固められている。南西壁北側と北西壁の壁下には壁溝が巡っている。

**炉** 北東部に位置している。長径は 37cm で, 短径は 32cm と推定できる。平面形は楕円形で, 床面を 5 cm ほど掘りくぼめた地床炉である。炉床面は火熱を受けて赤変硬化している。

**炉土層解説**

- 1 暗赤褐色 ローム粒子・焼土粒子少量                      2 褐色 ロームブロック・焼土ブロック中量

**ピット** P 1 は深さ 43cm で, 規模と配置から支柱穴である。第 1 層は柱抜き取り後の堆積土, 第 2 層は埋土である。

**ピット土層解説**

- 1 極暗褐色 ロームブロック少量                      2 黒褐色 ロームブロック少量

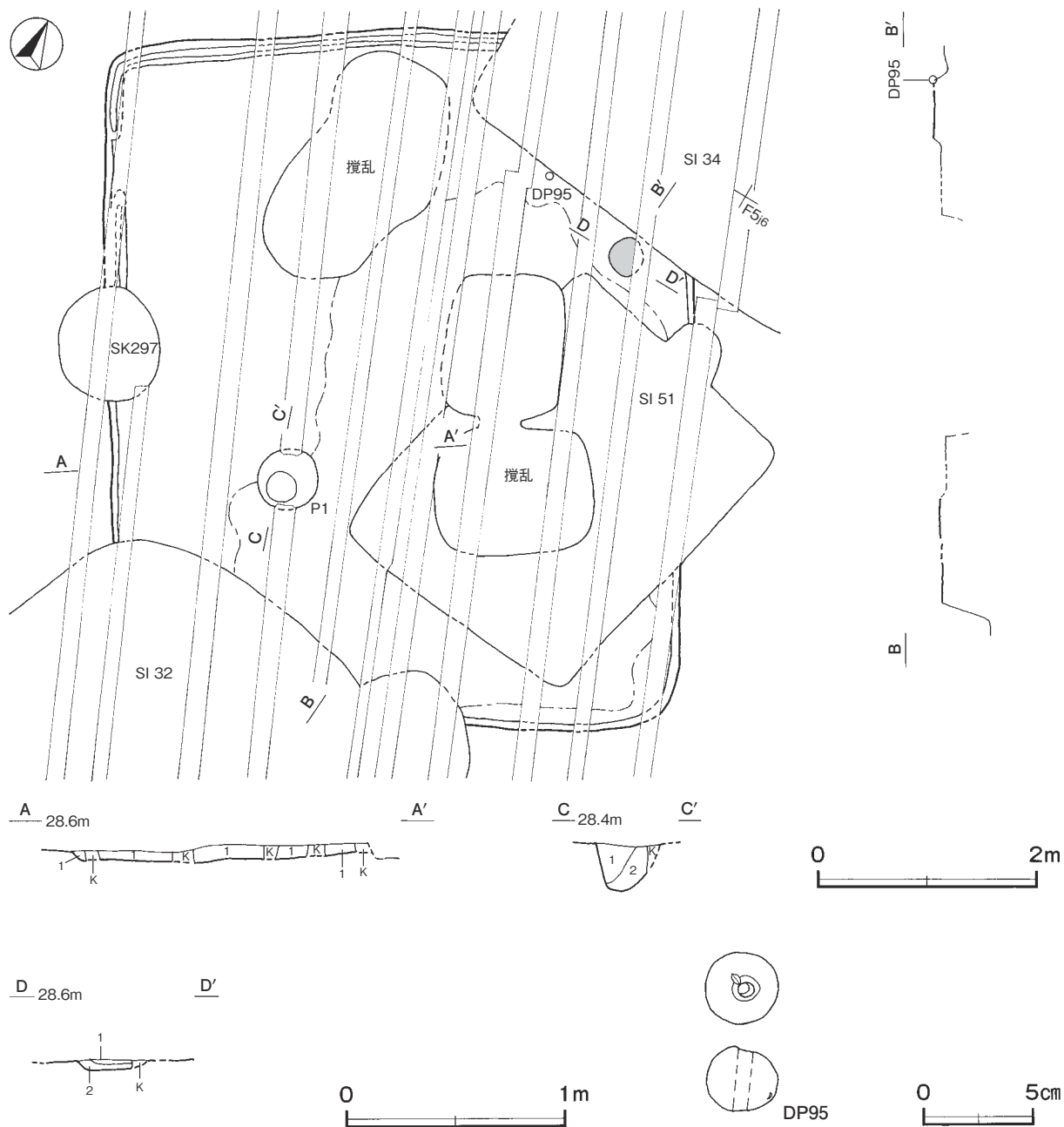
**覆土** 単一層である。層厚が薄く, 堆積の判断が難しいが, ロームブロックが含まれていることから, 埋め戻されている。

**土層解説**

- 1 暗褐色 ロームブロック中量, 焼土粒子微量

**遺物出土状況** 土師器片 67 点（坏 4，甕類 62，甑 1），土製品 1 点（土玉）が出土している。DP95 は北部の床面から出土している。

**所見** 時期は、竈が設けられていないことや、5 世紀後葉に比定できる第 12 号竪穴建物跡と主軸方向や規模が近似していることなどから、5 世紀末～6 世紀初頭と考えられる。



第 110 図 第 53 号竪穴建物跡・出土遺物実測図

第 53 号竪穴建物跡出土遺物観察表（第 110 図）

番号	器種	径	厚さ	孔径	重量	胎土	色調	特徴	出土位置	備考
DP95	土玉	3.3	3.4	0.6~0.7	31.6	長石・石英	橙	ナデ 一方方向からの穿孔 片端部を平坦に成形 擦痕有	床面	

### 第 54 号 竪穴建物跡 (第 111 図)

**位置** 調査D区南部のG 5c2区, 標高 28 mほどの台地平坦部に位置している。

**重複関係** 第 57 号竪穴建物跡を掘り込み, 第 39 号竪穴建物に掘り込まれている。

**規模と形状** 北部が第 39 号竪穴建物に掘り込まれ, 西部が調査区域外に延びているため, 北西・南東軸は 1.65 m, 北東・南西軸は 1.50 mしか確認できなかった。平面形および主軸方向は不明である。壁は高さ 20cmで, ほぼ直立している。

**床** 平坦で, 確認できた範囲は踏み固められている。

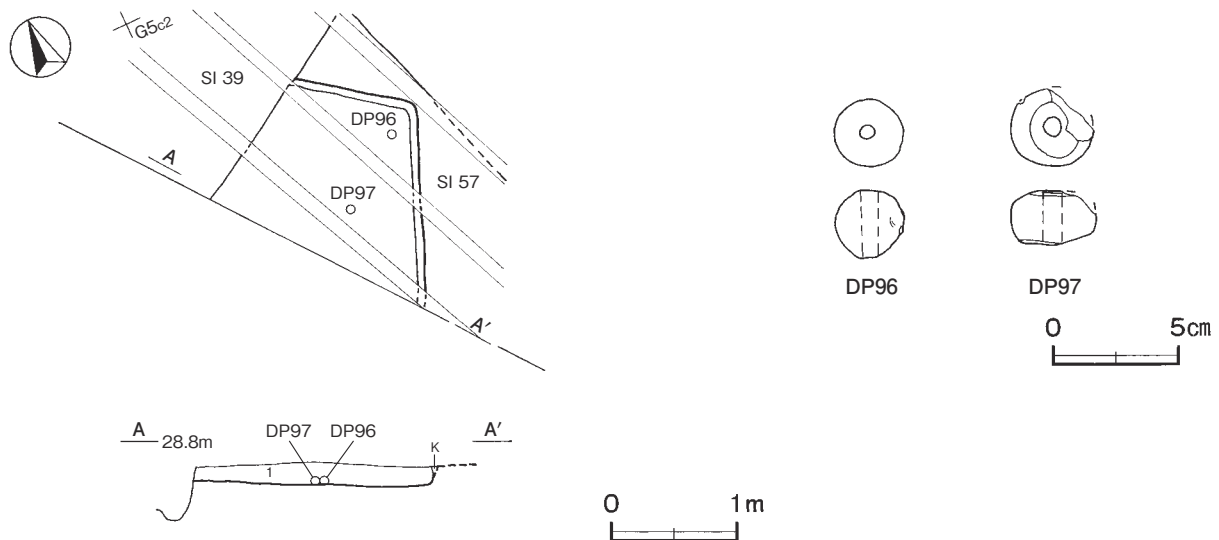
**覆土** 単一層である。堆積状況は不明である。

#### 土層解説

1 黒褐色 ローム粒子少量, 炭化粒子微量

**遺物出土状況** 土師器片 20 点 (坏 9, 甕類 11), 須恵器片 1 点 (甕), 土製品 2 点 (土玉) が出土している。DP96・DP97 は東部の覆土下層から出土している。

**所見** 時期は, 7 世紀前葉に比定できる第 39 号竪穴建物に掘り込まれていることから, 6 世紀後葉と考えられる。



第 111 図 第 54 号竪穴建物跡・出土遺物実測図

### 第 54 号 竪穴建物跡出土遺物観察表 (第 111 図)

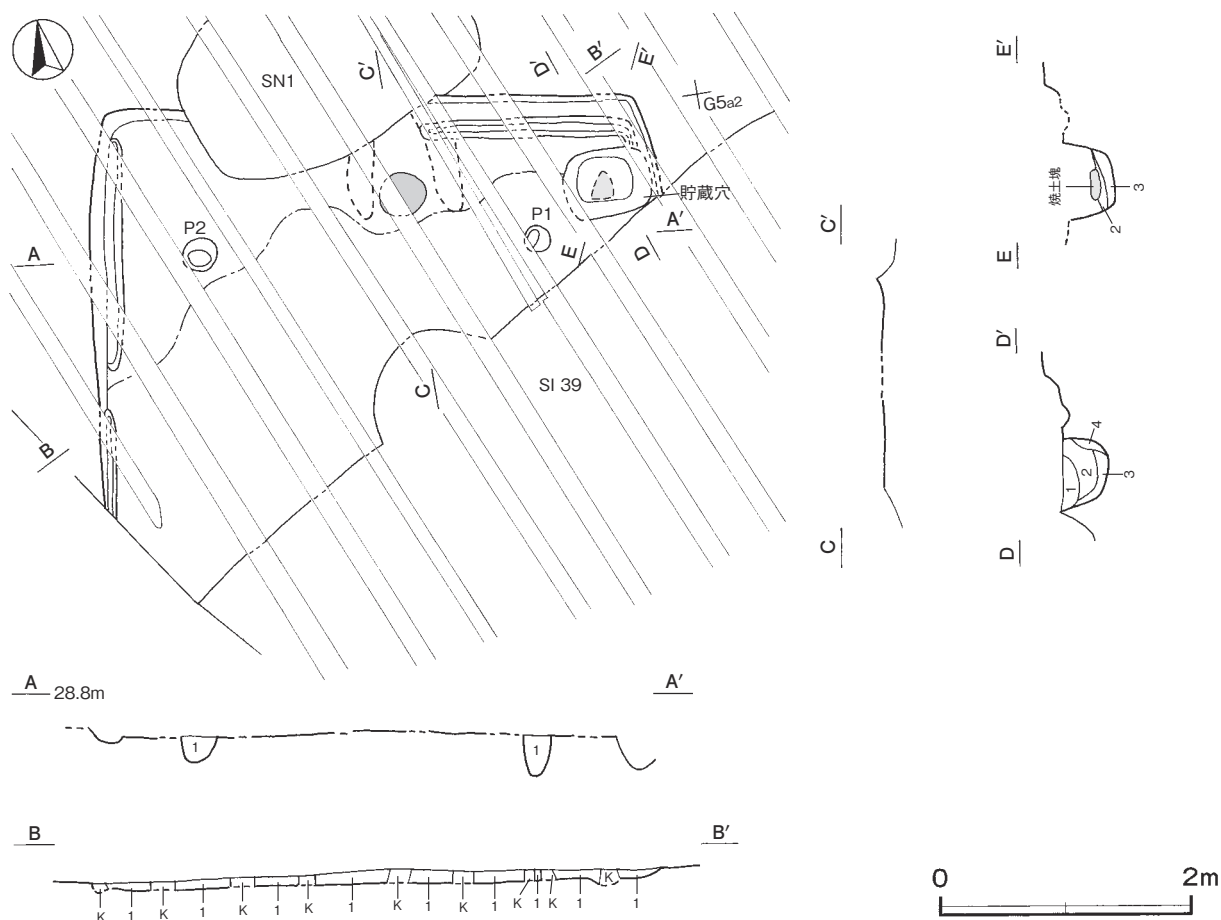
番号	器種	径	厚さ	孔径	重量	胎土	色調	特徴	出土位置	備考
DP96	土玉	26~27	2.6	0.6~0.7	(17.1)	長石・石英	にぶい黄橙	端部一部欠損 ナデ 一方向からの穿孔	覆土下層	
DP97	土玉	3.3	2.1	0.8	(18.8)	長石・石英	にぶい赤褐	一部欠損 ナデ 一方向からの穿孔 片端部を平坦に成形	覆土下層	

### 第 55 号 竪穴建物跡 (第 112・113 図)

**位置** 調査D区南部のG 5a1区, 標高 28 mほどの台地平坦部に位置している。

**重複関係** 第 39 号竪穴建物, 第 1 号粘土貼土坑に掘り込まれている。

**規模と形状** 南東部が第 39 号竪穴建物に掘り込まれ, 南西部が調査区域外に延びているため, 東西軸は 4.57 mで, 南北軸は 2.30 mしか確認できなかった。平面形は方形あるいは長方形と推定でき, 主軸方向は N-8°-E である。壁は高さ 6~20cmで, ほぼ直立している。



第 112 図 第 55 号竪穴建物跡実測図

**床** 平坦で、壁際を除いて踏み固められている。北壁と西壁の壁下の一部には壁溝が巡っている。

**竈** 遺存状況が悪く、火床面の広がりや袖部の基部の痕跡から、北壁中央部に付設されていたと推定できる。火床部は床面とほぼ同じ高さを使用しており、火床面は火熱を受けて赤変硬化している。

**ピット** 2か所。P 1・P 2は深さ 32cm・20cmで、配置から支柱穴である。

**ピット土層解説 (各ピット共通)**

1 褐色 ロームブロック中量

**貯蔵穴** 北東コーナー部に位置している。長軸 70cm、短軸 53cmの隅丸長方形で、深さは 35cmである。底面は皿状で、壁は外傾している。混入したと考えられる焼土塊を覆土中層で確認した。

**貯蔵穴土層解説**

1 赤褐色 焼土ブロック多量、炭化粒子微量

3 暗褐色 ロームブロック少量

2 暗褐色 ローム粒子少量

4 褐色 ロームブロック少量

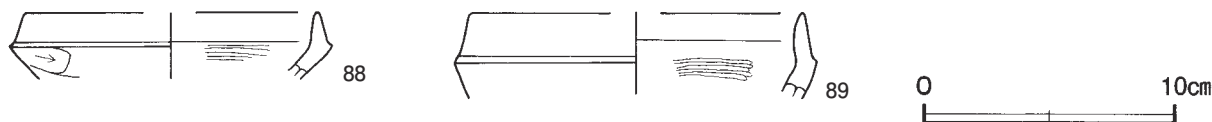
**覆土** 単一層である。層厚が薄く、堆積状況の判断が難しいが、含有物が多く含まれていることから、埋め戻されている。

**土層解説**

1 褐色 ロームブロック中量、焼土粒子少量

**遺物出土状況** 土師器片 51 点 (坏 2, 甕類 49), 土製品 2 点 (支脚) が、覆土中から出土している。

**所見** 時期は、出土土器や重複関係から、6世紀後葉に比定できる。



第 113 図 第 55 号竪穴建物跡出土遺物実測図

第 55 号竪穴建物跡出土遺物観察表（第 113 図）

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
88	土師器	坏	[11.6]	(2.6)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい橙	普通	口縁部外・内面横ナデ 内面ヘラ磨き 体部外面ヘラ削り	覆土中	5%
89	土師器	坏	[13.2]	(3.4)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	橙	普通	口縁部外面横ナデ 体部外面摩滅 内面横位のヘラ磨き	覆土中	5%

### 第 56 号竪穴建物跡（第 114 図）

**位置** 調査D区中央部の F 5 i3 区，標高 28 m ほどの台地平坦部に位置している。

**重複関係** 第 329 号土坑を掘り込み，第 338 号土坑に掘り込まれている。

**規模と形状** 長軸 3.18 m，短軸 3.16 m の方形で，主軸方向は N - 1° - W である。壁は高さ 9 ~ 16cm で，直立している。

**床** 平坦で，中央部が踏み固められている。壁下には壁溝が巡っている。

**竈** 北壁やや東寄りに付設されている。規模は焚口部から煙道部まで 95cm で，燃烧部幅は 45cm である。袖部はその大半が攪乱を受けており，床面と同じ高さの地山の上に，粘土粒子を主体とする第 7 層を積み上げて構築されている。火床部は床面を 7cm ほど掘り込んだ箇所を使用しており，火床面の赤変硬化は認められない。煙道部は壁外に 30cm 掘り込まれ，火床部から外傾している。DP99 は火床部付近の覆土下層から横位で出土していることから，廃絶時に遺棄されたものとみられる。

#### 竈土層解説

- |                    |                             |
|--------------------|-----------------------------|
| 1 にぶい黄褐色 焼土粒子少量    | 5 暗褐色 ロームブロック・炭化粒子中量，焼土粒子少量 |
| 2 暗褐色 焼土ブロック中量     | 6 暗褐色 焼土ブロック・炭化粒子中量，ローム粒子少量 |
| 3 暗褐色 ローム粒子・焼土粒子少量 | 7 灰黄褐色 粘土粒子中量               |
| 4 暗褐色 ローム粒子微量      |                             |

**ピット** 5 か所。P 1 ~ P 4 は深さ 12 ~ 40cm で，配置から主柱穴である。第 1・2 層は柱抜き取り後の堆積土，第 3・4 層は埋土である。P 2 では柱の立て替えが確認できた。P 5 は深さ 10cm で，南壁際の中央部に位置していることから，出入り口施設に伴うピットと考えられる。

#### ピット土層解説（各ピット共通）

- |                             |                |
|-----------------------------|----------------|
| 1 暗褐色 ロームブロック中量，焼土粒子・炭化粒子微量 | 3 暗褐色 ローム粒子多量  |
| 2 暗褐色 ロームブロック少量             | 4 褐色 ロームブロック中量 |

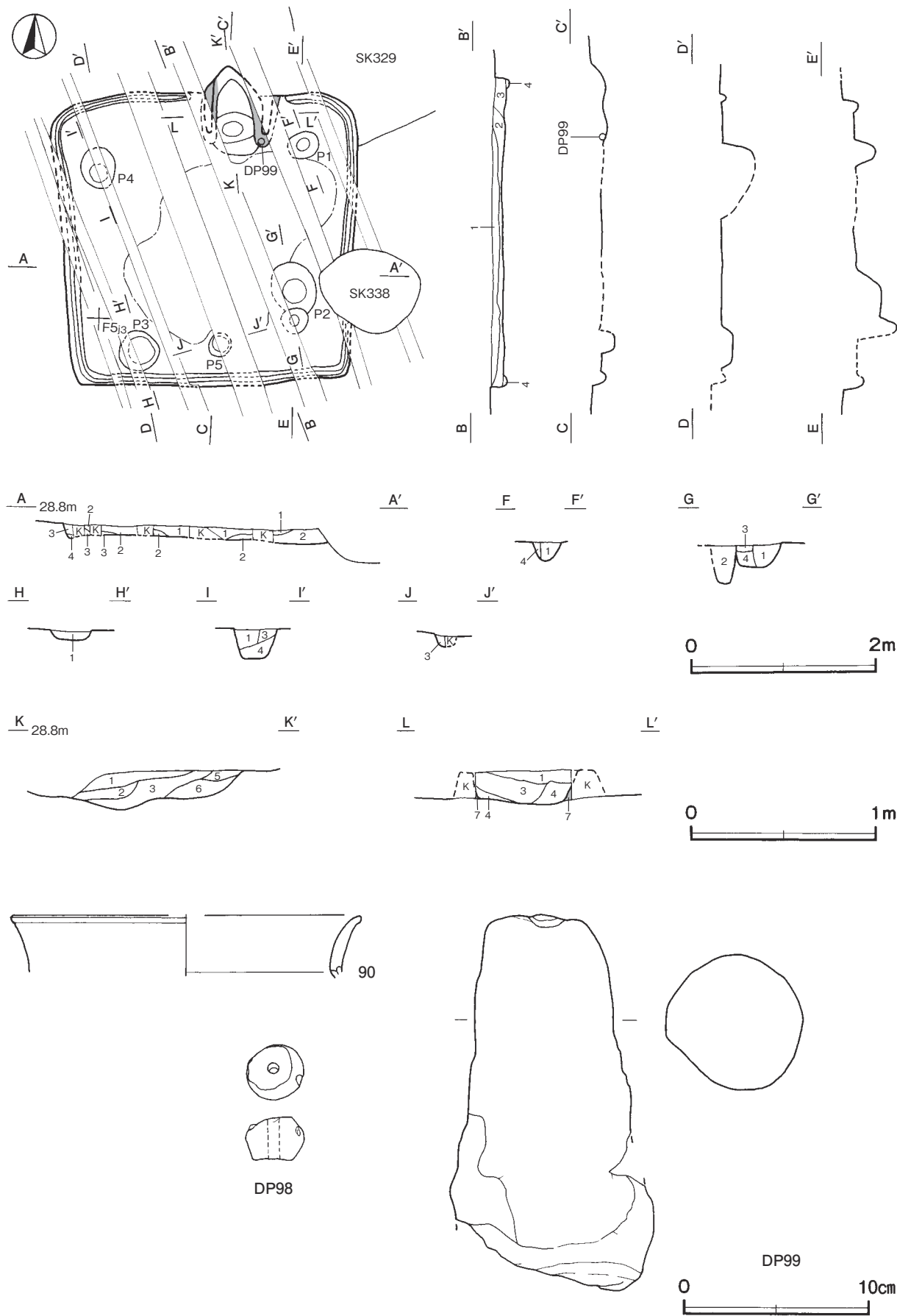
**覆土** 4 層に分層できる。層厚が薄く，堆積の判断が難しいが，多くの層にロームブロックが含まれていることから，埋め戻されている。

#### 土層解説

- |                   |                 |
|-------------------|-----------------|
| 1 褐色 ローム粒子・焼土粒子微量 | 3 褐色 ロームブロック微量  |
| 2 褐色 ロームブロック少量    | 4 暗褐色 ロームブロック少量 |

**遺物出土状況** 土師器片 66 点（坏 6，高坏 1，甕類 59），土製品 2 点（土玉，支脚），金属製品 1 点（刀子）が，北部の覆土中層から下層を中心に出土している。

**所見** 時期は，出土遺物が細片のため判断が難しいが，6 世紀中葉に比定できる第 61 号竪穴建物跡と主軸方向や規模が近似していることなどから，6 世紀中葉と考えられる。



第 114 図 第 56 号豎穴建物跡・出土遺物実測図

第 56 号 竪穴建物跡出土遺物観察表 (第 114 図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
90	土師器	甕	[18.6]	(3.4)	-	長石・石英・赤色粒子	橙	普通	口縁部外・内面横ナデ	覆土中	5%

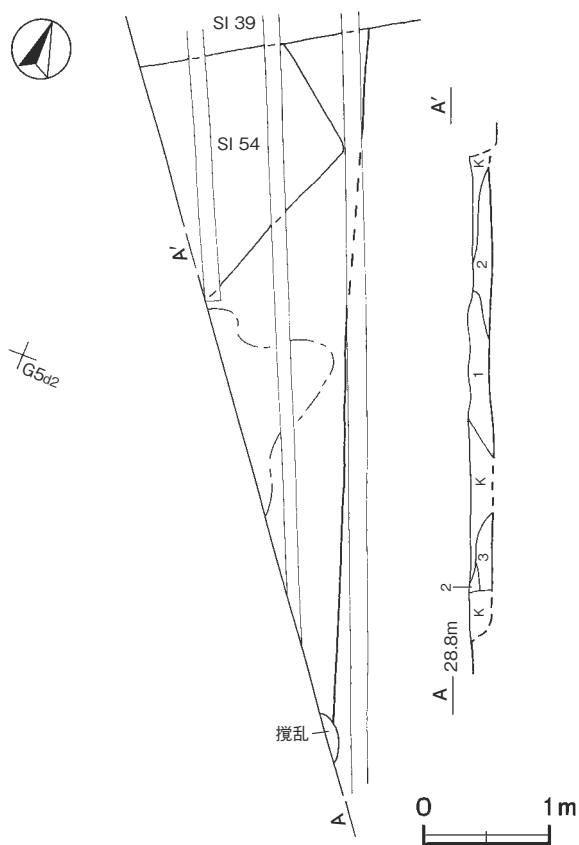
  

番号	器種	径	厚さ	孔径	重量	胎土	色調	特徴	出土位置	備考
DP98	土玉	2.9~3.1	2.3	0.6	(21.8)	長石・石英・雲母	にぶい橙	一部欠損 ナデ 一方向からの穿孔 片端部を平坦に成形	覆土中	

番号	器種	高さ	最小径	最大径	重量	胎土	色調	特徴	出土位置	備考
DP99	支脚	(20.4)	5.5	10.5	(1.318)	長石・石英・雲母	にぶい橙	ナデ 被熱痕	竈覆土下層	

第 57 号 竪穴建物跡 (第 115 図)



第 115 図 第 57 号 竪穴建物跡実測図

**位置** 調査D区南部のG 5 c2区, 標高 28 mほどの台地平坦部に位置している。

**重複関係** 第 39・54 号竪穴建物に掘り込まれている。

**規模と形状** 北部が第 39 号竪穴建物に掘り込まれ, 西部が調査区域外に延びているため, 南北軸は 5.75 m, 東西軸は 1.80 m しか確認できなかった。平面形, 主軸方向は不明である。壁は調査区域際では, 高さ 18cm で, 東部は確認面とほぼ同じ高さである。

**床** 平坦で, 確認できた範囲の中央部が踏み固められている。

**覆土** 3層に分層できる。ロームブロックが含まれ, 不規則な堆積状況を示していることから, 埋め戻されている。

**土層解説**

- 1 暗褐色 ロームブロック少量
- 2 褐色 ローム粒子微量
- 3 褐色 ロームブロック少量

**所見** 時期は, 6 世紀後葉に比定できる第 54 号竪穴建物に掘り込まれていることから, 6 世紀前葉から中葉と考えられる。

第 61 号 竪穴建物跡 (第 116・117 図)

**位置** 調査D区中央部のF 4 i0区, 標高 28 mほどの台地平坦部に位置している。

**重複関係** 第 59 号竪穴建物, 第 341・343 号土坑に掘り込まれている。

**規模と形状** 長軸 3.04 m, 短軸 3.02 m の方形で, 主軸方向は N-7°-W である。壁は高さ 16cm で, ほぼ直立している。

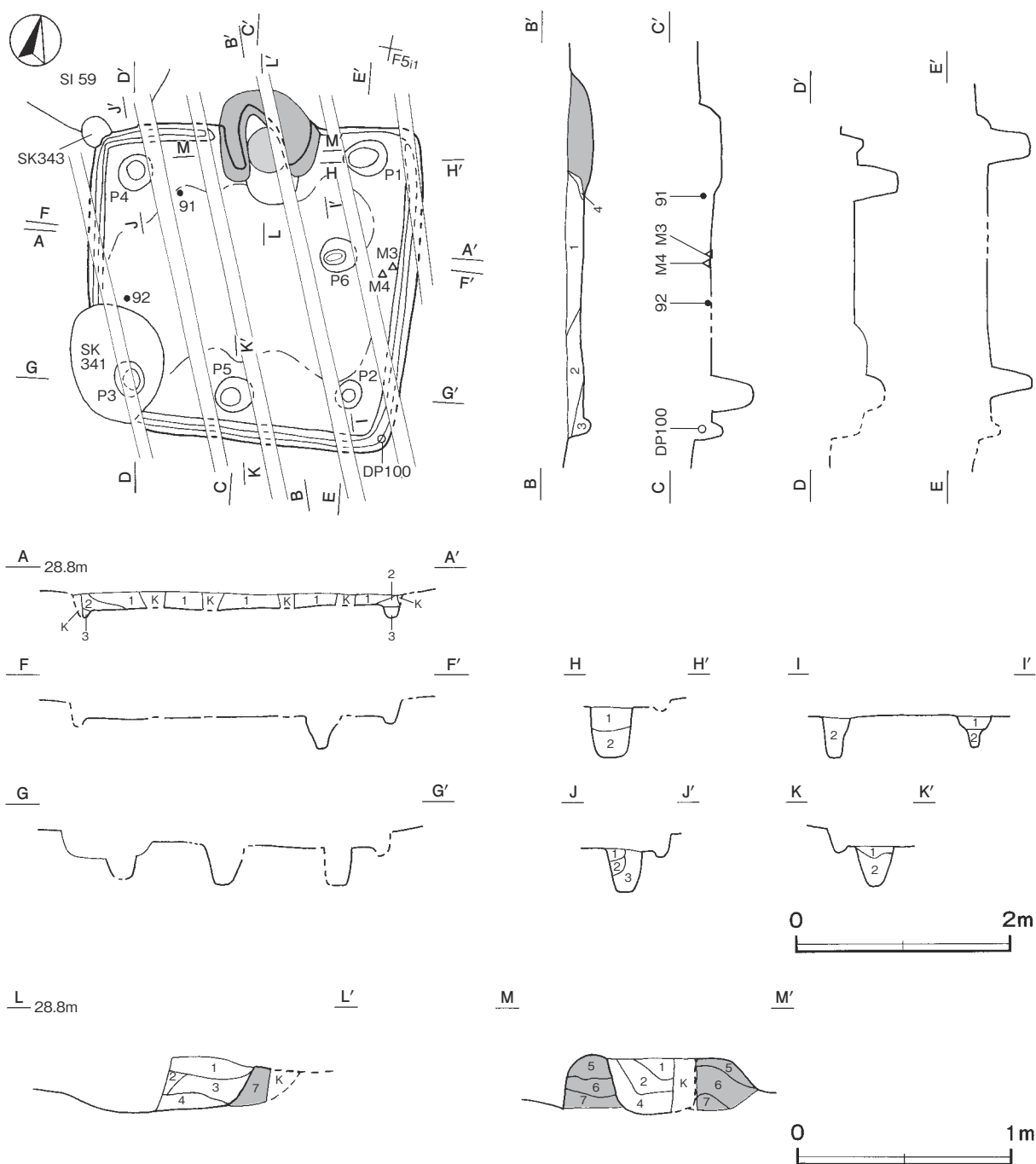
**床** 平坦で, 中央部が踏み固められている。北壁東側を除いて壁下には壁溝が巡っている。



**竈** 北壁中央部に付設されている。規模は焚口部から煙道部まで97cmで、 燃焼部幅は43cmである。袖部は地山をわずかに掘りくぼめ、その上に粘土粒子を主体とする第5～7層を積み上げて構築されている。火床部は床面を9cmほど掘り込んだ箇所を使用しており、火床面は火熱を受けて赤変硬化している。煙道部は壁外に20cm掘り込まれ、火床部から外傾している。

**竈土層解説**

- |                          |                              |
|--------------------------|------------------------------|
| 1 褐 灰 色 粘土粒子多量, 焼土粒子少量   | 5 褐 灰 色 粘土粒子多量, ローム粒子・焼土粒子少量 |
| 2 暗 褐 色 ロームブロック・焼土ブロック少量 | 6 暗 褐 色 粘土粒子中量, 焼土粒子・炭化粒子少量  |
| 3 暗 褐 色 ロームブロック中量        | 7 褐 色 粘土粒子多量, ロームブロック中量      |
| 4 暗 褐 色 ローム粒子少量          |                              |



第 116 図 第 61 号竪穴建物跡実測図

**ピット** 6か所。P1～P4は深さ34～40cmで、規模と配置から支柱穴である。第1～3層は柱抜き取り後の堆積土である。P5は深さ37cmで、南壁際の中央部に位置していることから、出入口施設に伴うピットと考えられる。P6は深さ29cmで、配置から補助柱穴と考えられる。

**ピット土層解説 (各ピット共通)**

- 1 暗褐色 ローム粒子中量
- 2 暗褐色 ローム粒子少量
- 3 明褐色 ローム粒子微量

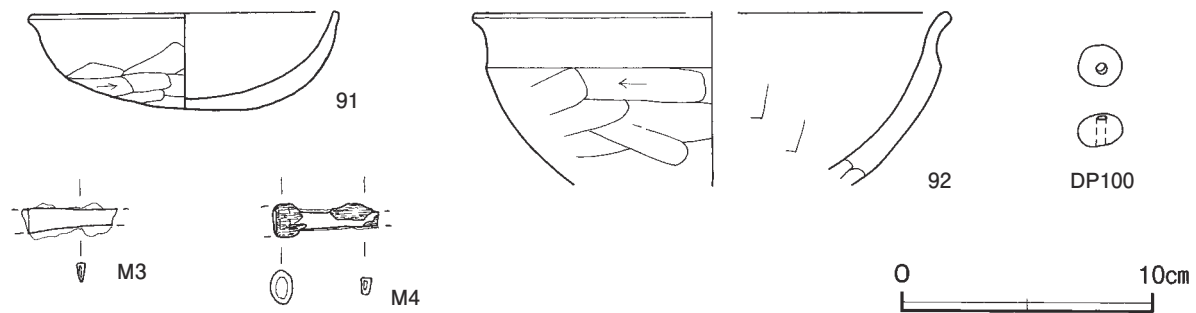
**覆土** 4層に分層できる。層厚が薄く、堆積の判断が難しいが、多くの層にロームブロックが含まれていることから、埋め戻されている。

**土層解説**

- 1 暗褐色 ロームブロック中量
- 2 暗褐色 ローム粒子少量
- 3 褐色 ローム粒子微量
- 4 褐色 ロームブロック少量、焼土粒子微量

**遺物出土状況** 土師器片144点(坏17, 椀3, 甕類124), 土製品1点(土玉), 金属製品2点(刀子)が、全域の覆土中層から床面にかけて出土している。92・M3は床面から出土していることから、廃絶時に遺棄されたものとみられる。91は北部の覆土中層から出土していることから、埋め戻しの過程で投棄されたものとみられる。

**所見** 時期は、出土土器や重複関係から、6世紀中葉に比定できる。



第117図 第61号竪穴建物跡出土遺物実測図

第61号竪穴建物跡出土遺物観察表 (第117図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
91	土師器	坏	12.1	3.8	-	長石・石英・黒色粒子	橙	普通	口縁部外・内面横ナデ 体部外面ヘラ削り 内面ヘラナデ	覆土中層	90%
92	土師器	椀	[18.5]	(6.8)	-	長石・石英・赤色粒子	橙	普通	口縁部外・内面横ナデ 体部外面ヘラ削り 内面ヘラナデ	床面	10%

番号	器種	径	厚さ	孔径	重量	胎土	色調	特徴	出土位置	備考
DP100	土玉	1.7	1.3	0.4	3.61	長石・赤色粒子	にぶい橙	ナデ 一方向からの穿孔	覆土中層	

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
M3	刀子	(3.8)	1.0	0.3	(3.67)	鉄	刃部一部欠損 断面三角形 茎部欠損	床面	
M4	刀子	(4.2)	1.3	0.3~0.4	(4.88)	鉄	刃部欠損 茎部一部欠損 錐残存 断面長方形 木質一部残存	覆土下層	

**第68号竪穴建物跡 (第118・119図)**

**位置** 調査D区中央部のF5h4区、標高28mほどの台地平坦部に位置している。

**重複関係** 第34・52・104号竪穴建物に掘り込まれている。

**規模と形状** 北東・南西軸は4.98mで、北西・南東軸は4.56mと推定できる。平面形は方形と推定でき、主

軸方向はN - 23° - Wである。壁は高さ 15cmで、ほぼ直立している。

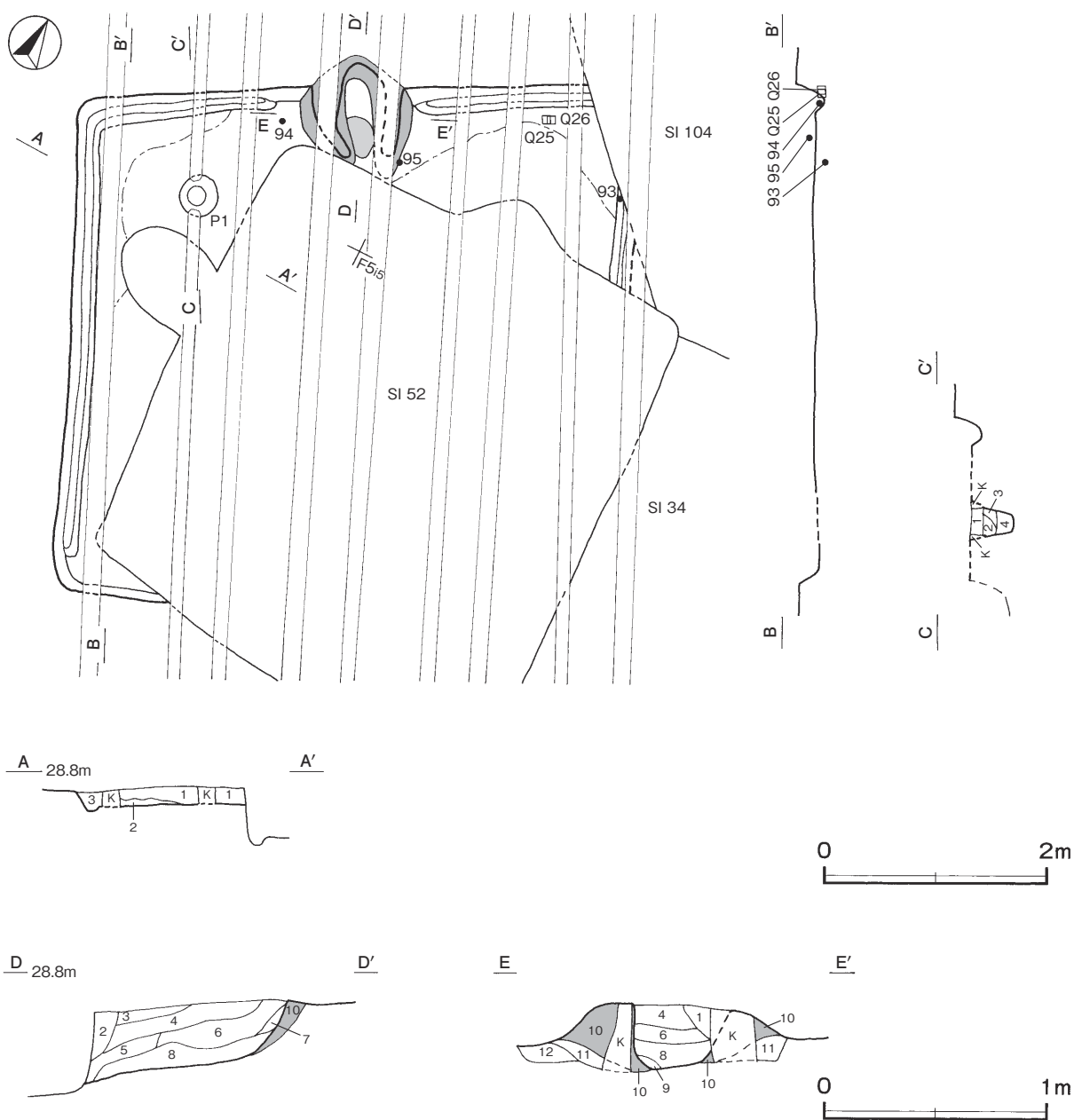
床 平坦で、確認できた範囲のコーナー部を除いて踏み固められている。壁下には壁溝が巡っている。

竈 北西壁中央部に付設されている。規模は焚口部から煙道部までが 110cm、燃烧部幅は 33cmと推定できる。

袖部は、床面から 5cm掘りくぼめた部分に第 11・12層を埋土して、粘土粒子を主体とする第 10層を積み上げて構築されている。火床部は床面を 5cm掘りくぼめた高さを利用しており、火床面は火熱を受けて赤変硬化している。煙道部は壁外に 25cm掘り込まれ、火床部から外傾している。

竈土層解説

- |          |                     |        |                      |
|----------|---------------------|--------|----------------------|
| 1 にぶい黄褐色 | ロームブロック・焼土ブロック中量    | 7 黄褐色  | ローム粒子中量              |
| 2 灰褐色    | ローム粒子少量、粘土粒子微量      | 8 暗褐色  | ロームブロック少量、炭化粒子微量     |
| 3 灰褐色    | ローム粒子・焼土粒子少量、粘土粒子微量 | 9 暗褐色  | ロームブロック少量、炭化物・焼土粒子微量 |
| 4 暗褐色    | 焼土ブロック多量、ローム粒子少量    | 10 灰褐色 | 粘土粒子中量、炭化物・焼土粒子微量    |
| 5 にぶい黄褐色 | ローム粒子・焼土粒子中量        | 11 暗褐色 | ロームブロック・炭化物・粘土粒子少量   |
| 6 赤褐色    | 焼土ブロック多量            | 12 暗褐色 | ロームブロック少量            |



第 118 図 第 68 号竪穴建物跡実測図

ピット P1は深さ38cmで、配置から支柱穴である。

ピット土層解説

- |                      |                    |
|----------------------|--------------------|
| 1 明褐色 焼土ブロック微量       | 3 明褐色 ローム粒子微量      |
| 2 暗褐色 ロームブロック・焼土粒子微量 | 4 暗褐色 ローム粒子・炭化粒子微量 |

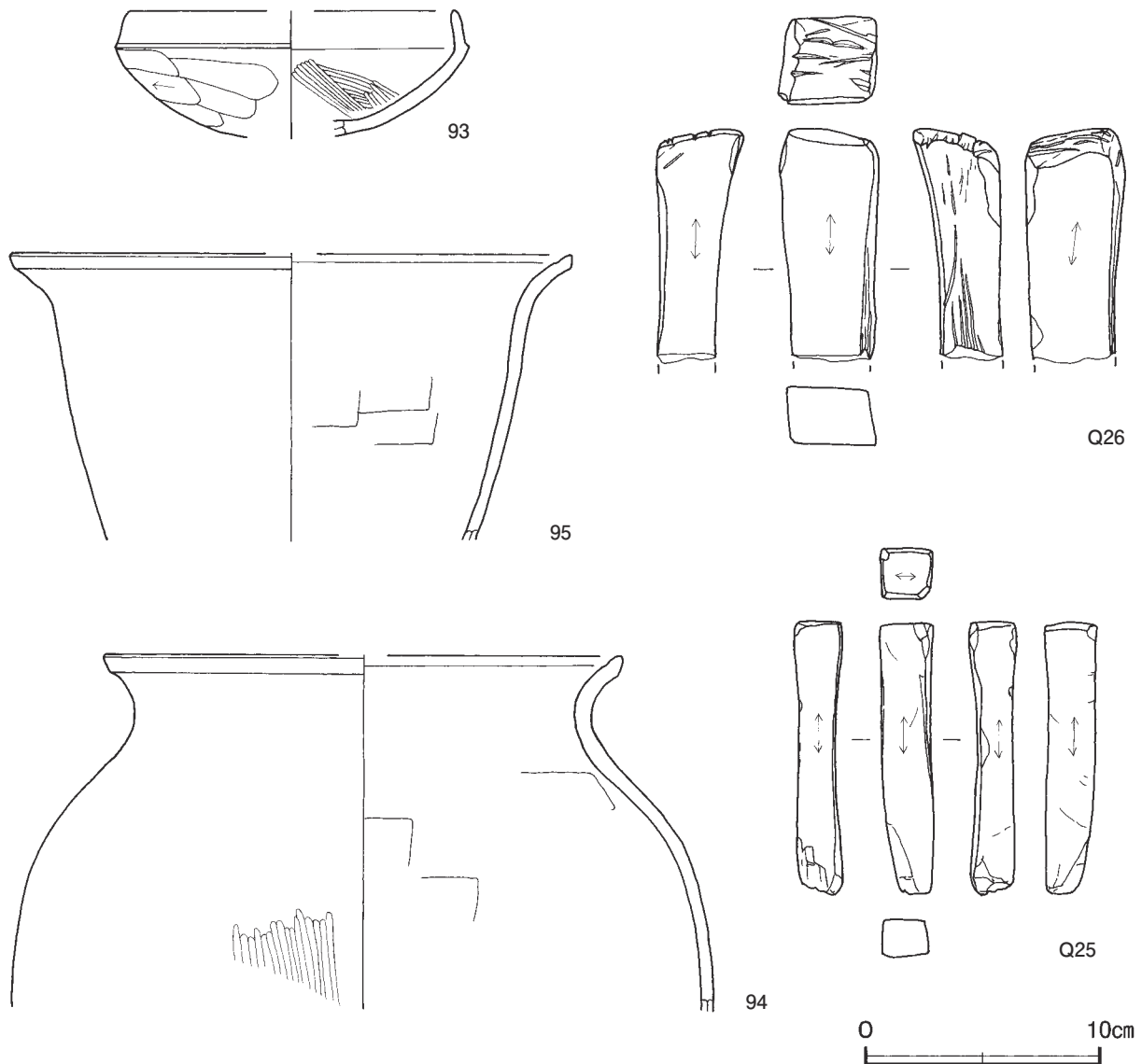
覆土 3層に分層できる。多くの層にロームブロックが含まれていることから、埋め戻されている。

土層解説

- |                 |                 |
|-----------------|-----------------|
| 1 暗褐色 ローム粒子多量   | 3 明褐色 ロームブロック少量 |
| 2 暗褐色 ロームブロック中量 |                 |

遺物出土状況 土師器片49点(坏7, 甕類41, 甑1), 石器2点(砥石)が、北部の覆土下層から床面を中心に出土している。93は壁溝の覆土中, 94・Q25・Q26は床面からそれぞれ出土していることから、廃絶時に遺棄されたものとみられる。95は北部の覆土下層から出土していることから、埋め戻しの過程で混入したものとみられる。

所見 時期は、出土土器や重複関係から、6世紀後葉に比定できる。



第119図 第68号竪穴建物跡出土遺物実測図

第 68 号 竪穴建物跡出土遺物観察表 (第 119 図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考	
93	土師器	坏	[14.0]	5.4	-	長石・石英・赤色粒子	にぶい橙	普通	口縁部外・内面横ナデ り 内面ヘラ磨き	体部外面横位のヘラ削	壁溝覆土中	30%
94	土師器	甕	[21.8]	(15.0)	-	長石・石英・雲母	にぶい黄橙	普通	口縁部外・内面横ナデ き 内面ヘラナデ	体部外面縦位のヘラ磨	床面	10%
95	土師器	甌	[23.8]	(12.2)	-	長石・石英	にぶい黄橙	普通	口縁部外・内面横ナデ ラナデ	体部外面摩滅 内面ヘ	覆土下層	10%

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
Q 25	砥石	11.6	2.3	1.6	(93.5)	凝灰岩	一部欠損 砥面 5 面	床面	PL95
Q 26	砥石	(10.0)	4.3	3.7	(206)	安山岩	一部欠損 砥面 3 面 2面に条線状の研磨痕有り	床面	PL95

### 第 72 号 竪穴建物跡 (第 120・121 図)

**位置** 調査 D 区中央部の F 5 f5 区, 標高 28 m ほどの台地平坦部に位置している。

**重複関係** 第 66・67・104 号 竪穴建物, 第 491・492・533・595・607 号 土坑に掘り込まれている。

**規模と形状** 長軸 7.52 m, 短軸 7.18 m の方形で, 主軸方向は N - 5° - W である。壁は高さ 35 cm で, ほぼ直立している。

**床** ほぼ平坦で, 明確な硬化面は確認できない。西部に焼土塊を確認した。床面から浮いた状態で堆積していることから, 廃絶後に投げ込まれたものと考えられる。北東部と北西部の床面からは炭化材を確認した。

#### 焼土塊土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック・炭化粒子少量, 焼土粒子微量
- 2 暗赤褐色 焼土ブロック多量, 炭化粒子少量
- 3 暗褐色 ロームブロック中量, 焼土粒子微量

**炉** 北部中央に位置している。長径 65 cm, 短径 63 cm の円形で, 床面を 5 cm ほど掘りくぼめた地床炉である。炉床面は第 1～3 層上面で, 火熱を受けて赤変硬化している。

#### 炉土層解説

- 1 褐色 焼土ブロック中量
- 2 暗赤褐色 焼土ブロック多量
- 3 赤黒色 焼土ブロック多量

**ピット** 3 か所。P 1～P 3 は深さ 53～65 cm で, 規模と配置から支柱穴である。第 1・2 層は柱抜き取り後の堆積土, 第 3・4 層は埋土である。配置から, P 1 から P 2 に立て替えが行われたものと考えられる。

#### ピット土層解説 (各ピット共通)

- 1 暗褐色 ローム粒子・焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量
- 3 暗褐色 ロームブロック中量
- 4 黒褐色 ロームブロック少量

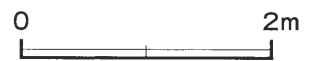
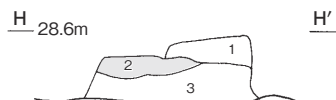
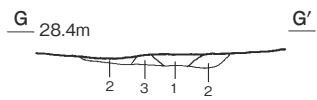
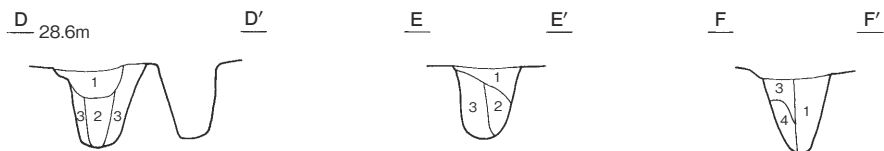
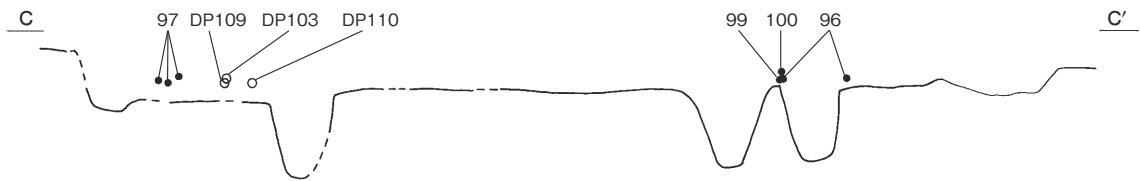
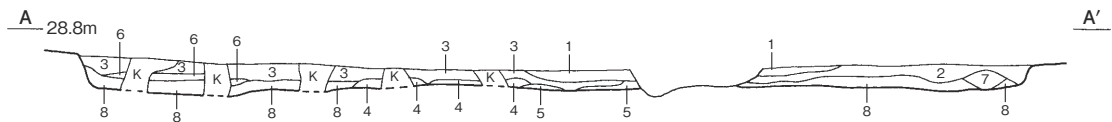
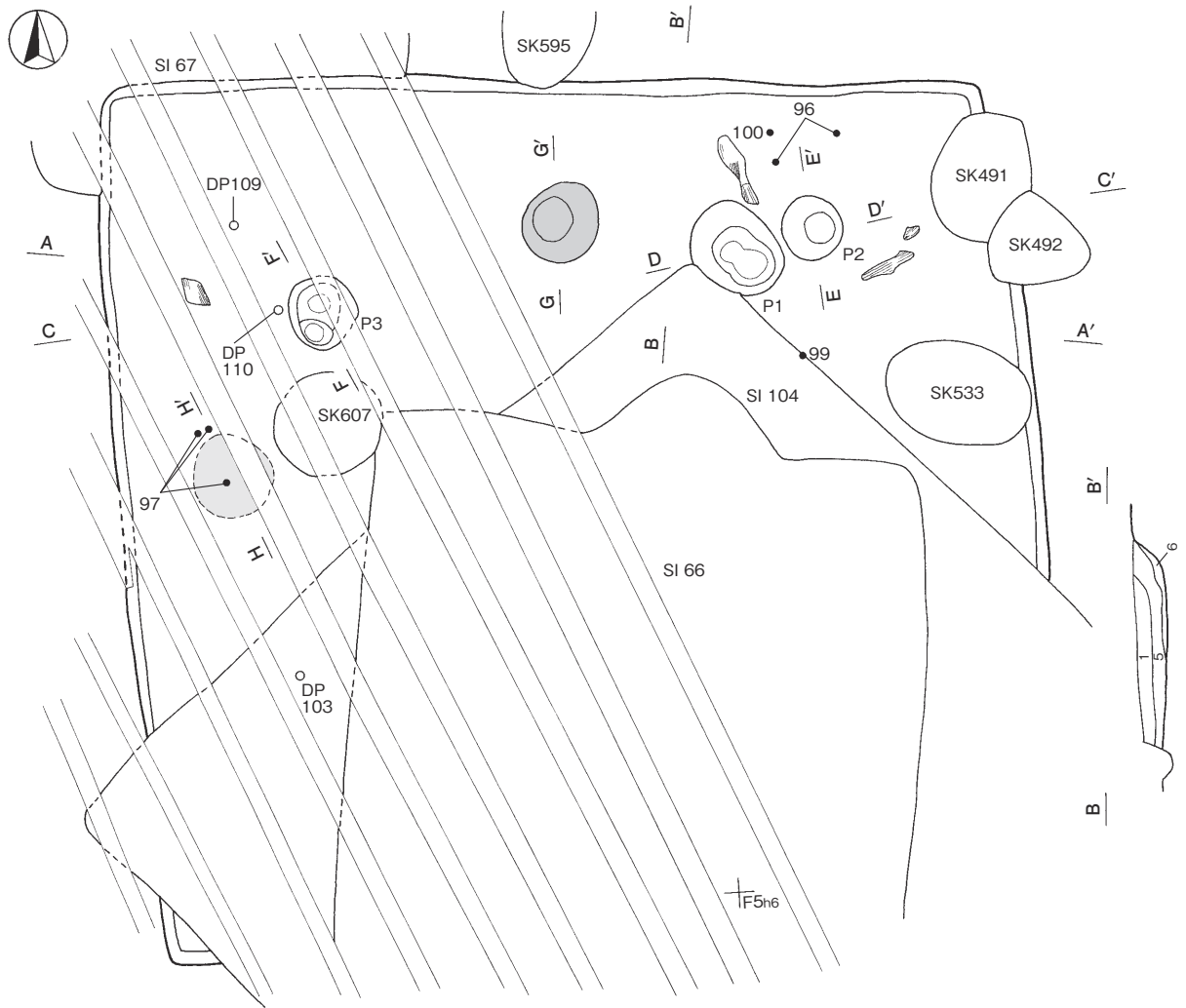
**覆土** 8 層に分層できる。多くの層にロームブロックが含まれ, 不規則な堆積状況を示していることから埋め戻されている。

#### 土層解説

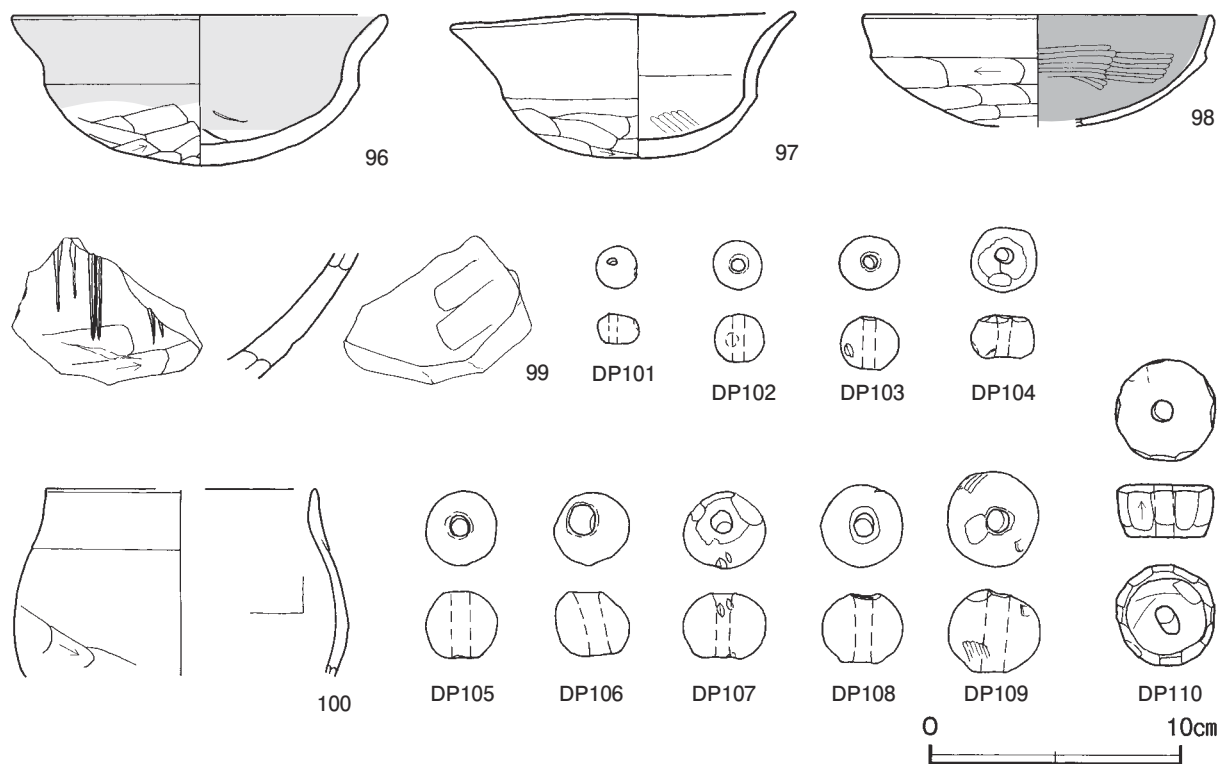
- 1 暗褐色 炭化粒子中量, ローム粒子少量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子微量
- 3 褐色 ローム粒子中量
- 4 褐色 ローム粒子少量
- 5 暗褐色 ローム粒子中量
- 6 褐色 ロームブロック中量
- 7 暗褐色 ロームブロック少量
- 8 暗褐色 ロームブロック中量

**遺物出土状況** 土師器片 412 点 (坏類 103, 甕類 308, 小形甕 1), 土製品 15 点 (土玉 14, 紡錘車 1) のほか, 縄文土器片 3 点 (深鉢) が, 全域の覆土中層から下層にかけて出土している。96・97 は覆土下層から出土した破片がそれぞれ接合している。また, DP110 は北西部の覆土下層から出土していることから, いずれも埋め戻す過程で投棄されたものとみられる。

**所見** 時期は, 出土土器や重複関係から, 5 世紀後葉に比定できる。



第 120 图 第 72 号竖穴建物跡実測图



第 121 図 第 72 号竪穴建物跡出土遺物実測図

第 72 号竪穴建物跡出土遺物観察表 (第 121 図)

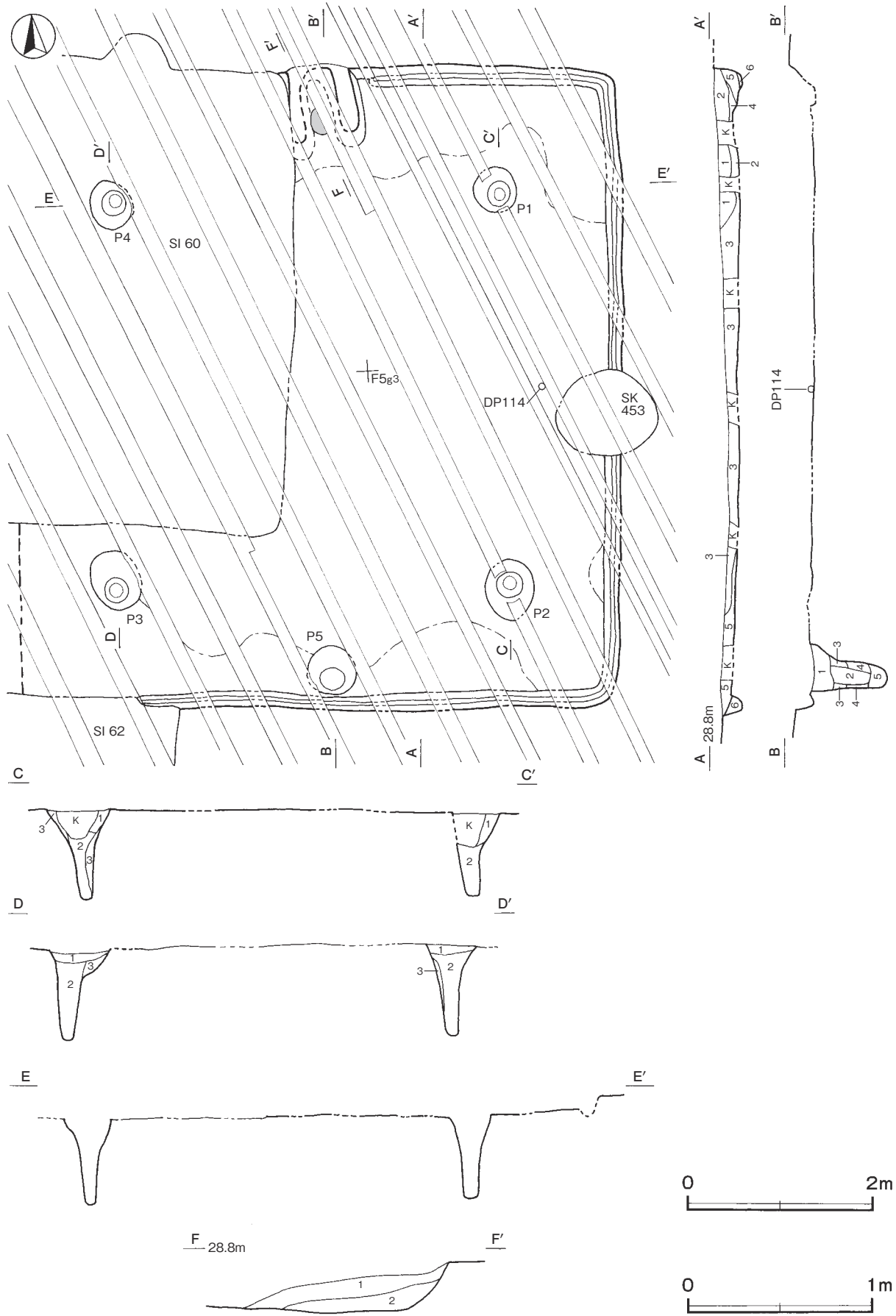
番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
96	土師器	坏	14.7	6.0	-	長石・石英・赤色粒子	にぶい橙	普通	口縁部外・内面横ナデ 体部外面へら削り 内面へらナデ 外・内面赤彩	覆土下層	90% PL62
97	土師器	坏	13.5	5.8	-	長石・石英・赤色粒子	橙	普通	口縁部外・内面横ナデ 体部外面へら削り 内面へら磨き	覆土下層	60% PL62
98	土師器	坏	13.8	(4.4)	-	長石・石英・赤色粒子	にぶい褐	普通	口縁部外・内面横ナデ 体部外面横位のへら削り 内面横位のへら磨き	覆土中	30%
99	土師器	甕	-	(5.9)	-	長石・石英	橙	普通	体部外面へら削り 内面へらナデ	覆土下層	5% 砥石転用
100	土師器	小形甕	[10.6]	(7.4)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい橙	普通	口縁部外・内面横ナデ 体部外面へら削り 内面へらナデ	覆土中層	10%

番号	器種	径	厚さ	孔径	重量	胎土	色調	特徴	出土位置	備考
DP101	土玉	1.6	1.2	0.4	(3.22)	長石・石英	橙	一部欠損 ナデ 一方向からの穿孔	覆土中	
DP102	土玉	1.9	1.9	0.5	7.33	長石・石英	橙	ナデ 一方向からの穿孔	覆土中	
DP103	土玉	22~24	2.2	0.5	9.64	長石・石英	にぶい黄褐	ナデ 一方向からの穿孔	覆土中層	
DP104	土玉	2.6	1.7	0.7	12.6	長石・石英	橙	ナデ 一方向からの穿孔 両端を平坦に成形	覆土中	
DP105	土玉	28~30	2.7	0.8	22.3	長石・石英	橙	ナデ 一方向からの穿孔 片端を平坦に成形	覆土中	
DP106	土玉	2.9	2.6	1.1	19.4	長石・石英	黒褐	ナデ 一方向からの穿孔	覆土中	
DP107	土玉	30~33	2.6	0.8	(24.8)	長石・石英	灰褐	一部欠損 ナデ 一方向からの穿孔	覆土中	
DP108	土玉	32~33	2.8	0.7	27.1	長石・石英	にぶい褐	ナデ 一方向からの穿孔 片端を平坦に成形	覆土中	
DP109	土玉	36~37	2.3	0.9	40.9	長石・石英	浅黄	ナデ 一方向からの穿孔	覆土下層	
DP110	紡錘車	3.9	2.1	0.8~1.2	37.6	長石・石英	橙	側面へら削り 一方向からの穿孔	覆土下層	PL92

第 73 号竪穴建物跡 (第 122・123 図)

位置 調査D区中央部の F 5g3 区, 標高 28 m ほどの台地平坦部に位置している。

重複関係 第 60・62 号竪穴建物, 第 453 号土坑に掘り込まれている。



第 122 图 第 73 号竖穴建物跡实测图



**規模と形状** 南北軸は6.98 mで、東西軸は6.50 mと推定できる。平面形は方形と推定でき、主軸方向はN-3°-Eである。壁は高さ13~27cmで、直立している。

**床** 平坦で、壁際を除いて踏み固められている。南壁西側を除き壁下には壁溝が巡っている。

**竈** 遺存状況が悪く、火床面と考えられる焼土の広がりや右袖部の残存状態から、北壁中央部に付設されていたと推定できる。火床部は床面とほぼ同じ高さを使用しており、火床面は火熱を受けて赤変硬化している。

**竈土層解説**

- 1 暗褐色 ローム粒子少量、焼土粒子微量
- 2 褐色 ロームブロック少量

**ピット** 5か所。P1~P4は深さ87~91cmで、規模と配置から支柱穴である。第1・2層は柱抜き取り後の堆積土、第3~5層は埋土である。P5は深さ78cmで、南壁際の中央部に位置していることから、出入口施設に伴うピットと考えられる。

**ピット土層解説 (各ピット共通)**

- 1 褐色 ロームブロック中量
- 2 暗褐色 ローム粒子中量
- 3 暗褐色 ロームブロック少量
- 4 明褐色 ロームブロック微量
- 5 明褐色 ローム粒子少量

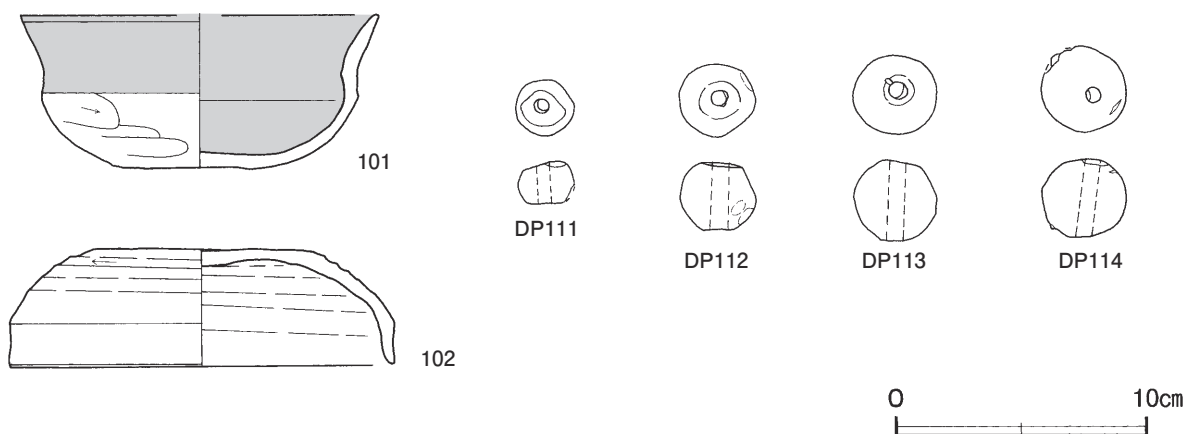
**覆土** 6層に分層できる。層厚が薄く、堆積の判断が難しいが、多くの層にロームブロックが含まれていることから、埋め戻されている。

**土層解説**

- 1 褐色 ロームブロック多量
- 2 褐色 ローム粒子少量
- 3 暗褐色 焼土粒子・炭化粒子少量
- 4 褐色 ロームブロック中量
- 5 暗褐色 ロームブロック少量
- 6 褐色 ローム粒子中量

**遺物出土状況** 土師器片98点(坏15, 甕類83), 須恵器片1点(坏蓋), 土製品5点(土玉4, 支脚1), 鉄滓2点が、北部の覆土中層から下層を中心に出土している。DP114は東部の床面から出土していることから、廃絶時に遺棄されたものとみられる。

**所見** 時期は、出土土器や重複関係から、6世紀前葉に比定できる。



第123図 第73号竪穴建物跡出土遺物実測図

第73号竪穴建物跡出土遺物観察表 (第123図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
101	土師器	坏	[14.0]	6.6	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	橙	普通	口縁部外面横ナデ 体部外面横位のヘラ削り 内面ヘラナデ	覆土中	30%
102	須恵器	坏蓋	15.1	4.8	-	長石・石英	灰	普通	天井部全体に回転ヘラ削り	覆土中	80% TK10 <sub>9</sub> PL62

番号	器種	径	厚さ	孔径	重量	胎土	色調	特徴	出土位置	備考
DP111	土玉	22～23	1.6	0.5	(8.38)	長石・石英	橙	一部欠損 ナデ 一方向からの穿孔 両端部を平坦に成形	覆土中	
DP112	土玉	29～30	2.7	0.7	22.2	長石・石英	明赤褐	ナデ 一方向からの穿孔 両端部を平坦に成形 指頭痕	覆土中	
DP113	土玉	32～33	3.2	0.7	33.2	長石・石英	橙	ナデ 一方向からの穿孔	覆土中	
DP114	土玉	3.4	3.1	0.6	(36.0)	長石・石英	橙	端部欠損 ナデ 一方向からの穿孔	床面	

### 第 77 号竪穴建物跡 (第 124・125 図)

**位置** 調査D区中央部のF 4g8区、標高28mほどの台地平坦部に位置している。

**重複関係** 第76・79・129・130号竪穴建物、第712号土坑に掘り込まれている。

**規模と形状** 重複が激しいため、北部及び南部の一部しか確認できなかった。長軸5.30m、短軸5.26mの方形で、主軸方向はN-16°-Wである。壁は高さ16cmで、ほぼ直立している。

**床** 平坦で、壁際を除いて踏み固められている。

**ピット** 3か所。P1～P3は深さ18～34cmで、配置から支柱穴である。

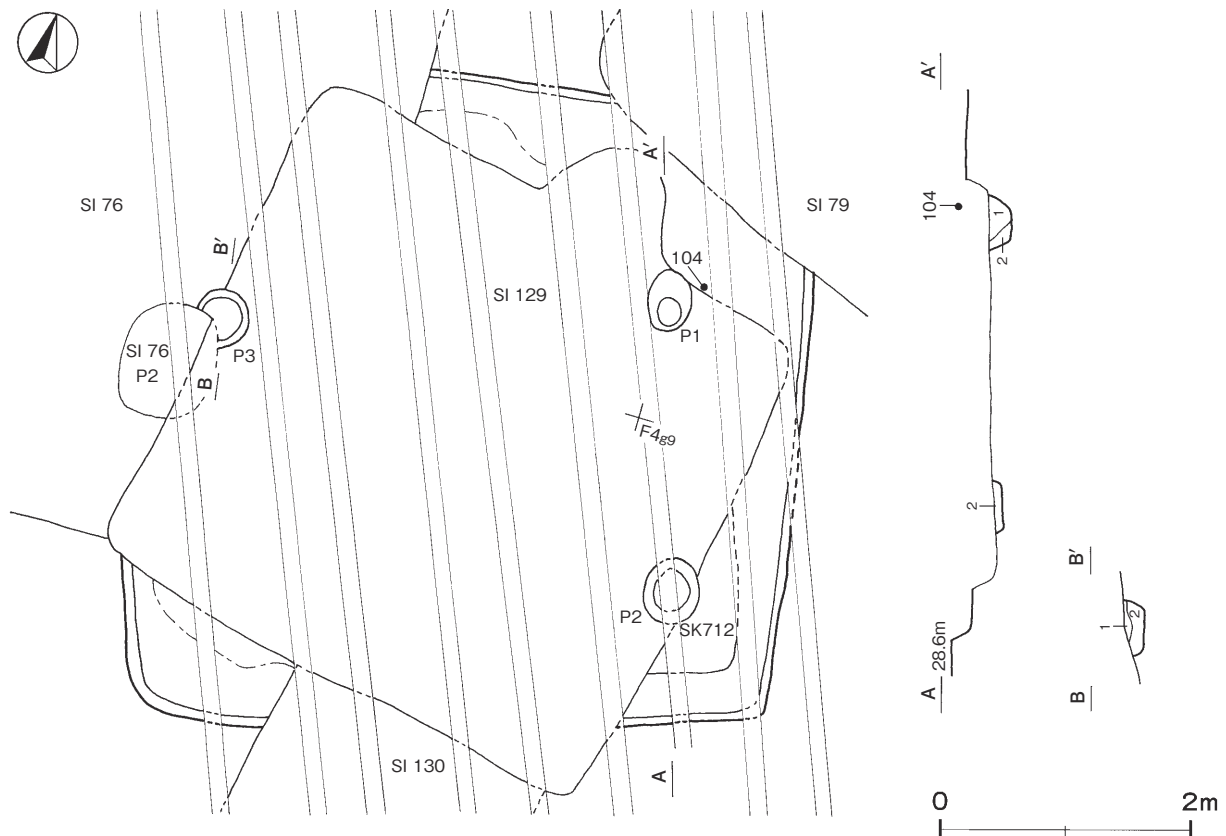
#### ピット土層解説 (各ピット共通)

1 黒褐色 ロームブロック中量

2 暗褐色 ロームブロック少量

**覆土** 重複のため、覆土は観察できなかった。

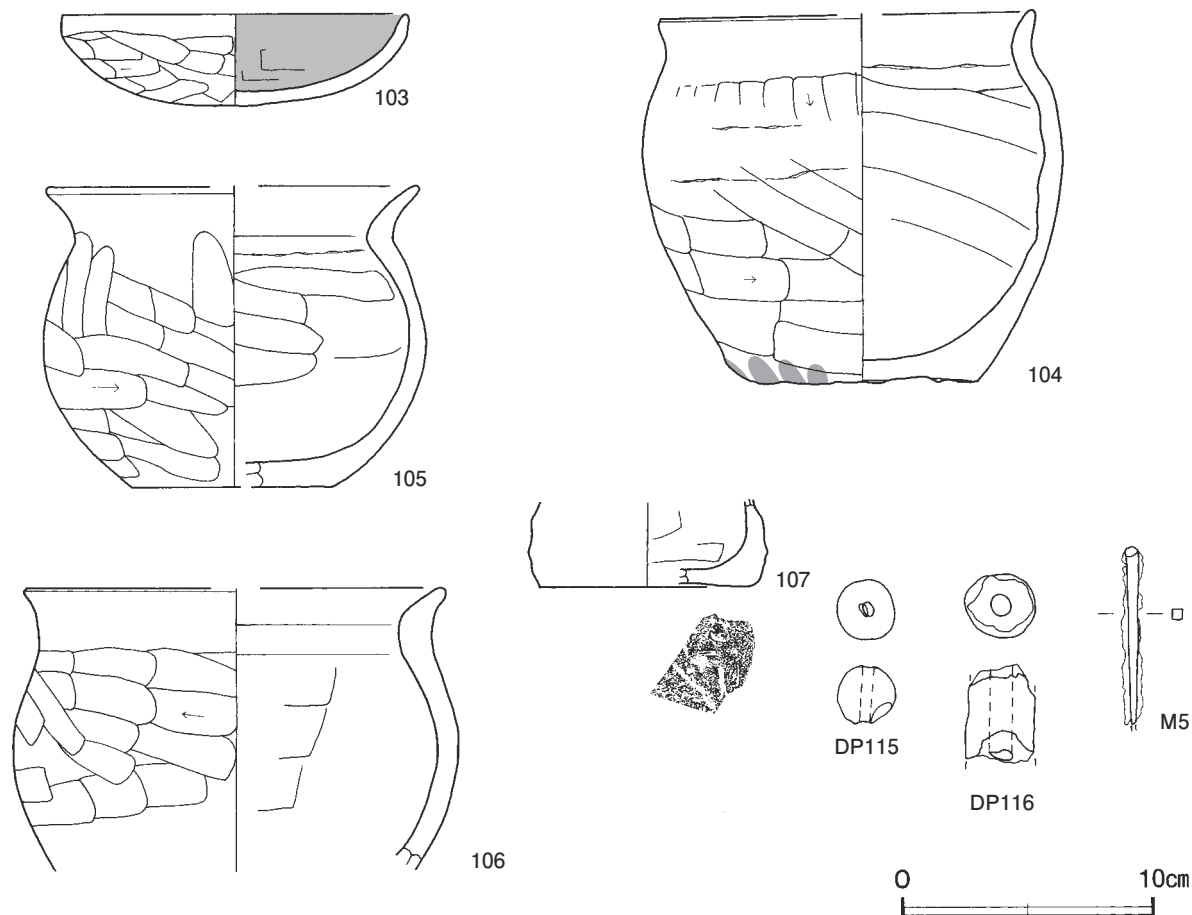
**遺物出土状況** 土師器片371点(坏類101, 甕類266, 小形甕3, 手捏土器1), 土製品4点(土玉1, 管状土錘2, 羽口1), 金属製品1点(釘), 鉄滓1点が、北部の覆土中層から下層を中心に出土している。104は東



第 124 図 第 77 号竪穴建物跡実測図

部の覆土下層から出土していることから、埋没する過程で投棄されたか流れ込んだものとみられる。

所見 時期は、出土土器や重複関係から、7世紀前葉に比定できる。



第 125 図 第 77 号竪穴建物跡出土遺物実測図

第 77 号竪穴建物跡出土遺物観察表 (第 125 図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
103	土師器	坏	13.6	3.6	-	長石・石英	にぶい橙	普通	体部外面へら削り 内面へらナデ	覆土中	95% PL63
104	土師器	小形甕	[14.7]	14.8	9.0	長石・石英	橙	普通	口縁部外・内面横ナデ 体部外面へら削り 内面へらナデ 輪積痕	覆土下層	50% 煤附着
105	土師器	小形甕	[14.6]	12.0	[8.0]	長石・石英・ 雲母・赤色粒子	にぶい黄橙	普通	口縁部外・内面横ナデ 体部外面へら削り 内面へらナデ 輪積痕	覆土中	40%
106	土師器	小形甕	[16.5]	(11.2)	-	長石・石英	にぶい黄橙	普通	口縁部外・内面横ナデ 体部外面へら削り 内面へらナデ	覆土中	20%
107	土師器	手捏土器	-	(3.4)	[8.6]	長石・雲母・ 赤色粒子	にぶい褐	普通	体部外・内面ナデ 底部木葉痕	覆土中	20%

番号	器種	径	厚さ	孔径	重量	胎土	色調	特徴	出土位置	備考
DP115	土玉	23~24	2.3	0.4~0.5	(12.6)	長石・石英	橙	一部欠損 ナデ 一方向からの穿孔	覆土中	

番号	器種	径	長さ	孔径	重量	胎土	色調	特徴	出土位置	備考
DP116	管状土錘	2.5	(3.9)	0.9	(24.6)	長石・石英	にぶい橙	欠損 ナデ 一方向からの穿孔	覆土中	

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
M5	釘	(7.1)	0.5	0.4	(6.27)	鉄	先端部欠損 断面方形	覆土中	

## 第 84 号竪穴建物跡 (第 126・127 図)

**位置** 調査D区中央部のF 5 b4 区, 標高 28 mほどの台地平坦部に位置している。

**重複関係** 第 85・97 号竪穴建物跡を掘り込み, 第 507 号土坑に掘り込まれている。

**規模と形状** 長軸 5.80 m, 短軸 5.45 m の方形で, 主軸方向は N - 29° - W である。壁は高さ 26 ~ 40cm で, 直立している。

**床** 平坦で, 中央部が踏み固められている。北東壁と北西壁の一部を除き, 壁下には壁溝が巡っている。

**竈** 北西壁中央部に付設されている。規模は焚口部から煙道部まで 141cm で, 燃焼部幅は 54cm である。袖部は, 床面から 8 cm 掘りくぼめた部分に第 15 層を埋土して, 粘土ブロックを主体とする第 11 ~ 14 層を積み上げて構築されている。火床部は床面を 7 cm ほど掘り込み, 第 15 ~ 17 層を埋土して構築されており, 火床面は火熱を受けて赤変硬化している。第 9・10 層は竈使用時の堆積土層である。煙道部は壁外に 37cm 掘り込まれ, 火床部から外傾している。第 2 層は天井部の崩落土層である。

### 竈土層解説

1 黒 褐 色	焼土粒子・炭化粒子・粘土粒子微量	10 赤 褐 色	焼土ブロック・粘土粒子中量, 炭化粒子微量
2 灰黄褐色	粘土粒子中量, 焼土ブロック・炭化粒子少量	11 赤 褐 色	焼土ブロック多量, 灰少量, 粘土ブロック微量
3 灰黄褐色	粘土ブロック多量, 焼土ブロック少量	12 灰 褐 色	粘土ブロック多量, 焼土粒子微量
4 黒 褐 色	炭化粒子少量, 焼土粒子・粘土粒子微量	13 暗 褐 色	粘土ブロック少量, ローム粒子・焼土粒子微量
5 黒 褐 色	ローム粒子微量	14 にぶい黄褐色	粘土ブロック少量, ロームブロック・焼土粒子微量
6 暗 褐 色	焼土粒子・粘土粒子微量	15 黒 褐 色	ロームブロック・焼土粒子・炭化粒子微量
7 暗 褐 色	粘土ブロック中量, 焼土粒子・炭化粒子微量	16 暗 褐 色	焼土ブロック微量
8 暗 褐 色	粘土粒子少量, ローム粒子微量	17 暗 褐 色	ロームブロック・炭化粒子微量
9 灰 白 色	灰多量, 焼土粒子少量		

**ピット** 5 か所。P 1 ~ P 4 は深さ 50 ~ 77cm で, 規模と配置から主柱穴である。第 1 ~ 3 層は柱抜き取り後の堆積土, 第 4・5 層は埋土である。P 5 は深さ 27cm で, 南東部の中央に位置していることから, 出入り口施設に伴うピットと考えられる。P 2・P 4 の底面から, 柱のあたりを確認した。

### ピット土層解説 (各ピット共通)

1 暗 褐 色	ロームブロック少量, 焼土粒子微量	4 にぶい黄褐色	ロームブロック中量
2 黒 褐 色	ローム粒子微量	5 褐 色	ローム粒子少量
3 黒 褐 色	ロームブロック・炭化粒子微量		

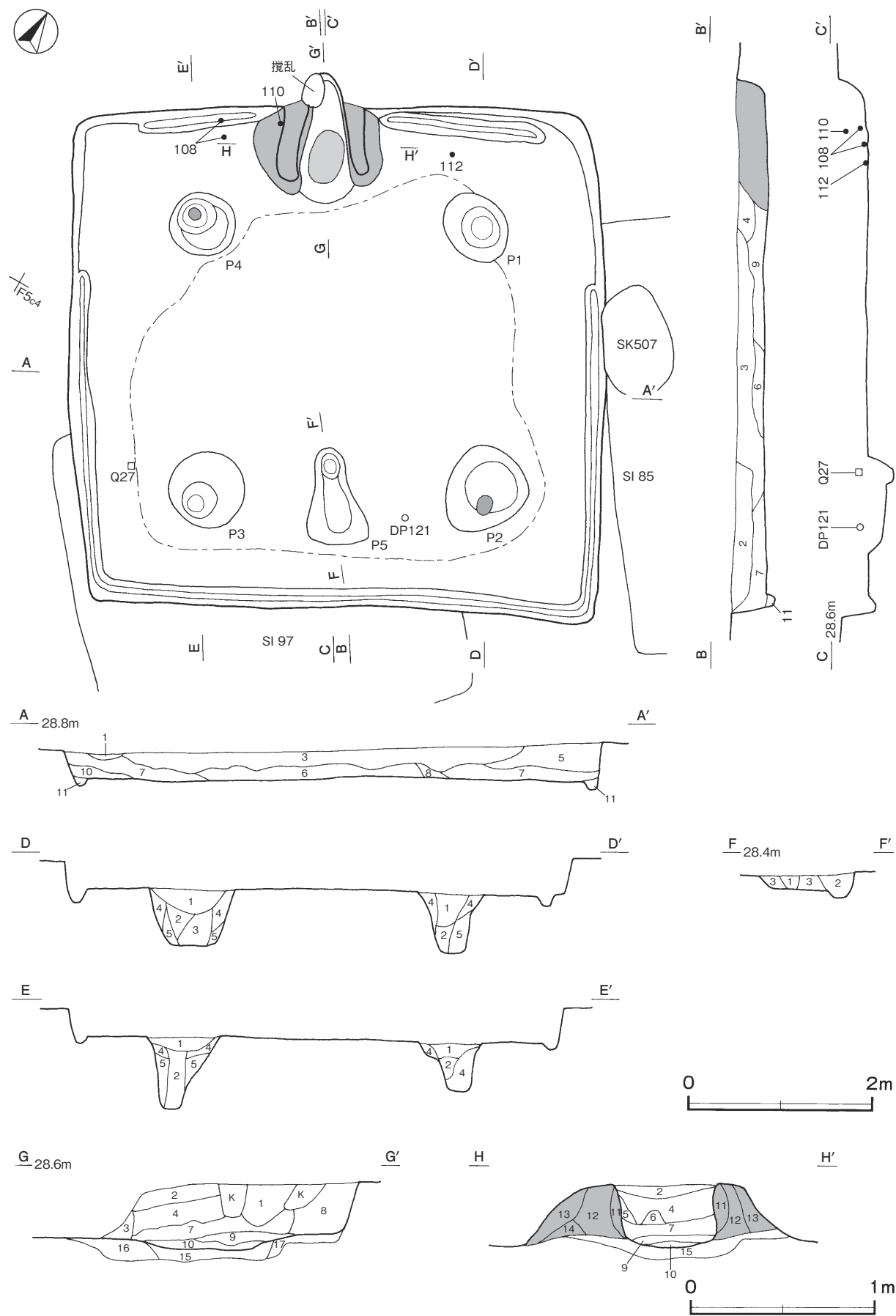
**覆土** 11 層に分層できる。多くの層にロームブロックが含まれ, 不規則な堆積状況を示していることから, 埋め戻されている。

### 土層解説

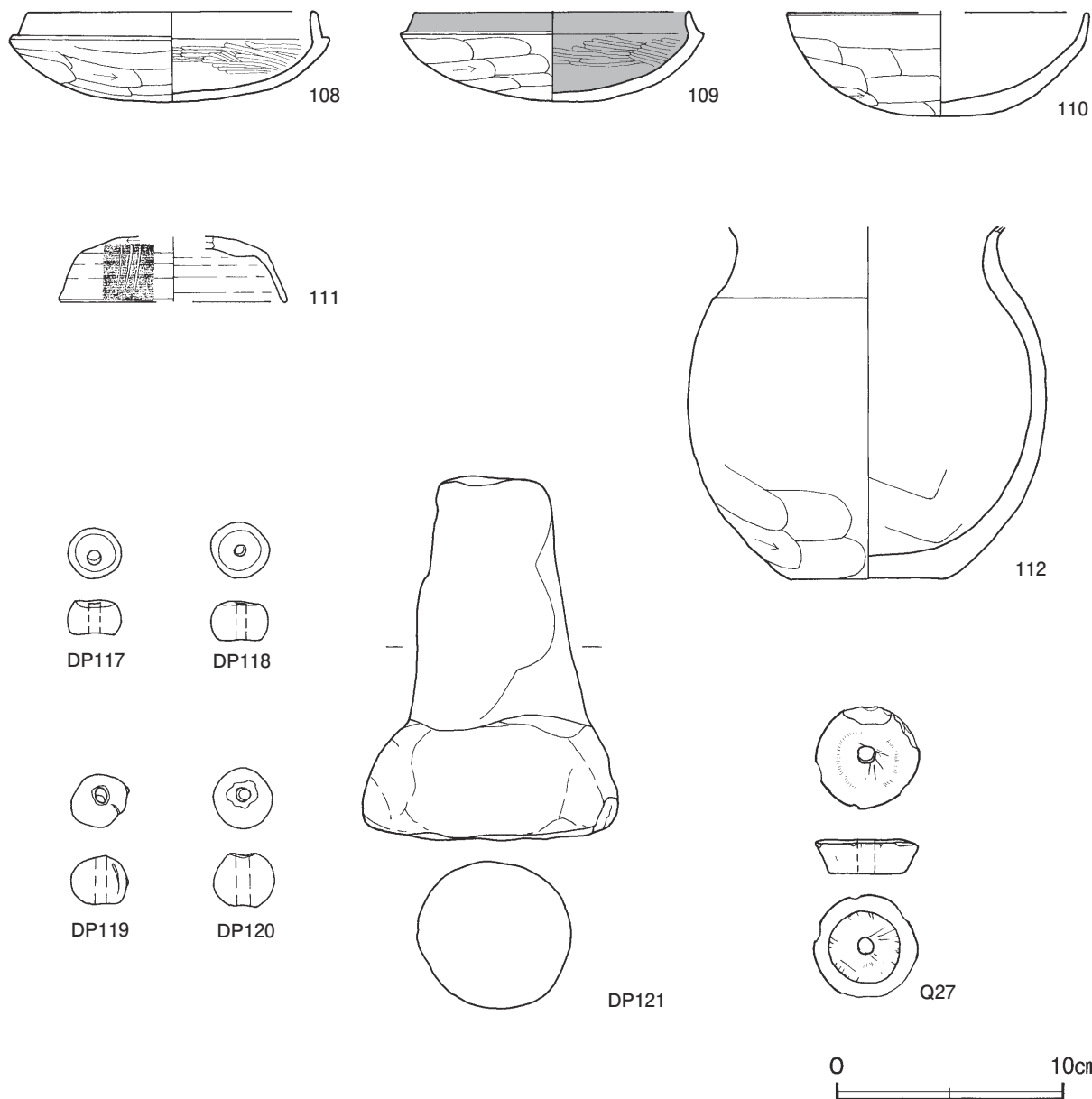
1 黒 褐 色	ロームブロック少量	7 暗 褐 色	ロームブロック中量, 焼土粒子微量
2 暗 褐 色	焼土ブロック・ローム粒子少量	8 にぶい黄褐色	ロームブロック少量, 焼土粒子微量
3 暗 褐 色	ロームブロック中量, 粘土粒子微量	9 極暗褐色	ロームブロック少量, 炭化粒子・粘土粒子微量
4 にぶい黄褐色	ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子微量	10 褐 色	ローム粒子微量
5 暗 褐 色	ロームブロック微量	11 暗 褐 色	ローム粒子微量
6 暗 褐 色	ロームブロック少量		

**遺物出土状況** 土師器片 346 点 (坏 52, 蓋 2, 甕類 284, 小形甕 1, 甑 7), 須恵器片 1 点 (坏蓋), 土製品 8 点 (土玉 7, 支脚 1), 石器 2 点 (砥石, 紡錘車) が, 北部の覆土中層から床面を中心に出土している。108・112 は床面からそれぞれ出土していることから, 廃絶時に遺棄されたものとみられる。DP121・Q 27 は覆土中層からそれぞれ出土していることから, 埋め戻しの過程で廃棄されたものとみられる。

**所見** 時期は, 出土土器や重複関係から, 7 世紀前葉に比定できる。



第 126 图 第 84 号竖穴建物跡实测图



第 127 図 第 84 号竪穴建物跡出土遺物実測図

第 84 号竪穴建物跡出土遺物観察表（第 127 図）

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
108	土師器	坏	12.5	4.0	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい橙	普通	口縁部外・内面横ナデ 体部外面ヘラ削り 内面ヘラ磨き	覆土下層 床面	100% PL63
109	土師器	坏	12.0	4.0	-	長石・石英	にぶい黄橙	普通	口縁部外・内面横ナデ 体部外面ヘラ削り 内面ヘラ磨き	覆土中	98% PL63
110	土師器	坏	[13.1]	4.6	-	石英・雲母	橙	普通	体部外面ヘラ削り 内面ヘラナデ	覆土上層	90%
111	須恵器	坏蓋	[9.9]	(2.9)	-	長石・石英・黒色粒子	灰	良好	天井部回転ヘラ削り 体部外面に刻書	覆土中	5% TK217
112	土師器	小形甕	-	(15.6)	7.0	長石・石英	橙	普通	口縁部外・内面横ナデ 体部外面ヘラ削り 内面ヘラナデ	床面	50% PL63

番号	器種	径	厚さ	孔径	重量	胎土	色調	特徴	出土位置	備考
DP117	土玉	22~23	1.5	0.5	7.54	長石・石英・雲母	橙	ナデ 一方向からの穿孔 両端を平坦に成形	覆土中	
DP118	土玉	25~26	1.8	0.5	11.9	長石・石英	橙	ナデ 一方向からの穿孔 両端を平坦に成形	覆土中	
DP119	土玉	23~25	2.2	0.5	11.5	長石・石英・雲母	灰黄褐	ナデ 一方向からの穿孔	覆土中	
DP120	土玉	2.7	2.4	0.6	14.2	長石・雲母	にぶい橙	ナデ 一方向からの穿孔 片端を平坦に成形	覆土中	

番号	器種	高さ	最小径	最大径	重量	胎土	色調	特徴	出土位置	備考
DP121	支脚	16.0	4.8	10.2	950	長石・雲母	にぶい橙	ナデ 被熱痕	覆土中層	PL93

番号	器種	径	厚さ	孔径	重量	材質	特徴	出土位置	備考
Q 27	紡錘車	4.5	1.5	0.8	(41.1)	安山岩	端部欠損 全面研磨 一方向からの穿孔	覆土中層	PL96

### 第 85 号竪穴建物跡 (第 128・129 図)

**位置** 調査D区中央部の F 5 b6 区, 標高 28 m ほどの台地平坦部に位置している。

**重複関係** 第 84・88 号竪穴建物, 第 480～484・505～507・513 号土坑に掘り込まれている。

**規模と形状** 長軸 4.73 m, 短軸 4.57 m の方形で, 主軸方向は N - 36° - W である。壁は高さ 10～18cm で, ほぼ直立している。

**床** 平坦で, 中央部が踏み固められている。壁下には壁溝が巡っている。

**竈** 北西壁中央部に付設されている。規模は焚口部から煙道部まで 115cm で, 燃焼部幅は 40cm である。袖部は床面と同じ高さの地山の上に, 粘土ブロックを主体とする第 10～12 層を積み上げて構築されている。火床部は床面を 13cm ほど掘り込み, ロームブロックを含む第 13～15 層を埋土して構築されており, 火床面は火熱を受けて赤変硬化している。支脚 (DP124) が火床面から正位で出土していることから, 廃絶時に遺棄されたものとみられる。煙道部は壁外に 15cm 掘り込まれ, 火床部から外傾している。第 4・5 層は天井部の崩落土層である。

#### 竈土層解説

- |        |                      |           |                     |
|--------|----------------------|-----------|---------------------|
| 1 暗褐色  | ローム粒子・炭化粒子少量, 焼土粒子微量 | 9 暗褐色     | 炭化粒子中量, 焼土粒子・粘土粒子少量 |
| 2 暗褐色  | 焼土ブロック中量, 炭化粒子少量     | 10 灰黄褐色   | 粘土ブロック多量, ロームブロック少量 |
| 3 暗褐色  | 粘土粒子少量, ローム粒子・焼土粒子微量 | 11 灰黄褐色   | 粘土ブロック中量, 焼土ブロック少量  |
| 4 灰黄褐色 | 粘土粒子中量, 焼土粒子少量       | 12 暗褐色    | 焼土ブロック少量, 粘土ブロック微量  |
| 5 灰黄褐色 | 粘土粒子中量, 焼土粒子微量       | 13 にぶい黄褐色 | ロームブロック少量, 炭化粒子微量   |
| 6 暗褐色  | ローム粒子少量, 粘土粒子微量      | 14 赤褐色    | 焼土ブロック多量, ロームブロック少量 |
| 7 暗褐色  | 炭化粒子・粘土粒子少量, ローム粒子微量 | 15 暗褐色    | ロームブロック・焼土粒子微量      |
| 8 暗褐色  | 焼土粒子少量, 炭化粒子・粘土粒子微量  |           |                     |

**ピット** 5 か所。P 1～P 4 は深さ 33～50cm で, 規模と配置から主柱穴である。第 1～4 層は柱抜き取り後の堆積土, 第 5・6 層は埋土である。P 1～P 4 の底面には, 柱のあたりと考えられる円形の硬化範囲が認められた。P 5 は深さ 24cm で, 南東壁際の中央部に位置していることから, 出入り口施設に伴うピットと考えられる。

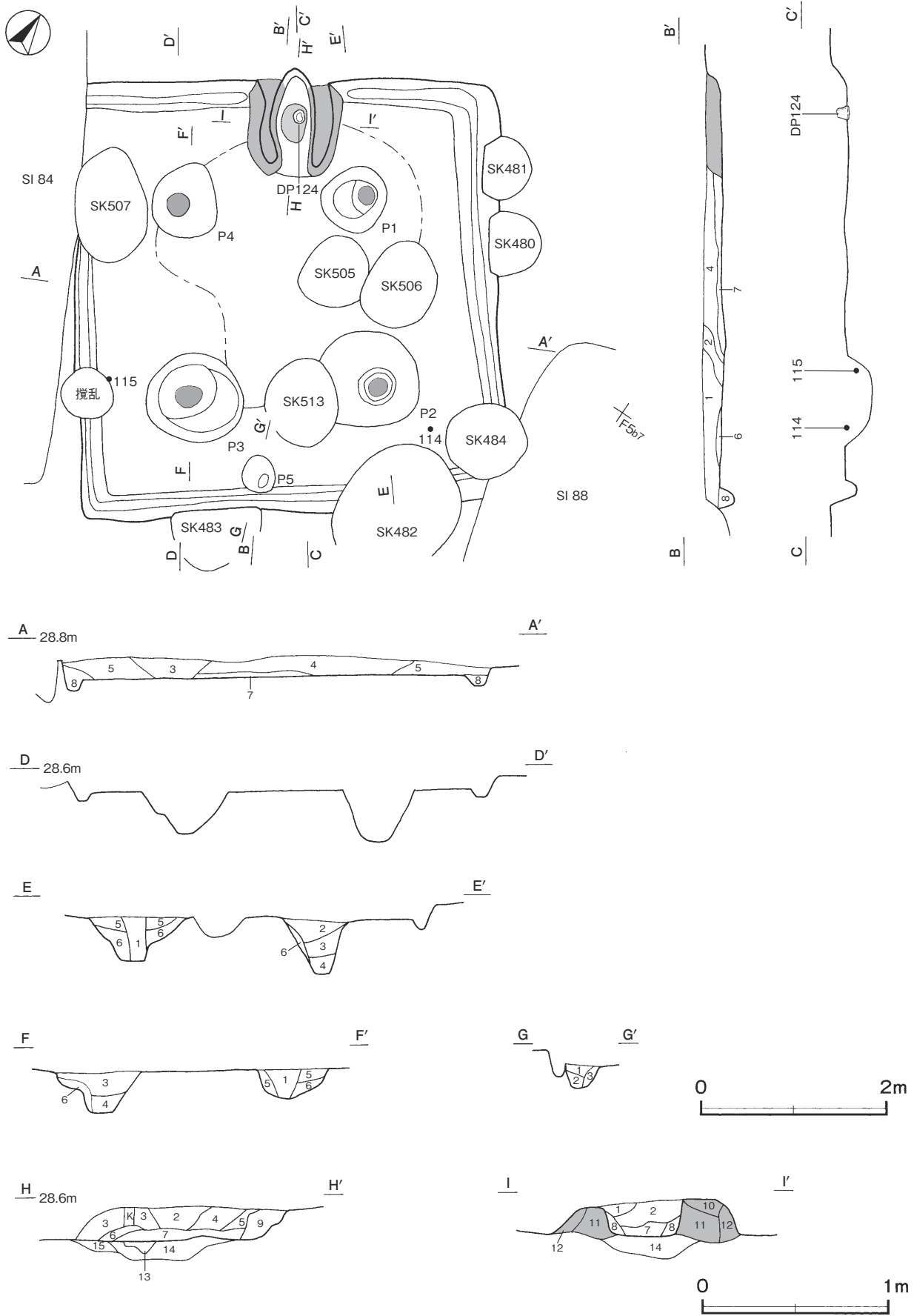
#### ピット土層解説 (各ピット共通)

- |          |                |       |                   |
|----------|----------------|-------|-------------------|
| 1 にぶい黄褐色 | ロームブロック中量      | 4 褐色  | ロームブロック中量         |
| 2 暗褐色    | ローム粒子・炭化粒子微量   | 5 暗褐色 | ロームブロック中量, 焼土粒子微量 |
| 3 暗褐色    | ロームブロック・焼土粒子少量 | 6 黒褐色 | ローム粒子微量           |

**覆土** 8 層に分層できる。多くの層にロームブロックが含まれ, 不規則な堆積状況を示していることから, 埋め戻されている。

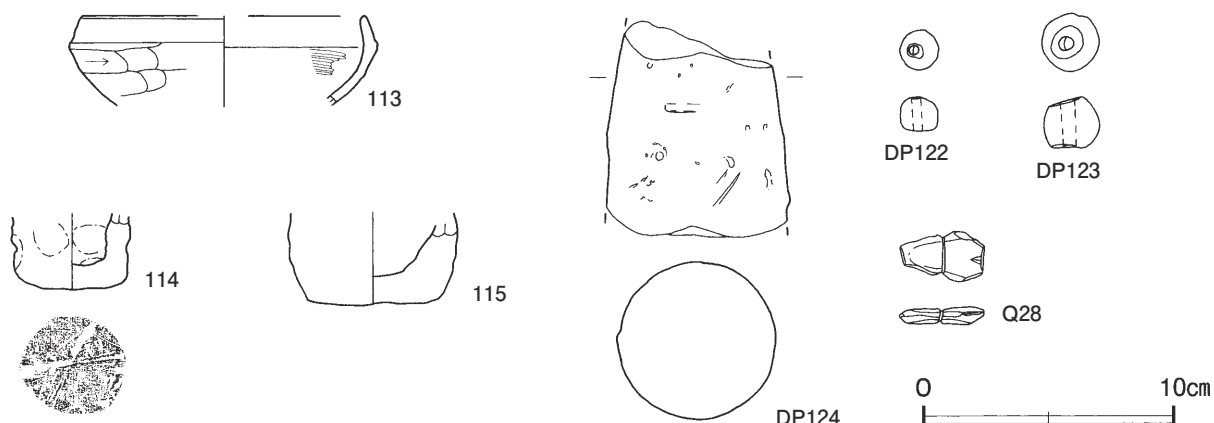
#### 土層解説

- |       |                   |          |                   |
|-------|-------------------|----------|-------------------|
| 1 黒褐色 | 焼土ブロック・ローム粒子微量    | 5 暗褐色    | ローム粒子微量           |
| 2 暗褐色 | ロームブロック微量         | 6 にぶい黄褐色 | ロームブロック微量         |
| 3 暗褐色 | ローム粒子少量           | 7 暗褐色    | ロームブロック中量, 焼土粒子微量 |
| 4 暗褐色 | ロームブロック少量, 焼土粒子微量 | 8 暗褐色    | ローム粒子・炭化粒子微量      |



第 128 图 第 85 号竖穴建物跡实测图





第 129 図 第 85 号竪穴建物跡出土遺物実測図

**遺物出土状況** 土師器片 147 点（坏類 60, 甕類 84, 手捏土器 3）, 土製品 3 点（土玉 2, 支脚 1）, 石器 1 点（石錘<sub>ツ</sub>）が, 南部の覆土下層から床面を中心に出土している。114・115 はともに破片で, 床面から出土していることから, 廃絶時に投棄されたものとみられる。

**所見** 時期は, 出土土器や重複関係から, 6 世紀後葉に比定できる。

第 85 号竪穴建物跡出土遺物観察表（第 129 図）

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
113	土師器	坏	[11.2]	(3.6)	-	長石・石英・雲母	にぶい赤褐色	普通	口縁部外・内面横ナデ 内面へら磨き	覆土中	10%
114	土師器	手捏土器	-	(3.0)	4.2	長石・石英	にぶい橙	普通	指頭痕 底面に刻書	床面	60% PL63
115	土師器	手捏土器	-	(3.7)	5.3	長石・石英	橙	普通	内面ナデ	床面	20%

番号	器種	径	厚さ	孔径	重量	胎土	色調	特徴	出土位置	備考
DP122	土玉	1.5	1.3	0.35	3.61	長石・石英	にぶい赤褐色	ナデ 一方向からの穿孔	覆土中	
DP123	土玉	2.3	2.0	0.5~0.6	11.1	長石・石英	にぶい黄褐色	ナデ 一方向からの穿孔 両端部を平坦に成形	覆土中	

番号	器種	高さ	最小径	最大径	重量	胎土	色調	特徴	出土位置	備考
DP124	支脚	(8.6)	(6.2)	7.2	(278)	長石・石英	橙	摩滅により調整痕不明 被熱痕	竈火床面	

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
Q 28	石錘 <sub>ツ</sub>	2.0	3.4	0.7	6.54	滑石	両面平滑 中央部に縛痕	覆土中	PL94

第 90 号竪穴建物跡（第 130 ~ 132 図）

**位置** 調査 D 区中央部の F 5 d5 区, 標高 28 m ほどの台地平坦部に位置している。

**重複関係** 第 502・510・512・530・555・578・595・600 ~ 604・631・632・635・636・646・647 号土坑に掘り込まれている。

**規模と形状** 長軸 8.20 m, 短軸 8.10 m の方形で, 主軸方向は N - 40° - W である。壁は高さ 22 ~ 46cm で, 直立している。

**床** 平坦で, 中央部が踏み固められている。壁下には壁溝が巡っている。中央部で不定形の粘土塊を確認した。

粘土塊土層解説（各粘土塊共通）

- 1 にぶい黄褐色 粘土ブロック中量, ローム粒子少量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量

**竈** 北西壁中央部に付設されている。規模は焚口部から煙道部まで174cmで、燃焼部幅は50cmである。袖部は、床面から7～16cm掘りくぼめた部分に第16層を埋土して、粘土粒子を主体とする第12～15層を積み上げて構築されている。火床部は床面を10cmほど掘り込み、ロームブロックを含む第17・18層を埋土して構築されており、火床面は火熱を受けて赤変硬化している。煙道部は壁外に65cm掘り込まれ、火床部から外傾している。第4層は天井部の崩落土層である。

**竈土層解説**

- |          |                        |          |                        |
|----------|------------------------|----------|------------------------|
| 1 暗 褐 色  | ローム粒子少量, 焼土粒子・粘土粒子微量   | 10 灰黄褐色  | 粘土粒子多量, 炭化粒子微量         |
| 2 灰黄褐色   | 粘土粒子中量, 焼土粒子微量         | 11 暗 褐 色 | ローム粒子少量                |
| 3 暗 褐 色  | 炭化粒子・粘土粒子少量, ローム粒子微量   | 12 褐 灰 色 | 粘土粒子多量, 焼土粒子少量         |
| 4 暗 褐 色  | 焼土粒子・炭化粒子・粘土粒子微量       | 13 褐 灰 色 | 粘土粒子多量                 |
| 5 暗 褐 色  | 粘土粒子少量, ローム粒子・焼土粒子微量   | 14 褐 灰 色 | 粘土粒子多量, 焼土ブロック微量       |
| 6 にぶい黄褐色 | 焼土ブロック・粘土粒子中量, ローム粒子少量 | 15 褐 灰 色 | 粘土粒子多量, ロームブロック・焼土粒子微量 |
| 7 黒 褐 色  | ロームブロック・焼土粒子微量         | 16 灰 褐 色 | 粘土粒子少量, ロームブロック・炭化物微量  |
| 8 黒 褐 色  | 焼土ブロック・炭化粒子少量, 粘土粒子微量  | 17 暗赤褐色  | ロームブロック・焼土ブロック中量       |
| 9 にぶい黄褐色 | 粘土粒子中量, 炭化粒子少量         | 18 褐 色   | ロームブロック多量              |

**ピット** 21か所。P1～P4は深さ81～95cmで、規模と配置から主柱穴である。第1～3層は柱抜き取り後の堆積土、第4・5層は埋土である。P5は深さ10cmで、南東壁際の中央部に位置していることから、出入り口施設に伴うピットと考えられる。P6は深さ26cmで、配置から補助柱穴と考えられる。P7～P21は深さ27～98cmで、配置から壁柱穴である。P1～P4の底面から、柱のあたりを確認した。

**ピット土層解説 (各ピット共通)**

- |          |                |          |           |
|----------|----------------|----------|-----------|
| 1 暗 褐 色  | ロームブロック・焼土粒子微量 | 4 黒 褐 色  | ロームブロック少量 |
| 2 にぶい黄褐色 | ロームブロック多量      | 5 にぶい黄褐色 | ロームブロック中量 |
| 3 褐 色    | ロームブロック中量      |          |           |

**貯蔵穴** 南東部中央に位置している。長径110cm, 短径87cmの楕円形で、深さは26cmである。底面は皿状で、壁は外傾している。

**貯蔵穴土層解説**

- |         |                      |          |                     |
|---------|----------------------|----------|---------------------|
| 1 黒 褐 色 | ローム粒子少量, 焼土粒子・炭化粒子微量 | 3 にぶい黄褐色 | ロームブロック中量, 焼土ブロック微量 |
| 2 暗 褐 色 | ロームブロック少量            |          |                     |

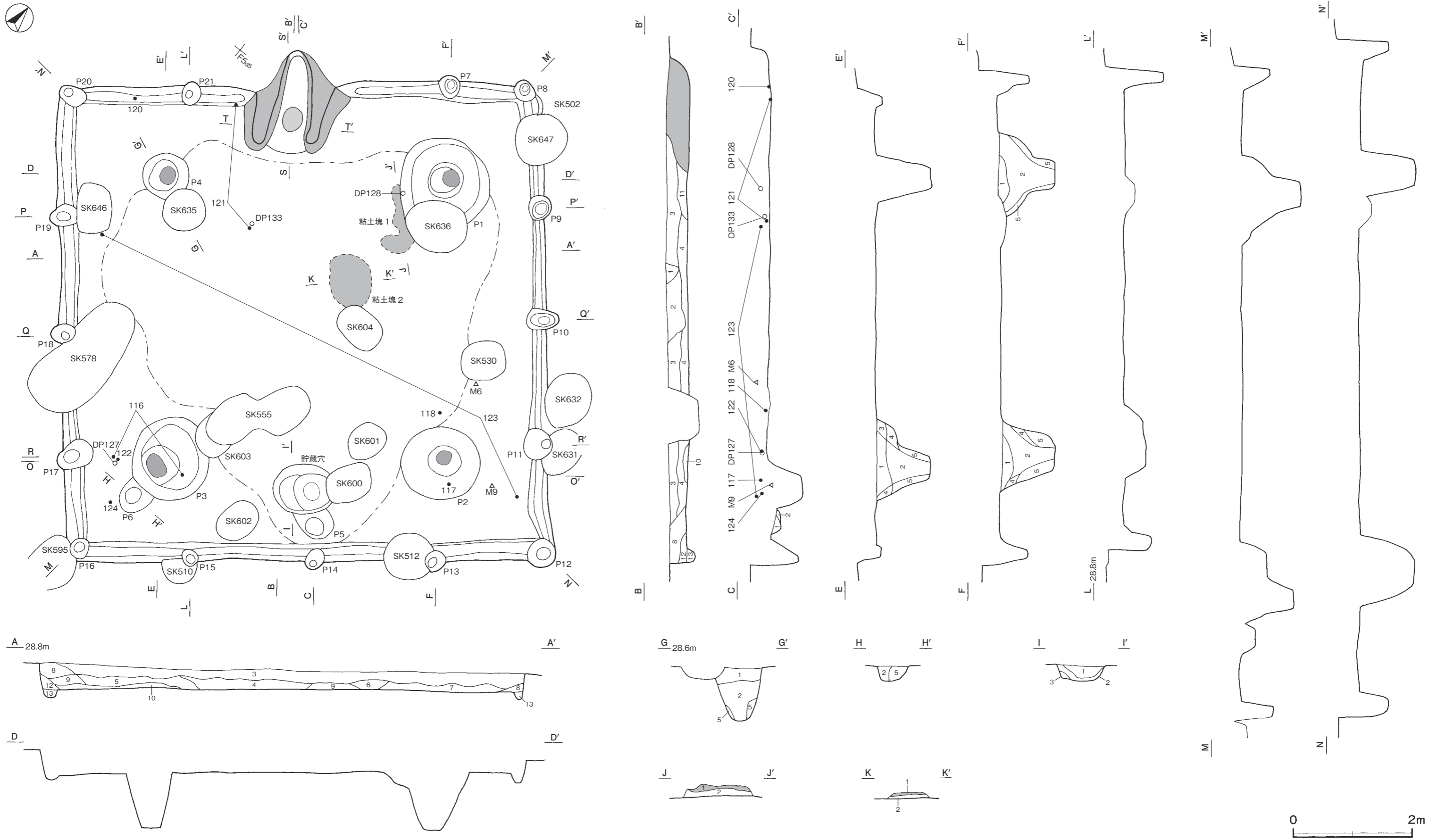
**覆土** 13層に分層できる。多くの層にロームブロックが含まれていることから、埋め戻されている。

**土層解説**

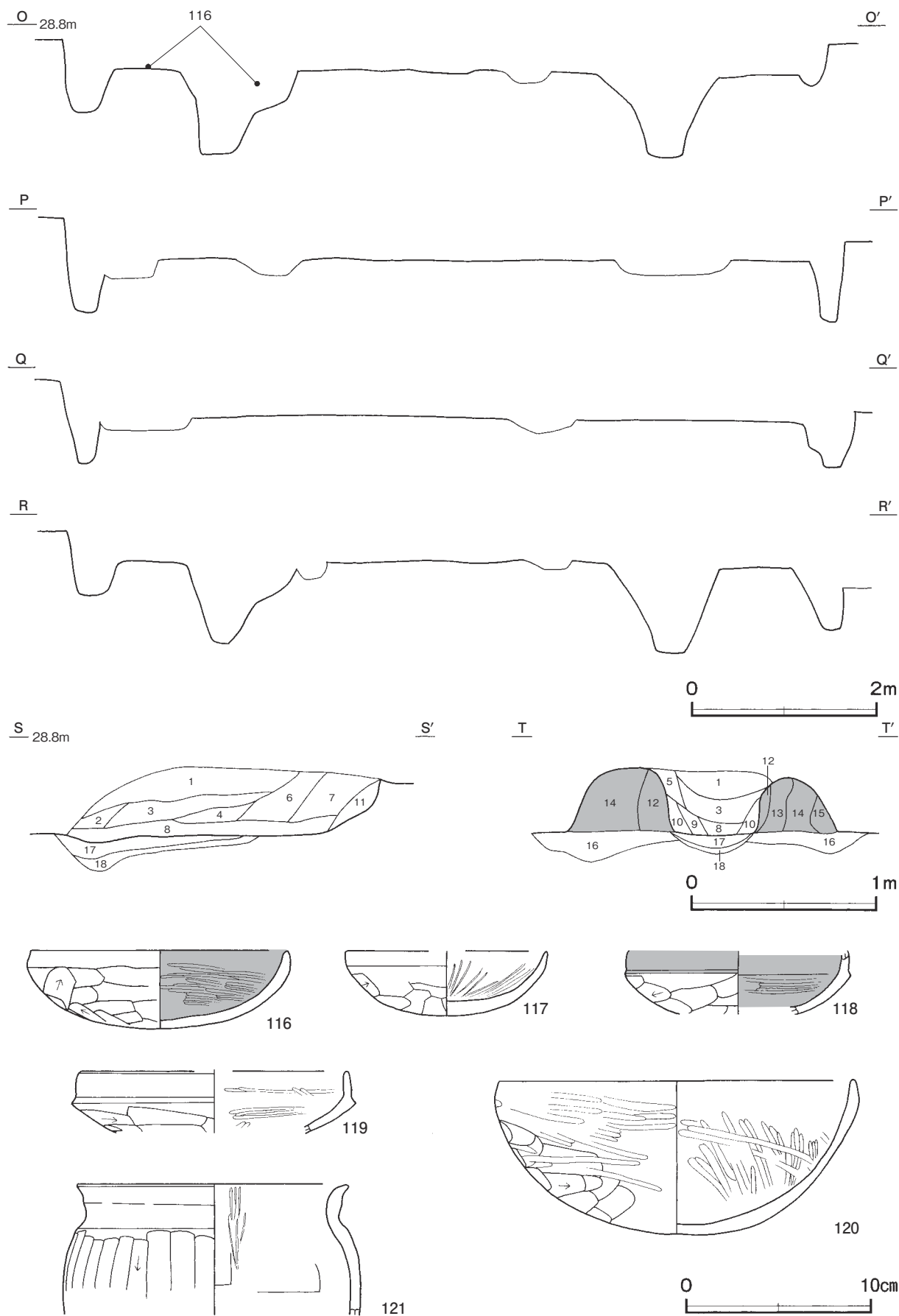
- |         |                        |           |                     |
|---------|------------------------|-----------|---------------------|
| 1 灰黄褐色  | 粘土粒子中量, 焼土ブロック少量       | 8 黒 褐 色   | ローム粒子・炭化粒子微量        |
| 2 暗 褐 色 | ロームブロック中量              | 9 暗 褐 色   | ロームブロック微量           |
| 3 暗 褐 色 | ロームブロック少量, 焼土ブロック微量    | 10 にぶい黄褐色 | ロームブロック中量, 焼土粒子少量   |
| 4 暗 褐 色 | 焼土粒子少量, ロームブロック・粘土粒子微量 | 11 暗 褐 色  | 粘土粒子少量, 焼土粒子・炭化粒子微量 |
| 5 暗 褐 色 | ローム粒子中量                | 12 暗 褐 色  | ロームブロック少量           |
| 6 暗 褐 色 | ローム粒子少量                | 13 暗 褐 色  | ローム粒子微量             |
| 7 黒 褐 色 | ロームブロック・焼土ブロック少量       |           |                     |

**遺物出土状況** 土師器片3,086点(坏類731, 椀62, 鉢9, 甕類2,280, 甑2, ミニチュア土器1, 手捏土器1), 土製品33点(土玉29, 管状土錘1, 羽口3), 石器1点(砥石), 石製品2点(有孔円板, 剣形品), 金属製品4点(鎌2, 釘1, 責金具1), 自然遺物2点(ヤマトシジミ), 鉄滓9点のほか、縄文土器片2点(深鉢)が、全域の覆土中層から床面にかけて出土している。出土した土器の大半は小破片で、埋め戻す際に混入したものと考えられる。120は壁溝の覆土上層, 116はP3の覆土上層と床面, M9は床面からそれぞれ出土していることから、廃絶時に遺棄されたものとみられる。117・122・DP127はいずれも南部の覆土下層から出土していることから、埋め戻しの過程で投棄されたものとみられる。

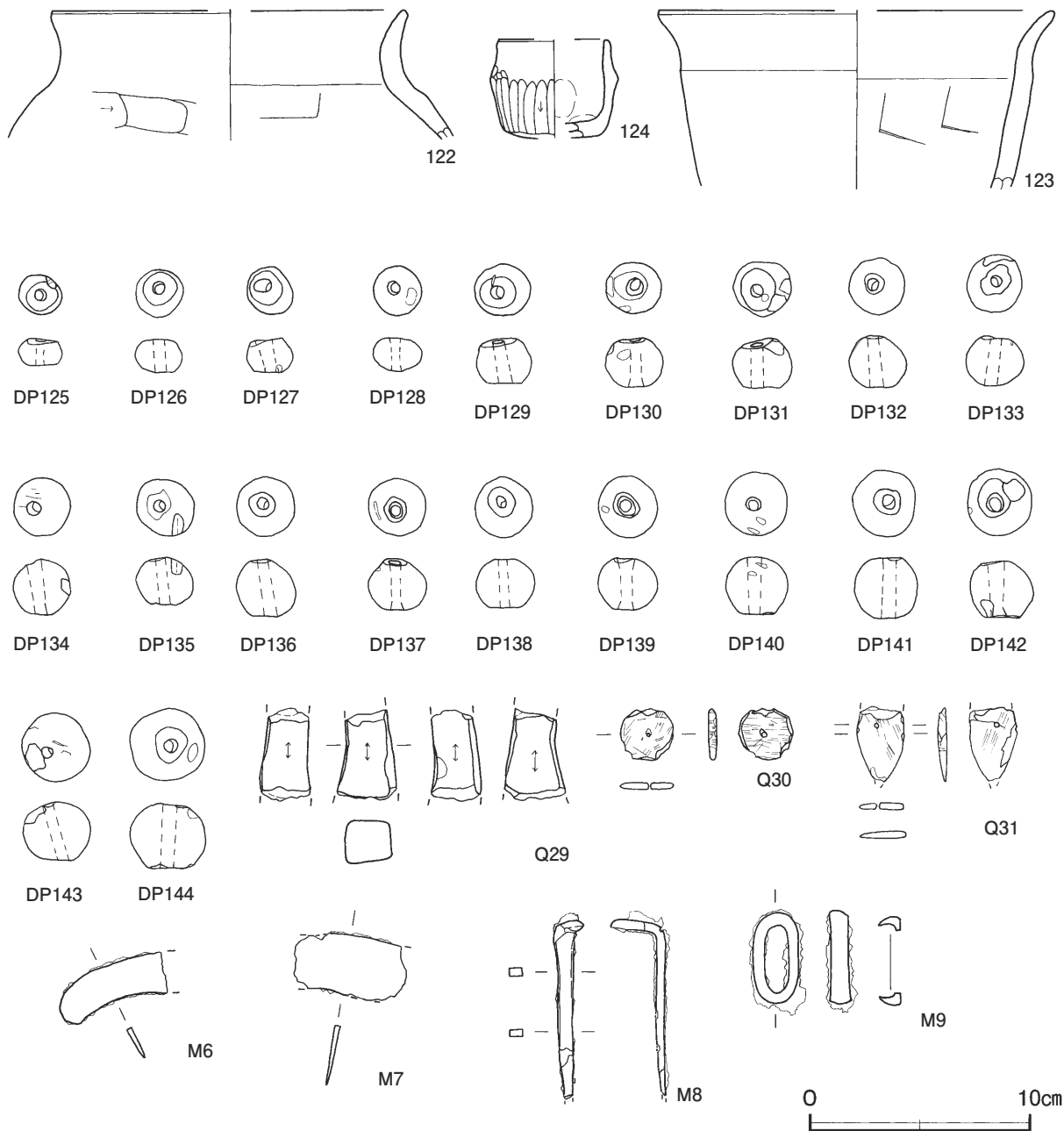
**所見** 時期は、出土土器や重複関係から、6世紀後葉に比定できる。当該期に比定できる他の竪穴建物跡より規模が大きく、均等に配置された壁柱穴をもつことなどから、集落の中心的役割を担った建物であると考えられる。



第130图 第90号竖穴建物跡实测图



第 131 図 第 90 号竖穴建物跡・出土遺物実測図



第 132 図 第 90 号竪穴建物跡出土遺物実測図

第 90 号竪穴建物跡出土遺物観察表 (第 131・132 図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
116	土師器	坏	13.8	4.2	-	長石・石英	にぶい黄橙	普通	体部外面ヘラ削り 内面横位のヘラ磨き	P3 覆土上層 ~床面	70%
117	土師器	坏	[10.8]	3.5	-	長石・石英・赤色粒子	明赤褐	普通	体部外面ヘラ削り 内面放射状のヘラ磨き	覆土下層	60%
118	土師器	坏	-	(3.4)	-	長石・石英	橙	普通	口縁部外・内面横ナデ 体部外面ヘラ削り 内面横位のヘラ磨き	覆土下層	20%
119	土師器	坏	[14.4]	(3.3)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい橙	普通	口縁部外・内面横ナデ 体部外面ヘラ削り 内面ヘラ磨き	覆土中	20%
120	土師器	椀	19.1	8.3	-	長石・石英・雲母	にぶい橙	普通	体部外面ヘラ削り後ヘラ磨き 内面ヘラ磨き	壁溝覆土上層	95% PL63
121	土師器	甕	14.6	(7.1)	-	長石・石英・赤色粒子	橙	普通	口縁部外面横ナデ 体部外面縦位のヘラ削り 内面ヘラナデ	覆土下層 床面	20%
122	土師器	甕	[16.0]	(5.8)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい橙	普通	口縁部外・内面横ナデ 体部外面ヘラ削り 内面ヘラナデ	覆土下層	5%
123	土師器	甕	[17.8]	(8.0)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい橙	普通	口縁部外・内面横ナデ 体部外面摩滅 内面ヘラナデ	覆土中層	5%
124	土師器	ミニチュア土器	[4.9]	(4.5)	[4.4]	長石・石英	橙	普通	体部外面ヘラ削り後ヘラ磨き 指頭痕	覆土中層	30%

番号	器種	径	厚さ	孔径	重量	胎土	色調	特徴	出土位置	備考
DP125	土玉	1.9	2.3	0.5	4.92	長石・石英	明赤褐	ナデ 一方向からの穿孔 両端部を平坦に成形	覆土中	PL85
DP126	土玉	2.1	1.5	0.5~0.6	(6.01)	長石・石英	橙	端部欠損 ナデ 一方向からの穿孔 片端部を平坦に成形	覆土中	PL85
DP127	土玉	2.1~2.2	1.6	0.7~0.8	7.24	長石・石英	にぶい褐	ナデ 一方向からの穿孔 両端部を平坦に成形	覆土下層	PL85
DP128	土玉	2.2	1.5	0.5	7.55	長石・石英	橙	ナデ 一方向からの穿孔	覆土下層	PL85
DP129	土玉	2.3~2.5	2.1	0.6~0.7	12.4	長石・石英	にぶい橙	ナデ 一方向からの穿孔 両端部を平坦に成形 擦痕有	覆土中	PL85
DP130	土玉	2.4~2.6	2.2	0.7	12.3	長石・石英	橙	ナデ 一方向からの穿孔 両端部を平坦に成形	覆土中	PL85
DP131	土玉	2.4~2.7	2.3	0.6	14.6	長石・石英・雲母	橙	ナデ 一方向からの穿孔 両端部を平坦に成形	覆土中	PL85
DP132	土玉	2.5~2.6	2.3	0.5~0.6	14.5	長石・石英	にぶい橙	ナデ 一方向からの穿孔 片端部を平坦に成形	覆土中	PL85
DP133	土玉	2.5~2.7	2.7	0.5~0.6	15.3	長石・石英	にぶい橙	ナデ 一方向からの穿孔 片端部を平坦に成形	覆土下層	PL85
DP134	土玉	2.6~2.7	2.6	0.6	(15.9)	長石・石英	にぶい橙	ナデ 一方向からの穿孔 一部欠損	覆土中	PL85
DP135	土玉	2.6	2.2	0.5	15.9	長石・石英	橙	ナデ 一方向からの穿孔 両端部を平坦に成形	覆土中	PL85
DP136	土玉	2.6~2.7	2.6	0.5~0.6	19.0	長石・石英	にぶい橙	ナデ 一方向からの穿孔 両端部を平坦に成形	覆土中	PL85
DP137	土玉	2.6~2.7	2.3	0.6	14.3	長石・石英	橙	ナデ 一方向からの穿孔 片端部を平坦に成形	覆土中	PL85
DP138	土玉	2.7	2.2	0.4	16.3	長石・石英	赤褐	ナデ 一方向からの穿孔 両端部を平坦に成形	覆土中	PL85
DP139	土玉	2.7~2.8	2.3	0.8	15.4	長石・石英	橙	ナデ 一方向からの穿孔 片端部を平坦に成形	覆土中	PL85
DP140	土玉	2.8~2.9	2.6	0.5~0.7	18.6	長石・石英	にぶい橙	ナデ 一方向からの穿孔	覆土中	PL85
DP141	土玉	2.9~3.0	2.7	0.6	24.6	長石・石英	黒	ナデ 一方向からの穿孔	覆土中	PL85
DP142	土玉	2.9~3.0	2.6	0.7~0.8	22.4	長石・石英	橙	ナデ 一方向からの穿孔 両端部を平坦に成形	覆土中	PL85
DP143	土玉	3.0~3.2	2.6	0.5	(25.3)	長石・石英	橙	ナデ 一方向からの穿孔 片端部を平坦に成形 擦痕有 一部欠損	覆土中	PL85
DP144	土玉	3.3~3.4	3.0	0.6	31.7	長石・石英・赤色粒子	橙	ナデ 一方向からの穿孔 両端部を平坦に成形	覆土中	PL85

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
Q 29	砥石	(4.2)	2.7	2.0	(31.6)	凝灰岩	欠損 砥面4面	覆土中	PL95

番号	器種	長さ	幅	厚さ	孔径	重量	材質	特徴	出土位置	備考
Q 30	有孔円板	2.3	2.4	0.3	0.2	(3.23)	滑石	一部欠損 全面研磨調整 孔1か所	覆土中	PL97
Q 31	剣形品	(3.4)	2.2	0.3	0.2	(3.75)	滑石	一部欠損 全面研磨調整 一方向からの穿孔	覆土中	PL97

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
M 6	鎌	(4.8)	1.9	0.2	(9.02)	鉄	茎部欠損 断面三角形	覆土中層	M 7 と同一
M 7	鎌	(5.2)	2.7	0.2	(17.5)	鉄	切先部・茎部欠損 断面三角形	覆土中	M 6 と同一
M 8	釘	(8.1)	1.4	0.4	(13.3)	鉄	先端部欠損 断面長方形	覆土中	
M 9	貴金具	4.1	2.0	0.5	9.02	鉄	楕円状	床面	

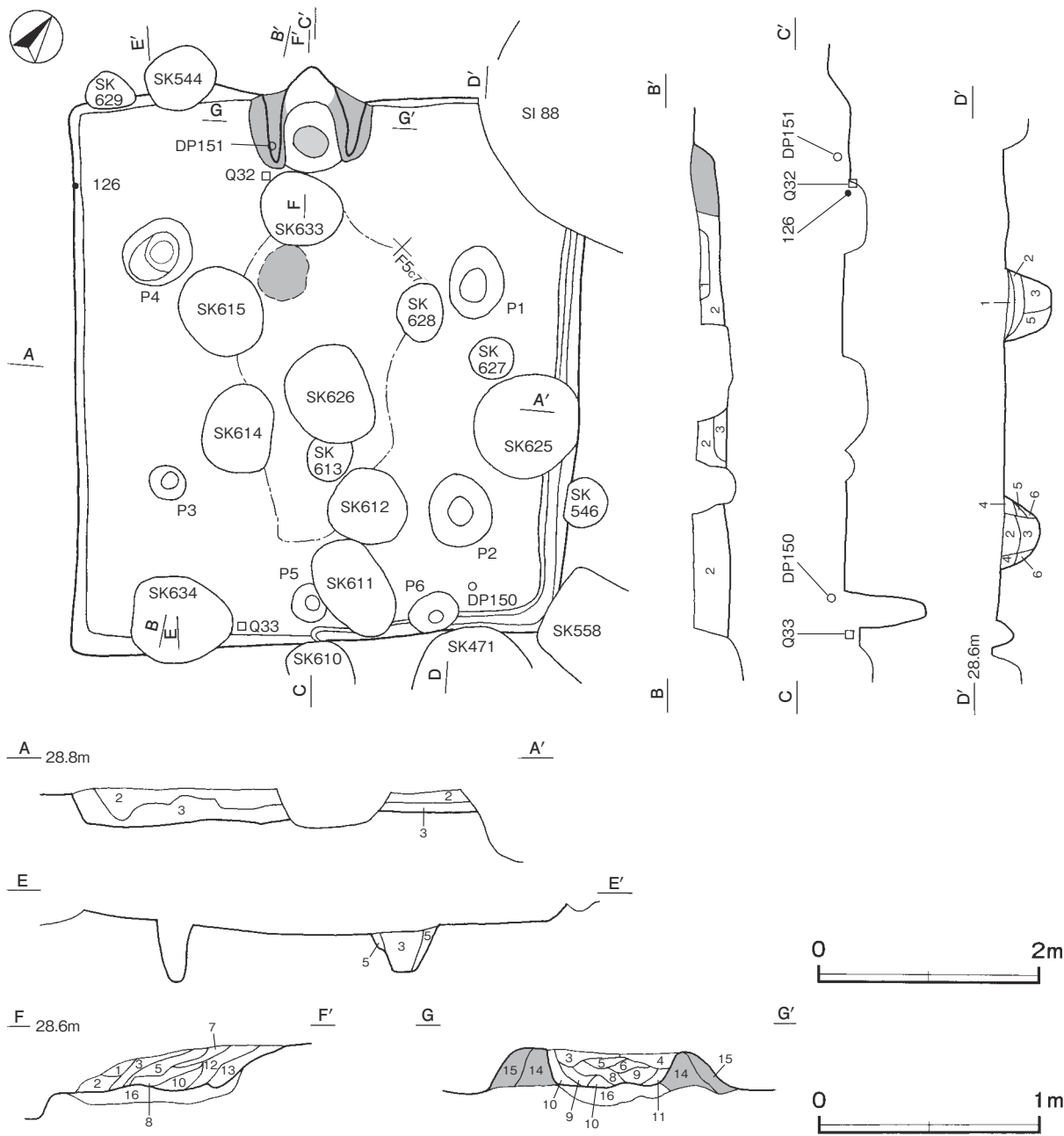
### 第 91 号 竪穴建物跡 (第 133・134 図)

**位置** 調査D区中央部のF 5 c7 区, 標高 28 mほどの台地平坦部に位置している。

**重複関係** 第 88 号 竪穴建物, 第 471・544・546・558・610~615・625~629・633・634 号土坑に掘り込まれている。

**規模と形状** 長軸 4.88 m, 短軸 4.58 mの方形で, 主軸方向はN-44°-Wである。壁は高さ 17~33cmで, ほぼ直立している。

**床** ほぼ平坦で, 中央部が踏み固められている。北東壁と南東壁の一部の壁下には壁溝が巡っている。中央部からやや北西寄り, 楕円形の粘土塊を確認した。



第133図 第91号竪穴建物跡実測図

**竈** 北西壁中央部に付設されている。規模は焚口部から煙道部まで97cmで、燃焼部幅は47cmである。袖部は地山をわずかに掘り残し、その上に粘土ブロックを主体とする第14・15層を積み上げて構築されている。火床部は床面を7cmほど掘り込み、ローム粒子・炭化粒子を含む第16層を埋土して構築されており、火床面は火熱を受けて赤変硬化している。煙道部は壁外に28cm掘り込まれ、火床面から外傾している。

**竈土層解説**

- |       |                      |           |                        |
|-------|----------------------|-----------|------------------------|
| 1 暗褐色 | ロームブロック・焼土粒子少量       | 9 暗褐色     | ロームブロック中量, 焼土粒子少量      |
| 2 赤褐色 | 焼土粒子多量               | 10 暗褐色    | ローム粒子少量, 焼土粒子微量        |
| 3 灰褐色 | ローム粒子・焼土粒子少量         | 11 暗褐色    | ローム粒子・焼土粒子・粘土粒子微量      |
| 4 暗褐色 | ロームブロック少量            | 12 黒褐色    | ロームブロック・炭化粒子少量, 焼土粒子微量 |
| 5 灰褐色 | 焼土粒子中量, ローム粒子少量      | 13 黒褐色    | ローム粒子・焼土粒子・炭化粒子微量      |
| 6 暗褐色 | ローム粒子・焼土粒子微量         | 14 灰黄褐色   | 粘土ブロック多量, 焼土ブロック少量     |
| 7 暗褐色 | ロームブロック・焼土粒子微量       | 15 にぶい黄褐色 | 粘土ブロック中量, ロームブロック少量    |
| 8 赤褐色 | 焼土粒子多量, ローム粒子・炭化粒子微量 | 16 にぶい黄褐色 | ローム粒子・炭化粒子微量           |

ピット 6か所。P1～P4は深さ29～39cmで、配置から支柱穴である。第1～3層は柱抜き取り後の堆積土、第4～6層は埋土である。P5は深さ64cmで、南東壁際の中央部に位置していることから、出入り口施設に伴うピットと考えられる。P6は深さ42cmで、配置から壁柱穴と考えられる。

ピット土層解説 (各ピット共通)

- |                 |                    |
|-----------------|--------------------|
| 1 暗褐色 ロームブロック微量 | 4 にぶい黄褐色 ロームブロック中量 |
| 2 暗褐色 ロームブロック少量 | 5 褐色 ロームブロック中量     |
| 3 黒褐色 ローム粒子微量   | 6 褐色 ロームブロック少量     |

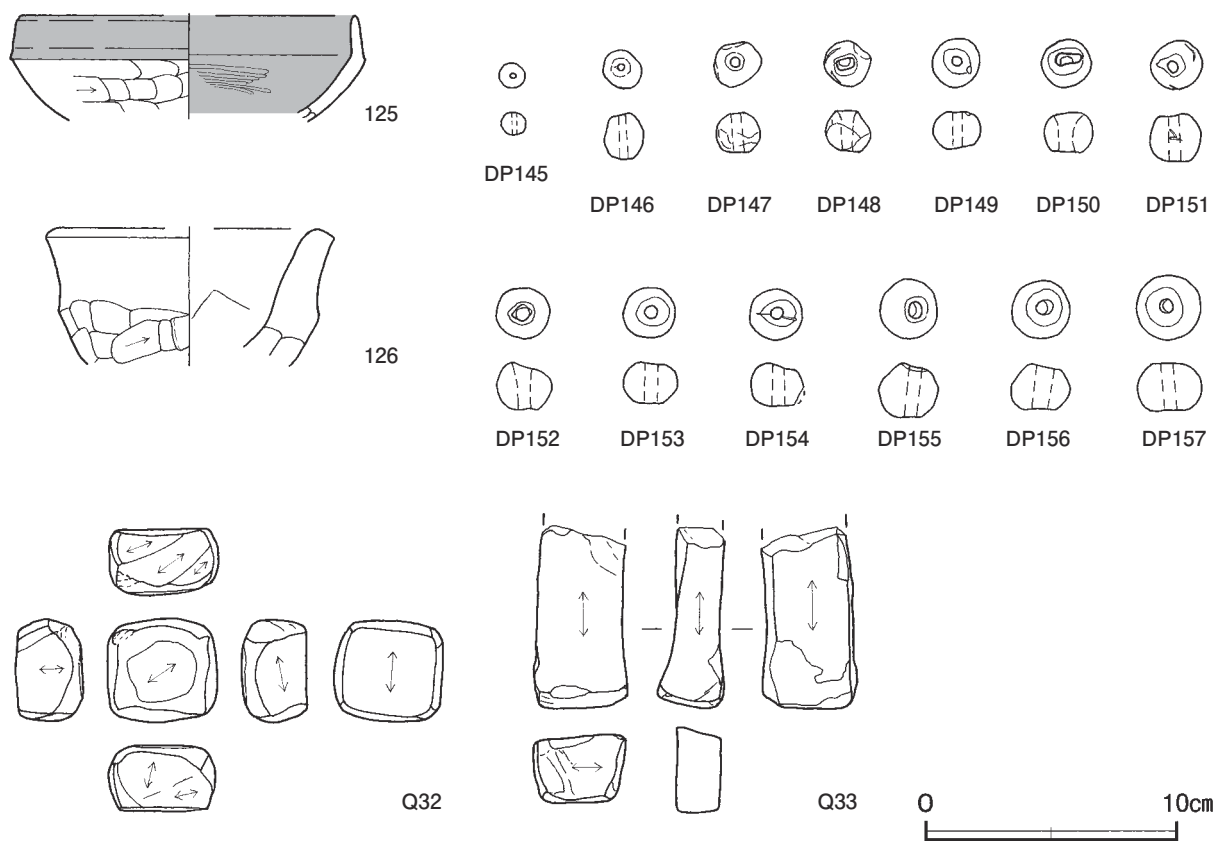
覆土 3層に分層できる。多くの層にロームブロックが含まれ、不規則な堆積状況を示していることから、埋め戻されている。

土層解説

- |                    |               |
|--------------------|---------------|
| 1 にぶい黄褐色 ロームブロック微量 | 3 暗褐色 ローム粒子中量 |
| 2 暗褐色 ロームブロック中量    |               |

遺物出土状況 土師器片623点(坏類185, 蓋9, 高坏1, 鉢2, 甕類426), 土製品18点(小玉1, 土玉15, 支脚2), 石器2点(砥石)のほか、縄文土器片1点(深鉢)が、北部の覆土下層を中心に出土している。出土した土器の大半は小破片で、埋め戻す際に混入したものと考えられる。126・Q32・Q33は床面からそれぞれ出土していることから、廃絶時に遺棄されたものとみられる。

所見 時期は、周囲の竪穴建物跡との位置関係や出土土器から、7世紀前葉と考えられる。



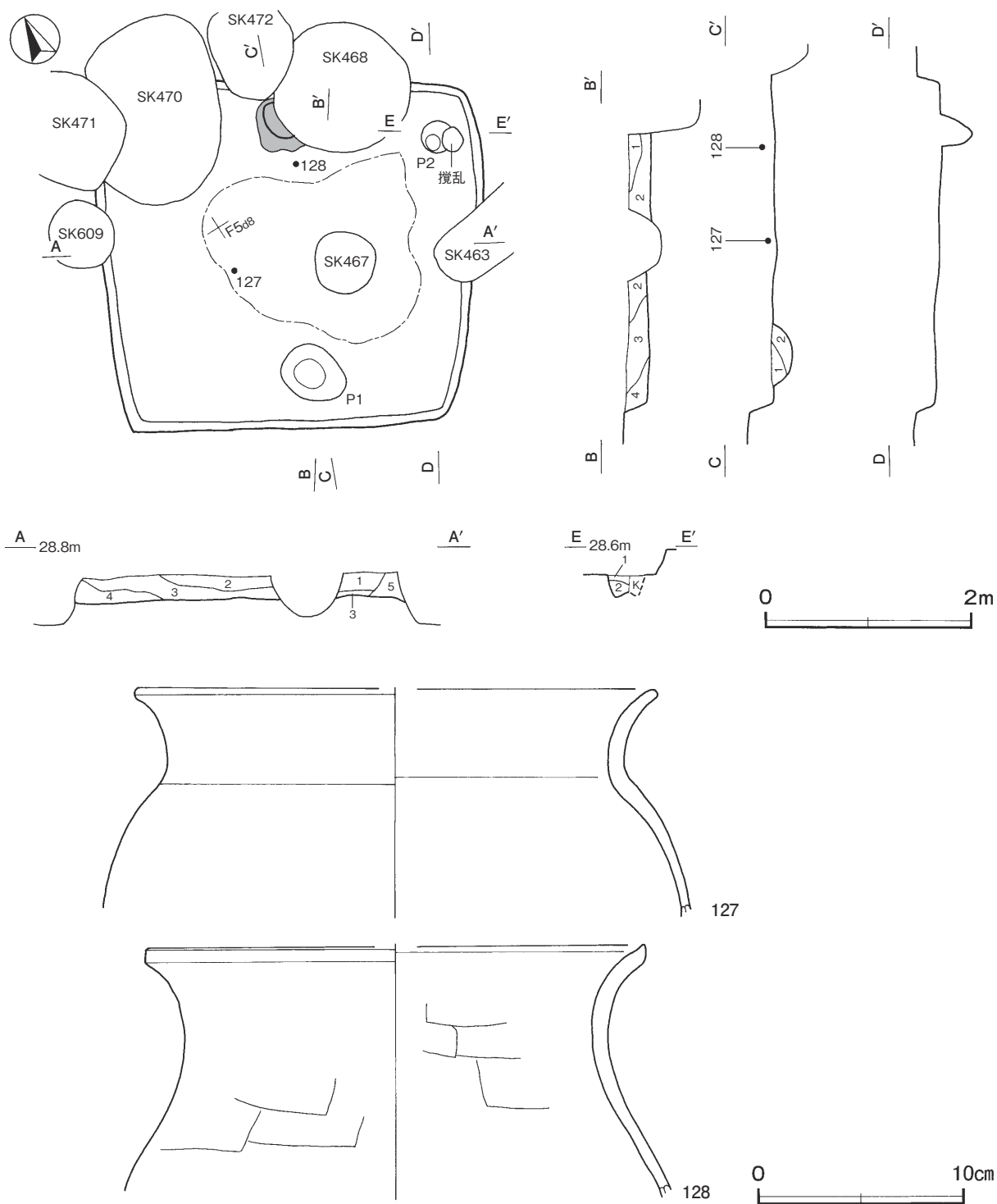
第134図 第91号竪穴建物跡出土遺物実測図

第91号竪穴建物跡出土遺物観察表 (第134図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考	
125	土師器	坏	[13.2]	(4.2)	-	長石・石英	明赤褐	普通	口縁部外・内面横ナデ 内面ヘラ磨き	体部外面横位のヘラ削り	覆土中	5%
126	土師器	鉢	[11.5]	(5.5)	-	長石・石英	明赤褐	普通	口縁部外・内面横ナデ 内面ヘラナデ	体部外面ヘラ削り	床面	30%







第 135 図 第 92 号竪穴建物跡・出土遺物実測図

第 92 号竪穴建物跡出土遺物観察表（第 135 図）

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
127	土師器	甕	[25.0]	(11.0)	-	長石・石英・赤色粒子	橙	普通	口縁部外・内面横ナデ	体部外・内面摩滅	覆土下層 20%
128	土師器	甕	[24.0]	(12.2)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	橙	普通	口縁部外・内面横ナデ ラナデ 内面ヘラナデ	体部外面ヘラ削り後へ	覆土中層 20%

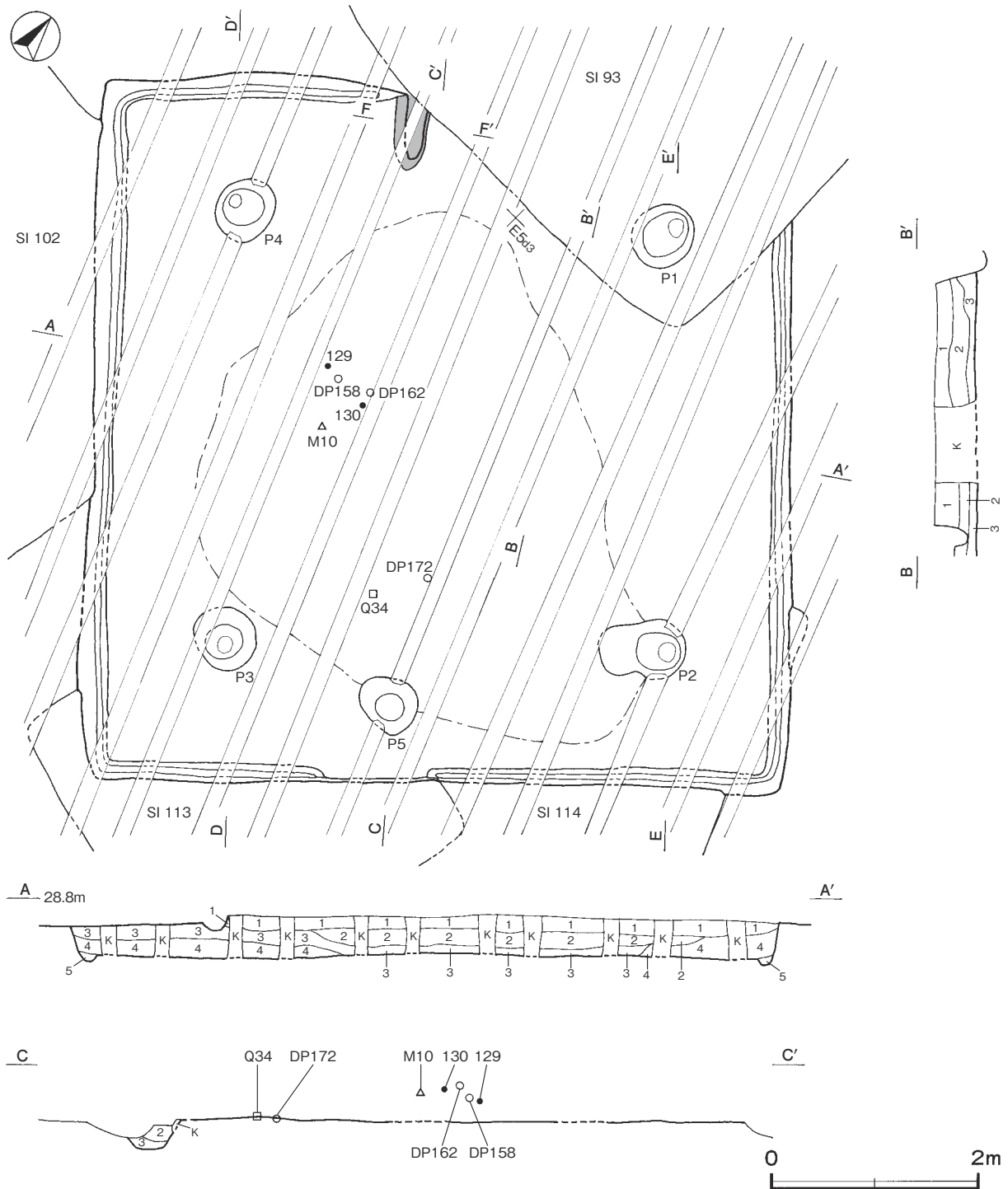
第94号竪穴建物跡（第136～138図）

位置 調査D区中央部のF 5 d3区，標高28 mほどの台地平坦部に位置している。

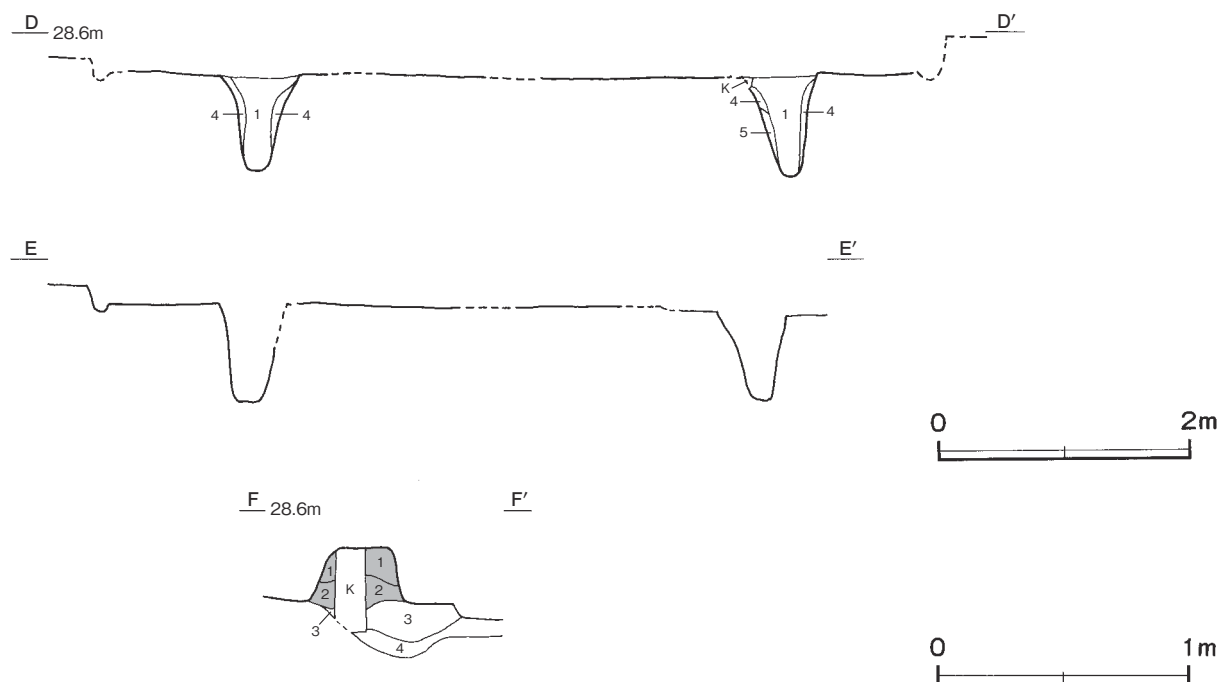
重複関係 第93・102・113・114号竪穴建物に掘り込まれている。

規模と形状 長軸6.78 m，短軸6.74 mの方形で，主軸方向はN - 43° - Wである。壁は高さ10～34cmで，直立している。

床 平坦で，中央部が踏み固められている。南東壁の一部を除き，壁下には壁溝が巡っている。



第136図 第94号竪穴建物跡実測図(1)



第 137 図 第 94 号竪穴建物跡実測図 (2)

**竈** 遺存状況が悪く、左袖部の残骸から、北西壁中央部に付設されていたと推定できる。袖部は床面から 22cm 掘りくぼめた部分に第 3・4 層を埋土して、粘土粒子を主体とする第 1・2 層を積み上げて構築されている。

**竈土層解説**

- |                              |                              |
|------------------------------|------------------------------|
| 1 暗褐色 粘土粒子中量, 焼土ブロック・ローム粒子微量 | 3 暗褐色 焼土ブロック・炭化粒子少量, ローム粒子微量 |
| 2 暗褐色 ローム粒子・焼土粒子・粘土粒子微量      | 4 褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子微量       |

**ピット** 5か所。P 1～P 4 は深さ 67～78cm で、規模と配置から主柱穴である。第 1～3 層は柱抜き取り後の堆積土, 第 4・5 層は埋土である。P 5 は深さ 23cm で、南東壁際の中央部やや西寄りに位置していることから、出入口施設に伴うピットと考えられる。

**ピット土層解説 (各ピット共通)**

- |                    |                    |
|--------------------|--------------------|
| 1 暗褐色 ロームブロック少量    | 4 暗褐色 ロームブロック中量    |
| 2 にぶい黄褐色 ロームブロック多量 | 5 にぶい黄褐色 ロームブロック中量 |
| 3 にぶい黄褐色 ローム粒子中量   |                    |

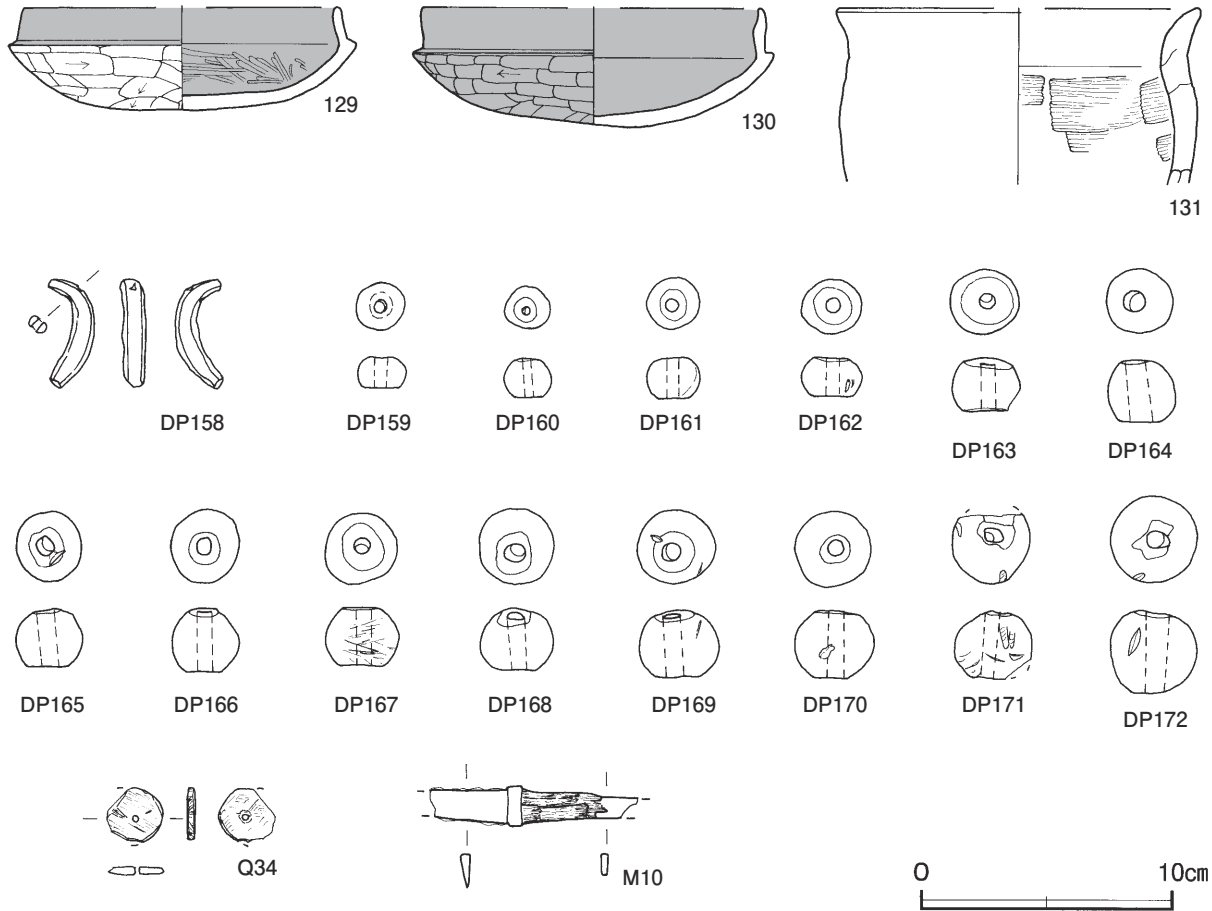
**覆土** 5層に分層できる。第 2～5 層は周囲から流れ込んだ堆積状況を示していることから、自然堆積である。第 1 層はその後、整地した層と考えられる。

**土層解説**

- |                              |                    |
|------------------------------|--------------------|
| 1 黒褐色 ロームブロック少量              | 4 暗褐色 ローム粒子微量      |
| 2 暗褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子微量 | 5 暗褐色 ローム粒子・炭化粒子微量 |
| 3 暗褐色 ロームブロック・焼土粒子微量         |                    |

**遺物出土状況** 土師器片 901 点 (坏類 244, 椀 35, 高坏 4, 甕類 611, 小形甕 1, 甌 6), 土製品 17 点 (勾玉 1, 土玉 16), 石製品 1 点 (有孔円板), 金属製品 2 点 (刀子, 不明), 鉄滓 8 点のほか, 縄文土器片 2 点 (深鉢) が、中央部の覆土中層から下層を中心に出土している。DP172・Q 34 は床面からそれぞれ出土していることから、廃絶時に遺棄されたものとみられる。129 は中央部の覆土中層から出土していることから、埋没する過程で流れ込んだものとみられる。

**所見** 時期は、出土土器や重複関係から、6 世紀後葉に比定できる。



第 138 図 第 94 号竪穴建物跡出土遺物実測図

第 94 号竪穴建物跡出土遺物観察表 (第 138 図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
129	土師器	坏	[12.4]	4.1	-	長石・石英・赤色粒子	にぶい褐	普通	口縁部外・内面横ナデ 体部外面へラ削り 内面へラ磨き	覆土中層	50% PL63
130	土師器	坏	[13.4]	4.8	-	長石・石英・赤色粒子	浅黄橙	普通	口縁部外・内面横ナデ 体部外面へラ削り 内面へラナデ	覆土上層	50% PL63
131	土師器	小形甕	[14.2]	(7.0)	-	長石・石英	橙	普通	口縁部内面横ナデ 体部外面磨減 内面ハケ目調整	覆土中	10%

番号	器種	長さ	厚さ	孔径	重量	胎土	色調	特徴	出土位置	備考
DP158	勾玉	4.3	1.0	0.2~0.3	4.99	長石・雲母	橙	ナデ 一方向からの穿孔	覆土中層	PL85

番号	器種	径	厚さ	孔径	重量	胎土	色調	特徴	出土位置	備考
DP159	土玉	1.9	1.3	0.5	4.70	長石	橙	ナデ 一方向からの穿孔 両端部を平坦に成形	覆土中	PL85
DP160	土玉	1.7~1.8	1.6	0.3	4.57	長石・石英・雲母	にぶい橙	ナデ 一方向からの穿孔 片端部を平坦に成形	覆土中	PL85
DP161	土玉	2.0~2.1	1.6	0.5	6.62	長石・石英・雲母	橙	ナデ 一方向からの穿孔 両端部を平坦に成形	覆土中	PL85
DP162	土玉	2.2~2.4	1.5	0.6	7.97	長石・石英・雲母	にぶい黄橙	ナデ 一方向からの穿孔 両端部を平坦に成形	覆土上層	PL85
DP163	土玉	2.5~2.7	2.1	0.6	(13.9)	長石・石英・雲母	にぶい橙	端部欠損 ナデ 一方向からの穿孔 両端部を平坦に成形	覆土中	PL85
DP164	土玉	2.5~2.7	2.5	0.8~0.9	16.2	長石・雲母	黒	ナデ 一方向からの穿孔 両端部を平坦に成形	覆土中	PL85
DP165	土玉	2.7	2.3	0.7	16.2	長石・石英・雲母	にぶい橙	ナデ 一方向からの穿孔 両端部を平坦に成形	覆土中	PL85
DP166	土玉	2.7~2.9	2.5	0.6	20.0	長石・雲母	橙	ナデ 一方向からの穿孔 両端部を平坦に成形	覆土中	PL85
DP167	土玉	2.8~2.9	2.8	0.6	(19.3)	長石・石英・雲母	橙	端部欠損 ナデ 一方向からの穿孔 両端部を平坦に成形 擦痕有	覆土中	PL85
DP168	土玉	2.9~3.0	2.5	0.6~0.8	21.0	長石・石英・雲母	橙	ナデ 一方向からの穿孔 片端部を平坦に成形	覆土中	PL85
DP169	土玉	2.9~3.1	2.7	0.7	23.4	長石・雲母	橙	ナデ 一方向からの穿孔 両端部を平坦に成形 擦痕有	覆土中	PL85

番号	器種	径	厚さ	孔径	重量	胎土	色調	特徴	出土位置	備考
DP170	土玉	30~31	2.8	0.6	22.6	長石・石英・雲母	橙	ナデ 一方向からの穿孔 片端部を平坦に成形	覆土中	PL85
DP171	土玉	3.1	2.6	0.5~0.6	(19.7)	長石・雲母	にぶい橙	一部欠損 ナデ 一方向からの穿孔	覆土中	PL85
DP172	土玉	34~35	3.4	0.7~0.9	38.6	長石・石英・雲母	橙	ナデ 一方向からの穿孔	床面	PL85

番号	器種	長さ	幅	厚さ	孔径	重量	材質	特徴	出土位置	備考
Q 34	有孔円板	2.1	2.2	0.3	0.2	(2.66)	滑石	端部一部欠損 全面研磨調整 孔1か所	床面	PL97

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
M 10	刀子	(8.3)	1.5	0.3	(13.8)	鉄	刃部欠損 端部一部欠損 木質部残存	覆土上層	PL97

### 第 95 号竪穴建物跡 (第 139・140 図)

**位置** 調査D区中央部のF 5 a8 区, 標高 28 mほどの台地平坦部に位置している。

**重複関係** 第 464・485・497・503・509 号土坑に掘り込まれている。

**規模と形状** 長軸 5.82 m, 短軸 5.73 mの方形で, 主軸方向はN - 35° - Wである。壁は高さ 22 ~ 32cmで, ほぼ直立している。

**床** 平坦で, 中央部が踏み固められている。壁下には壁溝が巡っている。

**竈** 北西壁中央部に付設されている。左袖部から煙道部が第 497 号土坑に掘り込まれているため, 規模は燃焼部幅 43cmしか確認できなかった。右袖部は, 床面から 6 ~ 14cm掘りくぼめた部分に第 11・12 層を埋土して, 粘土ブロックを含む第 9・10 層を積み上げて構築されている。火床部は床面を 6 cmほど掘り込み, ロームブロックを主体とする第 11 層を埋土して構築されており, 火床面は火熱を受けて赤変硬化している。第 8 層は竈使用時の堆積土層である。

#### 竈土層解説

- |           |                        |           |                       |
|-----------|------------------------|-----------|-----------------------|
| 1 暗 褐 色   | ロームブロック少量, 焼土粒子微量      | 7 暗 褐 色   | 粘土粒子少量, ローム粒子・焼土粒子微量  |
| 2 暗 褐 色   | ロームブロック少量              | 8 赤 褐 色   | 焼土ブロック多量              |
| 3 暗 褐 色   | ローム粒子・炭化粒子・粘土粒子微量      | 9 灰 黄 褐 色 | 粘土ブロック中量, 焼土粒子・炭化粒子微量 |
| 4 暗 褐 色   | ロームブロック少量, 炭化粒子微量      | 10 にぶい黄褐色 | ロームブロック・粘土ブロック少量      |
| 5 暗 褐 色   | 焼土ブロック少量, ローム粒子・炭化粒子微量 | 11 暗 褐 色  | ロームブロック少量, 焼土ブロック微量   |
| 6 灰 黄 褐 色 | 粘土粒子中量, 焼土粒子・炭化粒子微量    | 12 暗 褐 色  | 焼土粒子・炭化粒子・粘土粒子微量      |

**ピット** 6か所。P 1 ~ P 4 は深さ 72 ~ 88cmで, 規模と配置から支柱穴である。第 1 ~ 3 層は柱抜き取り後の堆積土, 第 4 ~ 6 層は埋土である。P 1 ~ P 4 の底面には, 柱のあたりと考えられる円形の硬化範囲が認められた。P 5 は深さ 27cmで, 南東壁際の中央部に位置していることから, 出入り口施設に伴うピットと考えられる。P 6 は深さ 32cmで, 配置から補助柱穴と考えられる。

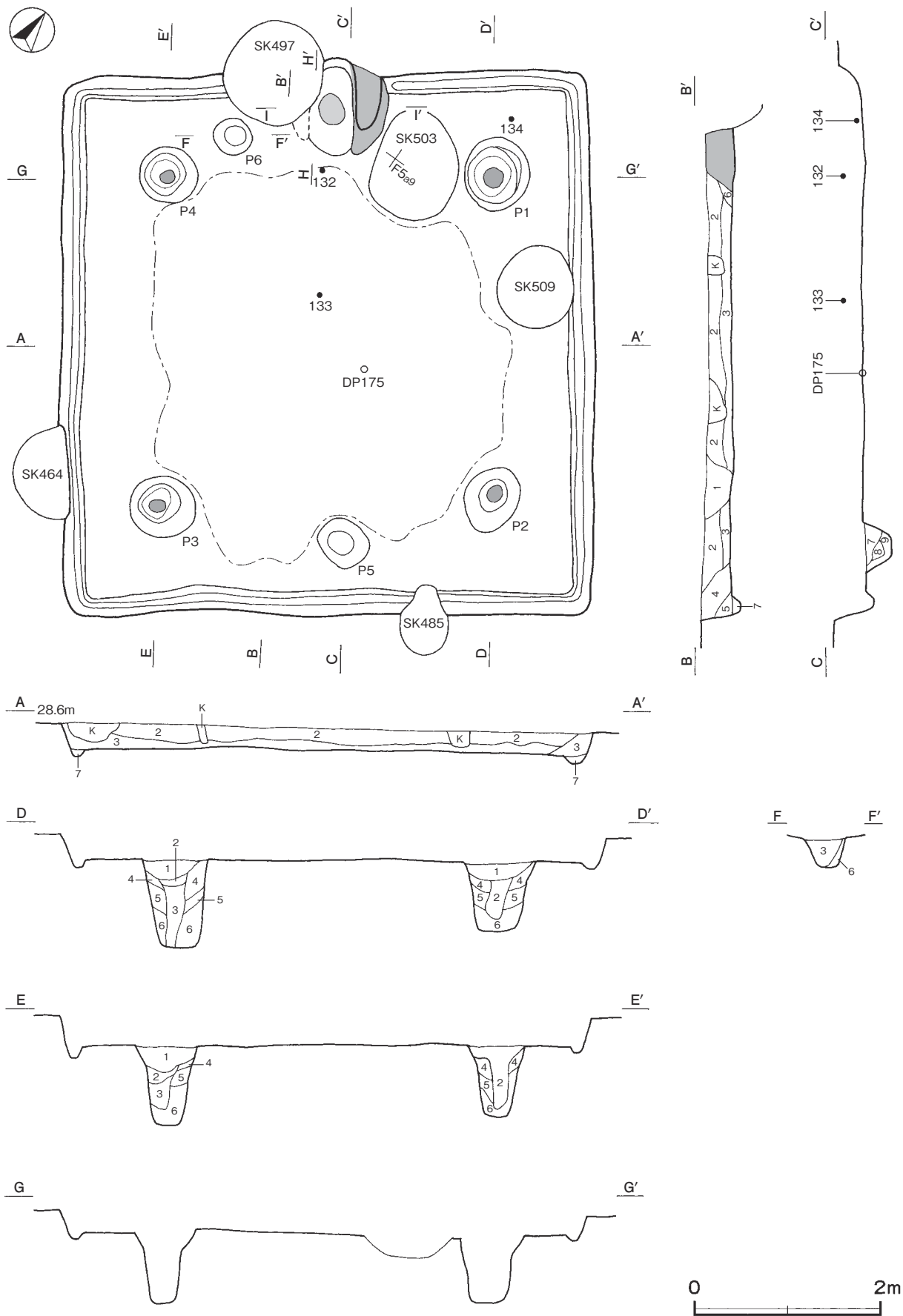
#### ピット土層解説 (各ピット共通)

- |         |                        |         |                      |
|---------|------------------------|---------|----------------------|
| 1 暗 褐 色 | ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子微量 | 6 暗 褐 色 | ロームブロック中量            |
| 2 暗 褐 色 | ロームブロック少量, 炭化粒子微量      | 7 暗 褐 色 | ローム粒子少量, 焼土粒子・炭化粒子微量 |
| 3 暗 褐 色 | ローム粒子少量, 炭化粒子微量        | 8 暗 褐 色 | ローム粒子中量, 焼土粒子・炭化粒子微量 |
| 4 褐 色   | ロームブロック多量              | 9 暗 褐 色 | ロームブロック微量            |
| 5 褐 色   | ロームブロック中量              |         |                      |

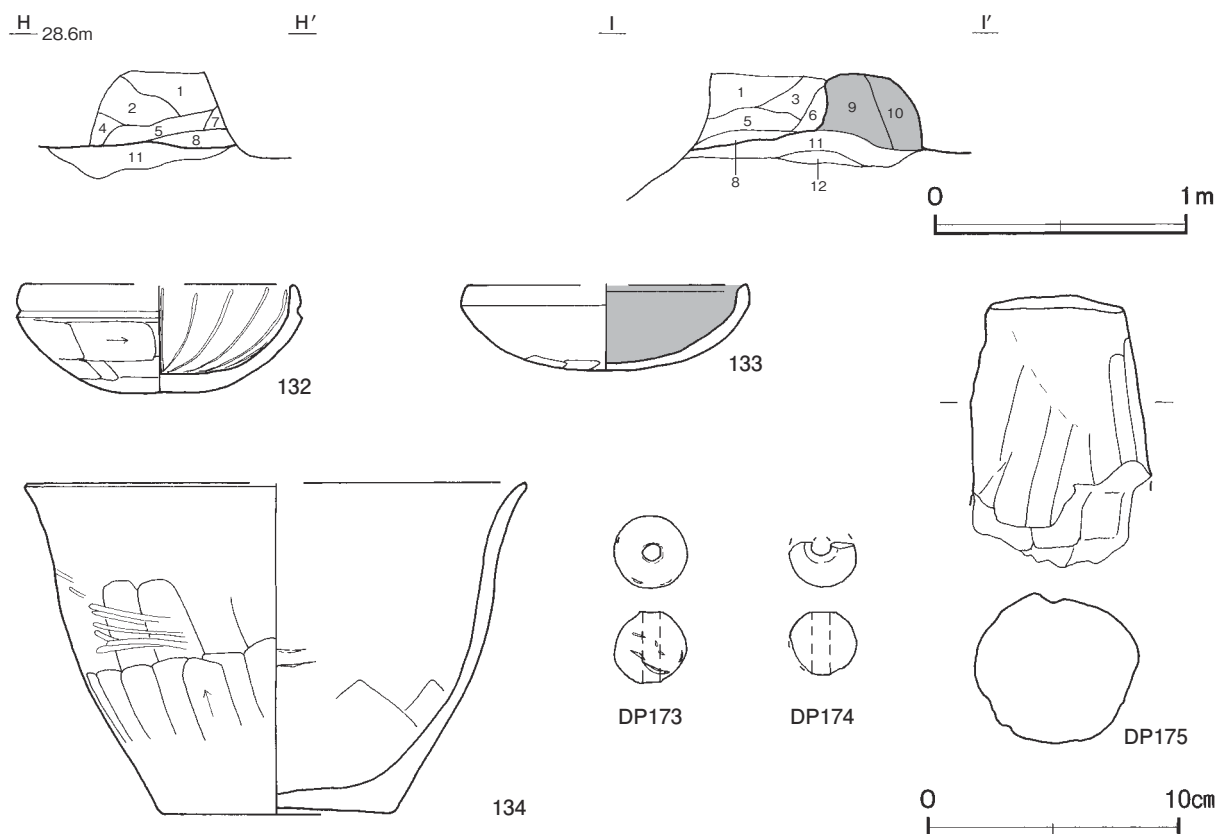
**覆土** 7層に分層できる。多くの層にロームブロックが含まれていることから, 埋め戻されている。

#### 土層解説

- |         |                     |          |              |
|---------|---------------------|----------|--------------|
| 1 暗 褐 色 | ロームブロック少量, 炭化粒子微量   | 5 暗 褐 色  | ローム粒子・炭化粒子微量 |
| 2 暗 褐 色 | ロームブロック少量, 焼土ブロック微量 | 6 にぶい黄褐色 | ロームブロック中量    |
| 3 暗 褐 色 | ロームブロック・焼土粒子微量      | 7 暗 褐 色  | ローム粒子微量      |
| 4 黒 褐 色 | ロームブロック少量           |          |              |



第 139 图 第 95 号竖穴建物跡实测图



第 140 図 第 95 号竪穴建物跡・出土遺物実測図

**遺物出土状況** 土師器片 430 点（坏 73, 碗 2, 鉢 1, 小形鉢 1, 甕類 352, 甑 1）, 土製品 4 点（土玉 2, 支脚 2）, 鉄滓 3 点のほか, 縄文土器片 3 点（深鉢）が, 北部の覆土中層から下層を中心に出土している。出土した土器の大半は小破片で, 埋め戻す際に混入したものと考えられる。DP175 は中央部の床面から出土していることから, 廃絶時に遺棄されたものとみられる。134 は北壁際の覆土下層から出土していることから, 埋め戻しの過程で投棄されたものとみられる。

**所見** 時期は, 出土土器や重複関係から, 6 世紀後葉に比定できる。

第 95 号竪穴建物跡出土遺物観察表（第 140 図）

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
132	土師器	坏	[10.5]	4.3	-	長石・石英・赤色粒子	橙	普通	口縁部外・内面横ナデ 内面放射状のヘラ磨き	覆土上層	20%
133	土師器	坏	[11.2]	3.4	-	長石・石英・雲母	黄灰	普通	体部外面ヘラ削り 内面ヘラナデ	覆土中層	30%
134	土師器	小形鉢	[19.8]	13.1	9.0	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい赤褐	普通	口縁部外・内面横ナデ 体部外面ヘラ削り後ヘラ磨き 内面ヘラナデ	覆土下層	30%

番号	器種	径	厚さ	孔径	重量	胎土	色調	特徴	出土位置	備考
DP173	土玉	28~29	2.8	0.7	20.8	石英	にぶい橙	ナデ 一方向からの穿孔	覆土中	
DP174	土玉	(2.7)	2.5	0.7	(10.2)	長石・石英	にぶい黄橙	欠損 ナデ 穿孔痕	覆土中	

番号	器種	高さ	最小径	最大径	重量	胎土	色調	特徴	出土位置	備考
DP175	支脚	(10.8)	5.5	7.0	(378)	長石・石英	橙	基部欠損 外面ヘラナデ 被熱痕	床面	

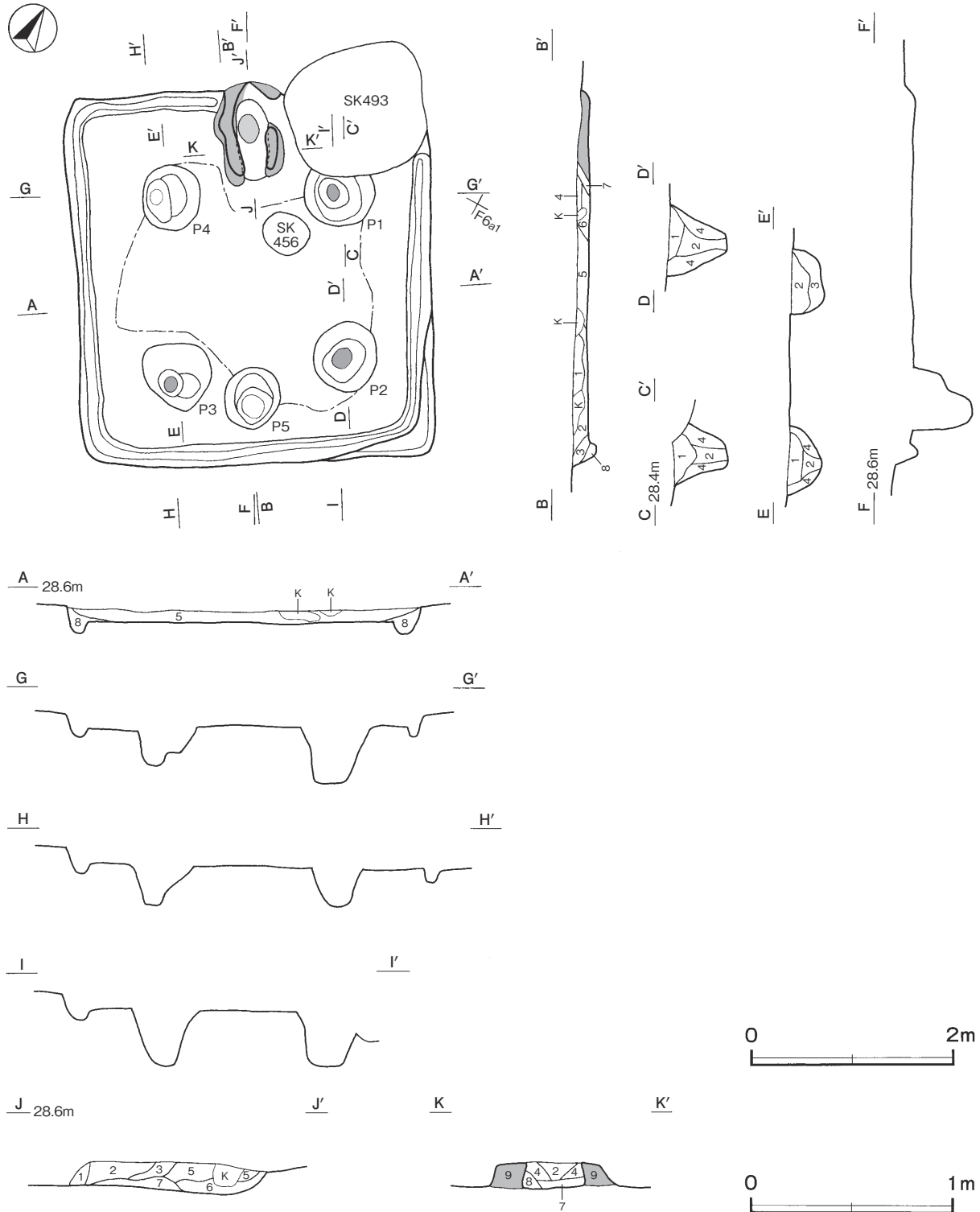


第 96 号 竪穴建物跡 (第 141・142 図)

位置 調査D区中央部の F 5 a0 区, 標高 28 m ほどの台地平坦部に位置している。

重複関係 第 456・493 号土坑に掘り込まれている。

規模と形状 長軸 3.75 m, 短軸 3.58 m の方形で, 主軸方向は N - 30° - W である。壁は高さ 12 ~ 17 cm で, ほぼ直立している。



第 141 図 第 96 号 竪穴建物跡実測図

**床** 平坦で、中央部が踏み固められている。壁下には壁溝が巡っている。

**竈** 北西壁中央部に付設されている。規模は焚口部から煙道部まで97cmで、燃焼部幅は31cmである。袖部は床面と同じ高さの地山の上に、粘土粒子を主体とする第9層を積み上げて構築されている。火床部も床面とほぼ同じ高さを使用しており、火床面は火熱を受けて赤変硬化している。煙道部は壁外に10cm掘り込まれ、火床部からはほぼ直立している。第1層は天井部の崩落土層である。

**竈土層解説**

- |                               |                            |
|-------------------------------|----------------------------|
| 1 暗褐色 粘土粒子中量, ロームブロック少量       | 6 暗褐色 ロームブロック・炭化粒子微量       |
| 2 灰黄褐色 粘土粒子中量, ローム粒子・焼土粒子微量   | 7 にぶい黄褐色 焼土粒子少量, ローム粒子微量   |
| 3 暗褐色 焼土ブロック少量, ローム粒子・炭化粒子微量  | 8 灰黄褐色 粘土粒子少量, 焼土粒子・炭化粒子微量 |
| 4 暗褐色 粘土粒子少量, ローム粒子・焼土粒子微量    | 9 灰黄褐色 粘土粒子多量              |
| 5 灰黄褐色 粘土粒子少量, 焼土ブロック・ローム粒子微量 |                            |

**ピット** 5か所。P1～P4は深さ38～55cmで、規模と配置から支柱穴である。第1～3層は柱抜き取り後の堆積土、第4層は埋土である。P1～P3の底面には、柱のあたりと考えられる円形の硬化範囲が認められた。P5は深さ57cmで、南東壁際の中央部に位置していることから、出入口施設に伴うピットと考えられる。

**ピット土層解説 (各ピット共通)**

- |                      |                      |
|----------------------|----------------------|
| 1 黒褐色 ロームブロック・焼土粒子微量 | 3 褐色 ローム粒子中量, 焼土粒子少量 |
| 2 にぶい黄褐色 ロームブロック中量   | 4 にぶい黄褐色 ロームブロック多量   |

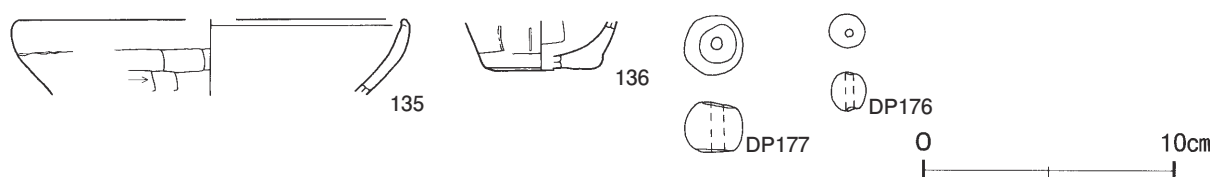
**覆土** 8層に分層できる。多くの層にロームブロックが含まれ、不規則な堆積状況を示していることから、埋め戻されている。

**土層解説**

- |                            |                            |
|----------------------------|----------------------------|
| 1 にぶい黄褐色 ロームブロック少量         | 5 暗褐色 焼土粒子・粘土粒子少量, ローム粒子微量 |
| 2 黒褐色 ローム粒子・炭化粒子微量         | 6 暗褐色 ロームブロック中量            |
| 3 暗褐色 ローム粒子微量              | 7 暗褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子微量    |
| 4 にぶい黄褐色 ロームブロック少量, 粘土粒子微量 | 8 灰黄褐色 粘土粒子中量, 焼土ブロック少量    |

**遺物出土状況** 土師器片63点(坏12, 甕類50, 手捏土器1), 土製品2点(土玉)のほか、縄文土器片1点(深鉢)が、覆土中から出土している。

**所見** 時期は、7世紀前葉に比定できる第36号竪穴建物跡と主軸方向が同じことや、出土遺物から7世紀前葉と考えられる。



第142図 第96号竪穴建物跡出土遺物実測図

第96号竪穴建物跡出土遺物観察表 (第142図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
135	土師器	坏	[15.3]	(3.0)	-	長石・石英・赤色粒子	橙	普通	口縁部外面横ナデ 体部外面横位のヘラ削り 内面ヘラナデ	竈覆土中	5%
136	土師器	手捏土器	-	(1.9)	[4.3]	長石・石英・赤色粒子	橙	普通	体部外・内面ヘラナデ	覆土中	20%

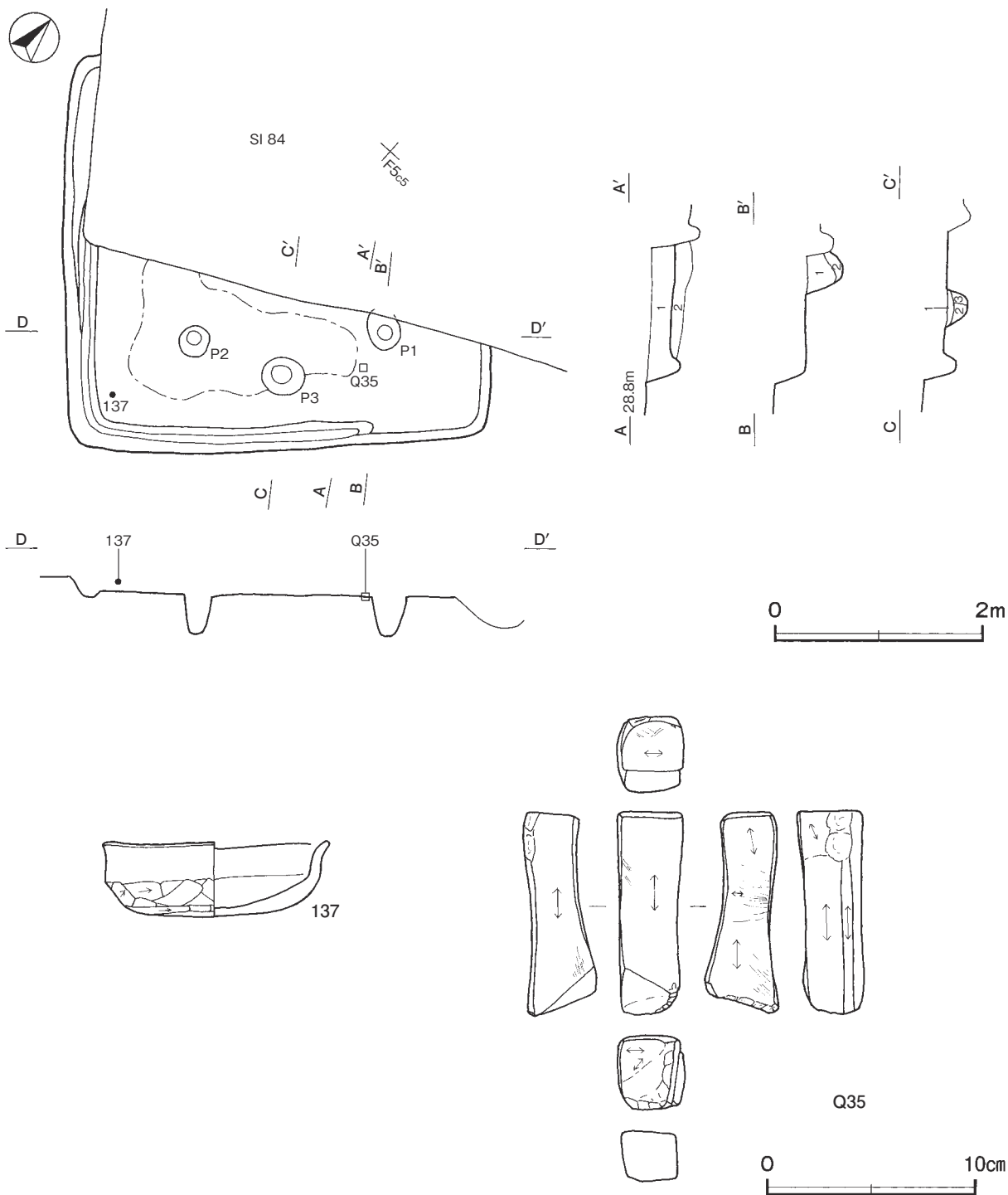
番号	器種	径	厚さ	孔径	重量	胎土	色調	特徴	出土位置	備考
DP176	土玉	13~14	1.5	0.3	2.96	長石	にぶい赤褐	ナデ 一方向からの穿孔	覆土中	
DP177	土玉	2.4	2.0	0.5	12.4	長石・石英	黒褐	ナデ 一方向からの穿孔 両端部を平坦に成形	覆土中	

第 97 号 竪穴建物跡 (第 143 図)

位置 調査D区中央部のF 5 c4 区, 標高 28 m ほどの台地平坦部に位置している。

重複関係 第 84 号 竪穴建物に掘り込まれている。

規模と形状 北部が第 84 号 竪穴建物に掘り込まれているため, 北東・南西軸は 4.02 m で, 北西・南東軸は 3.80 m しか確認できなかった。平面形は方形と推定でき, 主軸方向は  $N - 43^{\circ} - W$  である。壁は高さ 17 ~ 28 cm で, 直立している。



第 143 図 第 97 号 竪穴建物跡・出土遺物実測図

**床** 平坦な貼床で、中央部が踏み固められている。貼床は、ロームブロックを含む第2層を埋土して構築されている。東部を除き、確認できた壁下には壁溝が巡っている。

**ピット** 3か所。P1・P2は深さ38cm・37cmで、規模と配置から主柱穴である。P3は深さ16cmで、南東部の中央に位置していることから、出入口施設に伴うピットと考えられる。

**ピット土層解説（各ピット共通）**

- 1 暗褐色 ローム粒子微量
- 2 暗褐色 ローム粒子少量
- 3 にぶい黄褐色 ロームブロック中量

**覆土** 単一層である。ロームブロックが含まれていることから、埋め戻されている。第2層は貼床の構築土である。

**土層解説**

- 1 暗褐色 ロームブロック少量
- 2 褐色 ロームブロック中量

**遺物出土状況** 土師器片30点（坏5、椀7、鉢2、甕16）、石器1点（砥石）が、南東壁際の覆土下層を中心に出土している。Q35は床面から出土していることから、廃絶時に遺棄されたものとみられる。137はほぼ完形で、南壁際の覆土下層から出土していることから、埋め戻しの過程で廃棄されたものとみられる。

**所見** 時期は、出土遺物や重複関係、6世紀後葉に比定できる第94号竪穴建物跡と主軸方向が同じことなどから、6世紀後葉と考えられる。

**第97号竪穴建物跡出土遺物観察表（第143図）**

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
137	土師器	坏	10.6	3.5	-	長石・石英	明赤褐	普通	口縁部外・内面横ナデ 体部外面ヘラ削り 内面ヘラナデ	覆土下層	95%

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
Q35	砥石	9.8	3.2	3.6	122	凝灰岩	砥面6面	床面	PL95

**第99号竪穴建物跡（第144・145図）**

**位置** 調査D区中央部のF5a2区、標高28mほどの台地平坦部に位置している。

**重複関係** 第98・132号竪穴建物、第573・623号土坑に掘り込まれている。

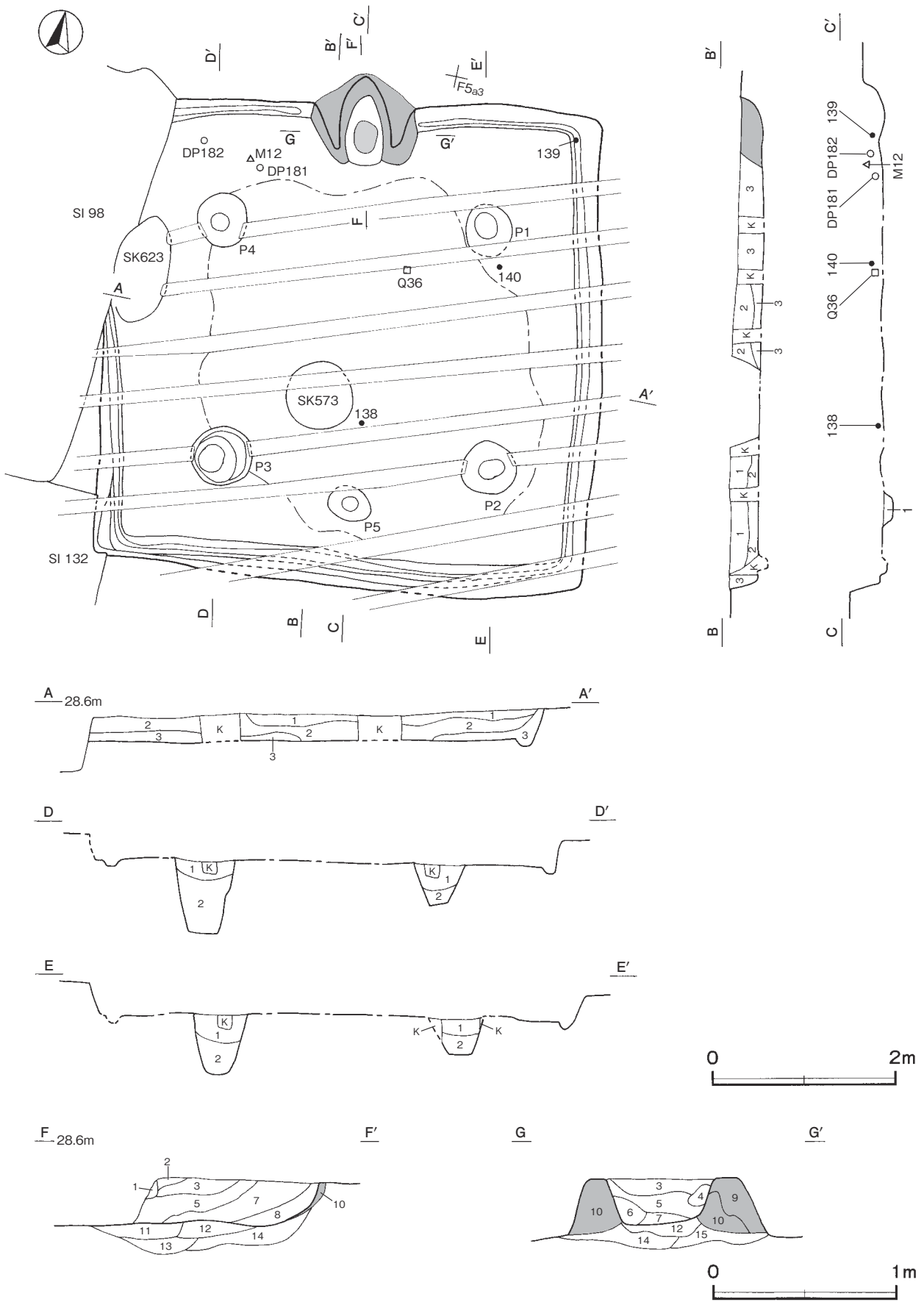
**規模と形状** 長軸5.43m、短軸5.38mの方形で、主軸方向はN-10°-Wである。壁は高さ27~36cmで、ほぼ直立している。

**床** 平坦で、中央部が踏み固められている。確認できた壁下には壁溝が巡っている。

**竈** 北壁中央部に付設されている。規模は焚口部から煙道部まで101cmで、燃焼部幅は43cmである。袖部は、床面から6~11cm掘りくぼめた部分に第14・15層を埋土して、粘土粒子を主体とする第9・10層を積み上げて構築されている。火床部は第12層上面を使用しており、火床面は火熱を受けて赤変硬化している。煙道部は壁外に36cm掘り込まれ、火床部から外傾している。

**竈土層解説**

- 1 黒褐色 ロームブロック微量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量
- 3 暗褐色 ロームブロック・焼土粒子微量
- 4 灰褐色 粘土粒子少量、ローム粒子微量
- 5 暗褐色 ロームブロック・焼土粒子少量
- 6 暗褐色 ロームブロック中量
- 7 暗褐色 焼土粒子少量
- 8 暗褐色 ロームブロック多量
- 9 褐灰色 粘土粒子多量、焼土ブロック微量
- 10 褐灰色 粘土粒子多量、焼土粒子少量
- 11 赤褐色 焼土ブロック中量
- 12 褐灰色 焼土ブロック・炭化粒子微量
- 13 黒褐色 炭化粒子少量
- 14 暗赤褐色 焼土ブロック中量
- 15 褐色 ロームブロック多量



第 144 图 第 99 号竖穴建物跡実測図

**ピット** 5か所。P1～P4は深さ38～81cmで、規模と配置から支柱穴である。P5は深さ12cmで、南壁際の中央部に位置していることから、出入り口施設に伴うピットと考えられる。第1・2層は、柱抜き取り後の堆積土である。

**ピット土層解説 (各ピット共通)**

1 暗褐色 ローム粒子少量

2 暗褐色 ロームブロック少量

**覆土** 3層に分層できる。各層にロームブロックが含まれ、不規則な堆積状況を示していることから、埋め戻されている。

**土層解説**

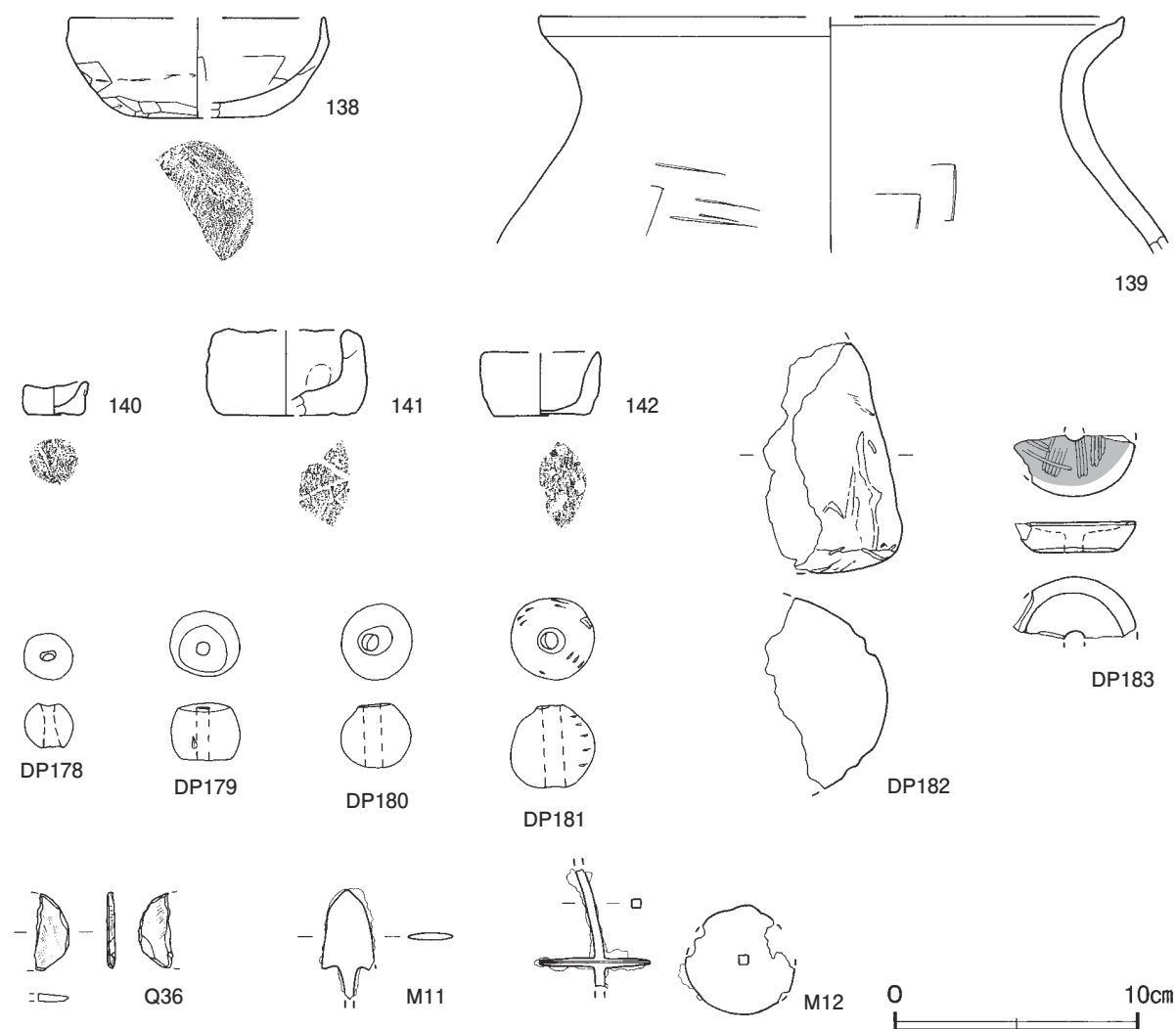
1 にぶい黄褐色 ロームブロック少量

3 暗褐色 ロームブロック中量

2 暗褐色 ロームブロック少量

**遺物出土状況** 土師器片666点(坏類123, 椀40, 甕類498, 小形甕2, ミニチュア土器1, 手捏土器2), 土製品6点(土玉4, 支脚1, 紡錘車1), 石製品1点(有孔円板<sup>カ</sup>), 金属製品4点(刀子2, 鋏1, 紡錘車1), 鉄滓3点が, 全域の覆土中層から下層にかけて出土している。138・139・Q36は覆土下層からそれぞれ出土していることから, 埋め戻しの過程で混入したものとみられる。

**所見** 時期は, 出土土器や重複関係から, 7世紀中葉に比定できる。



第145図 第99号竪穴建物跡出土遺物実測図

第 99 号 竪穴建物跡出土遺物観察表 (第 145 図)

番号	種 別	器種	口径	器高	底径	胎 土	色 調	焼成	手 法 の 特 徴 ほか	出土位置	備 考
138	土師器	坏	[10.4]	4.1	[4.6]	長石・石英・赤色粒子	橙	普通	口縁部外・内面横ナデ 輪積痕 体部外面ヘラ削り後ナデ 内面ヘラナデ 底部多方向のヘラ削り	覆土下層	40%
139	土師器	甕	[24.0]	(9.7)	-	長石・石英・雲母	にぶい橙	普通	体部外・内面ヘラナデ	覆土下層	5%
140	土師器	ミニチュア土器	2.5	1.4	2.0	長石・石英	にぶい黄橙	普通	内面ナデ	覆土中層	80%
141	土師器	手捏土器	[4.8]	3.5	[5.2]	長石・石英	明赤褐	普通	体部外面ナデ 内面ヘラナデ 指頭痕	覆土中	30%
142	土師器	手捏土器	[4.6]	2.6	[3.8]	長石・石英	橙	普通	体部外・内面摩滅	覆土中	30%

番号	器 種	径	厚さ	孔径	重量	胎 土	色 調	特 徴	出土位置	備 考
DP178	土玉	19～20	1.8	0.4～0.8	7.18	長石・石英	にぶい黄褐	ナデ 一方向からの穿孔	覆土中	
DP179	土玉	28～29	2.3	0.5	20.0	長石・石英	にぶい黄橙	ナデ 一方向からの穿孔 両端部を平坦に成形	覆土中	
DP180	土玉	29～31	2.6	0.7	24.0	長石・石英	橙	ナデ 一方向からの穿孔 片端部を平坦に成形	覆土中	
DP181	土玉	34～35	3.4	0.7～0.8	39.1	長石・石英	にぶい橙	ナデ 一方向からの穿孔	覆土下層	
DP183	紡錘車	[5.2]	1.2	[0.8]	(13.4)	長石・石英	にぶい黄橙	欠損 ヘラ磨き 穿孔痕 側面ヘラナデ	覆土中	

番号	器 種	高さ	最小径	最大径	重量	胎 土	色 調	特 徴	出土位置	備 考
DP182	支脚	(9.4)	[6.2]	[10.0]	(28.2)	長石・石英	橙	欠損 ナデ 被熱痕	覆土中層	

番号	器 種	長さ	幅	厚さ	孔径	重量	材 質	特 徴	出土位置	備 考
Q 36	有孔円板	(3.1)	(1.4)	0.3	-	(2.25)	滑石	欠損 全面研磨調整	覆土下層	

番号	器 種	長さ	幅	厚さ	重量	材 質	特 徴	出土位置	備 考
M 11	鏃	(4.6)	2.1	0.3	(6.80)	鉄	鏃身部三角形 茎部欠損	覆土中	

番号	器 種	長さ	径	厚さ	重量	材 質	特 徴	出土位置	備 考
M 12	紡錘車	(4.8)	4.5	0.4	(17.8)	鉄	欠損 軸部断面方形	覆土中層	PL99

第 100 号 竪穴建物跡 (第 146 ～ 148 図)

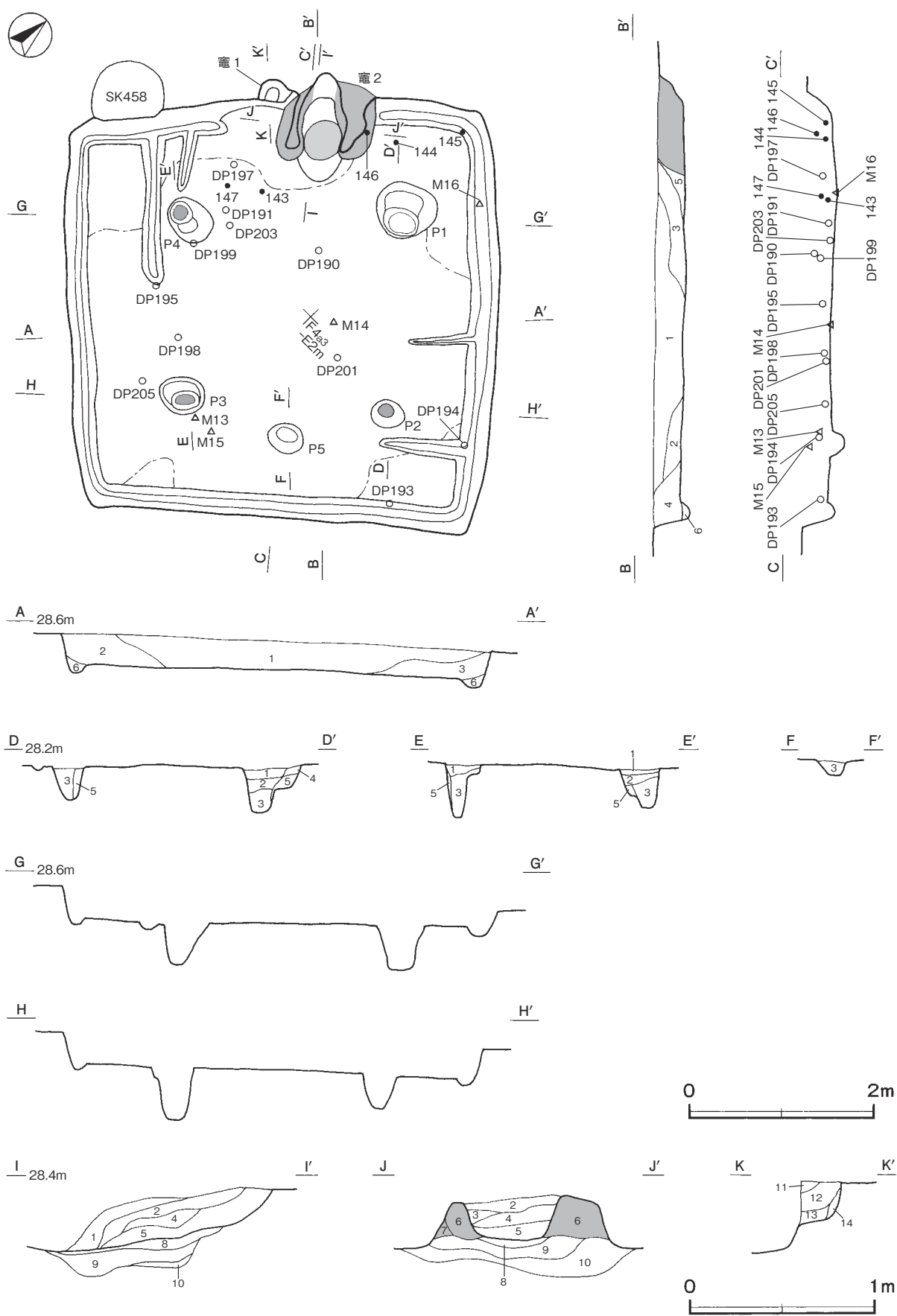
**位置** 調査D区中央部の F 4 a3 区、標高 28 m ほどの台地平坦部に位置している。

**重複関係** 第 458 号土坑に掘り込まれている。

**規模と形状** 長軸 4.70 m、短軸 4.62 m の方形で、主軸方向は N - 47° - W である。壁は高さ 26 ～ 35cm で、ほぼ直立している。

**床** 平坦で、コーナー部を除いて踏み固められている。壁下には壁溝が巡っている。北西壁及び北東壁下から中央に向かって、幅 5 ～ 22cm、長さ 65 ～ 157cm の間仕切り溝 4 条を確認した。

**竈** 2 か所。竈 1 は北西壁中央部、竈 2 はそれよりやや東寄りに付設されている。竈 1 は北西壁外に煙道部の掘り込みのみを確認した。規模は、長さ 23cm、横幅は 28cm で、煙道部は直立している。竈 2 の規模は、焚口部から煙道部まで 118cm で、燃焼部幅は 40cm である。袖部は、床面から 15 ～ 22cm 掘りくぼめた部分に第 9 ・ 10 層を埋土して、その上に粘土粒子を主体とする第 6 ・ 7 層を積み上げて構築されている。146 が補強材として使用されている。火床部は第 8 層上面を使用しており、火床面は火熱を受けて赤変硬化している。煙道部は壁外に 20cm 掘り込まれ、火床部から外傾している。第 3 層は天井部の崩落土層である。竈 1 の袖部が遺存していないことから、竈 1 から竈 2 へ作り替えられている。



第 146 図 第 100 号竖穴建物跡実測図



**竈土層解説 (各竈共通)**

- |       |                         |        |                        |
|-------|-------------------------|--------|------------------------|
| 1 黒褐色 | ローム粒子・焼土粒子少量            | 8 極暗褐色 | 焼土粒子多量                 |
| 2 黒褐色 | 炭化物多量, ローム粒子・粘土粒子少量     | 9 褐色   | ロームブロック多量, 焼土粒子微量      |
| 3 赤褐色 | 焼土ブロック・炭化粒子中量, ローム粒子微量  | 10 褐色  | ロームブロック多量, 炭化粒子少量      |
| 4 灰褐色 | 粘土粒子多量, 炭化粒子中量, ローム粒子少量 | 11 黒褐色 | ロームブロック・粘土粒子少量, 焼土粒子微量 |
| 5 黒褐色 | ロームブロック・焼土ブロック・粘土粒子少量   | 12 褐色  | ローム粒子・粘土粒子中量, 焼土ブロック微量 |
| 6 灰褐色 | 焼土粒子・粘土粒子少量             | 13 暗褐色 | ローム粒子・粘土粒子中量           |
| 7 褐色  | 粘土粒子中量, 焼土粒子微量          | 14 褐色  | ロームブロック・粘土粒子多量         |

**ピット** 5か所。P 1～P 4は深さ31～45cmで、規模と配置から主柱穴である。P 5は深さ16cmで、南東部の中央に位置していることから、出入口施設に伴うピットと考えられる。第1～3層は柱抜き取り後の堆積土、第4・5層は埋土である。P 2～P 4の底面に、柱のあたりを確認した。

**ピット土層解説 (各ピット共通)**

- |       |           |      |              |
|-------|-----------|------|--------------|
| 1 暗褐色 | ロームブロック少量 | 4 褐色 | ローム粒子・粘土粒子少量 |
| 2 褐色  | ロームブロック少量 | 5 褐色 | ロームブロック中量    |
| 3 暗褐色 | ロームブロック中量 |      |              |

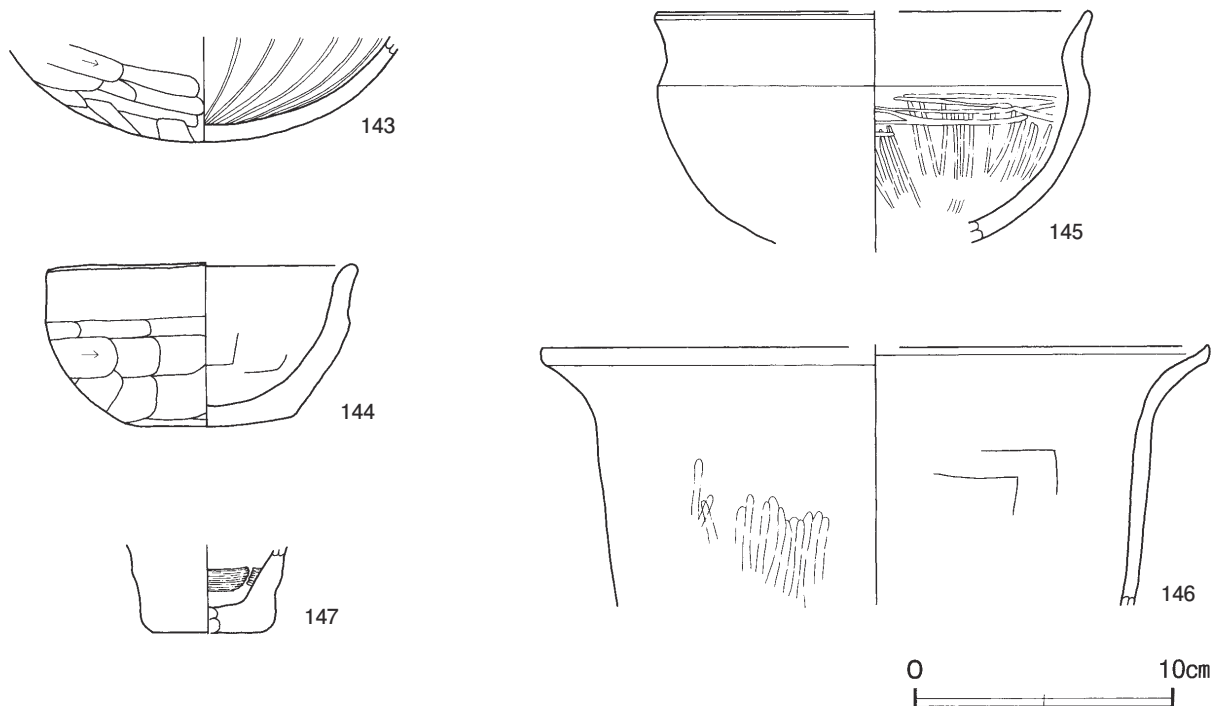
**覆土** 6層に分層できる。多くの層にロームブロックが含まれていることから、埋め戻されている。

**土層解説**

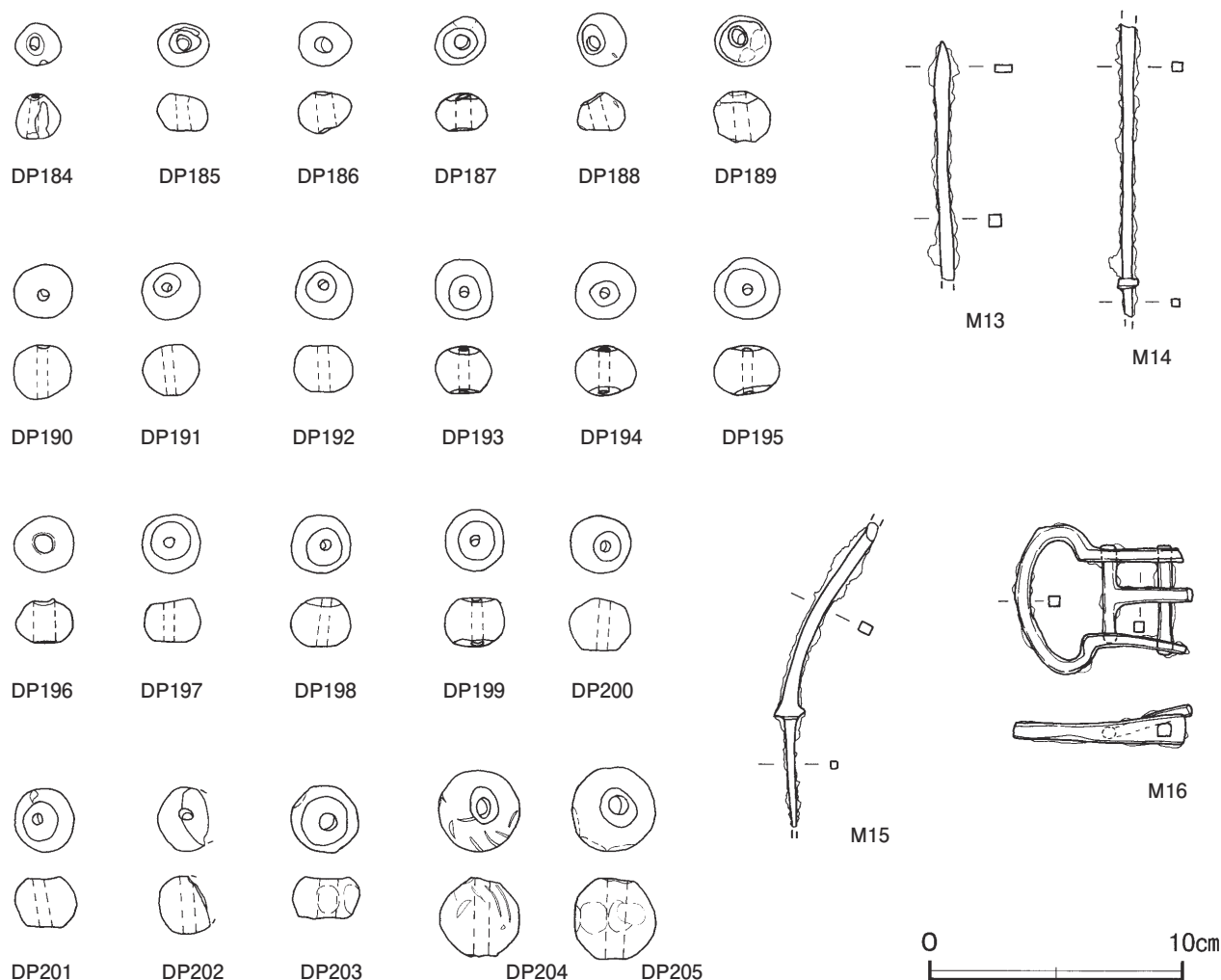
- |       |             |       |                |
|-------|-------------|-------|----------------|
| 1 暗褐色 | ロームブロック中量   | 4 褐色  | ロームブロック少量      |
| 2 暗褐色 | ロームブロック多量   | 5 暗褐色 | ロームブロック・粘土粒子少量 |
| 3 暗褐色 | 焼土粒子・粘土粒子少量 | 6 褐色  | ローム粒子微量        |

**遺物出土状況** 土師器片 564点 (坏類 147, 椀 2, 鉢 1, 甕類 412, 甗 1, 手捏土器 1), 須恵器片 15点 (坏身 5, 坏蓋 3, 甕 7), 土製品 23点 (土玉 22, 支脚 1), 金属製品 5点 (刀子 1, 鎌 3, 鉸具 1) が、北西部の覆土中層から下層を中心に出土している。出土した土器の大半は小破片で、埋め戻す際に混入したものと考えられる。M 14・M 16は床面から出土していることから、廃絶時に遺棄されたものとみられる。144・145は北壁際の覆土下層からそれぞれ出土していることから、埋め戻す過程で投棄されたものとみられる。

**所見** 時期は、出土土器や重複関係から、6世紀中葉に比定できる。



第 147 図 第 100 号 竪穴建物跡出土遺物実測図 (1)



第 148 図 第 100 号竪穴建物跡出土遺物実測図 (2)

第 100 号竪穴建物跡出土遺物観察表 (第 147・148 図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
143	土師器	坏	-	(4.0)	-	長石・石英	明赤褐	普通	体部外面へラ削り 内面放射状のへら磨き	覆土下層	20%
144	土師器	椀	11.6	6.4	6.6	長石・石英	にぶい褐	普通	口縁部外・内面横ナデ 内面へラナデ 体部外面横位のへら削り	覆土下層	60% PL63
145	土師器	椀	[16.8]	(9.0)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい橙	普通	口縁部外・内面横ナデ 内面へら磨き 体部外面へラ削り後へラナデ	覆土下層	10%
146	土師器	甑	[25.8]	(10.0)	-	長石・石英・雲母	にぶい褐	普通	口縁部外・内面横ナデ 内面へラナデ 体部外面縦位のへら磨き	袖構築材	10%
147	土師器	手捏土器	-	(3.4)	[4.2]	長石・石英	にぶい褐	普通	体部外面ナデ 内面ハケ目調整	覆土中層	40%

番号	器種	径	厚さ	孔径	重量	胎土	色調	特徴	出土位置	備考
DP184	土玉	16~18	1.8	0.4~0.5	(4.79)	長石・石英・雲母	橙	一部欠損 ナデ 一方向からの穿孔	覆土中	PL85
DP185	土玉	17~20	1.5	0.6	5.21	長石・石英	にぶい橙	ナデ 一方向からの穿孔 両端部を平坦に成形	覆土中	PL85
DP186	土玉	18~21	1.6	0.7	5.55	長石・雲母	橙	ナデ 一方向からの穿孔	覆土中	PL85
DP187	土玉	19~20	1.5	0.6	5.67	長石・石英	にぶい黄褐	ナデ 一方向からの穿孔 両端部を平坦に成形	覆土中	PL85
DP188	土玉	19~21	1.5	0.6	5.83	長石・石英	橙	ナデ 一方向からの穿孔 両端部を平坦に成形	覆土中	PL85
DP189	土玉	20~22	2.0	0.5~0.6	8.36	長石・石英	橙	ナデ 一方向からの穿孔 指頭痕	覆土中	PL85
DP190	土玉	22~23	2.2	0.4	11.0	長石・石英	橙	ナデ 一方向からの穿孔	覆土中層	PL85
DP191	土玉	22~23	2.0	0.4	10.4	長石・石英	にぶい黄橙	ナデ 一方向からの穿孔 両端部を平坦に成形	覆土下層	PL86
DP192	土玉	22~23	1.8	0.4	9.93	長石・石英	橙	ナデ 一方向からの穿孔 両端部を平坦に成形	覆土中	PL86

番号	器種	径	厚さ	孔径	重量	胎土	色調	特徴	出土位置	備考
DP193	土玉	22～24	1.9	0.4	10.2	長石・石英・雲母	にぶい橙	ナデ 一方向からの穿孔 両端部を平坦に成形	覆土下層	PL86
DP194	土玉	22～24	2.0	0.4	10.3	長石・石英・雲母	橙	ナデ 一方向からの穿孔 両端部を平坦に成形	覆土中層	PL86
DP195	土玉	22～26	2.0	2.4	12.0	長石・石英・雲母	にぶい橙	ナデ 一方向からの穿孔 両端部を平坦に成形	覆土下層	PL86
DP196	土玉	2.3	1.8	0.8～0.9	7.58	長石・石英・雲母	橙	ナデ 一方向からの穿孔	覆土中	PL86
DP197	土玉	2.3	1.7	0.4	10.0	長石・石英	にぶい橙	ナデ 一方向からの穿孔 両端部を平坦に成形	覆土中層	PL86
DP198	土玉	23～24	1.9	0.4	12.0	長石・石英	にぶい橙	ナデ 一方向からの穿孔 両端部を平坦に成形	覆土下層	PL86
DP199	土玉	23～24	2.0	0.4	10.9	長石・石英・雲母	橙	ナデ 一方向からの穿孔 両端部を平坦に成形	覆土中層	PL86
DP200	土玉	23～24	2.0	0.4	12.4	長石・石英	にぶい黄橙	ナデ 一方向からの穿孔 両端部を平坦に成形	覆土中	PL86
DP201	土玉	24～25	2.0	0.5	12.0	長石・石英	橙	ナデ 一方向からの穿孔 両端部を平坦に成形	覆土下層	PL86
DP202	土玉	2.6	2.2	0.5	(10.7)	長石・石英	にぶい橙	欠損 ナデ 一方向からの穿孔	覆土中	
DP203	土玉	2.6	1.6	0.7	12.9	長石・石英	にぶい橙	ナデ 一方向からの穿孔 両端部を平坦に成形 指頭痕	床面	PL86
DP204	土玉	3.2	3.1	0.6～0.8	28.8	長石・石英	にぶい黄橙	ナデ 一方向からの穿孔 擦痕有	覆土中	PL86
DP205	土玉	3.3～3.4	3.2	0.7～0.8	34.5	長石・石英	にぶい赤褐	ナデ 一方向からの穿孔 指頭痕	覆土下層	PL86

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
M 13	鏝	(9.4)	0.7	0.5	(14.2)	鉄	茎部欠損 柳葉状 断面長方形	覆土中層	
M 14	鏝	(11.7)	0.5	0.3	(11.7)	鉄	鏝身先端部・茎部欠損 断面長方形	床面	
M 15	鏝	(12.2)	1.2	0.3～0.4	(15.2)	鉄	鏝身先端部・茎部欠損 断面長方形 鏝身部中央より湾曲	覆土上層	
M 16	鉸具	7.0	5.9	1.1	44.1	鉄	弓金具固定式 刺金可動式	床面	PL99

### 第108号竪穴建物跡（第149・150図）

**位置** 調査D区中央部のF 5c1区、標高28mほどの台地平坦部に位置している。

**重複関係** 第107・115号竪穴建物、第641・722・723号土坑に掘り込まれている。

**規模と形状** 北部が第115号竪穴建物、南西部が第107号竪穴建物に掘り込まれているため、北西・南東軸は4.39mで、北東・南西軸は3.77mしか確認できなかった。平面形は方形または長方形と推定でき、主軸方向はN-31°-Wである。壁は高さ20～24cmで、ほぼ直立している。

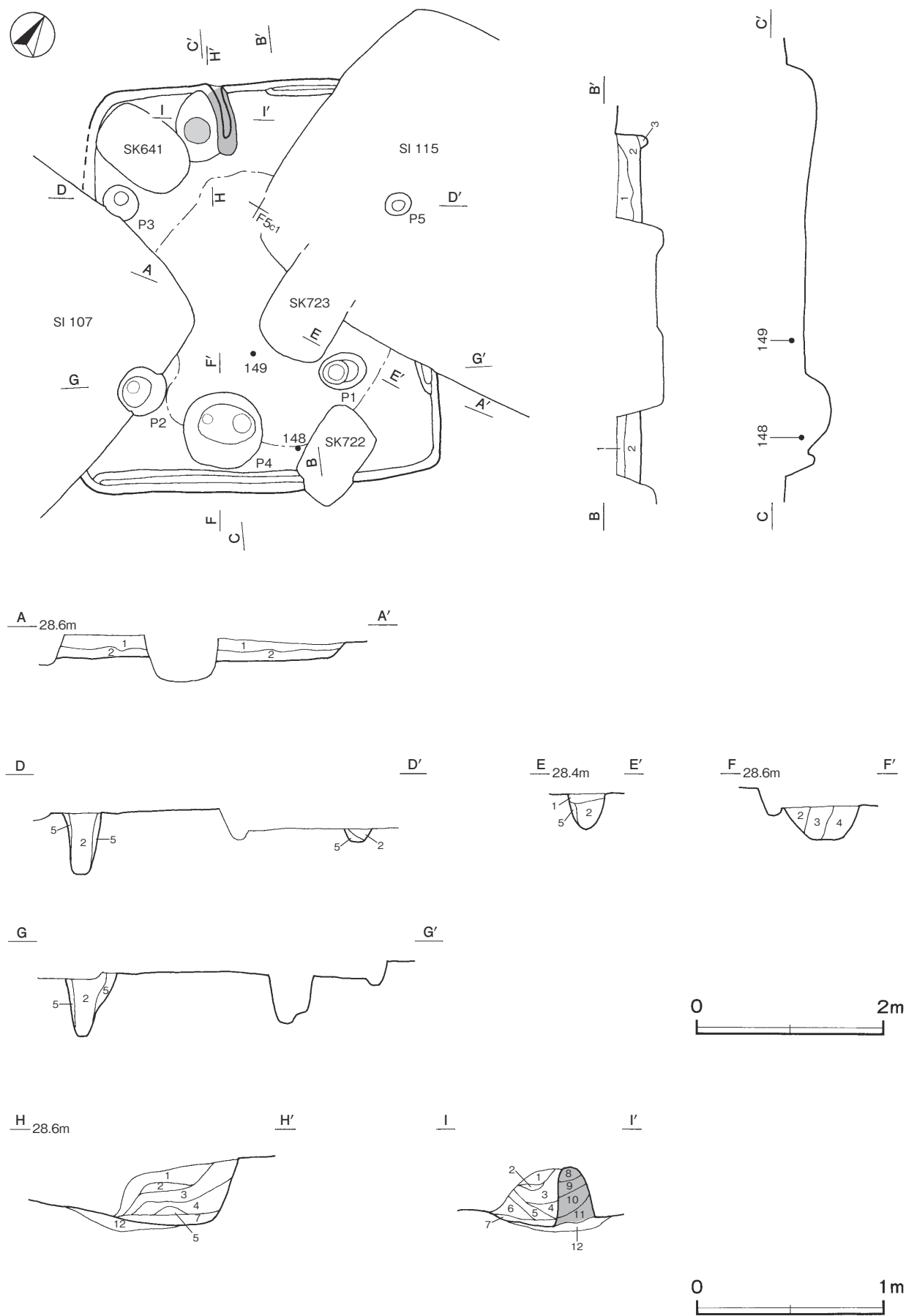
**床** 平坦で、中央部が踏み固められている。東部・西部を除いて、壁下には壁溝が巡っている。

**竈** 北西壁やや西寄りに付設されている。規模は焚口部から煙道部まで84cmで、燃焼部幅は47cmである。袖部は、床面から5cm掘りくぼめた部分に第12層を埋土して、粘土ブロックを主体とする第8～11層を積み上げて構築されている。火床部は床面を8cmほど掘り込み、ロームブロックを含む第12層を埋土して構築されており、火床面は火熱を受けて赤変硬化している。第7層は竈使用時の堆積土層である。煙道部は壁外にわずかに掘り込まれ、火床面からほぼ直立している。

#### 竈土層解説

- |        |                     |          |                       |
|--------|---------------------|----------|-----------------------|
| 1 黒褐色  | 焼土粒子・炭化粒子少量、粘土粒子微量  | 7 にぶい赤褐色 | 焼土ブロック中量、炭化粒子少量       |
| 2 灰褐色  | 粘土ブロック中量、炭化物・焼土粒子微量 | 8 明褐灰色   | 粘土ブロック多量、焼土粒子微量       |
| 3 暗赤褐色 | 焼土粒子・炭化粒子少量         | 9 明褐灰色   | 粘土ブロック多量、焼土粒子少量       |
| 4 赤褐色  | 焼土粒子中量、炭化粒子・粘土粒子微量  | 10 明褐灰色  | 粘土ブロック多量、焼土粒子・炭化粒子微量  |
| 5 黒褐色  | 炭化粒子中量、焼土粒子・粘土粒子微量  | 11 褐灰色   | 粘土ブロック中量、ローム粒子・焼土粒子微量 |
| 6 暗赤褐色 | 焼土粒子中量、炭化粒子微量       | 12 暗褐色   | ロームブロック少量、炭化粒子微量      |

**ピット** 5か所。P1～P3は深さ44～67cmで、規模と配置から支柱穴である。第1～4層は柱抜き取り後の堆積土、第5層は埋土である。P4は深さ34cmで、南東壁際の中央部やや西寄りに位置していることから、出入口施設に伴うピットと考えられる。P5は深さ35cmで、配置から補助柱穴と考えられる。



第 149 図 第 108 号竪穴建物跡実測図

ピット土層解説 (各ピット共通)

- |                 |                 |
|-----------------|-----------------|
| 1 暗褐色 ロームブロック微量 | 4 黒褐色 ロームブロック少量 |
| 2 暗褐色 ロームブロック少量 | 5 褐色 ロームブロック少量  |
| 3 黒褐色 ロームブロック微量 |                 |

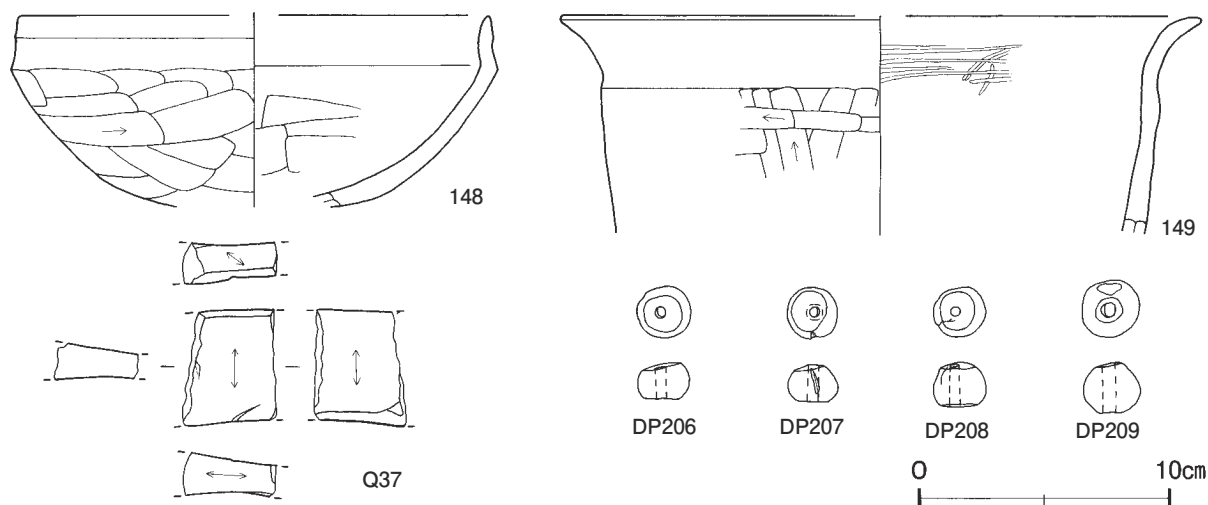
覆土 3層に分層できる。周囲から流れ込んだ堆積状況を示していることから、自然堆積である。

土層解説

- |                 |                 |
|-----------------|-----------------|
| 1 黒褐色 ローム粒子微量   | 3 暗褐色 ロームブロック少量 |
| 2 黒褐色 ロームブロック微量 |                 |

遺物出土状況 土師器片 246点 (坏類 58, 甕類 185, 甌 3), 土製品 4点 (土玉), 石器 1点 (砥石), 鉄滓 5点のほか、縄文土器片 2点 (深鉢) が、南東部の覆土中層から下層を中心に出土している。148は南東壁際の覆土下層から出土していることから、埋没する過程で流れ込んだものとみられる。

所見 時期は、出土土器や重複関係から、6世紀後葉に比定できる。



第150図 第108号竪穴建物跡出土遺物実測図

第108号竪穴建物跡出土遺物観察表 (第150図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
148	土師器	坏	[18.6]	(7.6)	-	長石・石英・赤色粒子	橙	普通	口縁部外・内面横ナデ 体部外面へら削り 内面へらナデ	覆土下層	30%
149	土師器	甌	[25.3]	(8.7)	-	長石・石英・赤色粒子	明赤褐	普通	口縁部外・内面横ナデ 体部外面へら削り 内面へら磨き	覆土中層	5%

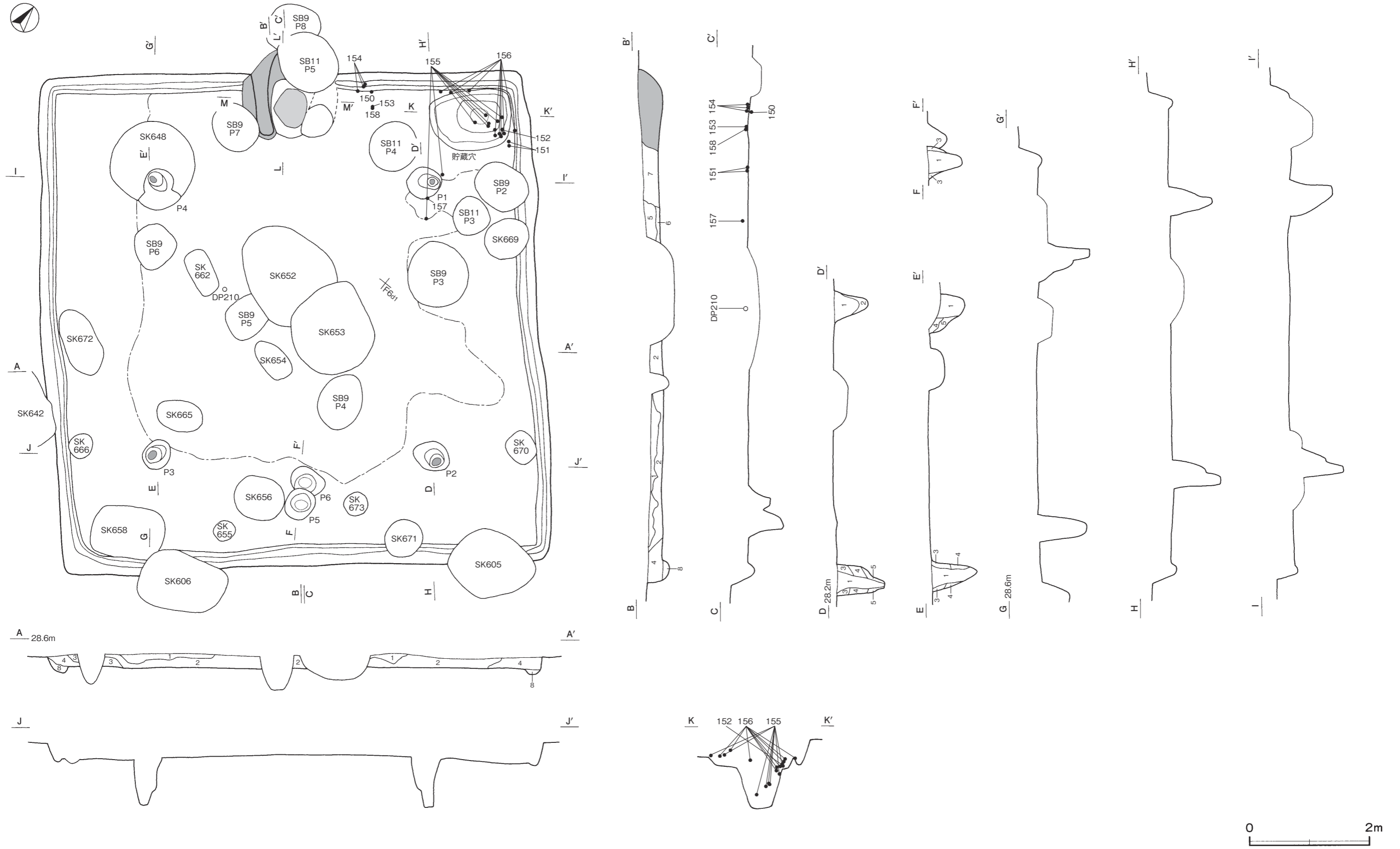
番号	器種	径	厚さ	孔径	重量	胎土	色調	特徴	出土位置	備考
DP206	土玉	2.0~2.1	1.4	0.4	7.48	長石	黄灰	ナデ 一方向からの穿孔 両端部を平坦に成形	覆土中	
DP207	土玉	2.0~2.1	1.5	0.4	5.97	長石	にぶい橙	ナデ 一方向からの穿孔	覆土中	
DP208	土玉	2.0~2.1	1.7	0.4	7.66	石英	にぶい黄橙	ナデ 一方向からの穿孔 両端部を平坦に成形	覆土中	
DP209	土玉	2.3	2.0	0.5~0.6	10.0	長石・石英	にぶい黄橙	ナデ 一方向からの穿孔 片端部を平坦に成形	覆土中	

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
Q 37	砥石	4.6	(3.7)	1.7	(36.5)	凝灰岩	欠損 砥面4面	覆土中	PL95

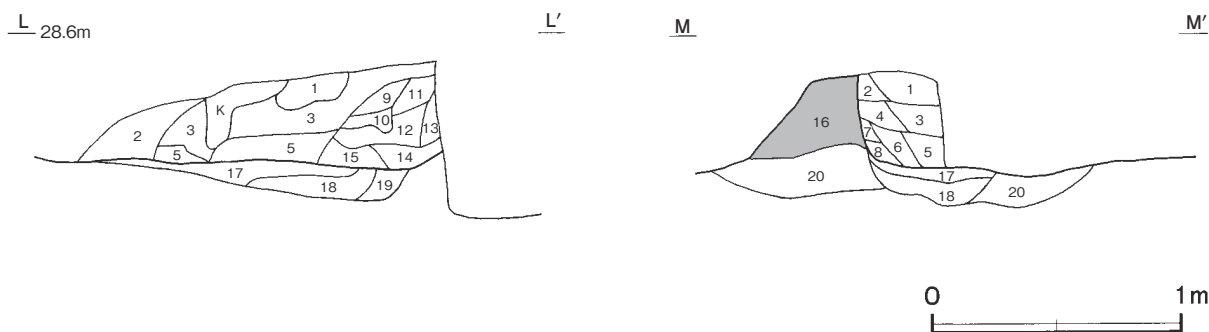
第112号竪穴建物跡 (第151~154図)

位置 調査D区中央部のF 5 d0区, 標高28mほどの台地平坦部に位置している。

重複関係 第9・11号掘立柱建物, 第605・606・642・648・652~656・658・662・665・666・669~673号土坑に掘り込まれている。



第151図 第112号竖穴建物跡実測図(1)



第 152 図 第 112 号竪穴建物跡実測図 (2)

**規模と形状** 長軸 8.28 m，短軸 8.18 m の方形で，主軸方向は N - 40° - W である。壁は高さ 18 ～ 29cm で，ほぼ直立している。

**床** 平坦で，中央部が踏み固められている。壁下には壁溝が巡っている。

**竈** 北西壁中央部に付設されている。規模は燃烧部幅は 58cm で，焚口部から煙道部までは 149cm と推定できる。袖部は，床面から 12cm 掘りくぼめた部分に第 20 層を埋土して，その上に粘土ブロックを主体とする第 16 層を積み上げて構築されている。火床部は床面を 14cm ほど掘り込み，第 17 ～ 19 層を埋土して構築されており，火床面は火熱を受けて赤変硬化している。

**竈土層解説**

- |                                |                              |
|--------------------------------|------------------------------|
| 1 にぶい黄褐色 粘土ブロック中量，ローム粒子・焼土粒子微量 | 11 褐 灰 色 粘土粒子中量，ローム粒子・炭化粒子微量 |
| 2 灰黄褐色 ローム粒子少量，焼土粒子・炭化粒子微量     | 12 暗 褐 色 焼土ブロック中量，ロームブロック少量  |
| 3 灰黄褐色 焼土粒子少量，ローム粒子・粘土粒子微量     | 13 褐 灰 色 粘土粒子多量，焼土粒子・炭化粒子微量  |
| 4 灰黄褐色 ローム粒子・焼土粒子・粘土粒子微量       | 14 灰黄褐色 ロームブロック中量，粘土粒子少量     |
| 5 灰黄褐色 焼土ブロック中量，ローム粒子・炭化粒子微量   | 15 暗 褐 色 ロームブロック少量，焼土粒子微量    |
| 6 灰 褐 色 焼土粒子多量，ロームブロック・粘土粒子微量  | 16 灰黄褐色 粘土ブロック多量，焼土粒子微量      |
| 7 灰黄褐色 粘土粒子少量，ローム粒子微量          | 17 赤 褐 色 焼土ブロック中量，粘土ブロック少量   |
| 8 暗 褐 色 ローム粒子・焼土粒子・粘土粒子微量      | 18 黒 褐 色 ロームブロック・焼土ブロック少量    |
| 9 灰黄褐色 焼土粒子・粘土粒子少量，ロームブロック微量   | 19 褐 色 ローム粒子・焼土粒子少量          |
| 10 暗 褐 色 ロームブロック中量，焼土粒子微量      | 20 にぶい黄褐色 ロームブロック中量，焼土粒子少量   |

**ピット** 6 か所。P 1 ～ P 4 は深さ 67 ～ 83cm で，規模と配置から支柱穴である。第 1 ・ 2 層は柱抜き取り後の堆積土，第 3 ～ 5 層は埋土である。P 5 ・ P 6 は深さ 54cm ・ 36cm で，南東壁際の中央部に位置していることから，出入り口施設に伴うピットと考えられる。P 1 ～ P 4 の底面に，柱のあたりを確認した。

**ピット土層解説 (各ピット共通)**

- |                      |                  |
|----------------------|------------------|
| 1 褐 色 ローム粒子少量        | 4 にぶい黄褐色 ローム粒子少量 |
| 2 暗 褐 色 ローム粒子・焼土粒子微量 | 5 褐 色 ロームブロック少量  |
| 3 暗 褐 色 ローム粒子中量      |                  |

**貯蔵穴** 北コーナー部に位置している。長径 135cm，短径 100cm の楕円形で，深さは 89cm である。底面は U 字状で，壁はほぼ直立している。

**覆土** 8 層に分層できる。多くの層にロームブロックが含まれ，不規則な堆積状況を示していることから埋め戻されている。

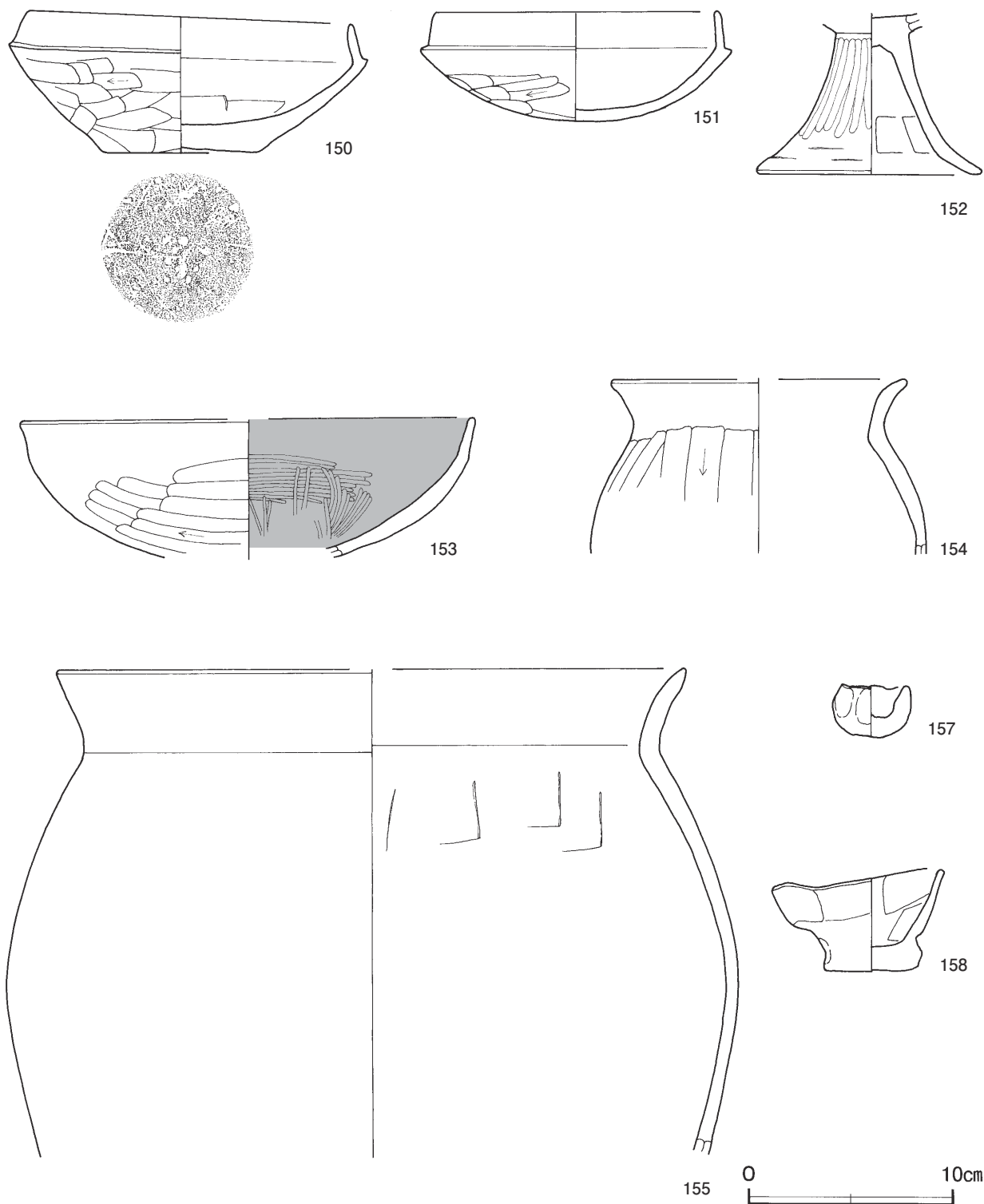
**土層解説**

- |                             |                                |
|-----------------------------|--------------------------------|
| 1 にぶい黄褐色 ロームブロック中量          | 5 暗 褐 色 ローム粒子少量，焼土粒子微量         |
| 2 暗 褐 色 ロームブロック多量，炭化粒子少量    | 6 暗 褐 色 ローム粒子中量，焼土粒子・炭化粒子微量    |
| 3 暗 褐 色 ローム粒子少量，焼土粒子・炭化粒子微量 | 7 にぶい黄褐色 ローム粒子多量，焼土粒子少量，炭化粒子微量 |
| 4 暗 褐 色 ロームブロック中量，炭化粒子微量    | 8 にぶい黄褐色 ローム粒子中量               |

**遺物出土状況** 土師器片 1,435 点 (坏類 379，高坏 10，鉢 1，甕類 1,020，小形甕 4，甌 19，手捏土器 2)，土製品 11 点 (土玉 9，土錘 1，管状土錘 1) のほか，縄文土器片 23 点 (深鉢) が，北部の覆土下層から床面を

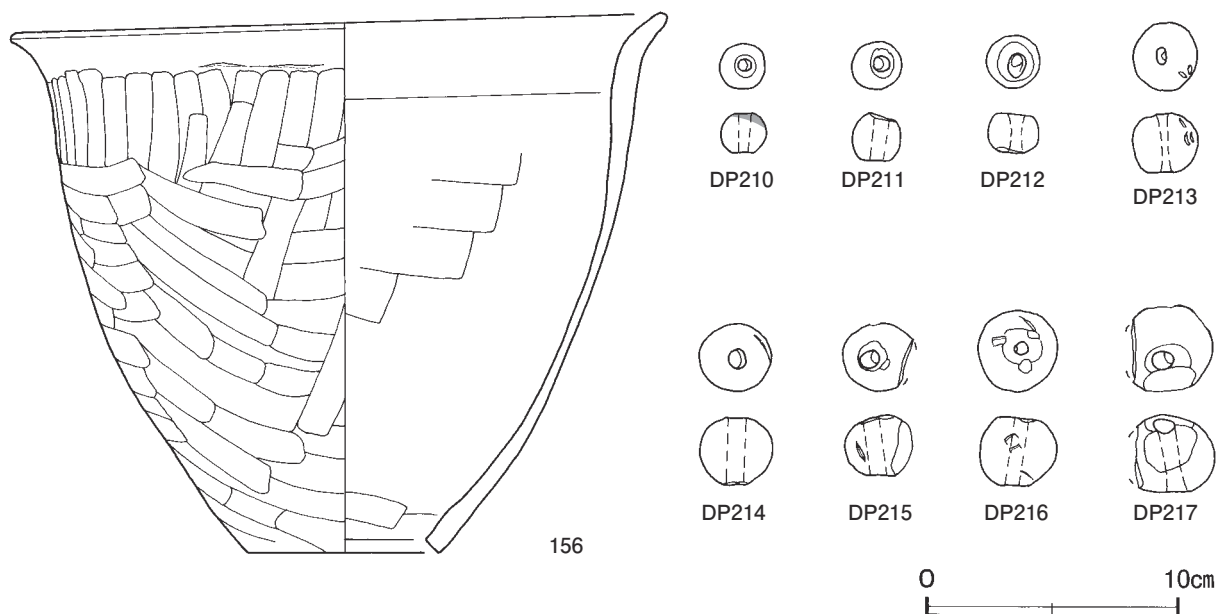
中心に出土している。150・151・158 は完存率が高く、いずれも床面から出土していることから、廃絶時に遺棄されたものとみられる。156 は貯蔵穴の覆土上層と床面から出土した破片が接合していることから、破碎して投棄されたものとみられる。

**所見** 時期は、出土土器や重複関係から、6世紀後葉に比定できる。



第 153 図 第 112 号 竪穴建物跡出土遺物実測図 (1)





第 154 図 第 112 号竪穴建物跡出土遺物実測図 (2)

第 112 号竪穴建物跡出土遺物観察表 (第 153・154 図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
150	土師器	坏	15.7	7.0	7.4	長石・石英・赤色粒子	明赤褐	普通	口縁部外・内面横ナデ 体部外面ヘラ削り 内面ヘラナデ 底部多方向のヘラ削り	床面	90%
151	土師器	坏	13.8	5.3	-	長石・石英・雲母	にぶい黄橙	普通	口縁部外・内面横ナデ 体部外面ヘラ削り 内面ヘラナデ	床面	70%
152	土師器	高坏	-	(7.8)	10.7	石英	にぶい褐	普通	脚部外面ヘラ磨き 内面ヘラナデ	貯蔵穴上層	40%
153	土師器	鉢	[22.0]	(6.8)	-	長石・石英	にぶい黄橙	普通	口縁部外・内面横ナデ 体部外面ヘラ削り 内面ヘラ磨き	床面	30%
154	土師器	甕	[14.0]	(8.5)	-	長石・石英	灰黄褐	普通	口縁部外・内面横ナデ 体部外面縦位のヘラ削り	床面	20%
155	土師器	甕	[30.6]	(23.7)	-	長石・石英・雲母	にぶい橙	普通	体部外面摩滅 内面ヘラナデ	貯蔵穴下層 床面	30%
156	土師器	甕	25.6	21.4	7.7	長石・石英	橙	普通	口縁部外・内面横ナデ 体部外面ヘラ削り 内面ヘラナデ	貯蔵穴上層 床面	80% PL64
157	土師器	手捏土器	3.2	2.5	-	長石・石英	にぶい橙	普通	体部外・内面ナデ 指頭痕	覆土下層	100% PL63
158	土師器	手捏土器	8.3	5.0	4.5	長石・石英・赤色粒子	橙	普通	体部外・内面ヘラナデ	床面	60%

番号	器種	径	厚さ	孔径	重量	胎土	色調	特徴	出土位置	備考
DP210	土玉	1.8	1.6	0.5	5.38	長石・石英	橙	ナデ 一方向からの穿孔 片端を平坦に成形	覆土下層	
DP211	土玉	1.9	1.9	0.6	6.29	長石・石英	橙	ナデ 一方向からの穿孔	覆土中	
DP212	土玉	20~22	1.6	0.7~0.9	7.62	長石・石英	橙	ナデ 二方向からの穿孔 片端を平坦に成形	覆土中	
DP213	土玉	26~27	2.4	0.5~0.7	15.6	長石・石英	橙	ナデ 一方向からの穿孔	覆土中	
DP214	土玉	27~29	2.7	0.7	20.0	長石・石英・赤色粒子	橙	ナデ 一方向からの穿孔 片端を平坦に成形	覆土中	
DP215	土玉	2.8	2.4	0.7	(16.6)	長石・石英	にぶい黄橙	一部欠損 ナデ 一方向からの穿孔	覆土中	
DP216	土玉	3.1~3.2	2.8	0.5~0.6	27.8	長石・石英	にぶい黄橙	ナデ 一方向からの穿孔 両端を平坦に成形	覆土中	
DP217	土玉	(3.4)	3.1	0.8	(29.9)	長石・石英	にぶい橙	一部欠損 ナデ 一方向からの穿孔	覆土中	

第 114 号竪穴建物跡 (第 155・156 図)

位置 調査D区中央部のF 5 d3区, 標高 28 mほどの台地平坦部に位置している。

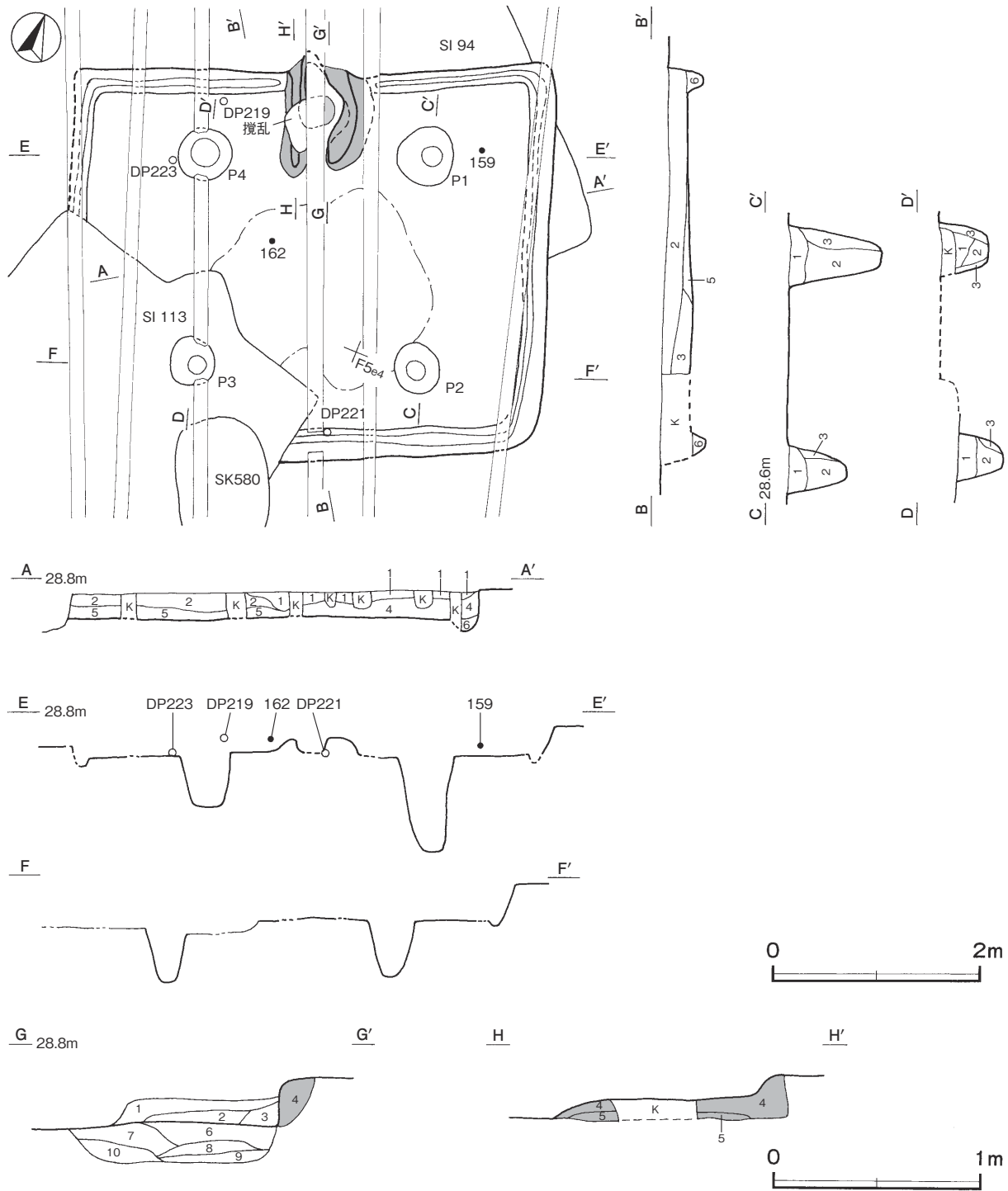
重複関係 第 94 号竪穴建物跡を掘り込み, 第 113 号竪穴建物, 第 580 号土坑に掘り込まれている。

規模と形状 西壁が攪乱を受けているため, 南北軸は 3.76 mで, 東西軸は 4.68 mしか確認できなかった。平

面形は長方形と推定でき、主軸方向はN-22°-Wである。壁は高さ11~36cmで、ほぼ直立している。

**床** 平坦で、中央部が踏み固められている。壁下には壁溝が巡っている。

**竈** 北壁中央部に付設されている。遺存状況が悪く、規模は不明である。袖部は床面と同じ高さの地山の上に、粘土ブロックを主体とする第4・5層を積み上げて構築されている。火床部は床面を20cmほど掘り込み、第6~10層を埋土して構築されており、火床面は火熱を受けて赤変硬化している。煙道部は壁外にわずかに掘り込まれていると推定でき、火床面から外傾している。



第155図 第114号竪穴建物跡実測図

竈土層解説

- |        |                          |        |                        |
|--------|--------------------------|--------|------------------------|
| 1 暗褐色  | ロームブロック・焼土粒子・粘土粒子微量      | 6 暗褐色  | 焼土ブロック少量, ローム粒子・炭化粒子微量 |
| 2 黒褐色  | 焼土粒子・炭化粒子少量, ローム粒子微量     | 7 黒褐色  | 炭化物・焼土粒子少量, ローム粒子微量    |
| 3 黒褐色  | ローム粒子微量                  | 8 赤褐色  | 焼土ブロック多量, ローム粒子・炭化粒子少量 |
| 4 灰黄褐色 | 粘土ブロック多量, 焼土粒子微量         | 9 暗褐色  | ローム粒子少量                |
| 5 灰黄褐色 | ロームブロック・粘土ブロック少量, 焼土粒子微量 | 10 暗褐色 | ロームブロック少量, 焼土粒子微量      |

ピット 4か所。P1～P4は深さ48～91cmで、規模と配置から支柱穴である。第1・2層は柱抜き取り後の堆積土、第3層は埋土である。

ピット土層解説 (各ピット共通)

- |       |           |          |                   |
|-------|-----------|----------|-------------------|
| 1 暗褐色 | ローム粒子微量   | 3 にぶい黄褐色 | ロームブロック中量, 焼土粒子微量 |
| 2 黒褐色 | ロームブロック微量 |          |                   |

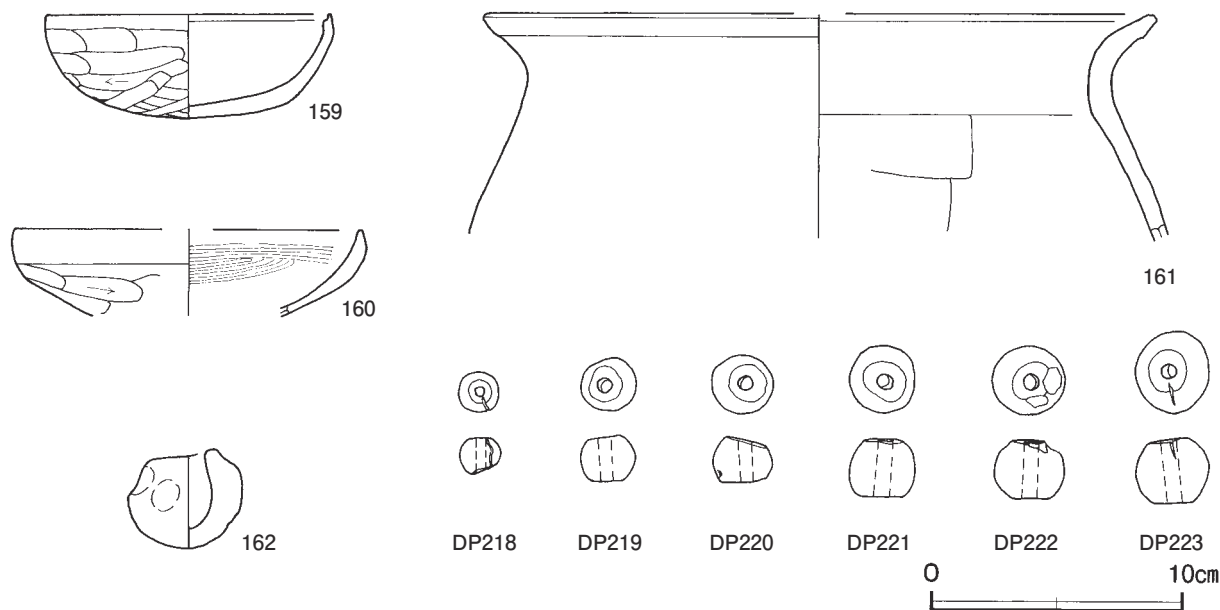
覆土 6層に分層できる。多くの層にロームブロックが含まれていることから、埋め戻されている。

土層解説

- |       |                      |          |                  |
|-------|----------------------|----------|------------------|
| 1 暗褐色 | ロームブロック中量            | 4 にぶい黄褐色 | ロームブロック・焼土ブロック少量 |
| 2 暗褐色 | ローム粒子少量, 焼土粒子微量      | 5 暗褐色    | ローム粒子・焼土粒子微量     |
| 3 黒褐色 | ローム粒子・焼土粒子少量, 炭化粒子微量 | 6 暗褐色    | ロームブロック少量        |

遺物出土状況 土師器片376点(坏類154, 甕類221, 手捏土器1), 土製品6点(土玉)が、北部の覆土中層から下層を中心に出土している。出土した土器の大半は小破片で、埋め戻す際に混入したものと考えられる。DP221・DP223は床面からそれぞれ出土していることから、廃絶時に遺棄されたものとみられる。159は北部、162は中央部の覆土下層からそれぞれ出土していることから、埋め戻す過程で廃棄されたものとみられる。

所見 時期は、出土土器や重複関係から、7世紀中葉に比定できる。



第156図 第114号竪穴建物跡出土遺物実測図

第114号竪穴建物跡出土遺物観察表 (第156図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
159	土師器	坏	11.2	4.2	-	長石・石英	にぶい橙	普通	体部外面ヘラ削り 内面ヘラナデ	覆土下層	80% PL64
160	土師器	坏	[13.6]	(3.4)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい橙	普通	体部外面ヘラ削り 内面ヘラ磨き	竈覆土中	10%
161	土師器	甕	[26.4]	(8.9)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい黄褐	普通	体部外面摩滅 内面ヘラナデ	竈覆土中	10%
162	土師器	手捏土器	2.3	3.9	-	長石・石英	橙	普通	体部外面ナデ 指頭痕	覆土下層	100% PL64

番号	器種	径	厚さ	孔径	重量	胎土	色調	特徴	出土位置	備考
DP218	土玉	1.6	1.4	0.4	3.99	長石・石英	にぶい褐	ナデ 一方向からの穿孔 片端を平坦に成形 擦痕有	覆土中	
DP219	土玉	2.0～2.2	1.8	0.5	8.17	長石・石英	橙	ナデ 一方向からの穿孔 両端を平坦に成形	覆土下層	
DP220	土玉	2.3～2.4	1.8	0.5～0.6	10.1	長石・石英	にぶい褐	ナデ 一方向からの穿孔 両端を平坦に成形	覆土中	
DP221	土玉	2.6～2.7	2.3	0.5	17.2	長石・石英	にぶい黄橙	ナデ 一方向からの穿孔 両端を平坦に成形	床面	
DP222	土玉	2.7～2.9	2.4	0.6	(17.9)	長石・石英	にぶい橙	端部欠損 ナデ 一方向からの穿孔 片端を平坦に成形	覆土中	
DP223	土玉	2.9～3.2	2.6	0.6	23.7	長石・石英	明褐	ナデ 一方向からの穿孔 両端を平坦に成形	床面	

### 第116号竪穴建物跡（第157・158図）

**位置** 調査D区北部のE 5 e6区、標高28mほどの台地平坦部に位置している。

**重複関係** 第697号土坑に掘り込まれている。

**規模と形状** 東部が調査区域外へ延びているため、北西・南東軸は4.85mで、北東・南西軸は4.56mしか確認できなかった。平面形は方形と推定でき、主軸方向はN-40°-Wである。壁は高さ24～28cmで、ほぼ直立している。

**床** 平坦で、壁際を除いて踏み固められている。壁下には壁溝が巡っている。

**竈** 北西壁のほぼ中央部に付設されている。規模は焚口部から煙道部まで124cmで、燃焼部幅は36cmである。袖部は床面と同じ高さの地山の上に、粘土ブロックを主体とする第8～10層を積み上げて構築されている。火床部は床面を7cmほど掘り込み、第11・12層を埋土して構築されており、火床面は火熱を受けて赤変硬化している。DP226は火床面から出土していることから、廃絶時に遺棄されたものとみられる。煙道部は壁外に35cm掘り込まれ、火床部から外傾している。第5層は天井部の崩落土層である。

#### 竈土層解説

1 暗褐色	粘土粒子少量、ロームブロック・焼土粒子微量	7 にぶい黄褐色	ロームブロック中量、粘土粒子少量
2 灰黄褐色	粘土粒子中量、焼土粒子少量、ローム粒子微量	8 暗褐色	粘土ブロック少量、ローム粒子・炭化粒子微量
3 にぶい赤褐色	焼土ブロック多量、ロームブロック中量	9 黒褐色	粘土ブロック・炭化粒子少量
4 にぶい黄褐色	焼土粒子・粘土粒子少量、ローム粒子微量	10 灰黄褐色	粘土ブロック多量、焼土粒子微量
5 暗褐色	ロームブロック・焼土粒子少量、粘土粒子微量	11 暗褐色	焼土ブロック中量
6 極暗赤褐色	焼土ブロック少量、ローム粒子・粘土粒子微量	12 暗褐色	ローム粒子・焼土粒子微量

**ピット** 4か所。P1～P3は深さ53～64cmで、規模と配置から主柱穴である。第1層は柱抜き取り後の堆積土、第2・3層は埋土である。P4は深さ30cmで、南東壁際の中央部に位置していることから、出入り口施設に伴うピットと考えられる。

#### ピット土層解説（各ピット共通）

1 褐色	ロームブロック多量	3 にぶい黄褐色	ローム粒子中量、炭化粒子微量
2 にぶい黄褐色	ロームブロック多量		

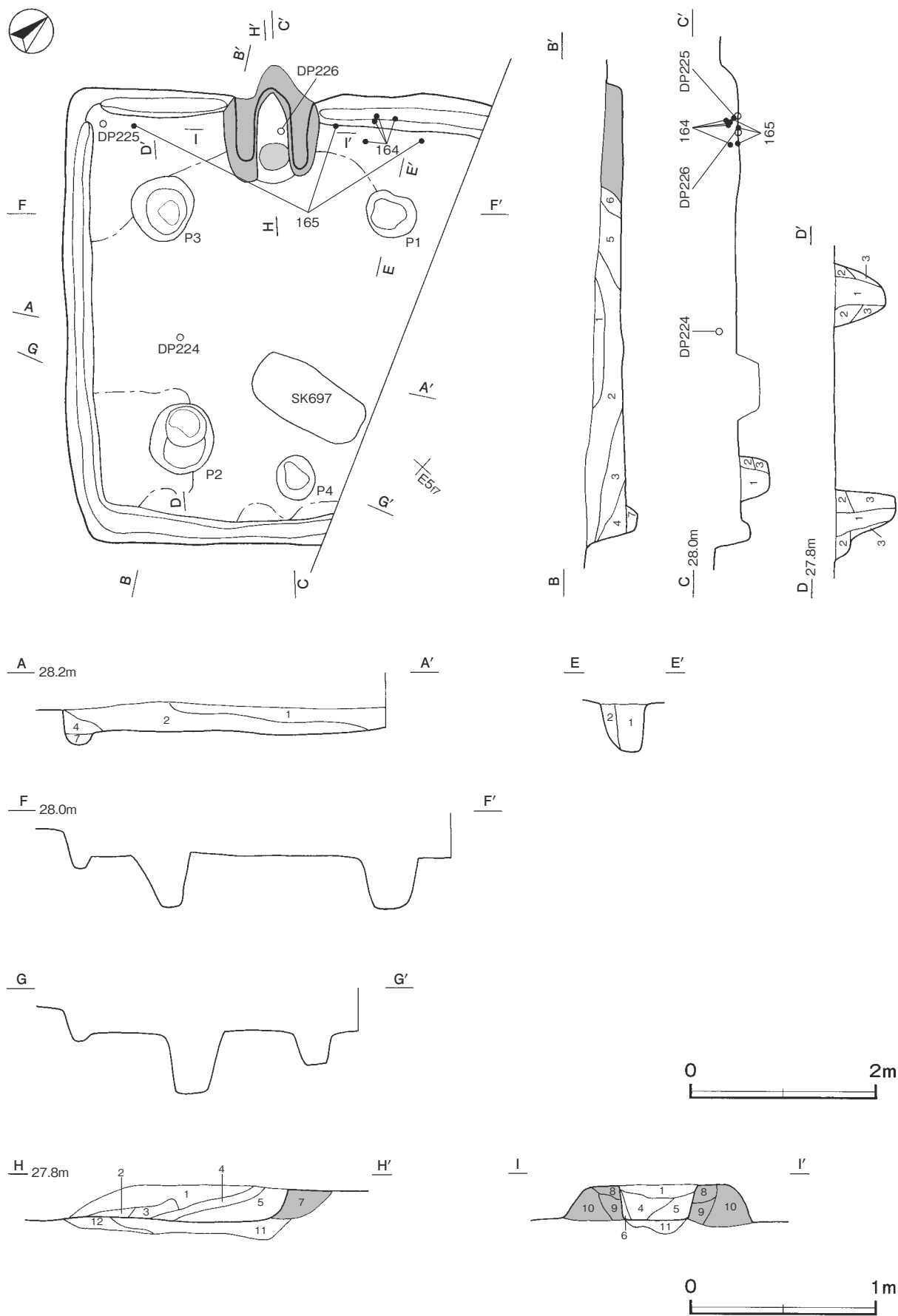
**覆土** 7層に分層できる。周囲から流れ込んだ堆積状況を示していることから、自然堆積である。

#### 土層解説

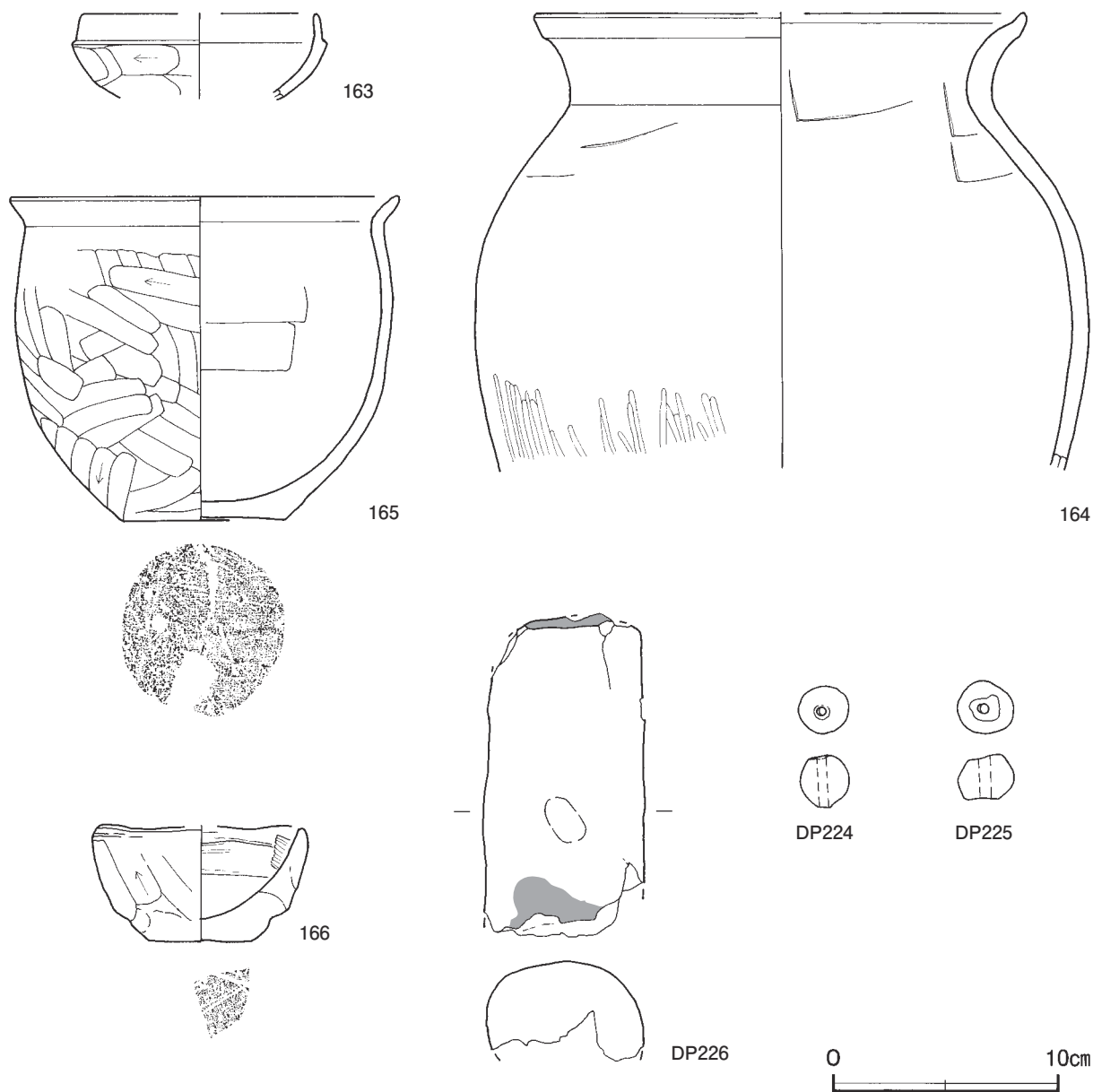
1 暗褐色	ローム粒子・炭化粒子微量	5 にぶい黄褐色	ロームブロック中量、焼土粒子微量
2 暗褐色	ロームブロック少量、焼土粒子・炭化粒子微量	6 にぶい黄褐色	ローム粒子・粘土粒子少量、炭化粒子微量
3 にぶい黄褐色	ロームブロック少量	7 褐色	ロームブロック微量
4 にぶい黄褐色	ローム粒子微量		

**遺物出土状況** 土師器片264点（坏33、高坏2、甕類171、小形甕35、甑21、手捏土器2）、土製品4点（土玉2、支脚2）が、北西部の覆土下層から床面を中心に出土している。165は広域に分散して出土した破片が接合していることから、破碎して廃棄したものとみられる。164は覆土下層から出土した破片が接合していることから、埋没する過程で流れ込んだものとみられる。

**所見** 時期は、出土土器や重複関係から、6世紀中葉に比定できる。



第 157 図 第 116 号竖穴建物跡実測図



第 158 図 第 116 号竪穴建物跡出土遺物実測図

第 116 号竪穴建物跡出土遺物観察表 (第 158 図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
163	土師器	坏	[10.4]	(3.8)	-	長石・石英・赤色粒子	橙	普通	口縁部外・内面横ナデ 体部外面横位のヘラ削り 内面摩滅	覆土中	10%
164	土師器	甕	[21.6]	(20.2)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい橙	普通	口縁部外・内面横ナデ 体部外面縦位のヘラ磨き 内面ヘラナデ	覆土下層	10%
165	土師器	小形甕	17.0	14.5	7.2	長石・石英	橙	普通	口縁部外・内面横ナデ 体部外面ヘラ削り 内面ヘラナデ	床面	60%
166	土師器	手捏土器	[9.1]	5.1	4.6	長石・石英	にぶい黄橙	普通	口縁部外面横ナデ 体部外面ヘラ削り 内面ハケ目調整 底部木葉痕	覆土中	30%

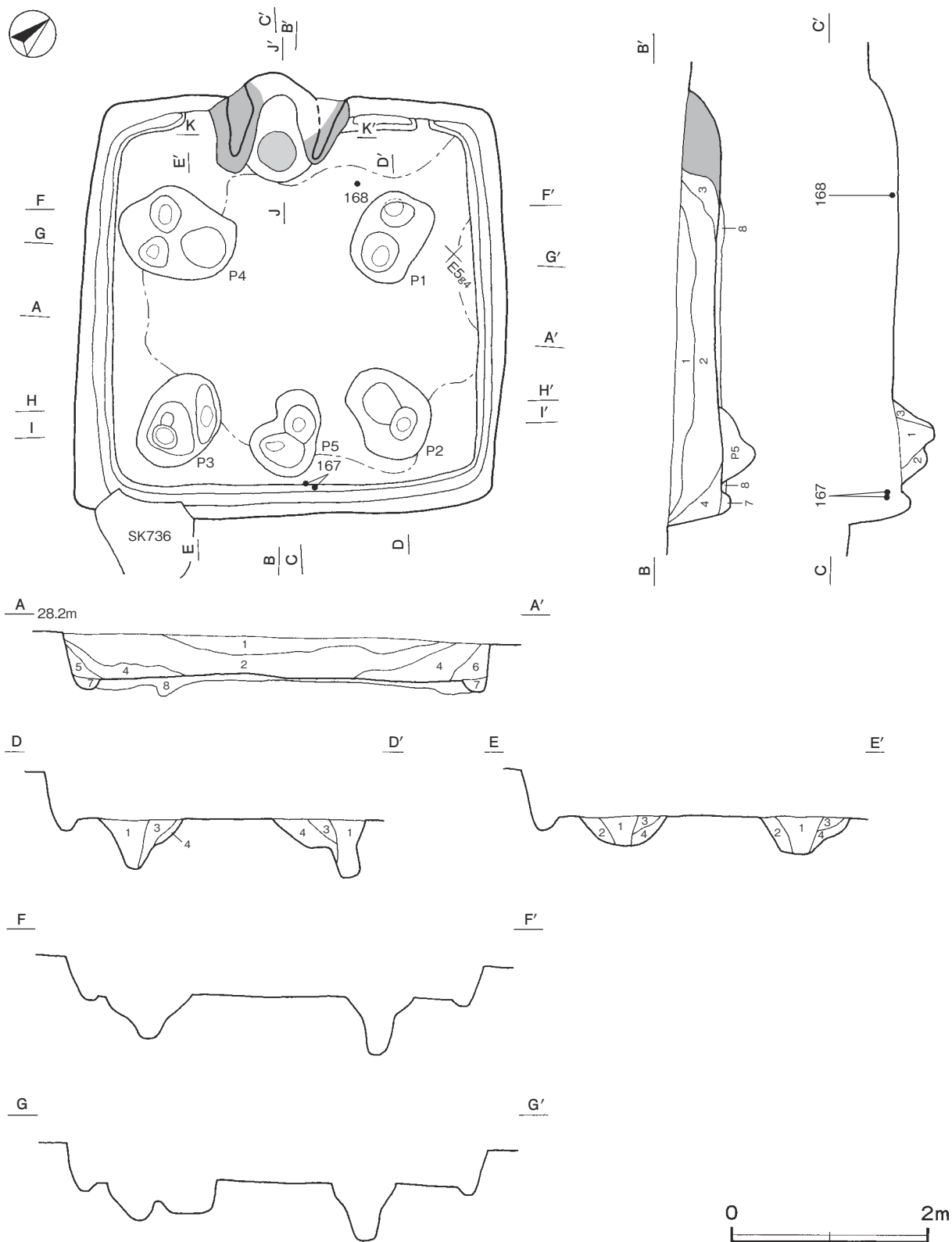
番号	器種	径	厚さ	孔径	重量	胎土	色調	特徴	出土位置	備考
DP224	土玉	20~22	2.3	0.4	9.66	石英	橙	ナデ 一方向からの穿孔	覆土上層	
DP225	土玉	23~25	2.0	0.5	11.7	長石・石英	橙	ナデ 一方向からの穿孔 両端を平坦に成形	床面	

番号	器種	高さ	最小径	最大径	重量	胎土	色調	特徴	出土位置	備考
DP226	支脚	(14.4)	(5.0)	7.1	(503)	長石・石英	にぶい橙	基部欠損 ナデ 指頭痕 被熱痕	火床面	煤付着

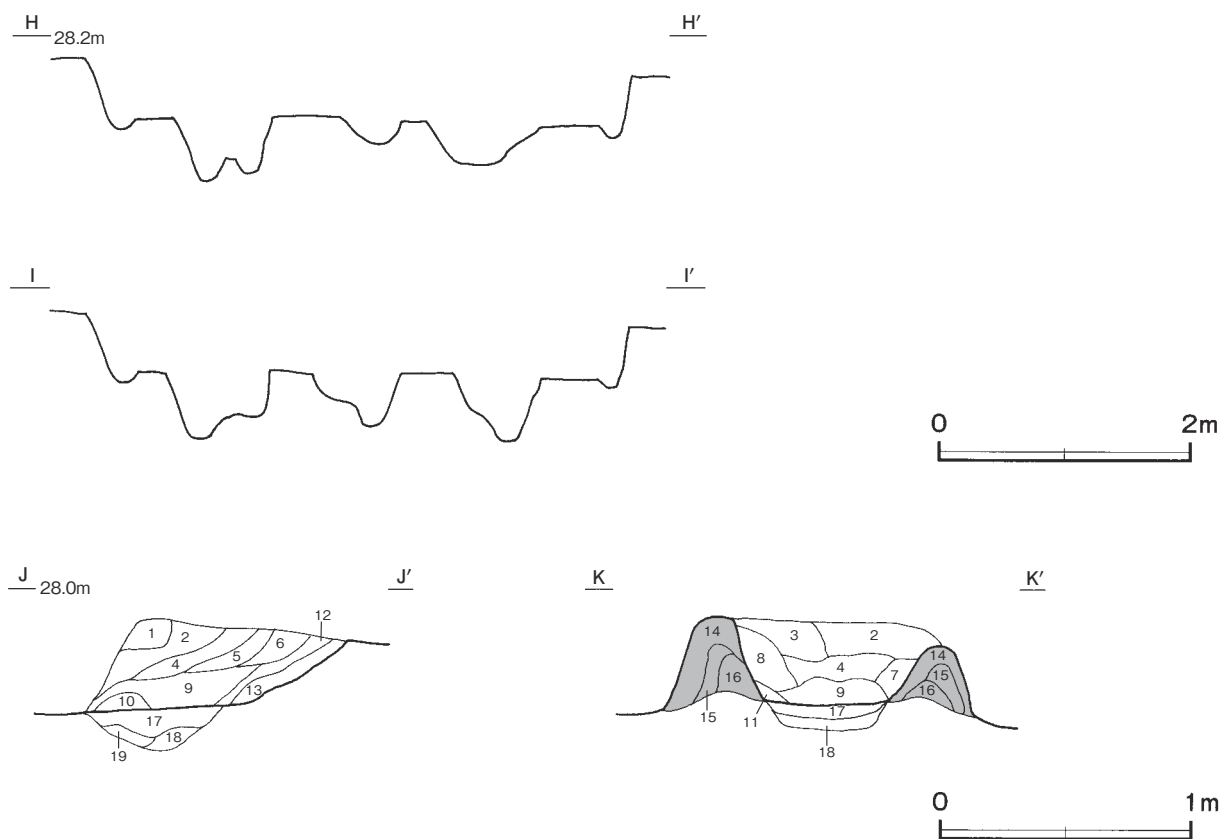
第 117 号竪穴建物跡 (第 159 ~ 161 図)

位置 調査D区北部のE 5 g3区, 標高 28 mほどの台地平坦部に位置している。

重複関係 第 736 号土坑に掘り込まれている。



第 159 図 第 117 号竪穴建物跡実測図 (1)



第 160 図 第 117 号竪穴建物跡実測図 (2)

**規模と形状** 長軸 4.38 m，短軸 4.23 m の方形で，主軸方向は N - 45° - W である。壁は高さ 32 ~ 40cm で，ほぼ直立している。

**床** 平坦な貼床で，中央部が踏み固められている。貼床は，ローム粒子を含む第 8 層を埋土して構築されている。壁下には壁溝が巡っている。

**竈** 北西壁中央部に付設されている。規模は焚口部から煙道部まで 112cm で，燃烧部幅は 53cm である。袖部は地山を削り残し，その上に粘土粒子を主体とする第 14 ~ 16 層を積み上げて構築されている。火床部は床面を 16cm ほど掘り込み，ロームブロックを含む第 17 ~ 19 層を埋土して構築されており，火床面は火熱を受けて赤変硬化している。煙道部は壁外に 23cm 掘り込まれ，火床面から外傾している。第 10 層は天井部の崩落土層である。

**竈土層解説**

- |           |                       |            |                         |
|-----------|-----------------------|------------|-------------------------|
| 1 褐 灰 色   | 焼土粒子少量，ローム粒子・炭化粒子微量   | 11 にぶい赤褐色  | ローム粒子・焼土粒子少量            |
| 2 暗 褐 色   | 焼土ブロック中量，ローム粒子・粘土粒子少量 | 12 黒 褐 色   | ローム粒子少量，焼土粒子微量          |
| 3 黒 褐 色   | ローム粒子・焼土粒子・炭化粒子微量     | 13 灰 黄 褐 色 | ロームブロック多量               |
| 4 暗 褐 色   | 焼土粒子中量，ローム粒子・粘土粒子少量   | 14 暗 褐 色   | 粘土粒子少量，炭化粒子微量           |
| 5 暗 褐 色   | 焼土粒子・粘土粒子中量，ローム粒子少量   | 15 灰 黄 褐 色 | 粘土粒子中量，焼土粒子微量           |
| 6 黒 褐 色   | ローム粒子・焼土粒子微量          | 16 にぶい黄褐色  | 粘土粒子中量，焼土粒子少量，炭化粒子微量    |
| 7 暗 褐 色   | 焼土粒子・粘土粒子中量，炭化粒子微量    | 17 黒 褐 色   | 焼土ブロック・炭化粒子少量，ロームブロック微量 |
| 8 暗 褐 色   | 粘土粒子中量，焼土ブロック・ローム粒子少量 | 18 黒 褐 色   | ロームブロック中量，焼土粒子微量        |
| 9 暗 褐 色   | 焼土ブロック多量，粘土粒子微量       | 19 暗 褐 色   | ロームブロック・炭化粒子微量          |
| 10 にぶい赤褐色 | 焼土粒子多量，ローム粒子微量        |            |                         |

**ピット** 5 か所。P 1 ~ P 4 は深さ 34 ~ 59cm で，規模と配置から主柱穴である。第 1 層は柱抜き取り後の堆積土，第 2 ~ 4 層は埋土である。P 3・P 4 では柱の立て替えが確認できた。P 5 は深さ 38cm で，南東壁際の中央部に位置していることから，出入口施設に伴うピットと考えられる。



ピット土層解説 (各ピット共通)

- 1 暗褐色 ローム粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック中量
- 3 暗褐色 ロームブロック少量
- 4 におい黄褐色 ロームブロック少量

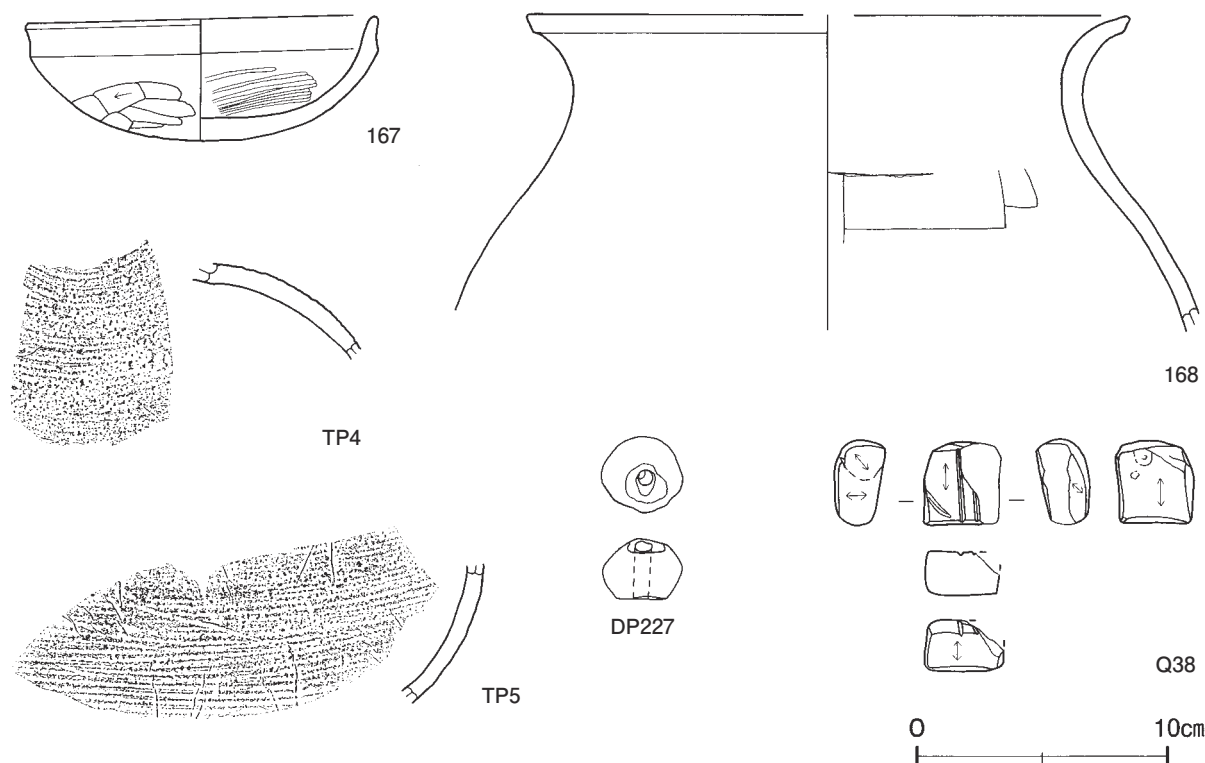
覆土 7層に分層できる。多くの層にロームブロックが含まれていることから、埋め戻されている。第8層は貼床の構築土である。

土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子微量
- 2 黒褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子・粘土粒子微量
- 3 暗褐色 ローム粒子・焼土粒子少量
- 4 暗褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 5 におい黄褐色 ロームブロック中量
- 6 暗褐色 ロームブロック少量
- 7 暗褐色 ロームブロック中量
- 8 暗褐色 ローム粒子微量

遺物出土状況 土師器片 558点 (坏類 68, 椀 9, 高坏 5, 甕類 474, 甌 1, 手捏土器 1), 須恵器片 3点 (壺 1, 瓶 2), 土製品 3点 (土玉, 管状土錘, 支脚), 石器 1点 (砥石), 金属製品 1点 (不明) が, 全域の覆土中層から下層にかけて出土している。出土した土器の大半は小破片で, 埋め戻す際に混入したものと考えられる。167 はほぼ完形で, 南東壁際の覆土下層から出土した破片が接合していることから, 埋め戻す過程で投棄されたものとみられる。

所見 時期は, 出土土器や重複関係から, 6世紀後葉に比定できる。



第 161 図 第 117 号 竪穴建物跡出土遺物実測図

第 117 号 竪穴建物跡出土遺物観察表 (第 161 図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
167	土師器	坏	13.7	5.0	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	におい橙	普通	体部外面へラ削り 内面へラ磨き	覆土下層	97% PL64
168	土師器	甕	[23.7]	(12.5)	-	長石・石英・雲母	橙	普通	口縁部外面横ナデ 体部外面摩滅 内面へラナデ 輪積痕	覆土下層	10%
TP 4	須恵器	瓶	-	-	-	長石・石英	褐灰	普通	体部外面カキ目 内面ナデ 外面自然釉	覆土中	TP 5 と同一。
TP 5	須恵器	瓶	-	-	-	長石・石英	褐灰	普通	体部外面カキ目 内面ナデ 外面自然釉	覆土中	TP 4 と同一。

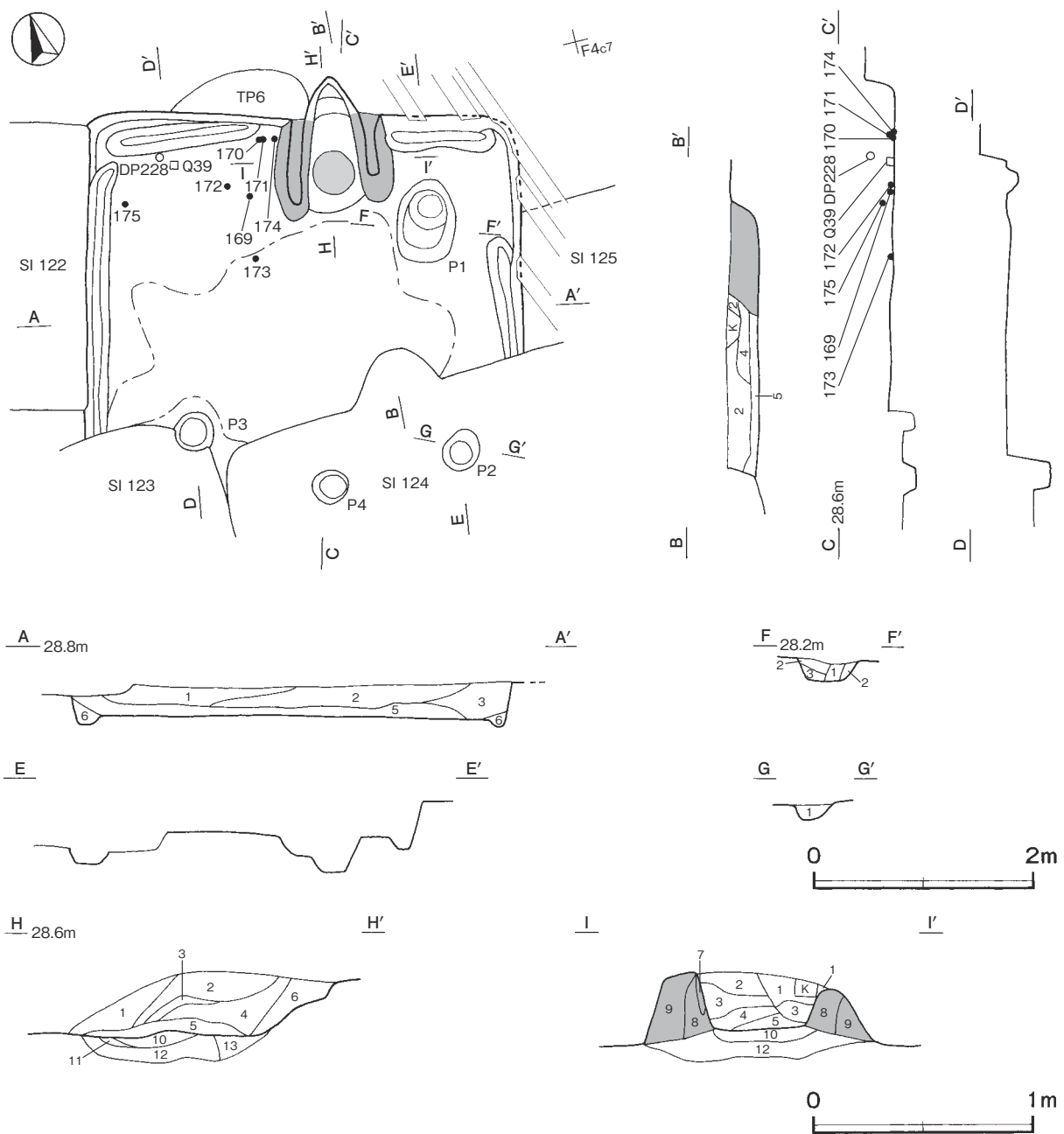
番号	器種	径	厚さ	孔径	重量	胎土	色調	特徴	出土位置	備考
DP227	土玉	3.0～3.2	2.8	0.6～0.8	21.3	長石・雲母	黒褐	ナデ 一方方向からの穿孔 両端を平坦に成形	覆土中	

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
Q 38	砥石	3.3	3.1	2.1	(27.8)	凝灰岩	端部欠損 砥面5面	覆土中	PL95

### 第121号竪穴建物跡 (第162～164図)

**位置** 調査D区中央部のF 4c6区、標高28mほどの台地平坦部に位置している。

**重複関係** 第125号竪穴建物跡、第6号陥し穴を掘り込み、第122～124号竪穴建物に掘り込まれている。



第162図 第121号竪穴建物跡実測図

**規模と形状** 南部が第 123・124 号竪穴建物に掘り込まれているため、東西軸は 4.01 m で、南北軸は 3.40 m し  
か確認できなかった。平面形は方形または長方形と推定でき、主軸方向は N - 15° - E である。壁は高さ 27  
～ 33cm で、直立している。

**床** 平坦で、中央部が踏み固められている。北東部を除き壁下には壁溝が巡っている。

**竈** 北壁中央部に付設されている。規模は焚口部から煙出部まで 124cm で、燃焼部幅は 47cm である。袖部は、  
床面から 5～10cm 掘りくぼめた部分に第 12 層を埋土して、粘土粒子を主体とする第 7～9 層を積み上げて構  
築されている。火床部は第 10 層上面を利用しており、火床面は火熱を受けて赤変硬化している。煙道部は壁  
外に 37cm 掘り込まれ、火床部からほぼ外傾している。

**竈土層解説**

- |                                 |                         |
|---------------------------------|-------------------------|
| 1 黒褐色 粘土粒子少量, 焼土ブロック・ローム粒子微量    | 8 褐灰色 粘土粒子多量, 焼土粒子少量    |
| 2 褐灰色 炭化粒子・粘土粒子少量, ロームブロック微量    | 9 褐灰色 粘土粒子多量, 焼土粒子微量    |
| 3 暗赤褐色 焼土ブロック少量, 炭化粒子・粘土粒子微量    | 10 赤褐色 焼土粒子多量, 炭化粒子少量   |
| 4 にぶい赤褐色 焼土ブロック少量, ローム粒子・粘土粒子微量 | 11 黒褐色 焼土粒子・炭化粒子少量      |
| 5 暗赤褐色 焼土粒子少量, 炭化粒子微量           | 12 褐色 ロームブロック多量, 焼土粒子微量 |
| 6 黒褐色 ロームブロック・焼土粒子・炭化粒子微量       | 13 灰褐色 ロームブロック・焼土粒子微量   |
| 7 明褐灰色 粘土粒子多量, 焼土ブロック微量         |                         |

**ピット** 4 か所。P 1～P 3 は深さ 12～17cm で、配置から主柱穴である。第 1 層は柱抜き取り後の堆積土, 第 2・  
3 層は埋土である。P 4 は深さ 26cm で、南部の中央に位置していることから、出入口施設に伴うピットと  
考えられる。

**ピット土層解説 (各ピット共通)**

- |                 |                |
|-----------------|----------------|
| 1 暗褐色 ロームブロック中量 | 3 褐色 ロームブロック多量 |
| 2 暗褐色 ロームブロック少量 |                |

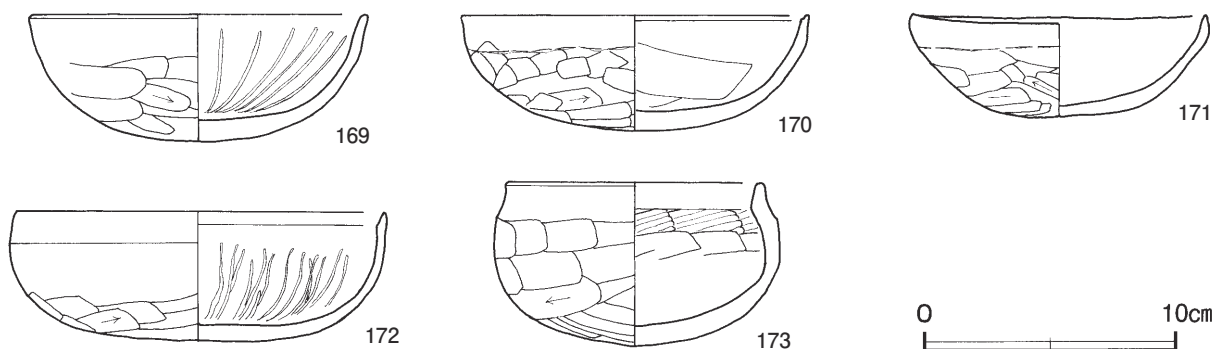
**覆土** 6 層に分層できる。各層にロームブロックが含まれ、不規則な堆積状況を示していることから、埋め戻  
されている。

**土層解説**

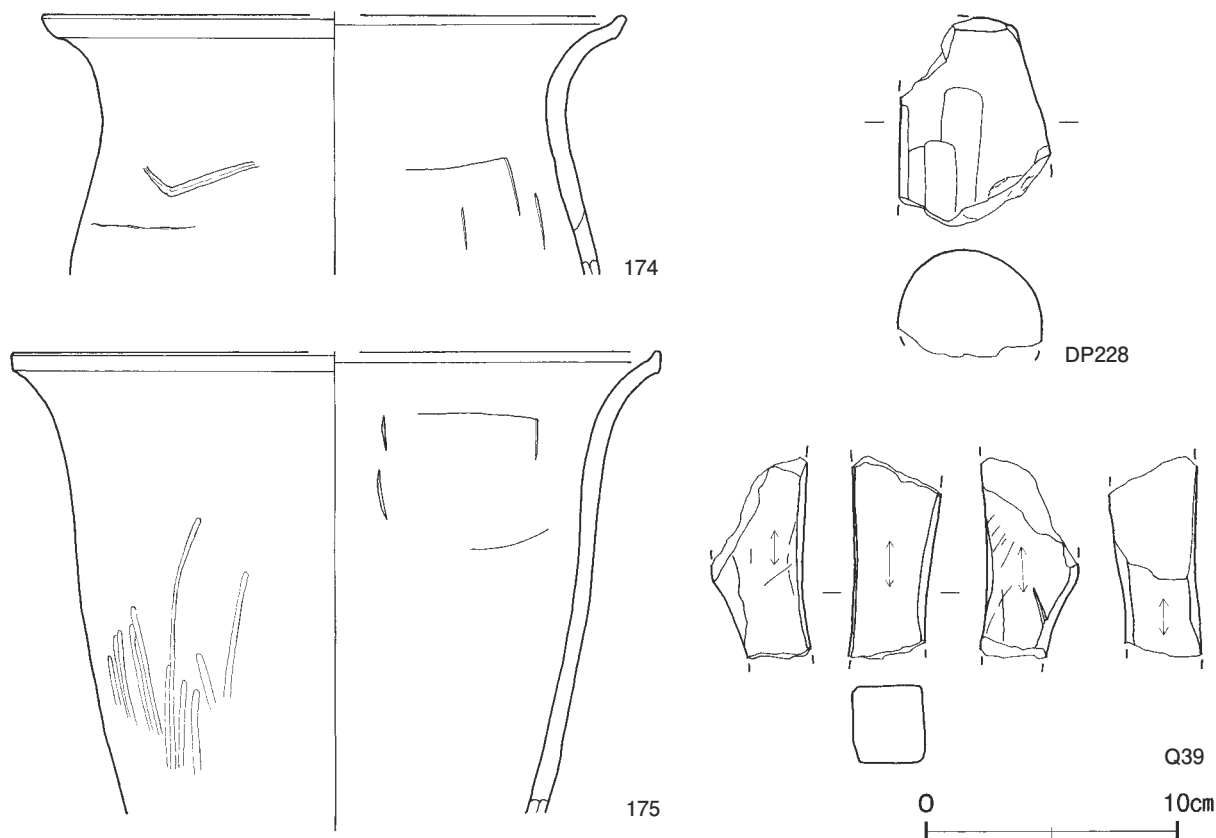
- |                  |                         |
|------------------|-------------------------|
| 1 黒褐色 ロームブロック少量  | 4 暗褐色 粘土粒子少量, ロームブロック微量 |
| 2 極暗褐色 ロームブロック中量 | 5 暗褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量 |
| 3 暗褐色 ロームブロック少量  | 6 暗褐色 ロームブロック中量         |

**遺物出土状況** 土師器片 98 点 (坏類 25, 鉢 1, 甕類 71, 甗 1), 須恵器片 4 点 (坏身 3, 坏蓋 1), 土製品 1 点 (支  
脚), 石器 1 点 (砥石), 鉄滓 5 点が、北西部の覆土下層から床面を中心に出土している。170・172・173・Q  
39 は完存率が高く、床面からそれぞれ出土していることから、廃絶時に遺棄されたものとみられる。169 は北  
部, 171 は北壁際の覆土下層からそれぞれ出土していることから、埋め戻す過程で廃棄されたものとみられる。

**所見** 時期は、出土土器や重複関係から、6 世紀中葉と考えられる。



第 163 図 第 121 号竪穴建物跡出土遺物実測図 (1)



第 164 図 第 121 号竪穴建物跡出土遺物実測図 (2)

第 121 号竪穴建物跡出土遺物観察表 (第 163・164 図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
169	土師器	坏	13.2	5.0	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	橙	普通	体部外面横位のヘラ削り 内面放射状のヘラ磨き	覆土下層	100% PL64
170	土師器	坏	13.7	4.6	-	長石・石英・赤色粒子	明赤褐	普通	口縁部外面横ナデ 体部外面ヘラ削り 内面ヘラナデ	床面	99% PL64
171	土師器	坏	11.6	4.1	-	長石・石英	にぶい褐	普通	口縁部外面横ナデ 体部外面ヘラ削り 内面ヘラナデ	覆土下層	98% PL64
172	土師器	坏	14.6	5.1	-	長石・石英・雲母	にぶい黄橙	普通	体部外面横位のヘラ削り 内面放射状のヘラ磨き	床面	70% PL64
173	土師器	鉢	10.0	6.4	-	長石・石英	明赤褐	普通	口縁部外・内面横ナデ 体部外面ヘラ削り 内面ハゲ目調整	床面	98% PL64
174	土師器	甕	[23.0]	(10.3)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい橙	普通	体部外・内面ヘラナデ	床面	10%
175	土師器	甗	[25.6]	(18.3)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい橙	普通	口縁部外・内面横ナデ 体部外面縦位のヘラ磨き 内面ヘラナデ	覆土中層	10%

番号	器種	高さ	最小径	最大径	重量	胎土	色調	特徴	出土位置	備考
DP228	支脚	(8.3)	(3.8)	(6.0)	(153)	長石・石英・雲母	橙	基部欠損 外面ヘラ削り 被熱痕	覆土上層	

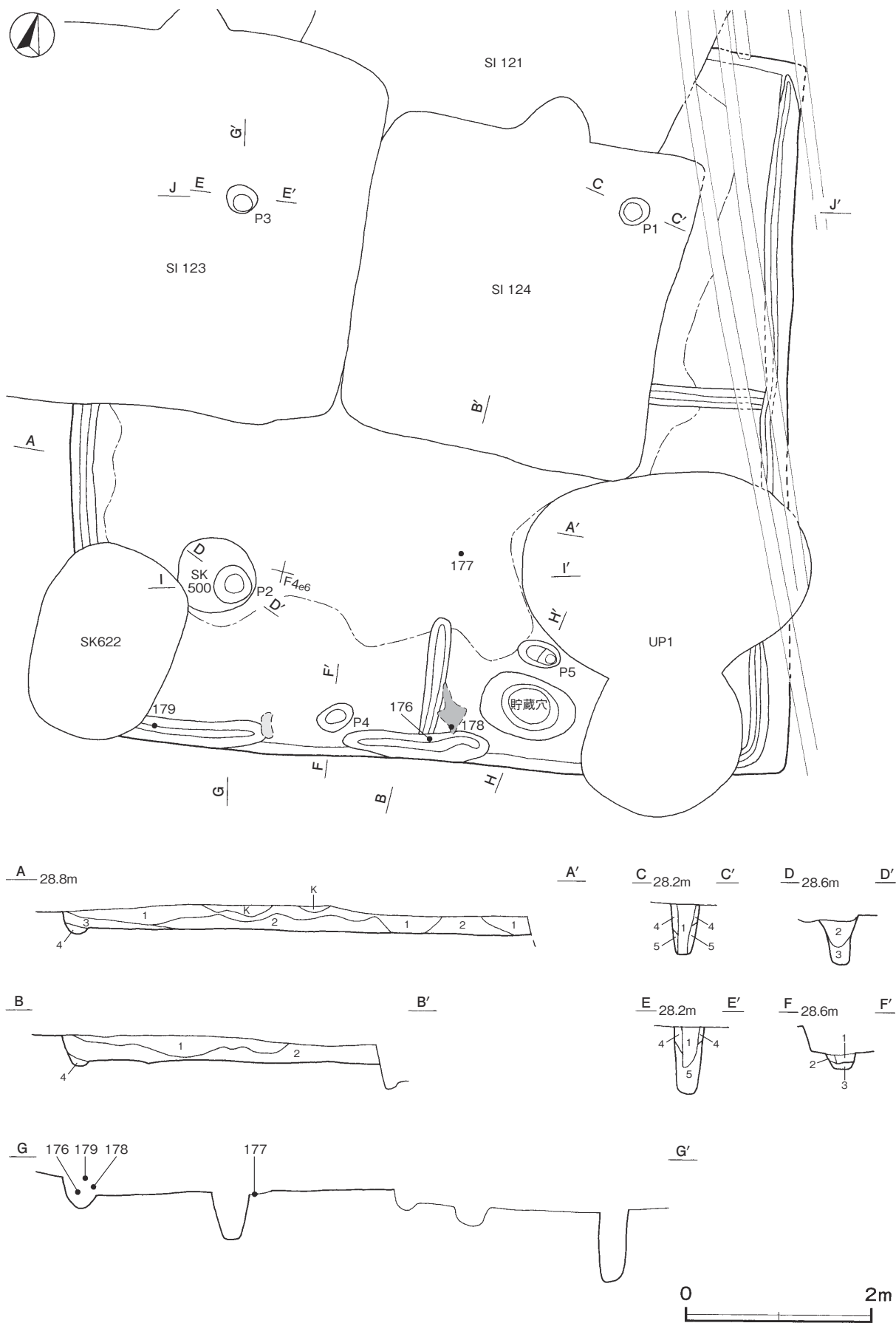
番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
Q39	砥石	(8.0)	3.7	3.9	(126)	凝灰岩	欠損 砥面4面	床面	PL95

第 125 号竪穴建物跡 (第 165・166 図)

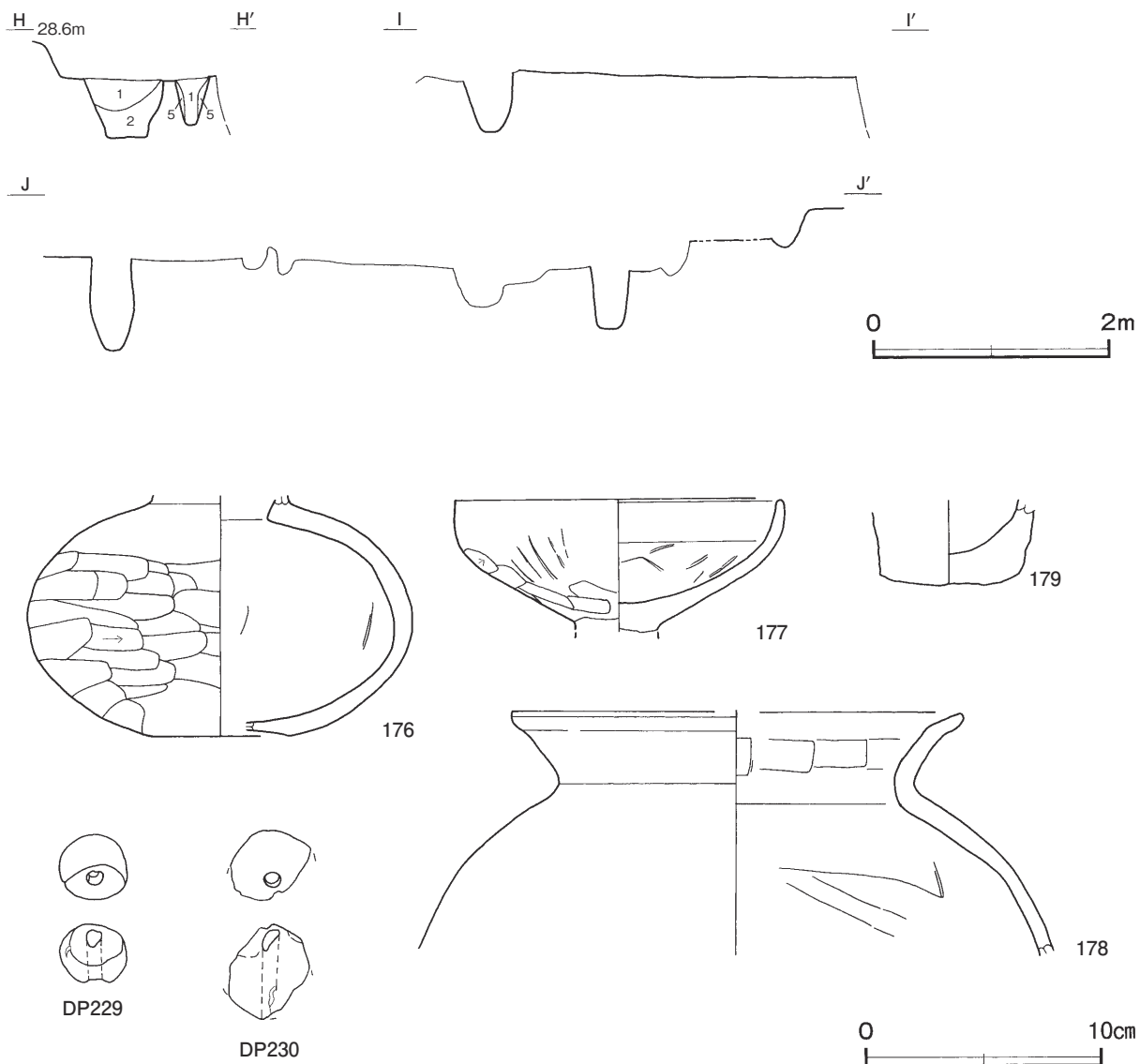
位置 調査D区中央部のF 4 d6区, 標高 28 mほどの台地平坦部に位置している。

重複関係 第 121・123・124 号竪穴建物, 第 1 号地下式坑, 第 500・622 号土坑に掘り込まれている。

規模と形状 長軸 7.76 m, 短軸 7.73 m の方形で, 主軸方向は N - 14° - W である。壁は高さ 18 ~ 27cm で, ほぼ直立している。



第 165 図 第 125 号竖穴建物跡実測図



第 166 図 第 125 号竪穴建物跡・出土遺物実測図

**床** 平坦で、壁際を除いて踏み固められている。南壁の一部を除いて、壁下には壁溝が巡っている。南部に焼土塊と粘土塊を確認した。いずれも床面から浮いた状態で堆積していることから、廃絶後に混入したものと考えられる。

**ピット** 5か所。P 1～P 3は深さ52～90cmで、配置から支柱穴である。第1～3層は柱抜き取り後の堆積土、第4・5層は埋土である。P 4は深さ14cmで、南壁際の中央部やや西寄りに位置していることから、出入口施設に伴うピットと考えられる。P 5は深さ37cmで、配置から補助柱穴と考えられる。

**ピット土層解説（各ピット共通）**

- |                  |                 |
|------------------|-----------------|
| 1 暗褐色 ロームブロック中量  | 4 黒褐色 ロームブロック微量 |
| 2 極暗褐色 ロームブロック多量 | 5 暗褐色 ロームブロック少量 |
| 3 暗褐色 ロームブロック多量  |                 |

**貯蔵穴** 南壁際やや東寄りに位置している。長径105cm、短径67cmの楕円形で、深さは50cmである。底面は平坦で、壁は外傾している。

**貯蔵穴土層解説**

- |                 |                 |
|-----------------|-----------------|
| 1 黒褐色 ロームブロック微量 | 2 暗褐色 ロームブロック少量 |
|-----------------|-----------------|

**覆土** 4層に分層できる。ロームブロックが含まれ、不規則な堆積状況を示していることから、埋め戻されている。

**土層解説**

- 1 暗褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック・炭化物少量, 焼土粒子微量
- 3 暗褐色 ロームブロック少量
- 4 褐色 ロームブロック少量

**遺物出土状況** 土師器片 184 点 (坏類 49, 椀 6, 埴 1, 高坏 3, 甕類 124, 手捏土器 1), 土製品 4 点 (土玉 2, 管状土錘 2), 金属製品 2 点 (釘) が, 南部の覆土中層から下層を中心に出土している。177 は南部の床面から出土していることから, 廃絶時に遺棄されたものとみられる。176 は南壁際の覆土下層から出土していることから, 埋め戻す過程で投棄されたものとみられる。

**所見** 時期は, 出土土器や重複関係から, 5 世紀後葉に比定できる。

第 125 号竪穴建物跡出土遺物観察表 (第 166 図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
176	土師器	埴	-	(10.2)	[6.0]	長石・石英・雲母	橙	普通	体部外面横位のヘラ削り 内面ヘラナデ	覆土下層	15%
177	土師器	高坏	13.8	(5.5)	-	長石・石英・赤色粒子	橙	普通	坏部外面ヘラ削り後ヘラナデ 内面ヘラナデ	床面	30%
178	土師器	甕	[19.1]	(10.3)	-	長石・石英・赤色粒子	橙	普通	口縁部外・内面横ナデ 体部外面摩滅 内面ヘラナデ	覆土中層	10%
179	土師器	手捏土器	-	(3.5)	5.9	長石・石英	明赤褐	普通	体部外・内面ナデ	覆土上層	60%

番号	器種	径	厚さ	孔径	重量	胎土	色調	特徴	出土位置	備考
DP229	土玉	28~29	2.5	0.6~0.7	(16.7)	長石・石英・雲母	にぶい赤褐	一部欠損に成形 ナデ 一方向からの穿孔 片端を平坦	覆土中	
DP230	土玉	(3.3)	4.0	0.7	(28.3)	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい橙	端部欠損 ナデ 一方向からの穿孔	覆土中	

**第 142 号竪穴建物跡 (第 167 図)**

**位置** 調査D区中央部のF 4c3 区, 標高 28 mほどの台地平坦部に位置している。

**規模と形状** 西部が調査区域外へ延びているため, 南北軸 6.80 m, 東西軸 2.50 mしか確認できなかった。平面形は方形または長方形, 主軸方向はN - 16° - Wと推定できる。壁は高さ 28 ~ 48cmで, ほぼ直立している。

**床** 平坦で, 壁際を除いて踏み固められている。

**ピット** P 1 は深さ 18cmで, 配置から支柱穴である。

**ピット土層解説**

- 1 暗褐色 ロームブロック中量

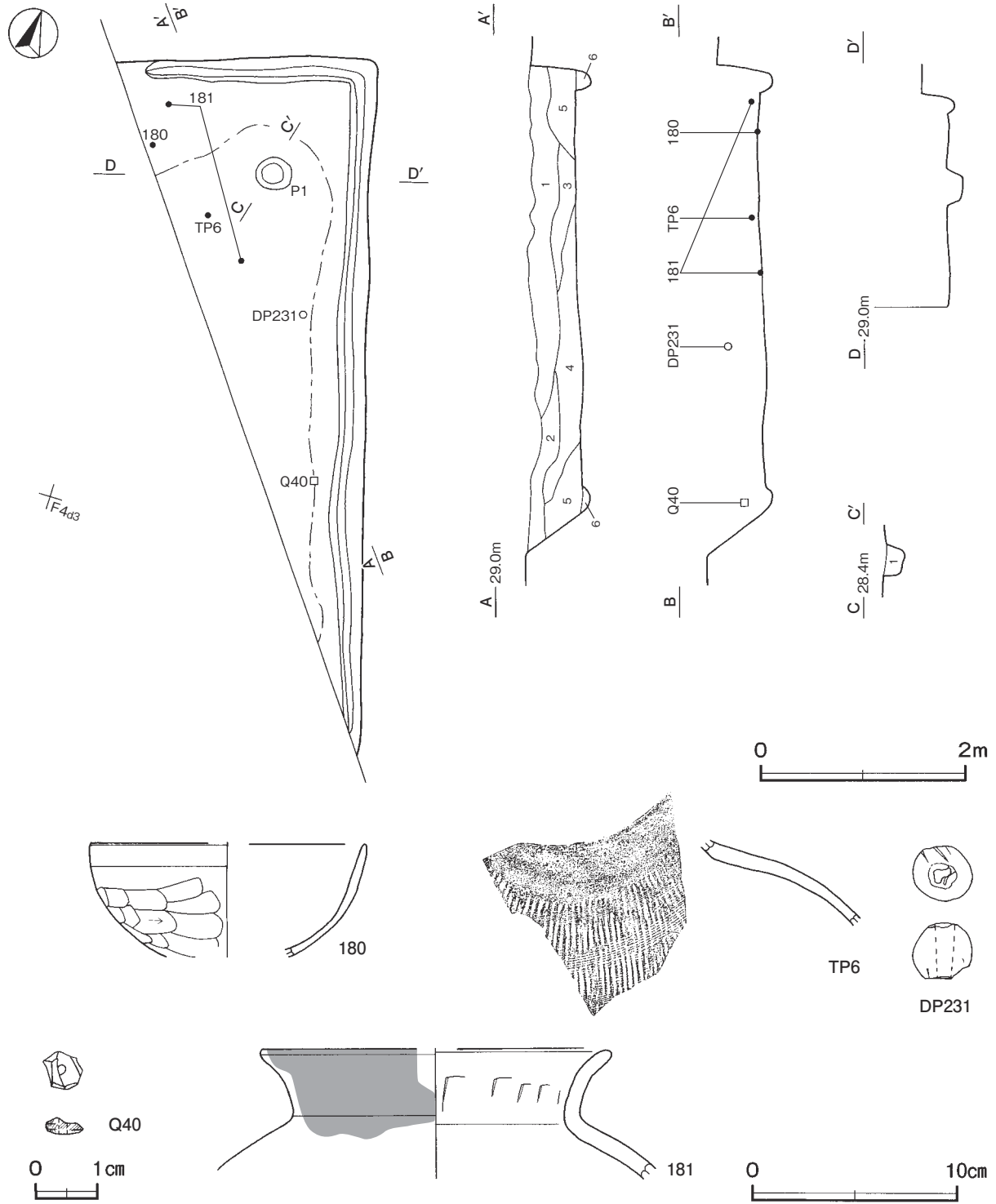
**覆土** 6層に分層できる。各層にロームブロックが含まれ、不規則な堆積状況を示していることから、埋め戻されている。

**土層解説**

- 1 暗褐色 ロームブロック中量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量, 粘土粒子微量
- 3 極暗褐色 ロームブロック中量, 粘土粒子微量
- 4 暗褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 5 黒褐色 ロームブロック中量, 焼土粒子微量
- 6 褐色 ロームブロック中量

**遺物出土状況** 土師器片 95 点 (坏 16, 椀 5, 甕類 74), 須恵器片 2 点 (坏身, 甕), 土製品 2 点 (土玉), 石製品 1 点 (白玉) が, 北部の覆土下層から床面を中心に出土している。180・181 は床面からそれぞれ出土していることから, 廃絶時に廃棄されたものとみられる。Q 40 は東壁際の覆土下層から出土していることから, 埋め戻す過程で投棄されたものとみられる。

**所見** 時期は, 出土土器から 7 世紀中葉に比定できる。



第 167 図 第 142 号竪穴建物跡・出土遺物実測図

第 142 号竪穴建物跡出土遺物観察表 (第 167 図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
180	土師器	坏	[13.4]	(5.6)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	橙	普通	体部外面横位のヘラ削り 内面ナデ	床面	20%
181	土師器	甕	[16.8]	(6.3)	-	長石・石英・雲母	にぶい橙	普通	口縁部外・内面横ナデ 内面ヘラナデ	床面	10% 煤付着
TP 6	須恵器	甕	-	-	-	長石・石英	灰	普通	体部外面縦位の平行叩き 横位のカキ目 内面ナデ 外面自然釉	覆土下層	



番号	器種	径	厚さ	孔径	重量	胎土	色調	特徴	出土位置	備考
DP231	土玉	27~29	2.7	0.6~1.0	20.9	長石・雲母	にぶい橙	ナデ 二方向からの穿孔 擦痕有	覆土中層	

番号	器種	径	厚さ	孔径	重量	材質	特徴	出土位置	備考
Q 40	白玉	0.65	0.26	0.15	(0.13)	滑石	端部欠損 片面平滑	覆土下層	PL96

表9 古墳時代竪穴建物跡一覧表

番号	位置	主軸方向	平面形	規模		壁高 (cm)	床面	壁溝	内部施設					覆土	主な出土遺物	時期	備考
				長軸×短軸 (m)					主柱穴	出入口	ピット	炉・竈	貯蔵穴				
3	C 2b6	N-27°-W	方形	5.30 × 5.22	16~24	平坦	[全周]	4	2	3	-	1	人為	土師器, 須恵器, 土製品, 石製品	5世紀後葉	本跡→SI 14, SK76~78, 80-81, 85-101, 139, SD2	
7	B 2j5	N-52°-W	方形	8.04 × 7.86	9~20	平坦	ほぼ全周	4	-	3	炉1	1	人為	土師器, 須恵器, 土製品, 石器・石製品, 金属製品	5世紀後葉	本跡→SI 9・17, SK 5・43・50・54・61・62, SD1	
12	E 3b6	N-20°-W	方形	7.20 × 7.18	24~34	平坦	ほぼ全周	4	1	2	炉1	2	人為	土師器, 須恵器, 土製品	5世紀後葉	SK233→本跡→SK198・213・214・220・222・227	
18	G 5b0	N-26°-W	方形	8.70 × 8.57	33~52	平坦	全周	4	1	1	北西壁	-	人為	土師器, 土製品, 石製品	7世紀前葉	SI 19→本跡	
19	G 5d0	N-38°-W	方形	4.98 × 4.92	32~40	平坦	ほぼ全周	4	1	-	北西壁	-	人為	土師器, 須恵器, 土製品, 石製品	6世紀後葉	本跡→SI 18, SK258・259	
21	G 6a7	N-15°-W	長方形	3.51 × 3.10	30~34	平坦	ほぼ全周	-	1	-	北壁	-	人為	土師器, 須恵器, 土製品	6世紀中葉	本跡→SI 20, SK264・277, SD11	
25	G 6a3	N-26°-W	方形	10.22 × 9.92	22~42	平坦	ほぼ全周	3	1	-	北西壁	-	人為	土師器, 土製品, 石器	7世紀前葉	SI 27・28・41・45, SK354・355→本跡→SI 26, SO 2, SK804, SD11	
27	G 6b4	-	[方形・長方形]	5.92 × (2.30)	14	平坦	[全周]	1	-	1	-	-	自然	土師器, 土製品, 石製品	6世紀中葉	本跡→SI 25・28・29	
28	G 6a5	N-35°-W	方形	5.32 × 5.20	28~40	平坦	[全周]	4	1	-	北西壁	-	人為	土師器, 土製品, 石製品	6世紀後葉	SI 27, SK396→本跡→SI 25, SD11	
29	G 6c4	N-1°-W	[方形・長方形]	5.34 × (5.00)	8~35	平坦	-	2	-	2	北壁	-	人為	土師器, 土製品, 石器, 金属製品	7世紀前葉	SI 27→本跡→SK302・307・313, SD10・12・13	
31	G 6d1	N-29°-W	[方形・長方形]	5.54 × (3.83)	26~35	平坦	[全周]	4	-	1	北西壁	-	人為	土師器, 土製品	6世紀前葉	本跡→SD10	
36	G 5a4	N-30°-W	[方形・長方形]	(6.93) × 6.87	12~37	平坦	[全周]	2	-	-	北西壁	-	人為	土師器, 土製品, 石製品	7世紀前葉	本跡→SI 32・33・40, SK292・294・295・297・299・314・448	
37	G 5g6	N-18°-E	[方形・長方形]	3.17 × (2.80)	18	平坦	-	4	-	-	北壁	-	不明	土師器, 土製品	6世紀代	本跡→SK280~282, SD10	
38	G 5a2	N-3°-E	長方形	4.40 × 3.75	3~28	ほぼ平坦	ほぼ全周	3	1	2	北壁	-	人為	土師器, 金属製品	7世紀中葉	SI 39→本跡→SK306・311	
39	G 5a1	N-32°-W	[方形・長方形]	7.76 × (6.20)	6~35	平坦	ほぼ全周	3	1	-	北西壁	-	人為	土師器, 土製品, 馬骨	7世紀前葉	SI 54・55・57→本跡→SI 35・38	
40	G 5a3	N-8°-W	方形	2.63 × 2.58	7~15	ほぼ平坦	-	-	-	-	北壁	-	人為	土師器, 須恵器, 土製品, 石器, 金属製品	7世紀中葉	SI 36→本跡→SK295・448	
41	F 6j4	N-49°-W	長方形	7.22 × 6.33	10~24	平坦	一部	4	-	12	北西壁	-	自然	土師器, 土製品	6世紀後葉	SI 45→本跡→SI 25, SK349・350・359・370~373・375・376・388・389・402・404・406・408・804	
42	F 5i8	N-55°-W	方形	4.45 × 4.41	18~28	平坦	[全周]	4	1	-	北西壁	-	人為	土師器, 土製品, 金属製品	6世紀後葉	SI 46-47→本跡→SB4, SK337・347・369・392~395・397~399・405	
43	F 5g0	N-15°-W	[方形・長方形]	(7.62) × 7.44	18~34	平坦	[全周]	4	1	7	北壁	2	人為	土師器, 土製品, 石器, 石製品, 金属製品	7世紀前葉	本跡→SI 44・82・83, SB 5	
45	F 6i2	N-30°-E	[方形]	6.61 × (6.32)	20~28	平坦	[全周]	5	-	1	北東壁	1	人為	土師器, 須恵器, 土製品, 石器・石製品	6世紀前葉	本跡→SI 25・41・44, SK385	
46	F 5j9	N-80°-W	長方形	5.85 × 3.78	10	平坦	ほぼ全周	2	1	12	炉1 西壁	-	人為	土師器, 土製品, 石器, 金属製品	6世紀中葉	SI 47→本跡→SI 42, SK390	
47	F 5i9	-	[方形・長方形]	(3.00) × (2.72)	6	平坦	-	1	-	1	-	-	不明	土製品	6世紀前葉	本跡→SI 42・46	
48	F 6g3	N-32°-W	[方形]	9.07 × 8.92	35~40	平坦	[全周]	4	2	1	北西壁	-	自然	土師器, 須恵器, 土製品, 石器	6世紀中葉	本跡→SI 49・50・82・83・89, SO 1, SK542	
53	F 5j5	N-25°-W	[長方形]	6.31 × 5.32	10	平坦	一部	1	-	-	炉1	-	人為	土師器, 土製品	5世紀末~6世紀初頭	本跡→SI 32・34・51, SK297	
54	G 5c2	-	-	(1.65) × (1.50)	20	平坦	-	-	-	-	-	-	不明	土師器, 須恵器, 土製品	6世紀後葉	SI 57→本跡→SI 39	
55	G 5a1	N-8°-E	[方形・長方形]	4.57 × (2.30)	6~20	平坦	一部	2	-	-	北壁	1	人為	土師器, 土製品	6世紀後葉	本跡→SI 39, SN 1	
56	F 5i3	N-1°-W	方形	3.18 × 3.16	9~16	平坦	全周	4	1	-	北壁	-	人為	土師器, 土製品, 金属製品	6世紀中葉	SK329→本跡→SK338	
57	G 5c2	-	-	(5.75) × (1.80)	18	平坦	-	-	-	-	-	-	人為		6世紀前葉~中葉	本跡→SI 39・54	
61	F 4i0	N-7°-W	方形	3.04 × 3.02	16	平坦	ほぼ全周	4	1	1	北壁	-	人為	土師器, 土製品, 金属製品	6世紀中葉	本跡→SI 59, SK341・343	
68	F 5h4	N-23°-W	[方形]	4.98 × (4.56)	15	平坦	[全周]	1	-	-	北西壁	-	人為	土師器, 石器	6世紀後葉	本跡→SI 34・52・104	
72	F 5f5	N-5°-W	方形	7.52 × 7.18	35	ほぼ平坦	-	3	-	-	炉1	-	人為	土師器, 土製品	5世紀後葉	本跡→SI 66・67・104, SK491・492・533・595・607	
73	F 5g3	N-3°-E	[方形]	6.98 × (6.50)	13~27	平坦	ほぼ全周	4	1	-	北壁	-	人為	土師器, 須恵器, 土製品	6世紀前葉	本跡→SI 60・62, SK453	
77	F 4g8	N-16°-W	方形	5.30 × 5.26	16	平坦	-	3	-	-	-	-	不明	土師器, 土製品, 金属製品	7世紀前葉	本跡→SI 76・79・129・130, SK712	
84	F 5b4	N-29°-W	方形	5.80 × 5.45	26~40	平坦	ほぼ全周	4	1	-	北西壁	-	人為	土師器, 須恵器, 土製品, 石器	7世紀前葉	SI 85・97→本跡→SK507	

番号	位置	主軸方向	平面形	規模 長軸×短軸(m)	壁高 (cm)	床面	壁溝	内部施設					覆土	主な出土遺物	時期	備考
								主柱穴	出入口	ピット	扉・竈	貯蔵穴				
85	F 5 b6	N - 36° - W	方形	4.73 × 4.57	10 ~ 18	平坦	[全周]	4	1	-	北西壁	-	人為	土師器, 土製品, 石器	6世紀後葉	本跡→SI 84・88, SK480 ~484・505~507・513
90	F 5 d5	N - 40° - W	方形	8.20 × 8.10	22 ~ 46	平坦	全周	4	1	16	北西壁	1	人為	土師器, 土製品, 石器, 石製品, 金属製品, 自然遺物	6世紀後葉	本跡→SK502・510・512・530・555・578・595・600~604・631・632・635・636・646・647
91	F 5 c7	N - 44° - W	方形	4.88 × 4.58	17 ~ 33	ほぼ平坦	一部	4	1	1	北西壁	-	人為	土師器, 土製品, 石器	7世紀前葉	本跡→SI 88, SK471・544・546・558・610~615・625~629・633・634
92	F 5 d8	N - 32° - E	長方形	3.77 × 3.35	20 ~ 24	平坦	-	-	1	1	北東壁	-	人為	土師器, 須恵器, 土製品	6世紀中葉	本跡→SK463・467・468・470~472・609
94	F 5 d3	N - 43° - W	方形	6.78 × 6.74	10 ~ 34	平坦	ほぼ[全周]	4	1	-	北西壁	-	自然	土師器, 土製品, 石製品, 金属製品	6世紀後葉	本跡→SI 93・102・113・114
95	F 5 a8	N - 35° - W	方形	5.82 × 5.73	22 ~ 32	平坦	全周	4	1	1	北西壁	-	人為	土師器, 土製品	6世紀後葉	本跡→SK464・485・497・503・509
96	F 5 a0	N - 30° - W	方形	3.75 × 3.58	12 ~ 17	平坦	全周	4	1	-	北西壁	-	人為	土師器, 土製品	7世紀前葉	本跡→SK456・493
97	F 5 c4	N - 43° - W	[方形]	4.02 × (3.80)	17 ~ 28	平坦	一部	2	1	-	-	-	人為	土師器, 石器	6世紀後葉	本跡→SI 84
99	F 5 a2	N - 10° - W	方形	5.43 × 5.38	27 ~ 36	平坦	ほぼ[全周]	4	1	-	北壁	-	人為	土師器, 土製品, 石製品, 金属製品	7世紀中葉	本跡→SI 98・132, SK573・623
100	F 4 a3	N - 47° - W	方形	4.70 × 4.62	26 ~ 35	平坦	全周	4	1	-	北西壁2	-	人為	土師器, 須恵器, 土製品, 金属製品	6世紀中葉	本跡→SK458
108	F 5 c1	N - 31° - W	[方形・長方形]	4.39 × (3.77)	20 ~ 24	平坦	ほぼ全周	3	1	1	北西壁	-	自然	土師器, 土製品, 石器	6世紀後葉	本跡→SI 107・115, SK641・722・723
112	F 5 d0	N - 40° - W	方形	8.28 × 8.18	18 ~ 29	平坦	全周	4	2	-	北西壁	1	人為	土師器, 土製品	6世紀後葉	本跡→SB 9・11, SK605・606・642・648・652~656・658・662・665・666・669~673
114	F 5 d3	N - 22° - W	[長方形]	(4.68) × 3.76	11 ~ 36	平坦	全周	4	-	-	北壁	-	人為	土師器, 土製品	7世紀中葉	SI 94 →本跡→SI 113, SK580
116	E 5 e6	N - 40° - W	[方形]	4.85 × (4.56)	24 ~ 28	平坦	全周	3	1	-	北西壁	-	自然	土師器, 土製品	6世紀中葉	本跡→SK697
117	E 5 g3	N - 45° - W	方形	4.38 × 4.23	32 ~ 40	平坦	全周	4	1	-	北西壁	-	人為	土師器, 須恵器, 土製品, 石器, 金属製品	6世紀後葉	本跡→SK736
121	F 4 c6	N - 15° - E	[方形・長方形]	4.01 × (3.40)	27 ~ 33	平坦	ほぼ全周	3	1	-	北壁	-	人為	土師器, 須恵器, 土製品, 石器	6世紀中葉	SI 125, TP6 →本跡→SI 122~124
125	F 4 d6	N - 14° - W	方形	7.76 × 7.73	18 ~ 27	平坦	ほぼ全周	3	1	1	-	1	人為	土師器, 土製品, 金属製品	5世紀後葉	本跡→SI 121・123・124, UP1, SK500・622
142	F 4 c3	N - 16° - W	[方形・長方形]	(6.80) × (2.50)	28 ~ 48	平坦	-	1	-	-	-	-	人為	土師器, 須恵器, 土製品, 石器	7世紀中葉	

## (2) 土坑

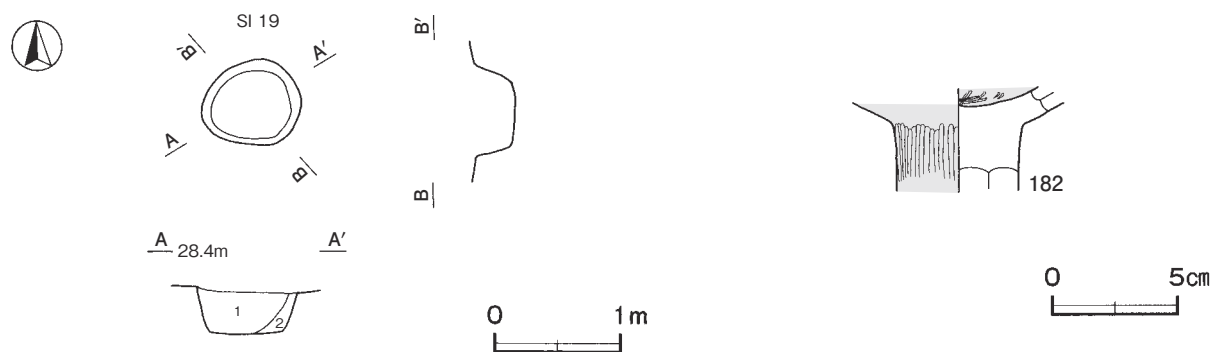
古墳時代の土坑は13基確認している。ここでは特徴ある10基について記述し、その他については一覧表と実測図を記載する。

### 第258号土坑 (第168図)

**位置** 調査D区南部のG 5 d0区, 標高28mほどの台地平坦部に位置している。

**重複関係** 第19号竪穴建物跡を掘り込んでいる。

**規模と形状** 長径0.80m, 短径0.69mの楕円形で, 長径方向はN - 78° - Eである。深さは34cmで, 底面は平坦である。壁は直立している。



第168図 第258号土坑・出土遺物実測図

**覆土** 2層に分層できる。両層にロームブロックが含まれていることから、埋め戻されている。

**土層解説**

1 暗褐色 ロームブロック・焼土粒子・炭化粒子少量      2 褐色 ロームブロック少量

**遺物出土状況** 土師器片3点(坏, 高坏, 甕)が, 覆土中から出土している。

**所見** 時期は, 出土土器や重複関係から, 7世紀代と考えられる。性格は不明である。

第 258 号土坑出土遺物観察表 (第 168 図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
182	土師器	高坏	-	(4.1)	-	長石・石英・赤色粒子	明赤褐	普通	坏部内面・脚部外面へラ磨き	覆土中	10%

第 259 号土坑 (第 169 図)

**位置** 調査D区南部のG 5 d9 区, 標高 28 m ほどの台地平坦部に位置している。

**重複関係** 第 19 号竪穴建物跡を掘り込んでいる。

**規模と形状** 長径 1.46 m, 短径 0.63 m の楕円形で, 長径方向は N - 38° - W である。深さは 38 cm で, 底面は平坦である。壁は直立している。

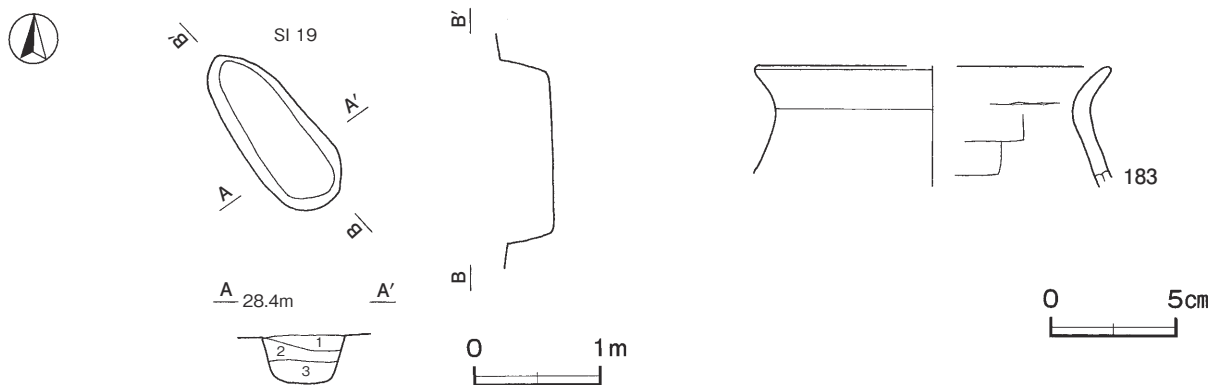
**覆土** 3層に分層できる。多くの層にロームブロックが含まれていることから、埋め戻されている。

**土層解説**

1 暗褐色 ローム粒子少量      3 褐色 ロームブロック中量  
2 にぶい黄褐色 ロームブロック少量

**遺物出土状況** 土師器片 11 点(坏 1, 高坏 2, 甕 7, 小形甕 1)が, 覆土中から出土している。

**所見** 時期は, 出土土器や重複関係から, 7世紀代と考えられる。性格は不明である。



第 169 図 第 259 号土坑・出土遺物実測図

第 259 号土坑出土遺物観察表 (第 169 図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
183	土師器	小形甕	[13.8]	(4.8)	-	長石・石英	明赤褐	普通	口縁部外・内面横ナデ ラナデ 輪積痕 体部外面摩滅 内面へ	覆土中	5%

第 288 号土坑 (第 170 図)

**位置** 調査D区南部のG 6 c3 区, 標高 28 m ほどの台地平坦部に位置している。

**重複関係** 第 287 号土坑を掘り込み, 第 291 号土坑に掘り込まれている。

**規模と形状** 長径0.64 m, 短径0.28 mの楕円形で, 長径方向はN - 49° - Wである。深さは42cmで, 底面は皿状である。壁は直立している。

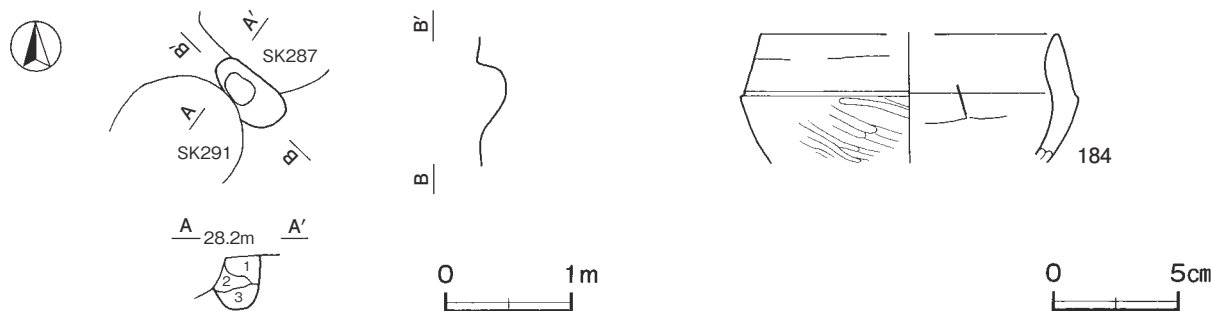
**覆土** 3層に分層できる。ロームブロックが含まれ, 不規則な堆積状況を示していることから, 埋め戻されている。

**土層解説**

- 1 にぶい黄褐色 ロームブロック少量
- 2 暗褐色 ロームブロック・焼土粒子少量
- 3 黒褐色 ローム粒子・炭化粒子微量

**遺物出土状況** 土師器片6点(坏2, 甕4)が, 覆土中から出土している。

**所見** 時期は, 出土土器や重複関係から, 6世紀代と考えられる。性格は不明である。



第170図 第288号土坑・出土遺物実測図

第288号土坑出土遺物観察表(第170図)

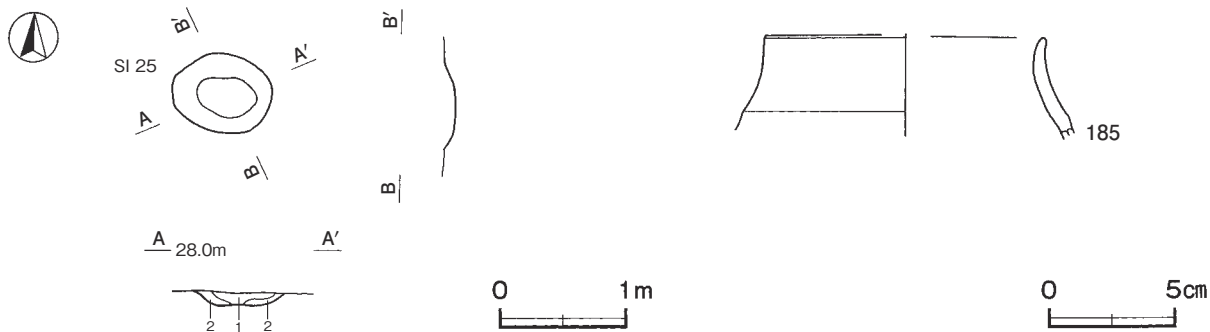
番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
184	土師器	坏	[11.8]	(5.1)	-	長石・石英	橙	普通	口縁部外・内面横ナデ 内面ヘラナデ 体部外面ヘラ磨き	覆土中	10%

**第355号土坑(第171図)**

**位置** 調査D区南部のG6a4区, 標高28mほどの台地平坦部に位置している。

**重複関係** 第25号竪穴建物に掘り込まれている。

**規模と形状** 長径0.80 m, 短径0.64 mの楕円形で, 長径方向はN - 80° - Wである。第25号竪穴建物に掘り込まれているため, 深さは10cmしか確認できず, 底面は平坦である。壁は外傾している。



第171図 第355号土坑・出土遺物実測図

**覆土** 2層に分層できる。層厚が薄く、堆積の判断が難しいが、不規則な堆積状況を示していることから、埋め戻されている。

**土層解説**

- 1 暗褐色 ロームブロック・焼土粒子・炭化粒子少量      2 褐色 ロームブロック少量

**遺物出土状況** 土師器片6点（甕5，小形甕1）が，覆土中から出土している。

**所見** 時期は，出土土器や重複関係から，6世紀代と考えられる。性格は不明である。

第355号土坑出土遺物観察表（第163図）

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
185	土師器	小形甕	[11.0]	(4.0)	-	長石・石英・赤色粒子	明赤褐	普通	口縁部外・内面横ナデ	覆土中	10%

第500号土坑（第172図）

**位置** 調査D区中央部のF 4 e5区，標高28mほどの台地平坦部に位置している。

**重複関係** 第125号竪穴建物跡を掘り込み，第622号土坑に掘り込まれている。

**規模と形状** 長径0.84m，短径0.81mの円形である。深さは32cmで，底面は平坦である。壁は直立している。

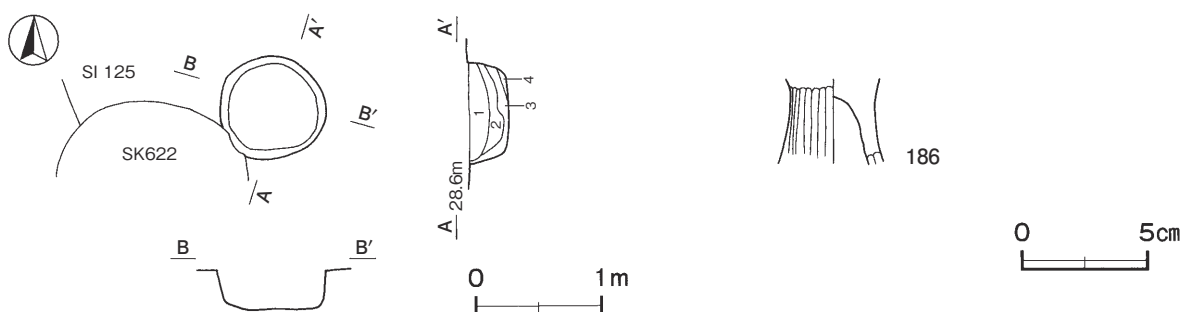
**覆土** 4層に分層できる。多くの層にロームブロックが含まれていることから，埋め戻されている。

**土層解説**

- 1 黒褐色 ロームブロック少量      3 黒褐色 ロームブロック中量，炭化粒子少量  
2 黒褐色 ローム粒子多量      4 褐色 ロームブロック中量

**遺物出土状況** 土師器片8点（坏4，高坏1，甕3）が，覆土中から出土している。

**所見** 時期は，出土土器や重複関係から，6世紀代と考えられる。性格は不明である。



第172図 第500号土坑・出土遺物実測図

第500号土坑出土遺物観察表（第172図）

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
186	土師器	高坏	-	(3.4)	-	長石・石英	にぶい黄橙	普通	脚部外面縦位のヘラ磨き	覆土中	10%

第512号土坑（第173図）

**位置** 調査D区中央部のF 5 e6区，標高28mほどの台地平坦部に位置している。

**重複関係** 第90号竪穴建物跡を掘り込んでいます。

**規模と形状** 長径0.86m，短径0.80mの円形である。深さは46cmで，底面は皿状である。壁はほぼ直立している。

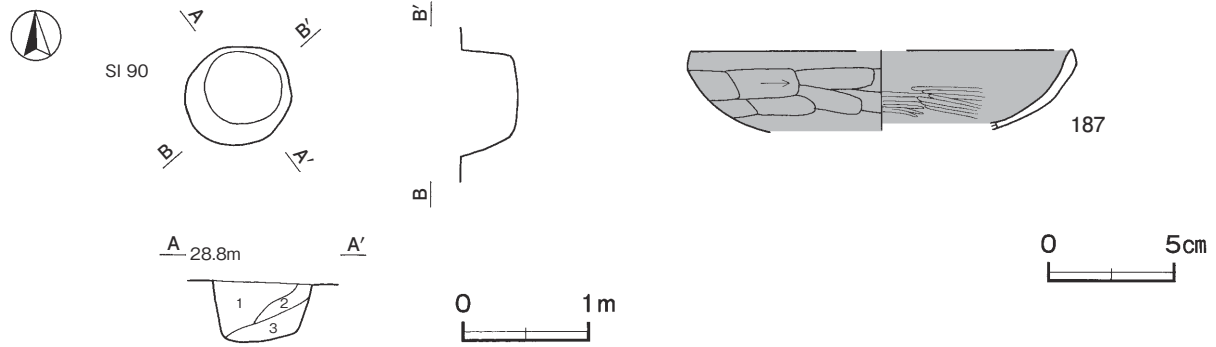
**覆土** 3層に分層できる。ロームブロックが含まれ、不規則な堆積状況を示していることから、埋め戻されている。

**土層解説**

- 1 黒褐色 ローム粒子微量
- 2 にぶい黄褐色 ロームブロック中量
- 3 褐色 ロームブロック中量

**遺物出土状況** 土師器片 27 点（坏 3，甕類 24）が覆土中から出土している。

**所見** 時期は、出土土器や重複関係から、7世紀代と考えられる。性格は不明である。



第 173 図 第 512 号土坑・出土遺物実測図

第 512 号土坑出土遺物観察表（第 173 図）

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
187	土師器	坏	[15.1]	(3.1)	-	長石・石英	黒褐	普通	口縁部外面横ナデ 体部外面横位のヘラ削り 内面ヘラ磨き	覆土中	10%

**第 632 号土坑（第 174 図）**

**位置** 調査D区中央部の F 5 d7 区，標高 28 m ほどの台地平坦部に位置している。

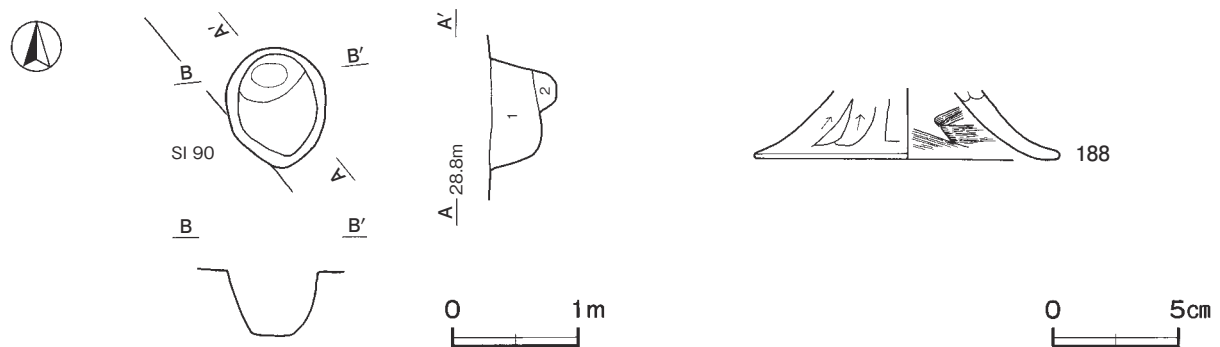
**重複関係** 第 90 号堅穴建物跡を掘り込んでいる。

**規模と形状** 長径 0.97 m，短径 0.78 m の楕円形で，長径方向は N - 7° - W である。深さは 50cm で，底面は有段である。壁はほぼ直立している。

**覆土** 2層に分層できる。ロームブロックが含まれていることから，埋め戻されている。

**土層解説**

- 1 暗褐色 ロームブロック多量
- 2 暗褐色 ロームブロック中量



第 174 図 第 632 号土坑・出土遺物実測図

**遺物出土状況** 土師器片7点（高坏1，甕6），土製品1点（土玉）が，覆土中から出土している。

**所見** 時期は，出土土器や重複関係から，7世紀代と考えられる。性格は不明である。

第632号土坑出土遺物観察表（第174図）

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
188	土師器	高坏	-	(2.7)	[12.0]	長石・石英・赤色粒子	褐	普通	脚部外面縦位のヘラ削り 内面ハケ目調整	覆土中	5%

第713号土坑（第175図）

**位置** 調査B区中央部のF4g8区，標高28mほどの台地平坦部に位置している。

**規模と形状** 長径1.26m，短径1.11mの楕円形で，長径方向はN-50°-Wである。深さは14cmで，底面は平坦である。壁は外傾している。

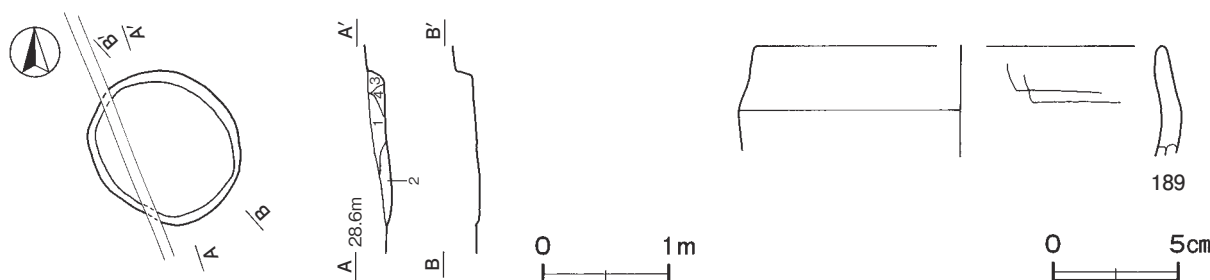
**覆土** 4層に分層できる。ロームブロックが含まれ，不規則な堆積状況を示していることから，埋め戻されている。

土層解説

- |       |           |        |           |
|-------|-----------|--------|-----------|
| 1 黒褐色 | ロームブロック微量 | 3 極暗褐色 | ロームブロック少量 |
| 2 黒褐色 | ローム粒子少量   | 4 暗褐色  | ロームブロック少量 |

**遺物出土状況** 土師器片2点（鉢，甕）が，覆土中から出土している。

**所見** 時期は，出土土器から6世紀代と考えられる。性格は不明である。



第175図 第713号土坑・出土遺物実測図

第713号土坑出土遺物観察表（第175図）

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
189	土師器	鉢	[16.2]	(4.4)	-	長石・石英・赤色粒子	橙	普通	体部外面摩滅 内面ヘラナデ	覆土中	10%

第728号土坑（第176図）

**位置** 調査D区北部のE5h7区，標高28mほどの台地平坦部に位置している。

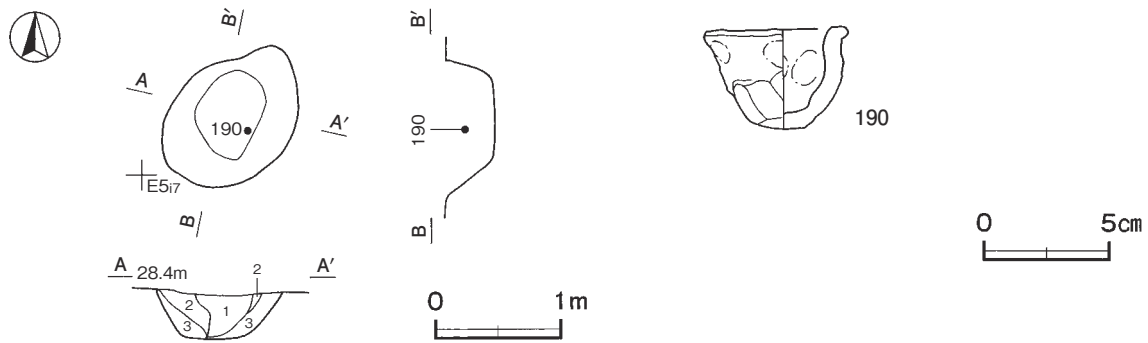
**規模と形状** 長径1.27m，短径0.94mの楕円形で，長径方向はN-30°-Eである。深さは38cmで，底面は平坦である。壁は外傾している。

**覆土** 3層に分層できる。ロームブロックが含まれ，不規則な堆積状況を示していることから，埋め戻されている。

土層解説

- |       |           |          |         |
|-------|-----------|----------|---------|
| 1 暗褐色 | ロームブロック中量 | 3 にぶい黄褐色 | ローム粒子少量 |
| 2 暗褐色 | ロームブロック多量 |          |         |

**遺物出土状況** 土師器片4点(坏1, 甕2, 手捏土器1)が出土している。190は覆土中層から出土している。  
**所見** 時期は, 出土土器から6世紀代と考えられる。性格は不明である。



第176図 第728号土坑・出土遺物実測図

第728号土坑出土遺物観察表(第176図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
190	土師器	手捏土器	5.5	4.0	1.6	長石・石英・赤色粒子	にぶい黄橙	普通	体部外面ヘラナデ 指頭痕	覆土中層	80%

**第753号土坑(第177図)**

**位置** 調査D区中央部のF4e4区, 標高28mほどの台地平坦部に位置している。

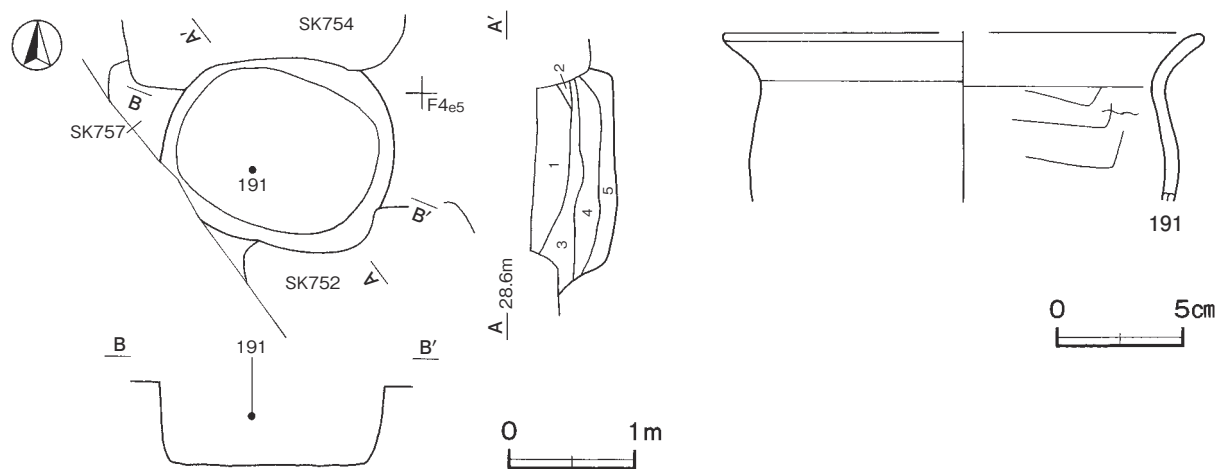
**重複関係** 第757号土坑を掘り込み, 第752・754号土坑に掘り込まれている。

**規模と形状** 長径は1.82mで, 短径は1.46mしか確認できなかった。平面形は楕円形と推定でき, 長径方向はN-69°-Wである。深さは64cmで, 底面は平坦である。壁は直立している。

**覆土** 5層に分層できる。多くの層にロームブロックが含まれていることから, 埋め戻されている。

**土層解説**

- 1 黒色 ロームブロック中量
- 2 黒色 ローム粒子微量
- 3 黒褐色 炭化粒子・粘土粒子少量, ロームブロック微量
- 4 黒褐色 ロームブロック・焼土粒子・炭化粒子微量
- 5 極暗褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量



第177図 第753号土坑・出土遺物実測図

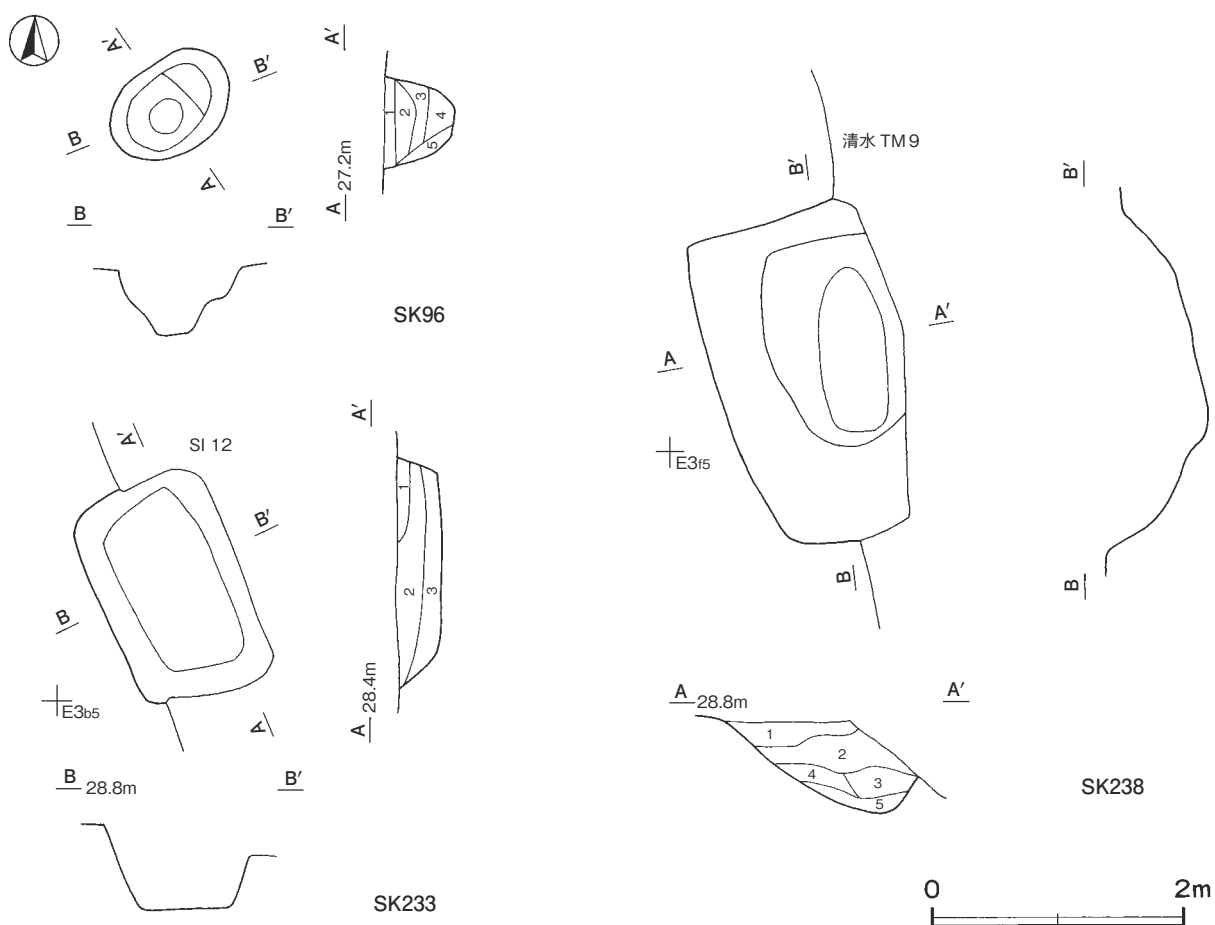


**遺物出土状況** 土師器片 113 点（坏 39, 椀 3, 甕類 71），土製品 1 点（管状土錘）のほか，縄文土器片 2 点（深鉢）が，覆土中層から下層を中心に出土している。出土した土器の大半は小破片で，埋め戻す際に混入したものとみられる。

**所見** 時期は，出土土器や重複関係から，6 世紀代と考えられる。性格は不明である。

第 753 号土坑出土遺物観察表（第 177 図）

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
191	土師器	甕	[19.0]	(6.7)	-	長石・石英	にぶい黄褐色	普通	口縁部外・内面横ナデ ラナデ 輪積痕 体部外面摩擦 内面へ	覆土中層	10%



第 178 図 古墳時代土坑実測図

**第 96 号土坑土層解説**

- 1 暗褐色 ローム粒子・焼土粒子微量
- 2 暗褐色 焼土ブロック・炭化粒子微量
- 3 暗褐色 ロームブロック微量
- 4 暗褐色 ローム粒子微量
- 5 黄褐色 ロームブロック少量

**第 233 号土坑土層解説**

- 1 暗褐色 ロームブロック少量，焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量，炭化物微量
- 3 暗褐色 ローム粒子中量

**第 238 号土坑土層解説**

- 1 暗褐色 ローム粒子・炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック中量
- 3 灰黄褐色 ロームブロック少量
- 4 暗褐色 ロームブロック少量，炭化粒子微量
- 5 にぶい黄褐色 ロームブロック中量

表 10 古墳時代土坑一覽表

番号	位置	長軸(径)方向	平面形	規 模		底 面	壁 面	覆 土	主な出土遺物	備 考 重複関係(古→新)
				長径×短径 (m)	深さ (cm)					
96	C 2c4	N - 53° - E	楕円形	1.06 × 0.73	55	皿状	緩斜	自然	土師器	
233	E 3a5	N - 22° - W	長方形	(1.80) × (1.15)	70	平坦	外傾	人為		本跡→SI 12
238	E 3e5	N - 19° - W	[長方形]	(2.67) × (1.59)	74	平坦	緩斜	人為		本跡→清水 TM 9
258	G 5d0	N - 78° - E	楕円形	0.80 × 0.69	34	平坦	直立	人為	土師器	SI 19→本跡
259	G 5d9	N - 38° - W	楕円形	1.46 × 0.63	38	平坦	直立	人為	土師器	SI 19→本跡
288	G 6c3	N - 49° - W	楕円形	0.64 × 0.28	42	皿状	直立	人為	土師器	SK287→本跡→SK291
355	G 6a4	N - 80° - W	楕円形	0.80 × 0.64	(10)	平坦	外傾	人為	土師器	本跡→SI 25
500	F 4e5	-	円形	0.84 × 0.81	32	平坦	直立	人為	土師器	SI 125→本跡→SK622
512	F 5e6	-	円形	0.86 × 0.80	46	皿状	ほぼ直立	人為	土師器	SI 90→本跡
632	F 5d7	N - 7° - W	楕円形	0.97 × 0.78	50	有段	ほぼ直立	人為	土師器, 土製品	SI 90→本跡
713	F 4g8	N - 50° - W	楕円形	1.26 × 1.11	14	平坦	外傾	人為	土師器	
728	E 5h7	N - 30° - E	楕円形	1.27 × 0.94	38	平坦	外傾	人為	土師器	
753	F 4e4	N - 69° - W	[楕円形]	1.82 × (1.46)	64	平坦	直立	人為	土師器, 土製品	SK757→本跡→SK752・754

## 印刷仕様

編集	OS	Microsoft Windows 7 Home Premium ServicePack 1
	編集	Adobe InDesign CS6
	図版作成	Adobe Illustrator CS6
	写真調整	Adobe Photoshop CS6
	Scanning	6×7 film Nikon SUPER COOLSCAN9000
	図面類	EPSON ES-10000G
使用Font	OpenType	リュウミンPro・L
写真	線数	モノクロ175線以上 カラー210線以上
印刷		印刷所へは、Adobe InDesign CS6でレイアウトして入稿

### 茨城県教育財団文化財調査報告第405集

## 清水古墳群 神屋遺跡 神屋南遺跡

一般国道468号首都圏中央連絡自動車道  
建設事業地内埋蔵文化財調査報告書  
上巻

平成28（2016）年 3月15日 印刷

平成28（2016）年 3月18日 発行

発行 公益財団法人茨城県教育財団  
〒310-0911 水戸市見和1丁目356番地の2  
茨城県水戸生涯学習センター分館内  
TEL 029-225-6587  
HP <http://www.ibaraki-maibun.org>

印刷 株式会社あけぼの印刷社  
〒310-0804 水戸市白梅1丁目2番11号  
TEL 029-227-5505